

AC Zokuzoku gunsho ruiju 145 G857 v.ll

East Asia

PLEASE DO NOT REMOVE

CARDS OR SLIPS FROM THIS POCKET

UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY

Digitized by the Internet Archive in 2009 with funding from Ontario Council of University Libraries



續 君军 续到 松 弟

AC 145 G857 v.//





例言

本 年. 東 成 承 諸 木 尠 3 年 編 宗 八 大 書 せ は 寺 は 崇 月 八 5 卷 章 は 本 宗 要 德 + ___ 月 六 其 書 n 敎 1-錄 天 H ----目 0) L 别 日 ---部 告出 皇 東 清 次 如 8 卷 國 0) 大 承 章 を 3 0 0 寶 奈 首 寺 元 七 御 は な 本 1-良 卷 封 学 僧 年 願 國 5 ٤ 庄章 孟 指 東 な 觀 h 章 史 定 L Ŀ 嚴 秋 大 一、縁 東 n 寺 7 宗 云 集 せ 大 ば 之 5 所 東 寺 々 敎 刨 起 末 る、 3 藏 大 寺 軰 史 1-5 0 二、供 寺 記 序 本 0) 1; 關 治 章 要 最 記 承 L 文 書 す 儿 嘉 錄 著 錄 兵 を 雜 養 貴 3 作 に 以 燹 載 記 承 事 軰 重 下 L 錄 以 は せ 0 章 な = 卷 7 凡 前 堀 時 諸 + 3 は 原 八 + 代 院 材 他 に 河 2 本 種 天 奥 儿 章 料 に 成 は は To. 皇 書 明 四 詳 4 7 ٤ に 明 收 --諸 7 0 な Vi な 御 長 5 む。 追 治 軰 會 5 ろ 三 宇、 弯 8 承 3 1-~ 々 し。 + 長 集 n 分 Ħ. 0

H 櫻 及 0 7 記 會 11: 文 4) 寬 緣 中 書 11. 起 誦 引 を 111 僧 大 用 卷 以 正 利 す 7 ___ 記 緣 尙 3 豧 等 傳 所 C 起 寬 は 7: 童 0 古 平 延 3 は < 年 曆 所 原 散 中 僧 文 3 日 錄 散 佚 9 記 慧 2 叉 佚 7 繭 運 卷 せ 宜. 今 僧 九 3 傳 都 延 東 1-記 平 は 大 よ 5 H 錄 寺 5 2. 記 文 授 T 自 湛 古 3 飛]1[膃 < è 方 官 院 僧 軌 0 都 符 高 な 0 り。 院 野 分 内 宣 巡 付 四 行 帳 党 等:

U 木 面 佀 書 心 卷 第 料 ___ 紙 緣 卷 ٤ 起 り。 章 L 0 次 1: 0 3 1-___ 古 卷 加 寫 は 1: 木 近 4) を 年 是 發 配 12 見 醐 學 L \equiv 界 た 寶 0 n 院 為 ば 文 最 本 庫 慶 編 1 す は 於 ~ 之 7 3 を 古 事 從 消 2 息 來 信 0 背

た

n

は

な

寫 0) 木 影 本 濕 寫 重 0) 以 東 本 を 7 大 採 崇 底 收 要 本 錄 せ ٤ L 4). は 丹 東 鶴 京 本 帝 を 國 以 大 T 學 參 昌 訂 書 館 L 醌 藏 醐 小 寺 山 本 田 は 與 小 清 杉 校 博 合 影 士

東 大 寺 續 要 錄 九 卷 F 文 東 大 寺 記 錄 0 續 篇 1-て、 原 本 亦 同 寺 の

緣

起

童

FI

建

久

よ

4)

應

安

1-

至

3

文

丰

あ

言し

は

そ

12

to

續

錄

中

0

建

久

至

應

安

5

あ

12

東

大

寺

現

存.

木

1-

は

此

篇

な

7

恶

<

は

正

錄

ど 供 集 + 合 本 に --所 養 足 成 藏 諸 2 書 但 1 九 九 7 篇 目 利 年 時 正 2 1 會 3 代 篇 次 錄 第 加 3 九 末 氏 云 册 諸 は r‡1 B ٤ 村 末 1 17 - -拜 知 共 會 原 世 7 雜 は +6 あ 篇 古 2 本 期 堂 3 に 文 n 0 ど、 篇 ば 造 1-國 氏 < 本 ~ E 佛 於 與 寶 脫 其 佛 カコ 卷 0) 佚 錄 篇 7 書 5 1-續 全 法 5 篇 指 第 傳 す 群 卷 1 L L 0 書 7 數 諸 寫 于 ٤ 定 其 如 __ 寶 < 院 時 せ せ 第 現 0) Vi ___ 順 篇 藏 5 文 6 覽 存 3 ^ 儿 拜 篇 明 ど 3 1 本 3 序 72 1 第 - | -本 -は 堂 7: B は は は 篇 供 丰 た 卷 詳 + 3 七 官 凡 寺 3 4F. 養 0) 3(1) な ٤ 符 7 >* 5 芸 篇 作 0 院 ---儿 6) 領 か ず、 軰 末 者 宣 卷 册 1 3 な K 2 與 然 は ٤ 8 3 御 ٤ 0) 5 詳 見 書 敎 2. 0) 3 題 0 が L 寺 ż 1 な す 如 書 な (-5 な 于 4) 寶 B 供 た 5 寄 領 3 L. ず 淵 n 附 造 ~ 藏 3 養 は 篇 篇 文 隨 狀 け 0 を 给 旣 明 自 第 12 غ 本 1

次 B を 0 IE. ٤ 錄 見 1: な よ L 9 7 --7 北 卷 佛 0) 篇 數 1 第 ---充 ٤ 7 次 た 第 3 せ B 90 0 な 3 ~: L 本 編 は 卷

は IF. 續 Vi 要 3 8 錄 更 は 古 な 寫 9 後 本 A 1 0 L 7 書 俗 入 等 4 を 周豐 E 0) 蠶 讀 人 3 難 L た 3 12 所 は 4 校 < 訂 A. 0 魯 勞 魚 は 0) 筀 誤

紙

1=

盡

1

難

3

E

0)

あ

4)

招 は 本 提 黑 書 寺 JII 0 干 眞 造 歲 道 佛 篇 傳 氏 記 藏 供 九 木 養 篇 卷 を 南 諸 木 院 都 末 篇 招 諸 提 は 會 寺 東 篇 0 大 本 記 寺 佛 錄 文 法 1= 庫 篇 L 木 拜 7 to 堂 儒 同 採 手 寺 収 0) せ 領 僧 9. 堂 丧 寶 藏 澄 篇

律 著 本 to 傳 書 類 な 元 4) 原 别 10 滁 木 本 L 卷 + 7 几 編 0) \equiv は 外 記 册 年 先 他 載 13 義 年. 1 雜 澄 せ 傳 3 1 小 0 序 松 寫 3 f 0) 跋 博 せ 本 L 干 普 あ 士 É 歲 草 4 0 冒 0 傳 創 <u>-</u> 寺 少 0 以 卷 ٠ < 1 名 來 \equiv 隨 蓋 干 册 つ 3 7 2 有 は 其 住 7 12 餘 傳 年 持 0) よ 傳 寫 書 4) 1-1 せ 名 起 目 5 和 n 12 卷 \equiv B 12 3 3 要 删 1 知 な B 3 用 は 3 明 0 人 ん 3 0

革 0 せ 3 は 賟 書 本 ま 福 3 B な B 尊 で ٤ 寺 山 山 濫 3 0 0 を は 由 階 階 觴 以 寺 寺 他 來 記 て、黑 に 等 草 ٤ 卷、 良 V を 創 川 書 詳 2 南 0 眞 尠 細 緣 本 都 起、 道 < 1 書 興 福 氏 本 叙 南 は 藏 書 天 寺 L 都 武 寫 は 春 た 0 記 本 古 3 日 天 に 書 B の 皇 錄 ٤ 地 の な よ 0) 9 稱 御 Y に な 7 作 す 宇 4) 移 採 興 ~: 9 よ 者 L y 詳 收 福 か せ 寺 事 享 な 5 り。 さ。 の 及 保 5 ず、 沿 堂 __ ろ è 宇 革 年 興 を 0) 1 福 必 寺 要 記 沿 至

藥 年 < 7 中 師 本 珍 行 書 寺 事 黑 重 0 定 草 歟 す 如 ~ 書 É 紙 等 B 35 ___ 卷 B 儿 世 鎌 南 の 人 あ 倉 の 都 り、作 時 渴 藥 代 望 師 寺 者 よ を 充 4 詳 0 記 な 寬 た す 錄 5 永 ず、 十 に な ___ 足 4 本 同 書 5. 年 追 寺 1-る ę, 0 々 至 書 同 記 る 繼 寺 ま 錄 3. て 豧 は に を 任 世 狀 成 記 に 及、 6) 載 尠

薬 師 寺 新 黑 草 紙 卷、 作 者 詳 な 5 ず、黑 草 紙 0 續 篇 な り、是 亦 定 書、

た

ろ

B

0

例

以 簡 年 0 な J: 所 द्य n 兩 B 行 事、 書 ば 見 本 共 ž 法 式 會 1= た 特 書 n 等 體 ば to に 同 記 を 同 寺 成 時 L 1-3 代 た 請 ず 0 3 集 B ĵ ٤ 成 1 0 い に 之 な て、本 ど 包 3 B 2 採 文 ٤ 收 本 す 寺 を Цı 享 3 に 推 事 於 知 保 3 T す 七 は ~ 年 せ 云 り。 有 L 名 ス 0 0 B

要 等 同 法 3 て、 6 用 に 時 隆 法 赤 0 0 至 中 2 院 隆 書 良 3 3 寺 な ま の 訓 9 其 僧 1-7. 補 本 同 B 良 忘 を 傳 訓 集 氏 書 詳 1= 寫 本 \equiv は 組 卷 寺 傳 な 黑 1 傳 南 筆 來 3 川 B せ 眞 記 來 都 L 0 道 1 法 せ 事 な 係 隆 氏 L 浩 は n 3 3 0 春 ば 佛 0 秘 0 最 記 村 藏 1-像 氏 B 佛 錄 せ L 具 0 珍 3 7 1-L 調 奥 ٤ 良 法 L 度、 7 書 訓 隆 7 寺 に 自 或 元 世 筆 は 滁 B 史 文 享 記 1-の 料 書 3 誇 保 原 ٤ 傳 n 3 本 L 0 に 記 間 た ~ 7

代 七 に 大 寺 つ 巡 V 7 禮 記 は 奥 卷 書 1 作 先 者 輩 詳 旣 な に 5 論 ず 惜 じ た 5 れ < ば は 贅 下 せ 卷 ず、 を 本 佚 篇 せ は 9 本 流

り。

書

時

南

都

個

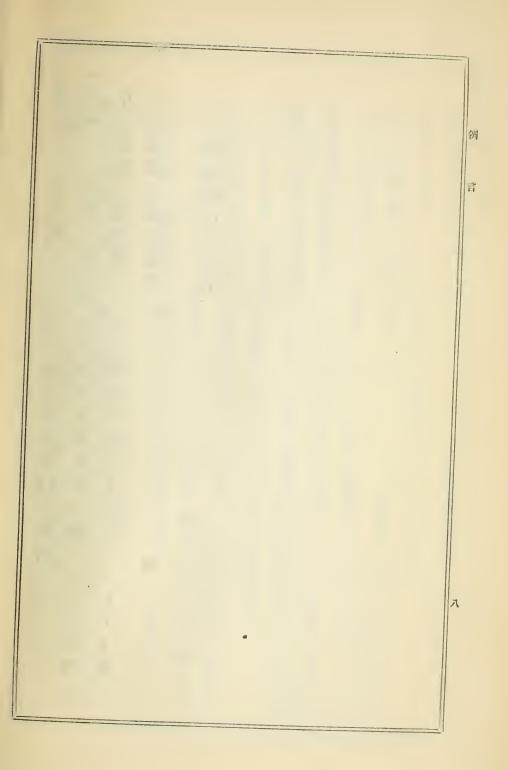
Till I

小 本 布 言 杉 編 寫 本 感 榅 は 邨三 文 謝 を 0) 學 以 博 7 意 宅 英 底 か 土 慶 表 前 水 の 二 す。 とし、小 田 戀 氏 雲 は 氏 杉 秘 材 博 藏 料 ·]: 0) 選 藏 誻 擇 本 を 本 0) を 勞 以 貸 7 を 與 執 校 せ 訂 5 B n 叉 れ 文 た y 學 兹 博 に 士

せ

り。

明 治 几 + 年二月



縁起章第二 同醍醐寺本	卷第二	本願章第一	卷第一	東大寺要錄
-----------------------	-----	-------	-----	-------

卷第三 供養章之餘

卷第四

諸院章第四附神社

卷第五

諸會章之餘相折

目

四七

諸會篇本	東大寺續要錄 東大寺續要錄 	卷第八雜事章第十之二一一一一一<th>雑事章第十</th>	雑事章第十
四三八八八六	九 八 五 一	<u> </u>	二 一 八 八

卷中之一

招提千歲傳記

卷 集 生 之 一 卷 上 之 一 …三五二

法事篇	靈像篇	靈蜜寶篇	舊跡篇	卷下之三	舊事篇·	卷下之二	殿堂篇·	卷下之一	尼女篇	居士篇	王臣篇	卷中之三	明律篇	卷中之二
					, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		/1177		/ 113		/itrs	
四三三	四三二	四三一	四二九		四七		<u>"</u>		四〇八	四〇七	四〇六		三九二	

興福寺:

靤								
興福寺濫觴記	連名篇:	拾遺篇:	異說篇:	遭疑篇:	辨訛篇:	封祿篇:	撰述篇:	枝院篇:
						0		
	······································	······································				四三七		四三四
	四四三	四四三		四三九		四三七	四三五	

四六四六四六四六五六五

四四

五五

續々群書類從第十一宗教部目錄終		南都七大寺巡禮記上	法隆寺記補忘集······	藥師寺新黑草紙	薬師寺黑草紙	與福寺伽藍所々間數之事春日山內御塔之事
		五五四	四九七	四九〇	四七七	四七一四六九

宗教部

東大寺要錄卷第一

長者之造,四十九重殿,無、施,戶邑於紫磨之尊,印度 於平城宮 大伽藍也變」。娑婆於蓮花藏 | 鑄,含那之大像 | 移 | 靈宇 原 支那未二半見聞 王之起,八萬四千塔,未、鑄,大佛於金銅之像,蘇達多 夫 一簣一制 東大寺者平城宮御字勝寶感神皇帝御願天下第 ..國家..若愚君拙臣改...替我願 |立||誓願||言若聖主賢卿承||成我願| 恒將||福慶 ...分食封五千烟,而撫... 育衆僧 搆, 摩尼之寶殿 施, 入水田一萬町,以供, 一者矣於」是皇帝菩薩為、誠,後代邪惡 - 毎起= 大嗣 一昔阿翰伽大 永減

處 靈異甚多感變之 奇難、得、稱者歟 矧乎聖教流布慧恨 率土, 金光明四天王護國之寺 誠哉此稱矣凡嘉瑞頻現 乎堂邊,寺家衰弊示,以變于普天,伽藍與復呈,豐稔子 式也加之地藏菩薩施,黃金於陸與,遠敷明神涌,香水 花發摩尼之色, 時乃道俗雲集仰, 梵釋之威書, 尊卑星 而為 佛跏,]趺臺上,而青蓮開, 瞼千百億國釋迦文佛端,]坐葉 遙輝||中殿||行者唱||禮遠戀||天聽||以降削||彼大山 人萃,此大寺,可,謂,與隆佛法之仁祠矣住持遺敎之勝 易、開名匠相繼諮受不、滯六宗達者住,此伽藍,三學行 羅沐二仁皇之惠化一信是祇洹精舍之盛集摩竭鷲峯之儀 群臣舞,,蹈法堂之前,非常寶樹薰,,楠檀之香,未,見,,珍 養之講匠,其會莊嚴不之可,勝載,聖皇稱,讚舍那之德 凡厥壯麗盡、美綺繢究、妙矣迦維羅之大士遙渡 \ 甍樓臺交\ 影金蓋玉鐸映\ 日赫奕繡幡花縵隨\ 風甄搖 い彩右邊虛空藏高士芳儀宛爾兮金姿舒、光又復殿閣連 中, 而丹菓點、唇左方觀自在 菩薩妙相澹然兮 玉毫流 搆,,堂閣,傾,,此國鍋,以鑄,,佛像,是以十世界海盧舍那 焉然而年紀漸謝 ". 開眼之導師 | 耶提婆之化人忽昇 | 蓮座 | 而為 " 供 既是至賢之誓言也豈徒然战自下夫神 伽藍荒蕪 星霜推遷流記紛失嗟乎 王放

存 要錄,其有、所、不、載幸見者補、之于、時嘉承元年孟秋 談 哀哉 佛法 略 抬 誓舊 記一耳今開 訛 記 替 聖 |粗勒||寺要||逐編集成 跡 三要錄一略有二十章 將、絕焉爱少僧目 1,十卷1名11東大寺 視 金伽 藍 二工聽 者

雑事 別當章七付 諸院章四付 本願章 章十 静社 封庄 緣 會章五 心起章二 章八 付 相 折 諸宗章六 供養章二

本願章第一

太皇 天壓國 天皇御: 大極殿 晚生平城 年十 日皇太子始拜朝瑞雲顯 之女也文武 **法后** 見遠江 俗 应 號 押 也 宮御宇元明天皇和銅七年甲寅立 一藤原 天 開豐櫻彥天皇者當伽藍之本願 國 庚 介帝 獻 「辰皇太子加·元服」 靈龜元年正 宮子是贈正一位太政大 是 天皇治: 也 受」朝皇太子加 藤原宮御宇文武 - 丹波國 天下,大寶元年歲 見宜、大: 獻 三禮服 二白鴿 天皇之太子也 赦天下 九 臣藤原朝 - 癸巳詔 - 拜朝是 勝寶 次辛 爲 月月甲 威 』皇太子! 月 Ě 神 日 H 31: 申朔 岩 木 比 庚辰 東方 今 本 其 聖 年 願 母 武

子,而 豫稍 寧 \自, 今月廿三日, 一七日轉\經憑, 此冥福, 冀除, 灾 高內親王早叶,,祥符, 夙彰,, 德音, 今傳,, 皇帝位於內親 天皇 醫藥於左右京四畿及六道諸國一教,療此類。咸得 或亦得,重病,晝夜辛苦朕為,父母,何不,憐愍,宜,遣, 異,三年丙寅六月韶日夫百姓或染,痼病,經、年未、愈 讀,,金光明 放也秋七月詔 曰於,諸寺院,限勤加, 捺淨 治,,天下, 廿五年 元年 十一月 大甞會 腦層 二年乙丑正 酉太上天皇不豫令..天下諸國 司三千人 出家入道, 幷左右京 及大倭國 平安,九月壬寅詔曰天示,,星異,地顯,,動震,宜、令,所 月請..僧六百人於宮中.讀.. 誦大般若經 位于皇太子,是日 卯皇太子始聽,朝政,神龜元年二月甲午元正天皇禪, 王.公卿百寮宜,悉祗 度"僧廿八人尼二人,七月 依二病輕 經 禪 年 二二序,宜-大::赦天下: 位于氷高內 齒幼稚未、離、深宮, 庶務 經 重 - 岩無::此經 一賜」穀賑恤所 皇太子受、禪即、位時年廿四也 親 奉以稱,朕意,矣養老三年六月 王一詔 - 者便轉: 最勝王經 日 司 病疾之徒量給中 以 放生丁卯奉,為太上天 存、懷勉稱 癸巳詔 多端 三此神 一日萬機 器一欲遠山皇太 日 部內 諸寺始 太上天皇不 ||朕心| 焉辛 · 介 : 國家 除二灾異 一个二僧尼 EI IIII Ī

像弁法花經 金堂 奉 不上安敬造」樂師佛像扶侍井幷四天 一時橋 度,,僧十五人尼七人,又勅 二供養一矣八月癸丑奉二爲太 一訖於二樂師寺一設一齋會一焉今年行基井造一 所司 上天皇,造 王像一與福寺立二東 緣"太上天皇寢 二寫釋 迦 膳

五

於三界,加以自 夫人食封 蒙,宗廟之靈 | 久有,神器,新誕,皇子,宜"立為,皇太 百 傳典其兄弟」龍蓋寺記云大和國高 市往氏也禪枝早茂法梁惟隆易, 玄風於四方,照, 表奉、賀、皇子誕生、施、物各有、差戊午賜、從三位藤原 子,布,告百官,成分,知聞 廿東山十一月己亥天皇御山中宮一詔曰 四 在二柴垣上被心裹。白帖 刀氏多年無、子祈」乞觀音, 爱夜聞, 小兒音 金剛般若經一銷, 災異, 也閏九月丁卯皇子誕生癸酉 答, 您念斯若人年德共隆宜, 改, 市往氏, 賜 官人等物及天下與一皇子,同日產者布百端綿二屯稻 御,中宮,為,皇子誕 年丁卯二月辛酉請,僧六百尼三百於中宮,令、轉,讀 一千戶,十二月丁丑勍曰 ...先帝御世 一也薫香滿」宅悦取養」之不」日生 生,赦,天下大辟罪已下,又賜 一迄二于朕代 二庚子僧綱及僧尼九十人上 市郡 一僧正義淵 居住 一族賴 一供,奉內裏 三神祇 夫津守婦阿 - 奇出見>之 法師俗姓 二岡連姓 慧炬

> 遂以、宮賜、僧正、爲、寺號、龍蓋寺,矣 長天智天皇聞 二食之,與二日 並智王子1 共分と移 岡宮

膊 施 讀為一個家平安也 經或國八卷或國四卷至,是寫頒下隨,經到日 百四十卷照,於諸國 冬十月壬午僧正義淵卒遣,治部官人,監,護喪事,又詔 緣,, 此功德, 欲,得,, 平復, 又勍可,大,, 赦天下, 以救, 三寶威力一何能解」脫患苦 以,,從四位下智奴王,為,,造山房司長官, 庚申擇,,智行 皇甚悼惜焉爲、之廢朝三日爲,太子幼弱,不、具 所患。九月丙午皇太子薨壬子葬,, 那富山, 時年二歲天 百七十七軀幷經 年戊辰八月甲 一百疋絲二百約綿三百屯布二百端一十一月乙未 申勅皇太子寢、病經 百七十 一々別十卷先、是諸國所、有金光明 - 十二月己丑金光明經六十四帙六 七卷一 一因、兹敬造: 觀世音卉像 禮 が佛 日 轉い經 不 ン愈自 1即分1轉 日 三喪禮

畢大官大寺,今號,大安寺,是也古之舒明天皇依,上宮 費平知...百年,仍改...元天平,始自...元年...二七箇年造.. 六年己巳秋七月左京職獻 舍,號,,百濟大寺,以、寺付,,屬皇極天皇,如、是九代之朝 太子遺託,爲、途,推古天皇御願 一負ン圖 龜」其背有之文云天皇 -於 一百濟河側一立一精

搦 阴 優婆塞優婆夷等如 韶 六月庚申 為= 悅 寸 五. 為:,大安寺: 詔 以供二養請 任 滿 相 有七年學究;, 五明 改二名大官大寺 有山道慈法師 道 U 子 立 開一大法會 派各加 律 也 求、法自...唐國 南大寺, 一先帝遺詔 1 職 發願臨 正三位 師 駕巡 更 取 咸 一無賜 施藥院 講一仁王 西 僧 三與 陸原夫 後加 幸京中 入道 丽 造 千人1 者 乃法 ,施.,入三百 三食封 師 · 日夜紹 福 日 · 寺結構之體-天智天 和銅 以二天 三年辛 寺一連、土築、基建 經於朝堂及畿內七道諸國 令:天下大平萬民安樂,之義也 - 自餘持 來 法 造東大寺」高野天皇亦立 以"天平十七年 智 人,為,皇 道經 菛 三年 修 百戶,二七年 洞"三藏 |隆此寺| 聖 皇 **心行者男** 平元年,改二 領 -未詔 町 朝 又遷 鉢行 袖 卽 三 水田 天皇聞 位 釋道棟梁 邊 但 后 日 年六十已 上女年 卽 有... 遍降 二年庚午藤 F 比 聞 年 车 年隨 五 間營 奏,, 天皇, 曰 移 仰所 造此 度五 二囚等悲吟呼 而大悅以 二綸命 城 改"大官大寺 加加 也 宿念 重 一发毕 造 問 寺一 逐行 藍於高 日人沙 司 既成天皇歡 道 搜点求良工 : 西大寺 原 欲 八月戊辰 以一道 武 爲二 嚴 基 次夫人光 道慈問 之聲 天皇奉 加二捕 彌敬 國 市 俗俗 二以 慈一 師 地 呼 願 +

> 已下 天皇 一并賜 憐愍遺 三衣 い使覆 服 犯 狀輕 自 重 於是降 恩咸 発 死 罪

六 象 舶 戒 於上是 威力. 也又 飡 行 從 午自、至:海 大使多治比真人廣 無ニ \mathcal{H} 傳一受戒品一含人親 年甲戌 レ風 三鑒真 師 人,請,大福 年癸酉公家為 於二 有二元與 戒 大膳備 向,,日本,擬,,傳 與福寺榮叡與二 朝 命終之前 足一 我國中一雖一有 和 參二 二遣僧榮叡 衣 後幹 勅二治部 Ŀ. 東 卽 向公 鳳闕 二盂蘭 (寺沙門隆 君臣下流 先寺沙門道塘一附 領二諸門 東 律 二良辨 創二立 卵從 日 夕憇 盆 而 師 成一到一唐國 E 一隨〉使入唐 人王子 有:-去。由 戒也法師 卽 供 普照 四位 入二吉 を律 尊律 養 及行基道慈晨夕至 為一隆尊,奏勅召一件榮叡,入唐 人 為 |龍宮|出||入丹墀 他 :未>聞: Ŀ 處 此 俗人一夢見上道塘乘二六牙白 師 野 俱奉、勅四 門部 羂 高清.傳 者 現光 で傳 一留學 ブ 日 赴、請天平八年七月庚 索院 三 副 一志存 知 日 三戒律 傳戒 E 本戒律 寺」安禪孤棲味 使 問 戒 一號二古 大 命 方知 賢 師 月三日 二鵝 臣 自 七月十五 寫 徘 幸簉玄門嘆 朝臣名代 未 珠 本國 仓鐘 い具假 = 徊 我 終 無一傳 切 寺 企 勅 造 P 求 一來共 經

律

始

養請 家下 敬二寫 レ業者 子施二入四 生菩提一敬造,釋迦丈六像,興福寺建,西金堂 子以...正 布 不、墮 僧四 朕 汐 經史之中釋發最上由」是仰 以二萬機之暇一披二 二生類 月十一 三惡趣 百 天 口 (王寺食封二百戶,限以,,三年 一人別施二 衲袈裟一條一 -遠離:此網 一乞…索百年一前…禱 日之忌百 |奉||為先妣從 覽典籍 全身延、命安、民存 - 俱登:1 彼岸 萬 憑」三寶 歸 版 福一聞」之者無量 如法行道三月丙 - 藤原皇后光明 位橋大夫人 心上為二 一种施二 奉と供い 僧等 却

平復 七 恤 之徒 內及七道 月 轉..讀大般者經一為上消..除灾害..安中寧國家上也 八年丙子二月丁巳入唐學問 辛卯詔 「年乙亥五月己卯於」宮中及大安藥師 庚午南 鰥寡悼獨 一宜/奉 町扶翼童子八人 律師 諸 身 E 天竺婆 戊申施 威 二為度 比來太 一廢疾 百姓 一百人一 羅門 并僧尼 篤病者 上天皇寢膳不い安朕甚惻隱思 一唐僧道瑭波羅門僧末等時 僧并瞻波國 不能 有以病者給! 湯藥食粮 都下四大寺七日行道又京畿 道慈法師 玄昉法 自 林邑北天竺佛 存 者所 扶翼童子六人,七 師施二封 元與與 司量 福 服 百戶田 加 四 ン欲 高 哲 誓 賑 寺 车

昉法 藏為 玄昉 極殿 王經 諸國 九年 廢#人事」自、誕 .. 天皇, 玄昉 又月六齋日禁: 斷殺生: 國僧尼 清淨沐浴, 一月之內二三度命、讀, 最勝王經 ン轉二此經 慧然開悟 大養德國 於,,宮中一十五處,請,,僧七百人,令,轉 卷,因、此雖、有,需聲 灾事 私請 施 恒例, 勅許、之八 法師 進調 丁丑三月詔曰每日令"造" 師 二讀師 朝廷 -四百人四 師 天勅,住,此大安寺,修造以來於,此 兼寫+大般者經 - 天皇亦幸 : 皇后宮 絁 至 |是日皇大夫人藤原氏就||皇后宮|見||僧正玄 庸各三段物 一伏願護、寺鎮、國平安 之儀一 爲一僧 1.淨行僧等1 每年分5轉11 是適與 聽衆 千匹綿 一畿內七道 正,十月丙 同二元日,請二律師道慈 一百沙彌 ..天皇. 相見 月癸卯 - 以宛 ·無、所:, 灾害, 請自今以後撮 千屯 部上 丙辰 諸國 寅 一百十二月丙寅改: 大倭國 絲 法師未二曾相 || 布施|| 請|| 僧百五 皇大夫人為『沉 74 令 清··金光明 五百七十八人丁卯以二 為... 天下大平 月壬子 釋 千約布 天下莫レ不二 四畿內二監及七道諸 聖朝 迦 大般若經 佛 律師 以,此功德一永 옣 大般若經最勝 最勝王經于大 見 -為二講師 干端 伽藍 道慈 國 軀 法師一 慶 幽憂 人 十人 土安寧 部六百 一恐」有コ 扶 侍 合命 取取

絁

轉 卵韶 三讀最 寅 命三國 勝 正 月 家 I 隆 卒 平 立 _ [词 宜、介…京畿內七道諸國 倍 內 親 王 為...皇太子 三日內 四 月 Z

>安...百姓.故 部 并 + 雨 梅過七 調和年 年已卯 "筑紫境有"不軏之臣|命〉軍討 二七重塔 日七夜 一穀成熟 經經 七月 今國 -甲辰 九月己亥勅: 。甲戌令··天下諸國 卷 宜公介下 別造= 詔 觀世音菩薩像 日 天下 方 一个孟 諸寺轉二讀 四畿內七 秋 苗子盛 毎 伐 國寫 原依 軀高 道諸國 五穀成 秀欲、今…風 Ξ 二法花經十 七尺二 聖祐 熟經 幷 欲 比

庇 切 番 窮 沉 開 前 淪 壽一下及二寮采一共盡 位太政大臣府君 二年庚辰 二菩提之樹 長 師 + 論 和 一勤二除煩 及律 初 月八 天下一聞、名持、卷獲 辟 空 書 五. 現 日於二金鐘山 三花嚴經 障 月一 二紫雲 遊一般者之津 -妙窮 **総**既 墨 尊此從 日 - 其 皇后 三忠節 伏 二諸法 願憑 年又皇御年四十滿賀之設、講 寺良辨 一位橋 藤 レ福消 - 叉光明子自 原 早契 一叉願 斯 光 勝 氏 明 僧 レ災一 三菩提 上奉= 因一奉、資二冥助 子 大夫人 IE 奉 奉 切迷方會 發願云弘三濟 =為
聖朝 乃至 平 爲 朝 尊考 敬二 一傳燈 恒 贈 |請 歸 延 永 無 IF.

シ弘三政 寺水田 來擁護 命 逐 部山自 Ŧ 在 、欲二薰是所,及遠人則不、欲,,勞衆歸 造塔之寺兼 聖法之盛 寫:1金字金光 國 、誠啓、願靈貺如、答載惶載恐無,以自寧,案經云若有 尼 前 除 至慙懼交集唯勞罪 護 年馳 佛 福 二嚴飾一無盡 △心恒生…歡喜,者宜 土講宣讀 知 尊 年 至 三朕意 ||今春||已來至 之寺 Ŧ 像 修 辛 化 寤寐多 慙古 ↓使增」飾天下神宮,去歲普合片 中金光 MI 切灾障皆使,消除,憂愁疾疫亦命,除瘥,所 與...天地 = 何 高一丈六尺 者各一鋪一 僧寺必合、有二廿僧一其寺名為 又每 爲..國花一必擇..好處.實可...久長 誦 政化 明 尼寺一 月 中潔清上延二威諸天 恭敬供養流二通此 明最勝王經妙法蓮花 最 國 _ 而 勝王經 一能臻二此 己是以廣為一蒼生一遍求一 E 于秋稼 十尼其寺名為: 永流 僧寺施二封 帝 之明 日 朕 擁護之思被二幽 每、塔各分、置二一 道 天下諸國各敬造 -風雨順 主告能 以 頃者 一庶幾臨護布二告遐 五十戶水 薄 經 **幷寫中大般者經** 德一 工业者我等四 序五 :光業:國 集 經 年穀不」豊疾癘 法花 天下造: 恭 穀豐穰此 部。股叉別 金金 田 明 承 滅罪之寺 司等各宜 -近人則 部3 光明四 illi 十 泰人樂 一景福二 重 釋 恒滿 頂 任 所 HI 王常 乃徵 各 塔 迦 天 故 灾 不 頻

者悟 明給 寺相 於金 十五年癸未正月癸丑為、讀,,金光明最勝王經 御道心發給始企 玉女坐放:金光,底宣久當朝、神國了九可、奉上欽 勢大神宮,天皇御願寺可、被,建立,之由所、被、祈也 勢大神宮-云々大神宮禰宜延平日記云 天平十四年 朝臣宇美陰陽頭外從五位下高夏太, 資,,神寶,奉,,于伊 諸兄神祇 卷|類聚國史云天平五年癸酉使||右大臣正三位橘宿 也 度者十人封戶馬五正,又令」造,二重塔 奉二八幡神宮秘錦冠 挍 每月六齋日公私不公得二漁獦殺生 月八日必應〉轉」讀最勝 月三日右大臣正二位橋朝臣諸兄為"勅使」参"入伊 : 勅使歸參之後同十一月十五日夜示現給布 七月十五 一个斯之寺是其一也獨峙:城東 共 ||解此理|當|歸||依佛法 也而 全に 、明寺」其詞曰天王敬豁,四十九座諸大德等弟子 伯從四位下中臣朝臣名代右少辨從 受 日 日輪者大日如來 玄昉僧 二件御 戒 若 願 正發願書 寫供 頭金字最勝王經 王經 有 寺 レ闕 一給也謂 二云布御夢覺給之後彌堅 也本地者盧舍那佛 一每、至一月半一誦 者 卽 |故曰||東大寺| 甲戌 - 國 須 "東大寺」是也 司等宜 補 養千手經 法花經各 區,賽二宿禱 滿 帝皇 其僧 三戒羯 五位下 恒加一檢 当,仰神 机 記已文上 飛 御 尼 干 前 爱 潚 部 紀 毎

罪辜 福業 彼高明一隨二茲延請一始暢二慈悲之音 限,,七々日 故以今年正月十四日勸,請海內出家之衆於所住處 階 有::天下勢:者朕 途使上同蒙:利益 銅」而鎔、像削..大山 日,發,井大願,奉,造,盧含那佛金銅像 >治"法思"誠欲"賴"三寶之威靈| 乾坤相泰修" 萬代之 濟,勤撫,人物,雖,率土之賓已霑,,仁恕 僧, 冬十月辛巳詔曰朕以, 薄德, 忝承,, 大位, 志存,, 飨 寺讀經竟詔遣, 右大臣橋宿禰諸兄等, 就,寺慰, 勞衆 與實在: 今日 方。綿:該庶類 仰願梵字壇字皇家累、慶國土嚴淨 光明寺 |奉>設 心之難と 時名輩或 緣 宿 -是故預:知識 動殖成榮 , 粤以, 天平十五年歲次癸未十月十 殖二 至恐徒有と勞と人無…能 - 禁 萬 嗣 膺 里嘉賓僉曰::人師 ||斷殺生|及斷 ||殊勝之會||欲\為||天下之模| 諸德等或 凡厥知見可以不以慎哉三月癸卯金光明 同乘 也以,,此富勢,造,,此尊像,事也易,成 - 共致 * 菩提 』 夫有 ... 天下之富 . 三寶命一 者懇發,,至誠,各令、招 ル以構」堂廣及 非之乘 並 思以欲下宣 業 感。聖或生…誹謗, 反墮 坐"如來之座"像法 - 咸秤 食, 別於, 大養德國 ::法界: 人民 終諧:微妙之力 Ī ||國寶|所>選屈| 法 一而普天之下 康樂廣及二群 為一股知 導和 レ福宜毎日 軀 者朕也 盡」國 **杰** 民 五 未 金

賀寺始造:|盧含那佛像體骨柱-天皇親臨 有餘叉刺降二百 僧三百人命、讀,大般若 奉二置安殿一請僧二百轉讀一日戊寅難波 樂宮一比」至二朱雀門一雅樂迎奏官人迎禮引導入一宮中 十六年甲 像 朕意一焉乙酉皇帝御,紫香樂宮一為」奉、造,盧含那 司 時種 一始開三寺地 莫~因:此 々樂共四 慮 舍 ·申三月丁 那 事一侵 枝草 自 一於」是行 大寺衆僧會 當 一始建 北運,金光明寺大般若經 三損百 一把土,助,造 存 三知 經一冬十月道慈律 基法師奉二弟子一勸 念各造 姓一强令。收斂。布 識 集襯施各 花 温 嚴 像 別 含 一者念聽 供 有、差十 那 一十一月壬申 佛 手引 宮東 師 三誘衆 11 一遐邇 二之國 卒年七 其繩 二月壬辰 西樓殿請 致二紫香 如是有 J.E. 2 知 那等 子子 Ŧ 甲 佛

天皇自 Ili 袖 連 百 金里 入出 七年乙酉 一人上去持連 「家」八月庚子設! 無遮大會於大安殿 取 更移一彼 信樂宮 御 Œ 座 加 月詔以::行基法師 二御 - 車駕廻= 事 _ 九 - 創= 月癸酉天皇不豫令。京師畿內 座一公主夫人命婦采女文武 同 平 盧遮那 城 宮 為大 佛 於= 像 僧正 - 大和 天皇以 一十三日 國 幷施 官 添 諸 J. 人 等 御 那 VQ.

> 尾等神 及諸 筑紫觀世音寺,庚午收,僧玄昉 像七軀」高六尺三寸幷寫經七卷丁出平 令!! 京師 人出家, 申戌命 百人一令、讀一大般若經 名 社 Ш 及諸國 淨 處 行 寫 國 一阿倍 三 樂 二大般若經各一 所、有鷹 師 朝臣正磨奉二幣帛 悔 + 過 之 鵜 月乙卯遣 並 法 封 瓦 物 百部 放 奉ン幣が二 去 城中宮詩 - 叉造 玄昉法師 於八 度,三千八百 三 樂 幡神 智 師 茂松

皇后 袈裟,着、之尊為 與人廣成 が助 無血血 花 皇帝仁聖皇后一奏一聞公家一諸寺聽衆相 足一 恭仁宮大極殿施 十六日良辨僧正於 | 絹索院 | 奉 | 為大雄大聖天皇孝謙 教一以,慈爲,先情感寬仁事緣隱惻宜,大,,赦天下,三月 寧」宜」合二黎元 十八年丙 會二六月己亥僧正玄昉忽然登い空數丈落い地死已 准 先王之茂與是以 一骨一僧正俗姓阿刀氏靈龜二年入唐學問 三二品, 令, 着,紫袈裟, 天平七 二幸金鐘寺 戊三 一還歸賣二經論 月丁卯 利 一僧正 一人國 益 燃 仍 為冷日 薊 燈 分寺 -安.內道場 H 五千餘卷及 講に仁王 供 脚 養盧 - 冬十月 皇基永固 隆三寶 一般若 舍 祭龍. ,甲寅 諸佛 那 年隨 經一於」是伏聞 國 佛 寶胤長 共集會始 家 稍 像 天皇太 佛前 福 盛 大使多治 不亦 承天 唐大 H 九 後燃 撫 月戊 施 F 下 育 天皇 其 紫 寅 比 更 安 萬

金鐘寺及朱雀

路

燃

萬坏

天下諸國藥師

悔過

七

日

丙申

度二一百

人

此

夜於二

燭

被 并 -11-被 也 給 朝 件 行 金 天 殿 造 年戊 太 造 加 云 程 音 郡 年 I S 二七佛 12 輪 九 始 并 水 -外 天 以 THIS 1月二 從 平 勢 法 海 執 飯 华 名 高 勝 Ti 金 師 年 亥九 月 村 太 位 寶 頭 剛 今年 像 帮歎念 成學 Ŀ To 元 Ш 市市 金寶者 年大 聖 - 是依 脚 月 九 天 像 月 各 皇崩 勝 有 給 # 焉 月 皇 (神宮 從 御 九 # 地 后 一黄 田 而 急建: 勝 下 開記 之 H 九 緣 伊 年六 依 地 金 間 始 勢 爾宜 日 H 野國 是石也山 天皇不 蒙示 大 出 始 無下 iffi + 件 亦 M. 赤 東大 神 奉 來 外 儿 批 也 一伽藍 宮 可 奏 修 現 從 建 天 也記已 鑄 豫 三行 寺 禰 者 御 八 平十 塗 位 立 須 大 官 立 卽 大 文上 件 金 安 佛 Ŀ 御 伽 告云 延 佛 件 新 =如 置 藍 胂 廬 4 大 樂 年 來之由 覺 近 叉大 主首 如 舍 佛 H 降 而 師 之後 意 7 那 記 寺 修 佛 論 國 之 佛 궆

> 鎔 為二 彥 南 日 元 竭 是 鑄 天 天 也 北 奉」鑄二大佛 勑使 佛 之功 皇 佐 4 七 也 H 保 勝 4: MJ 馬 1 重 。畢八 寶 Щ 寶 守 奉 映 南 字 戶 昭 年 七 年 陵 Ŧi. 勸 四 出 畢 月 任 丙 烟 年 月 語 申 勅 國 夫 自 暗 箇 B 五. 忌於: 和 m 追 年八 甲 幡 月二 陸 彌 ŀ. 國 子 大 凰 明 號 添 、箇度 大佛 禪 神 日 國 盏 上 法 位 天皇崩 以爲 號 郡 流 也 年 始獻 殿 兆 右 四 修 域 浬 鎮守 兵衞 十九九 天 三於平 黄 洗 之號 東 鲰 金油 冬 國 四 督 城宮 曲 押 段 藤 勞 御齋 Ż 西 原朝 開 月 之改 大 年 1111 七 # m 會 佛 M Ŧi. 臣 MI 不

月 或 八 H 記云 H 受一菩薩 天 平 -11-戒 年 戊子 勝 Ī 月 以一行 八 日 大 基 皇 华 為 后 御 戒 出家 師 20

云

后

十二町月 皇 太后 守十 卢九 五日 烟土 原 國品於二戒壇院 修工子崩平城宮佐保山 千 夫人,贈正一 位 7等之女也 7天皇郎 也 此勝為 七大

皇后 皇即 藤 四年六 原 阿 位 神龜 光 烟段 明 南 添上郡 子女 兆也 為也

戶 位 石 'nſ 大 蘕 資 神 龜 七月

降

諸國

居

分

講

最

勝

 \pm

是欲

使 I

佛

之妙

驗 於

茶

天

神

之厚

就

及

兆 經

R

之故

也

年

將

畢

至 Ξ

天 光

45

護

年

秋 法

月 波

發

二常

願

旨

於

道

諸

域

建 卽

金

朋

國

花

罪 更

伽

藍

八

簡

+

藤原氏 贈太政大臣武智麿女縣大養廣刀自 讚岐守從五位上席女寶字六年十月薨

皇子 藤原氏贈太政大臣房前之女天平廿年六月薨彼大藤原氏贈太政大臣房前之女天平廿年六月薨彼大藤原氏贈太政大臣武智麿女

里太子母光明大夫人也神绝四年丁卯閏九月生爲;皇 上太子母光明大夫人也神绝四年丁卯閏九月生爲;皇

阿陪內親王母同上

皇子女積親王母夫人廣刀自天平十六

皇女井 不 破 內 上齋 親 Ŧ 河母 內 繼同 親 。謀反,移配,淡路國,十四年十二月移配,和泉國,上初被、創、籍後復,本位,後又依,男因幡守水上。' : 和國字智郡兆城,東西十町南北七町守戸一 同 Ŀ 延 曆 九年 七 月 一稱 皇后 -陸 戶一烟

延曆僧錄文

諦 黔首 寫二 福 稽二首十 以言 法 天平十三 H 一帝皇 金 天下 勝 機 光 雙行 福 寶 同 皆是諸 阴 方三世 一年歲 諸國各分二 在二奈 感 赤 皇輪 最 神 子 次次 聖 勝 北馬 諸 佛 良 武 Ŧ 辛巳春二 佛 歸 朝 佛 自 輪齊 經 皇 敬造 法僧 が佛 廷御字 - 受: 佛 + 古諸 帝 添り 轉 菩薩 部 發願 恭二敬 月十 金 佛 玄法名 住 [-傳 光 掌 囑 僧 應 朕 明 四 作 \equiv 一弘〉法理と # 天命 以 廣 M 日 が常 勝 寶 為二 人施 御 天 滿 苦隆 欽若保、命無 聖 T 願 Ŧ 於 蒼 武 文 三.樂 護 食粉 生 造戒弟子 順三人 民 皇 十二月二日 國 師 帝 故 漏 之僧寺 水 :菩薩 寺」以二 經 求 Ĭ 田 沙 云 =育 + 彌 物 真

之靈識 四 共出 」國 聖朝二 岸一 皇后 帝 地 聖 長 勝 HT 不、變乃聽、入、道 已上 尊靈 法 法 十人度尼六百廿 痈 寺 并 者 此 藤 之盛 門與隆 藤 二 庭籠 派 相共宜 句 於 即僧 紹一父祖之名 一及見在子 寫 乃至自 原 恒 長 共 原皇帝子以 氏 以下 至1月 奉 幸 相 與 妙 部 其 尼寺合 先後太 二先帝二 可又每 至天 三珠 寺 若 和 受教 ン古 道進花 順 有= 林 地 孫 华 聽 恒 一談欲 -: : iii 俱 Ë 、政大臣 命三 寺 戒 後代 入 而陪 下 同 將 īfii 經 百 廣 因 |來至||於 淨人 男女三 親王 永 其 遊 重 叉造: 三福 三戒 宁宣湯 精進 公治二群 + = 此 # 聖 三寶 流擁 僧 部 寶 遊淨土 慶 羯 四 及皇后 主 大 塔 福 尼 練行 磨 刹 永 所 住 金字 賢 臣等 護 生 今日,身為二大 毎 各繼 諸 聖旨 尼十 之思 六 百八八 卿 叉 護 區 其 或 通 先 十二 長 人宛 同 願 = 國 住 金光明 各 二不同 别 承 = 前 人施 該 顧 妣 太 被 負 日 造二 僧 家 寫 從 必 區度僧 庶 範 Ŀ 上此 僧 尼 敦 H 成 幽 後代 應 法花 品 堅守 皇 開 金 營勞 取 六十二部 水 此 明 失 福 臣 位 太 |同 闢 稱 字 轉三讀最勝 田 願 民 橘 墜 75 滅 上 旦 而 期 俱 解二愛網 - 君 竭い忠 而 千二百 皇后 蛇 降 男 罪 E 至 光 到三 所 + 常 一始終 坤 夫 滿 女十 之尼 明 臣 田 塔 HT 人 彼 太 先 增 最 天

東 部 别 跌坐高 自 分 長三 丈五. 御 五 至 眉 Ŀ 部 眉 尺 八 長 蓮 徑 Ŧī. 花藏世 前 掌 尺御 丈二 間 九 至 發 叉 丈 長 尺 徑 寸 願 四 尺四 間長 六 髻 御 所 尺五 一丈九 尺 界 丈六 4 目 願物 七 盧含 造置 御 寸完髻高 間 4 尺 尺 丈九 寸 I 光 尺九 中 足 長 人中長八 那 朋 尺六寸自 已成 心長 分 八尺五 佛 指 尺 御 長 三尺 肱 就 百 叉造: 眉 $\exists i$. 至 又於 11. 寸 一分 自 丈二 尺 長 7 部 中 腕 五. $\overline{\mathcal{H}}$ 御 御 目 盧舍那 髻際 法 尺 眉 尺 分 脛 長 不 一金鐘 花 厚 長 四 御 間 丈五. 寸 眉 七 至 佛像 尼 尺 寺 丈 尺 近 徑 頂 寸 尺 分 九 百 自 御 御 4 4 #

御 九 兩 右 兩 斤 占 白 御 九 別十一両 斤 鑄 兩 四 寶始 萬 夏元天 歲正月,秦 五. 萬 十十月廿四日 一平十九年九月 百 寸長 一等。 九 四 ^位六寸二 百 用 + 所 - 合力 尺 用 銅 用 用 也 也 八箇 簡目 厅型熟 并 度所用 白 置度所 鐫 銅 九 千三 如 卅 用 萬 前 合 九 百 萬 四 + 千 四 萬 斤 册

> 右 始 如 勝 件 寶 元 年 + 月 汽 年 月一 奉 鑄 御 螺

塗練 19 干 盲 八 + 七 兩 分 四 錄 為 减 金 萬 五 百 册

右具奉」途,,御躰,如,任

四

寸基 御 九 座 F 高 # 座 丈之 敷 \equiv 六丈 九 八尺 中 尺 十立 八花 周 册 E 校四 重 九 周 白 丈 -11-石 Ħ. 百 丈四 高 尺 人 尺 尺 枚 下 中 及花 階 周 -含 世 花 九 上 丈 鐸 $\pm i$ 枚 周 尺 管 册 七

周 高 高 以 衣 四 前 萬 廊 五 百 合 遠 天 火二 立 -11-居 領 院堂 利門 振 部 F 座 丈 歲 九 飲 左 殿 斤 劔 尺 僧 閣 樓 箕 右 月 九 折. 萬 佛 兩 $\overline{\mathcal{H}}$ 以 身圓 口 息叉塔二區 傪 屋 侍 往 白 座 西 菩薩 行事 事 講 五 高 石 銅 八丈躰 敷徑四 堂 百 K 杖 周 及 且 六十 食 百 水八 千 四 匝 尺十 重 各七 具,食邑 天 流 廳 注 + 九 尺 萬鈞三下 、渠走 王 尺 坊 南 如 匹 周 戒 且 像所 北 斤 級 五尺金銅 前 水 院 宛 度 水 匝 佛殿 僧 住 銅 田 僧 竟過十 供 房 兩 # 佛 花 萬 靜 僧 殿 人 £ 平荷 造寺 字 高 萬 造 鑄 + 華 + 成 四 Ш 飨 無 居 五. 別 华 壯 丈 九 禪 白 間

新羅 寶 玄 堂 莊 處 儀 仍差: 金 地水 方黄 ン金氏 造二等身銀 窓 遍 講 而 子之國 一觀二其 塵唐 琉 使之上 神 金 料 閻浮 九經三史一架別 至 少 ン金 廿五 至一彼 盟 Ш 存 高 僧 施心金遂 主 燭 Ш 沈 像 提 地 御 本 都 (使臣 開 由 叉勍 - 後元 里 披 111 披 夕 癜 取 御 良辨及 元 海 旬 菩薩 四方 座 一越揖 天地 海 上,高廿 R 命 西 十六萬 利 日 莊 曲 坠 莊 教 F Ŀ 方自 拜朝 及 各 施 佐 奥 嚴 ·有II巨 -校 一發使 積 殿 朝 諸 有レ 國 有人異即代 有 一伯宿 高 117 御 衝一領1日 載 贵 國 初 賀 銀)勝= 二一寶山 供 $\ddot{\pi}$ -11-座 題 吉祥 金於 厨 鳌 禮 E 入」唐 山 曲 $\dot{\mathcal{H}}$ 廊 教嚴 平 厨 館 H 由 高廣 = 一戴以 今毛人 旬 應道 由 加二號日 刺 武 陸 君主 悔 別 旬 本使一 使 此 旬 -與"閻 麗殊 次 海 11. 殿 過 龜 倍= 命 南 逢 皇帝 70 至 地 E 天 金 敦 至::長安 日本 命 寶 Ш 方 紀 銅 癥 F 凾 於二 本 勝 荻 殿 浮提 御 高 造 然菩薩化 11 野 ·安居 云彼國 龕 盈 虚 碼 於 披老 府 使 爲二 11 单 御座 稲 凾 含 谷 Ш 前 老處 皆 滿 Ħ. 庫 别 那 從 爲 E 又 tli 印 有義 拜朝 君 th 以 四 加加 有 當 造 佛 四 刚 之敎 子 北 金 旬 12 於二 鎮 初 賢 常 禮 叉 出 方 剛 北 像 不

環 盛 戒 和上 月 寶六 請二 牒淮 照 途遙 書監 祿 大使 花 営 使 沉 Ŧi. 有 月 派々特差 勝 水 大 義 否 申 靈。雲字 念珠 五 後為 楊洲 年二 各有二 帖 寶 夫 藤 及 禮 登壇 言 -御 漲 大 潘 感 衞 光 原清 小 儀 H 座 戴 海 和 龍 神 月 所 禄 僧 尉 下 君 及 沙爾 寬 鴻 受证井 與寺鑒真和 平 四 寶 都 致 非 卯 卿 子 條 间 案經 三秋 資 一般僧 鵬 日 使 良辨 武皇帝於 使臣 樹 Ξ 澄 副 珠 大 二特 H 右 斗 修等 戒 至 俗 衝 使 架寶莊 地 魏 卽 卿 大使 及 軍 聖 地 言備 皇 歸帆 進 慧! 等致設 貢!如 方 蔣 天中 佐 皆 真跡 Ŀ 進如 17 朝,刺 挑 副 太后皇太 ··盧舍那佛前 伯 受い戒此及 副 駃 朝 節 砌 紅 等 捥 嘉 使影 今毛 使大伴宿 以 來舍利 行 也 臣 蓝 頗 渡海 法 會朝 葉二十蓝 夕殿 三文章 開 書 安 真 語路工 梨寶莊 供 送至:楊洲 於 猫 元皇帝御製詩 給 - 將>傳:戒 子 一置東大 爾 、共進 二十粒 拜 帖 傳 並 因聲彼君 餘懷、義遠矜 藩 禰 其 送= 小 天皇 珉 戒 隨 飾 胡 皇帝 藏 殿 王 內 海 美 寺 應拜 事 遭 F 樹 話 獻 斯 疊 光 西 非請 者 花 圓 皇 其 叉勍 律 之眞 子王 卽 禄 國 至 取 p 自: 大 木 共 使 爾畏= = |-摸 Till Till 送遣 年 發別 夫 共 驗 瑶 面 非 勝 私 木 心 k 勝 瓶 年 順. 09 玉

於 威靈 於佛 軒 夢礼花 勵疏 六龍威御八 貺 師 日就 平 臺 蓮於淨國 、家為、國志康雷雨之長翼、聖承、天果就,經論 前 城宮一矣錄文 批 - 乖:無疆之福 E 罕逢 岳 義 天平 m 鎮 記 矣僧 辰 Ŀ 表惟 國 景福 仁政 錄 天受 雄圖 「昇萬 当 TL 珠契 場成記三本 慶莫我烈聖憑 This. 卷 法 僧 於仙鶴 皇后克纂n洪 握鏡 (進即傳) 祐 德長綿莫〉攀 レ道獲 勝寶 垂仁懸 大明 八 傳 道宣 一大寶 德副 歲 一大照 助:天皇井之揚化 福 兹金地-斯斯 々次丙申五月二日 三雲駕 律 不垂 三乾坤 於春 正 師 彌迦藏 因 行 m 池 而未 百 妙 事 下燭歎流 神 朋 《本叉 裕二 薬 抄六 學 H 均二 贊 不盡之 沙 朱 陣 水隔 二聖武 日 功克 拱代 門 大 崩 開 月 法 疊

孝謙天皇諱阿倍 高野姬天皇

明 平 十 Ī: 皇后之子 年 城宮御 治 11 天下 七月二 正 月 工工午 字 日 也飯高 平 + 甲 為 亭 ご 皇太 午 车 天皇治 稱德孝謙皇帝者 垩 本 平 · 感寶 禪郎 子一時 中 天下養老 位 年 同 年廿 四 年. 年 月 卅二 則 二年戊午 自 月 也 聖 4 天 武天 陸 日 平 刚 天 (皇之 國 月 勝 誕 皇 大常 資元 生 卽 天 會 年 平

於三八 始補 之間 大佛 寺隆 和 朝臣 爲 レ肥豊 生馬 經 法 幸是日施,東大寺封 音 改 釜. 濟智鳳之弟子也是文殊之化身也 上天皇行 於 Bili 國 虚空藏二井像一叉 三文殊 感 利生-鎮護國家之洪基 尊任 任 四 御 社 Ш 智慶俊等-上宮,三箇 金 ..東大寺別當 代建二 寶 女其與紫色 一月九 螺 石 光 入滅 僧 髻 為...天 納 :幸東大 明 託!生 自二天丛 律 IE 日儲 寺 畢 = Ĭ 生年 罪 師 封 為 应 平 安居 日 用 二大會一奉二開眼 自由 拜= H (寺-年 车 三聽衆 問答析 三 到: 勝 -八 八十弟子 本國 四千烟 鐵 寶 干 一十二月 法會 月二 四 東大 諸國 勝寶元年- 迄三三年六月-一月十 귶 元 月 造大佛 千 也 五臺山 年 百 日請 寺一 行基是也云々二月廿二 八 置二講道 奴 微以 講= 四 斤 Ŧi. 三千 戶 H 百 H 以 年 丁亥大 天皇太上 始奉 法花 月 殿 人二年二 律 大佛始 五 四 九 二輪達弘明玄智正 南 老翁逢 去大 師隆 月 月 驱 師 百 月一日 天竺婆 最 日 世 四 神 四 九人 勝 奉 大 大 尊 H 定 一天皇太 心宫爾宜 月 兩 レ道告 天寶元 鑄 沙塗 月壬午益 僧 **強門** 今清記花 少僧 世二 日 日 佛 大 部 :東大 IE 南 『殿挾士 九旬 僧 一金末 妙 奉ン鑄 天丛 尼大 都 H 僧 E 辿 年 基 良 元 日 文 IE 非 永 畢 興 行 太 歲

而已和 那佛 盧 五 前 后 年 國 法人,本國 叡 請, 變眞和上, 登壇受, 井戒, 變真即任,少僧都 寺一郎介公 耳爱思託等 惠思爾 足 温泉太子 ·甲午 下云 日被 普 日 1行1授戒 L 始行 那殿 日 鍾此 六月辛卯 4 fili ン下: 戒壇院建立宣旨 七年乙 一授戒 一人受言 前 同 月 託 城 行道法一四 晋聖 受证 忌 生生 四 日 後太上天皇 九月戒 廿一人願: 之國 太上天皇十八種物令 日 是為法 和 - 願大和 德 流 蒯 太政官處分太上天皇 和 也 以 國王 鑒真任,,大僧都,八年丙 太子 戒一次沙彌 命 性命雖、存安達二遠境一是故 Ŀ 我 -國 壇院造星 月五日太上天皇於,直 初 也何 同 日 子」與二隆佛法一濟二度衆 Ŀ 日二百年後如來戒律與二於 至 家種 崩六月廿一 至11日本1 同心去: 本國 法 東遊 节 惜:身命 州 々珍寶等 四百四十餘人 誰應:遠請 興火化 雖 大 要約 レ有ニ 朋 儒: 齊會 寺 日 聖朝 一諸人不と 大和上云昔 唐 供御米鹽之類 已畢天平勝寶 今帝陛 未於二盧含那 禮三大 僧 其 一衆僧默 刺安」置東大 法 作 ジ供 申 授レ飛 含那佛 供 去我 和 To 鍻 四月於二 養 聞 111 1 4: 111 同 卽 日 五 南 ン對 前 誠 舍 佛 月 太 去 岳 本 傳 真

下各 光明禮 道瑭終 上天皇 以為言 年 レ宛: 大 Ξ 和 居 行 其天 七月 河 願造,,七尺金銅四天王像, 兼立,,伽藍; 入滅 二年戊戌八 造.大佛殿四天王像 重 尙 國 會料-七年五 "授戏一六年詔"良辨僧 日下三勅於下野 藥師 小 十一月廿三日 置:根: 立 溪北 下諸國 閨 益 唐 戒 高春秋五十有九六月七日乙丑天平仁政皇后 塔一 三西隆 四 頭 拜供養又於,諸寺僧,始授,滿位, - 建: 招提寺: 四年庚子 二月 廿五 和 詔皇 院一个招提寺 月十八日隆尊律師遷化年 那 本慈心 £ 供事官人已下仕丁已上一 百萬基 毎 月一日庚子禪 人 鑒 寺 太后 金剛 シ國 直 月六日 鑒真 別院 禪 相 奉 七々 勅施□ 鑒眞和 九獻 師 輪六度等陀羅尼 又緣 高各四寸五 造山阿 三年 法 是也 寺筑 日齊 **禁二** 正一永納 二兵革事. 乃 ·位年四十一五月廿七日 成 彌陀淨土經 并施 入滅 紫觀 ·於東大寺·
弁京 月 三日 八年 分徑三寸 五分露盤之 一封戶五 世音寺-我 上新田 173 備前 $\dot{\Xi}$ 寫 改二 ·鑒真和· 百五 九月十一 -一發三弘願 西大寺是 供 是功畢分: - 谷 元天平實字元 五 養 部 十七人館一各 水 H 五年 於 同 九 親王 烟 E 田 菩提僧 年 師 日 奉為 一个>造 心實忠 ·正月廿 日大發 為: 安 諸 大安寺 舊宅 戒壇 分1金 百 置 小 月 町 寺

年五. 三町守戶五烟矣 四十八在位 有、差禪、位 十三陵高野在一大和國添下郡兆城一東西五町南 後 五年寶龜元年庚戌八月四日辛巳崩,,西宫, 六年天平 裥 護元 年乙巳正 月重 卽 位 時 北 年

泉書ラ

真有,,本意,,重奏,,公家,,并戒始行 年壬寅天台傳敎大師可,立,,戒壇,之由奏,,聞公家, 年壬寅天台傳敎大師可,立,,戒壇,之由奏,,聞公家, 東大寺慶修和上戒壇建立之後及,,七十年,弘仁十二

惠運僧都記錄文

名利之貪,都無,護法之志,是故東大寺所、授之戒偏情,并用、心者也今世之人而柔口柔故自是非、他唯有,后,于那、心者也今世之人而柔口柔故自是非、他唯有,后,并用、心者也今世之人而柔口柔故自是非、他唯有,后大戒不,必小乘戒,任,受者意樂,有,大小別,也合下丘大戒不,必小乘戒,任,受者意樂,有,大小別,也合下重延曆寺,鞠,進皇太后,令、受,大乘戒,赐麥貧道啓此五月世五日啓奉、合,教授阿闍梨,也

本覺北御息所初法諱法忍受,戒之日改為,,空性,云々太覺北御息所初法諱法忍受,戒之日改為,,空性,云々大使御令御先倉人 菅原町為、首五十餘人皇太后法諱傳元節,凍或聖八奉、加,,被殿下,又諸寺僧尼進啓奉,賀慶下受,,此丘尼大戒,賜者清遅之戒深重與隆天下緇徒殿下受,,此丘尼大戒,賜者清遅之戒深重與隆天下緇徒殿下受,,此丘尼大戒,賜右大臣女二人傳戒師於五條宮,以受,,此丘尼大戒,賜右大臣女二人傳戒師於五條宮,以受,,此丘尼大戒,賜右大臣女二人傳戒師於五條宮,以受,,此丘尼大戒,賜右大臣女二人傳戒師於五條宮,以受,,此丘尼大戒,賜右大臣女二人傳戒師於五條宮,以受,,此丘尼大戒,賜右大臣女二人傳戒師於五條宮,以受,,就之日改為,,空性,云々本覺北御息所初法諱法忍受,戒之日改為,,空性,云々本覺北御息所初法諱法忍受,戒之日改為,,空性,云々

裏書云

藤原氏,即兒屋命第廿三代之孫也云々 天智天皇八年十月內大臣中臣連鎌子 蘇起改姓 為

下ノ楷模後世ノ領袖 年秋八月詔曰藤原朝 臣之姓宜、今n其子不比等承b之年秋八月詔曰藤原朝 臣之姓宜、今n其子不比等承b之無記云內大臣改姓之日同弟共為n藤原氏,文武天皇二

延曆僧錄文

仁政皇后菩薩諱安宿媛尊號天平應異仁政天皇

出家尼名光明子沙彌

皇后俗姓藤原朝臣氏父贈一位太政大臣藤原朝臣史氏

政皇后 之衆 海岸 積 飾 就 良 坐」軒 之册 當 淨 於 花 寺 剛 赤 從一大 之女 月 Ħî 道 辨 殿 梵 慶 曾 斷 Ï 於 助 致 未 之嫫別 樹 庭 贊 佐 前 為 /唐/得 是說 轅 兩 膳 國 伯今毛 三成 后 勝 Ŧ 風 圍 直 蛇雪 行 勝 法 宣 商 能 仙 般 19 羅 康 畢 能 號 眞 干 以 有二 爲 k 三稱 人 事 雲於 召二請 二昇中 梵各 起 燭 三天平 圃 一應供 鳳 m 振 二萬 用 地 竹 咖 皇夜克」日 權 更 刹 黄 尺 花 林 皇后 馬唯 於稱 聖 步引 落 疃 時 施 33 物母心心 - 所以皇后 於淨居。 雲之覆 猠 亡 納 在慮情 梵 武 冰 不 幡 天花 龍泉之延 一政皇后 衣 稱 五事之良田 尺-又 招 三蘭質 刷 待二人事 究 一鏗 尺 入 造 二 帝 二靈之所 竟 各赴…東大 明二法鏡 チャ 日 生鳉警錫 太后 Ż 在 故 前 峯 非 於 福 入が市 香 金 體約 後 能 后 時 慈風 八久名 一殿陵 善 一廊 地以下 山 河,下及 温積と 光 涉 也 韶 H 會 寺 11元后 教工人 皇 ---耀 布 俱持二具葉,競 明順靈標 木 - 齊 坐獻 金堂 非焚香 雲妙 前召11別當 無 伏 煙 后 流 未 聖 Da 小子天 兼 願 ħ 花 E ン行言 狂. (用)稱 武 廂 二龍 助二 室 天下 道 勝 賓 萬計 閣 皇帝 佛 超二六銖 室 皇忌日 滿 用接 Ŧ 雙 珠 異群曾 卽 端 事 渡海文 稱 諮 井 闸 修 厨 少僧 莊 先東 盟 天 形 尺 營 遙 三著 還 演 瓊 二嚴 嚴 平 妙 國 父 吞 貫 於 香 將 提 柯 都 大 金 風 日 納 入

伏

刧

श्रीकृ 生死 法身-皇后 他 立無樂 存 云施 二膺 東 行二井行 東 流 會一悲敬 樂至:末劫 西 儿 西 取 院 和上鑒真 専レ 體敬 相 H 樓 渡二人 一給三諸 利 對 佛 挾 爲」己皇后以 供 高二一 請二上名 影 殿 有情 三田 養正 天」具 帶 一受戏 時一不入逢一疫病 病苦 左 鐘口 界盡 興 行 右 置 德 1,皇 供養三輪 佛 危 涅 我 非 建三 三勝 后 住 淨 舰 願 戒 一、槃岸 士 又 僧 虚 (井行 寶六年 乃休 寶 拾 百 七 敞 乘 清 却 施食 餘 軀 雅 具 料料 教 願 淨 僧 灑 詩 善善 供 政皇后 於 四 無 房 難 卽 一希 不壞 毎 不二自資 張 東 在 名 不上逢 年 蘭 殿 大 皇 求 又 受戒 食料皇后 1 信 寺 后 敘 派 三飢 惟 二流 二六宗 大 义 網 修修 --造 為 佛 饉却 造 未來 塔 Ħ. 師 前 利 义

品

是

天平 大哉 仁 解 政皇后禀...天 脫 無 相 聽 福 淑 H 衣 靜 履 被奉 111 閑 加 育 戒 聖 行 遊 廣 感 利 諸 天

葛覃 **参**撥 之飛 日 X 女銀文上 一套駕 流 亂 電 一識 德 Ŀ 窥 僧 超 杉木 微 昇 一父母 閣 成 官 垂 ン竅晃二弱 シ芳 長寂清徽自 道 趿 而 三已哉自 堯門 山之紫雲 遠豊留二金板 豊 天 伊 一是乃 4 翟 寶 有ン障 字其年六月 乘 讚 趴 與三王 蹟 台 ル度

根本僧正諱良辨

天平察寶三年任 少曾邵 弄六十三司六千十月十三日僧正弟子金鷲井是也天平五年建,金鐘寺,僧正者相摸國人滦部氏持統天皇治三年己丑誕生義淵

寶龜四年補,,僧正,每八十五同年閏十一月十六日入滅同衆,,法務,增供養賞。同八年任,,大僧都,每六十八天平勝寶三年任,,少僧都,每六十三同六年十月十三日天平勝寶三年任,,少僧都,每六十三同六年十月十三日

十九日拾|遺骨|送||宇多郡賀幡山|云々

又相傳云良辨僧正彌勒井之化身云々見,,八嶋寺記,取未、知,,行方,依、之父母大歎流,,浪諸國,而件兒被、取未、知,行方,依、之父母大歎流,,浪諸國,而件兒被大下, 其時彼父母蕁來陳,,此由,先問,,身驗, 脇下有、驗子寺, 其時彼父母蕁來陳,,此由,先問,,身驗, 脇下有、驗子子, 悲喜滿、胸啼淚潸然云々

法花會緣起見"觀音化身,之由

云

聲秀,當時,特任,伽藍別當,欲,德讓 5前後專為, 寺家九屬親愛,練,行禪林, 長交, 六和尊衆,研,專惠業,德法花會緣起云敬惟僧正院下佛 法棟梁釋門 捆樞幼離,

東

大寺

要錄卷第

外隨,四時八節,住,持伽藍,忘,勞供,衆僧,之禮全如下 統 時緩急唯人德耳已上 少同讚,大能,學國給年此寺豐饒諸家借求此寺行散非 珍之貯溢、藏殘",庄家,見聞之道俗俱陳",隨喜,往還老 有"親陳」哉所以六宗三學之士滿、寺餘,, 僧房, 五穀八 孝,二親,給,淨人之宸齋如,一子,心無,愛憎,也非 領 一側 聞操 行作 業內修二六度四 攝 希三願 妙覺 無」眼

承和十三年

裏書云

二支廠兩目盲之類名,篇疾,私云廢疾篇疾有、權也 髮症侏儒腰脊折一支之類為. 廢疾

新禪院本云 以以慈恩院法印御本一合之書,寫之一显 仁治二年九月十九日於二東大寺千手院 三輪眞言無學沙門阿闍梨寬樂別

東大寺要錄卷第二

給了仍和卿發」善願「永以寄」付淨土堂領」矣、天大和尚工朱人陳和卿」之日右大將家同以、次令、去」進地頭「 右大將家知行 伊賀國阿 .波廣瀨山田有.,丸庄者,為,,平家沒官之地,前 而依二 後白河院勅命一被以賜二當寺惣大

文案如此任 東大寺衆徒訴申伊院宣案 東一給」者依二 □道理一可>令□成敗一之由可下 御氣色,執啓如、件 賀國 [11] 波廣 瀬 兩 庄 地 分 頭 職事能狀 ン仰」遺關

二月十日

宗

行奉

東大寺衆徒申伊賀國
「大夫請文 大將殿

者,候也以,此旨,可,合,披露,給,候義時恐惶謹言 之旨,令、停,,上廣綱地頭職,候了下知狀可、被、付,,使 阿波廣瀬 庄事任: 院宣幷寺解

東大寺衆 徒申阿波廣右大將書狀案 四月十七日 、此停二上地頭,之條神妙候可下分、計一披露一給」謹言 瀨庄地頭 間事義時朝 臣請文如 右京權大夫平在判上

右 大 將在外

建

人元

车

月

日

主典

安倍

朝

在判

中 納

阿波廣瀨 分 停 =]<u>|</u> 地 庄 地 頭 頭事 存= 義時朝臣 其 旨 可下令二下 請文井 知 右 大將 給上 一書狀如 者依 ル此

月 日 宣

達

如一件

在 判

下二 伊第倉殿御下 右件所依以為,沒官 止 11: 地 頭 職事 伊賀國山田郡內有丸幷廣瀨阿波杣山,可"早停,下文案市大將賴朝東大寺別當法印御房 一也早可」為 宗宋 地 趾趾 人進上,之狀付、使以下 補 地地 頭 - 依 院宣,所、停

久元年十二月十二日 此狀端在出

右

中

辨

李

朝

院廳下二 伊賀國 |在廳官人等|

可四早介加 杣山,事 東大寺宋人知二行山田郡內有九廣瀬 如 波

所、仰如、件在廳官人等宜承知不、可,違失,故下 申 右件村々為 成下賜 一沒官之地 ||彼家||下文』畢者可>令||彼 前 右 大將 源 卿 宋 知 行而 人知行 宋 人依=

> 別當 大藏卿 播 修 右 右 叁議造東 中 中 左中辨藤 納 納 大納 磨 右 京 少辨爺 理大夫兼 大 言藤 大臣 守 言兼右 人夫無因 高 兼 原朝 左 藤原 原朝 階 大寺長官左 藤原朝 中 衙門 內藏 衞 朝 宮 亮備 臣 臣判 幡 PH 臣 朝 權守 權 督 臣外 臣 判 頭 藤原 佐 藤 中 大辨 藤 權 藤 原朝臣 朝 原 原朝臣判 守 勘解 丰川 美濃守藤原朝 朝臣 調 藤 臣 官代備後守藤原朝臣判 岐權 原 剉 由 朝臣 判 攝 次官藤 津守藤 守 藤原朝 原朝 臣判 派原朝臣 臣判 臣 判

播磨 交之 供 佛 陀 僧 進 佛 方 篇之初」可以見い之 止 使 申 國 大 -和卿 逐申 部庄者往古寺領也然而 打,,四至膀示,已後專為 後白河院 宛 賜 同以寄,附大佛,御領 官符 一宛二募諸供 和 卿 廢到 卽 析一了後官符手載 成一下宣旨 向 年尚 圓之地 **秀三南無河彌陀** 而 南 |更無|相 一被公 無 河 差: 彌

大寺 要 錄 卷 第

四 證文.去口 至 防 膀 國 椹 示了近 野庄 口年奏公家 者雖以 日申二下官府 為 一之日任」舊 產 寺 宛 领 置置 顛 大佛 被 倒 與立 而 殿顯密供 年 次 之即被私 八个以 料 三天 一矣 李

於三開 攝 、爲…當寺之進止,之由被…奏聞.了 之間或被以韓三記 津 國 發地 長 洲 - 鴨社 庄 録所 k 司等去建保之比致,,濫訴,,驚,上 本 願 或被 刺 施 >問::三大臣: 公群臣皆可 2 地當寺 根 本 領 也 一聞 而

乱 東大寺相論 長渚 開 一發 事

鴨社 ル非い 平施 嘉承 右 之由文書中無一所見一之故 | 觸 | 國司 件: 鵈 有,,墾開之志,者可,,諸寺家,將存,,公領之由,可、為,開發主,之由見,,記錄所勅文, 此事如 無一不審一用拾之間宜」在一聖斷 徐町之外可、非,寺領一敷 [入之跡] 且任] 元永勘注之旨 地可以為!! 東大寺 宣旨承安祐季請文 等已以炳焉歟然者 |自由之勤專背||格條| 者歟鴨社 領 - 之條應德皇后宮職相傳 心也但 減前 如 三康 1可2有11其沙 リニ 施 和宣下- 者務名庄 入町段-之條雖 此 可以領 趣可 且 汰 田田 專: - 歟抑 者 何社 之狀 地 天

> 聞 之狀 如 件

右秦本 辨率 六月廿 相 殿 H

右 大 臣 在判

開 東大寺三綱與 發田 鴨御 社之司 相= 論攝 津 國 長洲 御 厨

為山地 止 由 右 義一理致猶相乖歟以,此等趣,宜,被,洩奏,之狀如,件 地子,不,,進止, 裁為,,町段,之中者非 頗有,其謂,歟但如,記錄所勘申,任,格文,以,開墾人 請文炳焉故 者寺領之條 被少葬一披子細 - 飲抑猪名庄中他 見…彼解狀」然者於 如三兩方申 主社 無具儀一軟度々宣旨皇后宮放券文社司等 司 11 狀一者件御厨雖為一社家進止 已開發始雖」加二 海濱已為,,町段限,於,,官物,者辨,,寺家 也 所古作 記錄所勘狀之趣亦雖 二加徵以下雜事 多相交云 制止 ~者 少無二不審 々寺家雖と 後亦寺家許諾之 可以為二社家進 レ為! 折中之 於 一數猶 取二加 主 可

左大辨殿

六月宣

Ī

日

右

大

臣在判

追 禮希云 k

前左大臣書繼狀 記 錄所勘狀幷調度文書等返制」之兩方之

い所い争歟其上不と 歟 〉開,田古地,者先就 加,,功營,社家可、為,,地主,之旨載,,勘狀,弘仁格云 理致,數愚意之所存如、之仍言上如、件 地賜,本所,之條是隼的軟仍件開發寺家進止旁不、背 家云々是合條之所、判也此所雖、無,侵食之儀,新出之 之為、水侵食之所不」依, 舊派, 以, 新出之地, 被, 侵之 町段之間 从其間子 |寺家可,,進退,之條叶,,道理,數而雖,為,,寺領 見 二押領一背二格府 了記錄所勘狀 ||聊雖\有||不審||海濱為|| 寺領||之條社家素無 細 不、能,具記,所詮東大寺所、進證文四至 可、加:吹毛之難,乎然者於:開發之 之旨,仍難,許,地主之義 レ國申請然後開レ之云々今之所為 但勘文之旨 歸 始終 頗不二一 - 者也加 法講 意 為

此勘狀 建保五年 記錄所勘狀云々 在

41

寺よりとり申て候とてへたうそう上の御はうの御ふの事とものりとかやをさくゐなくて候へしとて東大於關東,之處二品家者進,地頭職於東大寺,之上不,可於關東,之處二品家者進,地頭職於東大寺,之上不,可去建曆之比みの、國大井庄下司職相論之時申,子細去建曆之比みの、國大井庄下司職相論之時申,子細去

の御 みま あまこせんよりおほせくたされて候 候なりひきのは もたうりにまかせて御せいは のりも又みてらのくたしふみを給 まいらせたれは 建曆 ζ 5 b たしふみ給は | 元年 7 候 その むくわんかとき地頭をさりて御てら これに 御返事 りたりとてしらん には ては御さた候ましきよし いにて候 あ まの カコ たに あれ と申候 あなかしく へきよし ひろもと はいつ \$ とも てら を n

御房,御返事合,早可以申,,寺家,之狀依以仰執達如以件遺候於,,寺家,任,,道理,可以有,,裁許,之由被以中,,僧正東大寺領美濃國大井庄下司職事折紙刻購御覽之後返東大寺領美濃國大井庄下司職事折紙刻購御覽之後返

五月廿四日

大井尼上二

散 位在判

返事 等賜三教圓 レ存…御成敗 申 所"被"仰下,候"大井御庄下司之間 .披露一行俊恐惶言 入候處件庄於: 地頭職 者令: 去申給 ,幷御乳母申狀大膳大夫之許へ內 候了其間 | 候可\為..京都御沙汰| 之由被||仰下||丁御 子細教圖定 申 Ė 事口支申之旨委 k 候歟此旨可ゝ有 御 了仍兩 尋候御返事 方不

+=

五月廿二日

左兵衞尉行俊

東大寺

注進 寺領役夫工免除證文事

0 國大井庄 一造部 兩庄克除 宣旨 四通之內

天永三年二月七日 件兩庄役夫工無,前跡,宜、從,停止,之由

涌

通 國司幷造宮使等號,,役夫工代,所,,押取,大井庄 宣旨

誦 宣旨 件所,押取,大井庄物令,作取,使,,早返行,之由

永久三年三月十一日

永久四壬年正月十六日

通 卷二枚伊賀國黑田庄役夫工 免除 役夫工代·責取雜物。事 應,任,先 宣旨,遣,官使, 慥返,償號,大井 宣旨 宣旨幷奉 行辨請 年六月十八日

卷三枚六箇寺領役夫工発除 伊 所謂みの國大井庄茜部兩庄 賀國黑田 薦生 官旨嘉愿元八月廿三 玉龍

永久二年八月廿六日

攝津國 山 城國 猪名 玉 井 水成瀬 泉 木津 兩 木屋所 庄

丹波國 後河 庄

越中國 入善庄 等也

卷六通同年寺領役夫工免除之間御教書奉 越後國豐田庄役夫工免除 行者諸條

嘉應二年五月十 九日

通 攝津國猪名水成瀬 役夫工免除

嘉應元年八月十三日 諸國庄役夫工免除 院宣成治四十七月廿四日 但彼六箇寺領

以上免除證文

通 紀伊國木本庄役夫工寺解草喜應元

右 件役免除 通 文治四年七月十三日 寺領六 請文等開 十國庄々役夫工寺解草當時不見之 □印藏 隨可 > 有 □ 進上 □ 如 > 件 寺主大法師嚴信

口者依 東大寺領諸國庄 院宣一執達如、件 々役夫工事被,免除 了 可以分以存之旨

日

文治四年 B

權 右 中 辨在判宣長

別當法印 御房

| 加西堺被、停,, 止薪伐,事

可下个了一一知此旨一給小仍執啓如一件 止新儀,任,先例,可、合、致,沙汰,之由被,仰下,了丘 東大寺領北杣之人等訴申信樂庄妨事 申上候畢慥停

建外元年七月五 別當僧正御房 H

謹上

權右中辨在外棟範

東大寺御領伊賀國北杣百姓等謹解申請。寺家政所裁事 鞆田西伊賀等奏狀案 ☆定:當杣西界:子細狀 請下殊蒙二思裁 一停:止信樂御庄民新儀妨:任〉舊被

所、合,,進止,也而自,,去年,始稱,為,,信樂鷹,之由 當杣之西界,已下可、合、押、領數十町之杣山、云々於 审中,何始可\稱,信樂御庄領,哉倩見,事之次第一亂, 于他鄉他庄一付一出所一取」之況件鷹巢為二王瀧杣山之 之至言語道斷之次第也取,當國際子,之習者縱雖之至, 致...種々狼藉一立所號...鷹子之替..取..馬三疋...畢凡所行 餘人之輩帶,,弓箭,亂,,入御庄內,忽企,,强剛之沙汰 右件元寺玉瀧杣山之鷹子者年來為,當杣下司之沙 |者百姓等輙非、可、申||子細|本願天皇以||此杣 汰

> 成*安堵之思。矣仍重言上如之件 庄之新儀,被,糺,返三疋之馬, 者將,仰, 舊跡之貴,再 段步不以可以發望二請恩裁一早經 許,之間於,此杣三箇之村, 者百姓一人不,可,住 御領 之無道以、只同前歟以,此 忝被:仰下·畢其後守:往昔之例·更無:異論之詞·當時 注二子細,及二御口心,之時止,新儀,可、任, 舊例, 之由 近江國也此峯以東稱,,之玉瀧,即伊賀國也何背,,舊跡, 雖」一流分二兩方,仍各水堺也此峯以西號,一之信樂,即 出二冷水,其流降,于東西,々人,信樂,東通,玉龍,濫觴 御 今可、飢,彼界,哉但去建久之比如、今欲、分,押領,之刻 施入寺家,之時 其御宸筆文云西左右峯云 趣,度々雖,言上,未、蒙,我 ||御同心||停||止信樂御 々此 拳麓

建曆三年八月 玉瀧御庄百姓等

日

東大寺

副進 言上 止數十町押妨,其上欲,召,禁惡行骨張輩,子細狀 寺領伊賀國 玉瀧杣西堺內為"信樂庄民等,停:

庄解 通

右謹撿,案內,聖武天皇添被,奉,鑄,立大佛金銅尊像

匪,, 會遠,, 本願財施入之文, 抑又為,,四百餘歲無為寺領 早如,申請,停,止彼妨,被、糺,返所,押取,之馬等,氣 背 滅亡之基 又召:取惡行骨張之輩 寺役,當時如:結構,者 未...安堵,棄... 鈴鐇於大佛寶前, 忽闕,, 恒例臨時不斷 工一加二禁制之詞一此條未曾有之濫吹不可說之狼 杣西 以降 根源者本願之御時也尋一論之濫觴一者信樂之無道 螾 之 心之修 日 二以往之例 堺 且 數十町,之間或入,,庄家,取,,數疋之馬 郭不以亂狼藉無以有爱信樂庄民等俄欲以押以領當 理一天平勝實元年以一玉瀧杣一永被、施一入寺家 為 - 者歐仍五師三綱連署 相 可少致 -宛當時造寺之析材-二新儀之妨一哉卽驚 此沙汰 一欲、被、禁、獄其身、若不、然者 一寺之愁萬人之欝何事如、之哉 言上如、件 且為人分之充 一或禦二和 一向 庄 也 藉 後破 也 何

B 都 權 權 座 + 維 燈 座 主 那 大 大 大 法 法 師 師 師 師 師 師 師

建曆三年九月

件 新儀 事往古之堺何今更可ゝ有:相論 東大寺所司訴 」致:狼藉一之由可▶冷:下知一給」 一之由被 ン仰ニ信樂庄 申寺 領 三箇 加內 候畢相互背: 舊跡 - 哉早任: 玉瀧 者依: 和 西 舊例 堺 院宣 信樂 上啓如 不 相 一可 可 = 妨

五

權律師

法橋

上人位 法 法 法

大 大 大

師

傳 傳

燈 燈

> 師 師

傳

建曆 二年九月廿六日

右 大 辨 宗在行外奉

謹上 庄家,之由承了早可,分,下知,候恐惶謹 東大寺領攝津 九月廿六日 建曆三年 別當僧一 īF 國猪名庄 御 房 造,住吉社

役事

可

入〉催

言 ネ

勘解 由 次官村

左辨官 下:東大寺:

應、冷,國司且停,,止武士狼藉 且言 此子細 當時 諸

山城國

攝津國 猪名庄

玉井庄

賀茂庄

伊賀國

黑田庄

築 綱 瀬 新 庄 庄

薦生庄 同出作 鞆田庄

阿波庄 玉瀧庄

山田有丸庄

廣瀨 庄

美濃國

大井庄

茜部庄

越中國 入善庄

越後國 豐田庄

丹波國 俊^強國 下

播磨國

東

大寺要錄卷第二

大部庄

周防國

宮野庄

椹野庄

紀伊國 木本庄

筑前國

觀世音寺封庄等

止狼藉 就、中五畿七道諸國神社佛寺已下庄預或武士寄..事左右近日都鄙能..騷擾.丁壯苦..軍旅.俗之凋弊職而斯由 畢寺宜承知依 言源朝臣 通具 宣奉 右-煩|,費州縣|或民庶不>營|,租稅|,已命|,山澤|權大納 』但若有二子細一者言上聽裁者同下:知諸國 」宣行」之縡在..機急..暫莫..延怠 >勅宜、分下下、知彼宰吏等 停中

中辨藤原朝臣

承久三年七月廿七日

大史小槻宿禰

左辨官下: 應、命、停馬止兵粮米責幷以下同宛文及守護所自由 東大寺

下知」恣號」地頭一不、用, 領家使一押、領諸國寺領

事

宜承知依、宣行、之 仰,武士,可、被、行,其罪,權大納言源朝臣通具宣 平若背: 鳳街之旨: 猶有:狼藉之輩,者可,注:進交名 張行皆可 由 之兵粮 右夏比 更雖…下知一證據炳焉之者又以勿二論或以 多有、之歟本自帶..下文,知行顯然之者不、及..子細 三升米之濫責一加之稱、為一地頭職一不、用一京下使一之者 賜備前備中○今按有三箇國於武士,被〉停,止諸國 家之所領 \全萬人之愁訴无\盡神肚佛寺之用途已多闕怠權門勢 , 勅布, 告諸寺, 令>知,,此意, 矣者同 一始置 闪 何之粮道一普費一華夷之編戶一已雖、辨二 二地頭 三停止 是豈非 庄公落居之基 看又責: 取無故之民稼· 因 一來世 「不、叶」進止、爲、上爲、下不、可、不、禁仍 - 或以:兵粮米之宛文 間 不と静 丁壯苦 軍 旅 一念號 下二知諸國 「ン兹諸 老弱 土民安堵之計-三守護所之自 能 = 地 方之貢 頭 轉饟 一既畢寺 濟有限 二如此 奉 図諸庄 賦 宛 稱

承久三年十月廿九日 大史小槻宿

二爾在判

被:院宣,稱伊賀國际院宣七月廿四日申時到來中辨藤原朝臣在判

傳證文,寄,進郁芳門院,御領庄號先了而壽永二年又、無,地利開墾之主,因、兹正盛朝臣 承德二年以,相被, 院宣,傾伊賀國鞆田庄者雖、為,天平施入之地,非

慮一 之局, 佛閣徒絕, 經行之跡, 所行之企尤以自由 三十餘年院家又致山執論一云、彼云、是不、可、不、決然 院家知行之間九十餘廻寺家頻貽一鬱陶一寺家進退之後 院宣如、此悉々謹狀 住一 叡情宜、在二寬宥 長二年正盛朝臣重寄進狀,之間且問,法家,且廻, が訪い白 院本領御素意不」可以不以憶僧徒等各於二本寺一可 為一當寺花嚴宗別院到一宜、停一止六條院之欝訴一 而且任..天平之勅符,且任.. 寬平之格制,以,,件庄 依 須下召:出張本之輩 有」裁許之遵行 = 法 被、究"淵源」之後欲、下" 家勘奏 河郁芳門兩院御菩提一抑春慶院家令制,進 い如い舊 |不、待||聖斷之左右||僧窓忽閇 可と 自今以後莫、令…更然一者 被改處 為 "當寺 不領之科 僧衆既 領 綸持 之處住侶等稱 之由 一勅定早 R 止止住 也雖 仴 奉 彼 叡 永

謹上 東大寺別當僧正御房

念議源雅清

伊賀國 之喜,候歟凡不」可,申盡一 候已永代之龜鏡當寺之重寶候也天 鞆 田 庄 事々被二 仰下一 候捧: 候之旨早可,告 御嚴 平以 書 來未上合二此 忍可\仰: 遺歸,寺 程 本

寺一候 老 也 垂 御 察 加 御 詞 且 可り有 -御 被露 候 成 寶

之間

信=

此

事

住

京京

合

捧持

F

向

以其狀文

R

旬

K

々謹言言上

七 月廿 应 B

內

一个言

E

僧 īF 成 寶

教書事 鼢 以 拜 候 也老淚甚 霑 下一 隨 喜無い 定銀

勝東大寺衆徒等抱: 鬱訴, 離、寺分散之條甚無, 可, 開, 寺門, 之由院宣政所御顧身御下知七月十四日永納, ;寺家寶藏, 遙又仰: 別院, 東條者數目出度條** 不日 執啓如少件 被战許 今二歸 之由早速可下分二下知一 |住安堵||可以開||諸堂扉 -也於二訴 給」候者依: 訟 者早可 院宣

七月十三 日 已刻

> 光 盛奉

私啓

謹

E

別當

僧正御房

之由 蘭盆 其沙汰候也為,,御存知,內々言上候重 訟,者任 以 前慥 許 可= 申 一候歸 請一可以被一裁許一候也衆徒離」寺之 歸 寺一 住安堵之後不日可以被训仰 之由殊可下介二 導行k 給上候

野田庄市 事息 ·已所、被、下: 院宜被、下:遺年預五師許: 桑 -也 所 司 隆玄隆 嚴等數日

福

元年七月九日

東

大

寺

要錄

卷

第

載二此嚴 日含: 也抑又當寺再 目,哉何不、叶,滿寺之高意,可 〉開...門之...而 誠可、察者歟 玉貫、花返 貞應元年七 勅命 重之聖斷一跪奉、覽 々珍重凡無,中限 歸、京申二入事由一之間甚預二叡感 一而赴一下寺門一即分 」歸一住禪徒 耀之明時凡旁可以被公計 月廿五 顧 ::極暑之天,忽忘::病老之身 H =衆徒御 レ謂二佛法繁昌之嘉辰 寺之所存三綱之心中 中一豈非二寺務之面 僧正前法務成實 1.披露 一狀如、件 其 又悉合 一去十 应

東大寺年預 五 師 御 房

右如 雖以掠二給 家所、申非、無,其謂, 歟者早任,先例,停,止地 地頭職一之由 下二給寺家,畢盛時云如二時廣法師 被 所也 依 可、冷…早停…止東大寺領周 二鎌倉殿仰 :寺解:者承久亂逆之時當庄 地地 而 地 右 頭 頭職 大將 一之條難」堪次第也且 一雖、載、之根元之子細分明不 下知如一件 |依||寺家之訴| 同五 家御時建久九年 防國 陳狀 住 小郡并賀河鄉者當庄 椹野 庄 四 人等無言指 月召= 月白 - 者貞應元年給二 地 ン申レ之仍寺 松藤二資綱 返御下 頭 職 頭職一之 科 事

武

藏

守

平

在判

賜預,之所也因、兹為、賢,,彼御井於鎮守八幡宮,募,長右當庄者依、為,,平家沒官之地,前右大將家自、院令,

令=

平平

相 摸 守 45 在判

右任::去七月九 東大寺領周防國椹野庄地頭職停止事 天福元年八月廿二日 日關東御下知狀,宜,停止,之狀如、件

駿 摕 河 部 守 助 平 平 在判 在判

延預所職二了 逐電而別當代內大臣法眼申,達子細,之間被,改,顯 木本庄預所職顯延法橋申..下宣旨,付..定顯律 任一勅命一補 三預所職二了仍衆徒鬱訴之餘問...寺門 師之

レ相二待重 衆徒訴訟之趣被"聞食披」之間且止"顯延預所職」 食,之處亦隨; 東大寺衆徒無,左右,問,門戶,之條狼藉之企被,驚聞 聖斷,者天氣如,此仍執達如,件 勅定 開,門戸,可、待,事斷,云々然間 可

左中辨顯朝奉

高進 南東寄進狀案 内大臣僧都御 御房

十月五

日

東大寺鎮守八幡宮

國大佛供上庄壹所事

貞應三年五月十八日

鎌倉尼二品文

知行,者仰旨如,此仍寄進如,件 也但於"領家職 者忍辱山權僧正坊無"相違 日轉讀大般者經用途料,每年可以備,進年貢米三十石 前 陸與守平在判 可い被ニ

らせ給て候ものかなさてはみつの御山のこわうなき か むすのやはたによせまいらせたまうところか の御文もたしかにみ候ね山との大ふくの庄大佛 ふむもとかくたりの御文もおはりのあさりか へすめてたく候へき玄むの御文いたい文のまへに はたし れてもとそきこへ候かへすく かに給り n めてたくお もひよ < すか のち 12 カコ h

家職門跡相承候處今至:相摸守時宗朝臣時一改: 次第也 訴訟一不以問 領家職一被、給二武家祗候人一了仍衆徒年々雖、致二 僧正,自,真應三年,至,, 文永四年, 數十年之間領 於一當庄一定豪僧正讓一定親倡正一定親又讓一 三開子細-軟間不 レ返! 付寺家! 不便之

一御油庄事

被"執申,之處速疾被、降"院宣言之如萬燈之會式殆可"退轉,仍此條不便之由別當僧正近來號"旱水之損亡,令"對捍"之間諸堂燈油常以闕

知,給业者依, 院宣,執達如,件 常,事於旱水損,動擁怠之條所,被,驚聞食,也有,限 客,事於旱水損,動擁怠之條所,被,驚聞食,也有,限 客,事於旱水損,動擁怠之條所,被,驚聞食,也有,限 常,常於旱水損,動擁怠之條所,被,驚聞食,也有,限

文永七年

六月十四日

左大辨資宣

謹上 東大寺別當僧正御房

機庄巖池間事

領々主庄民等同心而築..彼池堤,湛.满流水,可、懸,水,通,此古池之中,要水流..入當庄,而雞伇庄幷他寺當庄內有〉池名..巖池. 中古以來切.. 彼堤,雖、不..洪

露,給,仍執達如,件 家幷兩院家,之旨 院宣所,候也以,此皆,可,令,故 其曹如,此候可,止,新儀沙汰,之由可,有"御下,知寺 東大寺領大和國櫟庄訴申用水間事定 濟僧正申狀副

二月廿二日

謹上 權辨殿

左大辨資宣

合投人單一萬一千五百九十二 / 物井功幷用物勘注如、左 / 物井功幷用物勘注如、左 / 高橋川一井三池

合役人單一萬一千五百九十三人

書,被、尋,問一乘院大乘院,然而分明無、被,辨申

作一哉仍訴陳及一數度一之間以二

院宣弁殿下御教

夫,築,此堤, 了此儀者成辨者樑庄以, 何水, 可, 耕取他庄, 之由張行 卽庄民 幷彼寺々僧以,, 數萬人々

七千九百八十六人屋躰 二千三百十七人 一八八 人將 仕丁 領

百卅二 一貫四 百十文

六百二人人々知識

所

進

鹽三斛三斗四 米三百廿二斛五斗八合 门升三合

海藻 一千四百 編

滑海藻 未醬五斗一升 百五 十嶋

潰菜 一解八斗

一斛八 斗

以前始、自…神護景雲三年十二月十日,至…于神 粉 酒四十一 解九 斗 四 升

心護景雲

四

年 四月一 別當造寺司主正 大和國員 日,用,一雜物幷役,單功等如,前 (外目從六位下櫻田連 一六位上阿刀宿 隔高 泰

領散位從六位

上道祖公麿

從六位上國

中連足麼

之由予分、申,定嚴,了仍其後 刺裁一了件文書者定在::印 為,機庄,所、被、掘之池之事此 J 无位 丹比宿 而 宮繼 藏 開 歟能 日 副 記 ħ 分明 求 可 11 =搜 仍 此

求

上覽一上一濫訴一丁

大井庄樂田地 頭間事

止重 八寺衆徒 謹 法 言 師 押 申 領, 之由鎌倉二位中將殿 寺領美濃國大井庄內樂 田 御消 鄉事 息候也 被停

文永元年 月廿六日

相 摸 守在 圳

左京權大夫在判

大佛 殿佛餉 縣 札 굸

記 本 願 動施 東 入 大 八寺大佛 之 田 地 殿 在大和 長 日 佛 餉 國 析 田

事

合 叁抬 伍 伍 段大

小東庄十三町 段大之內并定使給分五段六町大者行 押町

段 料 別 Ŧi HI 斗宛字十 段 定八 合 段別 斗 五 一升八合但此內

聖 料 庄 町 HI 四 段 段 **区之內**段定使於 K 别 斗五 升八合八 合升定

田 庄 料 町 町 段 段之內使給二段 华 段別一斗五 4 荒畢 一升八 合

大 八宅庄 餉 料 町 町 九 = 段 段 之內 半 給二段 段別一斗五 以半一段於畢 合

目 安庄 $\mp i$ HI 段 之內 段定使給四段

餉 料 $\dot{\mathcal{H}}$ 町 段別 斗五 并八 合

H 內 段定使給二時

服 佛 料 五 N _ 町七 段之內三段半又二段荒云 段 段別 斗五 升 一々給 八 合

幷定使: 段別 供 右 天平 餉 然倘 斗 給 勅 料四 五 施 分 升八合智物八被:宛置 以備 四 ス 町 之 町 佛 段 十六日闕 段所 餉 段別 田 レ残三十一町 三十五町 如一之處大和 斗五升八 五段 大之內 合 四段大 三百百 國河 毎 虚 沙 Ш 日 住 汰 日 一段 聖

康以下之輩不、憚二本願之

叡 信

不」顧

月

服

大

寺

変

銯

卷

第

陀施入 之緇素誰不、恐、之乎視聽之道俗尤可、歎、之乎矣仍記 意,得,無量罪,何 百 之狀如一件 五 FE 十 三日之聖供,所 人之析物 慮 日已及二百九 念依少押 上說 罪定沈二深底 況於►為,,底下卑賤之凡人, 二妨六 殘纔 日 闕 如三實物瓦 # 町 Ħ. 前 段 報寧免:無間 之佛 段 田 华 用尚 當 忽令 一時定 依」違一施 犯#用 乎見聞 以殿 Ш 如 佛

兀 應二年陸月十二日

二月 正月 小小長長長 東田田屋 庄庄庄庄

四 五 月 十二日以後無足至十一日小東庄 無足 東庄

六月

政所

七月 九 月 月服安庄 機 大 宅 庄 政所

堂司大法師定忠

三十

閏月 窗 日分尊勝院御寄進海印寺所

散在佛餉田料所事

奉寄進 佛餉田

伊 賀國名張郡新庄領之內 合伍段小者 所當三石六斗 作人宗寬。相摸 兵衛大郎

奉寄進 段者 佛餉 田 所當六斗

奉寄進 大和國法貴寺 佛餉田

作人治部左衞門尉

山城國大隅庄之內 合二段者 所當七斗此內斗沙汰人

奉寄進 佛餉田

大和國法花寺之前字樓梅 合一段者 所當三斗 作人西念

右旨趣者爲分、成。就二世之悉地、奉。寄進、之狀如、件 弘安元年七月 H 以上不、知,,施主名字,

奉寄進 佛餉田

合壹段者 所當四斗五升

> 右所、奉い寄進、之狀如、件 伊賀國名張郡出作領之內

弘安元年七月 H

施主五郎權正施

奉寄進 佛餉田

右所、奉..寄進,之狀如、件

弘安元年七月 日

奉寄進 合壹段者 佛餉田

伊賀國名張郡出作領之內

右所、奉、寄進一之狀如、件 弘安元年七月 H

奉寄進 佛餉田

合壹段者

所當七斗

右所、奉…寄進,之狀如、件 某弘安 大和國東一段 年十月廿七日

奉寄進 合壹段者 佛餉田 所當七斗

所當四斗

合大者

伊賀國名張郡出作領之內

新 渡 志 兵衛敬

所當五斗又壹段六十步所本當九斗

不知施 主 人 等

作人法蓮叉次郎

不 知 施主人

和 國 字 和爾德

右所、奉 高進一之狀如、件

不 知

某年

月

日

泰 中寄進 佛餉 田

大和國笠間庄 段者 所當七斗

施 主

人

右志趣者病風頻吹盛命難、期仍為、備 奉、寄、佛陁之妙供,自,每年二月朔日 之內字於波田 |捧二臨時恒例 :來世之資粮

之佛餉 E 應 元年五月廿八日 一者也仍寄進之狀如〉件 法橋和尚位寬秀在判

奉寄進 佛餉田

四 所當一

右 件 在大 佛餉田者僧弉尊親忍房先祖 相傳之 私領也然而 和國十市郡東鄉二十四條六里 限東他鎮 限南繩 字井口 緘 本 段

岸臨 不慮頓死之間含弟等任,遺命旨,為,大佛殿 可 時佛餉之析內,永奉、寄,進之,盡未來際 二季彼 更不

奉寄進 嘉元四 倒之狀如一件 一年五月 日

含弟大師法師快玄在外

河上庄 合 一領內 段者 北 Ш

所當 二斗五升

退之寶臺一速入二普賢之願海 右志趣者出,,忍土之舊宅, 遷,, 安養之樂邦, 早登,,不 佛餉所、奉、施入一之狀如、件 至本券面有人之 - 仍每年七月朔日臨時

正和二年七月朔 H

大法師實專在判

奉寄進 傷餉 H

合二段者

伊賀國名張郡出 作領之內字寺門 所當一石一

為,後日之證文,所、奉,寄進,之狀如、件 菩提 乃至法界衆生有緣無緣鐵圍沙 者也仰願答,此善根,口、罪生、善出,離生死,頓證, 右件餉田者任: 顯嚴 幽靈之遺言 奉》寄,進彼 福壽丸在判 春福丸在開 界平等利益仍 新所

奉寄進 佛餉 田

合一段者

所當三斗

電站得業沙

一所、奉:寄

正和五年九月十日

判判

進」之狀如。件 成一就現當二世之悉地

右寄進志趣者為

元應二年六月十二日

氏

女

施鼓

三十三

蚌

大寺要錄

卷 第二 佛

餉

田

三十四

寄進,如、斯

應安五年壬子五月

日

專.

妙 白敬

合小者 佛餉

Ш

所當

右所、奉一寄進一之狀如、件 某年月日

伊賀國黑田庄之內

作人彌

五. 郎

奉寄進 佛餉田

合大者

所當四斗三升

不 知

施 主名

右所、奉,寄進,之狀如、件 河上庄之內字眉間寺前

不知施主名

奉寄進 某年月日 佛餉田

伊賀國黑田庄出作領矢河條本券面在,之合一段者 所當麥二斗大豆二斗

廿四 右志趣者為、成,就現當二世之悉地,每年五月四 日為,臨時恒例之佛餉析,所,奉,寄進,之狀如 В

奉寄進 元應二年五月十一日 水田 事 御佛餉

合一段者字葛木坪定地七斗代

禪尼心戒在判

右志者為、前,現當巨益,也乃至法界平等利益仍所,

東大寺要錄卷第二終

緣起章第二

佛殿碑文障子銘文也

有、人願,持一枝草一合土,造物像者勿分福,宜每日云々、自當,存、念各造。 盧舍 那者懇談,至誠,各招,自當,存、念各造。 盧舍 那 進二百姓一攜命二加造一太政官奉」刺普告二天下 共致中菩提,夫有,天下之富,者朕也有,天下之勢,者朕 宜,,每日三,,拜盧舍那佛一或生,,誹謗,反魔,,興辜,是故預,知識 有、勞、人預無一能感」諸知識者發,,至誠心,令,人招口福 奉」造一盧舍那佛金銅像 粤以:天平十五年歲次癸未十月十五日,發;菩薩大願 賴,三實之威靈,乾坤相泰修,萬代之福業,動植 率土之濱已害, 仁恕, 而普天之下未, 治, 法恩, 誠欲 勅朕以,,薄德,忝承,大位,志存,,兼濟 以,此富勢,造,彼尊像,事也易,成心也難,至但恐徒 以構、堂廣及,,法界,為,, 朕知識,遂使。同蒙,,利益 平十五年歲 次癸未十月十 軀」盡」國銅 盧舍那佛像上 一動無 H 而鑄、像削:大 於二近 八人物 iI. ン障同 咸祭 如更 或 知

長一 足下 五尺 鼻前 長三尺七寸頤長一尺六寸耳長八尺五寸頸長二尺六寸 流吳樂胡樂中樂散樂高麗樂珍寶等一金銅盧舍那佛 >土築,,堅御座,以,,天平十九年歲次丁亥九月廿九日,始 樂京 五分肩長二 寸完髻高 日」儲二於大會 辰三月十四日1始奉、塗、金未、畢之間以1同 了三箇年八箇度奉、鑄、御躰一以、天平勝寶四年歲次壬 奉,鑄鎔,以,勝寶元年歲次已丑十月廿四 以,, 御袖, 入、土持運加,, 於御座, 然後召,, 集民民人等,運 酉八月廿三日,於,大和國添上郡,奉之創,同像,天皇專 一躰結跏趺坐高五丈三尺五寸面長一丈六寸廣九尺五 座高八尺上周卅四丈七尺基周 脛長二丈三尺八寸五分膝前 一丈二尺螺形九百六十六箇高各 丈九尺肘至い腕長 |奉ン創||佛像 徑二尺九 丈 徑 六 萬九千五 三尺眉長五尺四寸五分目長三尺九寸自 **艾八尺七寸智長一丈八尺腹長一丈三尺臂 艾八尺上周** 寸四分 |奉,開限| 也同日奉、入,大小灌頂廿 百 , 其處已止更以, 天平十七年歲 六十斤白鎬 高一尺六寸人中長八寸五分 一丈五尺掌長五尺六寸中指長 廿一丈四尺基 州九丈五 徑三丈九尺膝厚七尺 萬二千六百千八斤鍊 馬 尺徑各六寸銅 日 尺用 - 奉ン鑄 年四月 一丈九尺

耳長 六百 寸四四 井像 -F 絧 尺柱八 天王 鏽 二躰 五 戶 五. 萬 文基砌 11-額 尺 四 並 間 傪 自 九 百 字二 十四 護高 寸 斛 東 四 在 卅 高 柱 葿 冒 六 井 西 重 枝 七 高 像 長 各 光 徑 兩 兰之文面 戸 五元 各 水 Fi. 一鋪高 四丈各至 尺 基 銀 東 + 戶十六間 間 九十 高 应 五. 西 一丈六尺 高十二丈六尺東 萬 砌 長六尺廣 + 八千 長卅二丈七尺 下華五 自 立文四尺 長 丈四 天 在1鬼形 上六百 南 北 尺二寸鼻 Ŧi. 尺 三千百廿 形一躰一八尺高三尺 尺口 徑 廣 # 六十 九 兩 長一尺一 西 南 水 炭 長 六 二蓋 F 五 北 计九 徑 尺 萬 丈 砌 長 六 挾 步 # 丈 尺 寸侍 廊 T

銅

寸露盤 塔二 萬二 丈三尺六寸 千六百 並 高 114 七重 百 ル 文八尺二寸用,熟銅·七 + 口 斤 徑九 + 白 兩 邁 尺一 錄 廿三丈八 金 二千 寸三 干 百 7 分 $\dot{\mathcal{H}}$ 西塔高 口 占 萬五 厚 + 八 兩 7 干 廿三 分鐘 $\dot{\overline{x}}$ 用一熟銅 百 丈六尺七 一斤五 口 五 高

位 從 H 師 從 記 $\widehat{\mathcal{F}}_{t}$ 下 云 位 高 13 位下 大 T 市 猞 傭 道 名 歷 國 酾 公 從 DU 百 麼 位 册 從 從五 大鑄 五位 公麼 位 餇 1 從 To 者 譽 柿 Ŧī. 元 H 位 本 百 繩 男 下 大齊 高 手 Ŧ: 國 क्त 人任 真 國

從大

大寺次官

飨

但

馬

守

大鑄

Billi

從

四

位

下

高

眞

銘 名部 大 小 文 İ 和 一從四位 在 百 國 111 人 者 任 藏 下 元 東 譽田 伊 大 賀國 寺 繩 須 手者元和泉國人任...紀伊權 人 掌 任 兼 =伊 涧 勢內守守 大工 氣東大寺須 從 四位 掌 F 守一 使 猪

蒼生 天平 菩薩 聖法 字金 父祖 恒 氏先後太政大臣及皇后先妣從 皇 帝 地 尼寺, 幷寫, 妙法蓮 五. 護國之僧 至自 奉二先帝 尊靈長幸,,珠林 神 -太子已下親王及大臣等同 光明最 之名一 祇 戒 孫俱 万古已來 之盛與一天地 戶水 共相 弟 成,景福 子皇帝 H 因此 寺一幷寫中 廣 一而 勝王經 和 + 治 至 順恒 次二 陪 町又於:其寺,造:七重塔一 福 部 於今日,身 沙彌勝 :遊淨土,長 天下諮國各分下敬 辛 將 各繼二前範-同 而 國 金光明最勝王 一部,立,置塔中,又造,法 花 户春 遊」寶刹 永流擁護之恩 經 通該二庶品 福 滿 一部, 住尼十人水 慶 稽 為二大臣 首 資此 願 永護二 月 - 叉願太上 |後代|而 堅守: 君臣之禮 十方三 位 7 同 福 四 被一幽 橋氏大夫人之靈識 國家一 十部上 造二 解二愛網 H 俱 一世諸佛 忠奉 朕 金 天 常傷二聖朝 到 明 發 區別 住 、皇后 田 光明 開 二彼 國者及 干 花 闢 僧人施 而 法 儞 町 四 滅 藤 已 恒 寫 廣 僧 出 罪之 藤 降 满 所 原 去 原 氏 先 金

帝 # 佛 共 塔中一 廿 次 寺,夷,東山 月 所謂金光明四天王護國之寺法花滅罪之寺今斯之寺是 平 地 緣 成 籠 造寺材木知 レ是割 :: 五 照廣濟如>天原養似>地遠顧,四 額,以為,,金光明四天王護國之寺 月十五 位 四日, 惣三箇年鑄以,,八度, 座身五十三尺发天皇餅, 丁亥九月廿九日,至,于天平勝寶元年歲次己丑十月 廿三日,車駕廻歸,於平城宮, 像 十三年歲次辛巳二月十四 國押開豐櫻彥命所,建立,矣 起文云東大寺是平城御宇勝實威真聖武皇帝諡 此 也獨 日太上天皇々帝太后共雙、鳳輿、 一而落髮被,法服,而趣,真勝實二年歲次庚寅二月 願 |便謀||妙工|創 伏 ,乾坤致,福 日 峙 千戶,而 前 天皇御: 二城 日之志悉皆成就若有,後代聖主賢卿,承, 記 平勝寶五年正月十 東放日 患君拙臣改...替此願,神明効,訓 封之分 圖 西 信樂宮 || 算躰 | 以|| 天平 海 "東大寺」天平 --奴婢二百口-之銅」始、自,, 天平十九年歲 日 發 生,遂黨,三寶,以,天 一大願 更移:被事 勅命邦國每置 $\dot{\overline{f_1}}$ 天皇叡招內融欽明外 H 十五 七年歲 造二金銅 親臨: 伽藍 而入乃定 嚴已了仍 年歲 次乙 就: 于兹

盧 次

西八 含那 八癸未

東大居

士傳大學師

奉:加 役夫 材 役夫五十一 知識 木 知! 財物 百六 症 人州七萬 f_{i} 萬四 一十六萬 萬 干 千五 千七十 九 五千七十 百 九 \dot{E}

已上

置

爾

天

少田 漆部 揚 利 H 邊 部 波志留志 一農濱錢 子嶋 伊 波布二百端 二千貫中一兩十二兩十六頭 米五 -F 斛

板筏具釣錢牛錢 甲賀真 河 俣 證 錢 干 干頭干 督 貫 質 T

自餘少財 不、録、之

夜

國

暨稻十萬東屋十

家地三

印十一

界種 以,, 銅四十五萬 七十斤 三兩減金二萬千百廿四斤二兩 受天皇御命毫氂大差卽以平山鑄浮口王刹香水海 三丈九尺鍍金-了天皇御平默精又造,,奉樓高 **寸座高六丈八尺上周十九丈四尺中周** 為..別當造寺官一常持...齋戒.天皇名為..東大居 一分二銖錫 士佐伯 蓮花藏 世界盧含那 宿禰今毛人 百 廿三斤十五兩 平 城後 據千葉上 太上天皇造 東大寺 一鑄一成 声...例 # 身高 : 火五 百億四天 $\overline{f_{l}}$ 尺 基 五 周 周 世 车

階平十地播 廊 以申: 慶赞一於、是洪鐘叶二請梵一揚居嚴塔於千種龍象 九 間 X 一口身圓八丈躰萬鈞一飯,,僧萬口,受、勅撿挍 羅 鳳 廻刹若▶□靈鷲之山方等再披以發▶海龍 刹 佛 廟 講 堂厨坊 食屋 戒院官坊,引、渠穿

而立也變言善哉金鷲行者仁燧鑽,,東春,熟火炬,,西秋,彼放,光之執金剛神像今在,東大寺,於,, 羂索院北戶, レ之也云 過信視過還以、狀奏、之召,,行者, 詔欲、求,,何事, 答曰 ▽蹲放∨光至…于皇殿、天皇鶩恠遣、使看、之勅 神像一矣行者神王 轉繫、繩引、之願, 畫夜不」 想時從 婆塞住,斯寺,故以爲、字令成,原大寺,未、造,大寺,時 蹲光扶,, 威火, 人皇慎驗、瑞誠知願無、不、得者其斯謂 供一四事一無一乏時 願"出家修"學佛法」勍許"得度」金鷲為 聖武天皇御世金鷲行者常住修 靈異記中卷云諾樂京東山有二一寺,號曰二金鷲,々 至、寺見有二一優婆塞一引、於繁二 彼神蹲一之繩」禮佛悔 一世之人美二讚其行一稱一金鷺菩薩一矣 道其山寺居11一執金剛 ノ名譽:: 彼行 信尋光 々優

草菴,安,,置執金剛神像,於,,其前,行,,禮拜,口唱,,,聖朝安私曰聞,,諸舊人,,云根本僧正為,,童行者,於,,大襟下,結,

私力 大標下,有二一童行者,修二此行法 穩增 先違相傳了件大機木天永四年九 云此地是殊勝靈域也欲下立:|伽藍一與事隆佛法。不以及! 皇帝威心以下,論言,立,大伽藍,也維不、見,本文,是 長寶壽 |持在||帝德||因\斯抽||懇念||勤||此事 工具聲 幽 達 一天聽 一即造 月仆了 二勅使東山 問問 語山 - 也勅使返答 一詩シ之至

者- 訐識之爱辛國大嗔成,,寺之讐敵,度 行者之方:大鉢飛來打、蜂即 之方: 大蜂 寺者朝廷召二彼兩人一合之捔」驗各誦咒時從二辛國行者 、隨一靈驗,何偏歸,依金鍾行者,被、收,吾地,乎須,召, 以西者辛國行者之分也爰辛國行者奏云歸 佛殿一之儀」而大佛殿正面以東金鍾行者之所願也正面 又古人談云金鍾行者顯,靈驗,之時朝野崇敬有,造,大 金鍾行者 但此事不>見,,本文,但御寺繪圖者氣比明 |與、我爭。驗隨:|其勝負,可下被:|歸依| 即建 數萬出來欲以整一殺金鐘行 其蜂逃散其鉢寄; 辛國行 々破三佛 者,又從,金鍾 神異角有二 依僧事 云 可 18

辛國堂一云々今見在一基礎一是不上虛軟 云聖德太子文記言從、今近,二百年,當、

有::

塔廟,遍望,四方,日地此帝都氣迫於、今在,一百餘歲 伽藍|與|隆妙典|又指||西原下| 曰於||彼平原| 亦與|| 年後有二一帝皇,崇,貴佛法,於,彼谷前此岡上,並建, 諾良之口 吾後身一躰也推古天皇廿五年秋九月太子命、駕出遊, 語,左右, 曰吾死之後崇、道建、寺此地此釋氏非、他是 聖德傳云 持戒律大與律儀嚴峻一是聖人記事無、差云 一百年竟京遷,北方,在,三百年之後,云々 □東山之下,謂,左右侍從, 曰吾死二百五十 推古天皇十二 年秋八月 其夕宿,泉河北頭

登...由頂,其金山頂居...一比丘,太子敬禮而曰是東宮童 也 矣自、今已後逕,,之八日夜,逢,,銛鋒 色雲,如、電度、北自、其而往,,其雲道,芳如,,離名香,觀 住難波,而卒之屍有,異香,而馚馥天皇勅、之七日使 靈異記上卷云推古天 皇卅三年乙酉冬十二月 連公居; 」之道頭有...黃金山,即到炫、面爱薨聖德皇太子待立共 私云彼聖德太子者救世觀音變身思禪師念比丘之後身 留詠...於彼忠..逕..之三日,乃蘇甦矣語..妻子,言有,五 聖武天皇者聖德太子之後身救世觀音之垂跡 原 服 三仙樂 比丘 也

> 過畢還 又耆舊云聖德太子遊行之時立,,佐保河以北,指 大德,者文殊師利井及,化也是奇異之事也已上 聖武天皇生...于日本國 山者五臺山也東宮者日本國也還」宮作、佛者勝寶應具 者文殊師利井也合、服二一玉,者合、免、難之樂也黃金 逢, 話鋒, 者當, 宗我入鹿之亂, 也八日者八年也妙德非 、法澄、情効、忠命福共存逕世無、友武振,萬機,孝繼,子 位一 也春秋九十有餘 而卒矣 贊曰善哉大部氏貴、佛償 孫」詩委三三寶驗德善神加護一也今惟推」之逕」之八日 還活連公, 也孝德天皇世六年 庚戌秋九 月賜 " 大花上 三遍誦 」宮作、佛然從,,先道,還即見驚蘇也時人名曰, 禮一自以彼能下皇太子言速還以家除作佛之處我 玉.授、之合,,吞服,而作,是言,南無妙德井合, 一作、寺作、佛也爾時 途住: 行基 上此 地

武天皇聖寶僧正也云々 我三度誕,,生日本國一其名諱共有,,聖字, 卽聖德太子聖 云我殁後於,,此市岡,建,,立精舍,與,,隆佛法,,我後身也

住持之勝地也既是觀音文殊彌勒三大士下相之地也是 又古老相傳云良辨僧正初謁,本願聖皇,奏云此地佛法 麓帝皇建二立大寺 廣持 天地院緣起云行基井和銅之比供,養天地院,之日此山 |佛法||運在\近也云 K

儀 住僧二三千人住持佛法 放佛 之所有二 一十人乃 |建二于河市||云々 法 住 至 持遙及二千歲 一處一所謂河市河 二三百人 佛法八百年也依」之改:河北之 一依」之伽藍建立以前御寺可 一百歲也若建,河市,者住僧或 北也時僉議云若建"河北 ン建 - 者

靈異記云或皇臣燒、寺流,,佛像,或皇臣建、寺弘,,佛法,之中勝寶應真聖武太上天皇尤造,,大佛,長紹,,佛種,之中勝寶應真聖武太上天皇尤造,大佛,長紹,,佛種,之中勝寶應真聖武太上天皇尤造,大佛,長紹,,佛種,之中勝寶應真聖武太上天皇尤造,,大佛,長紹,,佛種,之中勝寶應真聖武太上天皇尤造,,大佛,長紹,,佛種,之中勝寶應真聖武太上天皇,, 國已, 善惠之報現而示,,吉凶, 位號,,勝寶應真聖武太上天皇,焉已上

助造、殿上木已畢僧乃知,, 牛是金剛作, 耳令聖武皇帝挽、木盡上、寺其牛即死大工匠夜夢見,,金剛, 語云我相大唐崇福寺大殿, 時徑頭河深岸險難、上金剛變為、牛其數,大佛殿造畢之後其牛斃死云々彼鑒真和上修,,造其數,大佛殿造畢之後其牛斃死云々彼鑒真和上修,,造其數,大佛殿造畢之後其牛斃死云々彼鑒真和上修,,造

權化所、為其徵祥同數
又東大寺大殿建立之囘有,變現牛,引,材木,助,人力,

見.高僧來告一云水邊勝地立、寺修、法自然出來即申 東大寺,奉、鑄,大佛,而此國無、金歎、不,,塗錺,天皇夢 將一何如,良辨奏云修一固功德一可、免一當苦,因、之建一立 所以天皇受,,生於此國,良辨又依,,本緣,同生,日本,若 衞國,由、之爲、報二彼恩,可、成二人王,之由 沙渡子也良辨其時 又口傳云良辨僧正奏:聖武天皇-云皇帝者前生之時流 也刺遣二行基良辨,所二創建一也云 夢告,立>寺修>法而從,陸與國,頁,黃金 王運盡後可、招... 惡趣生. 爱天皇勅..僧正.云若爾後生 \得"功錢|速可、渡只修||善根|可、祈"後生|語了渡"合 至,,含衞國,無,,其功錢,容經,,年月,徒歎息矣渡子云不 為一修行僧一而修行僧將」渡一流沙 k 即寺者石山 所三祈詩 也也

耕、土入,, 妃御袖, 持連築,, 御座, 大臣公卿引,, 率文武官 佛藍一者可、煩…兆民一由、之勅 或日記云東大寺者聖武天皇之建立 畿內如:草靡。風應:,勅命 於二五畿七道諸國 人等可:特築堅基 奉。鑄二大佛 一縱雖一木 |競進始築||御壇||之日天皇先 ,堂舍功畢即歎,此國無, "太政大臣下"知識 塊,持來可,令,奉加,者 也 然 施 王力、立 宣旨

· 今、 前者天皇遣…良辨僧都,如、示祈、之子、時自…陸奥 國、黃金出來仍改二元天平勝 漁翁 居,於嚴上,即造,如意輪觀音像,安,置其 此金可以用吾是守護許也但近江國志賀郡河邊殿上有一 〉佛立、寺我國無、金不、能、塗此山純是黃金也願賜。少 金祈,請金峯大井,云今為,法界衆 |藏王示云此山金者非||我進上| 當來彌勒出世之時 寶, 其間多有: 奇妙事:不 生 朕 為 知 識 (上)可 造

が能…委記…云々

寶龜 F 平 勝寶八五月廿四 四 四年十 日 任 三僧 正云 月良辨僧入滅云 ヤ 日 任 "大僧都 | 天平寶字七年九 々僧綱補任第 一天

H 炒 都良辨任。東大寺別 日任 花嚴宗義湖僧正弟子云々 治九年 天平十七年正

供養章 二此有願 供養 開眼供養會

皇帝敬 眼 請 此供養會

菩提僧 E

東

大

寺

耍

鈴

卷

第

以 上一人而 元邊眼- 朕身疲弱不 月八日 已仍 請 設三齊東大寺 二開 服 少便::起居 fall. 一乞勿 供 。解扮受敬 三養盧 |其可二代人於執」筆者和 含那 挪 一敬欲 ル開

皇帝敬請 隆尊律

師

乞勿〉辭扮受敬白 彼旨難以究自以非二大德博聞 以,四月八日,設,齋東大寺,欲、講,花嚴 多識一誰能開二示方廣妙門 經

其理甚深

都 **咒願大安寺道** 满 景靜禪 師 一塔律 師 使"各差"五 請書如一右 位

天平

勝寶四

年三月廿一

日

勍

書

六日鎮襄京使左從四位下大伴宿禰稻公 以山四月四 兵士四百人各二百人 日-太上天皇太皇太后幸二行東大寺 從五位下建部君豐足從五位上中臣朝臣清濟

定 ル 八 七 其先請複位已上僧自二宵門一 日 |守上散||種々花|東西懸||繍灌頂||八方懸| 並 日留守官政宮中納言紀朝臣 日諸家獻,種々造花 太上天皇太后天皇座,東大堂布板殿,以開 同元日 -但無一待 從一上堂裏莊嚴種 直參入引道 納言多治比廣足 K 造花 三五色灌頂 一弄妙繡 眼 其

儀

頭 外 從 7 位 忌 麿

右 中 辨 從 7i位 E 懸 養宿 爾古 極

次 眼 師 僧 IF. 苦 提 法 Bili 乘 興棒,,白蓋

從 正 五 ti 位 位 Ŀ F 一安倍 賀 茂 朝 朝 臣 臣 嶋 刨 歷 足

次 師 隆 質 律 師 乘 興差 白白 盖 西 迎

從 74 位 1 橘 朝 臣 奈 良麿

從 00 位 1 大 伴 宿 福古慈 悲

次讀 師 延 福 法 飾 乘」與 差"白蓋」自\東入迎

四 位 清 原 八 束

從 VU 位 F 石作 脛

請二 並 着 僧 堂 沙 幄 人等 彌 卽 開 開 眼 自 III 三前 舶 郎講 進 佛 讀共登二高 左右 前 頒以參 取 筆 座 開 入引道 講 眼 說 花 正左 六位上支 着 嚴 經

從六位上複 井吉 朝男 臣 馬右 養允

異物 繼自 面 北 幄 南 卽 門 大 柱 / 安樂 過 師 兀 種 豳 k 1.5 、樂參入 福 寺 四 獻 種 K 杏

勅

歌 化 舒 久 米 頭 從外 頭笛 五從 15 位五 下位健 土上從從 師文五五 宿 忌 位 位 漏寸 牛麿佐大 值伴 宿福網 文伯 成營

百

右 臣 H 皷 人

頭 始经 雅治 樂部 助卿 正從 六四 群 中 财

唐散 唐 中 樂 樂 頭 頭 七部雅治治近 山麿稲臣臣六位麿窟宗奠位上 主人上大 安市 倍王

Z.

如

恋

唐 古 樂正治

度 高 雅 麗 樂 樂 四 頭 寺 雅治 行 道 反 硘 御 畢 左 右 頒 T. 於堂

前

座以

猪 跳 以 次第 伏 健 册 A 土檜 唐宿福前島市 歌 樂廿廿 掛 册 躍歌 百 米舞 大立平天

麗 樂 名 自 儛 中 樂 舞 唐女舞 唐散樂 施海 舞 计人 林 邑樂三舞 高 麗

高 麗 女樂

高

同 H タス 座 東宮

寶 施 絁 千疋 使大藏

講 法 開 村 用 師 眼 酾 井 師 施 兜 施 絁 梵 音 願 絁 有施梵音同 師 百 + 百 正 正 施 物 A 綿 綿 同 維 開 那 屯 百 眼 屯 師 布 布 位使 上治野部 家正 主六 袙從

百卅人 散 眼 花 師 人 供養師 定者 廿人 師 衲 児願 三百 師 四 一十人 都講師 甲三

那師六人

衆僧 請僧千廿六口 衆僧沙彌 沙爾尼並 九千人已上都合一萬廿六人 九千七百九十九 各布施絁 疋 人各經綿一 使大藏 省 屯

日中宮御,率東大寺,奏,種 々樂

供,,養舍那佛 一歌鮮

生業障 有:1 敷一妙程 蓮花香水,海,分十世界 一觸、處示說啓,芳緣一工明菩薩智惠眼能 滿 無幾 一每年華,顯身一 滅二衆

共承天宗社不、傾連,高代,重難繼、日照,千 繪色非常實樹覆三香 維我皇稱:讚舍那德 煙,以, 弦修善施, 百姓 - 群 臣儛...踏法堂 |前未\見,1珍藏開 - 忠心轉

五言弁序 白鳥

天王護國之寺,敬造,金銅盧舍那佛 維天平勝寶四 年歲次 壬辰四月九 佩 日 像一磨瑩粗 國家於二金光 開 m

車駕親臨設:如法會一个一講: 花嚴經一金顏 二個珠 芳蓮千葉久物晉天仰,梵帝之咸書,道俗咸 連演,,色空之與義,爾其摩尼殿際花樹百 月滿開 三種 重 好

> 七言 率 >地疑,奈華之東斯,花雨飛,空覺,禪林之西遠微官香珮 連、精聒、耳東上以千末、變、曲新聲處成、群者不、可,勝 繡幡參,差鳳翼,異形譎 雷鼓振而響天蟻樓起而歸、地藏宮行殿誰踏、龍鱗華縵 而 媛連袖之歌共嘆,正覺,而薦,福杖拔剱之曲自 惠力包千界 幸屬三明時 載,矣信是天下之壯觀開國以來未,,之有,也 宛似。龍宮會 土冰 被群又有大安樂師寺等四大寺各呈、伎以助事莊嚴。 二仁皇之惠化 一預 人疑,麻華苑 香臺聳。一 …妙法」不、任 |是後也儛速||文武 詭之獻吃 蓮 : 欣慶之至 輕 方知聖皇壽 綵花奇紀,俗 一目驚心同類喧嘩之音 笠宮麿 1樂養二華夷 述二短懷 却不以為と年 秘示妙通天 其 時 |都那 香 云爾 風觸 媛

他 綺 聖皇法會用今日 宜尊:奇映 人講師事或云變化青賢供養日講師 學天和應調二兩風 際廣樂拉觀非肯 無上 一妙容奇功終 丹青 也云 可以愛忽碎首 計諒知寰內 淡壤競爭奉:珍 謬 湯 土

聞, 耆舊傳一云御寺建立之始有一買、鯖翁一爱本願聖皇 今案云件事志,得,文記,又開眼法會日之事 召言留之,為 講說之間 一大會講 多轉二於語 師 所質鯖置 一法會中間於。高座一忽然失了 |經臺變成||八 也 敗被と始ら 十花嚴

東

レ之而 何經 囀 隆 花 入滅年五十五故不以似:鯖翁躰 人於二高座一失」也鯖髮經尚存故老拜 件會講讀 音,時人名:前 尊或 事也彼 相傳來事不」虛 會 一失歟宛如,,上宮太子持經,或交,,餘經,不、知、之數 隆尊律 音鯖 僧 說,花嚴會日說為、勝失,於高座了後不、可、在 Ħ 師法 花 綱 車 翁於,高座上,唱,梵音,人萬知 補 嚴會請 血 師天平勝寶三年 任 會中間 轉後轉一後代又摸」之名二前轉 有 注 平 定事云講師者名:前轉 化人人 秘下,高座,出、從,後戶,者摸,化 一當…鯖翁二二云被始。花 云 開 四 眼 月任二律師 歟旣 法 會 見但 花嚴會摸,彼躰 日 事 近代不り知い 讀 也 之似:鳥囀 - 寶字四 後轉一也又 件 師 名 H 嚴 講 會 车 後 師

此 生一枝葉一即成一樹 叉古老云有,買 木之榮枯,云々今見在,件木 花嚴經 一件杖木大佛殿內 ン鯖翁 木,是自身木 以杖 東近 荷二鯖 也今伽藍之與廢 一廊前 八 槌 十一 =立地中而 其鯖 一變成: 可以隨 間 忽 八

開眼師傳來事

元興寺小

塔院

師

資

和

承記

婆 以...天平十九年,尋..來此日 門 僧正者 南 天 bh 國 聖 人 本國 也 爲 一攝津團難波津 い問 許 文殊 行 頭而解 基

持諳 調二 問船 與寺 爾相見天之真 殊乃御貌合見都 與一聖人一時芳被而別離年久戀慕日極仍來踰也云 率十弟子,從、船下僧行烈左右行道進行行基非最後行 院爱請; 一百人名僧·俱以差√使遠遣; 其迎·兩扮香品 禮日本國 人行 大 天皇殊以 以奉悉給,井傳以獻 子念珠十貫多羅葉梵字百枚佛 各悲悅之後以 給婆羅門遙見,,進行給井,進向,,雙手,取、袖以詞 天文書 間 亦不言聞 纜 安寺菩提傳來記 爱津 位樂五十人一為··其御前一船頭從請>出 小 誦 向問 主誰哉有一何心一渡一蒼波一來即云彼國婆雞門巡一 塔 于、今流傳不、絕又彼國 知那 邊 尊重已上 其詞 院一為"優婆羅門弟子春然等一厚給"粮食 · 來耳勍便以: 彼申狀: 奏聞天皇大臣 人 "其人,答云從, 南天竺國, k 如 三和歌 司申」國 更不...間 見一平 不 留加 朽須今日見 云 Ŀ 船 奈菩薩和歌云靈 詠云迦羅毗 知 々解進ン官奏聞 異 天皇分 仍 人 告: 數 土毛鍮石 都 舍利二千粒種 二給諸寺」多分 多 那 留加 集小 衛背 司 即造二 奈 別故志 來法師 船 郡 山乃釋迦 香召 此 \mathcal{F}_{i} 司 歌 艘 婆羅門引= 驚行 勅使 々推物 五具 天下人間 也刺使上 奉置三元 毎 H 船 万御前 本乃文 問以 一菩提 云 十 및 = to 我 餘

提等看 內外 婆提 忽着二攝 水三如 師 手 僧 N'S 件 臺 願 成 副 天 北 南 思熟 ili 博 削 亦 往二遇文殊一 玉 少學二佛 111, 他 本 船一 者 共涉 通導と 天 一告日 意 大 到 卽 /sfr \overline{H} 誳 10/5 為心妙人一物 俱 珠 或 1/3 同 名目 祈 年 此 三婆羅 風 欲 國 "流沙」遙踏" 嶮路 共到 也本 滤 佛 遇 放 敎 忽發見以吹 浮 或 卽 年 朝 次 造,香 哲等 Ш 不レ ..汝手印.授..與此 二船 門僧 聖 聞 一來店 妙 忽然有二化 臣名 试 癸 发菩提 河 王 開二 一彼 **惨共有□遊化** 三夢 大 T 清 印 也 語提大 教 海 丙 代 沙門道路善達 74 潔 持一 顚 卌 児術-山一之比 但菩 等幷 子 月 開 以咒言龍王 基 - 甚 有 口 客 志存 = 盛い 以歎悅爰行 化 提 以 南 唐僧 留 愁 月 B 向向 神 歎息 天竺 者 眉 弘 11 學 遣 A 北天竺佛 告曰 花以浮 志 理標 迦 ::于大唐: 玉 僧 唐 夢 道 日 法 使 加頭 三三藏 亦 毗 還 R 璿瞻婆國 大 - 矣即 脏 矣便 中 具領: 公者隨 防 此 K 羅 使 = 着 井 =難 敵 基 徘 降 哲 沙 經 丹 衞 婆羅 居 順二龍 聖 聖 E 波 - 偏精 忽生 到 i 伏 咒 門於二天竺 治 徊之際此 城 悟 一个囘 崖 順 聞 崖 二五臺 僧 海 住 比真 方 門 唐國 其 忽乘 言」與: 到 遊 新 矣 震 此 此 機 二律 力 詞 الا 在 來 日 化 云 創 香 Λ 客 山 三那 為 持 件 林 欲 也 之 在 廣 削 廻 書 同 國 菩律 提師 桐机 命命 音聲 婆羅 我 以 童 特貴 各生 也 云遠 前 行 時 東 示 則

放

此

五 祈

吾

至

乘 使 た 邑 船 筃 成

去

到只引= 之次介と 來之日 分と 爾結 = き 僧讀正師 可 客經營若有:何 門之往 微笑未 井與二婆羅門 少何以可、仕 問問 迎 歌二詠彼婆羅 起 彼 天志眞 小 爲延開律 思議 者申 行 立 --件客 船 過二菅原寺 率妻子二人! 本乃文殊乃御 日 k 眼師以即 一排一竟衆 自 酮 佛 凝者此 告童子也**先**來二生此 卽 擢 如 知事 然迎 於 像 | 矣爰并忽自、船下尋; 竟行基| 并於 不 經 己翁 朽 三彼 . 非 中 仰話 勝 哉 僧 之來是時 由 門所、作 |人聞|| 一個時 時 相 寶 宿 所心命耶 瞻波 同 IE 同 -自然携,手即 |或含笑或口 顏今見鴨井答云 是則 見 四 非弟子甚 欲 以分、住,大 看涕淚悲泣 大寺一个 5奉1仕 鵬 年壬 矣天 有产 域 忽得新 莊 之和 種 + 習過得非 井答 三嚴 老者 K 嵗 辰 4 語 见 此 國 歌一爱小兒等起以傳 以戲嘲當一于所期 難 七 奏演 E 客 名 言 波 淚皆聖 月 Ė 下彼飲食已點以 安寺中 歌云迦 . 猶尚矣但 供 進向 傳井部 語 九 津 年 及山七 而 物 四大倭國 靈山乃釋迦乃御 樂 嵗 日 引.率 加加 稍 不知則 「菅原寺」 帰 次 與賢歎 院 毗 天然清 侶 矣 具 八癸未 十一不 眼 羅 - 矣時 上集會 但 拔 大 Ħ 無 者上 衞 M 時 會講師 始鑄二 向 衆 被 - 今已 定 爾 樂舞 彼佛 貧 皇 道 僧一 聞 帝 操 此 都 下 俗

帝 貴獎 忘: 歌 獻 不 響微 皇 同 虚 共致...奇 件 僧 天漢疑 傳 眼 傳 便 嗼 大 習 唐 之笛 被 忽然 介會一 哉 相 殊 也 侣魔 悅 也 給 宣旨 大 市中 無以不二歎息一 有有 時 三九 安寺 預 I Im 勃 一之所作 事 1 此 條條 傾此 海 帝 寺 善并 獨 各 習.件樂 音響摩那部語 并 行 音聲者遠 是太后 長 斯 聖 餘 階下 兄 樂由 寺莫、行 者之傾 侶波 致二希有 爱 行 矣 為 迹 浮ン波 思 如り 即 感 自 於三 歟 會 横 此 惟 爾 甚 遠 一之念發」隨 當 場 東大 歟 其 Ü 崖 相 已上 獻 舞 爱來 降 忘 旣 吹 之 大 登 代 系 願 是 集 12 處

來 待 供 賀加眞能 部 H 今 保比如釋 於海 玄香 中 木 阿阿久迦 養此寺 沂 往 H 師 比利知乃 比美都留質奈 行知世須阿比美都留 而 湘 可 生: 從 上,香花自 基 樂 記 二異國 非 三司 以 云 レ濱 之舟 加二 迎之 平 等向 井 并 百僧 留利 前 然指と 武 為中 賀天 執 聖者 剧 天皇 非 毛子 卽 末 伽 講 手 有人 謂 異 可以 西 之具 相 波 師 沙片 國 而 勅 來 £ 緇 見 津 聖 去俄 東大 奏曰 不 閼伽 及二于會 素 微 井 於 卽 暌 亂 頃遙 三濱 寺 率= 云 答 井 二次第 具. 基 異 頭 和 九 唱 望 期 不 域 E 調 + 命 學 燒 奏曰 毛迦倭 西 V 音音 九 遨 翘毗知羅 歌 方 井 船 香 V 僧 是 樂相 罪 為二 盛い H 著レ 岐惠 及 國 角 欲 里邇 花 治 平 册 之等山靈

> 東 10/5 沙 = 門 大 會 名 時 提 元 阻 13, -12 集 獻 會 歌 人 知 行 基 是文 殊 身 7 K

比 濔 美 波 那 加 之 3 75 天 蓝 伦 直 都 EII 1:1 遠 睃 與 美 涵 非 之 世 流 廬 佐 那 保 度介

利 乃 利 佐 74 加 裳 T. 度 名 蓝 波 波 那 佐 舞 睃 邇 多 利 計 布 與 利 波 保 度 介 75 美 T₁

乃 美 那 毛 度 万分 12 利 TI 於 古 利 之 度 布 夜 度 利 见 須 加 75 天

良

字 12 天 盟 都 留

御 作

天

4

勝

實

四

年

四

月

+-

日

世 宇 留 與 呂 波 和 律 度 歌 與 当 和 加 天 毛 瀰 布 北 波 卦 美 波 古 笏注 禮 度 利 天 美 加 度 加 與 波

此 等

元

與

緔

倉

牙

之

寺 要錄 卷 醐寺本)

ぼえぬ一言しるしそへて後證とせり になめ一言しるしそへて後證とせり であるを短い居しも此本によみくらべて明らかに愉快をおいます曾て丹鶴叢書刊本の二の卷の順序いと如何におぼし、関失しぬるを田中勘兵衞に事とらせ醍醐本をもてうつさしめて関失しぬるを田中勘兵衞に事とらせ醍醐本をもてうつさしめて、の二の卷一冊は今醍醐三寶院の文庫にありて古消息をつきあいの二の卷一冊は今醍醐三寶院の文庫にありて古消息をつきあ

小杉園主人

明治廿八年九月

東大寺要錄卷第三

供養章之餘

御頭供養會

由,給矣
由,給矣
由,給矣
由,給矣

一个件大佛已為,大破,修理所、得功德勝、於,新造,望等奏云謹案,天平勝寶四年勅書,脩朕發,菩薩大願,奉等奏云謹案,天平勝寶四年勅書,脩朕發,菩薩大願,奉等奏云謹案,天平勝寶四年勅書,脩朕發,菩薩大願,奉等奏云謹案,天平勝寶四年勅書,脩朕發,菩薩大願,奉等奏云謹案,天平勝寶四年勅書,脩朕發,菩薩大願,奉等奏云謹案,天平勝寶四年勅書,脩朕發,菩薩大願,奉等奏云謹案,天平勝寶四年勅書,脩朕發,菩薩大願,奉等奏云謹案,天平勝寶四年勅書,脩朕發,菩薩大願,奉等奏云謹案,天平勝寶四年勅書,脩朕發,菩薩大願,奉等奏云謹案,天平勝寶四年勅書,脩朕發,若論,都造,望

加進』者勅許」之云々
請令。天下人,不ゝ論:一文錢一合米,隨:力多少,以得。

如 東 親 刺 寺 Ŧ 育! 撿按 傳云 毗 盧 遮那 取主 佛 處 W 分 斷 墮 IJ 夫早 拙 朝 畢 延 親王 召 集工

近

經

三代實錄

云

地-天平十 野河 三月 輻引上 日應 太以 - 藻二飾幡蓋 三年二 三使 大毗 會 司云來三月 來修 万點二佛 五年 |相率向\寺監||修 供」養東大寺毗盧 日丁亥分,百官限 盧遮那一宜、分二彼 慧二山 一月廿 理鎔鑄復り 供二養毗 創造文德 擅場 一排二批香花 IL 城 7 之上數二其朱紫.懸 凡 日乙 四 國 盧 其莊嚴之儀 天皇齊衡二 十四 Н 舊是日 含那大佛 勃二 部 會事 當下設二無遮 部二 極 遮那佛-三三箇日 H 日 卽 會集人 ,巧盡」麗奪二人目 Ш 一此是佛像感神聖 戊子於:東大寺 使 城 不了可言 年 Will. 故也 授二 大會一 頭 斷 內 二品治 眼 個 和 十善 勝 停: 頸 魚肉山 泉攝 樹 奉出供二養 載 師 斷 1.75 戒 損落三子 泪: 卵賀陽 殿廊 鴨河 精 」」」、皇帝 設二 ド 七 同 明 庭 湛 车 東

> 徿 博 觀一節」是禽」肩 似。移二一天一南 上結二排棚图 肆 庫 士播磨權 秀 崗 絲 者廿 眉 竹 威 方聲 儀 守菅原朝 人東舞 更施 具足 北兩 人不り得り 填:噎 ..舞臺.天人天女彩表霓裳音伎聒 松 京貴賤士女充〉街塞〉 二內含人端 臣是善,作二児願 「唄接」響衆樂遞奏大佛殿第 顧 堂宇 先」是詔,, 從四位 观者 大 唐高 11-文一實錄上 臘 供 林 三色之樂 三倭舞一次 F 鼓 層 近 鐘

貞 供養東大寺盧 觀 行 事官員 年歲 俗行事 次 舍那大 辛巳春 捡按 佛記 月 -文 四 H 戊子 行二大會

事

大和 左 左京 一品治 守從 史三 大夫 盾 布 撿 部 IF. 從 三位 宿 卿 宿 某中 伊 位 四 屫 源某 位 勢 清 朝 清 親 在 直 朝 臣 原 \pm 任 Ŧ 臣 諸 朝 繼 臣 散 右 右 散 大 中 大 位 和 辨官 藤 秦 權 辨 言 臣 從四 某位 原 宿 從 4 史 朝 在 五 福 藤 生 位 你 臣 原 永 原某朝 膝 伴 春 原 发 源家宗 貞 一 人 生 宿 丽 臣

埬 寺 別當 傳 大 法 燈 部 法 位 師 眞 位 如 真 昶 行 事 僧僧遍田温 昭達在

處

k

莊

糖

者

能

厭

而

抛

過

衣

宿

德

儀 儀 師 傳 傳 燈 燈 大 大 法 法 師 付 位 師 惠戟 IF. 義 造 東大寺所 傳 燈 大 權 法 專當 師 位 傳 房 燈 忠

位 惠

師 傳 燈滿 位 龍 秀

從 儀 師 傳燈 住 位 一峰澄

雜造

施

入物

裙帶

枚

幡

#: 雜 屋

前 作二七 院 東 館 間 作 在 為二雜 工等 寫 心廳 作 所造 物所 一 所造 作寺

院 僧 坊 屋等為二出納雜物所

御 HI 约 倉 宇 收納 雜物長年錢四千三百 七十 八貫文

修 理 二六分 大佛 殿大 黑赤綾 幡料 雜 丈玖 色絹 黑紫綾 尺 九 DC 赤紫綾 丈

緋綾 感綾二 三丈六尺三 文三·尺一 後5寸 綾7五 分 分 深絲綾 浅黄 綾 漆 四 尺 七 寸 寸九 分

五 丈 尺六寸・ 九 分 七寸 雲間 分 絁 DC

DC 組 儿 水 條 和 長各四尺 九 JU 八八寸 信乃 辛組 調 布 一條是各 四 寸七 四尺二 寸

五. 斤 计二 兩 夾 + 匹三

> 女舞 寸 וען 衣 文為

領

170

裳三 腰

領 巾 枚

百 四 五. 应 流 懸,步廊,料 流 大四 + 流 懸"大佛殿戶」料長各三丈六尺

小白 長各七尺二寸

加 花 縵代 組 漆 漆條懸,大佛殿戶,新 枚

中門柱經六條長名 三百

一葉花

各四副加帶長各一丈三 東西 平文高 **ビアスサ** 杯 四 干 基長各七 條 分長 中門頭 額 加四 帶尺五 一條長九丈九尺 步廊柱 寸二 倍丈二

東西 幄 四 宇 脇 門額 絹長 州各正五 一百四十張八十八枚足」造二一字,加二排網二十三枚上,並一字,加二排網二十三枚 條長各 步廊 額十八條長各六丈二 |枚三綱所、課衣端 張帶四 四具長各二丈 尺

加 泰 締ヵ席

國

長

座

析

調 綿 層寺 千二百 七十二市半 屯拜志寺 Ŧi.

八

百

屯

延

+

屯 九 釋寺

四 四 屯鳥部 屯 牛栗田 卅 百 五 十八 屯牛檀林 市 佐 比

四十九

A 奉 加

額 《裝束 條 長十 唐 九丈五尺弘五 衣 ル 領 唐 懸三大佛 四 腰 殿前 面 腰 新

已 僧 都 眞 雅

四 --流 懸,大 **一块二尺三寸** 料

綿 九 + 7 $\dot{\equiv}$ 庀 屯 調 六 布 百 刀

五十

帳

段

弘信

四乃

十七

段反

商布 長 车 錢 卅 四 反 + 貫 交易布 一十六文 十三反

糸 絢 鍬六 П

空 胡 尤_声粉 一六斤三 五十斤 兩 分 丹小 青 六斤 七十 · 斤十 四 兩 应 一兩二分 分

小

已 上右大 臣 藤 原 朝 臣 奉

X

四

絹 疋 衣 長 襲 年 錢 菩薩 一貫文 装 東二 唐錦 具. 九尺三寸 調 布

已 E 疋 東 天 寺衆 摺 衣 僧 奉 領 加 御 A 鞋 裝 + 東料 定

年 # 斗 貫文 四 網 紙六萬帳 二疋 綿 交易布 + 九 屯

反

新

+ 口 板, 五 柄 折 櫃 + 四

合

菜桶 九 口 已上 諸 奉 加

請 法 用 僧等 合 7

開 III 師 東 大 平 存 Édi 傳 燈 大 法 師 位 惠

運

導師 樂 師 寺 律 部 傳 燈 大 法 師 位 惠 達

咒師 一十人 頠 + 師 元 衲僧三百八十人 颱 散花 小僧 師 十人 都 傳 燈 梵音僧 大 甲僧二百人 法 師 三百人 位 朋 詮 定者僧

錫杖

百

11. 僧

請 酾 使

請 請 導 師 眼 師 使 使

宿五 請 過位下 兜 最 佐 節 節 願 使 真左 人言大 直夫

> 治四 部位

輔在 從五位

源平

包位

~ 從 支五

蕃位

頭大

從和

諸樂人

世 反

合

林邑樂 樂 鼓 曳天

天

樂人四十人

人樂 樂 樂 鼓 鼓 奉 曳天 供佛

古

麗 樂 人 鼓 曳 天

和 樂 十人 和 斷內含人廿人 東儛左右衛六十人

佛 供

木佐米 個机 基

基居,香印,木火爐 口 爐 前 立 郅 板 K 裏 桃

字音 供養眞言 - 板表 有多銘 E

諸佛 香烟腦 以 我 功 德力 到 有 如 頂 不亦加 大 被 餘香普給 力 及以 法界 遠 翔門因 力 緣 供 養

基 居 三渚濱 在 物 御 插 UI 花 征 風鶏

金塗綜 琉 璃 症 口納沙愈 納 一開伽香 百 花等一諸前立二銘 松藤花結懸沙金十 々裏 寒 一 兩 別 朱二書梵

字 一告二供 四 養具 言 板表 有公部日

口

抓 HI 花

我 貢 佛 抓 УÚ 花 枝 願 以 此報 所 念自隨

伽華 水

香 花水 尴 含那 佛 餘 滴 流 散 普施 甘

坳

洞 到 有 頂 天 餘黨普給 遠班 因

緣

召 華

東

大

寺

要

餘

卷

鯙

Ξ

春花 入獻 艷 論 田 觀 羨 同 須曼

果同

泥

渥

燃燈

燈明 供 養 照諸 咝 冥 功 一德之報

天眼

奇靈

塗香

牛 頭栴檀 芳馥 絕 好 心 觀 念

奉 塗

資

黄 金

黄金百 鎰 琉 瑶 壶 裏 捐 像佛 身 示 犯

如

山

供養諸佛

以我 組綿 功 德 百 如 來加 屯 大畫机,白紗覆白絹褥帶裏,磨甲纈,居,花足机並 被 及以法界力

大花 盤 十四 基廣六尺六寸造寺所作

一基盛 一基居 三唐鉢 三承餅各二百九,徑五尺三寸高三尺 - 各 口盛,飯各六石二斗五升

一基盤 一基盛 =薄餅 捻 - 各六百五 -各八百九 十九

頭

一基盛 一基盛 和 **高脏各四百卅六九** 餅 各四百 八 十五 枚

一基盛 四 百 州二

大 花瓶 已上 四花 口 綠有書木皮形 中居臺各擣尤高 盤別盤中置 二糯

壺

別五

斗

丈

供

五十

舖 供

斗斗 計 計 計 新 新 料料 米 斗 八

升 二升五· 升 鹽三升 朱醬 升料餅 升

小 豆四 升

[,]

Ŧi.

心 太 **三**升

> 芥子三升 海藻六帖

紫苔

松五

海藻

嶋李 帖 升 升

布 青吾六帖 语三升

> 糟漬 昆布

時

世生一次 流五升

斗

升

芹 未醬武五 升

開 法 展児 用 Ŧ. 僧 願 供 fill 供料 同

上

料料

前

斗

升

海藻 豆 合 $\overline{\mathcal{H}}$ 五. 四 連 合 升 二合三升二合供料 加菜料長年錢 醬五合 時菜二升 布苔六合 海松六 油 二百文 心太三合 三合 一升餅 把 料 酢二合 青苔五 鹽五 芥子一合 合 把

供

一養之上

料物須下

行二各本寺一个二辨備持

運

東大

為"知識衆」初行"修理」今至"聖朝世」此事途成始終

但 延 唇 寺 僧 74 1-口 供 料 東大 八寺辨備 供 養大 和1 國 1 1

佛 聖 僧 尼

爱

佛 響低員 间 僧二 一于僧供,但不,加、錢 四 百 云 十六口 尼七百

Ti.

合 [7]

升 斗 Ħ.

已上 一供料又行,各本寺, 令.辨備 供

諸供養某國若干尼若干其國僧若干尼若干

除。以前僧尼之分散居…諸國

一僧料」國分僧尼等念

養

-11-

口

太政官符 七道諸國 司

四 應。自,來三月十一日,至,廿 日,國分二寺設,裔 曾事 日-禁事斷 殺生。又以二十

各集二 僧尼 本願 彼大會日,即於,國分二寺, 共開, 齊會, 令, 部內僧尼 >奉|供養|我又蓮、心專、念同就,,功德|者但先帝唯據 以...來三月十 右 小民教、作,是念,我知識 右大臣宣奉 、勅近來奉、修二理東大寺大佛 稱 天皇之弘誓,以,八幡大菩薩,為,主天下名神及萬 .. 諸國司等,自..十一日,至...廿日, 一寺,並爲。供養。今,,導師具演,,事由 四 日一當上設二无遮之大會一極上肚 奉之修,理盧舍那佛,今日 禁二斷殺生 一銀介二會 一既畢仍 嚴 之妙 應 集

霞尊靈 增長 餘名神 隨り殊 界一不 府 主 同 力自 於 調性類 惟 上下提、福風雨順、時年穀豐稔以 在 論一自他一證一菩提一 音寺,修之符到奉行 本願天 則 -早開一覺花一現 使 皇及先帝御靈乃 幡 大善 諸國 元在雲朝 薩 别 承 得 知依 玉躰 至 解 開 脫 ン宣行と之 此 闢 安穩寶壽 已來登 命 為基

從四位 1 一行左中 史三善 宿 辨衆式部少輔大枝朝 禰 清 任 臣 音 人外 一從五位

字:

貞觀三 年 市 月 11

日

法 用 僧 布 施

道 Gili 뗴 僧 部 布 師 施 布 布 千 施 施 口 絹 布 絹 絹 十疋 施 八 疋 疋 調 布 綿 綿 綿 反 屯 屯 人人別 調 調 布 布 布 亢 + 反 反 反

施 料

長 年 錢 无 各 Ŧī. 一十文 貫 百 Ŧi. 沙 + 彌 文 尼各百三

會庭 装

優婆塞各

百

文

基四方 面八面 題等在 高 欄

> 造 所 作

> > 標準高 座 一概三王

> > > 禮 盤 基居,舞臺上東西

駉 池 基高三丈三尺外從五位 頑

褥 達 宇客供養有居二舞臺上北端

寶樹 十二八株殖,隣臺東西各八株 殖

六字 西東三字字

宇宇 宇 非 樂住 所

勍 新 使并行 樂住 所 事 一諸大 夫 住 所 字 字 高 古 樂住 麗

樂住

所

所

字 大 夫 所

大佛 東 西 郷 臺 殿 育 步 步廊 基廣二丈 廊 及軒 奪 莊 嚴 廊設,千僧床 造 可と知 立大 114 殿 不以記 中 造 層 小 南 所 面 天 樂新

Λ

制 濫 行 輩

便 左衛 門佐 紀 朝 臣 春 枝

為 順二行彼寺 光 廊 地 - 差...件人 發遣如り

與

共相定行义之

制 : 濫行輩 事

右彼法會之庭若有二件人!

者

論

三陸贖

當

唐

决

應、側、大童子濫 恶事

同 會若有…件 人. 者固 N 其 身 當時 決技不具 雷決

大 弉 更 铩 E 胨 Ξ

態

復 科 三責其 師

レ勅如 右右少辨藤原 會,相,競慎所,又有,濫惡鬪亂之輩一而此大 い件宜 "早造知合"各肅慎」者凡七大寺 朝 臣家宗傳ン宣右 大臣宣 奉 毎 一會刺 ン行

調樂事 不見一競所之亂徒一不

使傾

ME

「慎所」又率,,其衞門火長若干人, 敎威禁制

右雅樂寮居集其色人安云 R

右令三大和 掃除寺內 國 掃 除

供

瑞祥 神 右會畢之後以一長年錢十 貫文辨備 程 物 大 佛 前 供祭

右當 屑叉紫雲立..騰大佛 一會日一甘 露 叉降 殿東 有一光貌 岳 石 或云 佛 含利 或云 王

會庭式

誦讚之 你加二 行 間 以三古樂 對立 普腎 奏 井 新造音聲笛師某位和邇部大田醫奏舞了還新造舞唐舞師某位父屋富(宿子) 象 次 E 曲 多門天王率 上 一舞畢馬 Ě …從鬼十四人 北 面 而 立 伽 陵

打定

坐僧廿人至..大殿前

一禮拜執

大解子二 率,從天人六十人,世人天衣盛, 綵花,東西相 上東西 上,有,口口音,讚 墨下√臺着:, 本幄! 東西 天女率,,從天女廿人 佛身安座 相 *,二人捧"大扆,一人持桃,二人捧"大柘榴,二 一從天女十六人奏新造音聲節師某位和邇部田丸 列所、持供具一奉二獻佛前一獻供畢還立 國 王 次殿上天人樂 人持,研一人持,斧一人持,捧二人持,持二人持, 之如意,一人持,自拂,一人捧,展扇一人, 十六人各捧,造花一豪,(莖ィ)一人持, 日 華嚴經第卅九文 切世界悉現身 次曲大自在天 人棒= 廻列 臺

讚 畢散: 所持 端 嚴 无 綵花 量億 繽紛 而 法界廣 下 供花墨奏、舞了 大悉充滿

人二了 壇 僧坊-ン南巡行自 逢東樂人 西相分從二 打新樂高麗等 打唄師 東西相 一廻自 至相 十 如が前 廊 分廻逢:殿北 - 逢 原廊 北廊一行東方樂人自二廊東北 人登上自 東 西 北中門一如」前通入就 北 同 北角戶|出副 四 入就 樂同 角一入巡行自 1.舞臺 | 入出 1.大 本 從 時 行 幄 階而 道自: 舞臺: 一僧坊 =廊 下 殿也 西北角 到1北 一廻相 - 本幄 角戶 入指 1 登 待西 戶1出 西方副 門 到 外一 大 方樂 東

衆僧隨行取、便行道了各着,,本座,着,舞臺,同音發聲行道式一同樂散華莒置,,南中門,一打唄師同音發聲散花師東西各人率,,祧甲衆僧,登

之間奏,,新樂,一打梵音衆登,自,,舞臺,詣,佛前,奏,, 井願文, 徃還

麗樂, 一打錫杖衆登、自,,舞臺,誦,,錫杖文,登降之間奏,,高

一打導師讀…願文.

粤天國 拂鏡 柱之扶持,為二一時之傾毀,靈顏頓落疑,滿月之暮,西 、地四夷間奏萬樂更陳自、斯而後一百餘紀先皇齊衡 誓,以競進人神感慶光跌已成瘼,,兜率之下生,狀,須 年乙亥秋九月現" 寂滅之為樂, 稱"諸法之必空, 廢,千 三千之外,一草一壤獻,至誠,而爭、光一 王座無、態宛然禪定先皇大釣無事神器有、歸堯曦持 之高峙, 爱設, '開眼之會, 車駕親臨旌旗拂, 天鐘皷 至,,于感神皇帝天平十五年癸未,敬造,,此盧舍那大佛 二百有餘載金姿誕耀光..曜百億之中, 實相宏開震, 動 |寶髻俱投似||遊雲之頹||北澗||眞容持峙儼若||思惟 俱懸軒車與二法輪,同轉刑罰指而不,用功德因以 押開廣庭天皇十三年壬申佛像西瞻釋教 日三拜應:弘 東 來 彌

衣 謂哉 槐九棘褫,,玉佩,而從歸桂殿椒房落,,金釵,以靡, 惜无 ₽盡猶示。功非,獨學,力寄。羣緣,一切偕、心衆生共、助 志一紅粟朽廩贍..萬民.而有、羸青島委貫散..四海.以無 參輪,周官詮,「揆日之工」荆容練,「成風之功」雖上則道霑 卽 不、動、於大力、四禪不、壞、於三災、勾海將、留魔風可、返 周 受,良圖之不,竟悲,善業之無,成率,先百士,遂為,具 自"鼎湖龍去 重雲,以霄光花簪四照逐,長春,以曉發前佛後佛非謂, 帝之日再中,天上,秦王之鏡更出。地中。星毫一點排, 見…教頭於、虚空、堅相全還瞻。圓面於、寶殿。稍喻、漢 量无盡荷擔爭馳自、西自、東車馬競至遂使,銀繩運ご 之輩,何况施身童子忍辱仙人天女持,花山神戲, 於是神靈致、威奔爲,知識之者,外道歸、心還爲,恭敬 二佛 前身後身猶 粒攸、捨齊二金剛之珍藏一年發所、施比一銅山 致、化覈繩成、功馭…七聖,而無、為軼,三皇,以有 傍 施 謀二卿相 低 若使。陰陽爲、灰萬物爲、銅校。量功力。豊如、此哉 "諸佛之失"元首、恨"衆 ... 幽明 . 龍王移 .. 水府之琛 . 皇容布 .. 天國之 |博詢||蒭蕘|採工輸班之雲梯 岫雲飛一藻續有」遺供養未、畢爱今二 是一身如、去如、來不生不滅量此之 庶之無」瞻 據,張平子之 仰 以 五陶鑄 為 東三 神 輸 果一 田 先分:功 之水 百億 遊言 閻 俳 螺獸吼法 栖 散 恢 屋 排 成 含.樞宅海 方僧之現 相 医廊之庭 邑之靈廟 霧標 二個利一香 八十四 優秋鞋之伎莫、不下動,風雲一致。鱗羽、者中矣於」是問 一中天之異響一初 三休繞。浮 :辨天平勝寶之舊事 لإ 一能灌頂 斯功 覆,護三千,者,誰 翠簾一啓〉窓煙,高門一而愈」肩紅 此 士女雲趍 德 在 願 皷雷鳴蕩 穢滌 鵷鸞致 提 臨赫菓蒸層 圓滿之佛,今處茲景福奉。薦,聖朝四二三歲 德一奉之資二感 煙花 俱懸== 者 煙於 天籟地籟參差萬殊南 如 ·象御震 日レ 年 雨 に機構性 車不り得り旋 歲 湎 前 師 供三 虹 真鏡 次 出 祇早 曳 王 李 者上焉能 |車騰||七曜之順 等列譯抽二上妙哥調 敢靜而當之然 層薨四注激 神之山陵 以此 シ邪和ン神 瓊麻清英之池驚鷺成、行 削 世佛之虛 已春 綵 紅窓 脱 便 ÈB 莊 二威怒之煩一 人不り得い面繞 挂= = 遍周 動 月 以密唉卅二相煥矣天 嚴金光 新 空 而 咸」鬼激梵陽河 + 音 法界之光一同轉 行 几 北音鏗鏘九變 奔電於二形龍 玉 ン之非 則 袖 獨 H 瑞鳳 護國 速趁 勝因 金鐘 成 青 臨 瓊漿薦= レ張非 一清明 蓮湛 胸 長 之香 三慈善 盛四 奉い班は 夫薰心 者 廊 目 稱聖 之曲 金還 、梵鐘 寒二 夫 m 寶 海

> 岳 皇太后中宮摩耶之德 之所言該 元」以等人親王儲王相 m 齊 一以不」動百僚之臣千 河 儀 被二三界之所,,包含, 俱出,,塵 一璇 五 六龍 職不、廢玉 而 節 北 府卿門拱 累 燭恒照 城之 レ壽 刧 愕 宰比 而 九 夢 北 士 无 无 屋 辰 銷 開 少侵ニ 垢 辩 い謳 章德 閨 而無、移標二 同 門契。福 T 其 登二智是 之規 廂 慮 台世 發 與 い詠 語 = 育 た 有

讀三願 自 打児願 I餘如 文, 畢令, 集會人受, 十善戒 師 讀 : 児願文 士管 奉 一誦 善 「盧含那 朝 號

貞

觀三年三月十

应

日

榆芭 銑鎔 感寶 十重 蓮華 发及 貞觀三年 至 日 法藏 曉 弘 天 法 欽 E 身 東 大 藻餝 敬造 莊嚴 佛 萬 遍 R 會児願 法 世界 捨 六 其 智 金 時 成 財 臨 書作 者圖書大台 派 霜鐘 光畑 塊壤 疑 不 宮宮 可 園 不夜 無 遠 盈握 合 思 重 議 閣 允泰 應 春原 風是 開 伎 跏 枝 祥 慮 跌 鐸 惠 演 舍 狩 长 É 長 連 核 那 勝 鳴 秋 地

梵釋四王	文武百官	天官家宰	風調舜春	方今聖朝	兩皇太后	田邑聖靈	威神天皇	如是景祐	都雄野老	天神歸依	琴瑟克諧	虹幡制綵	請三世佛	乃勅境內	莊嚴渝蓋	貞觀三年	股肱寧濟	聖皇繼躰	固修舊迹
龍神八部	霑斯法味	全保金剛	雨浹堯旬	實祚延長	母儀堅固	深圖始啓	遠慮斯基	先資七廟	雁行連袖	地靈來集	金石殊調	雲幢揚光	供養上饌	禁斷屠漁	頭顱端正	歲次辛巳	補相書羅	文思欽明	補級先儀
增光日月	牧守千里	衰職名臣	萬民康樂	恒沙入壽	中宮淑德	速遊六天	早叶宿誠	滌想三明	趙美燕餘	视者如塔	似夢鈞天	農 皷 群 鳴	屈十方僧	預舊會衆	忠眼重開	幕赤三月	赤縣同文	重拱無為	功未具足
倍勢風雷	沐此因緣	永斷災難	四境恬靜	初石添身	霧露无侵	遂登十地	當成分佛	恬神八解	魚貫繼履	來者如雲	疑生淨土	鳳簫俱叫	布施妙財	受十善戒	靈毫更照	十四日辰	蒼毗旨悅	優遊有道	先帝昇遐
— 網諸大寺別	同寺建幢料	屯便十疋絹	·供二養·	賜五位下	司判官已下	權守在原安	真多朝臣行	治部卿賀陽	二法會導	緊那樂法隆林	晋 雅 鄉	T.	貞觀三年三	惠運僧都	貞	三千法界	山林聚落	部類神祇	八幡菩薩
別當有勢之人莊	一信乃布端以	於二大安寺大	一開眼師布施	「奉無賜」朝服要帶」	未~必…姓	、真朝臣檢非違	事司左京大夫	親王中納言伴	-	四天樂也 惠運	察弁左	佛前,設,大會	月廿四日國家	記錄文	视三年三月十	十二因緣	河海諸神	或幽或顯	殊資妙因
二 嚴大會庭寶	供二燈油一寺藥師	言語	十疋絹調布十	其日十五大寺	 一 	使左衞門住紀	入在原行平朝臣	善男宿禰宣命	以為一児願師	其日為,開眼導	樂諸大寺音	以供」養之	修二理平城東		四日摩紙書之	共出煩昏	扶持自業	俱乘梵筏	依善知識
樹」惠連在二	如外 分三僧	布八端	一端信乃調布十	大下	木工忌部文山	春枝朝臣行事	大和守弘宗王	使右中辨縣原	一設,法會,刺使	師一惠達律	樂一神樂山階胡樂元	三刺樂的	大寺大佛了屈			同遊覺照	受護黃圖	甲脫煆宅	成菩薩果

亦此 依い員 施二為 有人餘般 導 供 武 納 寵 仲 韴 養其 兩 天皇奉ン造山東大 腰卅 寺僧 法 律 一世謂 已上 月浴堂料 直 三年四月一日 大安寺衆僧談云昔 於 惠運上 日此 師 師 二大衆 綱 - 捧...白赤大 無以緣 寺婆羅門僧 - 掛 為 座 着 = 開 進し之諷 大衣 又東 老僧 以 乎 眼 八寺大佛 導師 八人針 一村二 衣 裳 誦 IF. 一合調 襲修 爲川開 也 衣 然 有勞僧 又在:藥師 金 則 韓棋 大唐院 温 此 眼 帶,株鞋大衣八 萬僧 寺 等自 道 誦棄舊老僧 僧 師 合,便 奉 綱 一設二 今 寺,奉: 外衣 "東大寺大 兩 以,,大衣 日開 度 大會 製金八茶(裳法 為 眼 神智 為先師 大會 眼 開 開 佛 衾 (除于 眼 聖 Ţį. 等

VI 供養 日

也 右 貞觀 肉。以识明 者文章博士营 近 叉 印 觀 於一大 衞 - 此 庫 年 年 爲 $\dot{=}$ Ħ 日 修修 藤 座 月 應 月十三 原 御 十二二 一供 原是善 朝 曹 召 司 臣 內記 養 東 日 日 直道 大 丙 東 1 朝 八寺大佛 大寺 亥合點 戌 臣 命 作 中 書 天 務 、毗盧 者 陆 書= 盧 13 百官 限 圖 休 大工 舍 輔 舍 書 暇 從 那 藤 近五位下 那 机 癌 大 原朝 允泰 佛 是 佛 部 日 願 宿 箇 不寿風 記 右 文児願 禰 日 文 大 葛 卷-山 臣 斷 命 給上 血魚 就 卽

重

設二天

人樂衆

儒 毫

東

西

廻」其數方 中戶 密 堂戶 設 十四 座 設 朝 親 務諸 無廻 五 雄 彈 唯 丈幄 奏語 藤 臣 王 三高 親 退 **参入大臣宣** 西 一善宿 許以,紙染,雜當 間 大 日 原 衞 日 行 F 出 麗樂屋 方第 E 村 三字也 朝 陣 阿 納 I 平 戊子天晴 参議 即 臣多緒 亥天 警固 -立:造花瓶八 鴯 左 E 行 -是日 餅机 左兵 清 衞 伴 幄設 事大夫等座 - 第二幄設:,林邑樂座 以 T 門 宿 牆 二品品 東西各二字者等、要各 F 為勅 小 佐 禰 酉 衞 右 明日東大 此 一家政 前 -新樂座 外記 剋右 同 紀朝 右 督 賀 日 源 將 F 陽 1東大 所申 戶 使 П Jh: 大 辨 朝 御室安常等 臣 大 間 親 其花 ,先、是堂前東 也 机 臣 - 第二 春 膝 八寺大佛 臣 納 王 送率中 立...飯餅不止等机八 寺大佛 去,舞臺 四 原 於 聽 Ξ 前 殺位 高 学相差,,直丁, 朝 政 源 幄 品品 臣冬 小 卿 或 會日 止飯盛木 設 時 開眼會也 口 納 就一幄 布 泉 一東 第三幄設 宇寫卵 康 大 瑠 也 召 胡 西 西 是竹 籠帳 納 宿 左 親 良 麼 角懸い 四 外記 尺或 東西東 京 拳 言 禰 王 務上 座 使 一行,事 仍 朝 帳」布 点 其 清 大 四 源 諮 諸大夫 前 網灌 第 品品 外記 貞左 夫 賀茂峯 臣 卿 支 飯 在 司 經 參議 本 立 廢 原 世

七本本四 柱 纒 舞臺 代 - 也 板 其廊設 敷 也 額 ¥ 黼新 東 短煙宛如長 僧之上,立,床二行, 西 相 分以と 錦於繡綵 錦 松殖二 色 其 柱 寶 樹 間 也堂前大庭 17 + 懸 应 幡 本 幷 七東

西方第五寶樹法榮師第六寶樹真韶師第七寶樹壽朗律師等所、餝西方第二寶樹道證師第二寶樹鷹理師第三寶樹叢回師第四寶樹長賢師東方第五寶樹賦經師第二寶樹三寶樹玄樂師第四寶樹俊興師

剋商中門內左 不可勝計共

西清刹三本縣

辰四剋衆僧已上四行依,本文村損,不上書」之

門連 原朝 ν興參…於堂上,自ν興下 \時五位各六人東西相 師誓,願之,了先,是開 師 相 之之是 共退 分舒.出 立 臣 內 內一近衞等着,,青摸和 一於庭 ?舍人幷近 施佛 也師 但 面西 細繩 中 左右 道 次左右 師 執 一分退 衞 宣命 如 至 等座 二于南 眼 **参時 分昇,香印 出 師 自,其 經 近 、异...香印机·参... 生琴笛井百等, 即至 生逐衞等兩人取:即至 次 進 盛範聽轉引 一舞臺 衙 - 即儛臺之下左右 中 親 就 R 菛 中 王 其 K 曳下 就 座 人 開 座 扞 E 眼 座 E 一設勅 起 取 道 制 即自 就,床子 于堂上 而 m 直 師 內 上於 惠運 使 開 卽 舍 相 右 西 人 堂內 取 律 左 T 立,床 舞臺 辨 即面北 導 岩 Ì 師 師 藤鄉奉 道 東 分 乘

材樂就...東.l レ上次 西分經 高 麗 緩 樂 女幷十二 前 講 者任 於行 使自 入樂人等一自,四門,參入新樂 佐 自 就一本 ル堪 宣 三角 一去即 即即 ılı 座 紀 命 待 其象 三威折 1.機臺 朝 Į; 取 次了 云 7 林 座 西以惠運師,為,兜願師,以, 一佛 勅使者 臣 内 幄 二葉叉等棒二 位 17 一舞臺 邑胡 門 皆構二 二醒午二剋本寺林 樂人等各就:握下 之深 供 次近 舍人 刨 相 春枝召..門部二 記 北 下 堂 舞 共逸... 入其中 樂自 | 叁 | 於堂上 | 奉 > 並即有 | 件退 方向 一十人 _ 進 衙 就一本堂 内 出 |更上|於儛臺|捧 舞臺一 自、堂還 退出 等廿人 拜 道 三南 坚 左右 刺 挨 東再 就:行 佛 皆 着:: 中 I 使 一則大工齋部文山叙 供 兴姆 菛 V. 即標立二於儛臺之北端一左衞 為一東舞 拜 相 人、分、別、東西中門 作 二度了退去更着 樂一樂人等入一於 事 稱 苦薩於其 高麗樂就,,西一幄 · 分上: 傳蹈 出 導師 卽 參入共聲了進 菓幷 幄 了退下 樂 從 唯 了退出退就二諸 人鳥等捧 児願季ン與 位記 文山 一丁引,內 三段訂 華等 於儛臺一 興下 就 上 幄 戴 1大佛 本 -白象 幄 一人白象 道 流、淚奉、 經 供供 座 二舞臺 舍人等一相 挨 各 中門則 為和 皆 三朝服 八共進 -從 的留.於舞 皆 儛 就 盛 以 次胡樂天 則各參 之德二不 $\pm i$ 就 臺 物等,東 大夫末 但 北 倒 進立: 共就= 位下 屋下-**禽蜂** 拜了 導 座 勅 為 師 共

親王召,右近衞府生平群民道, 仰事更加, 高麗樂人十 取一火爐 退下經 南廊 行堂次諸衆僧行道 舞了 、半也更加,,八人,合,,取、梓優, 酉四剋事畢分散 四人, 令、儛了各分就, 本幄, 酉二剋儛, 陵王, 此又 爲一児願又導師說了退下如 参二於堂上二云々了就二本產一次導師說二事由 本座,則梵音衆僧參,堂上,云々了就,本座, 人東西相分從: 南門 來相進經 」 儛臺 人衆廿許調,音聲,廻來留,於宵面,東西分,立儛臺上 本座,但十二藥叉者自,南中門,退出次於,堂一重,天 退出就二本座 藥叉立二於儛臺辰已角一馬丸也 即舞了引退下就 退下午四剋諸樂行堂三廻了各就,,本座 上一奉工置歸 F 一次出.喜春樂廿人,件舞擬年間賀陽 ·于,時 女等留二于儛臺 二叁時,新樂出 参1 於堂上1各 相 舞 けん ・ 春 篇 に 可 児 願 師 一度了就 一即沙彌廿 十人一轉 次錫杖衆 對共 舞 相

東大寺要錄卷第三終

裏云

真如親王安殿天王第三子弘法大師資 崇道天皇實思之弟子并等定大僧都賣自壁天皇第二子也世不羈者文武天皇第二皇子也良辨僧正弟子

新禪院本云

東大寺顯蜜兩宗學者金陵青龍末養寬乘 為,,安然, 間令、寫、之了後見尤可,,隨喜,者歟而已之學窓, 入,,北城白河之宿所, 聽聞之前見物之後 臣得業御房法勝寺御八講 參勤之間出,, 南都金陵 臣得業御房法勝寺御八講 參勤之間出,, 南都金陵

削

東大寺要錄卷第四

諸院章第四附神社

似一須彌一寶閣高構裏起,風雲,瓊樓特竦表接,日月,太 薪醬不、別,冬夏,華葉光鮮難、知,春秋,既爲,勝地,靈 圖, 畫衆彩, 實池妙菀八節滋茂名華瑞草四時開敷林樹 遠諸院諸坊連綿相對ৡ招棟樑彫" 鏤 奇 形 | 戶窓垣爐 北望法堂側立謬作化仁伯乘、空降生、殿堂高閣煥煽圍 乎加以東看西看靈塔聳出疑,多寶佛從,地涌出, 南望 出, 塵勞, 自、非, 本願聖皇之力, 我等何預, 此大利益 微塵煩惱 含那之境界一舉, 目瞻仰恒沙罪障一念能消低, 頭恭敬 自詣,, 蓮華藏三寶殿, 不, 開,, 文殊大智之悟面, 見,, 盧 心言不以及淨滿寶刹法界道場也不」運一普賢無盡之行 虚寥廓讓,,其高廣,山岳穹景慙,,其在b下寔惟廣博殊特 凡大伽藍為二寺之躰一華臺太像猶若山金山 廟寔繁凢日域伽藍數乃千萬口壯麗嵩高此 立之古諸院是新年代久遠頗以荒廢今所; 記錄 且學; 一時能滅見聞覺智皆入二法界一禮讚結緣盡 - 栴檀大厦 最也建

大略-耳

堂一字 五間一面在..禮堂· 紹索院名..金籲寺、又改..號金光明寺, 亦云..禪院

住大安寺東院,矣 位大安寺東院,矣 位世一歲登壇受戒住,持此院,後以,景雲三年,移, 堂也光仁天皇々子崇道天皇等定僧都為,師出家入 索觀音菩薩像,當像後有,等身執金剛神,是僧正本 索觀音菩薩像,當像後有,等身執金剛神,是僧正本 索觀音菩薩像,當像後有,等身執金剛神,是僧正本

敬造 始奉 法輪 之福也昔者聞 殿上-遠敷之神香水涌--於堂邊-- 皆是觀音之德施主 葉是神仙遊所復羅漢住處 是以近處之天紫雲覆,於 崇芟,夷荆棘,剪,截荒蓬,椿,造大厦殿,安,置 畔崇山麓占,定此地,正 之朝,信敬內融軋々庄,三寶之德,增復以,去天平年 今,守土利生之德特秀,前後,忠貞外備巽々奉,六代 三業无、瑕惠鏡懸,心臺,而六情常明惜,寸陰,而 TE 一為:其院一也殿堂星羅房舍雲重楊梅春華椿 二為 法會 …不容羂索觀自 |投||尺壁||而弘||臺化||護恩護法之功逈超||古 一四則 此 王 相滿疑二補陀之真儀 青連剛 三廻…迷 一種任處 [四恩,窮,,目連之三德功,盡,,毗首之一制匠 房 花往 像雖以就 都邑隱軫八方所, 輻湊 以 施 知此 ||禪師王子住||持此院||今見||太子禪門 々陳列容、身而已爱道力冥感朝 故 一救,迷津之多苦, 戒香薰,身閣 國 處自成:劫始成聖之所居 未、ト に居 中 在菩薩之像 IF. 勝地天下上所 其地也東即重巒龍經兩耀所 院 下力 處一後經一數年一京城東 遍 遊 為,其像 此此 普門 有り過 頻婆唇似:安養 處初即 - 示 レ此哉所 也立身丈 二法 …普門 部第名方 介道 ii柏冬 觀 野

> 以依 過加於自 、得穪表如、此善事經年不、盡者矣已上 止之人 分. 一種禮 名 聞 勝 念觀 利 超 無一諸妨難一誦咒讀 於 他 人.來臨之人 福 德 智 慧

二月堂

之仁祠 讀 于弘仁六年一合六十二年奉、供,,涅槃會,矣今聞 法一載。別紙一始自一天不勝寶五年辛北二月十五日 十年每年始、自二二月朔日二二七日夜修二每日六 レ謂ニ諸 遂,是以道俗男女 今此堂者實 忽穿二磐石一從二地 福 可以奉以獻三閼伽水一之由 希臨...行法之末..晚以叁會聞...其行法..隨喜感慶堂邊 云質忠和 年壬辰和尚始行"十一面悔過,至"于大同四年, 肺 出香水充滿則疊作 |神名帳| 勸二請諸 涸彼大明 或部為二守護 矣觀 垂應之 尚被\始二六時行法,時二月修 念和 音 神在二若狹國遠敷郡一 大士普施二靈德 現當悉地 尚之創草也凡利益不以空效驗無以滯 所菩薩遊化之地, 者乎天 中出流 頓首恭敬尊 神,由、兹諸神皆悉影嚮或競與, 而遠敷明神恒嘉,,獵漁,精進是 レ石為 所,示告,也時 居"傍樹,從"其二迹,甘泉 卑老 伽 井 或 少竭 人崇敬县,,大威 其 有川黑白二親 小水澄映 中初夜之終 真 誠 平 勝 歸 古人 時行 合七 寶四 依 可

末泅蠹俄無,流水,是故俗人號,無音河,云々然則 有"大川"川 水
呼
破
奔
波
涌
流
由 |時練行衆等下||集井邊| 向||彼 ン獻: 其 小水 YII

百 如二無熱池八功德水 從,天平勝寶之比,至,子今時,及,四百歲,雖、經,數 汲取入,,香水瓶,不、分,,斷絕,自、爾相承遂為,,故事 明神在所,加:持井水,以,加持力,故其水盈滿于,時 月十二日夜至,後夜 年,其瓶內香水清行治潔飲者除、患身心無、惱猶 矣

商 原藥師堂

北阿彌陀堂在,厨子二基,綾槐

育 [Sn] 彌 陀堂大風仆

障子彌

檀觀

音

像

勒淨土 枚高一尺 二枚 盧 白 槻 舍那淨土三枚 厨 子

[h] 大般若經 陀佛 躰井脇 部

士

銅梵字心經一枚

水精玉塔二基

見三永觀二年分付帳

吉祥 堂

吉祥御 移: 羂索院 二云々寶物等略」之 願於 1.此院1修5之天曆八年吉祥院燒失由 行,之今年吉祥御願請僧十口始成,七 之之

> 鐘 堂

懸鐘壹口高 口厚八寸。一次三尺六寸 身圓八丈 サ三分

三昧堂

同造 又每年夏中修,,百箇日講,,并始,自,,八月十五日,三箇 治安元年仁仙大法師 日不、斷。念佛,子、今無、絕三箇日僧供寺衆次第熟仕 ||僧坊||令>住||六口三昧僧||修|| 法華 三昧之行 與,,助慶聖人,同心所,,創 建地

羂索院

三間二面庇瓦膏二月堂 五間檜皮膏禮堂 字 字

七間檜膏會房一 宇

二間二 面檜皮膏僧房 字

間檜皮剪僧坊一字

右件 僧房等為一大風一所 々吹落云 K

應和二年八月卅日大風顛"倒破"損堂塔雜舍等南大

門等一也

羂索院雙倉納物尤多

綱 右前帳云阿彌陀堂 藥師堂等雜物依: 二月十四日宣旨文一皆移一納於羂索院雙倉一以為一 對而 不、開勘者件倉杇損前別當大法師任中蓋瓦 去延喜廿年十

束 大 寺 要 錄 卷 簛 낐

IF. 濺 儀 三小巖 師 從 113 儀 M 師 端 文 勸 藏 茂 綱 寫 封 H 使件所納之雜物實併移 둜 依 K == 天 唇 四 车 月 綱 牒

II-堂寶物等

餘 質物等 H 鏡四 永龍 + 七面 一年分 | 卅六在 | 天井八 付 面 在人柱

T-**手堂銀堂**

É

 $\pm i$ 四 H 庇 延 气膏堂 字

IF. 梨 T Mails H.C. 塔百 冗 + 基 種 17 Œ 粧

銀盧 屏 質廿四枚之中十五枚 一之所 也又鳥瑟螺形牛 已空長 所東南 照 圃 含那 儲 取 像 都 な上 四 論倉 天曆 分 佛 4 薄 付 枚 七 體等 廣 覆 者 三銀子 车 云 一分落 寸五 身 但 前 佛 月 12 一華 前 五日時 也 分 御 帳 帳無」實田 又左 身所 數 叉 -金銅 座施見在六十 膝殺 R $\dot{\mathcal{H}}$ 別當光智而 綴 佛 枚無、質但 五. 目 之中左脇 ___ 御 具。華葉八十六 市 身 所 各 於被二補 Ħ. 公は人 次 枚 枚 E 7 無 割 枚 穿 九

戒

增院

至一大

佛

前一

鹂

宇 戒壇 北 講 学

レ弦本 真和尚 崇一佛 歸 使 四 而 木 三朝 角 戒 願 藤原清 律 平 朝 鳳 丽 道一重譯 -173 之法未 武 立 嚴 結三項 皇 [II] 天 唱点自 = 戒 副 帝 八皇敬二 場一邪 擅 使 流流 求、法便有二入唐 之所、建 塔 大伴 一始 此 一寺法進 行一授 其德 正亂端輕 古滿 地,口像三衣 也 時雖下定惠 - 安二置東大寺唐禪院 呂等 律師 十餘 學僧榮叡普照 與六 一治二龍興寺 重紊 已 而 人 、條於、是雲朝 受一大 遠凌 傳 自自 - 拜 戒 鯨波 三請鑒 第二點 一漢

澄,三日至,河内郷,僧崇道及大照 來問 賀前 衆 息 志 大和 平 都 僚文者 忠賢 僧 少時入了京勅使遣,安宿王正四品 凉 四許,兼命二二近事本問光順,慰二勞衆僧, 驛 動 尙 宿在 璟曉貴等卅 傳云勝寶 分 於二 レ詩 ジ道勅 內 南 主住 僧 國 **[** | 六 載 甲 午 |於東大寺| 安置 正行基弟子法義等設と 拜 守 使催 餘人一行道讚歎明 門 良辨云 來越承,同日復有,布衣高, 藤原魚名廳 相迎 令レスレ京至二年 二月 此 同 是大帝 送引和 一大納 有言京 日 於 至 南 東大寺良辨僧 發二 言仲 城 同 供共 上天皇引: 門 取大和 波驛 僧 丸 徒 叙二 及官 略 行 國 師

等後經 叉介的 細 緣1出4 唐中常共化法僧4 即法進普照星靜思法院壇僧名此間有4 幾律師1 和上仍分4 僧法進 水根博と律 沙二滄波 院三月勅使朝真備於,東大寺,安,慰衆僧,大德遠 射藤原豐成來相參復有,光祿大夫大納言藤原仲麿, 叉 天 諸大德遠 於,大佛西,欲,立,戒壇,自,有,此心, 來相參金紫光祿大夫式部卿藤原永手參禮 十人.亦來相看良辨僧都云一時 」彼講、律闍梨識否和上云憶得也復有! 內道場僧五 亦來參問云某甲在: 唐崇福寺, 住經, 三日, 闍梨在 有二大唐律 布 1.良大和 唐中頗有:如以此大 伯今毛人出 贈位 百屯 11年月1 動使11良辨僧都1驗1大德位名1和 二共結 一來至…此國一 一來冥…契朕心」乃是朕之有」 一任,,大德,又勅令,良辨問,和上在唐相共 上法進學生普照延慶星靜法顯思祐義靜 師道瑞一來相問訊復有上婆羅門僧正菩提 | 用施| 二良緣 竟相引至: 客堂: 鑄 和 朕先造"東大寺,經"十餘年 Ŀ "此金銅像」座高笏尺五 像 即法進普照星靜思祐義靜 餘僧各 遣 絹廿匹絁 三延慶 住勍使 元豐 減 一譯語 拜光 半 感自今已後授 疋太 布 日夜不」忘今 安慰明旦 ·從::仁幹:已 禄大夫右僕 云無 更 附二 洲端 勅特 官金 禮 刨 拜

前一 戒,至,,勝寰七載,於,,盧含那佛前,為,, 沙彌, 受戒後 內道場與行一僧神榮行潛 等五十五人 作:1讚詞,慶:1賀大和上 口具盧隆和光之口類者來云>受,具足戒,已上 有三實行僧志忠靈福賢憬善順道綠等八十餘人 立、壇為二沙彌證修等四百 位 物 時有..大 又 減 /安寺唐 半 其年四 和 1: 律 飛僧 師 計 月初 道 除人 並合掌 清 刺於" 盧舍那 問 重受"大小乘 受 頻勞 戒 來 油 乃 這遠 佛 上

今天 八十 十八種物分 天皇初登」擅受:: 殿西」別作 僧靈福賢憬志忠善順道緣平德忍基善謝行潛行 」 擅受、戒尋為二沙彌澄修 東征傳云天平勝寶六年 舍那佛前受、戒勝賢八年四月於二盧舍那殿前,天皇 立...戒壇. 天皇初登、壇受.. 菩薩戒.. 次皇后太子亦登 為..沙爾澄修等四百四十餘人, 授> 錄云勝寶六年 、皇羯 餘人捨,舊戒,重受,和上所,授之戒,後於,大佛 磨十八 三戒壇院-即持-天皇受戒壇土 唐僧作二羯磨一京城諸 種物是唐 四月初於||盧舍那殿前| 立|| 戒壇 井戒, 次皇后太子亦登 甲 四百四十餘 僧邊華進前 午 四月初於二盧舍那 人 戒勝寶七年盧 坐未唐僧邊 一授、戏又 - 築、之已上 レ壇受 集和 上目 〈舊大 前 受 戒

レ戒 難 巴上 少遠 安隱作: 羯磨-座 大科出 學 乘 不 1. 危言1亦倒\地 從以此已後一 伏 而 切所作 中 頒 有= 無レ談ニ 悉皆 興福 息 寺 吻 N. 僧

寺供 天平勝 元興寺 導師 內銅 天平 飾 甲午儲,大會 甲架沙 初著::衲袈装,至::中間,者著:,甲袈沙 勝 之給一登壇始一復付一諸寺一云々 一元権 權 四天王立 **游寶六年** 中間着二平袈裟一十師 人梵音卅二人錫杖卅二人請僧東大寺與二少僧都良辨任,, 法務, 少僧都 寶七年十月十五日勤,,行受戒,和 大安寺樂師 國 供 整真任 甲午 像 客 者同 養請僧百廿人 造 寺法隆寺天王寺度緣 五 レ之勅使中納言藤 一大僧都 七年九月造 月 日 供諸寺綱 被 ン下二 星 同 所 年十月十三日 原 戒壇院建 小十十千年 治 高 部 房壇四 玄蕃 初後 八小十 立 福 角 之 本 寺

僧房四字長六丈廣三丈八尺

增千手菩薩一軀立高二丈五尺金色在,講堂, 六尺廣同前二字各長十二丈七尺廣四丈六尺 六尺廣同前二字各長十二丈七尺廣四丈六尺 二字長廿七丈七尺廣四丈六尺一字長十七丈

虚字藏菩薩像一軀立高一丈 置"彩色塚, 在"壽堂, 在 天朝御願以"天平勝寶七年十一月廿一日,始作

地藏井像一驅立高一丈

文殊川 已上同 而 が同 右皇后 辨大衆 步 新 井像 撿 御 記 願 以,天平十九年二月十五日,始 共云...是居佛 帳第 驅居高三尺三寸 一卷所、注 也 一然則立字尤誤之 也但 此兩像注:立佛 作

維壓計像一驅居高三尺二寸體,彩色樓

日本·威靈錄 日本·威靈錄

從五位下臣三 堂之堂童子一而從 良太上天皇之代 如是修行積歲累月會 一精進 行動物 新 々繼者 大同 一餘人 年 之一七三願 和州 - 晝夜六時 中島繼自 添 也以"去弘仁二 大悲一者懸 上縣佐保邑之人 雏 冬 於講 奉: 仕 我異 堂大悲御 東 一年壬辰 大寺講 也 定

科化

群堂在,三面僧房, 花殿經四部三部八十經納,給厨子一基

講堂一字長十八丈二尺廣九丈六尺

東

大

寺

要

錄

卷

第

四

西地藏云 々 進修行 宥撿 感難、測者也延喜十七年丁丑十二月一 人, 矣由,是以, 去弘仁十四年三月八 造寺所之長上,也遂英聲聽,于朝野,工術翠,于諸 島繼,褒:五品,也時人產日 躰佛 接觀 而 - 為::活恩: 失以禁堂三一面僧房燒亡 -奉仕而 推"度之, 猶是大悲者之所, 於示, 賢僧 師 至信 會 日 正件講 理 一而以二手斧一 奉此 不以思以外得二工匠術 BES 中 . 闇 於三寶所二吾深隨 所、見有: 梨任 堂千手觀 吁々三寶之助至言信心之 津 柄一授之而 師 淨行 音幷挾侍 午時 小 佛 禪 -日 別當權 日 朝廷特 師 師 新增長仍為二 喜 日夜自 法島 虚空藏 五 也 所 十餘人也 增 以 告之言 繼從 律 加 三西室 波 地 師 用 藏 觀

承平 僧 供 Ħ. 百 人禪學大 车 入 九寺 五 一月六 百 僧 靜藏 廿人 日講堂供 專寺 法隆寺 眞修 梵音百廿人 勝源 與福寺 養請僧千人 天 八王寺 支念 元與 延 錫杖百廿人 一唇寺 寺 晴基 大安寺 檀海

> 別當貞勝 散華寬印 堂達安靈 面 禮 師 師 僧 觀 複見 會 長 宥 賢 智 房各大小子房 班 海 權 小 律 11; 僧 大 僧 師 師 僧 都 都 都 任 任 任 任少僧都 任 任 任 一機僧正 植大 少 少 律 大僧都 少 僧都 僧 師 僧 僧郡 都

分を移 明旦 注言師 荒室 **今**耆 神 燃、燈絡夜學問 子,寺司在之合人 正之住房從,建立時 |徐至||夜年||從||天井||大 夫 其虵頭影寫,茶之底,僧正仰見拔、剱切 二從 雌 他 (住處又亡願埀…慈哀) 資相承之由一詩,於寺務一子 說云自二三面 业 」古未、有"寄住之人" 所 現、人申一僧正一云此坊頃年 其 間 **哭**與 為冷心院 多有一奇妙之事,不 僧房東 一依 判了請 三鬼神 眠,傍置,茶 室 可い許に居處 虵 得之後孤二宿 一南 栖 而彼 低 一不、星 端 ン頭 時 第一 僧 開 可 未、在二一 E 坏一相:待 一房者聖寶 住室也吾今 口將 此坊 勝 少年 勝計,是則然而僧正 造 落至: 一仍號 欲言吞 之 其 第 時 鬼

道 虵命 一通一達佛道一此之謂 與1多人壽 此 石 少非特 許丈僧 一数自り 爾後 戒 IE 名 饒 金峯山灰脇 益 門禀承居= 一有情 行 持來 住 於非 班

與〉雨 問龍 構可、降 僧都假〉之語、龍云龍能降、雨不龍答云天下旱與、雨 曳二慕於闇 叉 云 が雨之時 為三龍進 她身一方知是龍 tz 實相院 俱 :冠者形 着:摺 降僧都見」之悲淚交流云々 ン雨若 上一天神 可、有:其瑞、語了登、空雲雨大至于、時龍 馬道,寄宿眠息人奇 實質 一室自り 下、雨者我招,,死殃,必訪,後世 如 地祇使、然而 心此數 都於二此房 北第 衣 - 數 會而 日 已雖以爾依二上人命 間 何見龍 聽二聞講 夏中講:最勝 法藏僧 天 下旱魃地 至二睡 都之 住房乎 談 一畢後彼 時 E 民相憂 | 還復 二相 下 卽

東塔 院

西塔 天平 七重寶塔 院 勝 寶五 高廿三丈六尺七十 年三 ---基 月三日 净土,在,, 廻廊, 今作,之 建立

天平 保 勝 寶 年 ÷ 五 一年閏 月 十九 二月廿三日 H 西塔三 建 重 弃 正 法 院 燒 興

福

叉承平 喜多院 四 燒 年 火 甲 午 移 也 東大寺 西

神護景 東西 百萬 (罪イ)懴悔料云々 也天平寶字八 小塔院 小塔,分二配十 雲 元 年 年 丁 未 甲辰 大寺,各籠,無垢淨光飑羅尼摺木 造山東 秋 九月十一 西 塔 小 焼亡 塔 堂 日 孝 質 忠 謙天皇造:一 和 尚 所

建

東南 院

安山如意 貞觀十七年 - 樂師堂 乙未聖寶僧 在 三東南 JF. 院內 造山東 南 院 檜 皮膏僧 房 內

寺出寅 延喜四 名二 脇件院移 在二流記 東南 角 年甲子東大寺別當律師 院 別當東南院宛山田 朝 在 連作 佐 同 伯院,本名,香積院 六年律師 日一 夜內 地 聖寶僧正 - 夫三百 道 仍 義 東 佐 大 伯 本寺大 寺 氏 南 A 以是當 也 安寺 大 安

南 中門

延喜廿年 天慶元年戊戌明珍 念佛院在南 招二請僧千二百餘人 壬戌聖寶 院門東脇 僧都之所以 一今新院是 僧正 台即 有 造二 中門 建 刺 担 施 供養奏二 坳 聞

南門亦名道言院 年三月十九日儲,齋會,供養 東大寺別當平崇君之建立也委見,供養願文、永祚二

引法大師之建立

院-開演云々 心經秘鍵與書云承 和元年仲春之月於二東大寺眞言

太政官符 貞觀格文

應東大寺眞言院置 11廿一僧1分+修行+事

夏中及三長齋明修, 息灾增益之法, 以鎮。國家, 者、命, 空海法師於, 東大寺, 為、國・建, 立灌頂 道場, 部省 右檢,案內,太政官去弘仁十三年二月十一日下,治 今被: 從二位行大納言兼皇太子博士 藤原朝臣三守 名專當,法師等簡定,牒,僧綱,令>行若僧有>關隨以 .向,,食堂, 令,, 修行, 別當之僧專當,, 其事, 但住僧交 係自今已後宜件院置, 廿一僧, 永為, 定額, 不 - 符解右大臣宣奉 ▽勅去年冬雷恐有:疫水-宜

承和二年五月九日

東

大寺要錄卷

第

四

法 大 師 遺

寺,供,奉釋迦大師,彼中以,西塔院,為,根本岫,已上 旨 整,殺寺僧,依」之常住僧多失寺家荒廢依, 宣旨, 叉古老傳云 天長之 比中門 」地被一建立一也頃吾弟子後生門徒等入一彼寺一為一本 也方今案,本意,吾先師御寺大安寺是勝地矣先師等 寺,建二立南院,此間出世弟子等便宜入住,東大寺, 寺,而彼御弟子等皆令,,入住,也依,,件勅命,渡,東大 古天皇御願,者也依,之吾大師石淵贈僧正彼寺為,本 即智法身之相也初發心本吾祖師道慈律 夫以大安寺是兜率之構祇園精舍 其後止,蜂難,被,渡,他寺僧,卽弘法大師等依, 藹漉口着山革衣」僅目許開於二大佛殿堂前一遙射」之 |從||大安寺|渡||住東大寺南院||云々 有:,大蜂,是辛國變身 師為、途、推

西海院

院二所二草創一也即奉、安二丈六金色釋迦如來像樂師 水 如亦像千 國家,於: 京大寺, 西南院以; 右件院新堂者如意寺本願 田守梨原庄田合九町九段百八十步 手觀音像等 也佛聖燈油析奉 施二入京 女親 天平神護年 王藤原貞子鎮:1 護

在 四 45 坪 城 內 段 三百 條 PI 坊 光 坪 南 大 段三百四十六步

二坪 南 大 百 册 步

四 坊 坪 二段百 + 四 北

五. 坊 坪三 坪 HI. 段二 百 段 -11-北

一條二万岁 坪 南 Del 百 坪二 # 段 三坊 百百 七十步五 坪 南 坪 二百九 段 -1-步 步

少百 四 條 三坊 步泉 坪 ___ 反三百卅七步三坪 五段 七十 步 少南

五條三 三坪三 七坪 坊 酒 坪 百 卅 段南少三百步二坪 步 匹 坪 四 坊 Ŧ $\dot{\Xi}$ 東 坪 百 四 町 1 百 北

左京三坊 莊 坪 四 反 坪 ·四反 四 百 七坪 + 東 百 步 四 + 步 南少五八 +# 步步

三方十 二條 坪一 一坊三坪 反百 七 八 7 段 三百 步

天地 院號二法蓮寺

起 大鳥郡 云是文殊 生行 化 身行 基法師本藥師 基 非 建 Vr. 未 也 年出家 Ť 五 歲

年

児願 法 師 年 二月十 根,今御竺上安部氏末世衆生, 也今大和 藍共二鎮守明 來 方施 之 獎師 月五 行 間 寺 聖法 H 學 日 戊寅 建立路國堂含四十 人法隆 辛卯 師 减 神弘與佛 Ш 薬師寺 後 [峯一伽藍即天地院名]法蓮寺|同 受二 供 和 **薬大** 師皆 養請僧十人 社之北高山华 中始造和銅 唄善儀法 國 尊 造 法一大 是基寺 法 固 世 為一行 九箇所幷植,樂木高,為,行者,年四十一為, 也 師 第二添 導 出此山 宁 元與寺 師 加 經淵 我 散 本皇大之佛 Ш 法 花 求二諸 師 圓 定 元 理法 伽 年 Щ

相 覺|矣口 來集與見其故預 為二法界衆生一推 與口 者 生屬勒 ..佛身願 所 也并犯 出 世 - 敬白 見所 成 二佛 事 者定 塵 草木 不 放 仍 佛 行 ĪĖ

佛 天 喜元年九月廿 像 佛像二云 并 日 貞 未時 觀 十八 三間 南 面 年 有 戊膏堂 月十 五. 間 檜 同 皮膏堂等弁 以二燒失 僧世不羈

延 施二人 唇 田園 子良也幹 即僧 · 菩薩戒了 · ·

K

日

講第 + 後改九月八日時院主安久云々古老 七 年 願 ·始行 應寺八講 第四 也云 12 此院八講 元 四 第 月 相傳云去 四 以 H 行 八

諸人 僧莫、非:延義大德之弟 昌泰之比延義講師 弟子各々群退無二人論議一子、時衆中有二一 一衆中一先舉一疑聲 勤 三天 子一也聽聞 地 院 八講之師 - 為: 三 衆 中得 一而七大寺諸 論議 が動除進

翁- 鬢髮皓白俄出

語巧妙其義甚深衆人異、之延義大德牒。

一論義

其 K

義者未也一論議者合、不以成以答初 中三度云 頗為、佳耳我是文殊也語畢忽然不、現凡逢..文殊, 生 答畢爱老翁陳云三論義中一 論義者已成 果聖者知慧分齊 其答 論

ν知:建立之人: 云々康平五 或日記云和銅元年行 井始造安..本堂.了 : 港井 造一天地院禮 一年正月 十六天地 殿此 本堂不 院 金剛

道

k

天地院師資次第依古日記

也時寺僧隆勝之許 大寺東室南端 仁已講命口四仁已講資大僧都游勢住定戒和 深生所出家號二觀 正良辨 一位登一大僧 法秀已講 次峯和尚資等定大僧都等定大僧都 同法仁保本師 院修理永置 都 祝有 本師道義律師一 計有二小童一 瀧口大 一勸宥之資明前用十八日往生人也 仁保 |門徒中|為||天地 資助 大和國 延喜年 添 F 補 住 郡清 三本 院 房 資 東 平 明 浴 Ti.

> 快 師 資仙 緣 同 法與慶仙綱資義心義心資壽濟壽濟資窓

唐禪 院

移..住招提寺. 天 平勝 千 车 - 矣師 所 三創 資次第依古記 建 也 龍 與 寺 和 E 居 三住 此

後

法進大僧 都唐 弟子十人

一賢亮 惠雲律師 弟子道雲入 唐 弟子素上 八道出家 イナシ 之師 勝高 也 濟古

四安暨 三惠基唐 弟子延惟 弟子 弟子實々 濟棟 泰 智 弟子 延暨 澄 聖寶 净 壽福 弟子聖勢 仁俊 弟 弟 子觀。

六肆 五景深 朋俊 禪基等 平 基 弟子 弟子惠審 弟子榮澄 恵應 弟子玄津律 弟子慶 惠英 勝操 師 洪 慶泰 平仁 濟慶 1已講 豐榮律師 延祥 慶因

七慈賢 子神焉 八位淨 九法印 弟子善基 十慈繁

願聖

弟

子

勝善

弟

以 為二指 師 資相 南 傳為= 耳 後代| 大略記出 如方

願

也後之

前

東

口点

延 一喜五 年三月 一十七七 日

辛國 学在一氣比明神巽角 辛 國 行 者 住 所 也

阿爾 從五位下文屋真人長名 陀院流記在 一印藏 水 小田六十

延曆

十七年八月廿六日

男宮守

廣吉

長主

蓮臺院或記云天地院號 口喜觀教大 師 放絹 索院稱宿 ·蓮臺院 所創建矣

也良辨弟子 貞觀 四年 一月十 日僧 世 不羈施二 入田 園 者天武覊

上如法院

五間 檜 皮膏堂 字 東西樓二字

間 南 中 菛

靈山淨土 三鋪

下如法院

納二 鐘 口高一尺二寸口徑八寸 切經 辛 櫃 卅 五 合十二合皇后宮 納也四 合審解大德

一般者經櫃二合

綱封 右 7 175 如 法 不り開い口寺に云々 院 與 羂索院雙倉1 同以:延喜十二年

食堂

口登廊

宇 + ---間在一四

寬仁三年十一月十六日始行1 僧正堂根本僧 IF 御 影堂 御忌日-

勸進有慶大僧部

紫磨金院

綱牒云紫磨 金院者羂索院同攝之院也者

大炊殿 營二佛聖僧供等 大槽一口 童二 所 一飯爨新 二粥煮新

羹所 在一觀爐一口

間 備所 在二二言棚代一 卷

碓殿 在二碓七具

北

一百四十二口

育

厨

在 在

百四十二口

細殿

油 殿

北酒

殿

大廳

廳東倉代殿 南 端 間 宿 鹿 殿 次 一中三 問公文殿

間 皷 殿 廳 前 納 殿 颹 內 東端 殿納一神代

西 端 殿 南 端倉納.舞裝束 樂器等

FI 藏

納 三流記 公驗等 銘 ---枚注二伽藍綠起

正藏院

東行南 七具倉坊 |倉飾頭八十一 自餘皆略、之 倉納一袈裟 具西行 具勑封鎰 南 香爐等 倉 在管 北倉代納。受時灌頂等 具

園院

東行

温室院 東洞院

廐院

安樂院但本消之 悲田 院

西院 慈恩院同前

造司寺家修理所

尊勝院

大廳 倉

同廳

願 天 面 了此 僧房 曆元年丁 堂者光智大僧都之願也 切堂者村 未始 立一尊勝院 上天皇御願同八 Ξi. 間 74 面 年奏開成 堂 宇 在

> Ξ 御

知足院

寬應二年高雄

十

禪師

也

般若院

件院佛像等移 置戒壇院,實物遷,殿政所奉行 倉者

諸神社

異也 八幡宮打平歸□殺,多人,云々天平三年賢所現給 新言矣汝神者我前可\顯卽現二三歲小兒·立二 筑紫豐前國字佐郡厩峯菱瀉池之間有二鍛冶翁一甚奇 一因」之大神比義絕穀三年籠居精進即 - 共 捧二 一竹葉 御幣

也我名 兵衞 垂二跡於神道 是初顯 託宣云我是日本人皇第十六代譽田天皇廣幡 天平廿年聖武天皇奉、鑄 ||督藤原朝臣||為||使奉||勸請||為||寺鎮守||奉|鑄| 自 :護國靈驗威力神通大自在王井:國 御 座是即 : 東大寺大佛 | 之間以: 欽明天皇御時 女所々 八幡麿 也发 右

大佛 益 一之妙工御座耳 錄云勝寶元年八幡大神

七十三

能宣

向

>京十二月丁

大神拜.東大寺 皇 太宰 相 垄 百 府 行 官諸 幸 灣 氏等咸會作二種 佛 請 五 F 僧 々樂二云 佛 是 日 八 幡

大井是 排開 廿兩 曆相承為、祝天平十二年依二大軍事, 馳, 遣勅使 也 為」買」黃金、將」遣」使於大唐 町為、奉、造、東大寺盧舍那佛像,造、使祈 禱所有、驗即叙…三位 封廿戶宣神寶及造寺度僧! 其祝一天平三年陳,顯神驗,奉,預,宮幣,諸男之子 而即奉、祝"孫多字 右得...太宰府解... 偁撿... 案內 解 爾時大神 應令大神字佐 廣庭天皇御世於一豐前國字佐郡馬城 是亦太上天皇御靈也即磯城嶋金刺宮御宇天(僧得]神主正八位下大神朝臣淸廢等解狀,脩 臣社女祝神主大神朝臣田磨等乘、驛入、京於 |國家|是猶||楯戈|唱|| 奉::于神宫 土一勿」造 朝臣比義以二歲次戊子」始建二鷹居瀨 三氏 :.使者 | 爱陸奧國獻:.黃金 郎請= 一更改移二建菱形 封四百 八幡大菩薩宮 一大神 率神 - 府去弘仁六年 天 一戶度僧一 平十八年天 於 卽託宣所 祇 京 小掠 都 五 之日 + 山 專 一一一位 一位 ·口水田 神 求黃金將 趾 知識 即以...百 八皇不豫 爾宜 卽 卽 託 現 月 供 社 Ŕ 國 件 官 廿 4

化二 祝神 井宜 任 司 五位下 任:大宮司 任二二氏一之時神宮寺家並是牢固修 相 黑麼任一其祝 | 然則大神朝臣 十六日符,大神朝臣種 如此之驗不可言 威力神通大井,延曆二年五月四 司, 天應之初計,, 量神德, 更上,, 拿號 宛:吾宫司,仍申、官即田曆任,大宮司 和氣朝臣清磨任: 為二禰宜一從七位 十七年 此司一望請具 承黑 生三家,修二 大宮司宇佐公池守之胤 三今加い號曰 請官裁者 一賞翫賜 補二大小宮司 是田 一七位下大神朝臣家依任, 少宮司一 五. 月 其祖考之勞所被口是口 願 有之差中 廿八日 一下字佐公池守為..神宮司.寶龜二年 :護國靈驗威力神通大自在王井 方便 充 勝計-豐前守1 此 年未、被 依。舊被任 々麼任:| 大官司 | 大神 導一濟 日 符一從六位下 誾 依二太政官去延 叙 正六位上辛嶋勝 記社 三裁 爲,,少宮司 尶 田 衆生-吾名是大自 時大神 託宣 女從 之族為二就 下,加以案, 撿古記 一麼時 日託宣 四 始 津嶋朝 加 位 - 池守任:少宮 - 曰:護國靈驗 羅神 比年化 唇 吾無量刧 F 以"田 四 與一曾 嗣 神 田 右申有 主大宮 年六月 門 朝 自少厥 麿 依 臣 在 延 補二 地 中 從 雄

>事滋聞比年管內災害 相續以任,,他氏,爱修理自陵類損口 掮 發 飢 饉荐 多恠異 官裁者右大臣 八之崇觸

宣奉、勅依、請立為,恒例

弘仁十二年八月十五日 格外

八大菩薩

第一仙字 願云能令"行人除"灾害, 滅"怨敵"矣 與文大菩薩宣卯辰日天降

第二與成大井在三月堂四方,日如上

第三與松大井在一智索院東方 願云能取,不死藥,與人合人食保,長生 一殿教

願云凡有、所、求真、不,稱途,能合,壞,除讒謗 .慶招、福援..官位,戴+皇興、矣

致

第四與明大井在"上如法院乾方

敬。三年自然通, 見一切神鬼, 世間徵恒皆悉消滅 云能分上人不以假,禹步,不以服,符藥, 直致中

必保二福壽 矣

第五與兒大非軍西戌日天降

第六與劍大井在,東塔南方 遭…官難」皆合…解脫」矣

願云命上人不」遭川飢饉一飲 轉以禍為。而矣横

> 慧通敏 願 云能介上人洞 金銀財帛能到來一矣 |解魯巫|預識。生死。又令|精神聰

第七與進大菩薩玄子丑日天下 願云若須千里女子進以與、之合、得"珍饌貨賣

田蠶珍寶一矣

第八與高大非在一較坂

大神是大梵王之分身牟尼尊之垂跡也為護二八州 成道之本形 為鎮,八方,為、表,八百萬神之上首,為示,八相 侵害。矣祭文云夫八大并皇天使者南升史佐仙人 願云能分,夜行無、畏不、逢,,劫盜虎狼禽獸水 |現二八大神仙|號二八大井| 所二天降

廿五所

也矣有人(按此下恐有脫文)

氣比 五百餘所 氣多

第廿五代仁賢天皇治天下第七年甲戌氣多大神

天降八年氣比大神天降云々

自餘神社等略〉之

諸 會 ·章第 五 付 相

矣貴 處 持供 厰 此 母 秋 道 四 道 事 駄 展 苦 伽 隣 俗 乎 退之地者也 一千葉臺之舍那, 冬挑,十千 一般若法莚一悉讀 如是殊勝廣大事業唯限 來 男 人人能 唄 女精心歸 儀 願之搆矣凡 四季唱 行 弘 春 ▶道其在三吾寺一歟 事 矣諸院諸堂各 速 向 開 - 殊 招二 庶 寺中老少修 1.六百 ::花嚴大 **灬之願敢** 營一功 四 德 卷之妙文 會 德 果 思 1.持家 燈明 別行 各轉 業是務 是 鴻鐘 哉 可 則 事 一他寺他 夏捧:一 用 二八十軸之眞 恒 六 謂三國 真. 轉 獻二 時響永 哉 法輪之砌 大遍照之 家 處非人 聖皇之計 萬蓮花 可 修 息二 陳 福 淮

日 政 所 朝 政 Œ

月

食堂 表所自司 拜 座上 座,所頭名事吹令,耐,之上下上下所司小網職掌參,會食營,所,在,酒肴祿物等,即手,所司小網職掌列,參政 下堂 所詞 引五師 問令 禮着 7年之東 中

元節 供

堂 修 Œ 自 朔 日 七 箇 校在

菛 H 新迎 修 TF 自 樂 人 -朔 日 七箇夜在,莊嚴,東南院僧行、之

延

之喜式

云

凡

東大寺三月

+

29

H

花

嚴

會

及

九

月

-

五

日

大

養亦 吉祥 布 法服弁布 薩每月十四 節 式云 自1八 用 一於三國 御 願 正稅 行之自 凡 五四 日廿日小乘布薩行、之時 始行、之 我和 薩也 ::七箇 秘前 物混合准 國 修二吉祥 式見主 律品宗-宗修 日 二正月八 於二講堂一行之但三論宗請 一太宰觀 悔 ン價平等布 過 日 迄二十 一王經,不」讀,此他 世 音 施並 寺 174 於二本寺一修之文文 用!! 正稅! 日 膀 請二部 您計

其供

僧

內

 $\dot{\overline{T}}$ H 皇粥

修二 大 幡 月 仁 月始」自 宮 王 御 會 八講 撑 三朔 H

出二七 日 於上院 修

七十人并所司等參會第三日僧供政始,自,廿日,四箇日於, 御社禮殿 所修 餘三箇諸 日宗 結學 衆徒

之勤... 同宮彼

冷岸讀

法花經不

斷經

月

四 日 節 H 花嚴 供 於一食堂 會 在 別 式文

色 衆 Á 人前人 分轉 0-水人後轉 《衲四十人甲四十人梵音四十二一人引頭二人定者四人唄二 -人錫杖 四二

般 任衆 始移,講堂,修立 六日 岩 經 法華會 等 會幷 官人史生各 寺相共於,羂索院,修、之眞雅僧正之任止,他寺天平十八年丙戌二月十六日良辨膚正奏,聞公家, 人率 二樂 人等 供 奉 文 聽諸

來迄 相過 方 后 年丙戌三月,奉,為 莊二嚴照臨 法花 尊佛說二五乘 便門一示二真實相一自上起二此 一莊二嚴堂閣一羅二列 三此 會緣 而 法會常新女 承和 起云 十三年 僧 德 乘為人本故 報二答覆備之厚恩一以二 掛 大 所と 幡 畏大雄大聖天皇孝謙 綱敬作,是念,天 蓋一敷二設法莚一屈二請名 經 之年合 奉二為一 法會 其天 百 生調 嵗 平十八年上 講 皇帝 去天平十 也雖一年 物一一 仁聖太 僧 乘經 人 以 代 爲

惠運僧 廣 會 登高座 都 記 録云弘仁二年十二月 竪義品 000000 册 日 東大寺 講 堂 方

ヶ境 竪義 師 七 法師 座竪義五 受,學真 樂 年 元是泰基大 師 四 宗十 一寺仲 宮等之類 月 -11-重唯識 日 年 受一大 大法 春 法師 章冬十二月十 三月於" 天 師 八戒 進 長之 敦 之所 授 初 具 東 (之後迄)及"于 年 大 隨 秋 Ħ. 寺 力地 九 H 寺 講 月 原索院 能受學雜 堂 小 方廣 海 僧 法 知 都 法 會 花 命 登高 師 會 111 在 惠大 登 同同 座 別

四 月

自 廷喜式云 月 八凡東大 日一迄二八 興 福 月 元 册 與 日 大 食時 安藥 師 便於二食堂! 等諸大寺 僧尼 毎 大 年

般若經 卷云

八日 **伎樂會於□大佛殿** 行之之

同

日

於

+ 五 H 夏講於二大佛殿

之僧秩滿 次第一行之然後擬二補 修理粉 凡諸寺僧夏講 延喜式云凡東大寺大佛安居布施 歸二本 寺,即果,遺二階,任,講 溝 供講者 師 一叉果 經二維 稻 摩最 毎年 階 師 之後任二讀師 勝 一者歷二 兩會竪義之 選 宛

之後擬 補

經 以 幷 凡十 剛 四 般若 がい F 定 月 五大 E 相 座 共 沙 經 東 旬 請 大寺法花 簡定普 彌 寺 各 ン之並起 安居 卷文 口 詩二諸寺一 其 者 最 法 寺別 = 四 川川以 勝 月 仁 講讀 三月 F 王 + 一般岩 者 无 師 H 下旬牒 僧 及 經各 綱 虚二 法 簡 用 七 點 送 僧 部 旧 治 月 講 理趣般岩金 十五 部 口 師 **唄** 咒願散 者 申 日 レ官 分 口花

季神祭撰,吉日,祭之

授戒 會東大寺授戒安居以前云々 月 近來 定

貞觀格文

太政官符

應上一據:1舊例:得度受戒。事

右得 黄門奴婢之類非,是〔戒〕器,故佛不、聽,受戒,頃年之間 然後令: 登壇受戒 即受戒畢後安: 置戒壇院 當年可,受戒,者交名。會,,集綱所,治部玄蕃共勘,名 就,受戒, 介乃每年三月以前僧綱放, 牒諸寺, 介、進, 得度者,先與,度緣,次分,入,寺就、中年分度者經,二 非"唯忘"却 年[不、滿、] 世若七十[已上幷] 國家不放之人債負之人 國家,或[在]各本寺,請成正師,]細學,律相 師一夏月間令、修一學比丘二百五十戒三千威儀 籍- 兼試-法花最勝威儀三部經-即簡-定年六十已下廿 箇年 臨 已下年少之人空有一食、名之外謀 官符一新剃…頭髮,初着…袈裟,冠幘之痕頭額 小十師於,東大寺戒壇院,依,一致法,問,十三難幷十遮 修:悔過 五已上學,得前件三部經,者,更牒,本寺,三箇七日介 三少僧 時 一四月十五日以前定,,其受戒日, 請,,集傳戒大 度者經,三箇年,合、練,沙彌之行,然後初 都 舊例,無復遠背佛教一(或)臨,受戒日,讒 法服和 上位惠運牒| 傾伏撿| 一曾無言。道之中誠 舊例 、猶存 同 以誓護其 一差二教授 -誓:護 或十四 凡 下 有:

> 之下 得非、色非、心成佛殊勝之功德,名"無表戒,旣無"至誠 表戒 持犯,不、知,持犯,故不、修,安居 而去謹請,處分,者右大臣宣依以請の[]中之文原本所 清靜佛法與隆國土之豐樂不之期而來內外之灾障不之 惣據,,舊例,氣遵,,佛教、【然則】緇徒感激濫惡自止戒擅 表無表戒,何名」得、戒登壇已後不、學,律相,故不、知, 禮敬之心,安得,表戒,々々未,得何得,無表 有司,凌, 碟十師 競二上下 而鬪 皆是未、練,,沙彌之行, 况於,, 懺悔 名曰 發一得防,非止,惡之功能,名曰:表戒,羯磨上下 1..受戒 一於二三師七證前 一濫惡之甚不」可一勝計一夫受,,得表無 一慇懃至誠敬禮 |何稱||比丘| 乎望請 事. 乎加以結 拏攫遂則罵二詈 語之場 を

貞觀七年三月十五日

事-之省寮綱所三司 交名當月五日 凡授戒者每年三月十一日始行、之月內令、畢其應一 勅者勘、籍度緣亦宜、准、此但沙爾尼度緣者用 擇,其翹楚者,乃聽,得度,其應 延喜式云凡年分度者試 業訖更隨二所業, 互令, 各論一 度畢省先責,,手實,申、官與,民部,共勘、籍即造,度緣 通一省寮僧綱共署向二太政官一請印即 レ度者正 進 授= 月齋會畢日合 其身 二省印 其 行 别

官人署名即捺,省印,以為,記驗,其外國沙爾々々尼者 師 所一先勘一會度緣一然後受戒々 「連署進」官上奏即省於、「度緣末、注、「受戒年月 R K 應"受戒 者 限 々畢 三月上旬一 具錄:僧數 集 使弁 於僧 7日, 幷 綱

皆請,當國文牒二云

者戒牒 給岩有片持一白紙 署捺以二省印,五 從,共向 凡受戒時省丞錄寮允屬各一人率,,史生各一人, ,具(注二)後紙,以,其本籍姓名,即省寮相共押 三戒壇院 戒牒 月 一子細勘二會官符度緣一便收取二 以前 |者」科」違刺 下二於僧 非一 綱 k 々六月 與 日頒 受戒 威

大寺,但鋪設寺務宛、之 八段戒使省寮官人已下直丁已上八箇日食料米省一石 凡投戒使省寮官人已下直丁已上八箇日食料米省一石 凡投戒使省寮官人已下直丁已上八箇日食料米省一石 凡投戒使省寮官人已下直丁已上八箇日食料米省一石

年終申、官毀、之寮案具注,,事狀,已上式文 凡僧尼幷沙彌等身死及犯、罪因、才還俗者收,,其度緣, 師西大法花新藥[師]等寺各配,,一日,辨備。 師西大法花新藥[師]等寺各配,,一日,辨備。 大和國二月世日以前送納 仓,,東大寺與福元與大安藥 特)、大和國所、送

五月

一日御齊會於,大佛殿,行之之

於花 緣起 令」講:|梵網與旨|彌增||花藏界萬德|而已文 月」遠限,,天地、開,,心地玄門,結,, 戒藏軌網, 咸神聖武皇帝以: 去天平勝寶 今云四十九日御願文見上天平勝寶八年 歲次丙 云伏 藏寶刹 金蓋納 於淨滿蓮臺 自、爾以 尋 -- 法會與由 -掛畏建-立大伽藍 七年五 月二 日| 玉與移= 大檀主勝 降永期二日 每年今日 申 五.

月二日崩云々』緣起文謬歟

五日節供於一食堂一行之

小五月會於八幡宮一行、之在一舞樂等一

六月

十四日萬花會於,獨索堂,行之亦司各

廿五日大掃除

日解

除

愈

牒送 東大 H 解除祓行,大衆集會狀 寺別當 為二天下病疫 道 律 師 被少令二 時 延喜元年三月 東大寺講 堂每 # 五 年六月廿八 H

專寺奉、顯, 書十一面觀音一鋪, 佛供幷庭裝束解除

料 雜 料 懸 幡 龍 蓮華 立

禄 可、奉,路 料絹各 寺一請觀 一尺隨 身 音 經 + 面 經 書解 除御

專寺大衆 樂人饗朝タ

請僧 專寺 七十二人之中二人定者

興福 樂師 一寺廿人 寺七十人 西大寺廿人 元與寺廿人 法隆 大安寺 11 一十人

謀 縣 人 六 十 三 人 權律師惠較專寺讀 師壽

寺五

A

講時遺」寺五師幷堂達一各承可 講堂造立供養之後停,止諮寺,承平七年時 堂三面僧坊 右 加二下導師児願 會字至一樂人例祿一二會法用衆由一其殘一宛一寺諸雜 次第絹俱物者寄,寺節會,三度可,動件會者 從 一會日一 諧寺共大衆議定了從 燒亡其後移二行食堂,年來之間 五 師所懸幡龍蓮花立一此時有一奉物一仍 ン行無二 絹俱 上明 年 Ŧī. 一十分 同十米 別堂明 師 物一寺 成 堂 時 珍已 行保 年講 達等 節

所記 如少件

承平六年七月二日 延喜元年六月卅 日 記 記 傳燈 僧定空法師專寺 法 師 永隆尊寺

七月

十五. 四 H 日 H 節 **伎樂會於主大佛殿** 自 供 恣於一大佛殿 行 行之之 之

盂蘭 夏講 盆講 結願 於 題索院

於一大佛殿

修之在二七

僧

十九 日梵網 會於一般壇院北堂 修之之

緣起 聚 旨,者也伏惟 寺」俱將」、來世 聖武皇帝奉,為中宮聖母報恩. 新田八町入二 證:於妙覺:者 心地之玄門一結, 戒藏之軌網,每年今日合、講, 梵網與 区义 遷二於雲路-金蓋 日記云勝寶七年七月十九日崩 文云伏韓二法會與由 中宮聖母六度之因殖 也而以,去天平勝寶五年七月十九日 一常當一周忌一永期二日 起 ,於淨界,矣 一建二立伽 藍一大檀主 於 云 月」遠限二天地 K 廣刧 十身之果 于十三大 勝實威神 王

八月

同宮 一彼岸 日講 講於八幡宮 如春 马功 德 經 修之始。自二廿日 於圖索院一行」之但花嚴宗講之 同 同春季

九月

日 手搔會於三手搔御門 奉節 一御輿,祭之在,舞樂相撲等

九 日節供於一食堂、行之

十五日般若會於,大佛殿一行之色衆行道等同 三華嚴會

十八日龍樹供於,東南院,行之但三 月 一論宗

北五 日 百 法供 於二講堂一行之 天延元年聲 十月廿 五日始

月

十四四 日千燈會於,羂索院堂,行之

六日花嚴 講於... 羂索院... 行、之但化歐宗五箇日

冬季神祭

卅壽於政所所房 操二吉日 ·諸宗學徒相共修>之

十二月 八日溫室節於一食堂一行之七賢供

腑 廿九日上 五日 日譜 四 日萬燈會於一大佛殿一行之在一舞樂等 方廣會於一講堂一行之在一竪義 神 或所 供料 蔵 末諸僧国代行 下政所歲末諸僧圓誦之 學衆始役也三箇日

山陵諸

村 上御 日 記 之狀

傳說 應和 勘申 二年十二月大納言源朝臣令上國光朝臣奏+大外記 新樂師 事业文中云日本紀有

者兩端 奏、繁元所、進文」云光明皇后造山新藥師 聖武天皇造"新藥師佛像一之由"不」見"具由 亦難 以辨為」之如何分、仰須、分下本寺進二緣起 寺七 佛樂師 一但外記

同二年七月十日乙丑右大臣合下文範朝臣 帳一定业也

奏中

與福

等,命、仰,,召春日社神主時用,進,,寺家,以,東春日野廿七町 春日社神主時用:可令口 一寺家領狀文山財帳井調度 所申先と是寺

社遞有 申可然此公驗命以問

雜舍,文副,承平五年五月五日下,大和國左少辨 同年新藥師寺申」詩勅使一實上 撿為一大風 撿加的修二造去八 朝綱等。率二木工寮、實 左兵衛權 貞觀十六年七月十六日下二大和國 同十六日 回光 一佐藤原生岳等符示 依一件前例 月卅日 朝臣 : 撿件寺金堂損出, 宣旨 大風顛倒破損堂舍等一文 左大臣東大寺申上賜...公使 新藥師寺勘破 造: 吹倒 辨官 御堂弁 損使 實

同三 申 緣 一年三月大 起 流記 帳 納 文 言源 仰 依 朝 = 前 臣介下國 月定 光朝臣 可如告上聖武天皇 奏事新樂 師 寺 Щ 陵 勘 損色

東

告佐保 皇御願 山陵 # 可 奏告山山陵 可 四 ン載… 宣命 日 三丁 宣命山越合 Ш 也 丙 陵宣命 而去年八月為11大風 子大約 風 一宣命草」覽了返給 損 4 御 五 上即發二遣使者 言 願 ン仰了新藥師 日 源 七 丁丑大納 朝 佛 臣 樂 冷下 師 堂佛 藏 暫源 寺七佛藥師 言源朝臣合脈藏人輔 顛倒今可,修造,之狀 《人棟世 像等 朝臣介 申申 堂即聖 為光 朋 日 武武天 告告 成

可、修,,理東大寺大佛堂,,損亡料物支度,副,寺家文,可、修,,理東大寺大佛堂,,損亡料物支度,副,寺家文,三年十二月左大臣在、第令,,國光朝臣,奏*木工寮勘申

之,今日前日讀,申 臣 所一 臣 應和 **参綱所〉注請** 始注,, 平、崇之由, 令,文範朝臣仰, 雜事 云淫霖難 二然而 元年七月 東大寺 例 錄二僧名,上奉之時猶注二 經行事 平 書,注,申平以崇至,結 晴矣有:物崇,乎預令:分申 廿三日甲 - 崇申 左 被 小辨國 申 預訴 終 日降 光申口 雨御讀經,給,度者,文 雨右大臣命之範朝 願 發 华以崇仰令以問 日,申,一平、崇供奉 願 右大將 一又分り勘 日介〉取11見 藤原 三綱 申 朝

康和旅 世 五 依 東大寺全 日 帳 丙 所 辰 相 破 右 違 使 大 臣 多仍 帳 · 令…保 幷 問 寺 家注 奉 光 使 朝 岩 淮 臣 損 少辨偕行 奏 色 帳 前 B

> 進損 仍重遣, 狀,常疑官司所,申者以,許為,證乎須,勘,合安親所, 安親依 加 偕行 違言遣、使實撿自决 ン仰此事令:實撿 色帳 申 二偕行 云 ,宣旨,注,,申損色,而光智懇申,有、所、漏之由。 一彼時 仰,, 左大臣, 令,, 保光朝臣奏,, 前 - 實撿介點法藏 又申申 李 所 급 三具偽 所 歟分 錄 > 仰了前司光智之時當國守 敷然 也而 則依場事可、然 今與,持家所 偕行 所 ン注相違之 日命、勘文 申 ト辨 帳 官 已

四枚 が所と 則任 藏申 都光 康保二年二月令"延光朝臣問"右大 智申被愛 勒之由 其替-東大寺別當一光智秩滿替文仰了光智任 - 雅差遣 此 道理 |動寺修理事| 是為|| 重任| 敷將 一可『宜介』辨光給二右兵衞源朝 也仍下給但於三實檢 臣 東大 -寺使已申 寺 別當 已 如 臣 滿 何 文 然 法 僧

破使右 同二 奉>造:南 年三月右 沙 辨 方一體事。文 偕 大臣在 行 等注 第遺內二文範 進帳文注下 朝臣 進大佛堂四 奏心撿 東大寺 天王像內 全

戒壇院

金堂 講堂 軒廊 廻廊 僧房 北築地 鳥居

脇戸等

児願賞 勝寶六年十月十六日別當良辨兼法務戒壇院供養

堂廊高下長短楷摸無 當院者遠學,,祇蘭精舍之一院,近寫,,西明戒壇之地 V 朽每修理切二縮之一尋一往古之跡一可、修一造之一聖教云 事一於二非例者 律學之輩令= 抑 夫毘尼藏是佛法壽命令·毘尼藏住-佛法方住等云々然 了為後代不審,記之又北簷垂 木之端幷東西 是內之左右之隔也中古人為以防以財人,取以彼為 於二往古柱等一念彫、穴着、疵倩以於二常住者一雖一要須 Ŀ 以,,戒壇北馬道,不,可,用,, 瓦屋,事 が可と 此 戒之時運、之履、之間十之年者破 遲,打填者即进兮穢、梁造遲者又水流損、壇就、中受 |古律宗以、此為,,本所, 矣禪林律師之時下,, 僧坊惣六院也 勝い計如い元可い致い造い死屋 院一畢是以努々莫、改二舊儀 - 居住 一可之停,,止之,又此僧坊外廊之北 一焉近 受戒之時戒和 乖而毗尼戒律日下悉絕,儀式 ·日粗有n 住 上十師等 輩 損了空 損之至不 歟 棟木之端隨 而 所 構隔之間 --寄宿 行供 戶者本 相 料 - 也

戒壇院前二池事

所海內第一之揭焉地早可:制止 之時即守二舊儀一遠去、池耳今西院是也然今埋、池圍 池北岸,號,唐 建,,當院,之日依,,綸旨,被,立,和 隔 私屋 戒壇院北地不了了立具房舍 藏 堤悉崩頹了又南方者朱雀也元無,在家,然永久之比 為、群為、市法皇親 穢, 故也依, 之二地卉大唐和 右自,天平當初,雖,寺盛衰,未,曾有處埋,此地,構以 件邊結二構小屋一大衆蜂起 破却也又 堤者高河弁 相,語衆徒,片端居,住之,其後漸廣漸長 谷道俗交住不 ン谷隔 三靈地 二池者出,於經文 方墻 凡戒壇院 最不 レ池左右敢無、人無、家是則遠去,,凡卑之汗 一被少藏 西邊地下然西邊住輩防 穏 禪院-是也禪林深覺僧正建:立別院 ずり 是結緣之地淨潔之砌也所以 便一早可」被一置」之 西池者為…西邊河 王有、幸有、參實天下無雙之高名 > 有事也況受戒之時者諸寺諸 一繪圖 說 尚運! 祇薗戒壇之土! 所實炳然 倘 住房一之刻遠去二 一被、颓原 造者又破却遂 河之間 逐 矣而 回東高岸 次夫池 東池 前 Ш 西

已上忍辱山寬逼僧正記文

東大寺要錄卷第五

諸會章之餘相折

年中節會支度寬平年中日配

合

一元節

客備析米但彼日食堂隨具賞的

太僧

一人新

大豆一升 和布一帖直一升 雜菜三盛的三枚 酒一升 芋子一升代米五合

政所大干食一石八斗

信布半端

餺飩一升代五合

大根一把代一升

造司節供在別支度干食一石三斗

八十四

六斗 七升二合佛供日九升二合 七石導師供布施新 七 石

二一石同樂人祿新在二支度, 一斗二十行道衆三百人堂 一斗六升八合初夜導師 一石六斗八升樂人食析 五石

升同佛供析日別三升 油五斤

中門導師布施供養料

一斗六升八合納音神供析

二斗

始」自二正月八日一吉祥堂改、羂索院 吉祥御願 請僧七口

米七石六斗九升三合在,支度 油七升

布施信布十六端

散說 始」自,,正月八日,講堂

五斗四升六合佛供 米五石四斗四升六合 四石九斗請僧七口供日別一斗 油

聖粥

七合御明析

六石五斗佛神太僧五百員料 在:支度

四石八斗二合五勺 四十六人 三石四斗 造司所司男女木工等析 上司客析在一支度 四斗六升

斗二升大佛御菜 八斗四升食堂佛供析

同月佛供雜用四石二斗九升四合

斗九升二合布薩佛供 四斗五升政所干手院宿直食

東

大寺要錄

卷第

Ŧi

斗五升正倉院守食 斗五升泉木屋守食 三斗 上司出納

二十造司出納食

五升造司宿直食 五斗湯沸薪井食析 一斗五升西院守食 斗九 升二合布薩戒師二人供

二月用

四斗五升政所千手院夜行食 四斗二升御菜 八斗四升食堂佛供 五斗湯沸薪井食

餘如い前

二月堂二七日佛僧供可、隨二入行僧,在,支度

三月用

四合 三日節僧一人干飯三升 三石一斗干食客備在一支度 酒一升 餅六枚 造司客析在,支度 堂供二升

十四日 華嚴會

六石五斗五升大佛供 五石五斗菩薩天人饗析 六石五斗二升八合中樂朝夕饗井祿析 八石七升二合造花新 七石二斗八升四合中樂日中饗 二石四斗小佛供 十石三升四合劫樂人祿

太僧一人干飯八升 在"支度 九斗二升掃除新 菜析一合五勺随,太僧員,可以炊,干

前後轉差食在,支度, 一石八斗上司干食 五斗繩直

一石三斗造可干食

供往所々宿直雜用等如之前前後轉物頭等机食在一支度一十石中門所司五師響析佛

四月用

平食 僧一人干飯二升 堂供二升四合 一石三斗造司八日伎樂 四升八合佛供 五斗五升法用五口 四石

讀經僧布施信布僧綱三段已譯二段五師一反 可、隨,見參十石六斗一合上司 八石一斗六升四合造司在,支度一神祭料十八石七斗六升五合 用紙十一帖

一石講師 六斗法用六日名一斗 八合

四升八合佛供

例雜用如 前 但湯沸四斗

五月用

五日節 二日御齋會 四升八合佛供 七斗法用七口二日御齋會 四升八合佛供 七斗法用七口

例堂供二升四合客備在"支度" 一石八斗上司干食干飯二升 覆瓮子代一合 單代一合

一六月十四日萬花會

一石三斗下司干食

造司客備在一支度

例雜

用如的前

飯僧一人干飯二升堂供二升四合 佛州七柱干一石八斗上司千食 一石三斗下司干食 佛州七柱干一石八斗上司千食 一石三斗下司干食 佛州七柱干工石二斗七勺樂人饗祿新在"支度"

一廿三日千花會

四升八合佛供 一斗造花直 一石五斗上司干食件一人干飯二升堂供二升四合 一石五斗上司干食 一石三斗下司干食

一廿八日解除會

廿

Ħi.

日

大掃除在:上下干食

七月用 僧 **与樂人朝夕饗新** 五斗政所祭物 一人干飯二 升 三斗法用二口 五石裝束木工食 堂供二升四合 六石 三石一斗上下干食 九斗三升六合二 例 用 如 が前

七日節。僧一人傳館 升代小麥一升二合 干飯三

升 酒一升 黄瓜一果代五合

青瓜二果代五合 大角豆代二合 客備在一支度

青豆代二合 堂供二升四合

十四日自恋

三斗羯摩僧五斗法用五口

一十五日效樂會

五石七斗支度, 三斗木工 一石六斗安居終講師法用三斗七升佛卅七柱 五斗五升孟蘭盆經法用五口

一十九日梵網會

四

石

. 伎樂新在..支度

人干飯二升

例堂供

一石三斗造司干食 僧一人干飯二升堂供二升四合三斗幡差 一斗二升戒壇掃除食 一石五斗上司干食四升八合佛供 三斗七升佛卅七 七斗五升法用七口

一八月用

例雑用如い前

十一日功德經 一斗四升八合三箇日佛供

九月用 三石語僧三箇日供 一斗羂索院掃除食 例用如\前

三日八幡宮祭二石七斗御供在"支度"六石頭例給料

騎馬頭 五尺 料 酒肴料 石二 六斗九升木工食 石 段同樂析 八 、斗二升三合左 斗各三斗 三丈五尺御幣弁 斗六升 人料四段行列使二人料厭舞二人終舞 十段相撲十番新 一石六斗相撲長八人各三斗 左右樹功 一斗御門掃除食 右相撲饗在一支度 河食 一石折木直 禰宜淨衣料十段競 四段細男二人料 信布 卅 四斗繩直 馬 Ħ. 段三丈 # 斗御門 三段 八袴 四

九月節

司干食客備在,,支度,良善如,前 合栗代 一合豆代 一石五斗上司干食 一石三斗下僧一人干飯三升 餅五枚酒一升堂供二升四合 二

一十五日般若會

升八合 司干食 僧 用如以前 合四与饗六石七斗八 人干飯八升雜用 前 石三斗下司干食 後轉幡 差食支度 八升中 可」隨 門鋪設人食 于 刺樂饗葛直 九斗六升水工食 飯炊員 十石三 石一 石 斗七 一升五 斗上 例雜

十月用

東大寺要錄卷第五

斗 石人井十 火燈 09 斗 H 一雜包 樂人饗祿 一斗五 燈 食三斗 升 御 JU 阴 て七升佛世七 二斗二升五 升 千 口 佛 直 供 合 石五斗 點家 石 Ħ. 五 工三人食 斗 升 上司干 燈 姓 性面 錫二 杖導

僧 石 人干

二斗造司干

食

闸 + 儿 石 飯二 斗二 升 升 Ŧi. 堂供 合 七 与引上 升 九石十 回 合 二石升一 七斗

合一

在合

七七勺下

米

段 信 段上 雜 Ŧī. 師 F 段 司 用 前 供 紙 淨 衣 帖上司六帖. 御 讀 經 僧 油 布 施 僧 升 Ħ 綱三 合 下上司 五一 段 已講 合升

十二月 用

例

用

如

ジ前

八 料 H 温 室 節 七斗七賢 供析 七 斗 湯 沸 薪 幷 食析 僧

+ 所 飯 干 几 供 八 日 萬 升 石八 燈 升 四四 升代米 四 飩 會 斗 合 升代五合 飯 良善 造司 節會在一支度 飯 人 芋 雜 料 字 用 僧 隨 ---升代五合 F 分 但 干食一石 酒 除 堂堂 餅代 升 供 Ħ. 上 升 政

> 直纤 合 可、隨川見參 松 一石 斗二 स्रिह 四 --五 升 值 抱 食 斗 中 直 旅 御 在 期 石五 六斗 = 支 坏 僧 鋪 度 萬 斗八升二合 一人新干飯二升 設裝束木工 輪 燈 直 車 石 輪 四 燈 石 面 + 食 點家村 修 五. 導 理 斗 木工 榑 燈 師 堂供二升四 并錫杖頭在 直 炷 木 心 直 直 石大 間 酒 二石 石 117 間 -ţ: 食 釘 柱 度 四

法華 會

下上 干 講 飯 師 石石 聽 三五 升 衆 斗斗 終 四 日亭酒 堂 箇 供 日 用 部 升 在支 所 四 雜 度 合 物 隨見 前 直 後 食 斗五 始 堂 日 僧 升 干 ___ 食二 人新 石

八

斗

升 布 装束 役食 斗二 講 師 聽衆菓子析米一 斗二

絹

15 僧 別 綱 當 疋 行 講 事 所 師 司 各 正 聽 乘 正 各 新但

信 布

段 講 師 綱 + 兼 段 威 僧 四 綱 段 五 段 無 已 威三綱勾當專當三 聽衆 一段 五 段 師 小 別 加 分 當 各 四

段半

成 撄 戒 升餘在別 讀 然 支度 可供 院四石九斗 四

Ш 二三升斗 飯 九 陵 升六合上下 1 升 御 口 食料 直二 菜 ·司佛 斗 種 石上司所司共 上司 供析 炭三荷直升 堂供 六石 直升四 上下司 合 斗 造 誦經 鋪 干 司 設裝束雜 飯 布 讀 施 雜 經 用 水 僧 可 爐 役 有別 炭 食 直

米

人 信 斗 布 食 融 70 升 御供析 油 合 御 石 阴 請 新 酒 Ħ 肴斯 横三合 二石八斗 御幣三帖 升 樂

米 丈 斗 御 四 幣 升 袋析 油 合 一段僧綱 折 櫃 段 合 已講 御 三元段 五 帖 師 造 信 布 司 E

司

前

升 司 幡宮八大 同 疫 合在一支度 神 祭 八菩薩 油 # 升八 Ħ. 前 合 并 艺 諸 神 中 歲 井所々 末 祭物 料幡 一宮 新 升一 **开政所厨新** 一升五合八-大

Ŧi. 斗 油 五 合 用 紙 帖 信 布 段

大

寺

要

鉄

卷

第

H

年 中 ·節會 支度大底注進 年 月 如如 A 件

右

大 和 域

五九合斗五二 治 四 添 升 年 油 大 邊 升 城 部 斗 那 六 佛 五 E 修 F 玄番 四 Ŧi. 合 郡 郡 理 供 与升 合 石 六勺 六斗 升 斗 白 稻 石 米 九 石 官 合 四 白 干 卅 城 斗 米 束 城 直 匹 Ħ. タ六オ 那 上 九 九 石 析 石 那 升 受戒 萬燈 米四 石 Ħ. 四 斗 米 斗日別 五. 石 + 斗 會 石 菜析錢 升七合 石三 五二師 四 四 料 斗 升。供 一升五合 Ш 斗 斗六升七 糯 邊 Ŧī. 白 石 九貫九 五 郡 合六夕 黑 六斗 斗 与 米 五勺 石 + 諸 平 百 群郡 合 四 堂 π 二升黑 平 九 群 斗 石 常 四 燈 八 石文 二一郡添 米石 斗 斗 析

石 山 七

延 喜 除 陸 奥國 式 布 T 六十 施 稻 人 百 代 五 + 百 東四 四 + 把 籾 束 百六十三石 本以舟出之 人 别 儿 束

年 新 油 二六石 四斗 八 八升五 合

凡 東

供析 壇堂 殿燈 各三斗 斗八 升 石 升四 七 一合九月以 斗二 合 升八合千手堂觀 萬燈 前 會 新 四 音 堂吉祥 戒 擅 堂 + 師 戒

大 和 國

國 分 争新 萬東 Æ 稅

幷當國 凡 主 春 大寺安居 IE 稅 送之已上 供養新 米 寺 别 # 石六斗二 一升七合

五月 誦 經 物 支 H 配 御 関 事 日 有一悔 過 月二日御齋會之悔 析五 云 4

分 四 道 分 師 八加自分 Ħ. 師 TE 所 + 司 分 児願加. 僧 分自 都 分 八 道 師 分 五. 師 六分 咒 願 四 分

若非,五師 導師児願 時 加自分元分

諸宗 事 諸宗章第六

然者與"夫盲瞽 教之 被被 五乘之教因、之得、正萬差之法以、 三凡聖 興其 一是以能仁無垢法兩面 來遠矣濟 而沈二大坑二 益 功冥 將二夫禽獸 灑 馬 存 與無 之朗 然若 救 樹 拔 敎 風

> 寒暑 歟方 紹隆之業於」茲盛矣寺家之務其為事了 能 其 場 悉 院衆彥連、樞半字滿字翫味彌新花 其孰若、之乎蠢 深發三大願 筏 八叶道被 術 ·修·三密五篇之行·成實俱舍妙弘三三 供析一所以學侶 不之理 因緣一佛法 達 自ら古近と 一夜之 逾 太子 **今**聖皇 一於堯舜 面 拾位 日 ·無窮 人時样楯敎則墜> 一欽重 天台法 僧坊諸宗並、窓小乘大乘鑚 月者 今佛 二立伽藍 集 其學徒 出 k 也然而 與法之德過二 一佛 修習無一奇二寸陰一僧衆 法與盛無 皇民咸殖 相 宮蓋 法 = 解法 手演 一普起:慈心 道不 爲 二佛 四發三時 ど、若言 弟子 三孤運,弘之由 此乎寔佛教者 於明帝,自、非、大 種 此時 汐 嚴 動無 篤 地然則本願皇帝 傾二捨戶 之義」具言戒律 人々率 仰 藏四舍之教 論各談二五 涅槃經 集住 三人物 旣 舊 越 邑 四 不 此 海 爲三道 治國 時 之 修二 船 穀 至

華嚴宗

東大寺 華嚴 別 供 緣 起

夫玄門 惟 啓心 僧 IE 一資...法雷之激.響..導迷衆. 侯 幽微 良辨等芳宗志等騰 莫之若:一 乘一々 蘭 k 誓二兼濟 奇 靈華嚴尚矣然 一覺首,以,方伏 而 納慮器安遠 則發言

三年講 寺六宗中說:華嚴 猶解不」向遂僧正以聞內裏方向聞: >夢東大虛空沙彌來下立:|僧正前,|其身著 喜則 ゝ始ゝ經之日天朝幸,,行盧舍那佛前,奉ゝ證,,彼講 為二複師 十卷經,了次嚴智大德為,講師,標瓊律師性泰大德 鏡忍僧都圓證大德請為三複師 新羅學生審祥大德,而講說則僧正三度請 至二元與寺一詩二嚴智師 裳|告言請|嚴智師|羂索井前介>講|華嚴經| 覺則 命三寶|降|| 勅百寮|肇建||知識花嚴別供| 僧正曾見 紹隆為、務濟為、心遂以,, 天平十六年歲次甲申, 歸,, 此以後古經及疏新經及疏講繁多不上可以數量一又諸 御年四 日寺奉 施二級帛千餘疋一天皇皇后等施入衆等不」可二 一敬惟勝寶 敜 二六卷經 福大德為二複師 一亦講二六十經一了次智璟大德為 以 十滿賀之設 |為聖朝| 請| 審祥師 為心故能 一講師 感 神皇帝出,齊朝 皆後,東大寺,初所,起也僧正 ン講初講 命終則三複師 天 一講二六十經幷疏廿卷 其大德云我無智人但 平 十二年 |請,才大德|為,聽我 時上現:紫雲: 一初講」花嚴經一其年 庚 開 詩二講師 辰十 乗、乾握、紀 講 ·審詳大德 二紫袈裟青 慈訓僧 月 師 帝光 八 屈:請 日 都 主 見 金

> 卷抄|賢璟僧都永敎大德為||複師||讀了故聲聞律儀 終 亦始,此寺,普令,受學、云々 始...於東大寺,亦遍遠傳行又請...道融禪師,令、讀...六 時 經一介と 偏 亦其力也良辨僧正夢 以三花 修二布薩等一覺悟之後如>法 嚴 乘 付二屬崇道 中示現詩三靈福 天 皇 K 修學故井說或 K 敬受傳 師

三論宗

師玄 法師等九人 以一僧正一是則日本僧正第二觀勒僧正其第一矣福亮 高麗惠觀 難波長浦豐前宮奉總天皇治天下天萬豐日天皇乃請 過、年九十餘歲雖、有..佛法. 未、有..弘宣. 第卅七代 進天皇之代百濟國 人王第卅代磯城島金刺宮欽明天皇治天下天國押開廣 法 前 法師 西大寺玄叡律師旨其薗 皆三論宗也神泰法師相次傳〉之宣融法 一个、讀二三論一其講了日天皇即拜之 |獻|| 佛法|| 自介以後經|| 廿七代 亚

法相宗

大法師

明

秀

朋

僧都

大法師

玄愷

濟棟僧

培東大寺法相宗也 港蔵僧都 湛昭僧都

一律宗

大寺

俱 成 (合)宗師善報傳燈禱位僧勝貴()宗東大寺傳燈滿位僧賢融()宗東大寺傳燈滿位僧賢融

門一之後取澄大德入唐始之傳之之 私 始置:此宗: 言二宗, 至..于真言宗, 者弘法大師入唐歸 云伽 藍建立之當初唯有二六宗學者 天台宗者唐大和尚鑒真 傳 無 = = 來 朝以 天台眞 天 台 法 後

真言宗

海一々 可一修 金剛智一々 夫真言教門諸佛之肝心如來之秘要也 金剛薩多一々 々授 習一矣昔大 k 一實惠具濟等 ヤヤ 々授二不空 日如 々授二龍猛一々々授 深以 k 瑜 k 伽無上秘密教 授:1恵果1 二龍智一々 凡在一佛 k k 傳= k 子 11/1

貞觀 言一宗人法新起流傳年淺云々 年分度者 七宗教者皆是先代帝賢聖 格云大僧都空海 是故 |廣入||田園利稻|宛上講||經論||析山各令||分 從 昔迄、今人法欝與師資不、絕今眞 表 儞 臣建"十三大寺, 賜"十 華 嚴 天 台 律 \equiv 論 法 相 等

天台宗

也 貞觀 去 天平 格 云 勝 天台宗者智者大師 寶五 年十二 月入唐副 受 思禪 使從 四位 師 所 上伴 傳之敎 宿 癲

> 訪一報 庇 宗, 矣已上 胡 人」以介,修 上天台 三 外 緇 滿 額 澄街、命涉、海搜求至情景重 法 請 林 門 學四 志 將 州 期弘闡 來其後桓 種三昧餘風遠扇子、今繼、 興 、寺和 一入唐歷紀尋~教歸 武天皇遺" 尚 鑒眞 同 永賜 使 船 西 一路 二年分度者 而 朝宣 歸 特 踵圓 三揚斯 時 和

然則天台宗 也依以之東大寺是天台宗之初基也 流布 本朝 一元大和上天台法門傳

來之

別當

章第

七和上次第附

少僧都良辨義淵僧正資 天平勝寶四年 一五月一 日始辅年六十

造東 造東大 大寺長官吉備眞公路 年寶字元二三四 八寺司 長官正 四位 眞公勝寶七年 Ŀ 一兼行

庄

左勇士督左右馬監

少僧都良興良辨資 上忌寸犬養天平寶字三年 寶字五年 住

寺務 四 年寶字五六七八

新 स्पिर 閨 師 十二月十七 同 年 日 實忠構:上東塔 依 11宣旨 割: 寺家 盤 封月 依 兵革

事 ,建..東西小塔院

大僧都良惠真辨資 天平神護元年任

寺務五年同元二三景雲元二

律第 師

資龜元年任

永與良辨資 同元二三四

實龜二年 寺務四年 實忠構:立副柱三十支,同三年吉祥悔

過始之

律第 師 五 忠惠良辨資 寶龜五年甲寅任

寺務四年同五六七八

少僧都靈義良與資質過九年戊午任第六 寺務五年 同九十十一

西塔燒亡

大僧都等定實忠資 寺務五年同二三四五六 延曆二年癸巳任

大第八僧 都永覺永與資 延曆六年任或五年丙寅任云人 補任作,四年云々

寺 務五年同六七八九十

律第 師 九 禪雲等定資 務四年同十十一十二十三 延曆十年任

天應元延層元十一年新樂師寺

大僧都容海弘七元年任第二四

寺務四年同元二三四

寺務四年同元二三四

少僧都義海弘仁五年第十五 已上弘仁之比修理別當實忠和尚

第十六 寺務五年同五六七八九 師靜雲弘仁十年任

寺務三年同十十一

十二年十一月入波

律師永念弘七十三年任第十七

寺務四年同十三十四天長元二 弘仁十三年二月十一日建二立眞言院灌頂堂

東 大 寺要 錄 卷 第 Ŧi

> **湛**人君 良惠資 延曆十四年乙亥任延曆皇子

寺務四年同十四十五十六十七

少僧都源海延曆十八年任第十一

師第十 律定與延曆廿二年任

十二月入遠

律師海雲大同元年任 寺務三年同廿二廿三廿四

寺務四年同十八十九廿廿一

與雲君

天長三年 住

少第一 都 務四年天長三四五六

律第 師 # 寺務 承 四 和 年

心 惠 元年 任

廿 務 僧置 四 年 宣言 ·同元二三四同 三年五月九日被、下,眞言院

大法師 圓 明 承和五年

務 五年同五六七八九

裏書 丹勘、之或 둪 日記實敏大德承和五年任云々

承和 門天寺二工從八位上神氏勝 時別 五 年六月八日思二日 五十箇日 當大法師 圓明如り 助等率二廿 此記者實敏非二別當 間修 餘人一 理毗 修補 沙

大德士二 承

年 任

DG 年 同十十一十二十三

正真雅 務四年同十四嘉祥元二五 派承和十 四 年

和十

寬雲天長七年任治承二年閏二月十八日表信書人也 律節 貞崇仁壽元年任 擇三東大寺戒壇 嘉祥元年 官府云下野藥師 會新物 院十 師 不 元 備

一任授戒阿闍 寺准:太宰 停一他寺聽衆一

觀音 梨 者

寺例

同

年

務五

大德濟 椋齊衡二年 任

寺務四 私 云 上件 年 - 同二三天安元二 -11 遊 代虚偽尤多但 依 舊 次第一注

其傷 一多

一臟官府

- 也自下別當依

三印藏官府」始改

大法二 寺 師 務 真 奶十二年 和 真觀元年 任

大法師祥勢貞觀十三年第廿七 寺務四 年同十三四 任 Ĭ.

大法師 玄津 貞觀十七年 正四位下南淵朝臣年八月符 - 塞資

別當

參議

足部

卿

務 四 年同十七十八元慶元

別當 慶元年笠置寺八講始行時座 一右少 辨策東 宮學士 從四位上橋朝 主慶祐 大德 臣 廣

相

觀十七年十月廿四日符

大法師 眞 和還着元慶三年二月任

寺務 年元慶三年

俗別當參議從三位在原朝臣行不同元年九月七日符 五位 上守 右中辨藤原 朝 臣 保 則 同年十二月廿一日符

大^第世 師 修 右 安 理別當左少史正六位上 少辨從 軏 元慶四年 五位 任 上安倍朝臣清行同二 眞 和 死替 良枝朝臣貞 年 五 具行同二年十一 月廿六日符

寺務 俗 別當右 年 少辨平 -同四年 朝臣季

長

法 師 祥 勢元慶五年任 安軌死替還着

寺務八年同五六七八七和元二三四寬平元

F 俗 別當右 一位行 小 中納言在 辨安倍 原朝臣 朝臣清行元慶六年閏七月符 行平八年十一月十三日符

右中 辨從 五位 上平 朝 臣 季長四年九月符

參議

正四

位

下播磨

守源

朝

臣

直

仁和三年

符

大第十二 師 勝皎寬平二年

務三箇 月

住

大第世三 惠彩寬平 车 任 勝蛟死替

東

大

寺

要

餘

卷

第

Ŧi

俗別當正 務 四 年

> 源 昇

大衛四 五位 下 右 中辨

都 濟 棟寬平六年任

寺務四年同六七八九昌泰元

大法征 俗別當季長還着 道義昌泰元年任

師

能治賞任二律師

寺務七年同元二三延喜元二三四

禪 定法皇東大寺御受戒

俗 別當左近 衛大將 藤 原時 平

大辨 兼 二年五月十四日符 行式部大輔 紀 朝 臣

長

谷 雄 二年符

左 大 臣

大第世立 大第世七 師 務四 戒 撰延喜五年 年同五年六七八九 任 道義死替

師 務三 延惟 延喜九年任 年同九十十

右 少辨從 別當 權 中納 五位上藤原當幹十 言從三位紀長谷雄儒職 车 八月九日

大第世八 師 智鎧 延嘉十二年

寺 務八 年同十二三四五六七八九

二日儒職人

别 納 言藤原道 朋

律師即 延喜十九年任

觀宿道義資

寺務 四 年 同 # 一二延長元

律師行 延敞聖寶資延長二年任 五位 別當中 T 右 納 少辨藤 言 藤 源清 源元 貫 方廿一年符儒職人 延喜廿年九月廿日符

大法師 基温延長六年任 務四 年同二三四五

務

大法師 師寬救寬平法皇費 延長六年任

俗別當右中 辨源 公忠

務

八年同六七八承平元二三四五六

大法師! 明珍 納 言 一無行 承平六年任 左衛門督 藤原恒佐元年五月五日符

寺務 年承平七天慶元二三四五六七

天慶七年正 一月九 日 末寺長谷寺燒亡

俗別當右大臣元年三月五日 別當東大寺貞教 小一禪師

納

藤原實賴三年十二月七日

大法哲 師四右 右 大臣天慶六年八月十九日 小 寬救天曆)辨菅原 元年 在躬六年八月廿 任

務 四 年

大僧士 都五 光智天曆 四年 任

寺務 十五 年 三四應和二 元二三康保元

天曆 八 年大 佛殿 角 木替

御 天德之比伊 _ 卽 奏」聞公家 質國 住 人橋元實注 一仍永可以為! 寺領 先祖 心墓地 之由 有;官 施元

應 符 和 玉瀧 年八月卅日 加是也 南 大門新藥師寺七佛

願 山陵告宣命上云 to

和

四

年三月廿三日

年

任

風

也同日

新樂師七堂門

仆仍公家遣,刺使

本

仆

依

律師法 藏延無僧都寬教君資康保二 別當左少辨紀文相應

務四 年同二三四安和

保四 和 元 年 年六月之比 应 月十三日鞆田島施二入尊勝院 依 H 村 庄 論 鄺 盛

北

本願

光

僧

都

俗 別 當右 大 臣康保三年二月三日

右 辨源 保光同年二月三日

右 大辨源 保光五年二月十六日

權大僧都觀 理延順資 左京人平氏

務 二年半飲安和二三天祿元

天祿 三年東大寺同法供始之 薩原 為輔天祿元年八月廿八日

俗

別當左

中辨

律第四十六 大大 納 綠延 觀理資 言藤原賴忠同十二月廿五日 天祿二年任

寺務 八年同二三天延元二三貞元元二三

別當右大臣三年十二月廿六日

右 大辨藤原 寫 輔

僧 第四十九 法 九 左 中辨管 原輔 正真元元年十二月 一日儒者辨

昭貞元三年 任 寬鑒僧都資

右 俗 1 別當左大臣源朝 務 辨 五年半貞元三半天元二三四五永觀元 源致方天元四年二月十九日 臣三年十一月十日

僧第五十 寬朝廣澤御室 寬平法皇資 永觀二年任

莊 ナ 寺 要 錄 卷 第 īE. 務

五年同二寬和二永延元二

寬和 元 年三 月 # 日 朱雀院御 受戒

大佛 永延元年五月廿八 殿 が 一天下普潤大佛御光右方燒有人穴勍使綱所 雨第九 日 1夕座 (日依"宣旨, 六箇寺集 申時黑雲忽敷雷電高推 ::會大佛

日記 在 削 藏

元與 同 年雲海聖人勸二十方施 一寺玄朝院 改書 地地 神 主 修 二補繡曼茶羅

一繪

師

俗 別當左中辨源 致方寬和二年三月五日符

左 中辨源 1 3 辨 源 致方重符永延元年十二月 致方重符永觀二年三月七日符 B

法橋奝然觀理資 永延三年 任

寺務三年永祚元正曆元二三牛 別當左 中辨 惟 仲 永祚元年十二月九日符

平

大辨平惟仲二年十月十日

幷大鐘 或 日 記 大佛殿 云 一永祚 後戶倒大安寺塔露盤落云 元年八月十三 日 大風 東大寺南

大門

内供 第五十二 務 覺 九院右丞后 二年正曆三四 相資 Æ 曆三年

16

九十七

カナス

俗 别 辨 當 源 右 修賢 大 臣 IF. 曆 29 年十二月 十七七 Ē 符

大夫士 右巾 芸 小明珍賣 IE. 曆五年任

務 四 年 同 Ti 長德元二三四

别 臣 當 膝 岩 11 朝 辨 方 同 臣 高 H 長德 階 符 信 月七日別當平崇(已上裏書)清澄庄公驗云長德四年十二 順長德元年九月十 华 月十九日符

內第 內供深覺長德四年在左中辨源相大 住 還

大第五 借书五 務 雅 慶 华 一觀修 华 長保 寺 長保元年

務 七 年同 元二三四五寬弘元二

任

修 造東 保 、樂門 年四 月 Ш 一村吉 八 H 光任近 鞆 H 畠 衞 府 施 生 童 末寺禪定寺 品

大僧都二十六 别 願 沿當澄 別常 心 長保四年十二月十九日 军 崇

#

前

寺務 濟 信 年同四年辭退 寬弘二年 任

允 车 13 賴 依 論 東大寺 H 也 1: 志 政 H 所饌食長屋焼亡 庄 論 興 福 寺大衆京 上依 馬

> 僧都治士七 心觀理 資 寬弘四年 任

同 年 務 修 七 理 华 長寬 東 和弘 塔 元四 二二六七八九 别 當律 師 任

權

少僧

都

同

世四 師云

云

H 符

右 俗 大辨源 別 监 右 道 大 臣 方 藤 原 朝 臣

少第五十

寺務 都 清壽寬朝 年 华同三四 僧 IE. 資 Ŧi. 長 4 和 年 任

長 和 年六月十三 日 巳 尅 大佛 殿 前

第五 一十九 恠 北: 宗年人 公家 有1病患1避1其所 占: 恠兆 敷

召

陰陽寮

有

刀兵火事之態

连

生

古 連 三

深覺詩 務 五 年 一任、之清壽死替 同 五寬仁元二三 四

大僧

部

慶 同 三年 + 一月十六日始行 經賴寬仁四年十二月十三日 :僧正 堂御忌 日 -勤進有

符

已第六十 左大 俗 睛寬仁四 臣 同年 左 # 年 -同日符 辨源

别

當

寺務 朝 三箇 月

不之前::別當:二 年 半

律第六十 倒真 治安三年任 光智資

寺務六年治安三萬壽元二三四長元々二牛

大佛 殿北 正 面 一西脇 柱 巷

異奏 四年六 ·公家,陰陽寮占國家非、慎,御藥,天下有,疾 八月十日 長尅 小蟲如」雲出集, 御塔 恠

僧 權別當喜朗 正深覺治安三年任但雖太有以官符 器司本

病患ニ云々

權別當濟慶

一辨官下

僧正法印大和尚位深覺知: 行寺家等

事

者寺宜承知依」宣行」之 右右大臣宣奉 勅宜 如 1.彼寺 1 个图深覺知5 行上事

永承

年八月朝緣聖人

修二補大曼陀羅

二月

俗別當

左中

辨源

經

治安三年八月廿三日 大史小槻宿禰

少僧都に 都仁 海長元二年 任

務四

年同二三四五

任解除會不了行

東

大

寺

要

錄

卷

第

五

長 元 四 年 IF. 月 + 日 始建: 撿技僧 正所と

為

也

正倉院動 用御 倉仆

樂師 院 焼亡

俗別當右大臣 藤 原朝

臣

長元四年

九月十六日符

律第六十三中 辨源 資 通

慶長元六年 任

上座 務 Ħ. 念秀相, 構公私 五年 長曆 元 九 九 九 九 九 九 板蠅御 二尊勝院

杣

成

永

寶 也

長元八年千祐五師建 俗別當右 辨源 經 長

少第六十 長久 寺務 都四 深 十二年寬德元二 觀 |年始行 長錄元年 - 鑒真忌日 任 三長久元二三四 宮僧 花山院御子 四

大僧都二 尋清 永承四年 任 長長久三年

车

少僧六十 十六 六 子 務 都 有慶永承六年任

寺務 四 年同 六七 天喜元二三

天喜元年五 月 + H 申 門西方天修 理權上座 聖 好

侵 É

天喜元年 永 **水水六年** ·五月廿六 九月廿 日 未 日 大佛 時 天 派殿播鉾 地 院 燒 一基仆東方

大僧都覺深天喜三年第六十七 任

務 四年 华 天喜三四 「五康平元二

康平二年七 月 廿七 H 一發二大衆 曳二願與寺鐘

月堂二丁

師延幸 康平二年 任

寺務 佛 殿 七 紅良角 年同三四 . Ti 本替深幸叙二法橋康平八年六月十六 六七

平 四年 车 月大佛潤奏」聞之處、会易を一八月廿八日奉」直」廣目天,大工延松 之處一陰陽寮占云明年二

請 洲口

兵革云

K

173

於大佛

殿

仁王經

御

讀經五十日

大僧都有慶治

層三年 住 重 任

務四 - 返觀世音寺立香菜免田 - 大鐘懸了 年治曆三年四 延久元二

> 屋 施二人 味 田

僧第上 覺延久三年 任

寺務 不塔角 四 年原保元 不替下!:御香御薗宣 五

承保元年三月廿 五 H 壬子東大寺申二下祭舒

幡宮新造改遷宮

又立二大井庄法花會 曳.四

法印度 慶信 承保二年 任

務 -11-年元二三三 一宽治元二三四五六七嘉保一承曆元二三四承保元二三

元應德

承曆 勅封 藏麝香 一年食堂 五兩 **神角九** 進」官其代銀提 鳳落年 內修造了 口施入百五十雨

幡宮 禮殿 始造

承曆四 车 修 三廣目 天 | 榮爵二下

法第七十 範嘉保二年 任

寺務五 年同二永 長元承德元二

IF. 倉院 南 烈藏 焼

律師永觀有慶深觀資 康和二年任第七十三權別當大法師定還承德二年十月廿五日符

寺務

年康和二半三四

百

東塔七 年 - | | | | | 重 排 皆 藏 修 修 理 理

僧都勝覺長治元年任五月廿一第七十四 理 同四年辭退

九日

前 別 務 云 僧 十四 俗 年

常右中 辨藤 原 為 隆

别 當次第依 三舊 記 粗注 二載之

鎮並 ∑預」公請1但 功績一申 凡諸大寺幷有 日 即責一解由 同此例 ン官褒賞自除諸 僧 但 封別當 綱別勍任 其未、得,解山, 輩永不二 康 節 三綱以 可、稱之徒不、論。 等依 二別當 in官符 四四 二者不ど 年 爲 任: 在 一秩限 年限 別當及 三此 任 限 用 遷代之 殊錄二 尼寺

知幷覺學遺漏 寺以,別當,爲,長官,以,三綱, 」其與不之狀合:網所押署」○押署式文 及依二 理不盡 返却等之程 為一任 用 由 同 與

大寺別當三綱有以闕者須下 一々申」省 別當三綱共署申 却 見任 マ申ン官然後 東大寺 知事 補 送 任 五師大衆簡 僧綱 亦 岩薦舉不 同 覆 審 ン質科ニ 定能 **狀**牒 治

大

寺

要

餘

憋

第

Ħ

溯 與大 花 升二合鹽五勺已上式文 凡 僧綱 寺大鎮 任」之東大寺別當從僧沙彌 人童子二人並用, 安樂師 不り得 各從僧 西大法隆弘福四天王崇福·寺 三颗任二諸寺別當一若 人沙彌 本寺物一供> 一人童子二人三 童子各二人 不 之其童子各米 獲 綱 别 興 者 常針法 少鎮 福寺 待 シ別 元

已上

僧正寬思 助 元永元年四月廿八日任

寺務 芒 年 元永元二保安元二時大假正三 四 一天治

元

天治 年 正月十五 H 入滅

權第七十 正 勝 覺天治二年七月廿日 ·天治二 一大治 完二三 任

寺務 大治 四 四 年 年 四

法第七十 大僧

右大臣顯房息承保元誕生三寶院二代目(此十七字)務十二二年朱治四五六 承治元 長承二三四代僧正定海初任,律師, 天承二 長承二三四代 正定海大治四年五月日任 年六月廿二日元海任 三權律師-講堂修造賞

本元

保延之比 別當

東

小 塔堂

颠

倒針止

造營

加二

東塔

111,

修理二丁

公務權 八 大 僧 都 寬 信久安三年 Ē. 万十四 日 任

寺務 年久安三四五六 仁平元二三

平

 \equiv

一年三

月七

日

入滅

外安二年

鯖

木

枯

ſ

大第七十 正九食法道 修 寬曉仁平三年三月十一 造 其 功仁安二 一年權 律 師 惠 珍 轉 都

H 務 H 六 年代平三四 入滅 人豪二不公送

间

8

任

1: 拜堂

保

元四

年

IE

同

年

五

月

H

滿

二丁別當

龍

蹄

匹美絹

務 前 務 大 僧 年 正 华 寬 遍 寬治初保 二月廿 华元 B 任

曆元 年 月 日 拜

倒 元 年 百 餘歲 云 大 門應和 12 永萬 二年六月 年 大 風 洲 之時 日 入滅 令...頭

法印 Bil 務 灌 ナレ 大 年 僧 **承安元** 顯 惠初永 年 任萬 師七 應 也月 元 Ī H 任:

安 加 年 Ш 出 作 新 庄 申:成院廳御下文: 施

FII 前 務 大 僧 年 都 安 覺 元 衆承 元二 遵安 背五 十年 二月月六 日日 被任 治承元年九月十三日

> 法務十 僧 元 IE. 元 耐 喜 興 治 承 綱 元年十二月六日 官 被 申 任 下

蓩 六 年 治 承 元二三四餐和元壽永元

永 承 年 年 + 04 H 月六 九 H H 始 佛

正四正 給 和 卿 T

權第八十 定遍壽永二 年 任

文治 務三 元 年 年壽永二元曆 亢 月 # 五. 元文治 H 拜 元

權 第 僧 Ŧî 治 都 雅 元年 賓 葉室顯 八 月 11-賴年 子三月 日 惠四弟日 大 佛 觀任 開 眼 供 養

務 车 文治 PY 修寺へ

此

+

字

本

无

文治 年 春 被 シ寄ュ周

防

國

為1造寺

也

務 年 文治 H 建久元二

ス

務僧

IF.

俊

勝

交治

II.

年

五月廿二

八日

任

人 车 元 H 月 年: 十月 $\pm i$ 儿 П H 大 同 佛 H 1 椋 殿 拜 陆 有 屋 御 柱 李 本 业

大

前權僧 TF 勝 賢 四建 誕生三年 · 實院五代目(少級言以下一本无) - 十月八日任少納言藤原通憲法名信酉保

建 務 04 年 年 拜堂 建久三四 以前 五六 J: 司 廳屋 修

同 Ŧ 年 舞 装 束 月 \mathcal{F}_{i} 十七七 真 但 II 盤 拜堂 繪樂器等新

莊 嚴 會

法第八十八同 正覺 六年三月十三 成建久七年七月二日 日 大佛 殿 任 供 養千僧

寺務三年建久七八九

建 久 八年十二月九 Н 拜 堂

同 八年二 一月廿九 日八 「幡宮 ŀ. 棟

頭

同

年六月八

H

發

·使者於關

東

一被

申

井 庄

代

法印權 大僧 四 车 都 辨曉寬寶弟顯密級學 正 治 元二 建 仁 勸四修日 寺(一本葉以下十九字元)任葉室別當藤原惟方息

JE. 兩 治 寺 元 年 混 合 月 而 八 Fi. 月 H 以 修 理 前 手 卅二 始 本 未 廻 申 大垣 兩 方被 年 來 、颓失大

IE 治 其 後當 年 政 國 所 分 菛 朝 北脇 拜 被 十本 興

> 治 治 元 元 年 年 月 月 月 H # 中 育 大門 道 H 路 拜 被近直 Ŀ 堂 栜

Œ

建 JE. 年 月 EII 藏 修 理 析鎮 西米百石被

い寄

勸

進

所

調之一

施 法第九十 僧 F

務 四 延果 年 建 建仁二年七月十三日任 元久元二

同 建 年 月 年 -j-11. M 月晦 H 育 大門二 日 大 佛 王始造之 殿 惣供

法務權一 僧 IF. 道 尊 建 永元年三

一月十

七日

任

寺務 承 元 四 年 年 -建 永 元承 月 --元 元二三 四 H

御

拜

法務僧一 務 IE 成 年 質 孫元四 承 元四 车 应 建層元二 月十 七日 任

同 承 元 四 年 八 月 计 六日 拜 堂

年 六月 # H 大佛 殿 廻 廊 内庭 1: 始 被 取 捨

、搔門以 Ŧi. H 南 H 大 又 **T** 垣 面 數 大 十本築 垣 始 修 之拜堂以 理 前

簡

]]

同

年

權九十一內 務 都 VIII 九 定範建保元年十二月六日 面 年 大略築了 建保元二三四五六承久元二三 任

前法務僧 第九十四 任 Œ 南 成寶承久四年三月復任 面 天 垣造,築之

法務大工 大僧 任 務 IE 四年貞應元二元仁元嘉祿元 八幡宮南 道 (尊嘉祿二年十一月一日復任 拜殿樓門造立了北拜殿寺僧沙汰也

嘉祿 務 年中 年嘉祿二安貞元 别

大井庄 花 嚴 相 宗 水無瀬 傳庄 k 庄 被、返,付寺務 東南 院豐田庄等也 了即 願

Ŀ

院

嘉

年十

一月十

日大講堂柱

立了

安貞二年御入 减

權僧工 正定豪安貞二年八月七日任

寬喜二 寺務六年安貞二寬喜元二三貞永元天福 年十月廿七 日為二盗人一被、開 元 - 勅符藏

錫杖衆袈 一、裟被 三調置

法印行 永二 年二月廿七 日大講堂棟木三支施,八寺中

大僧都賴惠天福二年十月十二日任

寺務 十箇 月 無一秤堂

唇 元年 法花會堅義六口放請了 任

法印大八 僧 正 親

嚴文曆二年閏二月廿九日

務

年

無罪堂

嘉 演 二年 ju 月三 日

手搔祭依

= 興

福寺訴訟一延引了

維 摩 會 同 延引了

僧正真 惠嘉禛二年十一月 四 H

任

寺務四 年 無 三拜堂

於二別當沙汰 者修 理與性之事更無」之

同三年四 月 十九日為,上棟一丁

同三 年 + 月 日八幡宮造一始之一

等勸進 僧 都 行 勇沙汰也

日任

僧第正

同

年同

月

沿十六日

寅剋上

||棟之||同時又御遷宮了

7

正 寺務 良 惠延應元年二月 牢 延應元二仁治元 晦

111 延 應 元年三月十八日大湯屋

新

造之

一勸進

所沙沙

同 年六月六 目 甲辰 酉 刻大鐘客落了

法第百 前 同 權 车 大 僧 都 月 定 11 親 \mathcal{F}_{i} 仁治二年 日 法 性 냒 正月七日 禪定 殿 任 下 行惠御受戒

第百 務 11

窗

车

法印宗 性 文應院完

年 ti 月 11 H 辅 任

第百 寺 務三

前 大僧 JF. 事 成三 **政寶僧正資** 三論宗兼眞三

左大臣隆 思息 弘長二 年 -六月十 六日 豧 任

務六年イ

第百 E 前 法 務 定 濟 定三 親論僧宗 正紙

務 內 大臣 车 定 一門內府定道承久年中部 三寶院第十二代ニ當ル 定通息文永四年四月補任 誕ル任 生勝同東 **公寺長** 一本是三十字无〉

前大僧 第百五 大相 E 道 [或 禪 門公經息·文永十年十二月廿二日補任 眞 言 京東寺 長 者

戒 和

法進 僧 都 任際 八角 唐 資人 字 一東 任 三少僧都 天平寶 七 寶年 趋癸 二卯

東

大

寺

餘

憉

Fi.

僧年 都任 大

如 保 和 .E. 神和 護尙 年師 一任二少僧都一寶龜五 华 任

+

DU

澗 和 1: 同延 八年任 律任 師元興寺

Ξ

長 惠大同 延 贈曆 元年任 僧十 IF. PO 年 大同元年任. 中任三少僧都 興福寺 n 八十五 元年十 | 律師| 寺 弘年任..少紀 上,大僧都十二月任 僧都=

大僧都

六 義 弘仁四年 任 法隆寺 八十二

正 四

慶 修 弘仁 師長 五年任 -12 华 任 法少藥降價師 東大寺 都寺 八年十 八十五 十八 三十八 三

都年

任

八 七

+ 九 惠隆仁壽元年年 義還 承 和 七 年 年 任 紫甲始出班 和 上八 僧十綱三 職 位嘉 可祥

元年

宣旨 律師

+= + 玄情天安二 华 任 任 東大寺 八十 七十六 任二大僧都

十四 十三 嵌效真觀 覺詮真觀 八年 + 五 华 任 任 東大寺 元與寺 七十八 八十 任二律師 任二律師

十五 良敎元慶二 元慶 华 年 任 任 元與寺 法 隆寺 八十餘 七十八

四

師

壽 祥 詮 仁 和三 华 任 東大寺 八十二 任 任 一大僧 二律 都

叡 南 昌 本 年 任 七十 任 主律 師

十八 ナセ 十六

九

慶延喜 Ħ. 华 任 大安 七十 ti 任 三律師

廿六 廿五 廿四 廿三 廿二 # 慈高天曆四年在 寶惠天曆二年在 增 吕矣系平 還湛 安靈延長六年任 安矣延喜十七年 敏天曆 延喜十三年 九年 八年 任 任 |律師||真大寺 東大寺 東大寺 大安寺 八安寺 大安寺 招提寺 言宗也十 七十八 九十一 七十八 八十二 --九 律師 任 任二律師 任二律師 律 師

廿九 仁泰同 式忠康保二年 24 年 在 住 七十九 東大寺 廿七

朋

前天曆十一年

任

東大寺

八十二

任二律師

廿八

正

蓮應和

元年

任

東大寺

七十二

廿二 平油 天延 元年 Æ. 元與寺 八十死

卅一

安達天祿

完年

任

東大寺

七十八

四 仁 昭鏡天元 延永延元年 二年 任 任 東大寺 東 大寺 八十二 御 前 成 - 内 供

卅七 卅六 卅五 卅八 仁泰 元 仁救寬弘二年 好 與寬弘元年 同 長保三年 八年 任 任 任 任 大安寺 東大寺 與福寺 東大寺 八十 八十 七十 一一一字イニだ

#

倫

長和

元年

任

興

八福寺

八十五

四十 四十 長救 修 長元 長元 元年 年 任 任 元興寺 東大寺 八十六 八十二 未出戒增

四十三 四十二 利 迎長曆二 長元三年 年. 任 任 興福寺 東大寺

四 74 一十五寶費天喜二年 Ŧ 四 桓 仁永承四年 任 任 東大寺 元興寺 八十五 八十六

未出

1 戏壇

几 十六太喜天喜三年 任 興福

华

任

與福寺

八十九

十八十 十七覺照處平四 政治曆 元年 任 興福

五十 四十 五十 九基逼延久三年 勝承保三年 IH 承曆 DU 年 任 任 任 興 興 與福 福 福

五十四 五十三蓮春嘉 源天永元年 派永元年 任 任 興福寺 與福寺

五十二道

一法康

和 四

年

任

興福寺

五十五隆還元永元年 妙 已上要錄定 11 經,四箇年,八十八卒 任 已下私注 東大寺 加之

五十七定 因 但保 E不。經...壇上 你安三年三月-壇 一同年十八十四日年 十月三日卒 東大寺 生年八十

五十八慶滿經,一度登壇,同四年 月七日卒 東大寺 七十九

六十 五十九 永 勝 喜保安四 · 尋大治四年十月十八日任 與 年 經二六億年二八十二卒 -八福寺

六十二賴德久安四年任 六十三圓元久安五年正月任 壹賢長承四年正月廿八日任 與 經二年一九十四卒 **公福寺 学福**

六十四淨人七平元年三月廿日 六十五久仁仁平二年二月廿日任 十七日 藥師寺 卒藥師 寺

六十七經隆保元元年正月廿七日任 六十八願明仁安元年任 六十六實增仁不三年三月廿日 颠 八福寺 任 興 與福寺 福寺 八十四 八十四

七十 六十九善寶仁安二年任 與順 嘉應二年 任 興福寺 八福寺 八十二

七十二戒朗承安五年任 善實承安元年任 東大寺 华 九十 超 一越上臈三人了

七十四永賀治承四年任 東大寺

七十三珍鑒治承二年任

與福寺

經六箇年

七十五珍鑒養和元年還任

興福兩寺 寫 三逝臣 一皆被 焼失 了佛像埋二灰

九十二良詮

東 大 寺

要

錄

卷

第

五

燼 依、為,,道心門, 堀,,請珍鑒, 經卷混二族 煙 一之間 佛 法 重為 已至 三戒和上二丁 唯受戒又難

泛行而

七十七善勝文治二年任 七十六人賀元曆元年任 遊師寺 東大寺

七十 七十八人嚴建久八年任 九淨聽建久九年任 東大寺 東大寺 七十七

八十 相思建久二年 任 則福沙 八十八

八十 辨基 建 永 年 任 與福寺

八十二寬惠

九十二

八十三善站

八十四春永

九十亭

東大寺

九十 九十 八十 ハナハ幸俊 八十七隆永 八十六信曉 八十五心指 九淨尊 順慶 相英

百七

新禪院本云

藏本一書寫了于、時日輪近、地龍雲卷、天青草變、色赤土揚、塵洪河 仁治二年六月八日於:東大寺千手院之蓬屋 以:故慈恩院法印御秘 流,網土,澤虚乾之間自,今日,於,大佛殿,被,轉讀之,畢 東大寺三論真言末葉行道沙門寬乘刊

> 東大寺要錄卷第六 封戶水田章第八

赤、按、之重可、終,其功,也判

勅旨

御筆勅書云

封戶伍仟戶

莫、勁以為,,福田, 伏願以,,此無盡之財寶, 因施,元相之 修,理破壞,新。四仟戶者用,供,養十方三寶,新。永年 右奉、入二造東大寺新一其造寺事畢之後壹仟戶者用。 如來一普度一無邊之有情一欲、證一無餘之極果

天平勝實元年

平城宮御宇太上天皇法名勝滿 藤原皇太后法名

今帝法名隆基

勅施入封庄願文銅銘

水田一萬町 封五千戶 施

威力天 以一代 拔二 太嗣,永減中子孫」若不,犯觸,敬勤行者世々累、福 陸 寺衰弊天下衰弊復誓其後代有二不道之主邪賊之臣一若 萬病消除壽命延長 犯若破障而 濟群生 依 前 切賢聖 々國 三此 捧 神 上件物 111: 主 一發願 | 太上天皇沙 ·[J] 一之罪」終當上墮一大地獄一無數劫中永無一出 不、行者是人必得"破" 唇十方三世 祇七廟尊靈幷佐命立功大臣將 天下大 諸天梵王 | 爲:我寺檀越| 若我寺與復天下與 遠限 地人民快樂法界有情共成 切 日 護塔大善神王及普天率 所 月 願 爾勝滿 皆 第二未 使 諸佛 來際 滿 足 擁護法藥薰質 一敬納 軍靈共起二 法久住 人復若我 () 佛道 三彼三 土有 暂 勢

天平勝實元年,

孫一共出一廛域一早

·登二覺岸

平城宮御宇太上天皇法名勝滿

東大寺, 劉, 食封伍千烟, 施入人封之分奴二百口而入以, 天平勝寶二年二月廿二日, 天皇幷太后專行, 幸於

願天神地派共相 陸先帝 質靈 和 順 長 恒 幸二 福 珠 慶 林 永 同 遊 護 三寶 國 刹 家

> 願 親王及正 太 上天皇皇太 位左大臣橋諸兄等同資二此 夫 人 人藤原 及皇后 藤 原氏 福一 皇 帝 俱 子 遊二 已上

一願後代有"惡邪臣,破"損此願,者必得"破"辱三世佛岸,

勢威 數劫 井一 天龍 將軍之靈等共起: 太禍-永波: 子孫-|塵域||早登||覺 力天神 八 中永不二出離一復十 切賢 部 金剛蜜跡護法護塔大善神 聖,之罪,長生,无佛法家,常落,大地 地 派 七廟尊靈并 方一切諸天梵王帝釋四 0 恐脫 佐 王 字 若不…犯破一共 及普天率 命立 一功大神 天王

天平勝寶元年閏四月廿日奉勅

正一位左大臣橘宿禰諸兄

右大臣

從二位藤

原豐成

造寺司 牒三綱所

不鄉五十二師鄉五十二

户十

題 戸 屋 梁

| 岩狭國低船戸遠敷郡玉置郷

越後國二百戶類城三瞻君郷五十戶雜太郡播多鄉五

户户

東

大

寺

波 波 或 \mathcal{F}_{i} 百 后 竹 甲产 单户

伊豫國 謹岐國 Ti.ti.

十十月月

香

11

郡

中

間

鄉

五

+

戶

以二前 佐國 粝 永 配 封 年 所

が輸

之

物

爲

始

奉之宛

如少件今以以狀 天 4 勝 賣 四 牒 车 12 到 H 1 五 炭炭紋 Н 牒

次官 IE 五位 Ŀ 象行 To ·總員 從 外介佐 位 上 伯 回 宿 禰 7] 今毛 √連 滿 Ā 主

判 半川 判 官 官 官 IF. JE IF. 六位下 三六位 六位 Ŀ 1 大藏 石 毛 111 伊 朝 美兵 野 臣 四月 萬 君 使 麼 里

华1 官 典 從六位 從 七位 F F 美 安 部朝 努連 臣 值 道

主 典從 七位 朝臣

後 在"御" 印二十

勅

東大 寺 封 fi. T 戶

年 石 不 月 城 12 # 御 H 宇 後太 |專自參||向於東大寺||永用 Ŀ 天皇々帝皇太后 以 件 天 封 平 勝 資二 一寺

> 家 記 m 造 寺 後 12 用 事 未 ン宣 分明-回と弦 命

追

議定」如いた

營造修 短塔 븏 精 含分 干

万

供養三 一寶幷 背 僧 分 干 戶

官定修 行 諸 佛 4 千 戶

平 · 寶字 四 年七 太師 月 從 廿 位 目 膝 原惠美

朝

臣以

上

類聚 二千 千 本 或 戶 願 書 _ 者 聖主 戶,成,官家功德分,乍 三代格云 云惠 為。供,養三寶,析。也然供,養三寶, 施五 美 大臣 千 一被一誅 卢 於三一 罪 千 依分三東大寺 一去功德分背二本願旨 卢 者配 修理 封 新之內減 11 料 今案と之 趣 於

耳

四

右 太 、政官符 被二、 官家功德·

宣紛

本学封

勅

件

封和

物

自一个以後停

"止進」官

租

依 少例收納

延曆 +. 四 年

閨

七

月

计

Ц

太政官 狩

應言家功德分封 物依 ン舊 收 東大 寺 事

收物一舉即 者右大臣宣奉 官家修行諸佛事分二千戶宜。收,於別庫,以宛 造納物幹 當寺別庫 納一者宜下依二詔書并實龜十一 寺家,充#用佛事,仍大和國 今右大臣宣奉、勅詔 宜,自今已後收,納官庫 居國忌及雜 司, 符(称被), 內大臣宣 省1 符偁太政官寶龜十 一年十二 月十日 捡二案 內 | 宛:|用官家修功德分|國 用殘等帳中送 申,民部省,至,於出 太政 宿 會新度」仍三綱寺司與二諸司 」勅件物收二置別倉一出納諸司往 官 去 『書解朕有ゝ所ゝ思宜』其依ゝ舊還』收 一何奉と 延 曆 1修行功德之分隨5用 十 司與二僧綱及三綱一計二會 四 勅東大寺封 年十二月符,依、舊收,納 年 用,待,官符,行 十六月廿 司諸綱相對出」納其 下, 造東大寺 五千戶就 日 -相 下 還有 奶 對出 一一年年 出 充业者 民 年終 シ煩 ·安 4 部

大同三年三月廿六日

僧綱牒 東大新樂二寺鎮

應問一修理東大寺塔寺料封一百戶一宛」修理新藥師

月廿 牒玄番寮今 £ 日符 月九 日 新樂 牒云 師寺鎮 省 今日符 一綱等 儞 被二 太政官 偁 去天平寶

> 耆仍撿 字六年 大寺司 而造作 寺分 理塔 施 後 寺」然即朽損 共知:其 者為下置: 事分,者今被,大臣宣, 僻奉、勑宜、割,取營修 平勝寶二年二月廿三日,入:東大寺封五千戶 廿三日勍內 百戶 種 行者今以、狀牒者二寺三綱宜 寺二千戶供養三實并常住分二千戶官家修行諸佛 々用未、宣,分明一个追議 封 一施二入此寺,永供二養修造靈塔佛殿僧坊等類料 閏 一符被:內大臣宣 宝案內 未、畢之間件封被、收望已收之封重 (用度) 十二 本倉。臨時下宛。修造之日 千戶內一百 何平城宮御宇後太 一太政官實龜十一年十二月十 殿塔還免二於漏濕,毀碎材瓦後園於二當年 月十 者宜承知依と宣施行者寮宜 七 日 戶1 充品 有= 恩勅 定以二 上天皇々太后 修理新藥 使 三割= 承知 千戶, 於東大 師師 牒到准 東大寺三綱 承知 分上 H 施二新樂師 以二去 一造、寺里 為二營修 下二造東 其物質 寺料 依と 理塔 灭 封

牒

延曆

十二年三月十一日

從儀師

上政所十五箇國二千七百戶

大寺要錄卷第六

東

首 后 百 五. + 烟 六旨 Ŧi. 一十月

下 政 四六筒 九 É 百 百 五 + 烟 六百五十月

上政所

伊 賀 國 13 烟

生糸 省九十 絢 代米九十 五. 石斗約別五 斗

庸 米五 十一石三斗

中 封 男作物油 宁四人 斗六 升一 合 代米四石八斗三升升別

功 養米斗三石 錢九貫二百十六文 人別 Ŧi. 石 七 人別二貫三百四文 斗五 升

行世九石四斗七升四合九与二才代三石二斗四升五合八与二才 勺

租

合三 三石三斗二升九勺二撮

前 看別 別 斗 升

石 B 开. 烟

石 斗六升 百 六升 定别四石 代米五百七十二

米百

八十石六斗

正米百五十四石八斗

脚 直 # 五 石 八 斗

中 男作 物 油 斗 七 升 代米十五石 四 斗升別二斗

封 子六

養米州石 人 別 五 石

租 功錢 公百石 已上都合千八十一石九斗八升四合 十三貫八百 代米 廿四文人別二貫三 百七 石石別四斗五升 百 四 文

前 分 石別一斗

廳分 石別

ľ

美乃國 調網 廿八疋二丈二尺五寸 烟 代米八十五石 斗

升疋別三石

庸米三十二石 ·E

中男作 合升別二斗五 物油 升 斗七 升 五 代米四石

升五

宁四人

養米二十石 人 別 Ŧi. 石

功錢

九貫二

百十六文

租穀四石 上都合三百卅一石四斗一合 代米百 八十 石 人別二貫三百四文 石別四斗五

前 廳 料 分 石 石 3311 別 升 斗

駿 加 國 H 烟

Ŧi. T 八疋五 丈二尺五 7

代錢 四 十七七 貫百八十文疋別一 Ζi

庸 布 百 带 端端 三丈 尺

代錢七貫二百 卅文段別六十 文

封丁 1/1 四 作 人 物 紙 化 计石 千二百張 代米十 石張別五合

租 已上都 六百 合 石 百百 代百 九 八 + 石 石 九斗 石別三百 文

廳 前 料 分 石別 初别 升斗

下 野 國 三百百 Ħ. + 户

端別三五文 千百 十端 一丈五尺 代三百卅三石 三十五文

中 男作 十人 物 紙 九 代五十石人別五石 千三百六十張 代 副 册 尖石 物 人 八八斗張 別 石 751 莊 合

千 合 七百 代三 州石 百石石別三斗 斗

> 前 料 分 石 石 别 別 긔. 升

岩 狹 國 Hi. + 烟

庸 米十 鹽 1 四 石九 石 料堅 斗 鹽八 百果果別三升

男作 物紙 百 張 代錢 百文

封 丁二人

功錢 養米十石 四 [貫六百 人 文 别 Ŧî. 石 別 二以三百 四 文

租 穀 已上. 二百百 都 合 石 五十 代米九 石三斗八合 + 石石別四 斗

Ξi

前 分 石 别别 斗

料 石 升

國

庸 綿 綿 百 卅 ハ十市(代六十十編二百疋代六百石 屯 代卅三

11 男 丁六人 作 物 油 四 斗 升. \equiv 10 四 貫 百 洲 文 百升

貫

六貫六百 百文

文屯別百文

養絹九 功 十二貫 疋 代 八七百 九 貫 卅四 文 文 人 別 别 貨 二貫 Ŧi. h 百 文 -#-四 文

大 赤 断女 结 彩 第

租 B 石 10 卅 貫 斗別五文

衙 都 合百 存百 七十四石五斗五升四合可见用之之 Ŧî. 一五石 五 斗七升四 合

庸

綿

-11-

屯 疋

其七百文屯別百世

文

絹

代

册

貫

文

正別

一貫文

中男作物油

斗四 代十五

升

代二貫百文升別百五十文

丁二

前 分 石別 — 斗

料 石別 升

越後國

調 調

租

穀二

一百石 四貫

代米六十石石別三斗

已上都合百

一十八石四斗

功錢

一百四十八文人別二貫百廿四文

養絹五疋

代

五.

貫文正別一貫文

布 卅 三端 代三貫三百六十四文端別百文 二丈八尺

> 廳料 前分

石

别 别

升

石

二斗

封丁八

養調 布 三百 四 7 端

租 Iji F. 錢 一都合三 十六貫九 百石代六十四貫 代 廿六貫五 一百八 百 十九石四斗 九十二文 百九十二文人別三貫三百廿四 石別八 人別二貫百廿四文 升二合 十文 文

一後國 廳 前 料 分 五十戶 石別 石 別 一斗 升

1 3 網百 男作 物調 九十二 百 戶 正

庸布二百八十八端二丈八尺 代二百四十九貫六百文延 代廿八貫八百六十四文端別百文 百別 文一貫

播磨國 調 絹 五 四 十一疋 烟 代八十二石正別二石

庸 中男作物油 米四 十六石二斗 斗四升 代米三石 五斗 升別二斗五升

租穀 前 封 一分石別 一斗 國衙二百六十三石 已上都合二百卅七石八斗 功 養米十石七斗 T 二人 錢四貫六百 百石 代米九十石 八文 別五石三斗五 人別二貫三百四文 石別四斗五升 斗可い用い之 升

廳 料 7 531 升

五十烟

調綿 庸 中 男作物 綿 百 七十七屯 九 綿十屯 十二屯 代九貫 四 兩 代一貫二百文 二百四十文 代廿三貫六十文屯別百廿文

養米十 右 别 五

封

1

功 錢四貫六百 文 石 人別二貫三百四文

和 白 米十 九石 一十三石七斗一升五合六勺 七斗六升三合

巴上 都 合七十 八斗二升三合六勺

廳 前 料 分 石別 右別 斗 升

阿波 冒烟

調 生糸三百二 一絢六雨

庸米六十六石 代米四 小麥十石 + 五 石

> 升約 別

> > 斗五升

中 男作物油三斗七升 八 合

代米五石六斗七升好別一斗五升

封 T 四 人

東

大

寺

変

金

卷

等

X

養絹六疋 四丈 別 疋四 丈

代米六石六斗六升五合正別 石石

功 錢 九貫 二百十六文 人別二貫三百四文

租 大 豆六十二石四斗

已上都 合 百 五石三斗三升一合

前 分石 料 石 別 別 斗

讚岐國 百 Fi. 1 卢 升

絹 百 廿二疋 代米二百四十四石 丈二 尺五 寸 七斗五升四合正別二石

庸 米 百 州 三石九斗五 升

中 男 作 物 油三斗一 升五合

代米七石八斗七升五合升別二斗五 升

封丁六人

養米州 功錢 十三貫八百 二石二斗八升 文 人別 人別五石三斗七升 二貫三百文

合

租白 分 一米百 石 別 斗 + 七石 **特二百十三石七升六合八勺** 精代卅五石五斗一升二合八勺 五斗六升四

前

料 石 别 升

百十六

伊豫國二百烟

調絹二百四疋五丈二尺五寸

一次

中男作物油五斗七升七合

庸

紙三千三百張 代六石六斗 五升五合升別一斗五升

封丁八人

功錢十八貫四百卅二文 人別二貫三百四文養米四十八石 人別六石

电上都合九百十一石五斗六升三合

前分石別一斗

廳料石別一升

土佐國百烟

庸絲子四石六斗 代錢九貫八百四十文屯別百廿文調絹五十一匹 代幾九貫八百四十文屯別百廿文調

-男作物

油

四

斗

一升九合

代米四石

一斗九升

四

人

別二貫三百文

合

代米八十八石八斗二

升

已上都合二百卅三石二斗六合

科石別一升

前

开波國百五十烟 野波國百五十烟 一

調絹廿六疋四丈五尺五寸

(綿三百四十七屯 代錢卅四貫七百文屯別百文代米八十石二斗七升五合正別三石

庸

庸米五十七石一斗五升

中

男作

物

油

五斗二

升四

合

五与

代米十石四斗九升升別二斗

封丁六人

功錢十二貫七百卅四文 人別二貫百廿四文養米卅二石一斗 人別五石三斗五升

租白米九十一石七斗三升六合二年租白米九十一石七斗三升六合三年

前 石 别 斗

美作 料 國 石 百 別 烟

升

絹 州六疋 代米 Ŧī. + 四 石 正別 石五

調 調 鍫 鐡 綿 三百 百 百 11 九 册 十屯 五. 九 廷 代米六 代錢 代米 11-# 二石五斗口別一斗 十七石八斗廷別二斗 九 貫文 屯別百文

庸 中 莮 米 作 $\overline{f_i}$ 物 十三 油 石八 斗 八升五升五 升 升 代米九

石五

斗淵

一升五分十

7 四 世人 五學

租 養米 稻四 功 錢 千束 八貫 右 四 代米百廿石東別三升 百 别 九十六文 石 人別二 一貫百 廿四 文

前 分 石別 斗

已上

都

合三百七十八石六斗四升六合

廳 料 石 别 升

周 防 庸 國 綿 作 百 Ŧ 物 百 油 百 # 三斗八升 屯八 代米九石五斗升別二斗五升 兩

東

大

÷

要

錄

卷

第

六

封 T 四

右 九十六文 5;11 五.

功

錢

八

八貫四

冒

九

别

貫

百

11 四 文

租 白 已上都合三百 米百 # 石 三斗四 儿 石 升精代廿 四 斗 四 六四 石石四八四 () 小 六 六 升 六 升

萷 分 石別 斗

廳 料 石別 升

駿 河 調 國 絹 11 Ŧi. 四 + 疋 戶 七 **泛五** 寸

封 中 庸 男作 布 四 十六端七尺 物紙七百二十張 代米 代米 11 代米 四 九 石 石 三石五斗三 二斗四 斗 升 升端別二斗 五 合正別 升張別五

合

石

1 養布六十端 代米六石 端別二斗

功 錢 四貫 二百四 + 八文 代

前 分 石 Ŀ 别 都合百六石九斗 斗

租

叔

百石

代米六

十石石別三斗

Ŀ 野 廳 國 料 三百 石 别 五十月 升

調 化 H 手 布 作布 79 百 四十 **六端** 端二丈四尺端別八百文 代錢 卅二貫四百八十文端別八

調 代手 布 Ŧi. 作 百六十四端 布 Ä 十六端一丈六 代委四十五貫百廿文

中 男作 代手作 一物筵百 布 十五端 五十七枚半代調 三丈 尺 布百 五十七端三丈

封 丁十 四人

功錢 布四 調 卅貫九百八十二文 布三百八十七端 百 计端 人別 洲 一丈一尺 端 人別二 代手 作 百十三文 布四 十二 端

代手作卅八 反三丈

已上 調 布 都 合 子 九 百 册 四端 三丈一尺

前 分 石別 斗

廳 料 石別 升

域

百

7

十月

調 調 望陁 布八 八十七端 布 Ŧi. 端 七 尺 代三貫文端別六十文 代五貫二百四十 文

調 細 布 百 七端三丈一尺五寸

中 男 物在油八 半三升 代錢六貫四百 代四貫 七十 百 五 文端別六十文 文升別五

封丁六人

養調

布 七十八端 代 別 M 十三 一貫六百八十文端別六十文

租 穀六百 功 錢 十二貫 石 心七百 代二十四貫 四 十文 石別四十文 人別二貫百廿四文

四十五十五分,用、之但以、錢勘四百九十六石二斗四升本注文假事也 一都合六十石二斗八升四合

前 分石別 斗

廳 料石 别 升

右封 甲斐國 戶等勘記如少件 封 $\overline{f_i}$ 十月 武藏

佐渡國 Ŧī. 十月 陸 與國 國 通三寶 五 + 戶

諸國 已上 諸庄田 一四箇 國在 地 長德四年注文定 ..官符宣旨等.而不く入

> 此 注 文

如如 何

新開發田幷 冶 開 H

藥園

宮内田

地

十三

町

四

段

ル

十五

步在二大和國添下

郡

田 + HI 九 + 步

1 町二 田 ナレ 町 Ä 五 Hi. 一段百 十六步 廿步

春 H 庄 H 町三 段百八 十步

尾 張 H 國 治 庄 H 開 五. H 古八 HI 十三 四 段右平城京左一條二坊佐保里 mj 二段百 步

新 IH

西 H H Ŧi.

佐 保 院 田 四 「町三段 十步

水 成 瀬 正 H 町 七 段 七十八步在二攝津國嶋上郡

四 平 城 條 H 坊十 村 批 坪 町 四 町二段百 段 四 干八 11-29 步 步

同 Ŧi. 京四條 條 坊儿 五. 坪 坊 塡 穴田 町二 一段百 一町二段百 납 四 步 # 四 步

大和 同 京 國 添 J. 條 那 市 春 庄 H 日 庄 田 町二段百 云町二 小四 ... 十四 步

神分 田 百 # 步

同 常荒 郡 機本庄 河 成 四 田 州 町六段七 町三 一段八十 十二步 步

城 E 那 杜 庄 H 五. 町 儿 段 百 步

ılı

邊

郡

長

屋

庄

田

地

三町

田二町八

段

畠八段

薦

生止

合四

町二百八十步

笠間

庄

四

+

町二百

步

高 市 庄 地 町九 段九 + 步

郡清澄潭 郡 + 市 庄 庄 田 Ш 廿七 地 町 町 五 段 十步

東

大

· - 寺

要

錄

卷

第

六

水 H MI 百 四 + 五 步 畠 HI 四 二百

11

无 步

字智 郡 地 [4 MI

件 地 四 HI 爲二口 本師料 |不〉收||其地

攝 津: 囫

西成郡 安曇江 庄 地

河 邊郡 或 日 猪名田 記 云猪名庄野地 八十五 — 印 百町濱 段三百 二百五十町云 四 士三 步

k

山 城 國

相樂郡 出水庄六段

同 都甕 原蘭 地 三町 DU 段

伊 賀 阈

喜郡

Æ

非

庄

本地

卅六町但六町法花寺被\取

阿 拜 那 柏 野庄 田 11-町八段十

儿

步

常荒 ing 成 收 合 十六 町七段三百

庄 甲 庄

伊 三重 勢國 郡 H

町

尾張 國 地 四 百 卅

葉 春 海 栗郡 H 部 郡 計十六町 郡 + $\exists i$. + 七 HT 中 段 嶋 愛智 Ш 郡 百 田 九 郡 七 十一町 八十六町

同

郡

鯖 國

H

四

同

庄

卅

七 段

町

百

八

+

沱

近江 國

丹

33

郡

百

+

町八段

犬上郡 神崎郡 愛智郡 因芳庄 覇流 大國 庄 压 田 七 田 可 百 百 11 + 段二 主 町世 町七段四十六步 百 带 步 步

同 國 郡 杉 市 庄 田 四 町 九段百六步

坂

H

郡

庄

田

七

十六町

段

安八 七十六町 私 勘 郡 三大 大 并 井 庄 庄 田 東 无 西 + 11-四 HI 町 南 北 # 四 町 合五百

越前國 七百 北 田了 八 八段六十

丹生郡 同 足 初郡 郡 鉀 婚原庄 庄 道 守庄 H 百 町九段 田 田 三百廿六町 Ŧi. + HT 百八十八步 段 Ŧi.

郡 郡 土 富 異 置 庄 庄 H H 十五 卅 七 一町八段 町 七段四十步 二百六十步

> 同 同 右 郡 郡 件庄 溝江 小 椿 k 庄 庄 庄 十七七 田 田 H 地 百 四 以 HI + 町 三荒 七 町 廢 应 地子不以登 段四 一百九 十步 十步

加 賀 國

越中 幡 生庄 國 田 二百五· + HI

新 同 同 郡廢 波郡 郡 郡 河 郡 提田 石 大苅 H 栗 埒 北 庄 庄 城 州町 庄 田 庄 田 町 百 田 百 八 11 百 段卅 段 MI Ŧî. 町 --百 四 町 儿 北

越 國

同

郡

大部

庄

田

九

+

ar

八段百十六步

頸 同 同 城郡 郡 郡 真沼 田 石 庄 庄 井 H 田 庄 ---11 田 六十 六 or HI 九 八 五 段八十一 町 百 一段七十 八 + 步

紀 那 後 河 庄 田 廿八町三段二百五 十六步 波

國

氷 1-郡布佐比庄

播磨 國

多河郡 栗生庄 田 一十九町七段百四十四 步

因 幡 國

進止 田 干二 町 段百八十六步

周防

國

阿波國

吉敷 那 心椹野庄 田 ナレ 十 --町六段六十九步

東 陸 那 HI 地 新嶋 町五. + 庄 段 HJ 百 段 Ŧi. # 五. 步 步 HI

H

地

八

+

四

七段七十五步

伊豫 國

新 水 H 郡 三町六 庄 H 地 段 九 十六町 百 北 六段 h 步

陸 地 九 + 田

鹽 Ŧi. 百 MT

三百 六 十 MI

百 **HI** 在 在 播磨 紀 伊 國 朋 海 部 石 郡 加 築 太村 水 鄉

國

郡

雜 格 13 卷云

政 播 磨 國 守 Œ 五位 下多治 比真 人國 人等

東

大

寺

要

錄

卷

第

六

右奉二十 石郡築水鄉鹽山 月廿日 勅旨 偁 地三百六十 件 地 町西築水河北太山 - 者國 承峁

知准 施行以、狀下符到奉行

從五位下守右少辨縣犬養古萬侶左少史正六位 等文忌 4 Ŀ 萬 侶

Ŀ.

天平廿年十 月 11-H

別功 德 分 庄

紀伊 圆

那 那賀名草 賀郡 一毛庄 兩 郡 H + 七 HJ 町八 九 段 段 -11-百 步二月十六日 最勝王經料

荒河 成 M 町 百 + 六步

同 郡 +: 崎 村 H 一町九段·

+

四

步

郡

名陵

村

田

MI

七

段八

步內竪讀經料

伊 智 國

知 拜郡 柏 野庄 田 # 前八 、段八 十九步

近 江. 國

H 郡 息長庄 田十九町二段三百 11 步

那 町 Ŧi. 段百 Ŧi. 十步六月十 七日靈山 悔過

那 水 庄 H + 町八段二百五 十三步 日十 干-^燈 是 是 會 料 四

犬

越 中 國

磃 波 郡 井 山 庄 田 四 + 町

美濃國

加賀國

厚見庄 田 三百 + 七 町 三百 步記河成, 莊廢今

國

派

上

滿

田

地

--

拞

町三百

+

九

濟月會二 料日 横江庄 田 百 八十六町六段二百 步

水 田 那 八 登庄 町 地 七 町 三百十九 光 步和五

Ш 邊 郡長屋庄 田 八 町七月十九日梵網會料

國

坂井 郡 田 宮庄 田 Ŧi. 十三 町七段三百廿六步海月三日

越後 國

古志 郡 士 井 庄 田 百百 町 卅 步十月十九日悔過料

播磨 國

FII 南 右 諸國 郡 水 庄 田 # 家 田 四 町 地 目 七段四十二步內堅悔過料 錄 如件

雜 格 佛 法僧 113 卷

大 部 省 菊 樂 tli 師 陽 道 諸 興 國 福 司 ÷ 大

和

國

法花寺

寺

廻

隨

近

地

地

坊 并

田

町五段 IH 右 别 T-MI

大和國 右 寺 別學及四十分 千町元金光明 寺

元與 右 寺 飛鳥 HI 寺

弘福 斯寺 以源 寺二 千 法隆寺鵤

崇福寺志我寺 新藥師寺 四 建興寺 天 王寺

雙浦寺

下野藥師

寺 右 1寺別 筑紫觀世 Ŧi. 百 音寺 HI

諸國 法 花 높

29

百

町

自 右寺別 除定 額 +

右寺別

百

HI

日 田 符一

偁奉:

地許奉者

湛照僧 宜 以 今月十一 依 前 天平勝 被: 太政官去 1,件數 1施行今以、狀下符到奉行 都 分付 日勅一 寶二 帳 偁去四 年三月廿九日 云 天 平 月一 勝 寶 日 元 韶 年 書寺 七 月 + 12 四 墾

医岛地二町三段在。施入宣符公驗 西國伊勢町田玖段七十五步

境田一町二段 和田一町二段 凡田一町五段在,圖券公験:

大和國雜役免 東市地一町二段 和田一町二段

步

合三百陸拾五町

二百 添 百 四 四 Ш 那 九 + 七町 七町 三町 十五 田 畠 町七 九 四 子二 一段七 段 段 公領 三百百 百 可七 Tu H 四 步 一十步 段 畠 三百百 公領 加 疝 四田 社 干島 佛 社 加佛寺諸 寺諸 步 可 司 要劇

不輸租田三町三段

傳法供三段 春日神戶二町

公田畠十九町四段一品御位田一町

箕田庄廿八町二段百八十步常富

十步 福田院六段 觀學院田三町五段百八不輸租田五町四段三百步

田 斟 HI 自 H NI 11. 町 八段百八十步 百 步 百 今吉 四十 步 公田

同田中庄十町五段三百步

島五町

五段

不輸和田三町一段

中品與自五段 勸學院田八郎

傳法供出五段

横田庄十六町九段三百步 公田畠七町四段三百步

不輸租田十二町一段六十步

不退寺八町二段六步 觀音寺二町念佛院田八段 勸學院田六段

段

公田島四町八段二百四十步 北東廿二町百八十歩 北米官

不輸租田七町九段二百四十步

勸學院田一町七段 大興寺三町三段二百卅 一大夫殿位田二 一大夫殿位田二

町六段小

公田島十四町二百四十歩

町八段百八十步

租

H

几

東

田 五段 段百二二町 大宅寺一 町三段百八十

H 云町 四 八 +

檜櫟

不垣北 慈輸庄庄 · 恩寺田二町 · 九町八段至 · 六町七段 百 七段段 八 十步東稻吉

田 勸 學 一町七段半 法神 花戶 寺田 九段

添山 村公 庄 四 1町皆公田

山 下 邊 那 郡 松本庄十 四十六町六段八 HI 三百 十步 四 + 步多米常富

六町七段 九町八段百六十步 二百廿步 神 社 公田 佛 寺諸 畠 司

石池 Ŀ. 庄 + HI 五段 八十步久米稻吉

庄 四 HJ 一段二百步

角 仐 井庄 庄 \mathcal{F}_{i} 町 HI 九段多米永富 不輸 町

庫 神 + 五 戶 町 町五 百 六十 段 步福

福 田 庄 九 九段三百 步 花嚴 會 田

丸

城

中 不西公不 庄田 八島田州 田八町一十町一十八町 三百 步 南 市安

七段三百 八段 左 八段 左 经三百世步 左京職 二百四十二

町三段三

步

木寺三町

百一 段

寺 當國 衙

雜 欲 被機 役狀 免,,除寺家香 菜庄 園 司 等防 ग्रा 夫 役 并 臨 時

添 心上郡五所

和 邇庄 大宅庄 中 庄 標 北庄 崩

庄

添 下郡二所 松 本庄

椙

庄

山 湯 郡

布 韶 庄 菅 田 庄 T 代庄

平 塡 H 郡 三所 庄 河 御香園 原 庄

池

尻

林郡 庄 小 東

庄

也

城下郡 二所

十市郡 1/3 西庄 田 中庄

千代庄

良之聞普及分憂之政無、偏添園之愁何無判許仍牒送 殊甚者倩尋,案內,防河夫役去年二月被,下一可,免除 不と · 発, 臨時難役, 雖, 無, 料物, 所, 勘行, 也而今當時國 奉年八經部相分難有:其數一公民不以幾往代以後依 百姓不、運,,御稻,已得,,息肩之便, 御菜者昔國內道心 代 牒 之宣旨。丁綸旨不、輕何有一差苑一乎就、中當時國掌修 之輩隨二力所以堪吾以以備二進其子孫 如、件乞二衙察」之狀早任二 免」臨時雜役 々聖皇依,本願之趣,以供,獨稻 ,,件庄園司等愁狀, 偁御寺建立以降至,,于大佛御供 · 免., 雜役, 宛如,, 平民, 况乎又負., 課防河夫役 |仍注||事狀|以牒 宣旨,停二上夫役,并被 一被一割宛一者仍當國 一為,件庄園司一供 切勘 堂

寬弘七年八月廿二日 權都維那法 初 維 那 法 師 師 鴻助 行

別當權 上座 少僧都澄心

> 寺主大法師 安愿

~憚…聖皇勅誓, 恣致, 牢籠, 殖, 苦種 、能二委記一但近來多為、他捍妨所、殘數少哀哉不 右諸庄々等依,古日記錄,而已或御筆勅書庄或御勅 御,或募,御威,如、此等也其由委載,各々公驗, 旨田 或御別 官或他領寄進或 後被,,寄進,或分,,供 一乎 不

末寺章第九

新藥師寺亦名,香藥寺

右寺仁聖 為:東大寺別院,云々寶龜十一年康申新藥師寺金 佛 殿九間在一七佛淨土七軀 皇后之建 立也實忠和 尚西野建二石塔

空置寺

堂講堂西塔燒失了

右寺天智天皇第十三皇子建立有一線起

普光寺义云:廣岡寺

好

以: 天平勝寶五年八月廿日 右寺在:大和國添上郡,奉:為平城後太上天皇: "建立,也以"天平寶字四年三月六日,入"定額寺 正二位 廣岡夫人公

東 大

寺

道

德

石山寺

建, 矣在, 近江國志賀郡, 在寺稟武天皇遣, 良辨行基婆羅門僧正等, 所, 創

長谷寺神龜四年 年時 件 之末寺,東大寺々僧次第相 僧正しな 也僧與蓮奉、作二十一 仍立二其像 奉二立此觀 >神抬:大和國城上郡長谷鄉; 土下有: 大石 掘顯 賜,,稻三千束道明,十一面像高二丈六尺道德夢 右寺沙彌道德沙彌道明唐國僧 頂上佛面 作也 傅 別當仁和寺真 一件願主道德良辨之以二役寺一渡二進本 者與永之父 々次付二屬實忠一如、此代々 一 躰一切取 一音,夢覺之後掘得,長石八尺 ·藥師寺法隆寺導師行基児願義運-三月廿日供養請,僧六十口,與福 天慶七年 永之後與福寺平傳律師橫 々出時別當東 大寺長教禪 面华金色,增二本定,二尺奉 正月七日燒失之後但取二 繼寺 之建立也 務 執 相 法寺師元 行 派 飯 而 為 面 高 師 正曆 = ... 寺 如う掌 押取 天 良 完 皇 家 辨 É 出 有

稻三千束,令、造, 觀音像高二丈六尺, 安置無、處又云養老二年唐僧道明 姓六部 飯高天皇朝连賜,

m 堂 雷公降 道明 造。佛 推 三盤 石 爲 其 座 闸 龜 四 年 沙 彌

東寺

和尚,其後涉,,東大寺真言院廿一僧,為,,末寺, 入食封千戶,弘仁十四年癸卯以,,東寺,永賜,,空海右延曆十二年歲次癸酉公家建,, 立東西兩寺, 施,

海印寺在山城乙訓郡

右道雄僧都奏聞文德天皇之創建也

崇敬寺字安倍寺

右安倍倉橋大臣之建立也

永隆

医守字件寺

11 年 右寺大伴安麿大納 奈良坂 H 奈良坂 東 阿古屋谷 東谷般若山之佐保河 言之建立 苙 二水隆寺 同 也 飯 高 五年辛酉三月 天皇代養老 東 ш 改 T.

太宰府 皇之建立 右 御 和 世 銅 觀 (皇,誓願所、基也雖、累,,年代,迄、今未と 音寺淡 世 也 年 퍔 宇在二筑紫國三笠郡,養老七年癸 海大 元明 月月十 津: 天皇和銅二年二 宮御字 天 智 天皇第四皇 天皇 奉 月戊 寫 後 子詔 女元明 岡 日 筑 天

立一戒壇 發人夫,專加,檢按,早令學作,云々後孝謙天皇 宝 商量宛,, 斯使丁五十許人,及途 三閑 B 差

下野國樂師寺

右天智天皇治九年 庚午建立

伊賀國財良寺 右天武天皇 一御願

筑前國實淨寺

虚空藏寺在一大和國添上郡

禪定寺在二山城國綴喜郡田原鄉

右寺東大寺平崇大法師之建立也長保三年四月八 日立、之正法院之末寺云々

彌勒知識寺在」 肥前國松浦郡

右天平十七年十月十二日本願聖皇施,,入水田二

河原寺在二大和國城上郡 光明山寺在山城國,東大寺殿嗣已講之建立也

町町

叉云弘 行基井之建立齊明天皇治 福寺是也天武天皇御願 七年辛酉建立 也 天長聖主 勅分二

東大寺末寺二云々

東

大

字

変 鈴 卷

第 六

> 柿 本寺在一大和國添上郡

願興寺 右和 野中納言 銅 元 年歲次戊申奉,為天武天皇御惱除愈,小 爲忠建 ·願興寺 | 字山口寺在 | 大和國添

仁和 寺在山山城國

上郡

上津

和邇

醍醐 寺在 山城國

勸修寺在山城國

安福寺在二大和國添上郡 金剛峯寺在「紀伊國」弘法大師之建立

東流寺在 頭陀寺在山城國葛野郡 三同 國 乙訓郡

法廣寺在一同國相樂郡

日輪寺在 一河内國遊河郡

法生寺在一尾張國海部郡 月輪寺在三同國交野郡

藥師寺在一伊勢國安濃郡 觀音寺在 同 國 朝 明那

安樂寺在 同國飯野郡

已上寺 な仮 古 H 記 載、之建立之古併,分寺領

漸及,,宋代,多為,他妨,其殘非,幾而已

大中臣事

大臣中臣連鎌子鐵足 改 姓為 藤原氏 大字,自餘猶留為;中臣朝 等四十八人同賜:大字: 右大臣中臣朝臣 子不比等承上之二之子也姓氏錄第十一云神護景雲三年 氏一文武天皇二年秋八月詔曰藤原朝臣之姓 廿三代之孫也舊記云內大臣改、姓之日同弟共為,藤原 氏,日,大中臣,日本紀第廿七云天智天皇八年十月內 藤氏家傳云世掌 清磨加.,賜大字.厥後延曆十六年定成 三天地之祭 相二和人神二 同十七年船長等卅七人加二 臣 是即 之間 宜 シ合言 仍命 見屋 賜 其 命

端裏書云 第六卷也

高聲王即田 智師聖寶得 初元興寺元曉律 隨 僧坊從:南北行第 ..同寺玄永大德,受,, 化嚴法門, 修學之間東大寺東室 因之之號,荒室 原天皇末胤也生年十六從二真雅僧正 二代々公驗僧正, 昔俗恒蔭王也父兵部 師 隨 一末レ 三同寺僧都 有二 建立時 寄住人 一依:鬼神栖 一受一習三輪法相法門 m 注 師資相承之 不上墨山內 一得度 大丞

> 寺配 量壽法大師卒去之後就,金峯山之眞然僧正 學至、今不、絕也生年四十大師僧正 任二少僧都 印 部大法,年五十三就,源仁僧都,受,法灌頂漸 僧正所以分也生年八十四入滅 獨任,權僧正,延喜六年七十五任,僧正, 分√候;清凉殿 塗致,示現₁移₁去他處₁自今以後一門僧徒相承常住修 爭之間奇異事不」可以勝以計雖、簡鬼神屈不以能! 除 受得之後居,住件房,鬼神現,種々形,燒亂 由 一年五十八勅任 | 貞觀 一詩」於寺 醐 與福寺地藏堂金峯山 同 儿 年七十獨任 獨律師即日任二法務一同六年六 時 有二人弟 |寺座主||寛平二年歳六十三 東 一大僧都 子 大寺中門二王如 寺 司 爲 昌 。阿闍梨,受。習之 泰元年七十 所、造東寺 哭 與一鬼神 與 阿闍梨法 受: 習雨 判 已了 伺 西

東大寺要錄卷第六終

雖」有"惡筆之至極惲"子萬學倡,年預之儀依、雖于時文明十七年心以中秋四日終」功學

默北

如

形

延德二年城閏八月廿八日一校學 東大寺華醫宗擬講順國右筆東大寺花殿末學大法師順圓

秃筆」星

大寺要錄卷第七

雜 事章第十

大佛 殿 納

天平 右 大毗 音尼信 天平 四 寶字二年 勝實元年四 Œ 盧 勝 一像四 含那 戊戌 佛 躰 方虛空藏尼善光造 像 一月八 鏽曼茶羅二 五月廿七日造二 躰 日始造:狹士二菩薩像 金色脇 鋪 士菩薩像二躰 四 天王像大曼 東

銅鉢六口二口大佛御料四口四王御料 火爐 口膏?不足火舍足跡有,八而見在四足上狛犬蓋 同輪一 所

茶雞

-別有二銘文1

金遲花瓶 厨子 一一口 赤漆辛積四 鐵 火鑪 鏡 同盤 四 口 面 八 漆泥濱床 枚 一面週 五

41 高 机 二基在一金銅蛇舌 四 Ŧ 白蓋 條 重 机 八 前

前

高

座

安机

足

前

沙覆 金銅燈 爐 條 金鼓 基 行 口南亘 香 色二具十六日 在,花臺上 中門 一 大燈爐 大鼓 二張在一扇鼓 基 在,庭中,有,.鏫 殿

永觀 二年 五月 日

勅封藏 追施 太上天皇 帳聖武天皇四十九日 捨 三國家 珍寶等一人二東大寺一 御 願

願文

皇太后御製

神祇星 攝而 使下 妾聞 搖落隙駒 及二振旦 陛下德合 大雄天人師 資中聖靈」故今奉二 故有三歸依 相保 擾 悠 无ン徴 揚、休聲籠 々群 々三界猛火常流杳 が対地不 一鑒真和 難 |乾坤|明並||日月|崇|三寶|而過\慈統||四 則滅 期 生入二 寂滅之域 佛垂 訴,皇天,而不 レ駐七々俄 幽 レ情ン珍人民称ン聖恒 罪无量供養則獲以 一途有レ 上凌二滄海 |天竺||菩提僧正涉||流沙||而遠到化 二法鈞一而 爲先帝陛下一 來 濕閱水悲凉 →予將欲下爰記二勝業 茶襟轉積酷意彌深披 利 R 猛 五道毒 ン物開二智鏡一而濟 而遙 々品類赴中常樂之莲 拾.國家珍寶種 一來加 福无上,伏惟先帝 網是杜所以 靈壽无 謂 以天惟薦 秋 增穀 萬歲 12 后 林 福 式 合

東

霑_此 福一 好及卻 无為之化, 百工遵,,有道之風, 十方三界六道四生同 身心永泰動息常安復 同 受,妙樂,終遇,舍那之法莚,將,普賢,而宣,遊共,文 珠二而展 供,養底含那 奉、翼:仙 福一咸登一妙果 另一福類」虚空一切石靈而不、盡海 帶牙笏弓箭 レ化仁霑..百億一被.. 三干. 又願今帝陛下壽 佛及 儀 永馭,法輪,速到,花巖之寶刹 諸佛 刀釼氣書法樂器等一 乃天成地平時 井一切賢聖- 伏願持- 兹妙 康俗 水竭 阜萬姓 東大 而 光ヶ竭 奉 恒

獻 ·盧舍那佛

御袈裟合玖 領

九 條 华 色細 網樹 一架娑 皮包 架 裟 領 金剛智三職 領 碧綾裏皂絹 怨裟 綠

七條繼成樹 皮包袈裟 領

七

判

樹

皮包袈裟六領

納 右納,漆皮箱三合,箱別納 二綠臈纈袋-惣納-漆橙 領糾綾 領碧綾 真皂綾 裏皂絹 緣 緣 以一碧綾袷幞裹三 合一着、鎖 領糾 領 糾 絁裏皂綾 絹 裏 皂 絹 領 綠 - 箱

> 右件厨子是飛鳥淨原宮御 厨 子 口新游文概木古樣作金銅作鐵具紫 宇 天武天皇 裏地

天皇傳 三賜藤原宮 御字

太 上天皇,天皇傳 三明藤 御 字

後太上天皇 天皇傳 中太上天皇,天皇七月七日 二賜

傳見賜

平

城 宮

今上,今上謹獻,盧舍那佛

納物

雜 集 卷白麻紙紫檀軸紫羅 經續續 帶

右 4 城 宮御 宇

後太上天皇御

孝經 卷麻紙瑪瑙 軸 滅 紫紙標綺

右 平 城 宫 御 字

中 太 上天皇御

頭陀

寺

碑文字

樂毅

論

杜

家

立成

卷紫鄉

樂毅論 **农白麻紙瑪瑙軸紫紙縹綺**

書 上件 法 # 四 右 卷 総 并王右軍之書跡 卷 **邑衣香二袋**│重六兩二分一萬十 皇太后御書 也

亦

岂衣香三袋碧地錦標綺帶

隻六具 御鏡 小刀 以前皆是 弓臺佰張 右幷納,銀平脫箱,々亦納,高麗錦袋 计面 斑 琴 犀偃鼠皮御帶 御 一屏風壹佰疊等在,印藏目錄, 御箭 琵琶 壹百 簫 具. 條 吳竹笙 御甲玖拾玖領 御 刀子 石八 牙笏 大刀子

是終之章。 是終之章 是終之章 是遊,十聖,普濟,三途,然後鳴,緣花藏之宮,住,四 是遊,十聖,普濟,三途,然後鳴,緣花藏之宮,住,四 是終之章

金鐘寺安居 宣旨事

承 宣符 治部大藏宮內等省

雜格中

老云

寺例,令>為,,安居,自令以後永為,,恒例,右奉,,皇后去四月三日令旨, 偁上件之寺預,,入窗,偁金光明寺,本名金鐘寺

東大寺中御門內堆處事

是靈堆也云々也禪定法皇欲、受、戒入,此寺,亦禮、之三帝傾首誠也禪定法皇欲、受、戒入,此寺,亦禮、之三帝傾首誠也禪定法皇欲、受、戒入,此寺,亦禮、之三帝傾首誠也禪定法皇欲、受、戒入,此寺,亦禮、之三帝傾首誠 也禪定法皇欲、受、戒入,此寺,亦禮、之三帝傾首誠 以日記云東大寺中御門內東南二許丈有,一堆處,掃或日記云東大寺中御門內東南二許丈有,一堆處,掃

東大寺本願聖朝施樂御願文

佛,必欲、證,得逼法界位, 作,必欲、證,得逼法界位,生花藏世界,面奉,盧舍那一种途使,命終之後往,生花藏世界,面奉,盧舍那一种途使,命終之後往,生花藏世界,面奉,盧舍那像,必欲、證,得逼法界位,

天平勝寳八年六月廿一日

東大寺職掌寺奴事

太政官今月十七日符,「偁被,大納言正三位藤原朝臣以前被, 民部省 去天平勝寶元年九月廿日符,偁被,

天平十四年七月十四

H

謹解 一种磨宣, 詹奉、刺奴婢年 州已下十五已上容貌端正 中磨宣, 詹奉、刺奴婢年 州已下十五已上容貌端正 如、件仍便付,朝集使目從 六位下 賀茂宜秋磨, 申送 如、件仍便付,朝集使目從 六位下 賀茂宜秋磨, 申送 如、件仍便付,朝集使目從 六位下 賀茂宜秋磨, 申送 如、件仍便付,朝集使目從 六位下 賀茂宜秋磨, 申送 解

天平勝寶二年正月八日

雑格佛法僧中卷云々

宣盧含那之佛名異口同音齊,,六時,而三唱,當,使, 謹案:: 天平十五年十月十 者"薄水逢, 春日, 月禍時凶如,"枯葉之遇,秋風,宜 僧綱發舉以屬:國師 號六時三遍應,,禮拜,者今聞多不,存,心少依,殿旨, 頤一敬造一鑄金銅盧舍那佛像一躰一廣及一法界一為一朕 承:此旨:校撿无\怠已上格文 願隨名廣壽遂德 知識,各當,存念造,此尊像,天下諮寺 盧舍那佛名 應上必禮,,拜盧舍那佛,名號三遍。事 延罪滅福 一々々承、符約,東三綱,必合、念下 五 生恒 日 居, 勝位, 天災地妖 勅一 傾誠 發: 井大

維格中卷云

勅旨 大修多羅衆

大安寺

藥師寺

東大寺

元興寺

與福寺

合五寺各絁五百匹綿一千屯布一千端稻一十萬束

田一百町

卷在:印藏

師寺 法花寺 豊浦寺四寺 崇福寺 新藥

成,,佛道|
成,,佛道|
成,,佛道|

天平勝寶元年閏五月廿日

東大寺傳燈大法師實忠年八十五東大寺權別當實忠廿九箇條事

一為 女智臣是萨賢大去而目代 译 上左合廿九條

事已上政细即僧正奏, 內裏,以,法師實忠,為,,右以,去天平寶字四年正月勅,僧正賢法師寺內一合七箇年自,天平寶字四年,至,子神護二年,

合九箇年自,寶字七年,至。寶亀二年,奉,仕造大佛御光所,事

至心投、誠率,,諸大工等,上件大光造餝已畢
不、知,,奉、造方,遂辭不、造矣于、時僧正賢大法師不、知,,奉、造方,遂辭不、造矣于、時僧正賢大法師不、始師從四位下國中連公應等申云此大佛御光奉、造,,御光一基,高十一丈廣九丈六尺

此時大工等申云此事甚難拒尋不、肯,,切上,爰實出時大工等申云此事甚難拒尋不、肯,,切不,似,御称,可甚醜耳云々爰實忠唱云好惡一中息,,除惡醜,可甚醜耳云々爰實忠唱云好惡二中息,,除惡醜,可中云自、非,大光切縮,謀更餘都无但不、似,御称,工等大佛師大工等,令,,共商量,于、時大佛師大工等大佛師大工等,令,,共商量,于、時大佛師大工等大佛殿天井切上大光構立事

動搖 井 果 丈切 嗟 机 下國 Ŀ 家之缺 給 御光奉二嚴錺一了今迄廿八歲 除 此 无 15 卽 奏 - 聞 朝 连 都无 更天

奉」造三建 大 佛 殿副 柱 事

い可 語計宣 率二諸 无:動損 運,送寺家,削 柱 右 合副 一等司 立尤難皆辭已畢 四十枝各長七丈四尺 匠 斯事 一夫等 自親往 也也 奉一命旨一 左大辨佐伯 事:實忠師之謀 構 造立八箇月內其事已舉今迄 以二去實龜二 爾 宿 語近江 廣二尺二寸 時 禰 幷 親 Ŧ 長上大工 國 餘 禪 信 年歲次辛亥四 人都 師弁 樂杣 厚一尺三寸 不得 僧 等 - 御柱 Œ 申 成 云 和 洲 作備 猶 件 尙 月 汝 副 年 相

奉ン固 材 至: 不以得以固 レ固 右勅使僧綱諸大 木運 一於伊 出 上隨、樣奉、固二嚴餘一如、前 去延曆 商量之間 賀 佛 一爱僧實忠獨策一思誠 和 御 背 十年 造=出 卡 所 經二三箇年一皆難 k 三綱 中 破損 應」奉」固様一并合り 也 老宿大 以 并左 後廿二年 率工 方 法 御 師等俱 手 H 申 絕 固 去 造二雜材 存 集 云 事 調 身 會 R 遂 志

> 大 佛 殿 步 廊 幷 前 後中 門 左 右 狹門等懸 幡 之木 造度

合削 專 造材 木百二枚 着度柱間百四十間

以二去 ν 弦當二懸幡 右常例備懸幡之綱久經二 五延曆年 時 ф 一夫等暇入成事尤遲依、此法師 造如 八件 年序 朽脱 絶損不ど 用由 實 忠

二上東塔露 命以 事

 構 上 露盤 字八年歲次甲 右 中安,置金字寂勝 量一其便宜一催 調 皆悉辭退爾時實忠承二僧正 度物 具高八丈三尺 其重構 辰 二工夫等二三月 E 上玄高諸工 第 經 盤徑 部佛 丈 內構 含利 匠等 尼尼 命 Ŀ + 申 - 親登 已學 粒 云 不 維 亦 二御 , 匏形 時 塔 資

寺皆營造 奉 沙 **企**進。 右以二去神 造 大工等作樣 東 也諸 殿樣 西七 護景雲年 一而大工 等造樣甚醜 堂 更 中為安山 樣造出五尺

置

願

小

刺

餘

上奉

ン造如い前 法師實

依

此 御

忠

西大垣弁大門南大垣 固 近事

右以:去延曆廿三年 一守寺法師實忠加 - 造固

造二立寺北大門一事

廿年中,造立如、件 右大門更不二山作一寺內散在材木取集以二去延曆

提作、他一處在一東大寺南春日谷,以一去神護元年 奉,造,立塔一基一景雲元年,所,造進,也 所、造也

右二種專承一僧正命一奉一為國家一奉、造如、前

奉::仕寺家造瓦別當

合三箇年自,寶龜十一年,迄,延曆元年

運,上寺家,宛,用僧房 >用破損巨多覔..吉土..可>造..能固 右被一親王禪師教一俗頃年造、寺問作、瓦甚 土」山城國相樂郡福寅村立山巖上也瓦十九萬 此死甚固至,于今時,允 - 者因誠.. 所 一惡當 枚 12

填上固寺食堂前连被山崩損山事深二尺 无,,破損,寺內大衆所,,共知 北 廣二丈

右 同食堂前谷水防便:宜其川 ·谷川水每,天雨,盈所々崩壞非,一二度,因、弦 所 - 塡埋平 圁

法師實忠視,量彼便,堀向,南谷,其先渠平固如

件

已上二事大同二年所、造也

奉:, 仕少鎮政幷撿按造寺:事 法堂|以: 春秋二節 : 請: 僧次六十人: 二七箇 合七箇年自,景雲元年,至,于寶龜四年,也 右任中奏二聞 內裏,奉,請一切經一部一安,置如

其布施者以,官家功德料物, 施行是法事逕,,十餘 間奉、讀二上件一切經 · 幷六時行道守: 助國家 秋 H

年-奉行也

奉二仕寺主政一事

合五箇年自二去寶龜五年歲次甲寅,至二同九午戊午

是時見受物之僅有,,半月供料,將來難,叶壽受備外途將料食是以親王禪師教壅法師實忠委,,寺主政,,在先々三綱借,,用他物,雖,,奉供,猶不,足憂惱良繁 僧供 都 其間供物漸豐先々借物報 取集斗升垂以宛二正用一加以內外產業務加二檢校 國塔分銅一 无二小忠一也 |亦猶思量供應、續甚難因、茲勘||由田直租等 千斤 **幷私功德料物等暫問進寄緩繼** レ之實忠倉 庫以後三綱

京 大寺要錄卷第 七

一奉二仕上座任一惠

合三度寺主法師伍隆時 寺主法師圓德時

一奉...仕造寺司知事政.事

合十箇年

一奉二仕朝连一事

合十九年自二天平勝寶五年,至二神護景雲四年,

一奉:|仕華嚴供大學頭政|事

右平城宮御宇天皇朝连宮禪師例奉仕如、件

合二度廿一年自,大同元年,至,曾年,一度

一奉:仕十一面悔過一事

奉二十年自二去天平勝寶四年,至二大同四年,每本二十年與一月一日二七箇日間奉仕如、件

一奉,,仕半月讀經,事 合六十二年始,自,去寶字五年,至,曾年

各五十三年自,去寰宇五年閏四月十五日,至,于當年,讀,法 大乘奉,讀 如¸前

獻上

平城朝连御馬蒭二千圍一事

右天平實字八年亂時御

軍馬茲私獻

如一件

小 四 右三條事 神 等 龍神八部 廣為下 事二為 伽 生 藍護法奉國 先々尊靈後々國家一氣為二 々四 厄思世 k 天神地祇有名无名大 70 生同 出 苦源 梵釋 齊

際,所,奉行,也

合廿基二各長八丈 六各長七丈 十二各長五丈一奉、立,,四大寺御再會廻幢,事

造即一日內起立已畢維時神護景雲三年歲次己酉右件幡奉: 勅旨,奉:東大寺工等,七箇日間削

也

一近江國志賀山寺奉行功德事

期,來際,所,奉行,也 期,來際,所,奉行,也 助,來際,所,奉行,也 此功德事永法師實忠私物奉納 蘇次甲寅十二月,請,彼寺衆僧,三日三夜奉,仕讀 蘇次甲寅十二月,請,彼寺衆僧,三日三夜奉,仕讀 蘇次甲寅十二月,請,彼寺衆僧,三日三夜奉,仕讀 蘇次甲寅十二月,請,彼寺衆僧,三日三夜奉,仕讀

如`件 一点, 事

一獻二上 薪三百荷事

、之憚歎有ゝ身无ゝ行後賢以」之爲」恥爰實忠有下幸 ン立い功以徒 ン如い顯 ·件庶幾具,,上件事,流,,示於後代, 古人云步靈之 家之食, 緬惟, 此重嘖, 豈可, 遑, 寧處, 然則須臾之 >可!再生! 既生必修! 其所以! 遭>時无>功先聖為 夫惟嘉運難 訓見:在事 項若為徒然是故一生之際所,奉仕一行事略注顯 身得二関 生二聖朝世 右以上景雲四年幸二行弓削宮一時,私獻 入,,九十員, 矣待、死猶如,,秋葉待,風於、斯慨然不 一牒如り 、功身不」如、報、德者然則法師實忠生年既 [居]號為"法衆" 空蒙" 信施之恩,徒受"國 争心 一託申有道之邦」名貫二緇倫 右 死也除、此亦有,何所、望耶仍注,顯 ン可:再逢 薄弃之言着:於陽化 既逢必 立,其業,身 一稱為..釋子 誠以 如外件 虚 死不 居 如

弘仁六年四月廿五日 修理別當傳燈大法師實忠

太政官牒 綱所

東

大

寺

要錄

卷第七

應同東大寺大佛事

等儀 也面 衞 + 四月八日可驗乘昱无」有,相差,者從、爾以降于、今 ン切、柱所、據未,明 申若无、止可、切、柱須,四柱,者既稱、築,小山,何可 及、末必期、減小、以、小拔、大恐彼此不、全是一也又 」之然則基廣二丈之小山築至,腰上,高四丈除自, 佛高今減定 五丈二尺七寸 肩徑二丈 八尺七寸 背准 >疑傾作而榮井滿足申當,大佛後,可>築,小山,基 五年以降所,裂碎,長廣增益是三也新碎裂四處是 右大辨伴國道等所 七人申切,八柱,築、山奉、固是則去年四月八日勅使 都勤操前大僧都護命律師 **農檢使宣** 二丈高至,腰上,者凡厥大佛蓮花座幷重高 月 也佛高 元五丈三尺五 權 非,人遠,也是則忌,積漸之破 [傾],降西方,六寸是五也以,今破一准, 背損, 佐藤原朝 |何者破損有二五驗| 一使左 大辨直 臣 豐主等去二 《是二也又中應》用,1木固 一裁定 世 王 寸今減,八寸,是二也延唇 御尻折窪 秦演長上三嶋公嶋繼等 民部大輔笠朝 直世梁磨豐主申 月 # -要:造次之頹 九 一尺三寸八分是 日 奏狀 臣梁麼右 -何者去年 依二 一丈八尺 **从何大僧** 嶋繼 廣 無 M 兵

人多仰知 惟 昔工竪柱其數 矯枉 柱以 同 ン石固」者 大安寺平 固 者放木之後未經二幾時 ン定:所據 何有:非常之疑! 灼然又申件破損緣一物躰 今放,腰下木,撿,被破損,益,元數倍然則 助益 方未り知る 木令取,放之,曾 使木工頭榮井上皇后宮 行 本之非二小緣一天神 過直物理 ·築中立山上縱堂含雖二破 慣 嶋繼 田 其 [連滿] 同滿 今准、古宜 法等 吉野 事一先慮一其 深谷一 所 鲃 足等去三月廿九日 八枝在 足言更无 爲 申 稱 申不..更 有 04 叉申 同三榮 築 也 者 開二 不 其意 今此 一物為い貴愚管執見具錄如 "摧損」又放木之後无〉有"傾動 勍 Ш 個 三蓮花 基 -何 偏 手等第二議 使裁 地 腰 切此柱 如 レ議今須下依 疏 高 佛像一柱之後何伎所、施又 故切當 下 祇 何 更 執,須臾全,還 大夫藤 重 坐上所-損而 高 請 破 定了 東大寺僧平 有 一所 須下築二 早 LIII 為 用と 可以修二 其三其 今所 言落委一也非一作壞一 奏狀 同 原朝 金 何 m 木 切二二 - 嶋繼言 法 利 土豈有、壞乎 杭 老 レ申 小山 亦 急、防 臣吉野木工 稱 吉 公卿黎庶引 人樂,其 智樂上泰 捲損動其驗 延 固之: 滿 殿遂乃出 杜 唇 足 野等 其邊 - 无,有: 年 夫 レ前者 三將然 切二八 者修 # 年 成 凡 智 所 JU

減省 多經 支在 到重 以 柱先斫 夏 動 >戸則思臣之慮有>所>施矣事業先始无>由>廻\謀 ノ有:殊傷·所>支扶木亦不:緊 三尺五寸今所 及柱等多造,小佛,未,支,,一箇之大佛,還滅,,數百 贵 大佛後 聊 ▶答"既往」可以候"將來」今須下通" 佛|接猶有||多理 定,切,八柱 作以像傾 中 金 一萬全之謀也徒盡,八萬功, 納言 ン前一 宣 :地震:綠合之 致二落委一何以 以宛 以 奉 奉 フェ 陶 戶已壓行道 兼 為中小山山々高僅及 分居と後輕 二洪爐一而鑄成 ::他用 鑄 左近衞· 一等。山 シ勅往 兼感 刺 湖 レ減八寸 宜 一佛豈无、罪夫昔日 一不、揆"愚蒙 で依 撿 鬼 清 可以固者切 大 物 驗 抑 神 泉 何 重 絕 將從三位 レ之假今五丈之躰 直 有前悔 面倾六寸 无 俯 綿 ン理御 丽 金泥雨 世等議 小小 仰 世 助 示シ同 事 供 登八 未 一切一岩 以 破二而今在 二佛腰上 輙 願斯 船 激三大佛 聞三如り 何 供二板築之 行 陳 雕窪尺 者 起手之初削 可 高 則 前研 足部 虧 所 也不! 矿 勿 綱所察>之早令: 加 成 细 見,具件如」前 丽 此 却四 年 卿 則 F 小分 餘是 復蓮花坐 未1年 旣 一於具躰 四 希 清 足、支,傾 其高 積 費」庶從二 柱 月 有 來 を柱 原眞 物勢 车 而 大地 -分:二 所 終 論 H. 序 - 矣 并 功 丈 匹

寺家別當與雲君家高 天長 m 年 应 月十 七 俗但 别别 **列當右近大將實紹** 別當次第云明珍 類律品師 Þ

修 = 固 一多聞 天 事

延喜格云

理料 司 東大寺四 封 万 調 天 庸 王像并 雜 物 之內 東 修 西 兩 :理之:云 塔 破 員者用, K 家 例

道往三嶋首曆等六人廿歲 底 早速修固 宮而得二太政 是像指言 人所為一鑄二銅管一立三地 日 | 起首 修 二之從 敬為宜 一四南 至:1末世 固 五 為 仍今下 毗 ン心其 傾 ||東北 沙 官承和三年 少修二此像 門 五 日 寺家長 尺四 天王 八口柱井 立立軸 間 傾 奉直 損 寸仍錄二 像 人凡凡工 上從 底 卽 一者從 一関五 桁 艫 以 既訖但 其深 一從"此工析」表 像 八位 一月九 也 可」直 數丈雜布等一 從二承和 一丈二 一而件管弁井 1 堀 日 神氏 牒 之狀 顯 尺以二拾柱 像基 五年 勝 偁 亩. 助 件 再三申 經學像 桁 損物 六月 固 耳 見二 指 鴨 其

> 注 斯 記 文

別當 大法師 承和五 年八月三 明 日

> 知 專 蓝 基

講 堂 供 養事 H 文

為二 延喜 庚戌是日綿 同 十八年三月廿八 + 勅使 七 年 一依 千屯施 有,失 月 M 日 辛丑 火 "東大寺飛僧 日己酉東大寺 也 皇級新 任 三造 東大寺講堂 次官從五位下文 - 左少辨藤原 奏...失火 使 由 當幹 Ŧį. B

正六位下 河 刀 宿 福平 諸新統立 京

朝 長

臣

上幸行亦正

判

官 朝

正六位·

上大

部宿

禰

有

澤泉

室

官

IE

五

位

To

平

臣

時

同 年 判 月廿 當野 日 任 生銀木工少九主典、壬生時 = 造東大寺講堂使

春報

同 月 H

依 智 東大寺講 泰 信 堂使東 大平 四年塔十 并麻等為一神火」樣亡事。算師

史坂 承平 五 Ŀ 會 經經 也 年 行 權 $\dot{\pi}$ 等 律 H 為 師 九 日 一會行 孌 壬 從 寅天晴是 事 儀 師 也 弘 所 延 日 ン供 東大 本 寺 寺譜 千 別當 寬救 堂幷新佛 僧三 一百僧會色 左. 大

東 大 寺 要 絵 卷 第 七

邑北 前東高香器 衡 大 其 總色布 十也衆 部五梵府門 座記諸 生 藤 大 西 香具行 基基當高 也級 夫外 東設 東 朝 點 始 衆 音錫定杖 匹麗 堂 上立。床 打 問面前 雅 人夫及式部系統以人夫及式部系統以 |各引·立大鼓二面| |南胡樂西北新樂南 自 前 同 三行 量 华 當國 之座 記 東 善邦和 面第八柱南 第五之柱南 是 佛供四 面郭 各五 參議座并花座 # 位 稿 史 13 西 昨 连排 事 弱 全 守 外 座 軒 鐘 辰 自 在在发 电电位 四 的 記 元右 仲 源 廊 人六位二人以外 生官掌等克 有 西 三舞臺 京東 弁 人等 大 内 清 谷 祗候禁:止濫 同 面也 相 點治 F 花花 分点 僧 錄 癥 4 史 distant _ 觞 央 及諸 瓶 吉 人 惟 朝 房 装 點 一人雅樂花 大佛 七丈幄 敷」其沿 門一 西 部 立 | 國軍 大佛 同 官 臣 天 東 志 直 在就 玄蕃 集 間 二之事 左 以 司 左 納 外 掌 公 殿 上布 東西二 大 殿 東 會 左右 式 忠 小 東 座 同 盤 言 北 四 亂 率 其舞臺· 北廊 西 史 爲二 一人梵音 部 少錄 辨 東 藤 字 H 廊 自...西 堂 之輩 當 大江朝 相 史生 門東 檢 坂 西 原 F 爲三樂所 東 閾 柱 间 門設 智懸、幡 高 馬道 非違 Ŀ 恒 甲 衆 外 位各 府左 生衛 上 立 省 衆 非 經 佐 西 _# 有社 間 一人六位二人群在,東南京 三高 北 門 僧 使等 掌等 行 卿 臣 之廊 大原財 引,立花 乏座 大納 式 綱 參 南气 以 坐 忠宗右 北西 花 唄 部 議 外 軄 設二 用 西 言 宗立東京 表立 記 事 机 少丞 也 東 R F 基 細以 諮 着 卯 譜 史 伊 机 花衛幹 西

佛

權

西

行 就 自 并 朝

迎

觀

步...行 東京縣 還各 與自 東西 次第 於是連鼓之音 也飛僧自 高麗林邑 玄蕃源 2.講 律 眼 六位 萬 衆 握 出 師 河立 眼 就 真 代之遺美 僧之中,入 二舞臺 立衆僧 座 其 灾衆 房 師 本 台上 三 令展於□舞臺之下□ 児願 後 南妻之橋-行 一次衆僧 自 朝 二舞臺 入 胡 僧 座 - 各 谷 一幄 臣持 在證 原講師 就 束縛 率 朝 次 以就 Ī 前 動 v 退 |座別眼師下 宗然僧 忠藤 人 林邑樂發音 次 前 臣 步行 在 律權 々創 3 眼 南 新樂高麗各發 至一堂前 治 率 朝 訖 省寮,引,衆 師律 地 三原豐 誦 部 原 望 恩師 行 卽 百 谷 聲各 各此二 少輔 到二舞臺東西 朝 毦 盤一次介二佛 東 昇 雷 遍 乘斆 訖 mi 臣 西 原 言高 與咒行東還 遊 之響游 申 - 列三立東 自 卽 介 折 朝 以三菩薩 P 橋 :佛名:三 度次 座 東西 朝臣 到中 僧 》與至二于 問 臣惟 省 向 樂 持六位 樂前 音 至 音 西 天誠是 四 雅 TE 師 折 谷 門 之橋 四 一舞臺之脚 西也 僧 大夫等 東西 次 部 開 山 至..僧房南 樂寮率二樂 就 度衆 之前 房 + 堂 藤 樂 服 H 次 原 前 前 會 同 坐 宿 僧 其 門之 各 朝 東 列 次 開 H 時 而 欄 大 自 [3] 樂人 之盛 行 南 亂 眼 留 臣 武 夫 西 而 取 副 東 仁 材 樂 師 各 行 平 相 立 人 0

不少知三 之廊 東行 分 樂立:東衆僧之後 佛供-還次 下各就,,本座, 次新 至二佛前 起、坐至:中 爐,至,堂前 次東西定坐至,舞臺,各敷,座 北壇下一 日 衣編羽高 供 向 新 - 至... 西僧房 至,僧房之前 低 扩 花 无 目一也 樂立二 記胎二後足類師寺大安寺等 至北僧房 至北 一西樂自 一發レ音昇コ 至二中門之前 瓔珞翩飜綵雲之影遶 天竺寺之物儀一个隆 聳迦樓剧 同奏一迦 却 門之前 ·胡各下 次 之次 西散 列立唄發 僧 以二迦樓頻弁天 二佛 房 南 舞臺一 奏二菩薩 滟 樂發音梵 東折 至一佛前 樓頻舞 - 即東西 東折至: :舞風之翅:嗟乎道俗 折 前 行經 之前一 一北折經 至 神 一西向自二軒廊 レ音定坐東 次雅樂寮率.四 至.東僧 - 霓裳斜曳天衆翹: 遊雲之 舞 |列頭引||衆僧|立||散花 中門之前 東樂自: 高麗 音 東僧 廊 具 三遍 =舞臺-至= ン身而落 金冠 三伽毗羅 人四十人 昇 東折 訖東西 鹿立: 東散花之前,惟寮率: 四部樂, 一度 至:堂 房 房 piq 羅 至一堂 東軒 南 分行 角 育 - 廻至: 面僧 禮 列 明 萬人觀 前 城之舊 折 石 扩 199 ン佛 映 堂前 、起、坐 -相 廻 廊 廻二 幽 前 引 日之光 至"中 南 分供:小 東西 散花 相 シ之无 自 會一个 軒 至:僧 取一火 石 就 語 發 廊 房 幽 共 隨 坐

今靈驗

児願 咒願 勅樂寺 訖 長保 次舞 上 一卿起、坐諸大夫已下同以退出云々 自:高 還 一訖舞一綾 一如二初儀 合,勅樂次 貴德一 退 樂互以舞奏此 雨寺供奉次舞一陵王,劫樂次舞二納蘇 次次 座 舞二萬歲 京村 西大西大雨 一下出、堂雅樂寮列,新樂高麗 切一射樂記導 樂 間 次舞二太平樂 劫樂訖高麗 日 師陳二事由一 慕入い 夜主殿寮栗燭事了 發音錫 - 寺相共奉 次児願 利東大四大 杖 衆 了導師 次舞: 昇 如二

寺家古 省一 金出、地餝,大佛 日 凡當寺者三聖印 r[s 知識者乎 貞觀 王難 門之師 ジ之神 一章遠勢志際,時氣一供養降,甘露永延祈 像 7 放 哮 - 井泉涌、石 可之所靈鑑揭焉之砌

光 會

児照…宸

一紫雲聳〉空

Ŀ

黄

连

大會

之時變化

之普賢在" 覆

高

也是以

供

養之

眞奏

, 勍伏=

東夷

貞盛冥感梟:

賊

雨威二雷神一致常至誠

供三觀

音-凡八幡威應諸

百四十

ン計者

敷

が佛

生,安養

-凡如〉此等種

々靈驗 入

不レ可レ勝

氣鳴

丸

ン堂補

=

五

位

黃 命

賜 等率七禮拜奉 黄金在度奏獻 東方陸與國守從五位上百濟王敬 賜部止奏久此 內三寶乃奴止奉、仕留天皇良加命盧舍那佛乃大前 飛 福 波 波賜物仁有度念倍受賜理恐理 有每 大和國者天地開闢以來仁黃金波人 仕事遠 挂畏三寶乃大前 爾恐毛畏毛奏賜 此 斯 遠聞食驚 地者无物 传悦貴念波 度念海智爾聞食者國 福伊 戴持百官 虚含那 部內少田 乃奏 佛乃慈 八万國 仁奏 那 1-[3 Λ 伦 爾 乃

天平勝寶元年四月一日左大臣自

延曆僧錄 云

寶龜十年起 東夷寧佔守真始履二朝涯一人擅二美譽,文 具奏於:東大寺·佛頂行道攘 三七,東夷道伏飛、驛送,降賊八十六人,自 東夷起 ン盗佐伯将軍 炎災限11三七 失、守舉朝 日一至 製 ン怖守

レ此已來 レスニ 家 H

零靈鑑事

東大寺

請レ 雷火/燒損大佛 被特 蒙 津図講 天裁 右方頭光上狀 師一仁任 任 僧 綱 擬 補 以二 替命的修下造為 階 業大 法師

其後俸 去長保 廿八 宏德 者就二欸狀 其料金漆等,直及三三百斛,也須"發願之後始修。于不 之无,涯但其雷還出之間燒,燎大佛右 俄聳大雨急降爱衆人傾首拜二大佛之有 在,堂內御光下,山上勅使諸僧等迷惑失,方即墨雲 讀經一之間同六月六日夕雷入、從一大佛殿南面戶一留 存、公耳今件光燒損後須,,寺家修造,而他要,,破營造 既失白毫如、闕道算企, 修補 右得,道算今月七日欵狀,何住寺送、年漸戴,七 |停||止件國闕他所之請|申||下官符|奉」途||大願 傳燈大法師道算解五十 日,依二宣旨,七大寺共於二大佛御前 一欲、報, 滅罪之善根, 而間從, 去永延元年五 一禮佛過2日既積"五旬之夏萬一爰久蒙"舍那 貯谷於一鉢貧甚於衆人因,斯適遂,五階業 五年一被、擬一補件國 一奉レ修二 一謹 撿 造燒損大佛御光一望請被\言: 三傍例 -以…階業勞別成 七三論宗 講 願 師闕一幸蒙,官符一以 以,佛師,命、支,度 專寺 方頭 心驗仰二 一大功! 是尤 煮 光 1.修耐 - 金耀 一祈禱 干三 以 月

謹請,處分, 後, 造大佛御光,矣今錄,事狀,之問件道算申請可,奉作, 之由望請特蒙, 天裁, 被

寬弘二年三月八 H 别 都 E 座威 別當權 當 維 僧 那 儀 從 F 律 師 儀 師 法 傳 Élli 傳 師 印 燈 婚 傳 大 橋 大 大 燈 和 法 法 法 尚 師 師 位 位 位 位

一東塔流星內日記

去天祿 皆云是神工可以謂 達如"庄 落.于、時別當權律師法橋上人位澄 雲聚破落經二數年一凡金物差 隙 雨露 企,修補,公家且被、裁給,榮爵 一於二當國一被進二比曾繩 一月廿六日,結,固 破壞 二年七月中 權大工僧眞圓銅鐵鍛冶首頭調公茂等 滴 入心柱潮朽可以成,大害,又辰 年 · 久修 二本願聖靈之重 造 為数,神火,切,斫六尺,從 [麻柱上金物等]已畢大工寺家堂 无、期就、中 .始.自..八月十一日. 至..于 北傾欹八尺 一人鐵千 跡 瓊 盤 心歎 其如此 · 矣不\能 ... 具記 西方上 已可、及"頹 巳未申一 廷,又給,宣 金 彼

> 功德一 書…加 功 但 花經廿八品家 母女元七世四恩及法界衆生引,導淨土,又書,寫法 臣藤原朝臣別當右 奉:持聖朝,次左 德經 流 -以:此 國母殿下王子 星之 大師 尊勝 卷无 |功德||爲>圓||滿弟子二世悉地||也敬自 r **陁維尼佛眼真言光明** 觀理權大僧都本 安 勝王經 垢 淨光 經 大臣藤原朝臣寺家之事 大辨藏 业 二所男女息子 施羅 四十一品金剛壽命 眞 言 人頭 尼經 等一 師法緣律師 源 今亦 真言各 道方朝臣 共奉持次檢 卷 加 以 施羅 安賄 納造 卷1以1此 此 后奉持 被 功 尼經 大德 挍 塔 右 延 父

那行 權律 寬 弘六年 公茂傅任當國大介預堂達仁崇紀 于時寬弘六年十一月廿九 師澄 好蒙 工僧貞圓近江讀師給 岩 頭 和吉種 末代如」此修理事 心大僧智 十二月 《儀師 伊賀缘如 都 被 日 宣旨, 惣大工 金杖 ン蒙ニ **心此寺家修理能治** 以此 流 金物鑄綴 星修 日記 宣旨 可レ 一堂達 理 被 行 伊 鍛 固 講 如 事 T 例 冶 173 定 所 省 即當寺 記 頭 伊 司 輩皆以 シン 預造 備 豫 權 別 中 講 都 司 師

次鍛冶備中掾調**公**茂 首 頭 和 吉 種

本政官牒 東大寺權別當官符事 預

應、補,任權別當職一事

預堂達仁崇

傳燈大法師濟慶 「富大夫源朝臣道方宣奉」、勅依、請者寺宜承知依 本名傳灣之貴,者從二位行權中納言彙宮內卿皇太 本公修學之貴,者從二位行權中納言彙宮內卿皇太 奉公修學之貴,者從二位行權中納言彙宮內卿皇太 奉公修學之貴,者從二位行權中納言彙宮內卿皇太 本公修學之貴,者從二位行權中納言彙宮內卿皇太 本公修學之貴,者從二位行權中納言彙宮內卿皇太 本公修學之貴,者從二位行權中納言彙宮內卿皇太 本公修學之貴,者從二位行權中納言彙宮內卿皇太 「宣行」之牒到准、狀故牒

新禪院本云

文字左道者也就中寫本可,|念進,|之由連々有,|其催,仍不,|按合,可文字左道者也就中寫本可,|念進,|之由連々有,|其催,仍不,|按合,可

が謂、不、中、用爲、之如何

三論真言無學沙門阿闍梨大法師寬乘中

東大寺要錄第七卷

萬壽二年十二月廿九日

造大安寺勅官大夫正六位上大宅

東大寺要錄卷第八

雜事章第十之二

超二十 表輸 元御,極則,天披、圖至衞動,於蒼口,渥惠衍,於赤縣,瀛的蒙,得、涉之助,威神之力其大者乎伏惟太上天皇躰 慈悲在」念獨傳,無畏之倫一解脫為、功長銷,有結之累 竊以至道無、形緣,,神通,而利,,萬域,實相非、測託,,方 左緣文以一黃白二色絲 大佛殿東曼茶羅左右綠鉛文 緬施化草,底品,大浣欲、鹽還致,變池之慈,巨 ν 焉難、極故能開... 普門一面廣納仁被... 群生一灑... 甘露 現1, 梵王帝釋1 善權所以逾深或示1, 居士宰官1 方便於 便一而濟。四流 觀自在 月十五日,□誠乎無□之道發誓乎□□ 隨緣口社法幽顯面無>差應願口祥同: 影響: 而斯驗 ||重譯之貢||寰中求||再生之恩|| 軼||百王| 以騰>芬 ·古二而垂、化粤以...天平勝寶六歲々次甲午暮春三 菩薩像一前彼 一是以疑二神極樂之區 -相 間 一站口此 一字一織一山文一也 為期 口非口背口 降二跡補陀 之輪擬造織二成 一海將ン淪 之岫

石綠文□唯□句□林□駐□

孝也所 為之年次願殃口邊寮慶溢,中花,兆人歌口渡口口遊口 尊永援,瑤圖,化瑜東戶之化馨,恒沙,而作,算盡,刼石一而 普光之法座 又願皇帝及 輪一面成、道然後口神八正陪。舍那之蓮臺,契福三明舒 軒惠術-天花散馥迎-玉駄-、成開,,口引口導之容,百千口衆念力口解脫之命固 由口雖,規摹欄成一而夫功未、畢弟子 分,,,百形,,而圖,真貫珠縈絲合,,千光,,而寫,妙三十三變隨 日遠,痛,口業之中体,更添,神工,續,成光緒,治,于九 口賽口先口之口口口 口歲次仲旬五月二日周忌之辰,裝飾云口裁〉金疊 栖口之口文匝列口動口含共林跡稠林咸啓因口覺路 い輪之〇本〇今換口 已上所々被損文字失落或雖、有、字體不、見、之故着 三茲願力 口啓口之福廻饒 - 奉ンロニ資外空霊」揚ニ號仙庭 皇太后長生實位尊位北極之 而飛、空妙樂流、音送二金 □熏□□□□之 皇帝威二嚴顏之 - 福 口以 レ艘 國

東綠文以,青百二色絲,相交織,此文,也大佛殿西曼茶羅左右綠銘文

侵害 布 極 本 通 漫 111 我 隨 行。禮那 願 日 以有,至願,則无、所、不、咸有,至信,則无、所、不、應 周 『延大慈大悲』或現『一十一 三法 皇太 -化二形菩薩 在菩薩乎觀 自在一万名」、觀世音一又稱二馬 柱: 界 レ異其實 皇帝陛下奉,爲欲以合〉平。安 常好二菩提 后 能 放太政大 心淳厚潔 化 拉 自 - 拔三齊 一也維不空羂索觀自在菩薩 III 形 皇帝陛下晨昏畏懼 質 彌 唯 菩薩者往 陁 岩, 冰玉 臣藤原公 題川 博 佛 切 愛 二其神 易社 世 群 面 間 古 生 之女也 心隨 之苦,其住 正法明如來 然電 頭又稱三不容絹 或現二千手千 美母儀口 必濟 奉二 元无量 皇太后 禀性 諸 寫 /住 无 也 願 彰口 大織 貞潔薬芬 也以二 恐= に敷生 皇太后 在 者 眼 = 西 所造 像者 訓 其 索 鼠 其 75 唯 屢 方

西線文

叉用 瞻二仰兵儀二天 像高三十五 163 至此 真明 功德 萬善庄嚴 [i] 尺其間二十五尺光 一下更 ニデ 方世界 地 **復先と二以**。 百靈 而長久立 辦衛灾皆 切 生品未少得 可則如 容 此 頓 直圓備 清 來 滅 淨 加 不足 真 福 一安樂 被坐 實 祉 恒 功 丰丰 則 - 者 生等= 德 功 洋扶 頭分三 信 伏 如 Н 願 持

> 生同諺 物壯 提心 太后 厄 翰 章 得 ·著"像左右 墨 域 因:按妙力一身安心泰壽及:萬億一十 一途作 則衰若不>表::功德之田:何以開 土安寧寮庶和樂同受:長年,共乘 三岁 |者願介||早發||菩提心||未||成道||者願令||早成道||又 皇帝道重孝順壯美織。□功德一天下无、比 二此善」盡得二清平一 樂 ン偈 未、得 日大悲觀音不容羂索 離 苦 者 天長地久時遷物舊 願 令...早 得 帅 悟歸 一佛 二跳 通 方國 自 害 H 禮者一发因: 在救 一冬蓝 未と 界 取以 願 發 切群 - 潜 短 至

願

早

觀 羅 慥 永 已上兩鋪 元 七年歲 延元年 一不、見、其文、仍著、輪書、之今換□寛 繪 任永承三年八 師 元與寺玄朝法師 次申 聖 銘文或所々 海 戊大 人 恐脫聖字 月朝 佛殿曼茶羅大風相 破損 綠黑人修 畫 文字失落或雖,有,字 :地神之形 方施 :補大曼茶羅-主,修,補曼茶 朝 宮僧都深 僧正 也 之任

大 佛 連 大燈 F 柱銘 文

提 井 燈處。出,其身肉,深如,大錢,以,蘇油, 作 本 大國 行 經 說 王,便持,刀 佛 言 我昔无數 7授:與 刧 左 來 右一朝令下 放 = 拾 灌山中 身 刻 命 身作 iffi 於 作二 閻 千

が離 世 寫乞一得兩錢 感 婆言唯多燃、燈於、是王即勅供 \有" 瘡癥 · 帝釋諮天王臣眷屬无量庶民異口同 レ身為、燈不、求..世榮·亦不、求...一乘之燈 婆羅門為、王說、偈言、常者皆盡 燈一安、炷已訖語。婆羅門一言先說 今日見,,王作,大功德 母 至",祇洹精舍,時有"貧窮老母 食已佛還二派這一王與一香婆一議曰佛飯已竟更復何宜耆 歡喜皆行,十善,阿闍世王受,決經說,時阿闍世王請、佛 亦无二悔恨 身燃、燈得、元、痛耶頗有、悔耶王答、天帝、不以為、痛 種震動身然,千燈一切諸天帝釋梵王輪王等皆來息問 願求,,无上正真之道,發,,是願,已即時三千大千世界六 本 益..三合.凡得..五合.母則 日我聞佛 激行乞得...兩錢,以至..油家,買,油膏,主曰 · 於、是膏主喜, 其至意, 與,,兩錢膏, 應,得,, 二合, 生者有レ死 -何以為>證王便誓言而我千燈用求,,无上之 成佛一者諸瘡卽愈作,是語,己身卽不復无 一何不」買」食以認有目連繼用,此膏,為 世 一難と値 王聞以偈已歡喜 |雖一實貧窮一欲下燃||一燈| 百刻一遇我幸逢、佛 往 |見"王作"此功德 當一佛 一百斛麻油膏,從,宮門,燃 -經法-然後 高者亦隨 踊躍今為 前一 燃 -持三是功 m レ之計此不 无,供養 母人大貧 著 レ法故以 音悉讚 合會有 一乃是 ン燈而 作品後 德

光明 當一承續為一佛 年八歲見...父受決 觀一王當人為人佛 花,供,養佛,故佛便授,王決,曰刧後八萬刧々名,喜 與"授決」 耆婆曰王所、作雖、多心不"專一,不、如"此 娑,我作,功德,巍々如,此佛 光一々明相照如三切利天一母聞歌喜作」禮 。如來至真等正覺,世界无、有,,日月,人民身中皆窮无、有,,財寶, 刼後三十刼當、得、作、佛號曰,,怎 億佛,已從,前佛,受決務以,經法,未、暇、修、檀故今 佛之光明功德 天,傍照,三千世界,悉見,其光,佛告,目連,言此當 明 諸燈皆減唯母一燈三減不、盡便舉"袈裟,以扇、之燈光 告,,目連,天今已曉可、滅,,諸燈,,目連承、教以、次滅 朗特殊勝二諸燈一通夕不、滅膏又不、盡至二明朝旦一佛 日 母注,心於佛,也於,是後時閣王以,至誠心,奉心獻 足二 願淨 益乃以"威神,別隨"嵐風,以吹、燈燈更熾盛上照,梵 不以消 半 其佛所 タ 作い禮 乃自 々言 非二汝威神所 我作二金輪王 々號,淨其,閣王太子名, 而去王所〉燃燈或減盡母 誓言若我後世得」道 - 甚大歡喜即形,身衆寶,以散 必知二汝願 心滅此母宿命 一得火供 不少與"我決一 佛號二 - 養佛 如二佛膏一當 栴檀 旃陁和 供,養百八 而去王問二 耆 所と燃燈 此时一燈便 12 如 不應供 般 須彌燈 泥洹 利一時 有:大 通 光 が燈 則 Ŋ

等為 天眼 算數一况我減後於二佛塔寺」若自作者教 於一佛塔廟一奉一施燈明一為之信,佛法僧 燈 次若人於:佛廟 施:燈明 已臨,命終時 施福田所 淨深樂心 可以知唯佛 燈明,乃至以,小燈柱,或蘇油塗然特以奉施其明唯照, 弗一或有人於一佛塔廟諸形像前 天上,十者速疾證,涅槃 、入...於黑闇之處,八者具,,足大善福報,九者命終 闇一六者心識得一智慧明一七者處一 尊 一燈乃至多燈香花纓絡寶鹽幡蓋及除種 道一階,舎利弗如>是福德非,是一切聲聞綠覺所,能 一知明 二者受身隨 一業報差別 二十種功德一何等 四者於三諸善惡之法 行行 足 レ得果報 不,完失,因 如來乃能知也求二世報一者福 相續無問 善 經 浙 一所、生處 說 世 福 為レ 若 間 德之聚唯佛 念"佛功德 乃至廣說 命終 解 "此念」己心生"踊悦 有二 --111 - 智慧明丁五者隨 衆生,奉: 時一先所以作福悉皆現前 一者家內恒帶明照猶如三 肉眼 施燈功德經說佛告:舍 上 士調 能 一而設 不」壊三者 御 知少燈尚多不」可言 在 施燈明 大 流轉 一故如」是少燈 二供養一故奉二施 德尚爾况以,清 1.他作1或 大夫天 々勝妙供 二二者 三種 世間 如旨是小 庭除 人中得二 人人師 因 明 生於 三滅 來生 佛 レル 一何 奉 時 利 111 不 大

滿踊 復得 滿 服 者因 便能 眼,二者得,於勝念,無,能測 明一已得"於八 三者大喜四者智慧若人住,於大乘, 已復得"四種可樂之法」何等為」四 時世間若無、佛者亦不二輕賤吉凶邪見家生」由 命一已不、墮一思趣一生。於人中最上種姓信,佛法一家。其 清淨一 明一死已便 而得,,眷屬,常擭,被意,心得,,欣喜 三者常得,清淨念恵,四者常得以聞,於攝意之聲,五者 弗於三佛塔 而生,四者見,於如來應正遍知坐,菩提樹 作善業得と値に諮佛 見,,己身 足,證,於涅槃, 六者先所 一四者 田二者淨見月輸 、見: 四種光明: 何等為、四一 ル此 起二念佛 者得,清淨力二一者於,諸天中,得,殊勝威德 為:根滿足 便得 生。三十三天,生。彼天,已於,五種事,而得, 廟 施 一尊,重如來 念法之心 能 種可樂 行 燈明, 已臨終時得,見, 如來四 布施 -修集道故 一能為: 勝法」何寺為レ八一者推」勝 合二十指掌 恭敬而 圓滿 叉含利 得 レ作善得"無難處"七者所 踊出 於 量,三者得,於勝達分·天神,所以 得シ不レ缺い 切衆生之眼-喜心,無以有 弗彼 二三者見二諸天衆 者臨終見二於 川輪 一於"彼天宮」捨"壽 於一佛 人臨二 者色力二 戒五者得二智 塔廟 一手、得二菩提 住。又含利 死 レ施 一者資財 施 苦 レ燈 處 更

1118 E

槃處 足大

- 巴上銘

八福德報

| 者命終得>生..天中

十者速疾證: 讀誦受持

得涅

、者具 101

1

清淨香潔七者心常愛, 樂正法

者得 所種樂勝法 又 事一得 之法 心清淨合二十指掌一起 上信.六者得.增上辯.七者得.增上聖道.八者得.阿 根一得 二何等 "增上戒 釋 大禪定一舍 轉 為八八一 輸王所、得輸 四 含利弗若 威 .者於"人天中,得"增上生, 五渚得"增 利弗以 力」具」足干眼 者得,增上 - 隨喜心 人於 寶一不二為之他 1是廻向菩提善根 色,二者得,增上眷屬,三 二此善根得 三如 或或 來前.見二 為一姓王 障。其身端 於八種增 得 他 施燈 善弘 是八 正 或 種 Ē 大 耨

為 善

勅 甘 諂諛之語 種 正 直 好 倉 田 鴨 為 良 毛 多 易 屏 レ悦會 風 以得 銘 文

レル 神 明所 が祐 鴯 JF.

父母 孝當 君賢 明君不以納山不 庙 福 ジ弱 不」信家國不 之言倒 臣 無 忠 門 易二 唯 忠 ン心逆 以至 人所 · 益之臣 則 盡人 命 耳 召

父母不り

貧

長

樂

濁

恒憂

君 臣不 レ信 國政不以安

象而長 特 恒 惟 布〉響故 於无邊,百億之身局,融山 敬自 慧鋭懸二心臺二 中之主,是以三藏徵言抱,,百福 所以者夫以鹿野春 秀二前 |廻|迷 法會大施主 大衆青 弘 馳誠 津救 能示。見三界,粤稱。天下之尊,光宅六合或標 ||聖化||護法之功逈超||古今| 後,忠貞外備巽々奉二六代之朝 陽 知非二時之津梁是亦萬却 |迷津之多苦|戒香熏|身閣 終月 故 而六情常明惜: 寸陰 僧 正院 苑扇 未明初節庄落由寶殿 下遍遊 「薫風於有截」鷲 .而分。順八萬之音,氣委、海 一普門一示 遠流 -守 丽 レ土利 傳 -信 山秋峯覆 二普門之一 之軌範者焉伏 游為於 乘真筌貫 :法燈:投:尺 而三業無」瑕 敬 內 レ生之德 融 炒沙 Jil. 乹 萬 城 m k

曼穢一 功德

三者所

シ有

福

香戒香遍

二滿諸

方

一四者 為二衆歸

受身隨

所

生處

鼻根不、壞五者超

一勝

切世間-

報差別經 漏盡 難

說

·何等為、十一者處、世淨妙如、花二者身躰無,

三者樂,於佛法,得,出家

難四者

具,清淨

戒

鄭

 \mathcal{H}

得

]得二業 者

種

切衆生於,是五法,實為,難,得汝等已

若有:衆生,奉,施香花,命,來生

等為公五

者得,人身,難二者於,佛

正法 得

- 信樂 が難と

難

三就三菩提

又舍利弗

有二五

種法一嵌為

得何

東大寺櫻會緣起

音化身之由見,此緣起,

觀

於殿上 置觀 連 庄 事經ン年 感 處 重 禮 栢冬葉是神仙 後經,數年,京城東畔崇麓占,定此地,為,其地 在菩薩像一 Ш 種 之福告者聞"禪 道 語智 大覺法 朝 聞 住 此房 卽 俗 念 |青蓮眼頻婆唇似||安養正軀||其像雖就 一寶殿如 音像 野歸 一帶名方丈窮子草庵往 :仰瞻 處 親無言諸 勝 一寶之德 從兩 利 一遠敷之神香 -國 ,以知處自,成刼始,成,望者所居,法爾道 公界道場: 宗 功一盡一毗首 尊 超」於他人一來修之人福德智惠過。於自分 中勝 三妙高 為一其像一也立身丈餘德圓 盡者矣凡此大伽藍為 变,夷利棘,剪,截荒蓬,構二 耀 敬 所 增 遊處 賀 地 飾 復 三學處 自能化 他國諸賓衆觀歎揚柘過 一廣大殊特溢,目滿面不,及一心言 一天下上所有、過、此哉可。以依山之人 王子住,持此院 復羅漢 以 水 也殿堂星雞房 涌,於堂邊 西則都邑隱軫八方所:輻湊 一制匠工 准 住處是以近 々陳列容 知 年始 他 一敬造 土諸 寺之狀 大佛如二 舍雲重 **今見』太子禪** 皆是觀音之德施主 奉 >身而已 爰道力冥 相 一不空羂索觀 番非 處之天紫雲覆 滿 爲 造 上於國 疑 未 楊梅 四 大 普 三補 夏殿 恩 , 卜二居處 理 心東即 分 法之機 毒花椿 陁 高 門居: 窮 1 寔含 - 自國 之真 晉自 此 金 目

微妙事 千燈光 我 人 惟 い別名花柔草 經 東大寺、大矣哉聖王大計貴矣哉 \州居\村守 ||國 傳、法利、生眼界七道行 事一加以六宗達者自一此 嚴八十軸,秋讀,般若六百卷,夏奉, 難」知:春秋:寺常行事鴻鐘六時舉」音修:六度因 表。三寶名號一 也殿堂底廊 如來廣大靈塔如、是之也薩垂王子七寶制底不 い韻遠見い之者如い貫い皆芸! 廣正等左右無以比 二時讚、佛招二一轉果一恒轉二法輪一普益二衆生一春轉一花 為、尊佛說,五乘一 凡庶類 士 年丙戌三月 群 -嚴照臨之鴻 品品 ·業我王四隣國作·此事 一諸院諸堂各別行事具不」可」陳如」是廣大殊勝 敦 田 思量 爛 遍 周敷松林竹樹蓊欝不,別,多夏,花果 房舍宮殿連綿寶幢幡 然周, 匝諸院諸堂, 左 - 奉. 為挂畏大雄大聖天皇孝謙皇帝 王 照 哉 各七層級俱九重盤實鐸箜篌交、音 一之所 一續 僧正大綱敬作 德 三佛命 報 一報。答覆備 者 伽藍 地 者矣實塔高妙 來二集此 近仰 是 出散 一耶他 故額標二 大施 之者如二重寶蓋一多寶 奉二為 之厚恩,以,去天平 "是念"天生"萬 言諸 進一受一委毗 右 佛三千界非人有山此 主實設千 相 萬蓮 方二遍 行 對形十 護國 浦 列蓮池花苑 花一冬照 於東 國 寺 講一乘 尼 年 滿 二梵唄 珠 萬 西 口 光 と記 稱二 色 縦 此

ン学ニー 大能 外隨二 統領 挂聲 緩忽 離 開二方使 レ人定知伽藍大施 古過一而法會 來迄二此承和 得二快樂之利 鼓美麗如:自 西連分遮。|冬夏寒熱| 進退之人免。雨濕之患| 大衆尊敬守自珍 珍溢藏,殘,,庄家,見聞道俗俱陳,,隨喜,往還老少同 有"親疎」哉所以六宗三學之士滿 今誰能如」是佛化之與介..特伽藍之榮同 應 一舉國 一侧聞 秀,當時,特任,伽藍別當,奇德讓,前後,專為,寺家 唯人德耳聞 此 万層親 現 Ш 庄 一親一給..淨人,之宸齋如..一子,心無.. 愛僧, 也事 闸 叉世 時 「伶年此寺豐饒諸家借」求此寺許」散以 一示.真 :操行作業,內修,六度四攝 八 『鳴天鼓 問 一彼此俱 十三年,所、經之年合一百一歲也雖,年代 、節1 住"持伽藍1応>勞供 |練||行禪林||長交||六和尊衆||研|||韓惠業 常新敬惟 大 加以 導 主挂畏登霞尊靈為濟。御願一替。 相 一勝能一臣憐生〉喜望〉侍…其人 師 -左右分行振-大妙音聲 所、造近廊熳爛如: 知足天宫 到 勝能學二當時 自 滅 僧正院下佛法棟梁釋 地 度釋尊 幡 蓝 此 一般三說 會法 為 ▶寺餘,僧房,五穀八 沙持 -嘉聲流:後代 其天平 法莚 |布||願妙覺無||暇 -衆僧-之禮全如 法 - 堀 一一一一一一 隨 門相 見聞之人 二清 所以張大 二非時 上生類 年。以 名 一合寺 一萬古 事量 樞 讚: 東 到 \pm 會 主

前知 飛僧 尊世 飄五分之香交,,春霞,薰雕欲名僧服,,百衲衣, 連,]座佛 轉、林覺,,節咀響振,佛子列,堂散、花四弘之幡隨,,桂風 法有 化現之也又聞 下一然則御 是靈山法花 皆須二裝飾一見聞所、及皆盡二心力所 部百味之供並,,色萬品,內外庄嚴悉窮,,諸美,遠近珍奇 之禮式施 爲二誰 為事櫻花散葉遺氣猶香口木開、藝感 上綱自 |上有、||言金生||麗水||玉出||梶岡 父 ル勇名聞 《行後進貴·一乘之宗· 磊柯堂內五音之樂調 能 讨 他利行 奉 三前 願 细 逼照如來影向照陶觀音正聖應 - 爲伽藍大施主登霞堊靈 後一賞罸之軌範秀 声時 俱 會又補陀仙宮觀音寶殿此殊勝作 綱維尊德心性清 以高德行實寬別當院下大德廣 必成 寒熱 "七最勝因」定為"四德果 為三 =淨人 三決當 君 - 氷玉 1: 一若謂」此哉然也法 レ 嵵 并,被苦 一行業香二柱蘭 又泰 度更復非 住持無 一色枝艷 / 鸞聲 二為現 現證誠 樂 一謹白 事 一番二 夫非 敘問

承和十三年

法華會緣起近來讀之

敬白三 殿 奉 が講 寶大衆今日撞 =演 解脫之妙 一、梵鐘 法 大志者 而 悠 眇 =廛區 説 之聖衆一 E 簡 近 寶

祥年 レ嫌三 間 レ之涌 輪 り身濟 大津 舊事 殺占 便 窮而 請, 諸寺高德, 講, 演妙法玄宗, 煙熾燒者三界无曉 室 脫之功无 原 圖 m 节 開 利」生大乘滿 周 如如 化 中 尙 重裳之時始傳二八藏三篋之文| 二仁窓於解脫 夢漢 照 "出甘泉」皇 新是則 浮 息是以暨一于去寶龜四 日|奏|聞公家| 加加 か於 IJ 離字 二十善,就二八正之道,可以謂「微妙之理難」 溺 光二而寒二重昏 - 過還 名僧 來料 明差、使之後惠日 極者上 是法幢忽折道燭 Thi 民之代 當時 物不 蘇 ·舊都之兜率 -七道 帝 矣伏惟建! 足四 由 三行 一忍辱 鎮迷者 所 記 重」之施り 一未」聞コ 。 備 資 用 司 石 一始修二 而濟、物人攀山三明」 件 攝 與會 之衣 卽 會 貯 之前 リ 四 己心臨 釋二禪 乏短 每年无、怠於、此當時 拂山扶桑 施道之 立此 三寶四諦 叉消然 如 入資財 生若為澍 件會一 年 年已 去天平 閨 所 厭 會 · 塗炭 剱於般若一 以停請 既而妙法逼.八 + 戀 深 薀 一久矣途使~ m 從レ 然薪證 僧 十八年 而初 濛 之名 人逝 誠 界 m 法 正上 月十六 爾 m 記 授手慈悲之 以降每 法不 雨 戲 皎 早歸 已 一他寺龍 m 碳 綱六度餝 我 但 m **两戌春三** 未 名神 火減 四禪之 嶋 圆 從 日 別當 廖 本 华 思度 御 家橿 通 嶋 岩 城 緣 感 H 水 无 唇 値

> 之日是劉旣而 方今 本願 復無 是則 命』在迷之子終甞"妙藥" 不」異言言之古說 嗟…法輪之不」轉傷 智之果一黃葉飛散之秋示二無邊 忝 從。去天平十八年歲 更 年 延 土無邊分身無 以 都 合 也令小 年 深 上綱御意一者紅櫻開敷之春譯..妙法蓮花 傳法立 寫紙之能 圓 觀 來依 H 嗟 一滿國 一誤預 僧菜 副清 志尤所、致耳 於 料物 法花 主聖 不点講 何昇 師門負之笈訪 レ然而來不 件經 惠燈 不以萎更同...靈山 - 美哉令"被倦之侶自 不 次丙戌,至,于 朝御 具 三燈王之高坐 開 一恐怖 一始終相具 凡始修 願 結 之無以傳青春 會 仰願靈山界會 ~證 期已延 謎 之至如、履,薄 經 乞誓 佛上 而證 三此 始 此嘉承元 年 IIII ご從 一敢啓 己音 深 會 引因 致 成 而訪 五五 倘 之期雖 長 以 辨本 塵數 白會 至一寶所 無 レ之當時 來 曆 年息三百六 水一然傳二聞 聚盤 常樂之道 九坐之勤 所 願上 聖衆 法音 ン過 之法 华 而 戊寅 圳 年數 地 É 主 所 門 功 哉

梵釋 平 法 至 主 一心勸 四 會 請三 Ŧ 成 諸 法 北經 身佛 護法 佛 聖朝 普賢 照臨影向 乘敘 文殊 主釋 增 諸 御 願 香薩 迦尊 鶩子 諸 本願 多寶分 大 施 聖靈 目 身 主 連 成 賢 諸 增 P 福 善 IF. 覺 衆 逝

願 或

願 皆悉發 至心懺 伽 我當 藍 安穩 浴 露 僱 大菩提 蕊 無 剛 始 懺 īF. 法 惟 來 能 至心 天下 三業之中 作 安穩 有情 歸 依 諸 佛 所 当 作 義 法 民 利 罪 樂 僧 畢 152 宁 所 一持莫犯 對三寶十力前 竟安處 Ti 大 ポ 大涅槃 成善 如 說 行 願

及以如來大智

声

天下 金輪 以 同 切 大 此 食 滅誦 大平 法 明 事靈 講 味 加 演 增益 當所 所 風 諸 調 生 大 施 威 闸 功 雨 光 斾 德 順 丰 梵釋 本 普天 增 萬民安穩 長 願 平震 神 福壽 四 祇 天 四 伽藍 記 法 行 疫神等 主 恩法界 神 安穏 育靈 八 部 與 離苦得樂 同 伽 藍 隆 證 切 冥 遊法 IE 妙 法 果

妙法蓮花經序品第一

品釋如常

着願作法 結願作法

是故 說 以示」道是以 品品 普賢以下惣明下拿中 利 が難と 益 一佛說是經已下明二時衆勸壽退 超浮 一訪、津之客早到,,覺岸, 三慈船 一而救 敬持、經者 ン物邪山 上說是普賢以 求」真之主直至…道 易 レ迷乘 坐也 一悲駕 下

校大閤 藍挂 \庄 太上皇玉躰堅固 上上 法主 奉、庄 厚慈 是思僧某迷深覺淺之身惠薄思厚之心忝 場一拔濟 無」怠次天下大 之妙藥逼 槐九棘各蠹 謬昇--燈王之座 同一於北 秋一無。變次奉、庄。國母中宮太子王躰因,於南山一寶壽 覺果之蓮」次奉、庄下國 開 五. 窮善願 上綱妙法之醍醐熏二於躰裏一調二不老於二 日 次奉上 畏三所寶君運,講善於花藏,增,萬德於等覺,次奉 九座講演 乘法味一个、證事得菩提妙果,次奉、庄,建立大伽 下釋迦大師今。法久住一利一益衆生一之道由、此奉 下依二大衆之深惠一部八軸大乘經王拾文臺卷 下掃 之功難 合 極一園殿鎮、蒙月宮增。光次奉、庄、大臣公卿 上綱 身期 下梵釋四 _ 圓 ...不祥於萬里...招。榮花於千歲 』股肱之忠 同持。朝恩之級 次奉 庄 清.次顯伽藍安穩正法恆與大 攀三明一而 得 一身 其 平 不死於 ini 風 切此 上流 王伽藍護法行疫神祇普天率土神等 雨 可以稱度脫 送11日月1 順時 一主皇帝御唇期久寶祚運遠」次奉 座 、汗身中懐、畏但 遊。四禪之樓,汲 い龜鶴中次願僚下 已畢 萬民豐樂苗稼 平所生功 之德 無」動仙苑鎮靜運 春 希 德不可思議先以 知 位一講 上蒙;;三寶之 m 『次奉》庄 ...智水.以霑. 餘 衆 所 松栢 可」測 畔 快 司 匠之莚 火樂修學 75 邢 下俗 至三 壽无 大 下長 -矣 乘 撿

謹誓願 有 法 發願 有 E 合 一覧頂 震 二禮 出頭 惱 籠 纏 速分と 證 涅槃樂果

已上近來作法

安居緣起,東大寺安居自,四月十五日,至,七月

事方型 火雙即 安居 佛法之妙驗普被 降二綸旨於京畿七道 藍一造二嚴七重實塔 神聖武皇帝即 迄...于貞觀 修」善之外何事亦可、雙、肩即位第九年展 ン寺敬ン僧超 綸旨於五畿 下天武天皇, 萬國之尊登, 一人慶, 億兆之主臨, 一無爲大化滿 會 以爲出 一家二 卽 發始之所由 ル講 至 五年一西當二第四十五代 一部之侶 三天 七道諸國一建二立金光明護國 |阿育||而獨 レ危入い安之妙旨護 位天平十三年歲次辛巳二月十四 說金光明經於 华北 百百 容 . 者始則當.. 第四十代淨御 施 善 工之門,有為廣恩溢 年歲次戊子秋八月二更 一夏安居命、講:最勝經 一天神之厚祐廣及中 : 寫金字經 納水田 步圖 ン佛貴ン法過 宮中及諸寺一自 一設田事 Ŧ. 那樂宮 保、家之神 一四民之家! 紫金之尊容一分 供八箇年 法花 始」自二五 = 于塡 兆民上 一發 御字勝寶威 王 原宮治 减 三深重 術 爾以來 欲 罪 H 断い悪 於 而莫 一於寶 間 使 願 伽 月 造 天 其

> 傳。暉出家僧尼沐 金之地 演 第四 佛 之要一旦 副, 講仁王護國妙典於最勝經王,限, 帝即位延曆廿五年歲次丙戌四月廿 海 | 以共詠 | 法樂 | 當 | 第五十一 而安計 玄門之指南 建二立安居 元 奉ニ 年一歲次年 妙法金光 H - 興 重 萬 暉 三於萬代 建二給孤精 姓 隆 照」暗 法會,於二京畿一十餘寺七道六十 ジ國 同 法寶 擬 一个独復以爲滅 Ti 城 趣 任一大小 而 住,大小國師,定,, 日九旬,期, 一分、演二鎮家之業 同 - 恩波-以同味 而 舍 嚴 三鎮國 離 阴 天平 法 輪 流 七 二灾難一个人榮二國家一防二憂患 神護二年 之洪 廻 Till 潤 流 四生愈 基 三真道 少響驚微慧炬經 代平安城御宇大同 一前二像化立 洗 Щ 二塵勞 茁 於日月 月 昇一彼岸一不少如 - 在俗長幼 日,降,赖天下 廿一日 期 而 餘國 天平 不と竭 遺愈-决 嵗 萬代 勝 代而 當 布 寶

御務會緣起於大佛殿行之

敬! 白 二嚴合那之臺 講演 :身光 矣伏 詩 世三寶現前 廣 照一世 法會 興 一界海 由 大衆 梵網 一千花 掛 畏建立 妙典,大意者夫以十身 每 釋迦遊 年 今日 士大伽藍· 大子 拂 大檀主勝寶 灑 普濟 花 藏 之砌 含那 緣

周逼 レ講!梵網與 遠限三天地 花 舳 數井摩訶薩 勝寶七年五 四年也) 藏寶刹 聖 法界含那 武 皇 帝 所經 金蓋 公旨 釋 月二日,至二于嘉承元年一、保延四年所、經三百八 聞,心地玄門一結二 世 梵諸天護法等照臨影向證 三百年 納二於淨滿 尊干花百億釋迦尊善逝 增二花藏界萬億 天平勝實七年 ·心積,一年代,一而久修 蓮臺,自以爾 戒 主 而 八臟軌 月二 已所 以 網 日一 一方諸 二御態 知誠 以自:被 每 永 X 年 期日 連 先帝 | 矣仰 一个日 如 移 來 天 45 御 塵 分 於 願

枕 網會緣 旭 於一般壇院北堂一修之之

願

-謹乞誓

藍 敬 殖 年 泇 大志者夫以 III 遊二大 月 八町入二子各十三大寺一經二將 二於廣切,十身之果證 今日介」講二 梵網 大檀主勝 世 限一天地 (千)以普濟。有緣者,矣伏 一諸佛 寶威神聖武皇帝 + 會 身舍那放二身光二而 | 庄||嚴尸羅寶殿 現 一開 前 與旨 一大衆每年今日拂二灑木及紫檀 "心地之玄門」結" 二於妙 者也伏 受 二講演 奉二為 來世常當周忌 永期二 惟中宮聖母六度之因 尋…法會與由 廣照二世界海 者 也 和中宮 杰 戒藏之軌 網之妙典 ジェ 聖 建立 一報思 網 या 花 毎 伽 勝 新 釋

> 給御願 花百 矣自 寶五年七月十九 億 代 爾以 成 . 而 就 迦 降至...子嘉承元年歲次 給乎 館三 八被、修二御態一者大衆悉知二其趣 世十 日 E 方諸如來塵數薩埵諸共證明知見 遷 一於雲路 丙 戌 金蓋 一所〉經三百 赴 於淨 仰願 年 也

梵釋 玄通 三世 至心 花 勸 加 方諸如 請 分 光 護法等文 盧 大士 舍那 次

亦 亦 如常 梵網 次勸 向 19 NU 百 請 億 果 地 諸賢 釋 甚 一妙典 迦 尊

四

Ŧ

基慧日 誰蹈 梵網 以區 梵 能 意者夫以赫 將>釋:此 b雙覆載之功豈可; 思議 而得〉津三乘聖人 仁結二木叉網 別所以 "其境一乎仍本師遍 日 三於法 揚一降 盧 經 舍那佛說 自非心 々蓮臺趣二三界一面秀時芒々花藏開 界 而 略可,有二三門,大意釋名入 擬有啓 旦戒 於菩 而 並 不、漏 井 赴二 地寶階 提 心 人樹下 知開 地品 眇 道 矣今此經是諸 12 月澄、影惑霧披 二心地門於紫金宮中 無、登其臺不、全尸羅神 心地 以連、鑣善護之身聳萃無 故四生迷徒 詠 於因 文判 佛 兴越 本 骨平恢 以 源 衆生鴻 1 無 異流 初 12

第二 故 下流通分也文々句々具如二經文并疏記章文 迦牟尼佛下是序分次釋迦牟尼佛下是正宗分後如 顯二十重四十八輕戒一分為二序正流通三段 品而成,上下卷二即上卷明,地前卅心地上十地 本有...一百一十二卷.六十一品之中此品第十心地法門 此品別號第十者 佛後佛所。誦持一學位大士豈無。 諷詠一哉經大意如〉此 質所以有 無…惡不.載 題目者梵網經者一部惣名盧舍那佛說并心地品者 有心 制 肾 次數也故云。第三入文解釋 止 人,,佛戒, 共六道四 之名非公空無言 善不 生誰獨 心修孝順 初個時釋 不 之道 ン歸 此經 下卷

延曆僧錄文

奈良宮御宇後太上天皇仕奉尊父功臣大職官正一位政事居士傳贈太政大臣正一位藤原布比等

家國 賊臣 レ畔行 大臣 滿、路治 國 何 藤原鎌子之長子居士事、父能盡,其忠一々孝居、懷 而 爽勤 . 御宇後太上天皇仕奉尊父功臣大職官正一位內 一年風不り 讓 ||、國五年變|| 戎衣||而為||禮衣| 治| 為...孝子.. 途得... 君王下 ル路治と 王奉佛真 鳴 國 三年路不り 條雨不以破以瑰治國二年耕者讓 俗無」違恤、寡哀、孤專同 顧黔黎戴仰 拾り遺 治と 國四四 國六年廻二 天皇常言 年 : 赤子: 副 歌

後,云々後,云々

東大寺長官居士傳大納言春曹府傳

之里二云々 三寶梁棟清廉奉」國約儉 、風取則三槐宣,, 威九棘, 賢王耳目聖帝股肱五爵規 名於千載一流二美譽於萬年一家傳 政皇后納 居士正二 言歷 位藤原朝臣繼繩先考右大臣諱豐成始 ||奉四朝||衣||纓六代||龍庭趍| 步鳳闕 理 人 民 忠 居 ..四柱之名.實稱三三臺 レ懷擧朝 推許 天 播一雄 平 模 承

性靈集文弘法大師供養事

獎苑業霧籠焉久迷,,方於還源, 長醉,境乎歸舍,幸因,,赫日之臺攝下之迹不、息自用之歡何窮矣空海等念雲云何我心甚近本來無、去鎮,,住滿月之宮,如今不生常恒弟子苾蒭空海等歸,,命三寶, 法身在√何不√遠卽身智躰於,,平城東大寺,供,養三寶, 願友一首

同學二情霧 獻二等一伏願大慈不、拾納受惟香大小添切奪卑効、力 外警之緣內業之力一覺二狂想 | 明見||曼茶|謹疏 一尚 1. 聖智 僅設 二巖飯 供

天長元年三月二

交 海 疏

知識花嚴會願文 一首

素質開構。信解之神變一憧幡表一菩提之勇健一六樂俱陳 事畢從、爾已還星霜空往能事闕焉退顧,先契一激一揚緇 唱|隣里|勸|道俗 之功,所以乙等近憑,消,調於眼前 雲之上,誦者乍入,大日之輿,奇哉覺帝之德異,乎經王 大方廣佛花嚴經是也 越有奇仁號之後度身遍,於塵刹,心等,乎大虛 八音共奏男女為、花人天獻、香珍饌滿、堂展、三尊、伏 仁十一年,奉、寫,花嚴經一部八十卷,聊設,法莚 不、失,執儀一思心無、越」規矩一無越之範其極誰矣所 治,四生,早超,愛河 願 三如意之身, 实圖二一利 以一斯白業一奉一答四 一合、絲成、樹聚、塵為 事理無得 恩 逝者化 一同證二 一多相融歸者忽飛:青 為二金剛之躬一留 一遙仰一薀福平命後 道 竪及: 五類 Ш [謹以二去弘 一供講 談吐 謂

佛子平崇歸命稽首白、佛言塗、土補、堂之人由、 正 地一請一乞所司一此文字朽失不、知。員 >木或充.,堂字,或為,佛像,東大寺內西南之隅占.,空閉 移一修此講,然而貧道之身有、願無、力遂自入、山乎採 及"其期"以"八講"為"其名"及"第三"又加"修 ▶恩同十年冬始講, 一乘, 供養雖、微信心不、退剩四 供二養滿寺諸僧一 生善之心,自,,天曆元年,及,,子同十年,每月一 也弟子今陳」往事、三寶諦聽六歲別、父十一出家及二十 」道除、草掃、寺之輩是以生、天織芥之善妙果不い 多念佛之僧不、多而纔借…他屋 念佛,此會不」斷漸十四年爾時作,是思惟,聞 三年,便具,足戒,隱分營,積功累德之業,堅固發,滅罪 一法院 供養願 文 天唇七年大師入滅追 座席甚窄須"自建」堂 福之善粉 法之徒 日以、粥 阿爾 其得 旣 泥 日

対念往 如來像者悲母尺合氏受」病之時為、除、病故昔日發、願 彌勒慈尊像者故教授大 迦牟尼佛像者 盧舍那佛像者報:本願 病 已愈今賽一彼恩一銀令下尊靈叶中速證菩提之願 生都率內院一為、途一彼本念一也金色五尺樂師 酬。一代数主大師如來之德一也金色八尺 師法眼 聖武天皇之口-也金色八尺釋 和尚存生歸二依此尊] 也也

廧

慈雲以 養於眼 향 譜初 不可 遞唱山 月初 講一并惣州五年 演 色五 樂 悉消三途八難之門合, 惠日以照明 微壓恒沙之衆合, 五尺地縣 之初 生往 名日 思 四之 尺梵王帝释四 覆 一義天神地祇無明之醉 鶯 M 楊二其題 在背發、原隨二力可以指每年書口寫大乘經 **極樂** 護,凡此方亦忠令,圓滿 朝延二數十 131 必定失二 対念於身 和上聲幡 方今老病 名 仍去年 也金色五尺觀世音得大勢二并像 佛像者 大天王像者為護一持佛法。也 即移二八講1 箇之法侣·招·一二部之伶人·梵唄 像者為,自他法界同 蓋漫飜林花亂以添、色所生功德 寫二 相 所為諸經今以安置 迫生死不と知若不 長醒 過去考妣 後一是以青陽第三之候黑 于,今廿一年與11他 敬白 幽 冥靈界有い由 及自 共引攝一机 身 乃 心惣為二 シ設は供 子 典 一之業 已講 采色 法 採 所 毎

永祚二年三月十九日 弟 子

糕格 勅 主皆能 朕 頃者年穀不り 以,薄德, 恭承, 佛法僧卷中 豐瘦 或 一春人樂 重任 酒 頻 次家除 至慙懼交集唯勞罪 ジ弘 福 至何 政 化 修何營能 京等合 第²九 十九 多 己是以 慙 藤二此 舌 條 Z

> 為三國 天地二 明最 载懼無,以自寧 称.風 去歲 >知:)朕意,又有:諸願等,條列 所及遠人則不以欲一勞 於一憂愁疫疾亦令·除差一 流山通此經一王」者我等四王常來擁 嚴餝一氣盡~潔清 何、國僧寺施二 鋪一 弁寫。大般若經各 爲 王 普令…天下 勝王經 音生-一而永流 經 華 「雨順序五穀豐穰此乃徵」誠啓、願靈贶如」答載 |必擇"好處|實可"人長|近\人則不\欲" 薫臰 妙法蓮 一毎」塔各分」置 擁 求 護之恩被: 華經 | 案>經云若有上國土講宣讀誦恭敬 造二釋迦 封五十戶水田一十町一 延威 福 谷 二諸天一 庶幾陶護布二 告遏邇 放 高温 一七重塔一區一件寫。金光明最 部 所願 衆歸集 國司等各宜 務存 牟 幽明 前 庀 车 如一方 部所 逐、心恒生n 歌喜 者 自二个表 別と 佛 朕又 別擬寫二金字金光 尊像高 而 護一切灾障皆使 驛 恒滿其造塔之寺兼 增二 冀聖法之盛 尼寺水田 餝天下 已來至二于秋 丈六尺者名 闸 供 + 養

MI

毎 兩 Ŧ 뱎 國 護國之寺一 相去宜、受、教戒、若有、闕者即 造 三僧寺,必 命、有:計 十尼其寺名為, 法花滅 僧 其寺名為 須二補滿 金光光 - 其僧尼 罪之寺 明 四 天

誦 毎 月八 三戒竭時 日必應、轉二讀 金光最勝王經 毎レ 至 华 月-

諸國置,件寺,者每月六齋日公私不,得, 漁獲殺 生

司等官。恒加 三般 按

天神地祇共相和順 以來 先帝 靈長幸…珠林 恒將二福慶 一永 同 護 遊賣利 三國 家

此 願 太子已下親王及正二位右大臣橋宿禰諸兄等同 福一俱向二彼岸 開 太上天皇皇太夫人藤原氏及 尊 皇后藤原氏 資 皇

庶品 常衞二 臣一湖、忠奉 顧藤原氏先後太政大臣及皇妣先妣從 之靈識恒奉 同 二君臣之禮 聖朝, 乃至自\古已來至,於今日,身為 舒 愛網 國者及見在子孫俱因:此福 -長紹二父祖之名-- 共出 先帝-二塵範 Thi 陪 1遊淨土1長 廣介 位橋氏大 顧 群生通 各繼二 二後代 前 而

灾禍 願若有」惡君邪臣」犯二破此願 世 々長生二元 九佛法處 者彼人及子孫必遇;

天平十三年歲次辛巳二月十四日

一百匹

勍。

右學問 皇后宮職 僧等 衣 服料自今以後永為,恒例 毎年 宛

天平 十九年 月 # 一十八 務 大輔 日 少錄正八位上 正 五. 位 F 石 ĴΠ 朝臣 田 一部足 麼 島

勅旨可2有1封庄章之中

金光明寺宛 二食封 干 戶

下野 近江 伊勢國 上野 ・總國 河 國 國 或 図 員辨郡 岛 芳 賀 郡 削 新 百 百 戶富士郡五 H 五 旛 郡 那 高嶋郡五十月一万愛智郡五十月 五十 五 fi 十十月 戶

信濃國 常陸國 相 遠 模 江 國 國 筑波郡 鎌 磐 小 倉 田 縣 郡 部 部 Ħ. Ħ. π Ŧi. 1. + + + 戶 戶 戶 戶 戶

近 藏 國丹 國 兒 生郡 E 郡 羽. 五 +

但馬 丹波 國 國 百 天 $\overline{\mathbb{H}}$ 戶氣多郡五十戶 郡 五十

奉,一个月廿 天 幡 國 H E 那 刺一 Ŧī. 儞 件 戶 封宛 一金光明寺, 其收停期 播磨國 赤 穗 郡 五 ì 更 戶

待 勅

天平十九

年

九

月

#

六

日

應以勸」僧尼等學問 丰

學者實發神平 照 張情 性 温 工其理 致

百五十九

- 節: 其邪

心

除

東

人些:平丹青一餝 其盛否一若誠无、滞隨、能授、位 才,每年至、終申,送綱所,僧綱得、之追入,京內一誠, >今以後宜,加,勸勵,各分,得>所其成器者具學,身 干卷數一附一朝集一使5申一送所司一者必須一國師 自今以後具注一教訓成業弟子幷教導父某經某論 治部省天平十年十月廿三日牒, 偁奉 有"念愿,使、禀"受嚴師之嚴道,奪功業可、建仍撿" >无 > 學但撿束人情所> い身逾 難放蕩物心所以易及二其未及 三 乎脂粉 一人之立、身不、 ン勅諸國々師 一從 若 印

雜格課役卷中文

天平勝竇四年五月九日

往,,生花藏之界,而奉,含那之佛 D貢亦斷:天下語國養D 碳"冥路|臨"震極|而增>病對"月殿|而崩> 月 動大膳驗江人近江若狹紀伊淡路志摩等國久代已來每 微中臺所願 為二 一主者施行 常貢:供 御異味,今也 太上天皇, 並停自今以後无, 更 鷹因"此方便 太上天皇山陵永遷恐 - 國土安寧 先帝陛下聖靈 心仍固二紫 股有:此 分

天平勝寰八歲五月廿二日

郡, 遠年勿。役主者施行

郡, 遠年勿。役主者施行

郡, 遠年勿。役主者施行

天平勝實八歲五月廿四日

之計,先朝之跡欲、墮後代之法何住昔為,天下之主,最為, 排首, 者也而今如、聞近年以還綱維不、振庶務无復碩學繼、踵名德比、肩法藏秘鳥國家重寳諸大寺中獨殿壯麗佛像洪太如、望,,自在之天,似、現,,周遍之身, 况嚴壯麗佛像洪太如、望,,自在之天,似、現,,周遍之身, 况嚴壯麗佛像洪太如、望,,自在之天,似、現,,周遍之身, 况要、仰云東大寺者聖武天皇為,, 諸衆生, 創,,建斯趾, 宮宇多院宣旨

熟一附上 遠諸國 加 所在家殊加二 ν年稱:"荒廢:衰弊之萠無、不、據 季一人少一信心一封戶之使每人 家 之善根.乎 戶之物勘,其進未,全以進納 普曉,此旨,遍趣,慈心, 庶期 - 舉: 補別當 尊崇,今為, 牧宰 使言上復殊勸誘 誰不!檀越一雖」慎 相營一慰,喻預人,差,寄庄子惱,撿, 海 中之老 命ン致! 墾開 一盏 三與復 』後年之事勿ゝ違い期限,又 專課二治跡 國致" 乏異 三吾勅之懇篤 悲--頹落-が 仍須下 因 本願誓主弘聖深 茲遣□使諸國 是故 方今世 田 當年以往 - 然非--汝曹 蘭之司逐 奏,聞 及上澆 荒 封 公

延長六年八月廿八日

東大寺要錄卷第八終

此卷有:南卷,彼此比狡補、關拾、落成:一卷,了

裏云

廣仁天皇山陵奈保山葬

奈保山太上天皇山陵碑文養老五年十一月七日扇

東

大

寺

要

錄卷

第

八

馬腦石鴿之

,							il
							_
三	冬	養	所	太	之	大	
日	+	老	也	上	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	僾	
乙		五.		天	馭	國	
酉	月	年		皇	宇	御	
非	癸	歲		之	八	谷	
	酉	次		陵	洲	郡	
	撥	辛		是		李	
	+	酉		洪		垅	

陸案 八町東 地碑町之計厚計廣尺碑 町南西+也文數隨 一 二許高 熱北七4則之破御 尺 尺 三

冬 養 之 所 大 太 宫 + 老 也 上 您 目 馭 園 Ħ. 天 四 月 年 皇 字 御 葬 之 八 癸 歲 谷 陵 洲 西 次 郡 是 撥 字: 4 酉 --其 城

下 鵜 誤 撥 添奶

Ш 凌

[陵 文武元正之母阿閇天皇 奈保 佐 保 山 陵 檜或

照設高市

岡郡 Ŀ 陵

元明 完 皇 山 陵奈保山陸

> 佐育 保

山

一西陵

一日崩年六十九

文馬腦石高三尺許

養 冬 所 太 之 大 老 宫 倭 + 111 Ŀ H Z 天 馭 圆 Ŧî. 皇 字 车 御 西 H 之 八 葬 癸 歲 谷 陵 洲 郡 四 次 是 辛 平 撥 + 四 共 城

大倭國 御 谷郡 平 城之宮馭字八洲

太上 完 年歲次辛酉冬十二月癸酉撥 皇之陵是 上其所也 十三日乙酉

奜

取無據反駕也

御魚糠反與

武

皇山陵延喜式文

南 保 北 Ш 七 南 HI 陵大和國添上 守 戶 五. 烟 那

兆

域

東

71

段

西

七

H

太皇太后山 陵聖武之母

佐保 ili 西 陵 兆域 東 西 干二 町

南 北 十二

町

光 明皇后山 陵

守 佐 保 卢 Ħ. Ш 東陵 烟 兆小也又十位 兆域 東 町

西

四

段

南

北

七

HI

歷錄 第一合四卷 可レ考

成務 天皇 山 陵

泰·大和國狹城層凍池 後山陵 大和國添上郡

景行天皇山陵 葬二大和國山

TE 仁天皇山陵

邊

郡

道

Ŀ

山

陵

大和

國城上郡

崇神天皇山陵 葬...大和國添 T

那賞

原

次伏 見 野

山東

陵一大和

國添下

葬 大和國 111 邊郡道 勾 上山

凌

大和國城上郡

百六十二

開化天皇山陵

遷,都于春日,是謂,率川宮,也春日率川宮

葬,率川坂山陵

懿德天皇山陸葬」畝傍山南織沙溪上陸一 輕曲峽宮 葬輕釼池島上山陵境原宮、(五字在異本) 、上十八字依異本加之)

孝靈天皇

孝安天皇

黑田廬戶宮 葬,片岡馬坂山陵,大和國葛下郡

孝照天皇 室秋津嶋宮 遷二都於室地 |是謂||秋津嶋宮| 葬二玉手丘上山陵

禪院本與書 葬: 掖上墓田山上山陵 一(按式墓田作...博多)大和國葛上郡

真言宗阿闍梨寬乘勇

仁治二年九月十一日以,他筆,書、之了

東大寺要錄卷第九

雜事章第十之三

東大寺授戒方軌卷一最初戒和上唐大僧都法選武

第三講遺敎經章 第一最初法式章付食堂法 第二授沙彌戒章 第四語三師七證章

第五授大戒作法章付入壇法第六說 第八尼說戒相 相教訓章付六念五觀法

章

第九請說法主章 第七尼授戒法章 第十請依止師章

已上二條通,用僧尼

(右目錄雖不符合本書內容令姑從原本不削之)

最初法式章第

干人例得度師主某寺某大法師某甲點即度緣奴 >對"勘之|合進"度緣幷申文三枚於三司使| 即受者沙 狀,東大寺別當與,便威儀師從威儀師省寮使,相共着, 先着,東大寺一放,諸寺可,集受,者牒,次依,僧綱牒 爾命、申二法名本戶俗姓名一依二太政官某年月日符一若 座戒壇院中門內,而依,官書寺解文, 就,,得度官符,將 省使

大 寺 要 经 籺 第 九

堂

西

房

前

问

育

立

並

小

九

人

對

和

上

向

階

石

立

『中用』之堂達打磬

時

墨

上齊

立 不

並

和

到

Tr.

本

審

卽

廻

立

時

"最下

座 和

小

立

小

共

敷

座

必

大

+

師

東 並

人

座之請具為法 擇 衣座以為 具 為進 灑 寺 文 達 僧 所 次 文也六 法 時以1 水囊 等 大 綱 爱 舗 定教訓 隨 作 請定 等不如法 小 使 增 小 全年" 此 沙 云 未上相 同 + 連 + 7 時分師 彌 m 《使 放 大 一請 々彼受者生年 使·押書達獎 師 徬 師 口 口呼:宣誓 所 已 淮 於 + 可 立 書 一次堂達 + 和 二律 授 師 二講堂 師 老 集之 就 之 上 枚条取 + 文 供 名 小 羯 小 為 押 年等堂 師 牒 行行 牒 帳 摩 + 依 前 座 示が満 主 師 説 人詩:和 師 定 之彼 持 次 但請 律 次 師 上 座 當 淨 削 二置 文 初 次三 H. 八為」番 尺 主 口 此 = 次各 敎 座 定 東 列 座 以 介 进 上 廿歲-見 最 相沙 訓 為 Ŀ 時 口 寫 西 日 後 師爛 着: 內 後 南 亦 入三三 思北脇 某寺 房 12 旣 和說成房 皆細撿 H 着 口 邊 二人 寺 畢 者及 衣 敎 Ŀ 請 主上色 堂 國 衣 座 12 同使一行、之分 着此 一金本 經 及农鉢非八為,中正 達 次第結番 衣名 寫 師 12 講 座 之 タト 用依 ·五人授 師 取 次 師 印京 上以 葛 依二 捨 時 了蔣四 次 放 酾 如 戒 法 帳 寺 針 次 法 人 解 座 文 筒 座 次 座朝

脇 分 向 = 打 南 磨 立 上羯摩教授一次二生各取奉自餘不,注: 十待 諸 師見 集大 少小 師 共 出 立 出 每堂 音 之 堂 行 厉 房 ĵ 而 人 前 前 南 房 師 具 座 座達 達 旣 着 去 如 置其 時 階 西 同 為レ 加三實撿 令堂童 敷 スン堂外前 撰六 全之次最 脇 到 座 次 石 和上 法 Ĭ 時 (定大十 向 東 例 請子 先出 次 威 此 ĺ 階 刨 座 次 打灣 從 立 食 南 本未 女儿! 十師中堪能者。前和上羯摩在前 本 石 ^企堂出 | 整所| 打磨打之六種 一堂向 小 還 を一を 並 - 當 乞粥 後下 分 入:宿 之時一十大不師 近. 向 時丁 威 為レ 所 日 ::堂西 還 入、房次、之大十 ľ i 而 儀 + 座 瞎 九 の為三六 前 次 北 立 房.丁 後 A 師 小 前舉 和 並 請 和 順 從 列 供 万.行 指 立 是 Ŀ 三和 拜 儀 其詞 之寺 ĺ 盤 師 卽 出 大 種只 悔 禮 拜 海 師 次 E 後導和 西 天竺 + 堂達 立 以二最 前一 =座 師上 唄 同 達 [印] 師 ľ 音下本照 至 次堂莲 着レ 大 時 公育 亦隨 餇 亦 申 師 到 師 行 唐 房 F 施 Ξ To スン房

等在別

達

打磨

種 座 立

師

發 堂

水

共

食

堂其

童間

千包

分者

師以分

食 50

兒 詞

願

申

唱 綱

供

ĺ 條章

起

座 座

為

先出

= 堂

為レ

小

加 前

師

諸

德

自

身

為

面

禮

幷

四

人 次

到

食堂

1 之

師

房

鉢清飯

到

先打

灣 童三

里子,打公之一度以二堂

陆

時 戶

前

堂

東 小

本

房 大

西 同 食堂

剜 形 第

次沙彌 唄下音次表白 敷 鉢 南 師 先堂達等 召::入受者:依 方御塔一 草 各座 起 共入と堂證 座 戒 座 置= 和 Œ 小 自 上羯磨 南 八共立 三西 衣 亞·成之一北中戶參入當,各座,登座了一一成之一着,平袈裟,不,持,香孃鉢,俱三下一一一大,香孃鉢,但三下 師 鉢 橋 Ų. 捧 番次第 修 着"甲袈裟|執"香爐| 香爐 即列二 下= 威 立、階一 儀 並 三三拜 行南 着 座 手提,香爐 次羯 垣壇 方一自南之東 埴 To 如文原之 廖 東 階 師 打響 命>持二三 已了 使 座 = 西 次 具 橋 弟 ,先擅 禮 衣 登共 如 子 座 忠 等 衣 來 並 堂

答同音 奉持沙 依 彌 レ誠 次請 上大慈,也 戒和 鋁 頂 磨 戴 上上 請 師 彌 奉請文云大德 持 舗 理以 所以 事後和上還請,羯磨, 羯磨云發,得沙克克與醫師請,和上,羯磨一對應到如文陳之 戒 願大德為以我 戒,慈愍故三說和上答云受,汝等所,請受者 和 致 自言可:事請 Ŀ 必奉清 次和上云 ·得\戒者也所以某寺某大德 起三 和上者也某寺某大德 作 一心念我某甲分請 拜唱:,我某甲,時 發一得戒一 二沙爾戒和 一依、未練 只非二 Ŀ 一佛 我 法 各 和 依 大德 傳言 彌 稱言自 為 E 大德 戒 一汝等 為一次 獨 為沙 分と 依三和 授 名 故 _致

> 拜 師 任 受以汝等所以請受者答云頂戴持羯磨師 我依:大德! 戒 一寶次音勸 歎 羯 T 奉 二佛 層阿 沙 レ請文云大 一戒德一少々脱次申二佛名一任意 說 擅已了 彌 -授-戒體 閣 戒 梨上 請懺悔 故 揭 磨 德 願大 加 三歸,如文次授,戒相 發願 受一沙爾 閣 心念我某甲 德 梨 為 ĵ 、次了於し、 起 戒 我作二沙彌 -慈愍故 合下 拜 次廻 戒 唱 有 請 向 十戒 我 三說 云今奉請 一戒躰 戒 大 某 次 羯磨阿閣 」如文即 羯磨 德 41 戒 詩 師 為沙沙 相 共立 示現前 師 自各 一个 答云 名所 羯磨 彌 先

講遺 教 經 章第三一令必為沙爾戒次作 μĵ

レ異

先

等沙一位次中心大学 堂內壇 ル座 裟 敷レ 打鐘 只講 一廻三行 次 不いかり持川衣鉢 座 講 具,,草座 F 師 師 南 次擅南 一人著,,甲袈裟,提,,香爐,分,持,,衣 自 方之東橋 東西分と 三衆中 | 令\登: **企**立一 香爐一講師 一起自一壇 居了 昇」擅先着 禮盤高 佛 次散花以 次大小 名 禮盤 次第 西階 俱共自 座 | 令:| 合音| 二丁自餘 高 下一手 |禮盤|三拜次昇||高座 登 師共入り 座 二北中 提 次受者 聖 諸 靈成 香爐 行道 戸ノスノ塩着 堂 德着二 鉢 時如 等 T 從 一入堂無成 覺令 平 匝 者受 袈

層

自 師 法 令 音 初 在 八 般涅 住 打響 利 誦 披 一般遺 講 有 出堂 講 南 師 信 經 無遺 殺 表 次 白 妙 教 P 五六反并提句次廻 經 典 朝 次 下音 勸 安 次大小十師 £ 請 南 經 懺 墒 題名 悔 無 寶壽 持 丽 次開 共出 后 戒 H 次請者 發 那 伽 題文 井等 藍 願 安 以 但 同 御 穩 此 不 音 願 天 講 後 成 10 演 爲 領了 辨 豐 乃至 觀 樂

奉請三師七證章第四

徐進 東遺 立商 請之三請:教授一師講之四 申m態大十 奉,請:其三 九打磨長打初 不西受者 內 起 階 H 此 石 門 ·增堂 少十 步 內三 申 韶 西 別著 師 八第番數 師 此 甲 畢次 西 遣 ii. 各 近廊 亦分、四 三堂 1 一番 證。者先堂達二人引。刻 使專寺 五 R 沒 打 人數之事了 前 僧 鐘長打 12 |執:香 也 如 東 座 起 當 別當 西 斯東 居禮 請二七燈一 請和 次和 別立 堂前,各受,香爐,暫間 爐 相 此 西互入並居 拜 座 次堂 共而 上大 三般 時 上 彼 具係 二 師請之 其詞際 座 師 137 -译 召:入受者一个後列見 自 師 請 而 八口少十師 師 共引 已是 -和 左右 同侍」之一次自 Ŀ 南 刻 則 房消 在條羯 廊 示東西 衣 從 別置 之將 內階 磨 鉢 到 西 息 教東

> 正申目 清 答 堂達 之也 向北北 弟子 並 察官人俗類於二中門外一暫令>立之事」至二于 交名,各 方受者爾 手 請師 敷 合い 達 小十 只僧綱 即自 座 並立先東堂達自了東方受者 13 々方々技:合受者名 H 僧 條文 具 所 師 許 手 次 人々分立 番叉東堂達白了都 取 向 各五人分: 立東西受者後 使三人專寺 東 堂 西 履 持 堂達各引,率四 教:語受者,令> 移 二置 爐 別當等留座 座 起 面 合 北 居 12 爾許 即還 之時 爾 口小十二 奉二詩 拜 許 但 中 人 番 鉢三 到 一句:前跪合: 堂不 菛 次分少告上 西堂 師任 等去戶客 之 內 開 師 門之中 平 達白 座置 僧 次 近世 - 潮 - 清 願 间 而 7 示 策二 間 H 省 西 卽 育

ル由 **介**清 時各 先至誠 德,故得、受,具足戒,慈愍故三說致令,下下 和 聽 悟二方 奉レ請 東 以發言得 稱 第 軌 起 三和 德 座 故 飛法 故 名 一度奉拜 以以某寺某大 Ŀ 為和和 傳 得具足戒! 正 理 東 以 言介と 羯 谷自 於發三思· ·作:胡跪合掌言學·答申 小十師令·申:南無·拜了令 上。願大德 磨 師 重 德 提 根 可二奉 心 為下汝 香 也 為 文云 爐 至誠 也 我 請 岩 等受 唱 大德 作 之詞 不 奉 者 三和 三具 也 凡 請 請 E 居 上 跳 所以 唱:我某甲 足 諸 一南 禮無 戒 我依 念我某甲 然 師 奉心詩 者 山 和 未 ME 諦

許書受,汝等所,請受者同音答了頂戴持

德 受者等所以請東方受者答了頂戴持 善 戒善得。生故須、增上重心於、戒師所, 方發, 得無作戒 爲二汝等羯磨阿 等羯磨阿闍梨一西方受者次,之第三座以,某寺某大德 餇 受二四方受者等所,請四方受者等答了頂戴持 大德一為#羯磨阿闍梨』願大德作: 羯磨阿闍梨 | 我依: 大 In 閣梨是受戒正師者此師不ゝ康羯磨正法無ゝ由 」故發,,至誠,以奉、請文云大德一心念我菜甲介┺請, 一先唱詞日東方受者從、東第二 一故得」受,具足戒,慈愍故三說先東羯磨師許了受,東 呼 阿闍梨一東教授師 閣梨,先起三度奉、拜命師"次唱了羯磨 提一香爐一奉、請一 座以,某寺大德,為,汝 西羯磨師許了 二法界 一羯 磨

心 珥 師教授引導開解合、至一僧中一發一得具足戒 三請,教授師當西羯磨師提,香爐,請,二教授師 」請受者經了頂戴持西教授師許了受, .受,具足戒,慈愍故三說東教授師許了受,,東方受者等所 閣 一奉」請文云大德 奉い詩 答了頂戴乍居 三教授師 ·先起三度奉、拜南無, 一心念我某甲合产請二大德一為事教授 西方受者等所以 次唱了由 -故發:|愍重 唱詞日 此

> 持年、居一禮已了 大德 第六物答許了諸大德受,,諸所請,東西請者 >受…具足戒」慈愍故三説作>居一 亦互為,證戒尊師,故至,深信心,先起三度奉、拜命。申, 師一西方羯磨師承山羯磨一時東方羯磨師為一西方受者 磨師承. 羯磨 師 願諸大德為 我作: 證戒尊師 請文云諸大德一心念我某甲今請,, 諸大德,為,, 證戒尊 羯磨法非二是獨承能成一七證尊師驗證無> 成二羯磨法一若論二其德 請 師 一時西 西 敦 「方羯磨師爲…東方受者」作二證戒 授師 - 與二上三師一齊等說也然東羯 提一香 爐 禮南無七證衆中第 唱 我依二 令 諸大德 答了頂戴 放得 質 師 尊 得

正受大戒作法第五

廊 座 橋 打,鐘將,入,堂之 自,近廊南階石,指,堂南之東一戶,行至向、北自, 撿,丁次以;,東教授師; 爲;, 引頭; 行步徐至;, 壇堂西近 登壇 一時提 授||弟子等||了其引頭猶提||香爐||廻至||壇南之西橋 下階指 …手香爐」着…淨履 入、堂之時 ||東北| 廻行 爐 三衣鉢座具草座淨履一 先講堂西 一丁弟子童子撰 一,, 匝之, 次香爐各當 近廊北 大十二 留廊內 各加 師 行 列 本 東 實

拜 也者 了大德 授師 連 和 師 問 和 \equiv 立 垄 了不 紙 交 不 答了為 合 僧 向 拜 同 前 也 單少 向 包丁 名 問了 别 Ŀ 作 和 自白 反 來者 亦就〉座 東 巫 起 竟 授 Ŀ 座 北 禮 廻行 時 具 未、受ii具 請 即名 聽 某 為レ 策 問 次 我 刨 度 寸 說欲 到 和 Í 彼 某 K Ī 和 取 申 也 座 唱了 僧 東 皆 上 僧 打 某 番當 上自 甲 塔 等 引 自 短 具 敘 答了 集不と 忍 就 甲 西 別 能 番 北 頭 餘 等名從二和等名從二和 作 足飛 授 聽 正東 爲 無 下歷号 是 此時教授短宗 上東华疊,了 工東华疊,了 T 手 本 禮 引 西 敘 東東甲 師 受点大 打磨岩 別 座 ĺ 方 郇 一說欲 VG 師 起 者 R 羯 竟 師 自 前 轉 短軍 到 了如 和 出 為其甲 機 短 短 短 短 記 計 請 帖問 最 戒 磨 南 此 丰 者 |入||其名 答了 師教 名授 上某 敷 羯 で未と 寫 後 方 抽 敷 次羯 時 羯 師 問了 層 角 帖 無下 答了 於三座 座 寫 彈 衣 座 甲 自 師 磨 始二 僧 具 鉢等 此 其 指 授ビ 一教授 命言 未、受,具足 Ĕ Д. 名受者 胨 與 相之 前 名和師 名 集問 為 再 奉レ 加 共次 和 上名作 同 作 參呼本循 東 橋 師 僧某受 和 座 俱 法 胩 旭 求レ 定立 座在 一致授 W 拜 揭 T 八 合 共捧 登 起 和 白 法座 教 尺 名堂 以 具. 戒 居 何 %授師 壇 雖達 如 者 合 許 到 師 前 一柱 師 教上 作二禮 字師 名 所 者 不 香 手 向と 是 具 堂 等檀翔 -卽 非 授名者 東 拜 持二 答了 爐 書 出 達 作 足 敦 唱 御 引 西 卽

教授所 敷前師 壇 某 許 略僧父 馬 難一 內 着 了已 還 御 具 此 北 出母 E 名 教 蘭 只介と 甲 着 南高 至 將 [印] 至 生 出佛血 十三難 專 座 並 無音 那 次 衣 一將レ 來白 獡 北 同 和 温 立 -次 為 並 只此 師 非 問 上 煙 持短 捧 分 遮等 鼠 今時座敷 唱 至 自 東 御 難 奉 持了四个 飾 外只 申反 如 名 將 遮 座 白 策交名 求 前 拜 教訓 三收以 起 師 來 此 難 具 南 是 _ 定 牌 東 一衣鉢座具, 智為 受山具足戒 羯 敎 略 助亦 是自 求 無 次 師 起 之詞 教取拜 持 磨 授 頌 哀 | 「店座具 | 中 說 第大五党 東 前 引 帳 卽 云 至 次 異 師 橋 發 說 ALE. 向 作 將 頌 別具 頌記 4日 獨 |外一个以間 ||受者 非 大 授 汝 條在 F 軌理 唱 邊 VII 昇壇 受者 别 刨 傳页 立 德 受者 和 戒 尼 16 ĺ V. 座 H 西 衣 自 僧 座 间 年 分 賊 と一つでは 並 事 僧 置 谷 還 鍋 出 那 鉢 £. 前 聽 面 奉 立. 破 南 時 摩 帖 井 至二第 閾 塔 當 座 申 彼 贵 小 申二稱中然由 各 父 鮫 舉 到 具名等 師 拜 柱 南 某 乾 外 羯 五. 取 僧 授 ジ手 母 **教授** 非 名 無 角 甲 磨 迹 師 = 具 忍聽 師 向 名 他 師 御 招 等受 一戶前 非 僧 樓 師 帳此 各悟 向 収 奴 命上 ij 名者 師 座 衣 次 畜 小時 受者 削 至 我 官 從 次聞 問 十呼 彼 鉢 北 和 也 沂 H 持 非 去 受 丈 師 玉立 放 敷一座 座 座 吳置 上 聲並 逆云 廊 大 度奉 南 問 受 和 者 + 僧 殺々 名 稱 無 遮 范 向 Ŧi 合

出 授頌三人輪轉為常自二 受了 スニー 磨 45 當 助 教授師立寄教介:起 白 %帖:座 師 問問 我 此時 |國外||向> 我某甲 教二示 慈愍故 鱼 人鉢上一丁分工作 掲 刨 加奶 具一持点衣鉢 磨之間 三友鉢 次臨二 衣鉢座具 事座一起 拜三南說 二衣鉢師 西次廻二行北 說,此 座 初 無生居 夜一卷二說 具係、肘出、 和 拜 拜 一將、到一作 此所 幕中 下三度當二此 每拜高 教部 名一再 某甲 教授 東 威 云 整南無 出還請 儀 問 師 相 - 轉行 拜 名和 々具在二別章」論説已了 堂了 衣 就別 時 堂即 南無此 t 師 時 御 到言 而自 參 前 間 此具如:別章 菜教授師羯 爲二 但不、稱"井御名 難 四 壇堂西脇 所 立署判了即立 前前 - 詣大佛 取二六念文等 所待 四 Ξ 和 遮丁之詞 作揭 司前 西 師 橋 磨師作 願 人作 一被記 入= 下 僧 次 一分下 を擅 閾 記 文

說 相 訓

爐 削 南 至二初夜 堂達 座一先 衣 金 间 起三 持 本 座 申 一洪鐘以 二說 座 具 拜 俱 -但 二共諸 自餘大十 師 -前 - 長打 先打 師 共 座 千 :院鐘二 時 師着 師 說 下 入い堂竟時 相 平 層 師 F 壇 袈裟不 時 打 受者入り 巾袈裟 說 相 禮 持 堂 如 持二 就 鉢 华 恋 塔 香

> 別本章文 觀此 文了佛 次神分 如 中 《光說 名四 種 12 大寶作號 相 Ħ. 說 反誓句任意是則 法如文說 法眞 四 神言 重 分心 四 彩質 次 喻 後誓佛 三淨事 次說 安 授。具足戒 名次 (居事 四 依 誓句 依 JŁ 任意次 大事 次說::六念五 具在: 別 表 白 在具

新撰 布 薩 戒 東 大 師 作 法 戒 但 壇 小 授 %十 戒 方 29 日及廿九日 軌 马 行

維 那 云僧差 盤 福 誦い 云 戒 R 師 云 我當、誦即 立 至 一佛 前 三敷 禮座 真

戒本 着一禮 同 少比丘菜甲稽首 酾 者指 授 說 次 和 登 南 敬白 高 座 大 衆僧 次 闸 差 誦 次 律 香 恐 水 打 時 レ之次語コ 錯誤

願

稽省 毗 薬 遊 減 護 TE 聖 欲 户 僧 法 禮 善說 12 迦 法 諮 所 殘 葉 法 佛 障 衆 毗 戒 及 法 戒 集 如 世 含 聽 物 比 海 亦 咸 尊 留 捨 我 無 如 並 丘 說 殊 物 不 衆 欲 今演 如 實 如 那 集 除 說是 毗 116 DO 生 人 含 天 毁 车 無 我 棄 尼 法

東

大

寺

次略神分了	戒經爲上最	衆星月為最	淨穢生安畏	如兩陳共戰	好觀生欣戚	毀戒亦如是	勿合有毀損	欲得生天上
至佛前誦云	如來立禁戒	衆聖佛為最	世間王為最	勇怯有進退	說戒亦如是	死時懷恐懼	如御入險道	若生人中者
	年月々々説	一切衆律中	衆流海為最	說戒亦如是	全毀生憂喜	如人自照鏡	失轄折軸憂	常當護戒定

錯誤一願 少比 丘菜甲稽 衆慈悲布施歡喜 首和 南 敬謝 大衆 僧 差誦 律 三果不 動多

次 H 沒偈 了去了

當願 白 是故衆等 衆等聽說 此身 勤心行道衆 念々衰老 日沒無常偈 一念之間 修道至無餘 此 日已過 如何 可 命即滅消

大乘布 薩 作法十五日及晦日行之之

大德衆 維那云 一禮蝴跪 差誦 衆差誦 合掌可 井戒 、戒々師云我當、誦 レ申我假名并某甲稽 恐有: 錯誤 卽 願同持者指授 立 至 首和南 佛 前 敬 敷 說 白白 =座 次

> 精進| 慎勿| 懈怠頻惰睡眠縱意| 雖 、復壯色不、停猶如" 奔馬, 人命無常過" 心 當、知此卽是大師若,佛在世一無、異、此也脩以難、生善 如二貧得心實如二病得心醫如二 羅提木及1々 盈., 大器, 刹那造., 罪殃, 墮..無間, 一失, 人身, 萬却 登 大德諦 難以發放々莫。輕一小罪一以為。無殃」 以空過,徒失疲勞後大深悔終無、所、得衆等一々 存明亦難、保今正是時衆等應,當各々一心勤修 座 聽佛滅度後於二像法 次 唄 12 次 香水打り なな 々者 即是此戒持 之次 囚繫出口獄如二遠行得口歸 中一 誦 夜則 一戒本 唯應、尊加重 一勝心 時 云 水滴 於山水1今日 如二 存..念三寶. 雖一微 珍 闇 過以明 敬波

不 漸

衆當 是 能 有罪 合十 謹 如 佛 放 逸難 依 人馬 破 猫 口 -指爪掌 煩 說 此戒」如以法修行 一心聽 心悔 惱 敘 禁 不 調 軍 戒 制 設在 善禁佛者 "說 乃至 後更 供養釋師 善即受敎勅 莫後罪 煩 小 能 切 信 戒行 罪中 放 惱 亦不 亦如 心 亦 我 今欲 馬 應 如 守護戒 馳怠 変 馬調 天怖 獲 利 說 示 戒 伏 勤 道

淨命

能得清 次略 神分了 至一佛 前 一誦 云

我假名井某甲稽首和南 多有,,忘失,惱 二 大德 敬謝 一願 衆慈悲布 大德衆 施歡喜 一差誦、戒三 一果不 動

神分了 次 日沒偈 丁去

自念作法

恋於其中 歌喜云 大德億念比丘菜甲從無始以來至今自 喜頭 12 間 三業四 儀衆多不 善惱亂大衆願衆慈悲 之 前若 布過 衆慈悲布施一衆慈悲布施

次維 那 洗 籌頭

菩薩聖 衆僧 手 頭今 年 大夫衆和 小比丘將、水行、之 香水浴淨籌 É 念度 深生

八功德水淨諸塵 切衆生亦如是 洒 掌 去垢心無染 執 持禁戒無缺 犯

阿彌陀佛國

各至 那左 = 座 位前一說 手投 》籌右手槌 ン之不」得! 時

和 槌 打 頌 E

> 各於佛 佛 陀佛名 子等部 法 1 3 聽此 清淨 誦 出 家自 住 打 處 态 自 E 念 順 佛 出 敎 家并在家并都合 四 恩下為含識各念

岩干

珂 彌 前返來槌打云 切

次佛

如是 奈 本 第 二 第 三 亦 大德 罪! 大德長老哀愍故語> 飛僧今日自 恣我 北丘 我々若見と 某甲等亦自 罪當 [念若有] 三如ン 法懺悔 見聞疑

寺僧 往上生 障雲消亦道三三途 子諸宮福延二 寶 渴 仰大乘 共宜 生若不、發。出離之心. 情等自惟流 敬白諸佛 資ニ益天龍八部 伽藍處 子等合 我等大師 前轉生死 長刧乃由、不、遇,無上慈尊一个 萬葉 |使||威光自 掌 一灾殃自 一打 主 師僧父母常保三 釋迦牟 心聽 恐還 持二傳卉戒藏 此 於廻"此功德於" 裟婆 在 流浪故於二 · 尼遺 南 - 皇帝陛下聖化 閻 泛浮提 法弟子出家在家并 安樂 H 此 願以"此功德 本大 H 見聞隨 和 用』意三 國 窮太 喜宿 東

為 諸佛子謡聽衆請: 自恣 同 "衆受自恋人」某甲 學衆中有下未入發二升心 佛子等語聽此井戒藏三 為 = 衆 羯磨 未ル 世 焚 一、某甲 一諸佛 香 更一諸佛大乘 師 同 為: 衆受自恋人 說 世 戒 諸 ~ **井摩訶** 井 一三打說

東

次 料 揚

南 + 無 登 震 佛 平 諺 成 成 自 IE 恣 覺

> 合 法 人 住 利 有

> > 情

大 毗 伽 藍 耶 藏 安 基 興 深 妙 Œ 法

> 天 聖 豆 F IH 朝 安穏 那 艾 等 穩 出 來 增 E 守 寶 豐 護 樂

所 成 優波 離 尊者 典

喜 維 云 那 z 僧 授籌平 次 大 敷 衆從 = 座 跪授 具. 第 澗 臈 槌 次 箔 打 云 大 衆 喜 已集各 於

金 我 今 岡川 受籌 TH 1115 戴 稆 歌 解 頌 喜受 脱籌 難 得 初 難 黎 遇 生 如 亦 如 果 是繁 而已更

戴收

之兩

具 足 Yiff 淨 返 受此 雁 釜 具 足 清 淨 還 此

埾 固 棄捨 1115 缺 犯 切 衆 4 亦 如 是

云何 次 於 維 那籌 此 經 數 計 窕 自自 竟到彼岸 念 僧 數 和 願 槌 佛 皆 打 微

廣

爲

衆

生

說

太 E

一法皇

御

受

飛

記

圓

融

院

衆 빍 天 地 此

次堂 童子 次 維 那 佛; 间 散 花 以界等

> F 之法 い留 差: 奉二仕 寬 臣有 省-其農業未 兼 隨 卽 和 狩 回 侶 生 以 和 之以上外院司 仰 一御反 ν 新達使 候右大臣 錦 大內 宣旨 寺 年 = 作 豫 宣旨 為 內 「今」、差定、聴」、共低候、別當多議左大辨大江朝 「御戒牒状、第平法皇御戒牒中納言長谷雄卿作」之後。 「御戒牒状、舊貴」、也(一本谷下元雄字) 問 二御 命,差定 信 觀 月 | 往 | 還牒事 | 雜事. 等 左 僧 吾 --下 R 依:外: 衞 侶 九 有如煩 縣事,可、令、檢非違使訊 三,口無,度緣宣旨事,以 以,別當左近中國 以 門 侍 日 東大寺 ジ之有ど 日世 110十日 臣 沙 戚 亥天晴 故 一尉 步 長 日有:1御出1也 從一子 也就 布 勅 以流 瑠 扈從 欲 1 以 御 1 1 剋 で設二御船 | 以二公卿 左大臣 I A 孝 從 自 所 實 右 別 御船一衆制=監行之事。 後一先」是 牒 圓 省 衞 博 示 以 約 門 融 叡 為レ 寺 少 賀 院 慮 志安茂 茂 遷 本 和 司 共介 光 以下 國 榮 御

梯 寬 假 草成獻 海 m rg變,桑田之程, 似,身於浮雲,沫山區 誓と 智 和 爲 便正 明 P. P. 年三 早恩 之參 法 月 闍 士 赴」焰之飛蛾 之住虚空某甲 和 南 H 暗 謹 唯有 消 疏 於三東大寺戒院 計此 德香普薰 |字等 | 如''東大寺常戒牒'' 但無'' 煙 遁.」 黄屋 浪 應、哀言留、龍之肥鳥 之際 無憂花 而忘 寄:: 受,,具足戒 形 之跳塵 反明 於輕 3.1桑門 露 水 爱契 治師 鼇 部加願 妙

車橋脚] 寅 総 自言仙 南 署蒂 路 時 '甘 华 供 嗚 東 灰 衣白上 御 呼 來 遷 行 路 務紫 作 自= 総 Ш 老 以 絲 次 其 松髻等 辻大 來 副 供 婦 人 111 女 御 111 拿 路 御 重 出 書 儀 南 亦 自:: 相 是御 車 拔 扩 遲 1 到 仁 今 明 乳 侶 啼 和 御 為 母 馬 彪 車 條 舊 西 大路 仕 錦其 -11-門 為躰 恩 命 象 左唐 嬌 H Im 經 出 也 來 右 車 去 花 障 不 11: 子以 ጉ 车 鴨 天 以青 秋 河 堂 牆

舰

而

Ŀ

實 睃 左 大 臣 扈 佐 方 E 從 朝 近 T. 道 方 守 朝 臣 之徒 衞 為 長 泰 别 尊 番 某 仟 散 措 當 大 H 將 藤 位 別 朝 左 馬 當 當 助 沂 别 原 判 相 藤 藤 當 官 原 邦 衞 官 方 修 左 原 理 別 大 朝新左 昌 代 1 3 淑 當 天 臣弊大 中 將 平 辨 如 布已 季 盛 夫 左 IF. 務 袴上 位 懷 右 沂 清 大 右 江 親 别 遠 衞 朝 沂 水 朝 當 朝 衞 臣 臣 重 中 石 膨 臣 舍 及 兵 右 將 ナ 原 感 大藏 衞 實 將 大 157 藤 春 師 辨 咨 藤海納 權 番 गार् 長 原 朝 原聯言 權 卿 137 頭 時 權 惟 源信 尉 左 臣 朝 守 通 時 絡 通 朝神 為 沂 中 臣 殿 夫 朝 著 憲 右 臣 左 助 散 權 權 兵 信 由 臣 源 位 衞 別 137 原 中 將 當 乘 權 致 譜 朝 納 重

雅 157 僧 都 番 穆 算 귦 東 增 大 加 寺 뛶 別 梨 當 11)] 僧 TE: 寬 番 朝 奶 內 東 供 丰 別 + 加中 權 帥 律 性

> 高 河或等袴高供以可 漸 卿 左 寺靜重代 雕 所 亦凡布麗量龍 左壽 內見右 西 隔 師 **允帶端洞髮** 以 懼 門 延 或 相 辨納 橋小等疊端席 F 供 納 將 源 有 議 持 前 大言 **矣臣前御御**莽 江源 下 膝 院 云 舟舟 B 疊之 朝朝 源 今 原 弘、 前 馬 送 隻後御芸 朝 師 睡 御 朝 |隻各乘,二人,後舟||一個後立,,綠後降,清高瀨舟二,向||海後,養院,青班絹縵,懸 御 郿 H 男男 拭 覺 朝 寺 扈 臣 車 師 行 等 展 從 别 濟 權 召 日 也 者 當 本 增 1/1 清壽 水 肯 覺空 納 春 有 午 僧 言 圓 早 其 時 迅 權 藤 IE 歸 定 到 速 寬 大 定 院 原 揭 朝 湛 加 更 夫 摩 朝 違 别 臣 藤 沙沙 僧 v 治 华 Hi 彌 時 等 濟 原 橋 倾 早 候 融 花 朝 信 東 聖 臣 वि 寺 軒 臣 之 意 熊 重壽 南 觀 於 退 被 僧 音 非 加 歸 御 侶 春 仰 法 覺 院 師 刋 四 霞 靜 親 Zi

骨黑 閣 匹 束 柿 朝 寢 西 自 臣 殿 御 承 中 自 東 鋪 奉 風 放 納 耀 四 船 臨 出 言 綱 帖 縣 源 端 仙 樂催 議 朝 給馬 臣 淵 東 稜 Ш 枚 革 以 É 家院 T 洒 御 御 簾 掃 司 缆 舊 加 除有 籞 寝 御 召 土敷 便 之 IL ジ之 額活 帳 東 為 西 閣 供 雙 北 柱 御 供 翩 茵 膳 江 木青 之 御 東 水 形鈍 處 西 帷杇

東

大

花紫袋螺 物 枝藤繡细 十 戒之 容奏 疊 黑右鈍 綱 盤 所 岸 庇 盛 酒 世 仰 遊犬 毛臣 之舟 庇 市 汗 Ė 南 爲 12 時 卿 隨 立 连邊 懸 合居: 食 物 脚 組着二次 E 拜 士 家主聊 必 僧 御 於 御 **鋪龜** 便 臣 一伊 和 湯等用 打二平 其立 默冬 花 浴 具 俗 高 宜 泉河 東庭 衣 其面 地但以 座 殿 坏 字 御 簾 用 但以,,黑漆,留,,炒 南西南西 上 枝綠 時 張 渡 重 水 祇 朝 侍 爲 上面 上面 雜 膳 廊 御 瓶 御 候 臣 賜三衝 西 育 僧 含 宇 出 北 齋 飚 撿 傳 漸 矣 間枚 173 庇 之源 捧」之便介証大 庇 」頭」之進 繼小 非 大 灾 J 依 爲 敷 獻 爲 卽 給 持 重 違 納 令人獻 レ之者左 地 施 朝臣 鈍 レ之爺 之 仰撤 御 僧 同 言 含 使 及 青 平 色 艤 人 隨 圖 滿 源 座 大 籠 歷 鈍 物 所 纏 金剛 身座 朝 = 轉 長 船 御 薄 散 並 並 物 12 所 寫 石 大將 座 莚 臣 江 御 給 盤 供 用 舟 物 當 位 水 出-自 子 衣 朝 |捧置||青打敷| 前 長遊 艘 打 打 御 叉曳"斑 二御 瓶 東 并 國 藤 念珠 綱 臺 敷 敷 曳 贄沼 手 庇 齋 彪 檜 原 昇 座 銀 奏上 朝 口 破 班 產 牽 -人給 牧 池 東北 更 結納 連 載 臣 三御 器 上面 堤 袋藤村濃地紫 供 疊等 御 以 自 御 折 東南 御 慶 御飯 東 言青 三懸 載 依 受 縱 餘 櫃 艡

第

廻

間 懸 前 入 本 南

如御

黑 殿 所

東卿上並 東二 親等 三方懸 賜 班 Ŧi. 子 二此 願 主 Ŀ 東 南 舊之 帽 北庇 法皇着」之向 殿所 廊 間 間 間 奉 H 酉 北 饗人 寺一 額 共 曳一廻 南 判官代修 聖 丈 為 = 仕: 刻 壁 御 東第三戶 西 供 亦 間 條 主 到 定 簾 御 內 代 极 加盟 禮 - 日: 南 装束 東 為 纐 御 常 間 敷一兩 自 同 V 少寺 僧 屋 臨 三俗 堆 緬 之三帝 大 所 燈 為二 ジ・異 正 掛 二御 理 南 護 間 갂 軟 以一戒 權 行 殿上 道縣東 方立::廻五 雏 進 上假 皇 障 簾 面 帽 ジ前 亮 法之處 於 密 坳 物 體 Ŀ 倾 東 額 藤 侍 曳 御 觀者 所 壇 间 所 屋 省 西 御能 所 第二 及 原 簾 假馬板道 枚 于 其 院 供 為 誠 鋪 III 次孝忠 是也 滅 自 三梁 尺帳 表覆 食堂 攬レ 是靈 申 骄 爲僧 間 敷敷 擅 餘 戶 御 小 共 阳 T 縵 加 主 淚 前 為 院 非 E 假板敷-外 各 堆 **真代** 二本 唐 禪定 訽 作 曳山紫色唐 12 綱 北岸 炊 書 曳レ 豫 也次着二 -隨 綾 一一一一 枚 公卿 屋 西三 御 問 假 帖 繡 法皇欲と 僧 同 座 :11: 御 福 交 樂 縫 綠 次炊 南 方立 為 網公卿 帽 御 朋 間 1 亚 北 面四又 允但 御 額 座 御 以 其 綾 南 供 H 點定 阳 五 pla 為 受 前 廉臺: 在所 宿 二御 儀 座南 如常 北 画三 北 彼 内 曳 所 便 東 戒 华 僧 宿 日 東 公綱

與代 當 師 喜 食 此 飯 法皇嘉歎 堂 粥 聽 俗 寺草創 炊 樋 殿 實 引 合僧 彩 小綱十三 殿 -撿 隐 之後堂閣 小 師人 御 錄 設 洗 廿二 同 刺 誦 饗 飯 經 雅 槌 日 41 各各 担 之功 物 庚 屋 衝十 弱 佧 轤 僧 并 含 寅 代 鐘 臣 四本 藏 供 中 溫二故 日 製 卽 等 睛 務 甑 所師 公 引-滿 我一勘 卯 有 大 資整者: 哉 各衝 文雜 堊 時 示 П 大 之餝 也重 供 藤 矣 寺 哉 具了 色等 = 御 原 粥 經 # 師 正 知 州 À 之由 數剋 長 寛朝 间 新 供 奉 頹 權 供 自 飯 **一覧之次** 大 律 佛 細御 為 納 燙 師 小 殿 三別 眞 及 御 槽

明運大安寺常愷蘂師寺勝綜觀。範運心峯成與福寺僧常喜法真 次 槌 承東 僧 元與鏡 / 堂鐘 僧仁 仁延 賢 定仁禪 E 寬僧 爾元 僧蓮。我 等與 F 聞 覃则 元權 慶遠 果律 教 僧 聲 小 授權 集 師 喜律 十人性 師 戒 塷 院 師 秀寺 西 八 智僧

重

廊 外

飛壇 校一 角敷二小 雲莚 立 遊 儀 一疊等 御 枚 東 屏 其 枚 風 - 為: E 為 間 供 公 帖 卿 北 半 絮 磨 熟 1 沙 為三沙 僧 彌 長莚一 俗 座 A 前 座 戒 枚 東 所 御 南 庇 御 加 面 座 北 座 南 第 庇 御 同 西 第 半 砌 面 間 東 西 敷 北 間

作 壽 授弁 教授 如少東 堂 入り從 南 違 水 座 西 敷 拜 羯 方敷:公卿座-北 法 -前 折 使 瓶 磨 法 如 - 長 邊 座 完全 一公卿座 - 是異本 中門內西脇 一 上八字 如 蓈 候 = 供 寺 座 經 沙 手加 餇 衲已 如片 莚 當 間 捧= 小 袈上 彌 西 巾御 御 袋一件 受戒 御 廊脇 戒 先 進 次 僧 供 師 一于、時間、月 御隨 枚 座 羯 御三 擅 南 公各 公 共 為 於 此 為着 西 之時 1/1 脫 卿 戒如 身着冠 間 座 衣 羯 中 沙 門外二 衣 可器 擅 軒 所沙 小 法皇 彌 淨 前 南 磨 FH 廊 座 衣 瓣 字 但 履 御 外 折 延 爲二 如以常 其從 師 和 一教授立 发自 蹔御 步 依 座 源 着二堂 同 甲曾 同 南 進 着 着 艮角 法 東 卯 御如 僧 御堂 鍋 師 音 次 經 衣 座,但着 1/1 诗 西 師 磨 敷 秱 廊 候 座 座 門 育 供 所 相 御 座 戒 教 留 持 向 小 其 內 世東上又敷 座 御 内 敬 擅 分 出 授 第 執 -御 御 彻 V 含 敷二 西 東南 座 那豐 制 御 西 西 僧公 大 受 御 À 爲 座但 上面 香 Ė 綱硘 調 軒 草 座 戒 虚在,東戶外,也尋常受戒之 卽 座 御 藤 南 雜 卽 已已 下下 爐 廊 次 邊 座 面 御 座 和 原 於 行 人闘 和 少十 次 同 毛 E 惟 座 東行 教授 自 = 次 和 巫 着 請 Ŀ 和 間 時 法朝 Ŀ 南 南 羯 師 時 東 间 為以 供 部 同 撿 列 服服 揭 壁下 廮 揭 侶 脇 南 间 戶 廊 御 庇 敵 北 前 及 東

醫平自 度乃受給" 共禮 見江 堂達 番 E 禪定 左 至 面 德、塔 東二 戒 各 開 奉レ 鳳曆 H 上小 悲人少皆有禮戒乎 乃帝 鐘 座 行 拜 』堂月1 本乃國 圃 四 1落給 也 着レ 震 戶 Ŀ 金銅塔形 卽 波 爲二 先爾 戏加波加 登讀 共 敷三 置 霜 和1 **叁入登立**:下層擅上 為 座 2/ 打 方數,公卿座,名 波 悉達 不 先 丰 飨 Ŀ 師 其 界 "有三行立" 幾 出 沙沙 爐 爾 1: 羯 非 座 後 中 舉 鵝珠平 衣 須 給 磨教授 之上 太子乃告乎 彌 具 各 禮 北 但 龍 耳 師 介弊 鐘 恩遠情 戒 執 显 人爾受給 惣禮 留利 敘 面 顏 御 一角 不 薦 = 卽 置着レ座 守給 授 和 萬機 毛 起と 導 香爐 三人 着 八猶棒二香 浪 次 上 預 省 面 師 牟 未 座 手次七鳳闕 座 爾 從 思 三列 一執一香 淚 |始」自||和 沙 為 侵 其詞 人曾繁加利 布 遣 從 敦 師 年 同 主堂 彌 南 左繞 立 禪定 授遺 立、座 積 禮波 庤 北 戒 面 爐 御 爐 尋 達 江曾 E 畢 橋 擅 座 西 至 教 聖 留 自 波古 一度物 一特乃山 ~ 爾井 徘 次 波爾 橋 我 上三人 經 主乃 戒波 典 授 四 餘 出 爱以 T 北 四 聞 座 三最 步登 海 為 各持,座 乃 禮 給 今平 面 處 人 奈伎 波乎 卽 西 御 波 **三**教授律 層左続 实 前 留 本波 寫 计善此 上東 通 跡暗 着 打 意 物 為言 從 + 三授 即壇 御 廊 座 乃 ----介奈り利 師 層 具 沙 座 時 次 衣 テシ

遮

如其

次

百

苦乎 若干 古介登牟 法 珠曾登 千 貴 不 戒 乃 小衆生萬 穿奴 物瓦加 遠守給氏 古 殘介禮 人御 悲 輕 功 古 氏普及年廻 支 于 德平分氏會給 香 御 九 薬華臺 思 品蓮爾昇 介 蓮 膻 捌 五. 受工 乃 向 扃 和利下部落淚 大井 含那 七 給 不 野登 聚 何 佰 戒 曾可 聞 億 今 递 江 波 候 H 給弊 薬 衣 介加波古 乃 爾留利 曾 懸 御 釋 見 悉 功 天 聞 持 齊 諸 隨 御 不 乃鄉 共關 喜. 座 限 乃

容高立 頃 畢還: 常詞 起 問 次教授 座 畢 之相 御 如 敦 常還下 起 分 座 着 瓜 次 座 着 着レ 和 衣 御 上 座 授衣 前 此 打 東面 間 Ξ 座 小 小 卽 + 着 磬 御 師 座 一行 羯 色着 奉 甲鈍 着 着 與 間 衣 師 = F 和 前 層 座 難 作 問 法腐下

令 法皇又 是 又 如 前之御 羯 次奉い詩ニ 行。大 授二 層 御门行 授レ 前次 一六念文 師 座 威 持二衣鉢 衣 一戒者 南面 後 儀 擅上-度 次教授作り 削 不謂卑刷 次 捧 二之東橋 次 [4] 揭 左繞 寸鐵鉢 敎 下一也 其 壇 衣 磨 三金漆1 禮 鉢 師 頭 相 立 大 L 副 沈從 指 誦 先致 禮 起 從 戒 後 西 作 御 羯磨 授登 進 西 西 法學 座 御 柱 階 脇 非 行 立. 給 戶 誦 奉レ 叉 卽 敦 大 次落 畢 出 拜 誦 授 十 下 御 衣 JL. 師 飛 戒 整留 給 將 最末 __ 給 師 老 者 鋾 來 御 前 拜二 磨 间 揭 人 羯磨 磨 師 座 西 御 奉

等網 抑御 ン次取り 仰 元杲 脇 虾 后 、毗即 H 人 戶 廊 金銭 島器 徒目 自 拾 問持少律 各 從揭 卽 代鳩 三王位 太袈裟横皮皆用 大 紅 之傳給先 雪二僧 列二 不三暫捨 褂 後 华 屈 有限 立 薩埵亦投 念 営 三震儀 新作二佛 重權律 爱和 東 一僧 軒 條 無一人相從 是祿韓櫃二 ,昇,降戒 土 廊 小 侶 奴着卡未 一獨 師 ア虎彼法 + 各耳語 給レ 真喜紅 磨 之以 師 数 各黃 献 擅 一獨提二衣鉢、飨持二草座,瞻 授 異代 之上 各 "背着」之布 日 合立二 大 布 、染念 染大 普 相 小 御 也 v 可 有片發山菩提心 + 鉩 差 一稱歎 目所、未、睹 同 褂 師 打火 條公卿 東軒 僧 起 服品用作 Æ 重 鐵口徑又登 下原 有兩面 云 權 座 E 大 K 出 未二省 T 一者上 僧 也 我 依 師 都 東

叉侍 當 事呈經二大佛 其 猶 知り 起時 臣 日 此我等何益奔一營塵 一悲哉 也陰雲忽起 殿 世皆無常 - 雲 開 圖 霽感 丽 命 一交會 能 是 應 品 後十 揭 知 一说 焉 天衆龍 泗 善之主既 撮ど 胸少 加 之降臨 富山春 心 責 レ躬 秋

立一個 大佛 干端 法 殿南脇當二佛 有山御 屏 之後五 小莚十四 風 語 取 帖 百 經 脚 事 僧 為 前 御 行 |御座 庭中 間 道 師 經 敷"長莚二 東西敷 丈喔一 四 一會已 闸 步廊 講禪 字立東 豐為= 枚 其 徵 之些其下 其 路 児 公卿 1. 遠 願 加 廻 同 積 以 Ξ 死 H F 御疊 一信布 講 座 數 長

> 歸以禮 曼陁 レ融自 叡 江 岳 以 刻 推 虚 凡 朝 経二 鋪 臣 移 大褂 可 快 仰 不是地 拜 一讀 知毗 觀 大佛 谷一 其座 俯 領院 二徒 察 慮 如三懸河 之爲 含那 色彰 神 司傳給 然 脙 也 V 尊躰大人 施 妙 | 躰也聚二 衆僧 黑 **磐**驚 諸 也 出 仰 相 佛 移 具足上 前 之彌 二置 易 衆聽 金銅 緣起 食 悟 |摩||天 高 堂 障 以鑄二 其 御 聖武 子 法皇入,大佛 前 導 一刺 升 東 其像 削 天 左 児願 皇 懸 樂三 之悲 大辨 三錦像 各給 願

埴故 坏作 六種 堂内 還二御 **脳** 僧惊慄 第六床 東西 謙一下諸 加二千僧之最 申 哉嗚咽者衆矣道 剋 眉點= 御 以1信乃 長床一 各 于禮 導 皆 末 二御 執 比丘 欲上 師 自提,御三衣,清壽 堂御座 鉢 秋霜,之徒 食堂 供 下、床有 左 布 以 - **今**望: 末一我等系 並 近 卅端 一僧 俗見之 其體堂設品 衞 -食 權 前 法皇之儀一 **远**竊相語 ジ勅不と 次自 .. 公卿 爲一食巾一 少將 |十斛||飯盛||埴鉢|| 菓子二 種雜菜八種盛||前日依||寺家勘文|| 自_|驪運|| 送米二百七 東西各第一 居.其上,豈非二釋迦 羯磨 不ど 實 命 日不 御座 方 覺 取 遠泣,釋 鉢床 一僧差と 及六位 動 淚下法花 v 法皇起と = 白 訖 圖 如一大佛殿二一千 以 座於と F 大 車陪= 澄 褂 左右 尊之敎 座覽着:西 經 心 大師 人之昔 是身積 領 法 其下-相 師 分入二 之恩 僧 說 - 為: 算 = 夏 誻 方

權大僧 爱大佛 所別當 執礼机 卿座 海捧 戒 大褂 養 レ之公卿 臣左大辨大江 時還"御於 揚、聲行事不 日上 終 褂 合... 愁申: 殿上墾 二百人向公 じ之更 H 一之僧 二本敷 領三 役一又依 北堂一可 5 此角 都 殿 重房,自餘召給之權別當平 泰清朝臣 召 座給二街 ||僧綱前|以||威儀御菜| 分||給之| 召|| 日沒之後蒙雨滂沱抑漏,于僧供,者三百僧 元泉權 E. 綱四人 一十石 ..長押上,當時 又有一乞者數百人一其聲 E = 御 畫 木 層 ・後章 向 三降雨 御 が 山 朝臣春宮權大夫藤 艮方 被行流 施 禮 法皇還御之便行: 座 重 少僧 榻 造寺勾當一 一个、運,米五十斛 無人有"大工仁 一行乞者一个夕寺 Ŀ 一・可レ - 始供 大佛 - 蹔御 Ŀ. 御齋畢僧綱公卿退出 都 角 召...下仁海於 穆算 淨事 有、議北庇敷」綠疊 木 難 次北向 杨落 威 之道俗 權 人 儀 参具. 而 律師 先 師 各黄染衾 ·崇少別 拜,法皇,人皆莞爾 原 立大 ノ是 御 各跪 正奏目 及 司 先例 朝 真喜左大將藤 齊一鉢一塗一金漆」 御 海 卅石給下不 、預二供 賜 海 等 前 者 介佛 臣等候二御 候 ル脈 當 所 不叫必行立之有 上 殿北 別當納所着 高立二 給二 仁壽 別當 為座 - 忽召 層 少十 條今夜於 レ緑 所と 廳飯 庶 各白 僧正 擔端 二別 組定仁 育 邮 前 柱 登夫 僧 侍 原 砌 屈 供 今 白 當 宥 臣 公 朝 审 大 JF.

> 侍臣五 分累 渥 所 僧 御 井 池 和 レ議 船 召 風蘿月盡有」之其中柴垣數尺草堂三間用,,蘆葦,為,,天 附屬饗如い前 實恐上必觀者以為此文不山美矣 檢 以前鈍色細 座南庭 非違 如心初般富 座 邊 泉 左大 施二竹草 為二屏 矣在 古今 奉 河 ね南 一僧正 頃之次 使給 + 之廿 將 口々道 即池 雲 餘輩炬火 爲 長 藤 新爾池 心脉。产料 御 門大路 雨 供一御 一僧綱 卯 原 俗 水泓澄河鶴沙鷗自馴矣北即 別命に 日辛 忽露 時 衣 朝 以 北架以"別庄 還御衛正騎馬公鄉着,直衣,侍臣帶,衛於 臣 飽 烝 公卿座 風 凡厥資用 卯 小臣源 一撿非違使又候"御升 與"木 重,追介、給畢 以 記此 戌時還 日 一次衝重槍 醉今日僧 豊 無禮 東底 辻 文 為憲以二舊臣 大路 二御圓 雨 -堤草春兮萋 為 謝 破 寅 诏 莫.不..質 灑 未 融寺 1.俗侍 時 子屯 已破: 殿 平僧 二紙墨 時 所 御 一僧綱 一个時 食等分二 御 正起 五不 聽二扈 西庇及 供 素 **1**B Щ 宇 K 嚴是寡 取 公 を座 母屋 水 御續 到二贄沼 竹 如退出 洛煙暮 1 從 廊 給所 ýuj 大 松 爲 供 將 皇

與,諸足爲,一卷,

東大寺始行授戒作法記

一合八箇條

位 天 平 | 鑒真先令 勝 師 寶 七 节日 车 本 月十 行一受戏 五 日 如二唐朝 宣旨 法 務所 一円レ 大 僧 都 和 寺 尚 大

與福寺大小十師各一人 小十師

五.

戒 大脇 大脇 房 元與寺 食堂東 心之日 戶有 次 戶 一綱所 西 育 大安寺 小十 第 第 和 藥師 師房 寮之前右 尚 揭 綱 房 磨 掌 寺法 敷授房 弁 次日 次 鎰 東寺 -隆 立 取 來沙爾等條房讀學 츄 三北向 房 小十 次 大 專 次大 小 師 讀房 -居 父安寺 師 云 各 次 師 大 綱 17 所 房 次 師 次

謹天平 い狀毎年 被三 不對 受戒 可、請之由諸寺十師供可二勤 公家、狀二箇度御受戒 勝寶七年 間 從儀師二人治部玄蕃各 二箇度春二月十五日冬 御受 登壇 始 戒 十月廿三 行 日 定 言 上以 申二月十 日法務大 申以 可 ル給 一人幷省 + 社 日十月 月一 僧都 月 # 如 物 日 和 + 共東大 綱所 尚位 唐朝 萬人一 日宣 B 上際具 威 者 儀 日

> 眞任 が任ニ 可い分別東大 日 滅生年七日 和 者但以二三驗學狀] 上職位一者受戒結 僧 次 Œ 被 到 寺 同年贈 一天平 司-和上 請中 寶字四 大 一般位一 務 綱 僧 大 被冷 年 所 IE 僧 願 者 治 任一僧正 日 都 依: 羯磨教授之判: 法務大僧都 和 部 大小十師 倘 玄蕃省物 位鑒真 一同 七 請,定之一 车 和 一宛置 并 尚位鑒 五 月六 掌鎰 如如

曆代 儀師 天平 國所 狀 依 八人口 北 二人綱掌三人鎰 勝寶七年六箇度御 宣旨, 大和國司 京遷 饗 之後綱 法務大僧 所二寮船賃官奏狀如二前例 取 請 受戒 八 都和尚位鑒真奏: 聞公家 人治部 申饗雜用馬芻 使三 綱所 玄蕃各 威 儀師 一人省物五 但 人 大和 延 從

威 被分品譜 把冬時炭 小 儀 師等 座办 被 111 分 큮 大十 十師 籠 件 供 師從儀師等分小十師 威從綱掌鎰取等饗食 食之一着一食堂 自 本 願 聖皇 終夜 御 時 料 中分 油 - 先 曳…米 之 綱 合續 個 掌 和 松

如前 次 部 玄蕃等 朝 所 下 一些入 向 在 一法務房 宿 所 成,大小十 政 所 法花 會 師 絧 一請 所 勅 書 使 宿 所

師第 從儀 之由 掌鎰 次被二綱所請定一大小十師幷和 上遺敎經 作人某寺人羯磨 云 心間對問 牒送次大小十師等集 師二人治 IV. R 一二 薦或堂達二人立,馬道中,西 全批 四門 也 H. 師 可レ 間 今有:大和國 分時 屋 八,故僧一人, 先別當 玄蕃各一人口 之中六間網 人致授二人沙爾戒 散時 十師供米等,先 三會和 說相 所六問治 上房, 法用定 都 師 之許御受戒 已上 所 許威 導師 向 持 部 可被 玄蕃 被 涵 沙爾 料 儀 :請定:所 、狀小十 放僧 可以 師 間 戒 有 和 也 日 綱

嘉祥 依11申 着"紫甲袈裟,永代雖、無"戒 年中 宣旨 僧綱紫甲 始出 此時 和尚僧綱 權 律 鰤 之軄 與福寺壽教始 位 1可2着

寬平五 以言物一等申 ...入綱所二寮所從料...動...仕 年時別當權律 以不、足國 師道 宛 之時 T 加 國 司 但 藤 一雜饗諸 原 清 方 其 客

今王昌泰三年五月七 東大寺大 法務權僧 寺,依,富河大洪 拜 一僧都 JE. 小十師 聖寶介〉申:事 和 尚位 1以11後日 水一 十師等死去即別當大十 鑒真共令:宛置 日御受戒請 由 - 即法務奏: 二依 法法 用 務 一給而今件 大 仰 聞公家一本 一个と 小 ÷ 師 師 勤一仕 等 和 法 時

> 件東大 止法隆· 惡眞 供 和 寺一運進之間富河洪水流 師 即得二元與寺牒送一合、勤二行十師供一以二法務大僧正 東大寺,者天慶三年三 尚位 如二 私 本願聖皇幷大僧都 寺十 寺大小 寛靜 奏 聞 願 唐招提寺造之次高野天皇 -師供|者可/勤! 行新薬師寺法壽寺 師等 公家,即以,外記 各遷 月七日御受戒 入 即使者申二 和 入置 尚位鑒真, 御置手選,,入 給彼 所 + 三物中一被 事山於綱所 師供從二法隆 隆寺大小十 西大寺1

天慶三年三月廿五日傳書東大寺律宗寬法法師

東大寺要錄卷第九終

東大寺要錄卷第十

維事章之餘

後-夏四 以告 天 面 4 月甲午朔天皇幸…東大寺 勝實元年二月丁 像皇后太子並侍焉群臣百察及士庶分 ·左大臣橋 社 巳陸與國始貢:黃金 禰 諸兄,白 一御」盧舍那 ン佛 佛 一於」是奉 頭 像 行 前 殿 北

言波有登斯 奏久此 卿 事遠掛畏三寶乃廣前爾恐美恐毛奏賜此人奏須從三 守從五 物爾有止念問受賜里恐理 此遠聞食驚伎 三寶乃奴止 朝 一位下百濟王敬福伊部內小 大 臣乙麼宣 地者無物登念部流 二仕奉流 國 悦備貴備[念汝]盧舍那佛乃慈賜 者 天 天皇羅 現 地 神 開 戴持百官乃人等率天禮 御字 闢 命 聞 以 盧舍那佛 倭根子 看食國中能東方 來爾 曲 那仁 黄 天皇詔 金波 能 蚩 大 金 Ñ 前 乃 在 仁 比 陸與 位 國 奏氏 奏賜 拜 倍波 賜 國

等念豆仕 佐枳胺 爾字 當豆 夜 給夫物在等念召波受賜利歡 寶乃勝神根大御 奉利 JŁ. 波勝在止聞食天下乃諸國 豆 我 嗣 降 理可 唇美恐美坐仁聞食 念須是以朕 日 進利禮 爲豆 母所 日 嗣 高 坐天天皇御 可 浆 酮 加 畏恐麻所念波天下乎撫惠備 赐事理**會** 乃業止今皇朕 在 人乎伊謝於率豆仕奉心波禍息豆 此遠所念波 念 奉利又天 天坐神地祇乎祈禱 座 奉問 知! 行业人 於宣天皇大命衆聞 物平拙久多豆何依 爾 坐 爾衆人波不成智疑朕波金少此念憂都 官 FJ. 世平始天中今爾至麻氏天皇御世御 利諸 八皇御靈多 言驗乎蒙利天坐神 治賜 大命衆聞食宣 種 々國乃東方陸與國 御世七當天坐者 祝部治 R 比惠賜來流食國 法中爾佛 知 七最勝 天下公民衆聞 受賜 惠賜比 奉挂畏遠 朕時預顯自示給禮唇美愧美奈 賜夫又寺 食宣解別豆宣 王經乎 大御 加久治賜比惠賜來流天 利貢進母 地 天 撫 坐神乃. 天 言之國 小 地 12 賜天 天下乃業母 善成 (皇御 坐盧 田 13 乃 食宣高 坐君乃 不知退母 郡 ıĽ 型 事 **人大神宮平始** 相字豆菸 厄變豆 世始且 含那 家護我 金出 平 H 依豆 勞福 地 天 世 佛 在 利歡 原 許 麒 在 全平 多 神 年 拜 化 止 公上天 代 自 育 重 奉利 知 奉 奏 仕奉 奈 日 自流 示 爾 鬴

毋氏 奈 寺止 國具 命乎受賜 11: 所 宣叉天 爾當天天下奉 御 知自 奉加可在加以 表豆 綱 天日 世 成 人石 神奈我良典念坐而是以王鄉大臣乃子等治賜即天皇朝門仕奉利 平 有大御名乎受賜 重 賜 始 天皇 日 利恐 嗣 豆朕宣紅大臣 夫 月 天地 河朝 衆 大御 波 大 高 挂畏等大小字合七十八字〕近江 利麻 不安久聞召來流此辭忘給奈棄給 僧 加汝多知惠賜: 命此之奈良宮大八 御 共 比國家護 陵守 尼 座 人不合侮 利退低婆々大御 敬 万業止 朝臣 間 住 乃御世重 比治 奉 云 仕 坐事 比 人等 不介 Fz. 奉流 賜 賜此久 祖乃御 波進星 比 武明 穢治 事乃 新 宣大命 州 造 名乎蒙武食國天下好 淨心 國 賜止部 治 寺 挂 勝 所知自 賜 大津宮大 派在臣 多 乃 一段天 衆聞 以 宣大命 夫 寺 氐 皇 此 正奈 宣比 我皇 御 食 知 可 (按紀 奉事 官 彩 侍 世 成 撫賜 天 婆 嵢 聞 所 御 八 挂 々部 大 依 皇 國 食波爾 世 宮 惠

未天皇幸...東 以 列詔 令 授 御 i 左大 :盧舍那 臣 從 佛 殿一 位 橘 大 宿 臣 以 儞 諮 下 兄 百 正 官 及

位

改:天平

中

為二天

弃

威寶

元

年

乙卯陸 甲午皇太子 奥守 從三位 受禪即 百濟 位 是 王 敬 日 改 福 貢品黄 : 感實元年 金 九 百 為二 兩 勝實元 秋 七 月

乙巳定 一路寺 M H 地 限 大 安樂 師 與 福 大 和 國 法 花

> 築 町 諸 HI 師 自 元 國 餘 寺 腿 分 定 筑 寺 金 紫 額 光 千 寺 觀 阴 町 寺 世 R 別 音 弘 k 寺 福 別一 百 法 k 別 隆 町 千 五. 四 町 百 天 大 町 Ŧ 諸國 和 崇 國 福 法 新 分 花 300 金 寺 光 師 々別 建 阴 寺 鼬 四百 To 四 野 Ŧ

八幡大神向京事

禁二斷 路 汚 河 十 次諸國 穢 朝 臣 月己 殺 年 差 足 西 其從 侍從 一發兵士百人以上-人供給 幡 R 五. 大 位 神 不知用 託 下 藤原 宣 甲 魚名等 酒实 寅 前後駈 造 除叉所 參議 以 爲二 清 從 四位 掃 迎神 レ歴之國 使

戊寅 吉黑人 + 從六位上高市 月丁亥外 佐 ...五位十人散位廿人六 伯宿 繭 從 連眞磨並授 今 五 屯 位 人 E 並 高 三外從 從 市 Ħ. 連 衙府舍人各廿 位 大 Ŧi. T 國 位 Œ <u>-</u>F 六位 三 六 位 Ŀ E 柿 內 本 迎 小 伊 玉

幡 亥大神爾宜 為 响 太上天皇太后同 於平 神宮 群郡 五 請 尼大神 是日人」京即 一僧四 佛讀 亦 + 朝臣 行 口口 經 幸 是 悔 社 女 日 過 於二宮南 百官及諸民餘四百二年二東 同,乘奥、 唐渤 日 海 梨原宮-造 吳樂 Ŧī. 等北大 節 成 寺 會 艇 於

下主神 豆不有 申毛登 賜得不 縣郡 牟 ン詔白ン佛日 賜此間 神紀大神 期馬奈我成奴禮歌美貴美奈 乃知識 銅湯 大神朝 御冠獻事乎恐美恐美申賜止 刺久 為之間爾 平水止成我身造草木土爾 交天 障事無久 寺爾坐盧舍那佛遠禮拜天則 神 天皇我御 我天神地祇乎 臣田磨外從五位下 豐前 品品 命解 比 國 咩 字 神 华 佐郡爾 申 率伊左奈比 公食流然猶止 品 賜 申 此 左大 坐廣 尼社 申 去辰 低腦乃 解 臣 女授! 從四 天必成奉无事 毛 橘 年 欲奉造止思 八幡 宿 事不得為天 河 禰 諸 大 奈佐 兄 國 前 位 大 奉 爾

人隨、勞象、位有、差施,,東大寺封戶施入事

奉、宛:一品八幡大神封八百戶, 垂玉午益;大和金光明寺封三千五百戶, 通五千戶戊子室子稱德孝謙皇帝忠宗師, 唐東宗, 建因取, 瓊天平勝寶二

三年春 皇枕 神 震 正月戊戌天皇幸!!東大寺!授! 部國 一依 席不 ・レ穏由 磨外從五位下,冬十 續命之法一設齋行道仰 レ是七箇 日問屈 月壬申 言請 木工 願聖德平復寶壽 DO ·詔曰 一寮長 + 九賢僧於 上正六 「頃者 太

> 僧一 が進 仲麿田村第1以為11御在所 甞有"如、此之盛"也是夕天皇還" 御大納言藤原朝臣 臣諸民五節八米舞蹈伏蹈歌袍袴等歌舞」東西發」聲分 同二元日 \教大: 赦天下· 夏四 長 人經 云 救 = 日行,1幸東大寺,天皇親率,1文武百官 in 真的既而 奏所、作奇偉不、可,勝記,佛法東漸務會之儀未下 五位已上者着"禮服一六位已下着"當色一請" 雅樂寮及諸寺種々音樂並咸來集復有二王 濟受苦 月乙酉盧舍那大佛像成 雜類衆: 生 者 尧 レ病 一設齋大 延 會其儀 始 年 沿開眼是 是 以 依

旬日 七4藤年高 八月 七月壬子太皇太后崩,於中宮五年春正月辛丑行,幸東大寺 壬申 位 Ħ. 年夏四 月乙卯太上天皇崩 上道祖王 年實資 ·知天宮姫之尊,·日火,,葬於佐保山 奉,葬,太上天皇於佐保山陵 丁卯正 月丁酉 三德政 平復 四位下安宿王率、保人、奉、誄論 為:皇太子,戊辰二七於,七大寺,誦經焉 一可ン大山赦天下 一如」聞銷」次致」福莫」如二仁風 勅曰頃者太上 二御於寢殿-一燃、燈二 一御葬之儀有之佛 遺韶以二 天皇聖躰不豫 廖 萬 中務卿從 日 一千 漸近二 尋葛 具 四

有二師子座金輪臺大小寶瞳花縵蓋織之類一在、路合二笛

レ奉レ総 人 | 奏中 所 行 司 道 宜知 曲 是是 H 勅 日 太 上 天皇 出 家歸 更不

師 官處 法祭二人一永合。供養 記 日 居」喪之禮 分太上天皇 臣子 供 御 % 1 宣矣 米鹽之 天下之民誰 類 宜 三唐和 不少行 上緊頭 が考 耶

特加 造舉 壬辰 ン須 "因」此 必 詔 - 者亦造 E 造了。其佛殿氣使二造備 「風者分」遣使工」檢」催語 辛 一苦 ン塔合 百 .姓·國 レ會に忌 司幷使工等若有、稱以朕意一者 日 一夫佛法者以、慈為 國佛 如有二 像 一佛像纤 宜 來年 た先不 殿已

甲辰勅明年國 天平寶字元年 宜レ分下六道 於東大寺 しな於 語國 二與福寺一設務焉僧幷沙爾 一設齊馬 五月己 忌御齋應、設二 酉 必會。忌日上不」可言緩 太上天皇周 東大寺-忌心請: 其大佛 ---Ŧ ---僧千 百 殿 步廊 餘 五百

戊甲勅曰 足天感,至心之信 年八月庚子朔高野天皇禪」位於皇太子 帝敬發洪奉」造一篇舍那金銅大像一若 「子尊」考禮家所、稱策書,,鴻名 一願於 公來世 終至日 一改」身猶作 勝寶之金 既而鎔 我國 銅已成 古 家於 有 人 = ° 涂 レ是初 貴者 金不 時

> レ悪潜 施揚一茂實於千秋一共二日 典一追二上尊號一策稱一勝寶威神聖武皇帝一論稱一天頌國 有 仰仁 有 占餘 開豐櫻產尊一欲 = 杏 風 結 也其不、奉、楊,洪業,何以示,於後世, 珍 不川敢競」鋒咸自馴 浙 開 徒 闢 已 來 使 危一社 未 下傳二休名於萬代|與二 聞言若 月一而久照」普告:退通一知:除 稷一 v 服可」謂二聖武之德比」 良日 斯 盛 八矣而 11, 畏二 乾坤 加 敬依二 威武 以 賊 一而長 臣 金欽 舊 懷

上正皇后事

龜元年 寶字四 以 天 十六攝二引衆御 播一整響一勝寶威神聖武皇帝储貳之內納以為,妃時年 正一位十六字縣犬養橋宿一等之女也母日歸縣犬養橋宿一 朝大穩冠內大臣鎌足之孫平 野天皇及皇太子、大后 療 j. 國分寺-者本太后 一養天下飢病之徒 年六月乙丑天平應眞仁正皇太后崩藤原氏近江 聖武皇帝即、位授,,正一 紫微中臺一妙 -皆盡二其歌 仁慈志在、敬、物 之所。勸也又設」悉田施樂雨院 一也勝 爾三千代皇太后少而 一雅」閑禮 實元 城朝 n選測賢」普列」臺司 年高 位一為一大夫人一生一高 贈正 訓 野天皇受」禪改二 一位按照犯位下有 創一建東大寺及 -敦崇,停道,神

官,崩時春秋六十 | 一年上,尊號, 曰, 天平應真皇太后,改,,中臺,曰,,坤宮

五千戶封事

修行諸佛事分二千戶上癸丑設上皇后七々齊於東大寺并 後種 像一仍計一國內見僧尼一寫一稱讚淨土經一各於一國分金光 京 寺精舍,分一千戶供 自参,向於東大寺,永用,件封,入,寺家,訖而造、寺畢 太 四 上天皇 寺一禮拜供養 師諸小寺,其天下 諸國 年秋七月又勅曰 R 用事未上宣山分明 々帝太后 以 東大寺封 一去天平 一因、弦今追議下 毎 國 五千戶者 勝寶二年 奉レ造: 定營1 造修 二月廿二日 [10] 邳 彌陁 城宮 一等土造 記御 字 三理 事 後

佛 每年始、自,忌日,一七日 捨 圆 者在二法花寺西南 五 軀 「各於」國分尼寺」奉」造」阿彌 三京南 年六月庚申設 H 辛酉 州 呵 於二 :皇太后周忌齋於阿 以供,其用,又给,田十 隔 為 山階 寺 レ設 一每年 間請 : 忌焉: 皇太后忌 陁丈六像 僧十人二 彌陁 所、造也其天下 日講二梵網經 禮:拜阿爾陁 淨 町於法花寺 驅扶持井像 其院

鑒眞事

戒院 諸樂物,令、名,真偽,和上一々以,鼻別、之一無,錯 國 化時年七十有七 施以三備 聖武皇帝師 誤字一譜本皆同莫二之能 於一東大寺一安置供養子」時 途與,,弟子廿四 失以明勝寶四 復渡海亦遭,風浪,漂,着日南,時榮叙 被一打破一和 怨至諮請不、息乃於"揚州」買、船入、海而中途風漂船 之大德 二載留學僧榮叡業行等白..和上. 日佛法東流口於... 、驗授二位大僧正一俄以二綱 雖,有二其教一無二人傳授一幸願 一个招提寺是也 心地博 年 前國水田 五. ン之受 沙經 上一心念佛口皆賴、之発、死至,於七載,更 月 年本國 戊 人! 寄! 申 論 戒焉 大和 一尤精 和上預記,終日,至,期端坐怡然選 百町又施 使適聘二于唐1 及二皇太后不然 正和 上鹽真 藥副使大伴宿禰古曆船 飛江淮 務煩雜一 有 上諳師多下 物化 勅校,正一切 新田部 之 和上東遊與人化解旨 改授二大和上之號 業行乃說以= 和 獨為 E 之舊宅 物故和上悲泣 者揚州 = 此 化主 進醫樂有 黄₁又以₁ 一以爲 論 問 一歸朝 宿心 往 與

東大寺要錄卷第十

陸 奥守 貢 (黄金

刑部卿」薨時年六十九 守 從三位一遷,宮內卿一 兩 任 レ拘頗 畢塗金不」足而 從五位上陸與守一時 有"士庶 奈良朝廷 一家無一餘 我國家黃金從 好 左大辨 頻歷 來告 酒 從四位下攝 財 色 一然性 清 陸 感 貧 朗 神 レ此始出 - 俄加= 出 國 聖武皇帝造」 盧舍那銅 聖武皇帝 每假:他物,望外與之由:頻 津亮敬福者 辨 馳 国雲讚岐 有...政事之量.天 驛貢:小 河内 焉 殊 伊 加 守一 聖武皇帝 與 卽 田 等 其第 勝 那 國 寶 所 守 几 甚以嘉 以出黄金九 平 神神 賞賜優厚 年拜: 像 年 也 護 中 冶 放 尚授= 住 初 常陸 総不 戶時

吉 祥 悔 過 始 事

神 霑 德 間 各於一國 護影 天下大平 福 雲元 分 年春 風 金光明 雨 Ī 順 月 寺一行 少時 己未 五穀 ··吉祥天悔 勅:総 成就兆民快樂十 內 七道 過之法 語國 -方有情 四= 七 此 功 同 B

聖武 皇帝 崩 事按聖武二字恐誤

癸巳天皇崩...于西宮寢殿 春 秋 五十 Ė 危按 **地元年八月六次** 安子己上恐脫皮 字寶

> 大佛 H 師

麿頗 中 次官 有二 公陰本 珂 **一**銀但 思 銅 但馬員 像 是百 竟 成 其長 外 || 其功|以、勞途授||四位||官至||造東 介 國 五 人 一文當時 也 天 平 鑄 年 工 無 敢 中 加、手者、公

願

已上續 H 本紀 文

真言 續 院 H 11 本 後紀 僧 事

例 宜於 承和 中及三長齋月修 Ξ 東大寺 年 $\overline{\mathcal{H}}$ 月 真 宁 言 -息災延命之法 未 院 勅 去歲 建 立立 冬雷恐有, 灌 頂 以鎮 道 場 水害 置十 國 疫氣 上水 之災 為 僧 夏 恒

祈 丽 事

レ應未、能…普潤 夜間分如稱二龍自 承和六年 五 月乙 _宜 在 11: 勅 下請 "七大寺 王如來名號 頃 緣 早 涸 僧 頒 於 "東大寺」三日 使 祈 が雨 頗 以 有

本 後紀 四十卷

·非,高年,立性恪勤駈使無,違衆僧豫請,放免,從,良 者今奴廣前等恪勤非、懈,驅使念,伏請從、良許、之焉 年至,六十已上,及癈疾者准,官奴婢,依、命行、之雖 年十二月廿七 延 十一年 十二月丁丑東大寺三綱言案去天平勝實元 日勃曰以,如婢等,奉,施,金光明寺,其

介\習:學三論:事

谷一而 並習, 俾, 夫室有之論經, 馳驟, 而不, 折大小之乘變, 陵 烟由〉是逾明學風以〉之益扇法來所有佛子偏務 之家假、空而非、有並分、軫而齊騖誠殊、 延曆十七年八月壬戌詔曰法相之義立、有而 靡如絕普告二組侶 1知1股意 高 途而 破〉空三論 同一歸惑 法

\有,法制,自今以後三論法相各度,,五人,立為,,恒例 論之學殆 廿二年正 以將と 月戊寅 絕頃年 勅緇徒不∠學二三論,專崇,法相二三 有之 勅二宗並行至11 得度 者未 法

弘仁十 应 年正 一月癸亥令上百僧於…東大寺-行中 藥師

東

大

寺

要

錄 卷

第

欲\除:疫疾

酒 人內親王事行.萬燈會事

天長六 紫野院 普、之薨時年七十六山城國愛岩郡及田四段一百步宛 品,常於,東大寺,行,萬燈之會,以為,身後之資,緇徒 欲然行爾增不」能,自制,弘仁年中優,其衰暮,特授,二 朝原內親王一爲、性倨傲情操不、修天皇不、禁任,其所。 長而還俄叙二二品,桓武納二之掖廷,寵幸方盛生,皇子 女也母贈吉野皇后也容貌妖麗柔質窈窕幼配,齋宮,年 年八 月丁卯二品酒人內親王 薨廣仁天皇之皇

大佛 御頭 落事

四位 齊衡 牟恐年挂畏 支佐保山 東大寺乃盧舍那佛時代久經爾太 之狀一戊申遣」一参議宮內卿從四位 衞中將從四位 毘盧舍那大佛頭自落在\地甲申遣\參議左大辨兼左近 上清原真人瀧雄等一向。佐保山陵。 年壬四月丁巳地震戊午地亦震庚午東大寺奏云 上藤原朝臣氏宗東大寺,見,大佛頭喧落 陵爾奏賜部奏御願止之天奉、造理給留 自然爾毀損天去五 上源朝臣多安藝守從 一策云 天皇恐

恐平 E 平 一爾奉 造 毛 今毛 恐牟毛奏給 H 臣 平 以天 間 多安盤 山 |利 頹 陵 天 止久 落 能 亭 下 御 毛 太 平 四 利 頒貨 天 位 丽 H 御 上清原真 顧 有 給 奈止 能 毛之天 天 破 相 參議 支奴 八 爾倍 助 瀧雄等平差 護給 依 宫 天 內 奉 爾依 卿 造 從 固 天佛 四 使天 須无 位 毛 止

利天下 使天宇 須无 止 給 去天 修 磐爾堅盤 天 月 爾 策 九 月 申 奉出 奉 H 理 仁作 别 1 止倍 F 正 今毛 申久東大寺 天皇我 平 東 唱天奉 壬子遣」少 辭 .利 學 奴 豆 毛 位 賜 勝 今毛 H 天 平 方大 爾夜守 1平以 兼 寺 寶 不 申 安介在 掛 行 部旨 四 亦大 久太 幣 造給衙 申 畏 佛 年 右 唱品平 納 須此 盧舍 支大井 H 勅 沂 室 司 支倍 并 JŁ. 一守爾護給 言 撿 府 書 衞 掛 乃相 故是 平 介:奉 那 從 利爾太 **拉技傳燈** 畏支八 大 聞 申 T 儞 如故 五 佛 將 久前 食悦 時 议 助 今本 位 波佐 朕 持 代 藤 比於給佐 介 137 發二井大願 F 幡 爾安穩爾 利與 護賜 修 賜於天悦大幣帛平合副 納 志 保 天 勞利繕波 利 行 乃 朝 奉 言 天皇 見 弁 督 爾牟依 破女 從 天爾 臣 Ŧ 乃廣 恐 出發恐奔恐 大 五位 請 御 产恐 毛牢 天佛 向 爾倍 法 門萬坐天天皇帝 然爾 相 賜 111 奉 前 中 師 1. 不宮 犅 毛平 爾 天 位 毁 造= 奏云 大井平 利 恐 申 奉: 損表禮 具 波去 見 賜止久 毛牟 仁 车 大 燼 如 申 王 恐 奉。固 造 井 閩 去五 舍 大 甪 乎 賜之 申 毛伞 平 固 納 捧 那 常 四 1

> 件大佛 勢 佛 勿い障 者 知 口盃論 官 壯 那 至恐 違 一資等 命 識 功 物 佛 福 者 廣 A 德勝 像 文錢 神 賴 徒 朕 所 官 及 以宛 佛事一修二理 同進二百 為語 E 遣 如 福 有 担 可 三其冥 爲 法界 利 以 利 H 一合米.隨.力多 給恐 至大 使 隨 者 知識 古今如 有 蓝寡 其 人須 運 加 姓」依令:加 此富 知 破 送 識 一拜盧 願 果..彼大 舊 願 修理所 矣故 願と 勢 弘 夫 物 辨送 言能 持 上上其福 一所以得功 舍 有 勅許、之於、是令:郡 造二 也 那 Ž 感 願 造者 先皇始 天 須 少 料 本 佛 枝花 彼尊 誻 F 物一 岩 願 殆 -自當…存〉 利 之富 以 知 及 德勝 卽 像 識者 然 得 自 望 不 神 知 合 崱 新造 請 1 元先皇本 加 者 祇 八 一於新造 專...於 土造像者 先皇大 發三至談 也 **分**"天下人 望り 幡 雏 朕 念各 大神 也 預 國 案 願 有)願始終 成 造 件 佛所 旦 以二 而 1Ď 以 主 切 心 功 獨 爲 勿 米及 而 廬 各 加 也 F 用 不 连 祇 趾 切 松 之 宁 舍 人

三年 保 成 含 Ш 那 五 佛 月 佐 爾 宇 丙 奏 代 八經確次自 寅 賜 Ш 遣 止門 凌 奏久 右 策 大 日 然 辨 天 爾 從 天止 毁 損 DU 恐伞 奉 位 年 浩 上 五. 理 清 給 伞 月 毛 問留 11 原 掛 眞 E 東 H 大 支 ST. 寺 佐 鉴 以

差使天恐半恐半毛奏賜久止奏 地因,利平久可、在秦毛 为而國家事繁久故障多之天今琳、总动,张子奏給問利而國家事繁久故障多之天今琳、总称今卷始天 的久奉,利而國家事繁久故障多之天今琳、总称今卷始天 的久奉,为面國家事繁久故障多之天今琳、总称今卷始天 的久奉。

日本三代實錄五十卷

御頭修理事

大佛會事, 動言氣民部卿皇太后宮大夫伴宿瀰善男等,勾,當供養納言氣民部卿皇太后宮大夫伴宿瀰善男等,勾,當供養納言氣民部卿與親王大納言正三位源朝臣弘正三位行中聽,修理大佛撿挍修行傳燈賢大法師真如,處置又詔,二

仍以賞焉從五位下,文山修",理東大寺大佛,巧思不,恒功夫早成從五位下,文山修",理東大寺大佛,巧思不,恒功夫早成貞觏三年三月十二日丙戌授",從八位下齋部宿 禰文山

盧舍那佛像頭墮在、地無上巧師之可,能造續,者,文山京人也出、自,寒素,以,巧藝,見、知齊衡二年東大寺毗京人也四月癸酉散位從五位下齋部宿禰文山卒文山者右

者榮、之卒時年四十七 養於,,法會庭,賜,,文山從五位下告身,即時着,,緋衣,觀養於,,法會庭,賜,,文山從五位下告身,即時着,,緋衣,觀,究,轆轤之術,構,雲梯之機,引,上斷頭,續,大佛頸,宛

爲、尼請..東大寺戒壇院諸僧,於..五條宮,受..大乘戒,文德天皇天安二年八月乙卯崩后哀慟柴毀後遂落、彩忠信公女皇后受戒事

真

如親王

事

儋正 內 難」可...質疑.況復觀..電露之途空願形像骸之早寒.苦求 位,又性有,巧思,凡所 平 入唐了..悟幽旨.乃至庶幾尋訪..天竺.矣 心自以為,其言一宗義師資相傳猶有」不、通凡在,此問 ♠m親王I檢按取#其處分u功夫早 毘盧舍那佛像頭斷墮、地朝廷召二集工匠一經營鎔鑄刺 稍通二大義一又眞言密教究竟科門具一弟子之成就者衆 外,聽受領悟口見其人禀,受三論宗義於律師道詮 城第三皇子名目 一演為"其上首|也久々詔特授"傳燈修行賢 - 真如 東大寺親王機識明敏學涉 .. 制作1 皆出.. 人意1 嘗東大寺大 显親王有~ 力焉 大師

諸 別 當 任 限 事

寺 年

同

臣

不,任 不以謂 四 條 任..別當 四 元 几慶六年 华 年 一頭下 年 為二秩 為中 - 及任 限 秩 所 六月 亦不、預、公請 限 一殊 급 工其 三日 孫師功績 遷 事 一替之日 式 並 權 云凡諸大寺幷 應下令三僧綱第三任 同 僧 申 IF. 卽 此 法 に官 賣,解由 例 削 褒 其 大和 質 朱、得,解由,之輩永 有 人自餘 尚 封 但麼節 誻 位 辛 等 諸寺依 温 別當 別當 可 起 一稱之徒 宝官符 一綱以二 一者以二 請 七

H 太 紀 第 九

也

氏 第 原 天 天 誕 夫 皇之皇子 爾 二子也 生文武 A 國 押開 贈 太政大臣不比等之女也大寶 天皇者 业 櫻 」奉、談至: 寶字二 冷彦天 皇 日並皇子號尊號稱 膀 寶感神聖武 一年, 勅追, 上此號證, 母曰, 藤 皇帝 天之真宗 岡宮御 元年 夫人 字 主 藤 皇 궲 原 之 父

> 賤 介

新 記 # 彩

地 延 += 喜 年 町 + 四 段 公六十 月 東大 应 步 寺 一任 二公驗 與 高 陽 院 - 許...永東大寺 論 津 國 水 陸

> 知事 人知 お請 新別 一个望 ·濟·雜務-但件專當年來給: 知事之俸料 足、濟二雜務,望請自今以後永停,一勾當,以 一然則專當勾當相 一排 灌 悠 九 一欲以移二件講 一者命下仰,,寺家,途 當 事 年 宿 堂 頂 年 人]即 三面 如、先宛、行 戒 应 五 院 願 撰據二公事難心濟更 月十六日 月 一昌泰 件院 -奉ン造:観 一也故 + 令·三綱一人,為,勾 僧徒 \equiv 堂,已非,有勢之願 H 別當道義律 年 專當俸料一 共無」可、為徒致,,公損,如 東大寺申,請 異論 欲 产此 吾 太 レ供ニ養彼 地 皇 願」矣 為以宗曾不以命以移今依以有以宿 藏 太 兩 后 申任,專當,所 師 井之像 宮 當職一無知中難務上 像 申 造 向 軄 官 主 寺一 院 令 藏 省 元 內 -暫宿 人 何遇 動= 已窄 助 -停.專當 本 7 修 高市市 置 一置 **愛 縣 高** 謂 少欲 **今專當** 女 理務 = 太 專 於 $\widehat{\pm}$ 東大 保 其 當 移 言 員 是 往 依 俸 後

同 僧 意

朝 Ill 同 臣 陵 -惟 有 年 世 七 :火災.仍奉 等 月 1.合.前 十二 日 ン遺 謝 己 四 之 一念議 古 京 藤 佐 原 保 朝 仁 臣 Æ 定 皇后 方 左 聖 武 阳 天 佐 皇 平

采 同 色 年 佛 八 師 月 以下 十三日 食 庚 料 次 午東大 米 五 十三 寺 斛 毘 四 沙 斗 帩 提 七 頭 升二 賴 阳 合 以 兩 天 大 干 和 像

國正稅稻,合,春宛,之

東西 自今以 戶九 >之後勘:知年中用殘.不.. 更請.. 用公物 五年 兩塔等 百烟年中應、納 後須 应 月廿六日丁亥勅 破損料所、用之物觸、類有、數非、無 下仰」寺家幷造寺所,每 調 庸雜 物其數尤多而四天王像 如如 聞東大寺例 有…斯損」 刺使檢 -便 以 修 一彼 理料 二公損 修 井 理 佳

鎮"謝疫癘,是依"東大寺鴙恠,也 分定額寺, 三箇日轉" 讀般若, 幷奉",幣境內神祇,令" 寬平四年 三月廿二日丙申勍五畿內七道諸國各於" 國

內,宛#用修,造件天王像幷雨塔,料,宜、為,恒例

吃天幷雨天王像修理料, 命,撿,,毘沙門天提頭賴吃天幷天王像修理,九月於,,大 碗當, 蓋草二枚墨四十五廷宛,,東大寺毘沙門天提頭賴 吃天幷天王像修理,九月於,,大 延喜七年八月廿三日遣,,傳燈大法師位會理於東大寺,

同 年十二月四日己酉東大寺有, 失火, 隨 十七年七月廿三日庚午東大寺庄 寺家申請下 ·知國 率 任本 願 一分、領。掌於彼寺一之 田 在二尾張國 垂 日庚戌遣 一中島 二從

四位下左少辨藤原朝臣當幹等,綿一千屯施,東大寺之

衆僧一緣一火災一也

稻分、宛,寺家修理料,延喜十三年仰,大和國,每年下行東大寺大佛安居布施

延喜十二年四月己酉以"傳廢東大寺三綱依" 宣旨 補任

4

上座, 上座, 一年四月已酉以"傳燈滿位僧清祐, 爲" 東大寺延喜十二年四月已酉以"傳燈滿位僧清祐, 爲" 東大寺

講堂修理事

宛"造東大寺講堂宮人以下料,延長七年二 月八日 戊申以" 大和國 調庸錢正稅穀等,

者即 大願 不、專,於一己,因、之去齊衡 草一合土」造。像者勿〉禁勿〉障同進二百性一催令…加造 有...天下之富 大願,奉、造,盧舍那佛像,廣及,法界,為,朕 儞此寺是歐神聖武皇帝以,去天平勝寶年中,發,利 法眼和尚位觀賢寺別當權律師法橋上人位觀宥等奏狀 延喜廿 年十 二月 造"彼尊像」事也易、成心也難以 知 一為,法界衆生,所,建立,也謹按,被書,偏朕發 先皇本 二者朕 願以"天下人,為"善知職 廿八日造東大寺講堂撿挍權大 也有,天下之勢,者朕也以,此富 二年修1 理大佛1 之時 至更 有レ 相 人願片持二一枝 ...分其萬善 知識 依 他

彼 塔 士亦 無, 期况復 刺二五畿七道諸國 H 便宛 夜災 破 領斯 答了下 七月以 一彼内一不り得り 依 水工 本 三组 願之旨尤 萷 神 文錢一合米隨 察支度 宛 堂 願 二撿納 上收彼 僧 房皆 乖以! - 欲 - 早 而 在山弘濟 米弁 件 寺 悉 伽 修修 大和 取返 藍 輕 修 燒 31 物等色差幹了 1力多少1以得 去 補一 亡爱公家 歎二 望請准二 國 延喜 東 抄一 然而 大 IE 稅 即進 大 稻 先後 佛 九 年 殿幷 史生若 神加造 甚 先皇 千六百八 官其連賃 + 度 結 御 月 西寶 上者 例 勇 願

給 物物 七 破損一文 例等 年 九 月東大 仰 寺 前 日 申 宣 因 上 主作 不」載 先 例 存 賜 破 产件 若 物 造大 勘

寺家 天德 四 名 院 年 置 Ė 三知 東 行 天 僧十 寺 別當 口一个一個 光智 申 三修 빐 公家御 新 造 尊 丽 勝 願文,副 爲二

應和二 寺 一祭申云 勅 修 年 理 一所支度,又介,國 ÷ 去 二韓橋 八八 月 月 大臣 卅 日 木支度 分 大 風 司幷寺司 國 顛 合い 光 倒 朝 仰了 破 臣 損堂塔雜 洪同 可少分少勘 右 顛 倒 137 舍 南 辨 申 大 文 門 東 光 Ŀ 木 等

> 命:國 韓 令」勘: 枚 橋 材 一分如 光朝 木 申定造寺 湏 分と : 國 表 司 勘言 使之例 左少辨國 弁 等 申 共開 民部卿藤原合延光朝 例 光等 所 撿二按彼七 捡: 採 國 新藥 R 佛 師 大 寺 納 像等一又 臣 倒 源 上奏文 岸 朝 臣

時 時 應和 - 左大臣參上 先告二本願 年 十二月 Ш 陵 々奏官奏 東大寺 「宜」合、撿…其例等 講 堂幷景 福寺 二次 焼 可 /定:使 為1造立 申 Ž

佛 合下 頭 國 落 光朝 時 告 臣 奏业大外記 陵 例 文 海 IE 澄勘 申 寺 焙 亡弁 東 大 寺 大

傳說 爲レ 應 和 云光明皇 之如何介〉仰須、冷,本寺進,綠起 師 佛 申 年 像一之由。不、見,具由一 藥師 后 月大 갂 二新藥 事文1 納 言源 師 申 朝 云 Ł 日 佛藥師 令 但外記 本紀 光 有下 帳定 者 奏 朝 雨 聖武 臣 繁光所と 端 奏 忽 天 量 外 進 記

等度文書 進,寺家以 īi 社 一年七 遞有と かり 月 仰 が所が申 東 + 右 H 春 春 今就:此公驗 Z H H 野廿 1.1.右 耐 主 大 時 町 臣 用 ÷ 冷! 可い合い 家領 合 文範 問 學狀 朝 仰 臣 寺 文 所 資副 市 以財帳井湖 點本記 帳 興福

同 年 新藥師 츢 申 給 刺 使 宣 撿 為二 大 欧 倒 御 堂弁

申 11 權 雜 六年七月十六日 可 線記 ン造三立 化 三年三月 細 含 藤原 等率 文副 流 一風損 生 木工 下 大納 承平 帳 岳等符案。仰 御 文 察 下大和 願 Ŧī. 言源朝臣合 仰依二前 七佛藥師 年 實 Ė. 國新藥師 月 撿件 依 H $\overline{\mathcal{H}}$ 三國 堂佛像等 前 定,可以告,理武天皇山 H ; 下大 例 金堂損 光 寺勘二破損 遣 朝臣奏:新樂師寺勘 和 三辨官 | 撿= 國 色 左 宣旨 137 - 使左兵衞 辨 損 大江 貞 色 觀 陵 朝

可 11-111 陵 ン載に宣 四 宣宣 願也而 Н 丙 命題上 合 子大納 去 年八 言 仰了 月為二大風一 源朝 新藥師 臣合門 藏人棟世申 寺七 顚 到命」可以修造」之狀 佛藥師 中 堂即聖武 明 日 奉 : 告 天

命。即 命草。 廿五日丁丑大納 一發二遣 一覧了 返給 便 響源 言 源朝 朝臣 臣命 个►為光奏+告· 佐 下藏人輔 成 秦。告山山陵 保 山 宣 宣

三年十二月 三三東大寺 元大 臣 , 佛堂損色 在 第 命下 國光 | 新物支度 | 副文 朝 臣奏中 木工 寮 勘 申

問之命御讀 注請 奏。東大寺平 年七 注 經行 申 本 月廿三 - 崇申 事左少辨國 崇 至 被 日甲 ニ結 恤 願 申 光申 宣前 H 終 申 雨 日 丁發 降雨 御 孪 崇供 願 經 右大臣合 日 給 奉之由 一度者 命取見 文範 工文上結 光參綱所 然 朝 而 申日

> 僧名上 範朝 令…分申.又令…勘 臣 奉之時猶 仰 云右大將 注 1/1 平 藤 祈 崇仰合向 原 請雜事 朝 臣 淫 綱 例 云霖難時 所始注平 若 有物 崇之由 平 ·崇須 命文

都光智 偕行 宣旨 康保三 文四 然則 命と申 定 康保二年二月分二 件帳所,相違,已多仍問,奉使右 有、所、勤之由 法藏申,,任東大寺別當,光智秩滿替文仰云光 司所、申者以、證為、 此事合。實檢一飲合之仰云前司光智之時當國守安親 實撿自決。具偽一歟然則依。塔事一可以能 時率二所司 二仰!左 枚撿東寺全破使帳弁寺家注 任 枚 一質撿合と法藏 一注,申損色一與,,光智愁申,有、所、涉之由 指不少申 申 年廿 ||其替||此道理也仍 大臣 被 一所、錄也而今與一寺家所」申帳已達重遣 三覆勘 $\frac{\ddot{\pi}}{H}$ 一猶差〉使可宜合光智給左兵衞 一个"保光朝臣 H 重 丙 任事 延光朝臣問二 - 寺修 又申り偕行所と 辰 證乎須ど 右 二只爲 1理事是 大臣 下給 奏前 之表,修理,也分,結 今下保光 勘 進損色帳事文、闡帳 但 爲三重任 石大臣 少辨偕行一々 於 注相 合安親所と E 分 朝 實檢寺使一 達 ジ勘文 臣 |下辨官|加> 歟 東大寺 之狀。 奏前 將 智 進 な申 佐 如 仍重 常疑官 別當 源朝臣 任 權 何 枚 損 H 已申 已滿 色帳 申 云 系合 造二 依三 シ使 師 仰 彼

>造南方一躰事文 使右少辨偕行等注進帳,又注,進大佛殿四天王像內奉同年三月右大臣在第遣,文範朝臣,奏,檢東大寺全破

東大寺要錄卷第十終

東大寺僧觀嚴集之

寫本々

長承三年八月十日

建保二年九月八日

於慈恩院閑亭走筆書之 釋事阿

東大寺續要錄造佛篇

東大寺雜記第一

六日遂逃…下南都 太 盛追,討彼等,畢自、爾以來源氏退散平家繁昌清盛至, 右馬頭源義朝 位於東宮 忽幸 日安德天皇高倉院第二子即位 皇者途配 會同十一日主上後白河殿遣二 皇鳥羽院太子後白河石二具源判 河院御字保 右情思,當寺 清盛等,征伐之間 日 政 選 ···洛東之舊院 大臣,子息誇,顯官 三于讃州 二條院然問永曆元年 於 院第二皇子一皇子逃遁向,, 于薗 元々年 福 盛 R 原 衰 偏由 臣 左府蒙、庇 一之處於二途中一 |白河殿左府賴長引| 同 占 左府者即薨二 僑:龍愛甚 + 月 源 月 日 題職一 同 官爲義, 竊出, 城南之離宮 平 ITI 下野守源義朝幷安藝守 一十六 與廢一尋二其濫觴 五月十 右衞 逊去上皇道,陣 鳥羽院崩 企点課 于南 治承四年長 日 被: 誅伐 豆 門 叛之思,安藝守清 都一 歸 五日於"高 督藤 率 一軍兵1 同九 其後主上讓 城 - 畢同六月 信 平安 四月廿二 日太 賴相二 同 出 者 倉殿 一城 同 以 後白 家上 上天 語 然 本 參

寶య沈、海賴朝蒙二朝賞一遂至二 >首為:東大寺燒失大將:放也鎮西零 相三語 寺一辈 蜂起 靜 レ湯治承五 天子,入..九重之淵底 文治六年庚戌三月廿八日入道大相國 谷,生,, 虜三位中將重衡,同 寶劔等-即 送, 連署狀於叡岳, 乞, 身命於山王, 然而惡業暗 重病 深二于平家一然 問小松內府重盛公薨入道 官兵,下向治承四 悉逃…落鎮西」主 惟極八條落甍六原蓮府暴風上、廛煙雲吐、炎平家 月 間 滥天下安寧建久九年正月十三日賴朝薨矣抑
 賴朝分二木 興 一內府宗盛公被二生虜 種 福 甲斐 爱伊 熱氣 寺 12 帳 衆 一信濃源 豆國 年閏二月四日遂以薨去壽永二年七 叉扈從元曆元年甲辰二月七 滿 行 徒 曾義仲行家等->室人去,, 其邊,港,,冷水,而 猶 相 流 工工等原以行幸時忠大納言奉具 憐 氏一忽巧一謀叛一其企聞二于洛都 人前右兵衞 年十二月廿 禪 :皇子之儀 門醬二 國 母宫女被、取:1 于軍兵 二年六月廿二日於 丽 於此事二 攻中 斬り 權 欲 八 羽 佐源朝臣賴朝贈內府義 洛陽 日 林大將軍 首訖此間 遂:會稽之思 燒二 排東大與福 後家二品奉、抱 落之輩微力已極 三位中 Ŀ 日 之間 大相國 於三攝津國 容、身水變如 鏡璽 將重 其 三南都 斬 平 治承炎 後洛 逼 月 m 歸 忽受二 其 衡 宿 计 連 胂 ジ都 歸二 中 族 門 恐 璽 12

之由 厭雜之御心 子 邪賊之臣 若犯若破障而 大佛靈驗不、落、 上之時 孫 安但 _ 而 一朝誓之旨如、指、掌太上天皇高倉院末代之賢王國 為此始清 深原,世上, 新, 崩 佛 一治承 御 頭落 地者歟本願記文云後代有:不道之主 五年 而 重衡 有一佛 正 月 一家即時 不、行者口共起,太禍 十四 於佛 後一行客見」之相 H 聞: 伽藍 崩 滅亡惡業現報惟 御墨 之燒 一可 失,增, ン伏 小永減 が敵 新

ら 事之次第大概如\斯矣

一當寺燒失事

衆 合力 朝 太 以歸 于當 右 之間乞:與力於與 命…發向 伊 子 院皇子向 河上誅 豆前 本 下一數百 _ 卽 >寺其後興福寺大衆僉議云皇子東國現存申,最勝 寺,共行"向木津邊,皇子於"道頭 制禁 所講 行 一之間 司 二除 源 騎 出 二于 菌城 相 仲 自 官兵一大衆行 相 二旦補 國清盛入道,之旨有 綱等」與福寺大衆岩 收和 無實也子〉時彼寺正權 福寺一途欲、逃…下南都 國 禪 州平家領 寺,彼寺憐,皇子,欲、令,扶 PH 東國 開 な司 向 此 隔二木津 事 塞 其二 三角 治 介 Ŀ 承四 北上 其 一誅之間衆徒空 inj [11] 觸 蜂起一者 一之刻與福 別當共以 沙汰 -合戰翌日 :前兵衞 年十二月廿 下之路 云 逝 同 佐 12 持 去 心 欲 大 賴

> 花堂 廊溝 下司倉 風吹」自 伽非屋自 日 堂三 官 一月堂同 IE 兵 1、西猛 院國 銀堂 面 僧 一來南 分門中 東南 食堂 坊 火熾二子中一滅亡時 食堂 都 院 御 味堂 尊勝 八 處 門 幡 12 砧 僧 院 宮 追 福門南 其外 東塔 捕 正堂 涿 僧坊 鐘堂 臻嗚 以 戒 擅 放 院門等 民屋 唐 火大 咽不〉休 院 禪 院堂上 悉以 湯 也 佛 屋 殿 所、殘法 燒 四 失暴 司倉 院 丽 閼 卿

勘文內師尚勘狀云右朝家驚歎之餘召...諸

道

之勘文

一欲」周二

作治之功一

彼

勘申勘文內師尚觀狀云

東大寺焼亡間専

落清和 聖武同 元年十 師 清 月 右 東大 奉 淨 願 三開 以臨幸開眼 固 天皇貞 月佛像終」功同 寺者聖武天皇天平十五年十 - 同 一大佛 眼 十七年八 師 《觀三年 請 傾 攲一 二僧 供養其儀 月始鑄 三月 文德 四年 萬人1 修 天 四 佛像一 其 皇齊衡 =補 如.元 月 後淳 佛 行,幸寺家,太上 頭 二年五 會 孝謙 和 月 天皇天 儲 懇 - 崛 : 僧 天皇天 凝 無 月大佛 遮大會-叡 長 JF. 苦提法 念 四 平
完皇 勝寶 年 自 八

其旨趣 康平六年十二月廿五日 雖一不一分明一於一此寺一 有 者良辨僧正 丈三尺餘之尊容金銅粧 >消惠日永照者歟就中二階十二丈之 梵字層喪講高五 護國家之砌 有一火災一若被人行 箇陵 台斷 有 一被、行中受戒 圆筒依...神功· 吃,也永保二. 便 識 "于移行一歟彼寺 絕一數占…所 可リン 一光可と被二尊崇 被計 皇后山陵水下也 一因」兹代々置」造寺官一隨と 之建立靈驗殊勝 儿 173 三廢朝 一殘之堂舍 恒 例 跳 ::今任: 申 佛 嚴訪:之異域: 者何拘= 如何依: 佛寺火事 為ニ 事 其數 之伽藍 一可い合一勤修一寺 一蹤跡 一可以有 二簡日依,,验人發,,換城楯列ヶ日依,,野火延燒,,田邑陵 廣濟 常禮一准二 已 衆生之庭]多本寺 有二議定 也適免,除熘,云 猶無: 壌修り 境失之 者 歟 山陵之例 廢朝之例 中 比類 之旁思言 已作二鎮 且 法燈無 絹索 詢 列池後陸樹」也 間 今 12 院 定

跡

治 承五年二月五 卿

花 公家寺家沙汰大概 一修レ之 炊頭無大解 記 被分中山此 主計 樾 助 備 勘 後 檔 介 歟 屰 此 原 朝 鼠 佛 尙 勘

造營事

安德 命 泛天皇御 作 治 計 字 即治 承 承五 $\pm i$. 年六月廿六 庚 子 春 定 日 法皇 任 二造寺官 殊 發 ~叡 願

者寺

菛

一營統雖

三遲留

壇

作

為不ど

目

功

任

土木以前受戒空中絕

心者沙彌 戒

僧等失:得度之計

二歟

然

篇

次宫三善為信 判宫中原基康長官職人左少辨正五位下藤原朝臣行隆

次官小槻隆職

造佛長官藤行隆

左辨官下大和國並東大寺

應。任。日時一合、勤。行大佛殿已下木作。事

日時勘文

陰陽寮

權陰陽博士伯耆權介菅野朝臣季親治承五年六月廿六日大屬菅原朝臣季長治承五年六月廿六日大屬菅原朝臣季長程。申可、被、始,東大寺木作,日時。

權

博

古兼丹波介賀茂朝臣憲定

雅樂頭綠權助賀茂朝臣濟憲持舍人頭乘天文博士伯耆介安倍朝臣季弘

陰陽寮

治承五年六月廿六日 連署同前十月六日己酉 時已二點若午 中月六日己酉 時已二點若午

進」齊衡具如 レ之仍所と参 燒失之跡,鳥瑟之首落而在、後定惠手折又横、前灰燼 養和元年四月九日有,,聖人一號,,重源,行,,向行隆亭, 觸 及設雖、蒙」刺樹」。母勵」微力一行事官仰云所、申有、謂 修御佛,之由有"其沙汰:鑄師等申云此事非"人力之所以 原朝臣行隆為,,勅使,相,具鑄師十餘人,下向可、奉、鑄, 養和元年三月十七日癸巳長官藏人左少辨正五位下藤 云東大寺事度々感,靈夢,仍去二月下旬行,向彼寺,拜, 而勅命有、限只可、企,,其功,冥助不、空何顧,,私力,乎 |如||大山||餘煙揚而似|| 黑雲| 目暗心消愁淚難 兩者老 親王廻二丹誠 也行隆云天平行基井與" 叡願 而致" 一述二心緒一之處為二 一而唱!! 知識 勅使一下向之由承 聖人發心戲應 沙抑

養和元年秋八月重 ~ 樹…進七 可少个下含:論 道 公諸國 源上人賜二 旨 宣旨云 - 勸 樂 庶」之由且 宜旨,造:一輪車 以 談 話 兩

瀌 宜 朕 足 撰 縡 方 稷 勅朕以"幼齡」忝讚"聖緒」唯依 尋 燼二十二相之金 棟甍插:于华天 銅 山 新二神道 草隷 | 每日三 | 拜盧遮那佛像 | 各 當 | 存 \ 念手自 公者世 那佛 - 隨喜 三舊規 盧舍那佛 之安全,粤若大和 也以,,此富勢,將下助,,禪念,亦答,本願聖靈之囊思。 三鎔範於 一良工 惻,隱于懷,任,礎石於舊製, 唱:,大善知識 而去年窮冬不」慮有」 像 三撮 生 可し複言 也世 夫有"天下之富 壞 像 蓋威神聖武天皇天平年中所, 鑄造 to 在 一故 聖武天皇志 一光明超二于滿 古跡 法界 |聚||國銅| 々所々必依: 疊: 之 姿悉 國 勸進,上自,王侯 起」雲之拳, 巨 添 一降二絲綸之命 雕二 交 上郡建二大伽 火四百餘歲之華構空化。 存"飨 - 者朕也有: 天 以欲,修補 粒华錢 煙 月 妙力 宗廟之保 炎 探"山木」以 一路二之和漢 濟 禪定仙院 長保二 海 一雖二寸鐵 誠 藍,安,十六丈 遂"廣大之善 相將一下及一連 切 護 下之勢,者 叡願之趣尤 致二造營 忽聞 敢無 福 利 偏 細 尺 木 造 流 二盧 比比 徸 也 緬 內 斯 灰 金 放

> 激 俾ン知い朕意 七道諸國等 立之思,同結,菩提之因,今在... 法雨,以伴,。華胥 遇二股之勸 浮 天 一之浪 進,者豈非,民之良緣 司因 一焉 况乎時 - 普天之下染...恵風.. 以同 |此事||莫\命\侵||擾百姓||布||告遐邇 臨 嘀 斯時-俗 哉然則率土之 已與:斯善 索 ...栗陸. 五畿 共剛 濱 奥 李

治承五年六月 日

東大寺勸進上人重源敬白

請_特蒙::十方檀那助成,任::絲綸旨, 終:: 土木功.

代之聖 购、之分、開 於每月之齋日,此東大寺十六丈盧遮那佛施,利益於數 之黃金一探」之奉」塗,尊像一菩提僧正渡,萬里之養海 願|行基菩薩表 之精舍神明保護之靈地也原夫聖武天皇發,作治之叡 右當伽藍者軼,雲雨於天半,有,棟甍之竦擢 他 蠢 火延及:此 修 々土 朝以 二補佛像 一俗歸敬 三佛眼 彼此 ·/知識之懇談·加·之天照太神出 - 營+作堂字 儿 彼北 此々猶卓然是以代 懈然問 成 天竺八十尺爾勒菩薩 灰 长狀 佛 一去季窮冬下句八 像化 煙暖是 々國 - 佛法 ोगरे Ŧ Н 之非 三光明 恢弘 兩

坐二芙葉之華、号: 結跏 成 レ胸而 勅命一須」令…都鄙 風 珥 木年錢-必答: 勸進之詞 一家々清虚一只可と 聞 心茲遠訪:貞觀延喜之舊規一 一海 散 沙 傾い首 縱 內 林 誰 之曉 俯 一以途。營作。伏乞十方一 不是一數之一與從 雲憂 地亦紅 其 指二松栢之樹 任一力之所以 〈福無量 色 重 塵滿と 各抽 從 不」可,得記 是 比章 推二底 面 近 眼 能雖二尺布 而 任 仰 忽昏 " 今上宣下之 露不一若一企品 切同心 天 天 則 若平敬 下 白 一然則 一寸鐵 當來 合力 素 不 寒

別當 養 和 務 元 大僧 年 八 IE. 月 大 和 H 份 位 在 41 勸 淮 Ŀ 人重 源 敬 白

上人悅二 而送と H 於三大佛御前一上人 元 年 威應合以然相 I: 宣軍 宋國 八 葡 鑄 宋人 進 言語 師 有レ 、共議 彼宋 和 曲 卿 金 三其營 人 銅 寫 三商沽 多施 丽 下向 IT 而 同 渡二 無仁歎 月 日域 世三

養和元年十 特 於鑄 I (官前 一月六日 等 次踏 置。二 被冷毒 八足上 =多 12 始大佛御 良 一之問 卽 奉 主典取 頭 鑄二 雞 髮 羅 禄 之時 白上 布品 流 一網 戒 鑄 師 正

猛精 自昇 壽永二 興 大河 弘 或負 職 御 其聲如:雷 是 與一長 炭或六十石 作二大鑪三 陳 同 御 岡 福 业 使當寺長官 则 和 车 **丈**高 僧 權 癸卯 寺 進 二人馬 多實物皆 流二于江海 E 卵 被波波 一高聲 官 別當 下十 年二 也 中納 也 E 屋 初 云 都 DO 介レ 上也 電開 口以 三僧官 書 丈餘 宋朝工 持 或五 僧 々以,銀銅二香爐,合入,鱸 四 月 月十一日大佛 愿 藤 酮 如 参云ン炭云ン銅 所三施 左大辨藤 人 + 正 法 原朝臣 一个日 十石 也涌銅 催 三佛後 也 九 X 座 成 尊 飛畑 含弟 如 重 H 吉 悉驚動 入一也 勝 此 說 奉 連 始 源 次 陀 山 上, 空中, 似, 猛火烧, 于泰 後各 源朝臣 加 一成範 或 陳佛壽等七人日 泰 々加三副 1: 四 羅 諸 H 京都 人不と知二 時 A 右 為二其便 禪 人 尼 起レ 奉 不り知言 被 御 與二宋朝 定法皇御 一萬餘 各 諸 都 行隆 和ニ 手奉と 座 御 給:白 之一錫湯人二 轉 山 首 大夫史 淨行 心物或積 寺成 置 其 斤或時七八千斤也 其 副 讀大般若經 鑄レ 和 布 一數 二佛 彼使 奉加之銅 卿 法他 中 本 物 斯 水瓶 鑄 = 21= 小槻 俱 師 チン時 力 反 等 一鑪內 與 廻一秘 物 ĪĪ 缇 宿 取使 かい 祈 福 奉 師 I 编 運送 ·如 之部 請 館 僧 鬴 草 宋 部 Щ 莂 勇 朝 次

祈請 胸 佛 等一欲、奉、鑄一加大像一之處爐忽介一破烈一 内以11金銅具1分2奉11加之1上人垂11慈愍1 月廿二日被 歟 神之結緣一更無二人倫之惱害一事之嚴 頻 絕凡此問靈瑞太多奇異非人 足桶一以蓮、水在家出家或脱二衣裳 疑是天魔之所為者軟其後又奉、鑄 大門立、札其銘云大佛已擬 日 之慈悲」飲 入二多々良煙中一或鳴一轉假屋檐下一 各如以教,頭然,更無以情,身命,因以 銅之類」不、變二本質 又三位 · 銅二云 飛三翔于佛邊 又雷 匝而昇:虚空 一假屋旣燒上煙如二黑雲一禪衆學衆或 k 分 不」追い解機 一々然間 轉二讀 中將重衡者當寺燒失之大將也遂 渡山南都一被山斬首一星彼妻室重衡所持物 觀 有二大叫聲一不と 一畢萬人皆變之色四衆雖、消、魂只依一龍 跳 世 音 然尚 神震、響以隨 經 皆以流出深重之罪業佝漏= 連 所、怖只魔緣之障碍也而 三鑄墨 一或自: 12 勤二行百 知!何事!一寺大介!驚 二諸人中 繞一大像 有二 ~渥~泥 茲銅湯流 之日銅湯流。出佛 春 更不、怖…于人 座 軍調 H 「乍着」、袈裟、荷」 四鳥、欲、盜、大 Ш 水 一王講 元曆 即於二 以:: 彼銀 白鳥 止照火煙 以消火炎 有於餘者 一如 如 年 飛來 彼 類 御 南 此

長 H 宋 本鑄 朝 物 七人 郎 工十 草部是弘 大工 四人 陳 和 卿 同 大工散位 含弟 助 延 陳 ďΣ. 艊 部 助 從 五. 人

小工 延 行 + 人 助時 是末 助 友 助 助 包 爲直 是則 助友 宗直 貞 永

等永二年五月十八日戊酉奉, 鑄滿, 畢首尾經, 三十九日,冶鑄終, 十四箇度,

丁。時別當前法務大僧正顧喜

好 同 涙不、豊而降矣 龍蹄 -如下開三重霧 年六月一 H 經 美絹十疋 一忽腦。金山上妙 奏聞 給二子 其 後漸加二 相熙融神姿晃昱歡喜之 大工 一陳和 醮 磨 卿 相

并所、押金薄十萬枚 熟銅都合八萬三千九 身難以成而 三大佛 一是則自 伊勢國 :被仁之舊宅;所: 堀出; 住 人大中臣以二水銀二萬 百五十斤御身 抑 雖一有二黃金一若無二水銀 所と 也以二一 塗黄金 兩一貫上 萬雨 [] 千 一被 佛 兩

録 講三千 佛 像 之間 四 祈 餘 清惟多 座 幡 春 其 申 П 大般若轉讀 加上 御 蒯 樂度 # 13 徐 勤 部

奉ン治

三鑄御

佛

_ 工

壽永二 如說大仁 年 五. 月 -H 師 於 權 三竈神 律 師 辨 殿 1為1上人之沙汰1分と修1 曉 花殿宗 進

曉 為 -**空願主** 律 師 花殿宗 一被勤 箇 H 三行 之間 座 於 講 - 佐保 惠 肆 珠 擬 Ш 講 御 陵 一論宗 前 同 大劑

延 律 師 $\dot{\equiv}$

線律

部

景嚴得 業

惠 經律 師

得

靈詫 當寺 一八幡大井常呈,,祥 再與之條 偏 依 三神 感 瑞 叉以...人 佛 神 感 力 動 in 再 照 鑄 太 大 神 像 頻 示:

治承遊亂之時學徒多人,,此山,全,,身命,今佛像冶鑄之 伽 時 而集來戴」星而 國道俗輕 天擁護速成二中 東夷北狱各投,, 財寶, 仍 二論旨 人皆以 木 1.身命二 山號二寺 勇猛 …至要 退歸 ·與·加以七寺衆從 隨、役各亂以威儀 山一多採一彼 一次佛 世及, 澆季, 人無,信心 天更無" 懈緩 後山 金容速成花 者大像倾 Ш 木 盏 上皇臣下殆交 五忘…飲食 用 筋 カ 危之昔實忠 構亦企而 假屋之材 -而當..于斯 而 闘り功 が 已抑 木 伇 和

> ル由 皇 卿 上人立 人一荷ン案連と 屋 相侍 御幸一為、被、拾 鑄 委二錦繡袂 古哉鑄造 臣悉以隨 い前三箇度運 像 土 已畢 |連||土壤| Ŀ 無 ン事告 人與 一營作 一佛 此 三葉山 後 Щ 本 三法 :始成 III. 其 願 皇 - 也 士 之剋建 皇帝 構 R 一給 而豐 論 即 殆 歸 里 展 難、成歟古賢之企尤 三其 十 久元年六月二日 佛之誠萬人潤 見 太上法皇與,,重 前 聞 後 之客皆以 而 一築」壇 法 皇 立 眼 涕 源 光 有 朋 淚 後 有 1

御 光 基三月十二日 始と之

今度寺 材 Ŀ 人沙 家并 Ŀ 可以 爲順 光 之由 介 注

土 産

砂金前右大將表加之上可以被 單功食料 を表が、四、有不力を加えている。 備 前 國 定之由人 上人所 上人所 上人所 上 月廿七

光 F 化 佛 + 六躰 华 丈

御 光 六躰 形 天 亚 化 躰別 佛 五 十六人已 É 餘 缚 勸 云 付之 R 今

大

佛

師

院

尊

相

昔

付

大佛 光 佛 師 法印 師六十七人 尊

所

·樂固

也

m

今以

此

Ш

爲

其

便

搆

西

慶覺

法橋院圓 法眼 院實

法 橋院範 橋 覺朝

法法 橋院康

小

佛

師六十人 法橋院俊

建久五年十二月廿六日南中門二天造,始之 西方方 多聞 天天

東方天 二躰共木像往古二丈也今度增,三尺,仍二丈三尺,

大佛師

十四人

小

佛師十四

慶命度 快良仁

定緣良慶

勝圓

小 佛 師十三人

良質質

盛長珍

尋慶

東方天 行俊 給佛師: 計九人

大佛師有尊 A

良有尊 淨西

大佛師天 直 [] 雲

、廣 、觀

來西 有覺淨 良覺西賢

淨圓經 定圓

小

佛

師十三人

實施

忠尊

佛施庭真

大 寺 檀 要 錄 造 佛 當

東

三月四二

大佛 寺家

師

繪佛師十二人 勢順

小 佛 師

善與

幸玄 慶深

敵順

幸俊 信智

慶圓

定慶

經玄

塗師卅二人內

東方天 大工宗包

小工十一人

西 大工

小工九人

等下向 建久七年六月 卽 理性院律師宗嚴加」持御衣木 H 勅使弁 為二御衣木加持

音像坐像 年六月十八日始奉」造,左右脇士觀音虛空藏像 一臂如意輪一坐下在:八天像

大佛師法橋定覺

願主左衛門尉藤原朝綱入道宇津宮

波 一講 師 快慶

虚空藏 願 主掃 像 船 同 各作半身後合一躰 坐像 頭 藤原親能造之

> 大佛 師 法 康 慶

運慶

是父子也各作二年身一合為二一躰

已上 一大佛師 四

小 佛師八十八

匠八十人 机人八十人

東方天持國 連慶

建久六年八月

日始奉、造,四天王像

大佛師法眼

南 方天增長 小佛 師

一僧綱

大佛師法眼康慶

北方天多問 小佛 師

大佛師法橋定覺

西 方 小 天廣日 佣 飾

大佛 佛 師 師 丹 波

講

師 快 慶

一百四

躰四天王像四躰纔經" 半年, 悉造" 六躰, 速疾造立自"建久六年六月八日,至"十二月下旬,六丈脇士二

可以謂一奇特一矣

也物二萬餘兩自餘雜丹不、能、注、之金薄及"五萬所、塗漆各八石也採色丹具遣"直物於大唐,所"買來"

枚一弘海定

己上於,,年紀,有,,相違,追可,勘,見之,採色佛師合八十人一躰別廿人也

作法如\常但在"別部" () 刺懃", 仕之, 四方四佛同日也建保六年十二月十三日東塔御佛御衣木加持

大佛師四人 湛慶法印

訪,,舊記,合、治,,定二丈五尺,加,持御衣木,今度即大湯屋,此御佛五丈之由聞置之旨有,,其沙汰,彼此大湯屋,此御佛五丈之由聞置之旨有,,其沙汰,彼此堂御佛寸法,但棄有,,二丈五尺支度,云々而先日於,

圣而五丈之條依〉無" 分明記錄,成"二丈五尺之儀,云而五丈之條依〉無" 分明記錄,成"二丈五尺之儀,可>用"彼御衣木,之由被",仰下, 畢仍為"其用意,云

要錄云千手立長二丈五尺

申」之立字誤也云々但所司大衆此二尊坐像之由觀音地藏立長一丈云々但所司大衆此二尊坐像之由

中尊千手觀音立像長二丈五尺建長八年三月廿五日大講堂御佛重加:"彫刻:

大佛師法印湛慶

湛慶不り

逐

- 造功 -

而令。死

七去

建長 其沙汰 時 聞 時別當定親令、住,關東一之間也但如,此之儀可、隨 竊進,上乘院宮僧正,是時令,加,持之,云々定親僧正 木加持事寺門當時不二靜謐 之計,以,道快僧正,令,加,持中尊御衣木,云 了心之私曲可」謂,「矯餝」數圓琳勸進之時為,「勸進所 為:本寺之別當 之間以::康圓法眼 之間公家不以能, 御沙汰, 之而以, 了心之私計 八年春三月可」被小加 血血 |別當僧正定親氣而令||下向||之處而彼御衣 備 "蜜家之梁棟"閣"寺務"申"他所 一為二大佛師一終造功畢 三持脇 - 之由大觀 士御衣木,之由依 進丁心經

東

虛 一十八 年 菩薩立像立長 日脇士造始之 1 Ħ. H 己午兩時加持之吉時云々 丈

地藏菩薩 大佛 大佛師法眼院寶 師法橋榮快 立像立長同前

文殊師 淨名 大佛師定慶法眼 士坐像 利 坐像

居

師長快法橋後名定阿爾陀佛

造佛篇云々

東大寺續要錄 以供養篇 本 交治記 建仁記

元曆 佛開眼供養」仍殺生禁斷事 親經下,,申左大臣 年七月廿九日庚戌來月廿八日可、有,東大寺大 一大臣仰二右中辨行隆朝臣 被"宣下" 藏人宮內權少輔 辨仰:左

大史國通一云々 元曆二年七月廿九日 造東大寺判官 宣旨

讃盧舍那佛號。其趣一如:貞觀三年正月廿一 修、之其供養析依、例宛、之兼合、會,集道俗,俱稱, 會日一於,,國分二寺,各開,,齊會,太宰府於,,觀音寺, 道諸國,自,廿五日,至,九月三日,禁事斷殺生。至,于 欲、成仍來八月廿八日先可、奉,開眼,宜、令,五畿七 守、舊鎔鑄梵字揆日之功雖、未、甫本尊滿月之相 東大寺燒已已經三六箇年 - 盧舍那大佛像殊課 日符 :巧匠

時平 次參議兼光卿着座次仰、辨命、進"例文一左大史日戊寅次參議兼光卿着座次仰、辨命、進"例文一左大史 卿着,,仗座,召,,左中辨行隆朝臣,合,進,,日時勘文,今月 文治元年八月十七日丁卯大佛開眼定也權大納言宗家 國通置、喜右大史中原數清置、硯

藏人宮內權少輔藤原親至奉

都覺憲又仰師權大僧又仰

權大納

參議 權中納言

/外記清

左大史大江國 通

件等人宜、分、監、修供養東大寺大佛會 事

始 職一次召,左中辨行隆朝臣一下,日時僧名,次覽,一行事所 大外記賴業,仰曰東大寺大佛開眼供養可、准,御齊會 日時 司堂童子令,催作,了今日於,陰陽寮,始,行事所,辨 一今日上卿見返下右大史賴清撒, 例文硯, 次召,

元興

五 口

口

行隆朝臣以下着之云 k

東大寺大佛 開眼 供養會 日日僧名

僧 正定遍 開

服

師

Œ 信 圓

児願 飾 即召,左中辨隆行朝臣,下、之辨於,降版,下,大夫史隆 左中辨藤 膝 原 原忠 原朝 朝 藤原朝臣經家 藤原朝臣定家 行事官事 臣 業 臣 兼 行隆 光

> 導 師

權 大僧都

法用僧 東大寺三百口

唄二口

錫杖四十三口

衲僧百十七口

散花二口

甲僧八 梵音 四 7 八 五.

口 口

公福寺五 定者三 百 П 口

錫杖百 唄三口 П

衲僧 散花 口

百 五 П 梵 甲

僧 音 七 十三口

百

+

口

梵音三 口

甲 僧 口

定者

册

П

口

散花

錫杖

П 口

衲

僧

П 口

唄

口 + 七

散花

梵音 六 口

僧 Ŧi.

錫杖

口

九

口 口

口

二百七

師

百

東

大

寺

續

要

餘

等大元 口	- + 1	法隆寺四十日 2000年11日 2000年11月 2000年	西大寺十五日
F曾接了 P S 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		裕 散 僧 花 三 口 口	羽 僧 北 一 口 口
座 少外記忠業覽	甲僧十口	甲僧三日	甲 代 音 廿 五 口

云 度緣解文一續于使解文也被以仰日來廿三日可以請以印由 -굿

納言被上下二左中辨行隆 世 相符造進 日藏人 給親經奏了下 少輔被、送,東大寺大佛 朝臣 申 上卿中御門 大納言 宗家 開眼式案 件式左

廿三日癸酉有二度緣請印事

今日 東大寺上人重源奉:納 舍利二 粒於 大佛御

腹藏

重源歸 就,二遊山,而早祐,伽藍之洪基,其間靈異匹,遑,具 善心一西退鎮守之醜類隨一效諭一而改一邪執一加之殊乘 年々秋月只寫,親友,東鄙與州之恩民赴,勸誘一而住 佛 十九重其奈- 福迷盧山之八萬由旬 | 名稱聞 | 于異域殊 像之出, 雲表, 也日月咫, 尺于色相, 宛然都史多天之四 塞一云九藏人宮內權少輔親經草一願文一云々弟子沙門 法皇令,奉加,給云々件舍利招提東寺舍利也 忽詣,此寺,奉、禮,此佛,不、經,幾程,果有,炎上,誠 錄,其後歸,我鄉國 大願力,遙渡,大宋國,詣,五臺山,而奉、拜,文殊之瑞光 殊破,天下之有可一有、目者誠真、不二言歎頹息一矣伙惟 之者也於是治承四年冬十二月惡魔競兮欲、滅 行,以,念佛,為,寤寐之勤,然問治承年中聊有,夢想, 後棲,高野山,靈地名山處々春草總結,孤庵,巡禮修行 俗一矣靈驗被二于四海八垠一焉誠此書契以來未一或紀日 而作;是言;東大寺者 心酸 子早出,二恩之懷, 久求,, 一實之道, 初住,, 醍醐 現分忽起。火難一堂舍佛像門樓僧房一時燒盡須與 |之道場也堂宇之挿||天維:也虹蜺廻||帶於麥楣||佛 ||依一切佛寶||歸||依一切法寶||歸||依一切僧寶 次法印權 1往:還都鄙 聖武天皇御願之仁祠大日本國 大僧都雅寶合、啓曰奉、途 一以"利生"為"朝暮之 二佛法

聲似 被降 身之舍 ン意::于機 客. 告以..吾 思二夢告之符 之居構雖 三影之隨 = 恩詔 利 一約 一紀紀以 記課五 感激 形象 契 レまい総大像之尊顔 一佛 專 此 彼 之胎 金美玉 一畿七道 细 此 大事 然諾 F 緣 寸絹尺布 一勸」遠近親疎一如」響之應」 忽放三 之純熟 一偷 逐 廻 E F 三左中 光明-已欲 計策,爰達 知識 丞 V 願二 頻 成傳 日新施與雲集 現 叉有: 于 聞以言 興 靈瑞 天聽 マ 廢 生 宋 是 有

以

廣

詞

三具俗

一奉ン詩

含

利

供 寶 太 华 尙 支干相 歸 凝 喜 膀 造佛長官 m (上 法 尚殊 敬百 一焉化 歷 之儲」推二 助 一敬啓中自 成 襟 成|此 皇叡 鵬 應 笛 勝 載 İ. 卽 刧 言 낈 左 Ħ 人 2 示 而 一彼至 事 間 聞 事一希哉又希夷非二 中辨藤原朝臣某 介:奉加 で之旨 厚通 生有 終二其 手自 ग 含利 而鎔鑄 誠 趣上殊 三何 虚筆不い可 旅 河.凡 佛定 一醍醐 姑 供 梵釋 宿 ン籠 射 方今 厕 此 絲 思沙 納 座 IlI 龍剛 濁 被上催 受抑 之傳 仰 主 腹藏 少窮誠 世 綱維 秋 權 門修一營之一个不以出一 口所以宣非 致 末 八 僧 持 : 懇篤之志 : 偏致 合 10 國主皇 月 正 招提東寺之舍 知諸 蓋 命一 世三 逐 此 見,此勝善 有二 法 矣代二 佛善逝 即 日 帝經始之音 心所以測 其由 大營 書 僧 RE 成二 施 緒 - 忽以 歡 都 均 利 施 也 殊 殊 五 雅 分

> 請左中 轉 溺〉淚 抽 可 毗盧遮那 導,,,菩提之門,入,,慈悲之室 II 爲二二世之 レ渡 文治元年八月廿三 始」自 則煩惱之 誠 薛 之輩不 辨朝臣 然 衣 佛 則 殆 有緣一及二于無緣 臭 現世 一件侶 邪山蓝 難」乾信 い論 ン奪ニ 歸 依 安穩 二罪障之輕 - 我志 甚深 凡厥 レ超以:|今功| H 间 後生 3部、肝 同心 一針一 莫 弟子沙門 善處 奪二 南 重 無貳必生: -普以引接悉令= 石 无大毗 草合、力之人一 我 不い謂 心 得:無生忍 寫 志 彌 重 レ船則生 堅 稽首 温 源 一福業之厚薄 古 遮那 敬 佛之淨土 以 利] 佛南 死 前 拔濟 住: 此 稱 敬 月 无 禮 得 逃 海 殊 爲

可レ率と 養可 廿 # 日 云 五 六 七 一个…文武 ン當 日 日 日 乙亥今 丁班 # 供 一大將 御 ||養東大寺盧舍那大佛|從||廿七 一時今 百官,淨 菛 大納 夕行 軍 游 H 言 行 二幸鳥 食业云 上皇御二幸東大寺一入」夜着御 宗家仰二 7分 羽 な職 育 為一後御 大外記 殿 人 少輔 來廿 方違 額 親 八 業一云 經 日 日 也 大 仰 不計 佛 下云 限二 開 \equiv 眼 12 云 箇 供 FI

以 T 派 候 云 R

今日 儀式 被問 引幕 官座 行事 卿 事 槻 上洛 松 哥 朝臣賴房大外記清 皇御,二幸 憲着:其南 僧參否 着出出居 着之 宿 菜葺之北二 敷上座門內 加着 一卿叁議 行 日 立佛 大 其南一僧參上之時教正小選各起、座舉去來座北上東面 武部大丞源光東潭正著、西衆座北上東面 武部大丞源光輔院藏人彈 戊 巳 事 史大江國通信行事 隆 錄不 地再震南 其後權中納言經 ŔÍ 137 長龍造大佛 上卿 床 亩 居堂童子參否,次召,左中辨行 剋左大 臣着座令,,召 七間假垣 辰剋 佛 子 座 晴 前 一幅三枚其南設,辨已下座一二間北邊設,大臣座一中帖 屋南北妻當舞 三寶下吉 權大納言宗家卿參着次參議 左 巽 而 賴 都不少然數今日 遂不 大監 1 3 大 原真 房少外記 辨藤 史 御 所 1/1 物 品品 着云 正房行事 同 假屋 原行 原 右大史中 有 賴 業中 忠 未 々左 清 隆 西 業右 使一盛安召中大外記 剋雨 右少辨藤 次官 上朝臣 宣步行事 東大 面 原 大史大江 院藏人彈正 松葉 有 朝 少外 右方 大 灑 臣 史賴 曲 庇次幕 軾前 已上 師尚 隆 心置其南" 記 剋 原 事 音 撿非違 左大辨 事長 佛 朝 朝臣 國 清 清 忠中 此間 臣 東面 左 少納 開 之自 通 丽 着 着...行 原 大 定長 淮 入 問 賴業上 隔 史 原 深無光 使 出 朴 言 會 業行 V 宗 夜 行 次 事 東 安 際 小 源 也 居 可 非

> 東 方 間 ス御 女房候 條院 云 先入…御 12 所 ___ 御 箇 所 一假屋 間 在 大 也 云 佛 西 後 間 乾 院 御 町 所 許 1/1 間 云 12 八 條 相 院 等 御 扈 所

從

K

實 卿 參議 前 定 廊 權 能 大 通 事假 資等 派 官座 納 親 参議 參 無雅 候 泰 云 民 R 通 部卿 其 親 後 宗右京大夫季能 成範 通 親泰通 權 H 納 親宗 言 朝 大 等卵 藏 方實 泰經 宗 賴

实 雅 東 此 開 樂頭 僧 間 眼 画 師 衆 發 先 樂音 前 賀 衆 僧 大六位二十 茂濟 僧 正 定 樂 等 憲朝 遍 前 着 **人位** 大夫前行 臣散位 叁 一各率一衆僧 殊 甚

 \equiv

善

偷

仲

引

之

不盡到 舞臺之東

西

開 僧 到二舞臺下一 立 仍堂前板 惣禮 眼 法皇先攀二登大佛殿麻 師 施 了引退 僧 之人不、見,其間下 開 也 IE 法皇下 眼 定遍 R 御 シ興就 開 眼 駕 云 御 沙與自二 師 之後經 R 三禮盤 事」云々佛面奉、施二金色」、役、之佛面奉、施二人先登奉…扶持,開眼之後、水、是當。佛面之前,橫打,亘板 退下 ・不、乗、與直 東方 -唱: 殿 刻 佛眼 未成仍治 參進 僧 眞 E 退二駕與 行五 言一云 整進 執位 本假屋 一人 一人執網二人前 12 取一枚,近 1 挺 此 間 衆 面臣

右筋箭々云府 下襲公不 次有 幄迎,導 此 佛 經 間 版東北幷 藏 大行 人 少辨定 道 西舞臺 事 權 長 15 輔 北 F 藤 儲 人起 原 職一 仰 親 二假屋二 次 之機 假 經 大 屋 進 、臣以下 且又定遍為·寺 V 軾 昇:舞臺 取綱 寺別當 之故 廻ん 經二舜臺 等師前又如八位二人執 也東次左一手稱一名 次與其間 黎僧 覺憲 催人 書 出入

此 威 師 儀 児願 師 從威 緣 儀儀師 從 授授 - 導照 師 相 題 昇 一舞臺 取 願 文 介咒

道 始 左 相 府 令:退出

行 道 中 衣 問 雨 HH 漸 甚 不少 幾滂沱 完會或令 流 御 所 屋

> 雨 漏

相

禪

門

怒

御

所

角

近五

間

行

屋

也

御

幸

之時

御

步

K

此 梵音 H 细 空星 進 m 大 雨 之間 不 雏 E 卿

東西,退出不,經,舞臺,又不及東西,退出不,經,舞臺,又不及 依原左 75 左近 卿宗 由 三二 各 左 令二行 一々退 右 12 E 3 脚又甚,不、能 12 將源 舞於:東方公卿座 辨行 事 雅賢朝臣進、軾仰、給二度者 隆 朝臣 隆 "進寄」而退歸 院八 起レ座欲レ 條院 公家有二 一颗、秋依…射宣、不 同 · 授 有 御 房分云送 仰 布 此 誦 施於 可 經 事 由 此 此 随い 申 導 師 於 朝內歷靈 間 萬 師 咒 E 宜計 囐 歲 一卯此間 願 樂以 自 入經之家 願 行

上皇 寶樹 酒御 一株舞臺左 所 室只六 本十 奏 也本 院八條 之 院 政 殿 右 相

府

大 介〉獻言玄 人佛前南 擅 二給 T 東西 云 12 相 對 寸. = 數 丈 撞 谷 本

錦

大

幡 流東幡天 74

自 佛 殿 一大佛 南 東 殿上 西懸 製度散 一大幡數流

今日 大 雨尤 可と 調品奇 歟 匪 直 也 事 也

行 御 云 所 12 在 大佛 殿乾

菱 篙

馬 開 權 眼 頭 庤 公卿 業忠同登云々 侍臣不ゝ登。 佛 左少將親純能盛 二入道左

開眼型 遲參云 親命」誦二佛眼眞言一給早降御其後定遍僧 12 正 猶

役諸司

出居

右少辨藤原定長 少納言源賴

房

式 右大史中原賴清 少外記清原忠業 部 丞源 光輔

錄不參云

右

彈正忠中原安範

疏 代史生藤井末 读

九不參云々

雅樂頭賀茂濟氣

右 雅樂助

代散位三善倫 関不参云々

仲

前

衆僧 左

散位 大藏錄安倍清賴 散位清原能高 藤原懷長

右

修 理屬中

原

忠

康

散位三善宗遠 散位藤原賴成

隼 圖 一書屬藤井依 人令史三神 久次 時

開 服 前

散位 掃部 散位藤原 屬佐伯忠廣 三 善 貞 偏 光 仲

執蓋 修 理 愿 中 原 忠康

二百十二

大藏錄安倍清賴

咒 願 前 右近衞將監源光景 右衞門少志平則光

散位藤原忠廣 治部丞卜部友仲 散位藤原貞光

丞代典築允菅野安時

執綱

內匠允惟宗為季 西市佑笠俊兼

導師 前

玄蕃頭惟宗清直

主稅允大江助政 散位三善倫仲

典樂允中原 類清

執蓋

東

大寺續要錄

供 釜 當

隼人介史三神久次

堂童子

木工權頭正五位下源朝臣 散位正五位下 藤原朝臣範保 一時盛

散位從五位下藤原朝臣邦輔 同權大進從五位下藤原朝臣仲賴 太皇太后宮權大進從五位上高階朝臣 忠業

散位從五位下源朝臣 時 散位從五位下橋朝臣

一親長

執綱

大藏錄安倍清賴

打金皷 造酒佐清原惟 圖書允中原信清 成

圖書屬藤井依

h.F

右 圖書屬藤井久吉 圖

書允中原信清

二百十三

右

散位 位 馬 太 位 位 位 從 從 權 后 從 從 從 五位 Ŧī. 助 宫 $\bar{\pi}$ 五. Ŧī. 位 大進 從 位 位 位 F F Ŧi. F 高 橘 位 從 源 藤 階 朝 朝 下 Tr. 原 朝 源 位 臣 朝 臣 朝 臣 臣 朝 範 邦 F 臣 國 忠 臣 藤 質 長 家 行 飨 誠 原 輔 朝 臣 邦 飨

東 大 寺 大 佛 開 式

座置大人供 各 內 燈 西 供 崩 才 是一此 人供花之 幄 机 11: 北 爐 相 對敷 宇 各 東 間 H 机 東 基 前 西 其中 敷 在机前 西 左右 一佛供六坏! Ŀ 相 妻束 北 央居 對立 僧 西 唄 從針 頗 師 事一大 立 一散 育 巫 木寺三 三行 东 前 所 花 退 火 西妻擅下庭中捧 右 和 香 東 佛 机 含 東南 樂所 各 机 置 西 殿 綱 有レ臺 立 趾 相 御願文咒願 西 座 前 對 佛 同 禮 其東 西東三威 其 文児願 妻東 前 PL 盤各 東 四 中 廻廊趾 綱從 立 : 舞臺 四 西 央 巽 致其 舞 敷 頗 花 間 坤 左 脚 左右倚三南 退 立 机 逼 毙 堂 共 其南 相 _ 各 立 童 北 北 坤立二七 對立 子 立 數 丈幄 横 1 前 菛 東 碳苦

> 當 株 庭 正 事官以下座 間 間 前 列 座 二佛前 假 立 面 屋 栽 不西樂屋 坤庭 庭 七 寫 中 間 字-東 其 假 對 西 其四中面 北 西 屋 邊 逼 公 一假御歌 座 立 壇 卵座 字 佛 御 F 左 前 為二 |又立||七 籬-右撿非違使床 | 敷||少 南 為二 公 垴 卿 法皇 E 侍 中 間 臣 央 御 假屋 辨 候 間 在 外 子 所 以 所 記 宇 東 寶樹 史 其 其 假 式 公巽壇 <u>I</u> 為二 建 部 擅 + 强 行 下 下

當 H 卯 剋打 行 H 鐘

佛 舞臺 率 前 次 衆 玄蕃 所 至 正 同 度此衆 樂前 僧幄 二衆 一公卿 谷 師 全下了 佛 至 率= 剋 着 中 前 僧 高治孙 間僧 大 行 座 衆僧惣禮 待 12 V 眼 夫四 門前 列 撿 基 到= 臣各就座 Ŀ 爽自 其 胡在 衆僧唄散花 舞臺 人六位官 ·經在、東開眼師駕、奧在、東 京新樂林邑在、西 東西 間 下行 次衆僧 東 誦 東 同 各 西 佛 官等暫起,,其座, 西 衆 就 還退次 III 人各二· 開 橋 床 僧之中 眞言 梵音 下 服 幄 子 以上 師 巫 下卿 此 一場杖定 丽 人率 駕 137 御之 留立 遍 察引 次衆 シ奥自 納 īfii 法皇臨 開 言 **建**剋 樂人-者樂人等-僧 訖東 眼 就 辨 一品音事 ジズス 僧 前 外 誦 自 一直被 治 辰 記 自 人五位二 遍 盤 部玄蕃各 子 ij1 舞臺上 三衆僧幄 剋治 式 唱 佛前 = 樂音 集 江到 佛 部 名 會 部 御

省

二衆

僧

到

東

樂前大 供二小 東西 如,, 梵音, 訖舞綾切樂訖威儀師二人取, 引頭發音訖卽還 一如,,他時, 訖各就 東衆僧之後,各至,佛前 發音次雅樂寮率二 門前一北行經 亂聲次新樂高麗各發音雅樂寮率二 レ座次 唄發音定者 導師 |各敷||座 到"舞臺下一个與自"舞臺之上 児願畢先是可,有,度者,事度緣 相分供花還却次奏,,菩薩舞 .麗立..東散花之前.林邑立..西衆僧 佛 新樂高 東西 (夫引,)樂人,還各就,,本座 児願一次導師 行此間東西到二衆僧屋 供 F 引 im 具二三遍 東西分行 :舞臺:至:佛前 麗林邑胡 ifii 頭引:衆僧一立:散花之後一散花 還次奏一迦陵 留 立 ||本座||次新樂發音梵音罷 四部樂二 次舞萬歲 禮佛 啓白讀:願文:了授 ポ 次散花師各起 樂一々戲聲卷三次 僧 一次大行道諸樂奏音聲威儀師立加散 乃取三火 就一座開眼師下 頻舞一訖東西 樂執 一就 迎 度發音新樂立二西散花之 一次林邑胡樂發音菩薩 三導師 訖高麗發音錫杖衆昇 艫 次迦陵頻弁天人相分 座次東西定 樂人 兼可,尋,寺家史 至 座到: 步行各昇一高座一 児願 記 御願文児願文 二十善戒於集會 之後 唄 佛 東西列 四 卽 起、座至:中 前 中 **児** 算師自 上 記至!佛 省 **畢舞臺而** 一胡樂立二 者到二舞 門前 樂同 察各 而 立 相 西東入入 自 前 列 D.F

還雅樂 此 公家 法皇賜 間 可 加加 察引:新樂高麗 有 三御 布 施一行事所」次導師児願 誦 經 次 賜 送二導師児願 赤 僧 布 施 T 其儀如 が自ニ 高 座

法皇有"御誦經事| 次林邑

胡樂發音舞

按

摩次

人舞蘇台

蘇勃

法皇還御上卿以下諸司等各退歸利若日暮入」夜主殿寮秉」燭事終樂次舞新鳥蘇次舞散手次舞貴德次舞太平樂次舞納

聞東大寺盧含那大佛者

側

Ŀ 記 傳 中 課 天 慈一將」複二佛 世以驚歎弟子內答"宿善」外資" 之爲樂, 梵字只有以 之叡襟,伴,治工 之所、好 二仁祠 一然問治承末歲粹出.不圖 :,其富勢:所>奉:,造立:也 寶閣挿〉雲似"兜率之居"天上 押開豐櫻彥天皇 下必從矣爱有: 之名一國主之為,,檀越 陀於往 地猶恨, 回祿之成灾 而鑄鎔是以普天率 跡 時漸臨 有: 天下之宫: 金姿耀 比丘 一靈像忽化 三季葉 一知識 同 佛力之被: 日如 也級"累代通三之 新住 人雖 土劉 二十方界一察二怨 宣須 煙門顯 寔國 海 彌 少言善根 菩薩之大 華夏 群 內 之不造 一出二海 寂波 也

誦而 天雨 家 和光之冥威 仰請三寶界會知見證明先分...功德 >之昔若不、侍, 多千億之佛, 今豈得、遂,大清淨之願 自...天平十五年,到...天平勝寶四年, 首尾 Ш 州郡,禁以,漁獵,恩波之注,江湖 資一得脫 猶 仙蹕」也率:1月 窓-百千 供養於秋風 蓮眼先開 美天平之舊儀更就於戲 眇身自二養和第 三曇花之開敷 亦足一十六丈之尊容 至誠 爲一妙花雲之粧 無点惠業之涯際一奉之資品 雉苑安接今日之惠 業諸天定擁護抑 叩言霜鐘一群官豫參專儼。天子之詔命一切愛樂譬 種之雅音遞奏,廣樂九成之曲,況亦弟子之廻, 一更勸」衆會之輩 各授二十善之戒 且 半 一寶樹莊 喜"億刧之一遇一方今擇 |各證||照寂之果位||鎮護者本誓也早移||民 錢 '卿|而幸|露地|中使之臨||梵莚||也修||諷 1 一或准…齊會」以助,威儀一或預,度緣一以 靈 靜謐者今望也宜 一年,到,,聖曆文治元年,首尾五年營 施 嚴 曉露添二 華構 輕 月輪之妙 千口之智德各出: 法相三論之 資 遅締雖と 以 眞珠網之餝 聖武之山陵 又廻" 興 相 一鱗介字性 レ能二波瀾於四海 再圓 :曜宿於夏曆: 大善 歎 四百餘廻之遺 西匠之未以跋 二神祇一爾 我 年 加之逼 惠露之及 奇香芬郁 聖武皇帝 願 旣 之弟 滿 動 設 衆

> 品之蓮座 又 山 殊擎,上分,奉、祈! 緣之算卑依 契彌堅凡厭群僚百司遐方近土一 子禪定幽 邊雲長霽征 白 恵保ニ 四於萬 11 鳥 な群 羽高 胡福 類 歲一多生值 深之水洗二 各 此 倉 戎之客虚候: 心於萬斯 一仙院后房春秋之富無、限攝籙將相 之靈廟 々救濟敬白 善,保,其百福,乃至鐵園砂界六趣 年一點首賴 ..遇唯一乘之花文.來世途登..最 塵心一而一二清姑射二遠僻之鄉傳二 中禁一路圖 命公 聖日高臨 具...足 レ慶致二般阜於千斯 刹 不以搖玄紀遠及蒼昊重 日三拜之緇 頂 | 擊壤之翁歌、仁弟 鳥瑟腻 沙 之諸 知 風 識 雲 倉 相 四

文治 元年八月廿八 日弟子阿闍 清書 作者參 中 議 務權 左 少輔 大 梨 辨 藤 藤 原無光卿 原 敬

治 和 E 六丈 州 連 境 難 之 為 四 排 誰 及 像 倭漢 當季冬天 Ŀ 虚 亦 无 天 雙 皇 涌 中 交 禄 二相 幾尊 仁 不 如 古 偏 延 盧 號 一个少 東大 震 遮 那 佛 日 彙 ブリ 月

各 雁 跋 都 监 降 12 有 定 시(連計 佛 勅 仙 慨 矣 積 勤 任 欲 殊 鯾 琢 職 被 牌 提 堂 套 傷 西沙 游 行. 官 種 亦 廣 緇 有 始 12 勸 素 呈 巧 五 質 神中 帳 功 硘 鬼 施 堪 麗 膒 可 亦 補 陶 俛 轉 往 綴 冶 幾 悠 V 数 カ H 侧

複 得 乏 \equiv 屋 境 拜 彩 吉 闸 同 肥 呂 幡 奉 撰 生 飄 下 時 旬 身 鈲 未 當 鳥 高 究洪 檻 彼 琴 岸 白 終 基 且. 淨 重 LI 開 厞 慧 石 具 眼 底 足

Z

良

辰 E 日

緇 庶 仙 州 尹 官 百 高 扈 僚 從 濮 儀 稽 陽 省 序 棣 合 碩 墨 掌 12

堂 奉 行 軒 恭 敬 供 養

方令 層

我后

雅

會

勅

使

主

抽

面

誠 儀

相

環

珮 鄭 瘡

顋 文 何

行 12

旁

1113 不

縣 顧

禁

殺

生 肩

修 重 伎

應

同

世 轆

薩

倍 卽 九 如

增

初

市市

派

法

分 幡

景 菩 州 得 廻 妙 淨 將 法

資

加

席 威

殊

答 飡

本

和 管 密 武 泥

雪 illi 侶

荆

樂 池

遏

似

詣

界 響

億 望

駕

不

旋 生

前

徐

掛 花 律

洲 成 鏘

咸

遺

洞

庭

奇

華 孟 照 曜

設无 怨 遮善 治 邪 元 鬼 年 八 六道 月 11-四 生 \mathbf{H}

作 皆

者 出

文 B

博

士業實

衢

觧 利 脳

到 益 禄

覺 遠

及

截、辟 誇粟 住 知 識 平 等 之 i A

結

緣

陸 仁 功 現 當 德 遍

天 F 无 隨 為 施

叶

思

道 五 畿 伊 悉

華雕印象皇

俗

憲

攝 銀 台 階

展

會

藩

公

丰 砌

一一一一

女

院 魏

群

卿

長 棣

裨 壑 后 菊

帝

歐

海

內

有等百

麗 惟 是 閑 風 雲

園 射 仙 命

象

宸

秋

高

承

保

腾

天

椒 獻 必 誾 兩 依 丰 睪 勝 根 大 時 木 炁 共嚴 讓 妙 證

被定 實 建 建按 執 久是 年記以 雏 H 後下 七年建 東 大 八寺供養 辛違次 未權 卷 H

時

僧 納

名行

事

官

參議 卿

藤原資 一仗

大

言

藤

原

飨 等

良

着

座

參 權 中 議 納 大 言 納 藤 原 藤 言 朝 原 藤 朝 原 臣 資 臣 朝 實 公 臣 繼 兼 良

權 右 1/1 辨 藤 原 朝 長兼

二百十七

小)史中 記 原 原 成 師 弘、 朝

已上 戊午權 可いかい行い東大寺供養會」 事

Ĥ

#

日

大納

言兼良卿參入被定

申

東大寺

供養御願文介: 月九 日 時 H 中十 中午月卅日 癸酉權 大納 參議藤原朝臣 言 兼 食卵 被 親 下 經 作 進 宣旨 児願 二云東

向

戶

懸

-翠簾 攝政殿

命と着い

一座一給召 .. 藏人頭左

中

辨

士菅原朝臣在高 作進一者

中納言藤原定 即勤使前豐前守源有資為二 政行度緣 日壬午東大寺供養御祈被、立 請印事平度緣也多議 輔卿參入 行事參議藤 次官 不參 二佐保山 原資 - 次 良業 分 納 實卿 南 言 陵 源 書 信定 使 Ŧ 權

廿五 宣旨 三通政 日 日丁亥權大約 亚 一中納 1,三筒日東大寺供養可、武百官淨食自,廿九日 言藤 原公 **兼良卿召: 大外記** 房卿參議同資 四、准二御齊會一日,至二子來月一 實卿 參 被 ス 被

朝臣殿上四位為二八幡 守八幡別 >立二三 社奉幣使 座 有 宮被,申,東大寺 日御 一先被\定:1日 被仰 日 宮 吉 使 上一間事 左 事 時使等一石 次權 中納 近 中 言藤 清 將 水東大寺鎮 原 藤 原 兼 定家 宗卿

廿六

日

庚

寅

後

高羽上皇御:

幸

南

都

依

明

日

御

春

H

詣 也 一被、用 三名議

三云

k

別宮 未剋 微 北 雨 日 今日 御 甲 午 前有海 上皇自二東南 晴 東大寺脇士四 陰不い定朝 拜一御車經 院 間 御幸 天 雨 像 西西 雪交降 1/3 廻廊外一被~寄二 員供 門大門等 午 奉步御:幸於 後 西 諸天供 風 殊 軒 烈 廊 養 八 陆 声

長房 右 言 無良 H 辨長氣朝 朝臣 卿 召 召二少外記 人太政大臣內 臣 間 中原 僧 侶 師 处 朝 否 大臣以下參着先」是權 問 仰 一諸司堂童子參否一權 鐘 事

此 以 後事不」注

供養赦 十二 月 詔 十二日丙午權大納 書事 言 兼 良 卿 被行

東大寺 供養式建仁三年 + 二月廿 H

児願 導 前 當寺 興 一福 7別當前 前 別 當 法 前 務 法 前 務 大僧 大 僧 TE 延 IE 信

前 日 僧 堂莊 西

軒 五 箇 間 敷幷

廊

敷滿

板

弘筵

四

面

太上天皇海卿御簾,寫 在 所 南 面 束 第 間 張 錦錦 承 塵 敷 綢 端

誠座一 分立 其南 西各 三間 立 南 面 西 廊 佛 花鬘代等 所 北 有東 敷 去文許 南祭 屋 W. ..草塾代各 東西 退敷二黃端 和地數 供 一份 枚 最中 為 一方立二 敷…小筵」為…圖 錦 立 東 寫 纈 共 旭 三堂童子座 舞臺南 許 西立二行 東第 西 毯代 間立 F. Ħ. 同 燈臺、 敷,小筵一枚為,圖 丈立:舞臺: 上下層四 拜北 立三蓋高 文幄各 東 敷 硘 幄爲 干脚 問 同 二龍鬢 立一大 間 Ш 彈 間 立 香机一各一脚文咒願文等, 立二黑漆床一 舉 水 以 Œ 床 廻 為一侍 三新 一舞臺東 座名 御 西 四 Hill 同 燈明 [角谷 宇 書官人座 床子」其上 屏 樂屋 如庭燈爐 居 敷 脚 敷 御 風 一脚其中 座 東 敷 屏 懸一寶幢一佛前立 去 枚一供 西 臺有 同南 風 座 其 其 妻 麗端疊一為 = 同 一立一散花 東西 脚 書官人座 其上北端 佛 则 前 西 有階 許丈立二 疊 其南去 供 南 殿 面 廂 為 央立 三首圓 म्ब 唐 妻東西 电 高高 北 份: 南 門內 邊 高 屋 錦 林邑樂屋 廻 机 五許 其南 立。佛 為三明 魔端 立 麗 芮 廂 金皷 座 其前 同 各 東 **选端**是一 毎 盤 卿 許 北机一辨 為二 供 丈東西相 四 pu 幔 頭 疊為證 為二 間 臺 各 布 座 師 丈 以花机八 左右 脚 脇 為二 敷黃 脚高 施 座 懸 御 相 其東 御 同 同 東 相 机 基 座 二彩 相 擅 西 休 第 四 對 會鐘 當日 北三 發亂 東戶 為二上 床 座 二字 西脇 立三王龍頭 層 太 廊 立。左右 右 餘 上天 南 近 東庭 各立 上南 幄 聲 衞 箇 妻南 N 爲 戶 皇

立。大皷二面 、以二東五箇 同 五 間 M 北其內立二置 三大高 左 座 高 衞 設立天 以二北五 右 形棹 門 丈 麗 廊 衆僧座 彈 幄 幄 鉦 绝 西 廻廊 西 人 皷 間 JE. 屋 去 壇 懸二糸幡一 宇 間 幄 衆舞臺 爲 下 西 面 床子 曳、幔當,一人 一設二公卿 餘丈夾 為上積 佛殿壇 1.御厨子 戶以!!東 東 同 爲 門外 - 為:衆僧集會 前各 東南 南 胡胡 御御 レ路立 下 中 東西各立 所 座 樂 Fi. 誦 并 立 門御 門 西 同 箇 K 西西 經物一 外 東 戶一 並 間 屋 軒 北 西 東 左右兵衛 面 林 幔 廊 爲 戶 廻廊 西廊前 所山南大門 廻廊三行 九 所一 額額 阿南 以上南三 北壇下幷公卿 前 鞆 前舞臺 西 相 1 一廻廊 + 佛 北 去レ 去 幄 人 五 殿 丈 立 長 立 座 其西 砌 內 餘 丈 角 一同 丈 東 右 各 戶

備

幡

太上天皇臨幸 一僧侶着二南門外幄 寅剋發二小音 F 樂人參向 着 御 式 御 文 部 佛 二御從 雲奏:慶 彈 聲 前 F 御 神分卯 着 座 西 奚婁前 威儀師 座 詞-一剋分 行 事 者寺家無可以裝,御座於,御拜岳,可以有二下 着...堂前 行皷舞 以辨 召計 送 下少加納 法 之時 腿 着言 座 同 次 剋 御 發 打 御 元彩 於 聲 西 此 僧 樂先高新 間 集

端

佛 掮 座 座 以 座 省 座 於 雅 上草塾代 師 集 西 而 弁天 殿壇 至 察前 會 樂 着引 相 一 鄉子舞 治 士前 訖頭 幄 西 共胡 京執 To 後者 到 人 座 行 To 率 硘 書 所 八十人各 東公 導 廊座 次 盖 奥經 验 之僧 僧 子海卿 圖左樂之 書布門外 一發音 師 打 打三 記 座 H 振節 咒 留立 前 樂鳥破安 金 引遷 玄蕃 省 標各座前一處儀師豫立三 舞臺 為各 金 入り自言 樂 樂等 此 願 留 家 一訖樂止 皷 捧 皷 先 次 延河喜曲 子 間 怎 引 省寮五位六位 標 舞臺 供 - 着 禮拜訖 敷 出 供 次 樂經經 F 舞 臥 人 邑 = 興 花 胡 に自言 次 泇 惣醴 禮盤 次 公到= 飛 僧 樂 樂人經二 等入と 一舞臺 樂發樂十 本 出 陵 雅 威 八發,音 各 侶 一行 シ自 削 頻天 儀 座 舞臺吳坤 道 樂寮季二 到: 東 聖 率 發 禮 自 相 於 師 不西樂門 三南 立一樂 樂 樂陪臚 坤 佛 座前 本道 人 本 舞臺 分 一菩薩 天樂菩薩 樂天 惣譜僧 同 經二 次第退着 座 H 次 人於 門 H 屋 東 吹 樂 而立 記 省寮留 到: 舞臺 門 西 雏 前 調 進 師 谷 願 供 着 子 同 樂屋 敷 立 止樂 如師 次公 文 舞 Ŀ 昭 登 道 調賣 初立 三衆 衆 惣 草 咒 迦 舞臺 迦 庭 立 第 Ξ 到:: 越 前 陵 中 禮 卿 高 導 僧 僧 樂 東 座 舞 次

衆僧 座 願 퍔 僧 如言初 其 衆 散 發音 舞臺 間 樂登樂退 刀 座 久破 柱 東 訖賜 衆 着 後 花 次 部 賜 甲 梵音 十人各 定者隨 飛 之中一 打 起 座 西 樂 传。取二置火爐,加二級杖衆末, 胡樂在、東經二類臺上一出二 林邑在、阿經二類臺上一出二 樂高 禮 座 樂止 相 二衆僧 杖 僧禄 金 歸 衆 佛 對 察 相 衆 樂 復 昇:舞臺 加立 如 訖各 取舞物人 過杖等 和 昇二舞臺 を音 起座 人人入 布 座 參 前 引退 導 次 為後先 左右 就 施 徐 F. 師 賜 次 次 11樂屋 如案下二 昇 行 着 如 表 舞 僧 者 一分立散 舞 新樂高 |樂人等祿| 訖次還||御 唱= 次堂 |舞臺| 座 二入儀 自 綾 萬 前 北 第步 切 嵗 梵 圃 **三童子収** 此 次打 立、東師子在、前 取 樂次打 有一御 供 音 花 而 二火爐 東 列 定者 堂 <u>V</u>. 樂 三金皷 一錫杖 自餘持二 打 林邑胡 引 一西廊 音 花 誦 三金皷 頭 樂人 立立次 經 先 金 起、座收出時例持、之 宫 人進 新樂發 戶一大 盤 定者散 - 花/宮/宮/ 皷 列 發樂 樂々人等 乘 行打 分 座收 立 禮 間若明 師 於 僧 行 自 行 佛 麗 誦 咒 樂韶應 金皷 右奏と 樂屋 訖復 御 聲鳥向 花 賜老 7 退 樂 道訖還著 東 原降 在所 進 拔樂頭 田 又發 引 西 各在 前 此 頭 發 此 座 樂梵 明 昇= È 此 部 孙 發

鳥河

地

御

成設二 稱普聞 妙匠 和尚 塵 以二知識之群緣一欲、複二廣大之聖跡 平 側 逢一火難一也萬 寺之聞::申毒一也大王拾::縣邑一而宛:|費用 分.寄雨國 殿以下忽然炎上傳而聞」之心言無」及爾時 立之背,至, 其千華,以二累代國 之月容早顯開 匪" 直也人 驚" 一 三」完皇 人遺 聞 於班 無三野解 一依」重二佛儀 光 佛 明 會於建久第六之春一矣卽號二彼上人一殊為一大 之御 海 遊沙願 倕 治派四 本 限臺藏世界之月高耀應化分身菩提樹 法界運 殊形能製成」之不」 一探二良材於衡霍二百 一姓施 安德之初 卅七代四 願也以" 盧舍那佛 三五眼於文治改元之秋.焉梵字之華構 源蓋以如以此夫東大寺者 一也依以賞二大功一也 主為,檀度之主,矣約,彼萬葉,自,建 年十有二月軋箜來、風囘祿生、 =財貨 | 而遂營造 你藍之形滅」勸二四悉檀於尊卑 二升石二而不>情二萬錢一何唯那爛陀 日 1拱千 百餘年尊崇不、疎 為, 蓮宮之主, 焉 廣袤雖 一公家降二紫泥 而已哉因 柱 爾來星霜八九 泉 我 一賢聖佛閣 III 有:或聖僧 不と 曩祖 如少雲擇二 茲本尊 改 / 煙佛 感 下之 更 名 廻 华 加

持國 功 薩 儀 \ 舊瞻仰惟新奉 .. 造立 . 金色六丈觏世音虚空藏等 基 緇素集兮福,舍衞之三億人,兼守,舊風,禁,斷殺生,復 准…御齋會,焉相將成〉行樂經陳分奏。宮商之十二律 晦朝喔二千僧一而演二大法義一矣梵唄合」響刺二 諸司 、得、言竹素所、未、載方今玄英嚴肅之々 华二子須彌之八萬由旬 霓|也如\超|,于虚空之九千餘里,爲瑟之隣,,日月,也殆 自 各 南大門幷鎮守八幡宮等同閥·|揆日之巧| 早終| 躰此外左右 字ー奉ン鑄ニ類 於是殊 以,,當日,稱,,證佛號, 誠是莫大之勝善殊常之榮觀者 隙 像各 .餘堂塔門垣等,者或寺家別當聊加二 昔者隋高祖之排:天居: 猶未,,造畢,事之最大匪,遑,具錄,於戲鳳甍之擊,雲 輪與 **| | | | | |** 其內南中門安 「增長廣目等四天王像各一 廻,影養,新幸,為閣 亦 躰石 大門安置同二丈六尺金剛力士像各 猶 登 金銅 加 一廊四 像八尺同菩薩各一躰彩色四丈三尺多聞 巧思-十丈七尺盧舍那如來像 置彩色二丈三尺多聞持國 面 步廊東樂門 一凡厥高廣之勢嚴麗之美草玄靡 廼建-也龍象唯連,三百之袖,唐 成二胡跪 躰石像八尺同天王各 立十 西樂門南中 間 之禮一扶二鄭重 繕理 或土木無 々瑞賞開落之 躰 莊 門北 - 成風之 一躰於二 天 佛 王像 中 嚴 殿 如 也

道交仰 圖於性 弟儲宮令,,松子一而遊從。又拂二諸院諸宮之砌,各為,不 得」賢臣於岳降一乘又《母儀仙院令』麻 諮詢天長萬機克調鳳池之上契二聖曆於河清 逢,供養,之人蹤跡猶少而一緣重疊再臨,此 ▷測倩思::末代濁世之不思議:可>謂:"本願叡策之所:"能 譽一百辟群僚確乎盡、節月毳日際靡然嚮 老不死之庭 帝戚皆保 長生之第 生之芳因乎抑又多刼之宿福也善哉令事彼此計會威應 平一何況聖代明時致一修補一之例古今雖」多前帝後王 致一聖靈若不」忌一往初之誓語一我國宜」決一定向後之泰 財一不少奪,於力,容易而成,大營,非,口 刹-添"冥威於權化城之風」 佐保之山陵安" 真鏡 大宗之崇三露地 二所大神宮八幡大 菩薩 破り塊穹壤交泰七十二風不り鳴り 祖考之廟場懸二寶車一而隔一輪廻一抑大和尚湛 而取、信然則神仙之逸遊地久千齡無、疆 [溫] 搆二高致於器字, 善誘而債,少民,不、傷,於 赤誠一證 仰願 摩 也 ..明白業,先捧,功德力,奉、賁,,神祇 訶毘盧舍那如來伏乞二大薩埵四 E 云猶 各增: 惠光於實報土之月 專 行,栴檀之香,以一个 條 物產咸享永削二 姬公永施二 補佐之 所,宣非,心所 站 風卅六 in - 龍闕之中 筵」豈唯今 二而照三塵 陪仕 池 政 ン古彼 雨不 大天 務 之

> 變地 逢」龍花樹之春 乃至天衆地類沙界 獲二得開曉」稽首和南敬白 願行圓滿結緣之諸衆生現當成熟遂乃一天無雙之仁祠 妖 々一八宗氣學之佛法 之名] 亚 1115 年 厄 月 調 不二陵夷一逮二鷄頭城之曉 之恐 重請 鐵圍解:脱煩 勸 進 和 香 尚

勸賞事

別當賞 寺 御 導師賞 賞 與福寺增覺擬講任 賴惠已講任 少 僧 都 定勝 任 三權律 大僧 章師 都

已上當日

被三宣下

南左方門願 請僧十人 來引列在亂聲 次引列在亂聲 次引列在亂聲

北右方導師 請僧十人

行列次第

先引頭三綱 次請僧 次児願在執蓋

次導師兕願於,,正面,三一體可之有.體盤次請僧入,,正面,着,,座左右床,

導師 權律師賴惠

次講讀登,高座,在,登樂

次風聲振梓

次舞四寬殿 基语 先左方 次右方 次同時

次整二打

次唄

此間曳花筥 小綱役

次散花大行道

次啓白

次導師児願下高座着座在下樂

一八幡大菩薩御影供養事次奏...立樂. 各退出

翌日廿七日於:|社檀|奉|,大井御影|新圖繪幷合>開|,右嘉禎三年十一月廿六日寅刻鎮守八幡大 共御遷宮

演心經二丁

導師奪勝院法印良禎花嚴宗

大勸進行勇法印行之之

大佛殿千僧供養事

右嘉禛四年十月八日於二大佛殿一千僧供養被公行

芝

願主大勸進行勇法印

児願 東南院法印追快

唄 法用僧

散花

梵音 錫

堂達

揚」題名一个人致...讀誦... 一千部

賦安千人前各

手僧內 東大寺四百 揚,題名,令、致,讀誦

僧綱六口法眼紫甲 已講二口

供養篇

東

大

寺

續要

束

二百二十三

成 已 業 Ŀ 册 除 H. 口 已上 法 4眼青甲 中萬八 十三 口 一鈍色 五帖

方廣 衆 力し 學 十三 一衆分 口付衣五帖未業 -11-

FFI

十一門衆 一口法眼青甲 一口法眼青甲 口 一鈍色五帖

律宗 E 上五 十六口其外加三讀 方廣衆! 十三 師 分 口付衣五帖 一口.成二 Ħ.

法 口

大五. 方廣 乘 口 鈍色五 册 口付表五

律大

宗

已 上 Ŧi. 十五 口

末寺

一翻寺 + Ħ. 日 П 有有 九 口 口

勸

醴

修寺 Ш 寺 + 口 口 皆 職非職職 職

石

有 口 非

應 儿

非 1職 口

> 十七七 成業五 僧 睡 綱 漏 七 守 師 五

> > 自

口

東 都 金 堂五 合 Ŧī. 百 П

座 席

樂師寺: 大安寺 + Ġî. \mathcal{H}_{i} \Box LI

元

興

寺

--

 \mathcal{H}

隆寺廿五 大 寺十 П 口 新藥 崇敬 寺 口

光

阳

Ш

九

皆

非 職

職

口

非

職 H.

口

口

同

前

師 寺 Ŧi. П 有

大慈 山 口 口

虚空藏寺 已上末寺分五 +

口 座

座 席 席次第如、次令 座 加

可

79 口

E 三百

西 113 **企堂五** 膞 + $\dot{\Box}$

口

#

八

П

實治元年八月十八日於二大佛殿一行二千僧供養

施主右馬助

児願 導師 宗性 僧 都

梵音 唄師

錫杖

散花

請僧 四 一十八人兩寺僧綱已講成業等守,, 簡次, 請之

佛殿庇着之

僧數 二千人

座席

東軒 西軒廊以南興福寺座以中門 廊以南東大寺座以北為上 上

請僧之外與福寺成業着二中 床 行敷」之但南廊二行也 門以西了

裝束

當寺成業尚着:詩僧末了

僧綱法眼 成業法眼青甲

中臈鈍色五帖 方廣衆付表五帖

> 諸寺 僧 員數

東大寺 口

興福 口

中門 飛

法花堂衆

藥師寺 元與寺 法隆寺 西大寺 大安寺

招提寺

布施請 自餘袋一 僧袋 錢百 錢百文 文 請僧 下饗析 綿十 兩

戒壇院講堂丈六釋迦像供養事

集會所戒壇院僧房馬道自,此所,守,兩方請帳 登二禮盤 廻」壇上,自,正 一三禮衆僧同 面戶,入,堂內 時惣禮其後導師咒願登二高座 |着||兩方床| 導師児願 引引列

児願 導師 別當法務法印 尊勝院法 權大僧都 前權 大僧都 宗性 定親

FI

請 僧百 -İ 此 内

衲衆四 人法眼

僧綱 三人 擬講 人 着 三衲袈裟 戒和 上一人 其 中 成業廿七

衆 11 IE. 師 Ŧi. 中 萉 大二人 法眼 櫨甲

1.3

臈

甲

寺 續 要 錄 供 養 篇

東

大

法 用 梵 甲 役 死 -11-到 根 11 人律 1 頭 崇 公黑袍白 1 成業総 裳着:地 大黑袍 + 八 自 人 白 緣 黑 裳 中 袈裟 臈 紫甲 法 眼

唄 WI 挺 右定同舜 推 得得 業錫杖 散花 頭二 慶賢 A 无. 右真賢 部 大大

謄 尊五 師

三綱 八 A 着座 法衙 四 人 寺主二人 都 維 經那二人

1 小 綱 所 司 人 着 公人 座 行廿人 正 權勾當

樂 人等 交名

舞 人內

人近 氏 光葛 定 氏 真 光 光 家

右 几 遠 是氏

助鉦光鞨 宗侍成 清三 F

清笙

近篳

光笛

近笛

國大

宗佛

有

忠

成

高

剋遲 12 之間 法 用 樂略 之

如 左 陵三 用 舞 納皇 左 萬歲 樂 長 元 年 右 延 喜 月 樂 世 八

H

御 住 能 右 房 惠 當寺三面 沿得業· 也於,此房舍,安,置白 大 一般岩 內 西 室 經 馬 書 道南 讀 展 房先年 供養 紙花軸大般若經

事

花

嚴宗

能

惠得

業

於三

賤」書:續卷帙 經 一者被、載二炎摩宮記 兩 帙 相 殘歟 ĖIJ 以"寶治二年三月廿日」 而當寺古寺僧源慶發心房 錄 而 依 が經 年 序 於三 相 多以 間貴 紛 此

失

宫,令、途,供養

導師 景 性僧都 花 臌 宗

能 二智彼院 惠得業依 經藏一丁以上其 為 算 勝 院 因 K 緣 主 彼 不と 尊勝院主花 具: 御

嚴 宗長者 為二供 養導 師 歟

請僧六十 İ 嚴 守…荫次, 請之 重之會式 也

新 院 建 長 堂 供 養 年. 九

月

+

七

H

右當寺別 道 間 師 權 74 當 137 僧 法 本 都 FI 館 乘 釋 新 信 迦 疝 院家 質 建 左 立 右 堂 壁 藺 論 令 祖師 必遂ニ 安レ之 供 養 堂

僧 正堂事

養一了 僧正御影堂: 丁即 右定親別當法印於二竈神 建長二年十一月十六日被之展,供 殿辰 巴 岡 Ŀ 被一移一造良辨

導師 僧 四十 法印權大僧都宗性 餘口

別 着座鈍色五帖

行基 舍利

正嘉 納言御經云々各置 但 三年三月十六日於二大佛殿一還行之儀式 北中門集會一各先着二東西床一 :衆僧前:可>揚:題名 切經 隆 會如 親大 三花殿

御 一舍利者行基并遺骨也自 || 戒壇||安>興奉

舞 樂人等參向

師 宗性法印

讀 師 藏圓僧 都

主大勸 進 圓 照 上人 一供養事

黑衣律僧等為,, 御共,自.,戒壇, 至.,南中門邊 レスに大 舍

行 列次第

次下所司二人榮實法眼 先仕丁二人着 綱六人 次二人廿人着二當色 梓 前 行 友行

次衆僧樂人以下參二向南大門! 臨 時 蹲 路 南 面壇

F

東寺 弘長元年酉 御 含利 長者寶 奉 入,具 瑜僧正勅 言院 設:供養

聖 櫃 月廿五日相制御使定俊僧都奉、送,真言院,納 入一聖守持一參塔婆一即准宮法助幷聖守同奉之付之封三 塔」以一全瑜僧都一先奉、入一開田一准宮御賓為、奉、請 レ出: 御合利 守命之参;向于開田殿一 |在|錦寶||仕丁二人奉\捧||持之||廿五日先入||御般 三月廿六日東寺御 舍利三枚入, 御于真 於藏中,長者 使資平開,東寺寶 幷勅使奉,付二封於 准宮自開"勅封"奉"移 - 朱辛 含利

若寺,明日 為二調儀式

廿六日長刻奉、渡

: 眞言院

奉人参調之後聖守幷定俊仰後開 勾當二人法眼平袈裟小綱公人等悉參;向于般若 和於寶 輿 ..御辛櫃 一奉ン移 二供

樂人弁 天 等自 三正面 西 邊 壇 徘 徊

寺中 行 刻 次第 次打壺

井四 仕 丁二人

樂人奏樂 天童六人

香呂 下所司 引頭三綱二人

寶輿

衆僧持

小綱

公人

取御與 次自 通言院東 樂人恰 人排 四 足 一人二御寶于舞臺南 :: 徊樂屋前 面 天童

引頭 次奉、仰 從過與 三寶與一判 引 列 官近氏於二舞臺上 右參堂谷守レ標着 二打壺 レ座 衆 僧 此 間 并并 舞

次御舍利實塔奉。安,御厨子一 人列二立幄前,泰二一 奇麗懸=玉幡實懂解網 德鹽 禮堂正面 居: - 御厨子

師 着 三殿盤三一禮

講師 藏圓律師

次磬二打堂達俊 供天童等 勝延 己講 次奏舞 次唄 師 發音 萬歲

樂

地

久

次賦 衆僧出言正 花宮天童役 面一經一榜擅 次散花 行道 上

次說法有:誦 次複二本座 經 次兩師複 次磬 二本座

次児願三禮 次諸僧退散 次舞三臺 宋 陵王 納。

ソリ

行基井 晉 合利供養事

同年 四 月月二 日於二大佛殿 一供,養行基舍利弁

請

部最勝 王 經 大僧都聖氣至論宗 儀式大略如二花嚴會

讀師

導師

法印

權

請僧 百 ---П 有 童舞尊海法印

沙汰

云 々

西樂門 願主大 北邊 八制進 八幡撿技宮清 照 Ŀ

搆

敷

見物

兼 爲二

舞二 給落配 大衆之沙汰 有:舞臺 之山 風 聞 之間招二請之一分

同供養事

年三月廿 五. 日 於二 大佛 殿 奉、供:養行基井骨

儀式如二花殿會

邊一即樂人等列行 臨二刻限一樂人舞人為、奉、迎 二御舍利-參,向于戒壇

次行基并御骨安二御 與

次律僧數百人行列

之外一兩 衆僧出」廊外二面列立御舍利入御之時 御遺骨令\入..大佛御前,給了 方引列又着,本座,了律僧留,于中門西邊 蹲踞自二中門

導師 門願當寺別當前大僧正聖基 前大僧 正圓實與福寺

色衆

布施物色

々衣等氣置:脇机

勅使座儲東 中門次西 中門次東 當寺任:花嚴會請定 與福寺百六十人此外頭々如二花殿會

頭大藏卿

光國

為 東數一鵝眼 西 ;||尊海法印之沙汰|在||童舞|樂屋中門外在||東 |雨方為||勸進所之沙汰|新||造之|號||舞童變 廿貫送」之云 12

降仍破 翌日 有一大衆武具窮齊一而起進之間風俄吹雨亦 则则

庶萬 門僧正執、翰近二佛蓮眼一而筆端裝 先師上綱云開眼不法小鳥蔑如聖教在」文云々 外雲集星羅悉取:網端一日奉,開眼一也云々而永久 於中門一執二其綱端一其綱中間着 羅門僧正一供養導師隆尊律師化人其開眼作法者婆羅 率二百日僧一於二難波津 或記云開眼 上加,採色,其後無量雀鳥住,螺髮之間,不淨狼籍也 之比修理之刻不」尋,,寺舊規,以,佛師長圓, 蓮眼 口僧侶乃至 導師天 結緣上下遠近緇素一佛之前後廊 擎...香呂 羅門僧正善賢并行基井文殊 二無盡百千億百官黎 一備二閼伽 心網本願望皇幸! 一請:婆 之 內

東

東大寺續要錄 供養篇 末

建久五年 入云 里亭 . 定: K 申 東大寺 一月十二 僧 名 日 戊 間 辰 事 左 惣在 中 辨 廳公文威 親 經朝 臣 儀 參 師 等 關 怒 白

神宮宮 挍行 云廿六 廿 逼宗朝臣公房 召二大外記 事 日 T 一參議 H 司 壬午 丑: 相 今 論 藤原光 朝臣 間 在 日 良 左大臣介〉奏、 事以被 大臣以下参二着仗座 宜 雅卿 為 仰 日 ..東大寺供養左右 左大辨同定長等書一僧 レ定 東大寺供養 左 近 中將忠季朝 東大寺供養式 二被定 樂行 臣家經 日 申 時 事 名 僧 伊 朝 定 名撿 勢 給 云

捡按行 左 大臣 事

權 念 中納 大納 納 議 言 Ħ 藤 藤 藤 原 原 源定 實 經 宗 房 能 卿 卿

同

兼光 公繼

卿 卿

中辨藤 辨 藤 原定 原 原 親 定 經 經 長 朝 朝 臣 臣 同

大 外 大 記 夫 清 小 原 槻 際 良 議

レ請に印 天 年 東 大 月 寺 Ŧi. 供 H 養殺 辛酉 生禁 權 中納 斷 官 言 參 符 通 卿 着 聽、政 被

幸 九 東 大寺 四 日 東大寺 Z H 供養問 北關 庚 午 權 白 日 條 大納 左 時 大臣 · 々事一李宇事和束舞內舍人近衞裝 并 言定能卿 點地巡撿 右大臣以 日 下 二仗座 時 参三 着殿 命と定下 Ŀ 東事 申 被 可 義 ン行ニ 三定

申 H ::東大寺 丙 子權 供養事 大納 言 定能 也 卿 參

入

被

發

遭

宇

佐

使

被

廿六 社 世三 為其所 奉幣日 日己 日 壬 午 胩 卯 有…東大寺供養樂所始事」以"閑 使等一七四 多議維 左 大臣參入被之定 中 長卿書二定文 東大寺供養 流 御 記 祈 錄 世二 所

官左大臣 之被、申 廿九日乙酉 三月六日 |東大寺供 辛卯 給二 今 大納 宣命於勃 日 被以發二遣 後事 言 資宗卿 使 一權 公卿 參陣 大 勅 納 被 使 言 改 未 良 二定東 經 始 卿 行 被二 大寺 發遣 神

祗

御祈 發遣 之 世二 社 奉 幣日 時 以 上卿以下相 率 叁二神 祇官 供

於里亭 **社諸寺** ン使星 幡 日 一癸巳 二仰目 社 奉 權 幣日 東大寺供 定: 納 H 時 言定 僧名等-今 東大寺 使 能 養可 參議 卿 供養闕 參 ~准:御齊會 光 入 H 雅 被定 左 卿 請 大 書 僧 臣 東 召二大 定文 者 幸 供 卽 養 記 御 被 良業 前 御 立 諸 祈

東大寺 行幸巡撿 1/1

九 使 自乙 日 甲 未今日東大寺 午 大寺 權中 納言 供 養弁 通 供養 行 省 李 卿 習 晴 冬 禮 え 御 被 也未尅左大臣 亦 立. 也 一升 4 貴 大 布 納 酮 言 奉 實

登廊 衆 宗 ~着…御 門 卿 左 北邊立歸依。日暮經二本路上,許參入其外從僧等多相交直司 鳥童八人右 權 中 在 中 辨左 所 納 是導 言 大史隆 被沙沙 王 師 樂人引蝶童 一房卿 兇 法 軄 願 **兼光** 大 御 從僧各 装 外 記 路,入,樂屋 束 卿 引 代隨身八人於二 事 良業等 參議 登三舞臺 等 人立..東西 公繼卿 申 居 · 尅公卿 一行道 西 等 欄 僧等 「蓋高 中 自 參 着 門 徘 東 座 南祭 假 迎 F 西 被

> 各 鳥 出 量 後聞 H: 隨 Hij. <u>H</u> 身 行 人 三幸于 東大寺 2年 臺 保樂平 就 舞 壇 F 垩 退 間 H 左大 次 四 臣已 部 樂 舞

H 七條 院 御 幸 云 12

寄い 頓 古大將 日 所一 丙 申 入::御 時 賴 晴 實 南 未 幔門-対鸞輿入ニ 以下 御 供 奉 輿 舁 御 自 居 南 大 面 寺 階 西 隱 IE 間 看:御 御 輿

源 寺 後 供養 西 宗 雅朝 風 日 也 殊 一 臣 烈黑雲覆〉天自: 被分行 晴 為 剋 少使 蜜 發 H 神 曜 當寺 分亂聲卯 露 鎮守八幡別宮奉 乾方 三寶吉 剋 權 雨降黄 未 F 剋 大 各 地 幣 藤 震 晴 原 今 動 自 午 刑 飨 部 光 東 尅 卵

遲 云 一明七條 k 院 自 []. 算 勝 院 御 宿 所 御 幸 御 :寺東 登 廊 御 所

樂發 上 宗 辰 一下一御 | 剋天皇 賴實 卿 太政大 立樂 被中 良經 臣 輿 行 左 者是公卿 二幸當寺一 大 卿 三御 由 定 臣 於 御 能 休 當二 卿 大 列立 條院御 所 臣 中 西 大納 **参殿** 御下 納 北 登 平向 一 廊 通 南東面上 末壇 實宗 親 此 參之 以二權 間 親 卿 M 後於 信 降 暫 部 忠 卿 留 樂 卿 權 屋 御 西 權 中 輿 廊 納 本 納 擅 親

レ自 床 朝 院 以= 東座 洲 右 右 家 重 一殿 實 具 御 朝 大 臣 117 外 卿 原 右 史 验 卿 左 良 臣 文 記 大 敦 近 經 信 11) 命」着 輔 衞 咒 藤 藏 公 中 良 卿 泰 有 JF. 定 門 FF3 157 H 朝 願 原 卿 右 參 通 Y 小 藤 將 11/1 71 議 文 司 レラレ 親 中 卿 着 右 三南 原長 忠 11/ 藤 藤 賴 忠 知 雅 親 H 心 紀 陣 覲 否 進 卿 光 原 朝 經 宗 兼 加 式 次 之由 人 成 事 御 卿 座 公 着 良 御 膝 部 仰下 被 三署式 領 小 家 光 降 奏聞 原 大 大 納 給 15 西 文 問 朝 朝 被 H 房 镁 IE. 雅 (佛 文 孟 V 次 廊 部 E 児 争 咒 仰 殿 藤 諸 畢 賴 10 太 源 位 公 同 座 願 舱 自 P 內 原 願 朝 扳 政 史 口 保 E 公 賴 文 不 時 光 打 淮 臣 東 A. 文 生 良 大 右 御 經 家 房 能 卿 聊 鐘 次 此 重 否 召 座 奉 地 臣 中 方 大雨 定 朝 朝 權 卿 怒 币 間 少祿 所 原守 召 户通 · 南下時座上 百南 外 之由 長 左 仰 卿 13 從 議 15 主 記 大 將 外 左 卿 15 紫 給日 敷 E 中 季 臣 將 良業 藤 位 1 1 高 rh 公 長 以 渡 原 着 次 游 116 卿 右 門 藤 雅 粉 卿 倫 一御 出 藏 使 大 原 朝 道 法。 藤 圖 成 卵 右 1 着 光 臣 先 臣 到 為賢 原 古 卿 治 沂 著 召 胡胡 給 朝 條 頭 器 家 源 入 親 經 部 衞

着: 音 允 濟 म 左 終 座 巽 林 無 退 殿 舍近人衞 舞 賴 F 小 人西門守 盲 坤 臣 林 床 F 中 F £ 着 朝 槻 樂 調 從 各佐同 東東 辨 各 子以 原 朝 邑 - 着 同隆清左 衞 隆 五 व्या व्या 儀 床 此 以 三行 同 林古 章 臣 親 EE 以 虢 F 位 間 帥 木 座 邑樂 北北 部 F 大 15 列 經 四 實相 證 座 以一近 振 允 樂 外 朝 殿 次 鳥安 雅蒙 舍 + 誠 密 內 人 次內 臣 率 上 A 破樂 由 人 記 た 兩 A 样 樂 鹽 出 中水 原 清 右 人 中 一從 + 舞 屋 邑等 品 次 衞 次樂人 兩 由 立 舍 着 辨 原 北 人 语 僧 守 四 + 權頭 辨 辨定 三樂 發三亂 自= 忠 人 親 面 大源 良 從 覺 昇 出 分 近 業以 率 經 屋 法 近 相 經 异二佛 人 南 叉昇 同定 衞 古古 經 朝 南 舞臺 衞 共 聲 親 前 敷 長少 東 1 出 朝 臣 To 本 1樂雅 H 無納 合 1. 王 門 座 二舞臺二 先新 全 左右五 左右五 左右五 大立舞 左右子 着 右 吹 相 大言 路 南 阳 草 布 振 入 率 次 中 外 施 经 調 自 柞 着 中 歸 座 被 大賴 樂 和 行之次 机 於 次 夫房 門 子 10 江 舞 定 去 仰 同勘 師 東 西 到 36 左 家解 内 經 助 樂 壹越 後 -j. 座 自 綱由 F 雅 舍 朝 衆 右 屋 和 告 廊 侍次 調 约公 次 藏 着二 人 臣 前 僧 舞 衆 座 国 床 此 10 兼 左 人 P 床 僧 有原清 -5-位樂 郷 次 南 退 大 樂 頭 人 召 六前 幄 廂 東 业 雨 子求 位五

四東衞中

位惟宗 標留 立同 飛僧 日日 原 相 親長 大學 台 华人 朝 少 允 自 衆 藤 F 業 僧 允 南 橘 厚 昌 入 #1 朝 康 V 師 निष् 門 自 實等 修 市 理 五位 南 俊 為 137 藤 中 散位 が先 原 六位 門 朝 五八 伊 臣 加 等 位 岐 तिरं 雷 留 率 宿 光 TE 立 确宗 散 藤 右 先六位 位 原 標 方 光治 朝 T 衆 臣 僧 率 衆 朝 部 貞 立左 僧着 光 東 臣 散 業 西 藤 方

等樂人 児願 成宗 都權少個 座樂止 衞 憲 歸 乘 15 弘 率 元 心來與右 藤 執 咒 連 い自 率新 尉 藤 網 治 玄蕃 朝 原 前權 三本路 重基 泥 衞 原 臣 遲右 育 樂雅 門 為 中 僧 給引 季 大 安 少志 部 左 俊 門 樂 立 頭 Æ 一樂人 倍 右 4 il 137 勝 立 權 三樂屋 到二前 志 為 宗 相 4 掃 憲乘 三標 助 保等 同 基 則 中 F 並 部 藤 原 朝 光 前 入 T 入 刺 所 頭 原範 三樂 左 É 執 綱 留樂 並 一發 基 安倍 自 次 盖 治 右 右 綱 屋 吾聲 政 Ħ. 南 書 左 部 兵 孝重 藤 相 師 衞 137 次 權 1 原 分 咒 引 菛 丹 大 小 朝 光 為 願 等麗樂 輔 志 波 尉 光 初 成 住 到 經 25 等 云位 喜曲等于 資 一舞臺 江 基 人 朝 成 飾 绝 為 舞 次 朝 貞 都左 率 137 率 先 臣 僧 竣 親 允 頁方 執 經十 記 尋權 道 蓝 平 東弟 坤 右少 著 位 師 137 经 方僧

大鼓 儀 儀 賴 定長 長 房 卿 TI 着 定 師 納 於 À 貞 房 卿 同 師 師 右 卿 盛 登 惟 外 卿 定 舞 覺 俊治 子 歸 入」自 左 同 F 位 一禮 左 能 藤 恕 宗 記 辨 卿 兵 泰 入 116 元 同 降 盤 方 原實 取 右 昇 為賢 公 衞 卿 東 定 樂 ン之進 一門 師 ジ自 督 御 瀛 原 西 # 西 児願 屋 子 佛 阳 樂 卿 納 眞 光 經 45 四師 々請管 一舞 門 朝 實教 親 吉 四三行東二行敷 志 此 右 大 A 卿 從 1着二 良業 臺 HH 史 臣 親 部 宗 源 庭 授= 后 15; 禮少 -f-中 异: 南 部 史 右 卿 卿 涌 位 親 願 忠 書 中 有 13 15 卿 藤 经 公卿 取 舞 ū 關 景 外 忠 原 卿 師 137 二高 臺 雅 _ 御 經 藤 權 É 吹 右 座 信 後 座 北東面上 藤 太 願 飨 大 朝 卿 房 原 大 笛 舞 後關 省察執 少上 政大 善 納 文 右 前 咒 為 左 光 是掃 府生 大 中 雅 兼 臣 願 仲 H 卿 重 即 左 以 着 弘等 仲 權 史 光 權 賴 蓋等者 13 授 尾 部 F 大 小 納 卿 同 卿 中 本所 137 金皷 寮敷 張 臣 修 经 納 起 導 左 外 原 公 兼 右 理 時 談 = 親 137 飨 師 助 自 地 臺 座 史 良 還 經 良 1 同 同 臣 自 威

非違 三 北西 202 菩薩 次 傳 傳 胡 次 戶 童 第 胡 下 度三衆 圖 子 公都 蝶 蝶各 左 間 左 供 賦 書 经 諸 書 爲 分 之 衞 使 檻 沂 樂 層 留 施行 大 智 道 HI 禮僧 下 可 1 之由 發 E 着 立 次 先圖 夫 前 同 Ti 將 權 少學 泇 :舞臺 洪 次召 児願 畢 13 西 印 簣 召 僧辨 八打三金 雙 陵 任 兼宗 小 陪 先 華 R 草 大 |之由 字 舞 発 納 臚 頻 藤 行辨 使 官 E E + 臣 次 發 朝 智晓 胡 =同 原 弟子 盛 皷 人 官 復 唱 自 大 朝 後 供 蝶 臣 次 行 卽 安召 人」自!!東 退 人 座 二舞臺 師 摩 臣 臣 以 座 次 胡 舞 此 增十相 同 大 出 次 第 朝 仰 下 硘 由 蜌 显 上弟 並 間 樂門 內 次 右 殿 子立 行 退 退 傳 上 經 下 -11-經二 供 左 公公 左方權 次 樂發音 參 上 候 外 餘 着 经 舞 え 供 藤原 召言左 西 卿 1 後 證 舞臺 記 | 着|| 殿 次 進 A 退 進 臣 一舞臺 樂 起 藏 着 誠 え 留 良 泇 入 起 崇 門 赦 座 同 權僧 + い自 -業 立 陵 次 E 中 座 佛 文 業 各 Ŀ 少都 所 詔 Ŀ 舞 弟 人樂次 辨 頭 前僧 天 於二 掮 復 Ā 草 事 入 被 到 =连 7 次 右 都延 東樂 A 供 親 後 = 由 勝果 打 衆 在 害 自:: 西 舞 仰 中 木 仰 佛 座 詮 辨 登 次 天 泇胡 朝 退 門 雅 堂 座 座 殿 金 八章於 陸蝶 宗 次 右緣 臣 不 西 內 廊 迦 記 市無 類東中 階 皷 惣 着 ジ待 次 陵 退 記 代 賴 此 廊 面臺 西 仰 權印 堂 心思 座 同 頻 出 朝 撿 東 間 次 大性

> 舞 賦 花 漕 佛 畢 興書 之官 取 次 火 者 + 人 右左 方方 緣貞 差實 春定 朝寶 高貞 明證 優□ 春口 慶玄 資真 昇

此 西 風 殊 烈大 雨 忽 降 諸 A 起 座 此 後 儀 式 毎 41 省

略

112

智信飛行樂衆 賢經 十. 道屋 僧 發重人 依後 行 百僧 午內 歟二 住 依 佐、雨也 上殘群 上慶算 各復 東 74 **最**依要 座 登 支 廊 次 南 不頭新參克 簣 子 方定教 入n堂· 鳥 頭線 同 向 樂 成慶 中 次 人四 於部 二 經 支樹 信詮 梵音

堂金切中泥水 自三 上 禪上 發 否 由明宗承師 導 師 左日朝 長殘 俊 自 次 師 供二錫 佛華 中可臣辨公益 東 同 柱 治 地 昌姓音 座 道 送:本房 益:送之: 前戲 次 西 以經 久 南 取 師 仰 破 梵 登 校一 ··率都婆,書..題名一部賦之於..唐本 頭 次 表 A 諷 支右 音 廊 所 錫 次高顯重 通方 白 左方衆 仰 頭 誦 樂 校 復 左 文 驱 給二 上於 彩 沂 麗 座 総 讀 頒 新 院內 1 次 僧 度者 權 樂 樂局覺人 三藏 本 樂高 名 御 於 引二 一百段中心察脈布工 E 1 各切 二之由 將 賦經 願 麗 前 布 南 僧者 登 藤 宮五三百 發 壇 施 完 樂 申 云置之 原 E 門 百段 次 右 飨 次 次 高新 段頭 次 前珍重印 引 唱 点 细 麗樂 此經 錫 僧 朝 外中 萬歲 證 僧 核 辨岳成 焚 無朝 林干 御 布 臣 寒 誠 歌秋 音 御誦經 誦 施 復 樂 布 慶 於 垂 經 不 次 座 施 仰 六 EII | 軟條 導 新 題 引 就 實大 賢辨 威 舞 麗 樂 節申 M 宗納 兜 儀 総 增 卿言 蓼

都

着二公卿座一 御:座堂中 良業」下二給折紙 藏 良 人頭 · 久還,御頓宮. 亥剋許權中納言兼光 右大辨宗賴朝臣來仰二勸賞事 卿

召二大外記

武 鎌倉將軍 女房許見物將軍 二人雜 **应**面 廻廊 南大門內西胶岡 A 一仍結會庭儀式嚴重也 去.檀下二三許又着..甲胄.連居不公令 在 ||宿所||東南 上構,|棧敷|見 院不と 渡云々今日 一物之二云 R

明朝 十三日 廿四 臣 日 戊戌 向 己 西 三結政 依 今曉行幸 |東大寺供養|被 |請||印官符 還御也 行二 流 人召返

一念議

實

東 大寺供養役人

居

少納 右少史三 言 源 賴 善仲弘式部 房 右 少辨 大 丞 藤 藤 原 原 長 浪重 房 權 少外記 惟宗為賢

錄 FF3 原倫 光

彈正 小 忠 紀 人衡

> 疏 化 中 中 原守 季

和 舞 內 舍

藤 藤 原範 原盛 值 弘 藤 中 原忠 原 實 光 經 中 平 原 成 貞 雅 藤 中 原 原 仲房 重

貞

藤 源國 光 藤 原 知 重

東舞 左近將監

4 實繁 源盛 長 藤 原 清 成 源俊質 三善良國

右近 將 監

同 陪從 平 一宗高 近衞 藤原 左 近將 光 曹豐原 佐 源後 小 觀 秀 平 親繁

藤原保孝

府 生清 原助 直 大石 八景 安倍 秀遠

府 右 近 4 一安倍) 將曹三宅守 季 國 正

樂前 飛僧前

雅 雅 樂頭 樂 頭 權 智 助 茂 濟 憲 部 兼 朝 氏 臣 少允中原章久 少允 藤 原 清 忠

1

導師児願 训

雅 掃 樂權 部 MI 安倍 助 藤 原範 孝重朝臣 政 雅樂少允三善成宗 少允安倍資直

衆僧 前 左

一百三十五

大學少允藤 西 市 TF. 藤 原 原 自 厚 光 康 散 修 位 理 惟 宗業目 少進 藤 原 親 實

階

源

清 資

高 階

信

仲

高 基

泰

源

長

邦 高

高

源

兼

源

保

行

藤

高

階

業國

源

忠 泰 清

國 家

隼 人 正 右 橘 清 俊 位 伊 岐 宗 光

道 師 前 治 部 少丞 13 頭 允 安倍 藤 藤 廣 原 原 基 親長 重 基 朝 小 圖 允 圖 書 大 書 小 T 允 頭 丹 藤 宗 波 保 原 經 重 基 實 朝 臣

執 執 綱 蓄 左 右 衞 衞 門 門 小 少志 尉 大江 則 光 貞遠 平 信 弘

治 部 權 大 輔 平 親 長 児願

前

小 輔 膝 原 為 季 少 永 藤 原 光 成 中 原 基 綱

载几 執 綱 蓋 右 右 衞 沂 門 衞 13 117 志 一尉 藤 源 原 成 重 康 俊 平 為

文司 打 金 皷 左 圖 書 書 137 小 允中 屬 藤 **游外内**吉 原 成 右 圖 書 言 少允 小 野

家

久

有家朝臣 高 階 仲 資 親 源 朝 É 捷 俊 信 藤 清 源原季高 朝 臣 高 藤原 階 仲 基 爲 成 源 源 國

散

堂童子

以 政 朝 臣 右 時盛 朝 管 朝

忠 政 輔 雅 光 賴 藤 階 原 源 隆 仲 成 國 售 源 源 45 範 邦 廣 消 基 源 橋 倩 仲 親 季 橋 原 有 親 原 敎 有 藤原 藤 藤 藤 親 淸

布 施 取 諸 大 夫

橘成 藤 原 仲 廣 重 橋 藤 定 原 家 親 4 原 平 重 親 永 絧 大江 賴 重 大 江

知

東大寺 供養 會

左

児願 明 勝 印 詮 性 延 權 果 權 前 法 權 13 大 僧 僧 印 僧 權 郡 都 JE. 大 僧 都 雅 信 引 緣 頭 權 法 良 EIJ 尋 僧 權 權 都 大 ルテ 僧 僧 都

都

惠

秀惠

林

叡 心均 仁信

重

上法隆

诗

萱

俊

相

真

辨

慶

尊曉 西 淨仁 藥

仁

增

雁

信

延曆

聖

慶

以

上

園

賢

尹

權 僧 都 都

孙衆 宗元 137 清 延 貞覺權 權 律 師 少僧

賢權 師 片序 律 橋 顯 忠權 III 師 忠慶 律 AME PER 仁快自己語 建真 教 師 法橋 玄季 律 權 臑 長 俊 律 法 誦 師 橋 權 成 律 會 藏 師 有 權 法橋 律 信 教觀 師 權 律

善勝 珍祐 意勝 乘延 靜幸 嚴覺 隆樹 施 海 尊玄 寬季 寬 勝 慶 相 良 骄 顯 禪 印 應 俊 網 人人 助 定珍 蕃 善施 隆祐 尋勝 玄皷 類 禪 海

以

Ŀ

師 同 信

定慶

賢

德

勝惠

慶尊 寬源 相

行

麙

實淵

辨質

林慶 寬宗 寬惠 延智

以

E

大寺

能覺

慶

寬雅 良林

順

延玄 童 真玄

海

淵 寬顯

靜 遍 定寶

永 詮

信

快嚴 寬 思 珍 質

蓮

有

清 與. 永繼

文質

相榮

以

上元

脯

以

大安寺 慶仁

永 勝 乖

慶禪

4

宗 嚴 隆 融 禪

行尹 寬慶

勢珍 淨慶

俊諶 行譽

靜寬

靜

演

覺

覺 隆

定長緣

性 舜 成豪

城 寺

二百三十七

甲 深慶 辨與心範 衆 辨英 信 信 蓮 行 快智 禪 家 曉 宴 定 證慶 戒 春慶 法成寺 寬 圓 林 尹心禪心 爺 督 慶舜 源有實永 忠賢 賢意 以 圓 上最 基 景 義 忍信 兼覺 兼 永 醧 延 慶 惠增 慶 勝 雕 蓮 膀 圓 寺舜賢圓 以法 義 玄理 嚴 永印 淨 顯 以以 祐 有 上東 蓮 喜 海豪 昭 £ 上勝 上 一法成 圓宗 尊 寺 勝 寬 行 勝 禪 行 辨 正 珍 成 寺 勝 範 深 乘 寺 忠準 雄 慶 理 遍 嚴延勝賢俊實曉貞慶慶實 實 範 辨 有

慶教性秀範

禪經有善勝行聖春什教勝久相隆實源幸經遙緣朗運劔鑒慶眞 定運 顯定心 酮 以降 E 賴永勢超隆貞 榮幸 長濟 哲春順玄 嚴 延 覺能 慶 敎俊 覺 長 增 曆 寺 以實尊是 光 隆 以藏 審 隆 林慶 行 顯 淵 遍 專 元興 慶 長慶 淨賢 以上 寺 永寬能 以以 兼 信 延 上上 融 E 幸 尊 胤永 大安 法 東 西 賢珍 勝 寺 以 大 定 源 順善 良尊緣叡 春 寬 寺 F. 紹 尊 禪 詮 面 叡 永 海 法 定寬惠融淨詮海良漏成 以 隆 實 以金 上際 E 園 晴 定敬信仁慶 城 師勢 寺

俊

盛

乘

辨

修

以 以 以

E Ŀ £ 良

法 西 藥

大

錫 杖衆

俊珍

嚴幸

長玄

永

Ŀ

大安寺

梵音衆 龍遊慶 覺遲 信 朗 家 頭 教 永 真 慶 成慶 信 辨猷 理信辨 嚴慶 定慶 賴 經 寬實 辨眞 林 禪慶 蓮 有 算 依 以有良 以以 宴 辨 敢 以 VI 以 U ŀ. 慶 尹 1-J-. E Ŀ E 上 元與 法 延 成 尊 同 以 成 勝 勝 勝 勝 辨 顯 勝 尊 有 F. 眞 寺 寺 ⊹ 詮 良喜 增 宴信

教賢

以

L.

大安寺

叡 圓

圓雪

圓

操

慶

靜

思

以 圓

E

專 定慶 永定春

重

貞

質

觀 印

遠 賢

定寬

顯 同

樹葉

行

隆 經 兼 圓

慶 辨 乘 忠

重

散

定弘 師

信靜賴

聽

虃 以

叡 順

> 右 方 明 遺 師 慶 智 權 法 僧 FII 正 權 大 僧 引 都 頭 覺辨 承圓 權 權 大 13 僧 僧

貞禪

覺辨

以

上

法

隆 大寺 以上 靜圓

淨

性 圓

遍

暹 信

珍

暹

上西

以定

隆 同 祐

恩

藥師

辨曉 行 知 權 權 大僧 炒 僧 都 都

胤

權

大

僧

都

都

都

衲 衆

覺權 律 師 公雅 權 律 師 宗

二百三十九

嚴

權

律

師

覺

教

法權

眼少

行

舜

僧

都

宗遍

法 眼

慶澄

法

腿

澄 英

權

律

師

敎

圓

菔

榮盛 賢基 範有 能 善圓 尋延 興尊 定範 成 高 敎 章 惠法橋 厝 尊 法 權 權 一法師 律 律 教詮 安融 濟氣 隆恩 師 善宗大法師 乘 聖覺以上已講 寬任大法 珍 審懸 堯延 勝 質 法橋 諶 玄 春 詮 法 權 橋 晴範 憲尊 善有 勤曉 律 辨忠 大威 恩 恩 春 七 秀 範 師 晴 賢覺 法 師 貞敏 範基 隆曉 靜賢 大法 顯榮 範忠 慶榮 成叡 本 雅 兼 律 勤榮 同 穩慶 聖緣 濟於 1Č 俊 睛 法師 算 辨 橋 長樂 俊曉 增慶 有謎 大 睛 聖 聖 廬 法 同 師

甲 蓮榮 善慶 **客惠** 弘慶 乘 長 勝 容敘 義實 俊 運林館 隆 藏 範豪 睛 良弘 勝榮 有嚴 信 命 E 嚴 範 聽 快筹 良 俊義 春隆 智弘 已上 永 圓 覺 珍 寬 腊 算 興 容詮 榮辨 英辨 信 長延 福 尋嚴 戒 勝 春 隆敦 隆任 義陽 行 聖 良謎 信 良 俊陽 良慶 勢珍 淨 膠 賴 嚴 良 順 寬 隆 忠 恩

晴躉

綠朝

隆範 春智 安詮 二百 t

覺宴

第

雕

修好 容信 辨

部

行

癜 有 觀幸盛賴永勝永榮辨識章堯堯春範晴範勝英公深有圓金勢緣圓曉敏淵叡慶範信湛允耀嚴弘尹 淨勝林辨千永順長成賴尊堯謀顯教長慶勝尊全榮慶運安圓盛詮深辨緣慶詮藝教實榮 慶實隆聖行善慶尊顯範弘章堯集義盛永圓憲任睿夾言仁詮慶禪範 信興隆有幸春相源成顯覺惠信覺思慶實順深榮賢章玄豪弘章尊緣 尋尋喜宗 信幸信順淨慶圓惠盛順曉超圓證永隽 宗盛慶顯榮 智 範 圓 信 允 詮 海 操 願理賢淨嚴辨增隆春良尊尋寬與盛珍嚴勝秀夾謔與玄詮乘榮 丁長晴 順春 恩舜兼 净宗善顯院乘堯勝祇範尊慶增圓敏諶覺詮實心詮英玄勝 永賢長勝 允義祐賀增

延

휴 휴

聚

錫杖 定 遍 遍 乘 面 1-信賴 興 灛 行 圓 顯 詮 緣 辨 寬 遍 乘 福 츄 圓 圓 永圓 璋 圓 永 隆圓緣圖 覺真 **师**單 良 圓 信 圓 隆 叡 海 俊 節緣 圓良宣珍範尹基經範 壽 圓

憲信但真實

圓 經

永雅

堯高 賴 晴 定 有 朋 緣 祐以恩 長 增 頭 Ŀ 忠寬 東與辨 榮真 隆延 長 緣 恩 削 大福 興信 訓永 興 順 章 弘、勝成 靜 信 圓 辨盛 定恩 訓 英寬 理 THE 恩 聖憲 章辨忠長明善後豪圓辨緣諶

百 四十

良寬 建 東大寺

東大寺供養定者交名 左方 貞實

右方 綠基 春朝 貞詮 高 學 增 春 惠 玄真似 實相以 具也 具上 也照

東大 寺 供 養布 施 目 錄

國 一絹百 正 三寶布施 綿六十屯佛布施

誠

析

導 師 國 國 絹 析 絹 二十疋 庀 綿 + 綿 + 屯 上屯 白 布 + 白 段 布 一十段 供 米三石五斗 供 以米十石

児願 析 同 F

綱 兀 八 口 同 + 口 唄 十口散單 口 引頭

經

賞選經房

剂 F П 111 П 口 國 别 絹 國 絹 疋 四 四一 丈疋 丈 綿 白 布 二屯 段 白布 供 二段 米 石 供

> 注 進 建 如 人六年三月十二 件 日

右

從 威儀

儀

師 師

四 六

口

口

别 别 别 别

國

絹 絹 絹 絹

正

定者

+

口

口

國 國 疋

供 供

以米六斗 以米六斗

國

供

米

衆

四

别

國 絹 絹

絹 口

供

石

百 百

П 口

別 別

國 國

疋 正

白 白

段

供 供

米 米

布 布

石 石

口

衆

百 白

Ŧi.

+ 口

口

疋 米

勸賞

從 品品 位 道 藤 法 原 法 兼 親 光 E 賞檢讓校 行事賞 法 親 Œ 四 位下藤原 定

同

中談從五位 從 四位 基康 藤原家經世條院司 同資經康判官 大江國通道佛判官 Ŀ Ŀ 三善信 藤原 信 雅七條院院司 重賞讓史仲康 同清信

次官賞

從三 從 服 位 運 師 是慶當護護 理真寺家賞 藤 藤 原經子世條院御方 法橋良 定範別當賞 延難師 經良

賞戲

讓

一百四 +=

筑前國 尚 南 四内可と 無 SIT 彌 充二給捧 NE. 佛 田 伍 町 右 衞 門 137 志 紀 兼 康 行 事賞

捡校左大臣

矿 槻 同 大納 卿 入人六 定長 隆 言 道 軄 介年三 k 藤 工 原 撿 同 公繼 月 非違 實宗 # 以 使 E 源 辨 權 H 追 李 同 大 可 國 親 納 經 言 造佛 同 外 定 江 記 能 官 良 小 業 槻 有 賴

天井. 間 面懸 座 錦 茄 下二層 前 北 茵)Li 廂 \overline{f} 敷 西 三廻 E 間 東 邊立三旦 寫 堂莊 南 四 $\pm i$ 毯 御 板寫 邊敷 角 筃 代 旅 母 座 嚴 間 太宋御 施 懸 布鎮子立二大床 大佛 為 三承塵 御 北 内 湍 面 在處 寶憧 殿 侍 帖 屏 引 面 女藏 箇 風 東西 屋 東 四 南 間 三繧繝端 西西 面 厢 $\overline{\mathcal{H}}$ 御 廂 人等候所 子其 筒 軒 题:廻 北三方立二廻太宋 毎 簾內 西 廊 間 間 三箇 帖 Ŀ 為 代舍十箇間南 懸 懸 御 二御 供 二枚上其 代 H 彩 熊 東軒 悉と之共 休息所 1 部 其 央柱 非 廊 內 座 E 鬘 10 御 代 南 東第 前 含 同 北 屏 假 等 東京 西 西 并 滿 第 風 Ŀ 六

等南北行 辨 敷同 香花 基 其前 立 各 施 脚 相 七 南 自 帖 面 同 瓶 箇 立一草塾 階西壇 條院 四 端 少納言幷 柱 間 其 日 銅安 重。其東 枚 南 口 プロ 墨 匹 育 帖 龍 佛 佛面 端 殿 血 頭 爲殿 間一 妻 東 四 同 南 有5臺花 三燈明 面 頭 E 枚 長 下 縣 敷二 代十 第 形 去 東 式 侍 敷 東腋 西 西 為三唄師 為三證。 五許 棹 西 西 硘 小莚 E 為堂 部 臣 退 各去丈許敷…小 五一行 同 如 間 脚 兩 間 待臣座 御 懸 彈 座 強 間 南 面 以 簾 **丈立**:舞臺 立 佛殿 三糸 **三童子座** Œ 声 誠 東邊立二黑漆床 爲 恒 南 座 廂 東 端綠端牛帖黃 ...蓋高座各 省臺 香 座 r|ı 其 幡 1/1 端帖一為 一有 Ti 圖 机谷 東軒 一最中 壇 央柱 南 南 箇 書 榮西 出 下 邊 一舞臺南 條 內 間 官 三脚一文咒願文等,三爐如、本其上北端 · 弁東 廊 居 池 莚 東西版 北 間 為 院 上官 座 化 立一供 立 御所 座 立大花 含南 西谷 ij 脚其中 西 臺西南階南 枚 去丈許 同同 端 間 其 女 廻廊代前 脚東南 相對 長帖 座 北 房 為 | 擅下敷 南 立 以 床 西 机 三散華 差退 同 西 四 盤 候 第 北端立 _ |闘 剪 北其上敷 立三金皷 央立二禮 東壇 脚 寫 敷 所 脚 去三 敷 左 其南 同 一公卿 [JU 副 二滿 間 右 帖 F 帖 設 東在 西地 妻敷 弘 三統端 四 一佛 前 左右 一許丈 相 臺 相 盤 座 為二 為三 莚 脚 座 供 御 分 分 布

門

為端黃 **幄樂** 官 J. 內 H 水 廊 共 西 妻南彈式 \equiv 兀 狛 各一 座 北正部 等 角 笛 候 乾 北 官 柞 立 座在沿 其四東 積 厨 座 座 13 坏 新同 面 所 百 戶 \mathcal{H} 硘 同 和樂座,同第二號 字一獎立 字一獎立 子一獎立 各四 子 內 白 寫 并 以 IJ. 窗 御 廊 二東 鉦 近 次 門 立 外 十四 衞 北 間 誦 所 御 西 代 外 四 坏各 西 其 床 東 設 並 厨 四 JU 經 窗 左 염 佛 第 南 條 東 西 行 面 笛 笛 床 物 子 間 右 云 間 去 院 一幄爲祭 廊 04 四 西 .所 間 間 子 立。長床 為 相 第 卿 所 其 為 幄 Ŧī. 脚 前 殿 虾 為三 爲 去 古上 次 饗座 至有 爲二 前 前 許 官 去と 引 J. 殿 廊 層 西 4 中 御 各 各 丈 樂西 人 行 上人 大 衆僧 代 腋 砌 上南 立 座第 廻 箇 宮 厨 立 南 事 門 其 班西 和 北 立 [i] 子一 黑黑 間 12 幔庭 中 所 座 饗 內 6 舞 許 擅 各 幔 集 面 為 司 立 間 漆 座 內 東 敷 九 前 會 丈各 立 設 其: 座 其 東 爲 含 内 廊 次二 机 柄 西 去 二額 去 所一 北 北 帖 西 主 笛 化 藏 腋 人 M 次 立 高 四 腋 戶 Ħ. 為 人 纈 大 画 立 東 間 箇 脚 中 許 五 丈 以 簡 腦 立 宗 衆 -原 云 央戶 為 舞 間 丈 北 樂 其 間 樂 丈 舞 Ŧi. 僧 典藥 代 纈 谷 左 尺 為 屋 間 四 御 為 部 E 屋 組 丈 臺 申 应 各立二 纐 右 為 簡 輿 立 藏 居 擔 彈 幄 幄 侍 爲東 北 央 南 內 近 \mathcal{H} 一供 間 宿 立 IF. 第 人 衞 東 同 從 戶 東西 丈 衞 膳 二哥一 凡綱 幄 字 為二 宇 所 北 北 及 華 並 麗惺幄 主 女 加 僧絲

林古

着:: V. 昇 # 剋 五左幄 坤 舞 舞 子 座 事 言 威 右 御 到 丈 近幔 一陪從在,其後, 內舍人在,四5 內舍人在,四5 奏和 相 出 以少 分 外 儀 佛 次公 御 為 下納 衛東 故 御 師 南 一送法 廊 寺 吹 布 加言 握申 古林 次 藏 休 召 北 着辨 鹽樂邑 調 卿 圓 舞 施 其門 西 計 省 司 腋 從 誏 西東 子 机 擅 頓 東外 之者 之辰 立右 亂 時 退 所 スレ 立胶 右 僧 宮 1各北面 E A一裝束使奉 為問門右丘 立 聲 內 T 同 左立 等 近 自言南 候近 月 設相左 調 含 着 前 剋 次先 衞 間 八四部高 三幔門」當軒廊 打一般 人 兵 次 座 大 璽將 本座 前 東 陣 自 V 南 雅 起 公 衞 申 次殿 F 召》之頭 如常 中 退 樂麗 卿 御 代 幄 同 菛 兵 座 共二 門 其 寮率 着 莚所 道司 次 T 幸 上五 中 和 衞 集 上衞 围 續與 次 近 東 次和 巽坤 當 門 節林 會 幄 到 豫 南門 內 衞 內 位 西 可 振邑 引 日 供 鐘 北在 廊 敷 舞內 以衞 暫 南 舍 經 近 相 相 寅 左 妻南 床立 座 V 上門 許 人界 僧 替 留 會 分 胡 剋 衞 右 以 古 節 身 南在 着 舍人 震 式 車F 西 侶 發 等 各 立 座 西 師 北西 部 廊 儀 廊 着 六人 於 一舞臺 幗 小 右 舞 舞 自 東 禪 西 10 着: 阿 音 同 部 臥 近 發二 臺 195 舞 擅 北 御 昇 正 外 聲 舶 阳 衞 H 佛 左右 育 西 此 近 着 To 加 神 以納 外 握 廊 1 3 舞 行 衞 殿 座 分 去 頭 飢 臺 罪 東 御 卯 丽 床 各 行 儀威 壁

前師子立省察引還的著名索引還的 音院艦 火舍 書案 ノ自… 座-蝶十人各 立導師児願 蒂省寮各五位二人 胡蝶各隨 傳二授僧一訖樂止 次堂童子圖書為先 殿第二層上, 留, 立南 留二立舞臺 樂止 前立 東西 打二金皷-次古樂發音 沙彌十八進」自 立立次 順師 立.標下一僧侶 省察前行 捧二供花 1昇二臺舞 寮執蓋者 打 分行訖復 十人起人 下」與經 | 舞臺 | 着 | 禮 一發三音聲 新樂阿曲子 雅樂寮率 三金皷 樂一舞次天 樂人發 迦陵 本 率二衆 八人」自: 二二行相分經二舞臺上 座 引還樂人歸 北階」取二願 道 到 」類胡蝶次第退着.. 舞臺 唄 ·東西舞臺 禮佛訖各就 師咒 座次散花十八昇二 經三舞臺 面 師 =座 僧 新 到 樂菩薩供舞訖退入次迦陵頻次 舞臺一雙舞次打 人衆發言音聲 樂高 發音定者隨 願駕シ與 樂十天 東西 前 經 樂屋 同 而立樂止衆僧 麗 歸 菩薩廿人迦陵頻十 中 文 叁上着二佛 入二樂屋 道 前 **元**児願 菛 盤 入、從,,本道,立,,樂屋 到:舞臺巽坤 部 進 東西 一禮佛路禮 立 ン音徐行 樂人 三金皷 天人樂廻二 著: 舞臺北 授= 師北 威儀 到一佛 相 子面 前 着 庭中 東 上草整 分 道 舞樂 座 =案下 **界西相雙麗** 座僧着訖後 高 師二人 記登二 参二 所 殿階 師 面 林 治 樂止 座 児願 邑 行佛 寮留 宣子 部 入胡 F 而 取二 進 圖 玄 經= 出 左 發音 引頭 儀 兩 臺一 新 區

止歸入,,樂屋,次打, 侍從給」之 次舞綾 臺一供一場杖一時倒持之之 次有!|御 次舞萬歲樂次打二金皷 一般記乘與還御樂人奏、樂蘇合急 前一在前 樂高 師着1 東西 一次打二金鼓 右相分古樂林邑二部樂人 唱:|梵音 率 東西中門一大行道 入:樂屋:次打:金皷 樂 麗二 人發 切次堂童子收言花 三衆 「導師咒願降」高座」新樂高麗發、樂高麗林歌經事「問可」仰」之 門願訖賜」衆僧布施祿辛耀, 禮 廊代良乾 僧一 盤 定者散 樂新 部樂人昇,舞臺,進,自,衆僧之中, 自餘持,,花萬, 誦訖又發音 禮 隨 左 一佛退出二 V 右 万 花引頭 之此 樂人先列言立 長詔保樂樂 通奏舞 退訖又發言聲 此行 一高麗樂發音地久破 當 新樂發音樂向 初 匝訖更歸 至 四 林邑河鳥 部 此 三僧房 各從二其後 飛 高 退去次打二金 間 樂人并省寮相引退如二入 梵音錫杖等僧 樂 秡頭 賜 一樂屋 人 東北 入復 机 寺 自柱 左右相對與 前 引東西 登天樂退歸 僧禄一 梵 降三舞 座 左 梵 衆 錫 音 如二 右 僧 音衆 導 杖衆 次第 分立 次樂人賜 彩昇二 衆着訖 加 臺北階 初儀 行 物為後先 界三舞 二立定 如如初 復 表白 步列 行 舞 座 者定 제

夫以 分 何 求 身三身之相 圓 融法界之外一迺知隨 卽 肾出: 本覺具 一機緣 如 之中一 m 大 利レ 乘 物設 小 乘

賢經各一卷一不慮有一夢相之告,加說寫一開蓮之偈 敬同 妙相 新瑩,高僧之住,慈心,也抽,丹石,而摸,舊製,運,誠於 經律論集六千六十七卷一斯經者大宋國秘本也緬自 隨喜釋、之燭然以、之可下以奉 謁三玄風於衡 草創之講說,在:此 杞材排 又光中奉 造,立大佛殿一字,基跡無 奉三書寫二金字紺 益于環海之外,是以 處一端一力於吾寺一彼 口累聖尊崇之至萬邦歸敬之趣已評,於前,不、須, 5之莊嚴具足一百億悉見; 一華葉之周 如法奉 早成金 姿仍 濟生 | 出 | 禪皇之願 | 經 | 之營 | 之只任 | 庶民之子 股獨思, 堂構之未 D復重 仰,千日月之霽來,亳相甲, 于碧虛之下, 利二 東大寺 岳 書寫妙 後 一更瑩|金雨於標湯|今日之軌儀諸天之 紙大方廣佛華嚴經 自 レ舊以坐 |華文之頓教| 奉| 由舊式 以致 恭 河 造 顯半丈六化佛像十六躰云、佛 殊俗之堪、巧乎也涉一蒼波一 法蓮華經 法皇聖曆 感 神 法皇叡情之慇懃佛像開 レ武奉ン治ニ 鑄盧舍那如來」 聖 蓮華臺一 武 ジ摸 文治 帝 部 割 天 二寫素紙墨字大小乘 八卷無量義經觀普 一部八十卷,思,其 元 糾殿揆 州縣 平 伞 勝 自下開二 寶 匝 而修 四年 日以終: 威光照 而致 初 繕 蓮 限之 來 眼 顯 新

之普潤 戒珠-營之初一臨二供養之今一勤非、採二一丘之木」切二己 排 懷 哉 地一名月映 之昔儀,非,,只一寺之究,,勝概,有,,萬僧之集,, 諸處,況 其外 漁 民之草 以說,正法一令眇身之預, 詔命,以, 黎一百餘寺 靡矣學國致二無遮同日之精勤,在《專二 ν善整有司 之居」僧 外一廻翠華於春 鳴其奈三釋梵宮之新聽一臥雲之禪衣旋轉 旁陳以二姓唄二而讃歎以二歌詠 藝方今乙卯之歲暮春吉曜千 加以十方雲集焉每、物為。舍那宿 臘於山水之阿 ||道場||以喔||衆僧||凡聖雖\異 | 音釋尊之放。瑞光 | 以照。方八千土 | 焉各於 | 世界 斷二葷腥 平 因、兹宥、威而施、仁恩賜 菛 也 旁有: 皇澤廣被者: 水 擬 人仰一銀潢 - 頻梨之閣 字彩 朝 三齋會式 於三七之光景 抽, 勇猛於無貳之襟 色 是無 剩途: 念 图, 茨山之移" 仙蹕" 也庭粉澤竹園則風薰" 善根之林, 禮丹巢" 於露 聞 差近將賜度緣慧業之百司千官之從事錦幡 77 性 持 來格 一命於飛 國 11 一面稱 口之緇徒 一天像奇版版 仰 世 赈 希幾惟 願 流 愉 - 楊甘露之法皷 和 世之知識 之類 而優 同 願絡 錦幡 圍 不以異言王舍城 者 增、華毗首 繞 一窮困 逼禁 是依 歟凡 趣特矣盛 練蓋之些 持九禁蘿 间 四海風 費高 自言造 な警:

化,堯舜無為之民,年有,年永誇,羲皇而上之年,結、緣 味羞氣粉揄晚嵐以、之眞理添、薫亦分,勝 仰,本願聖主語,日以,代々國王,為,我等檀越,者我寺 院宮公主春秋之富無、彊博陸太閤 反, 淳朴, 人多, 歡華, 天枝帝葉同父王之子孫主壽 令,,香花之勤, 必及,星宿之切,乃至九法界皆證, 類。霜竹之持心節退方近土如。陽蒼之傾心心民復民 々道之果,開、扇已來登遐先靈依,此徐薰,併證, 聖武天皇父祖兩帝三陵各坐,,菩提樹之陰 法皇之曩志 一舟排 一十二丈之露 俗其願隨」心皆令! 滿足 一志仰」佛法 術正后中圃婦似比、祥 人 佛法彌弘王法中 遠附中 一參禝 一之頭 柄執之用永槐位 旁聞 曉 敬白 龍華之初上 露 且訪 因 獻 一同 超以之陵 **費山** 天 興 本願 國 政 華嚴 作治 爱有 治承 便架 遠近 建 起立 本 自 卽 西 百 車 尊 辟群 代教 西 降 陀 法 季年 親臨 公年 真 月 自 絲綸 上 仁 東流 中 無 叡 合 風 12 菛 文 乘 休 東 蓮偈: 自南 廣勸 偷誥 發生三 修繕 斯 鐘 幡 度 皷 寺 盖 伍 坊宇 妙典 具足 幕 雖 惟 餘卷 自 法 佛 匪 宋 那 延 添 旁 北 界 殿 像 廣 列 月 解 餝 宋朝監 紙染紺 躡天 鑄鎔 以施 為複 稱東 母儀 良辰 多聞 左旋 准 梵宮雲講 亦勅州郡 日 本 御 草畢 持國 舊製 志 朝 右 千 齋 仙 平 吉 以 大 誕 昭 跡 與 術 寺 脏 本 色 專 實 利 派露 供養 新造 慇懃 字瑩 感 致新 貢 禄 南 相 神 益 奇 無 重 讃 奉 傳 金 土 威 高 是 地 甫 天 殊 召 泥 肱 宜 功 成

興

ッ善之尊卑

日三拜之道

富

「福起祖之神仙願介」』 鳳甍之勢

一稽首和南敬白

建久六年三月十二日皇帝

軒-忽移-

四百餘載之風儀1然則

之遺誠 且答:

與復者天下與復朕德雖:庸虚

九品

重請

國母仙院妃如讓

尽

12

陵

之運

|是久契||松花十廻之色| 風

萬年之影,殊擎,功德,奉、資,神祇

寺 檀 錄 供 篇

斷

K

介致齋

受十

運三

拜

二百四十七

舜曆 文軄 瓊夢 正后 禁樹 殊捧 柱 凡 三天衆 一礎無搖 母 陰繁 群生 風和 武官 金枝 宮中 床前 勝因 御 神 陵 堯旬 獲 佛法 持郎 宴遊 及以地類 松子連袖 帝 奉 麻 祖 一就國 葉帝 考 彌盛 雨 日久 兩 北 面 成 併 代 **蠻阪幾落** 博 茅茨成詠 同 以 民皆骨悦 春秋永富 陸 溝 旭 此 增 R 賴 護國 太閤 法樂 浪箭 福 景 泉 惠 献 解辨子 齡六五 皆蒙惠薰 永 國悉考槃 輔 彌 增 螽蟴比譽 日月不傾 小々無窮 佐運遙 其 永 莊 威 傳

東大寺續要錄諸會篇

本

大佛殿修正

酉刻終別當以下學從禪衆皆令,參堂自,正月一日,至,同七日夜,勤,行之

装束

三綱 勾當平袈裟 閣梨 五師 僧正香法眼 法印以下法眼紫甲

中願鈍色五帖 方廣衆附表五

已講成業以下自:東西戶:出仕東西各在:二行床方廣衆附表 別當井良家僧綱自:正面:合:出仕:禪衆四人大法眼平袈裟 律宗鈍色五帖

三月十二日

與建久記同也

禪衆分 東西 兩方着座後床 西端 三綱着」之 其次床中萬等着」之東前床僧綱成業五師等着」之

守,,, 藉,, 之後床中臈以下着,之別當着,, 西前床,以下僧綱成業五師

有

自,持國天之後,至,多門天之東,在,二行床禪衆分 東西 兩方着座

于時文明十九年丁未林鐘下旬第二天終功訖翌日一校之

ラムで対布銀工を参二フ系の言語を一括12

法華堂衆着」之

內

中門堂衆着」之 自"增長天之後"至"廣目天之西" 在二二行床

師法眼青甲 持國天前蓋高座邊樂人介: 參候 一諸僧參堂之後初夜導

進 三佛前二 唄 堂座 薦勤 之

散華導 盤 師勤、之在一大行道一一行 反之後導師登 一禮

散華 後夜導師進二于佛前 行二如意輪悔 過 作法 如一常 在登樂其後登二 初夜式事毕 禮盤

唄同前

錫杖禪徒勤之初夜導師役也

表白以下作法如以常

華嚴會式建曆二年

下向 別當前法務權僧正成寶為上繼二絕跡 .刷歟之由二月下向之比召.. 執行法橋尊信寺主光信 . 令.,下向,之由被,申,送寺務,仍不,似,例式, 一之由風聞長官右大辨宗行朝臣悦二 一與中廢會上 此子細 |可/有| 可以被 同 可

> 掌等同 行可 等,乘車二兩 十三日有一下向一乘、與但二位阿闍梨親寶 間 被 寺家 日法務宣,可以召 為:使者:猶可以有:童舞 之間長官辨依以為::彼奉行 同 以三辨修得業 及"沙汰」之所仙洞最勝講自二三月十四日一被"始行 ▶止、之爰自二大衆中一三月九日以二成業二人一 乘惠 R 及 熊,此儀,又喜悅即大衆蜂起可、被、行,尋常,之由 「有三下向 一御評定 且為 F 向 同共奉: 宿所尊勝院 同十一日重叉申請之刻遂以領狀別當 具綱所等 之旨十一 ·持二成長官 一之由 |無...下向之儀|依\之童舞又 一之由依、被一申上一 鎰収綱 日被、經二上奏一之間蒙三 中別當返事不二分明 未刻下着 童舞 兩及二結構 共二修學者 為 此 會 興

當日大明日 先樂人參入 大會次第 點

次亂聲 神分析

次槌 集會鐘 行事所司召仰下

次 衆 僧 集一會子 北 1

今年大佛 僧 集會 殿白 之後行 床异出別當質綱以 事 所 司 別當之出 仕

大寺 續 要 錄 諸 會 篇

東

出 仕 次

先所 掌 守 天人 同 次堂童子 六人三 同 行

綱 駈 四 人人 右左右左右左 威威權上禎勝 儀儀上座延慶 師師城區 師師座隆

從 取 次 四 Ŀ 里僧 人 綱 龜 一人法橋宗運 長壽

岩

師 僧 原等 一人信成 幸慶 次大童子 应

足 在 擅 自二尊勝院東對 三亂聲 下一下、自、興廊 登一皷坂 歷 南 :西室西面 中行列次第同 面 | 乘三手 一人と 奥 自:: 歷 レ前自…スレ廊之刻 南 西軒廊之戶,於 庭 出 ン自 JL

次從僧 北 中 門亂 聲 行

引

列

次四

衆

僧

引

列

一行

次衆僧 次* 先仕 前 1 威 次但引 儀 師 東西 一是實際

頭 東法眼光寶

次散華 師

向

三別

當 前

皮着」之小綱

者任〉例

候

中

菛

抑

列

威從等參

前

之條有無兼評

定而

河

往

徊

斯

綱

掌

鎰

取

仕

丁所守大童子等者廊

之壇

F 奉 時

次 次 分 孙 杖 經 衆 頭

> 次 次 梵 甲

衆 音 仕 頭

次井 次 中 樂

1

東西宗信

濟海

人樂人

次 次

師 錫

次天 衆僧 着レ 床 中 樂 人 着 樂屋 次舞

守 廊 别 次 之檐 仕: 當 御 1 綱 前 11 掌 m 三綱四 今年 小 綱 【人二行 前 御前二行之間以"廊 驅鎰 威從二人二 取大童子等者自二 行 勤之前 中 為:列之道: 北中 々者別 門

東南 敷 前 勤 子 于 E 敷、之着、之三 者 雜 レン 西 F 經 面 中 軒 Ŀ 東 里僧綱二人者上童之南高麗 門之西壇敷、皮居、之向、西敷、皮從僧成慶 等猶住:其庭 廊 童里僧 廊檐-西 之柱 右方者經 綱從信者 本任 一綱者 為道廊中之庭為:深泥,之故也 自二四 着:中門之床,威從二 >例儲案着>之殘二人者 参。御共,至,于南處,左方 廊 |軒廊||以南者副廊之壇下參| 中床之間 帖紫 上童者御座 一人者引 帖切 行 事 取以 但 鐘 頭 床 御 董 中

次勒樂人迎前轉後轉乘與道師

次着二禮盤一 一禮佛催..衆僧. 惣禮 行事頭小網俗之 咒願也

次供 花傳供左右傳供十二人樂中

次蝶鳥十二人左縣 先菩薩十 一人持一香呂

次登腰奚婁中樂 小加多彌花持、之 各染佛供小供足也 次舞會利古右劫樂

ウ 草塾 役職掌

次打金皷

次奏鳥舞中樂在綠小網役也

樂屋,出之 此間井蝶等退一下舞臺一其邊居二儲別座 但今年自二

次捧物但隨時若有之 次奏蝶舞中樂

在禄

小綱役也

次打金皷

次打金鼓

次明師進持一香呂 廻 坏 樂中樂

次衆僧 先勅樂世丁 前 威 儀師 次散花 次同 師

次定者

東

大

寺

檀

要錄

諸

會 篇 匝

次大行道 一樂人等

次引頭

次分經 次孙 乘

次錫杖 頭

次甲

次梵音 次中樂仕丁 乗

次菩薩

次師

7

次天

人人左蝶鳥

鎰 從儀 取 師

行壇

E

綱掌

政所 御 前 次衆僧

這着本座

所守垣下 一本座 御前從儀師 立三于引頭之次

左劫樂 次梵音衆進音 次打金皷 香頭

次發樂

慶雲樂

次

唄

複

仕

7 師

次打金鼓

次打金鼓 次錫杖衆進

經院照際樂 轉後轉 并蝶鳥等迎二 御經 表白說經 假從儀 次與色衆 |即分經又奉||納返|也 師 持二香呂一立二舞臺上 手 水但今年錫杖

次分 次前

金鼓但依無 金皷 分經之後 舞 次奏菩薩舞中樂 次左右迎供舞

方賀殿朝 樂 次打金鼓

二百五十

方地久 打

次四 次奏左舞五 色 |退出今年分經以後退出狼籍 |無五常樂中樂 |無五常樂中樂 皷 が大力が

次勍

樂左右引去

奉持成 綠相競押男舞先可、有、作也以,此次,又申,東 枉欲 儀式 別當 レ有…其用意…云々 大僧都一云今年會式長東與行其上申二請 粗如: 承及 者御共少人中廻雪落梅之達者命、坐給 見物囊頭於:中門,以:光信,申:政所,云今年花 一雖、爲二本寺貫首,自二洛陽之邊 權大僧 一越一前代一嚴重絕一古今一寺之繁昌所之面 申二請童舞一若又有二許容一者如以然事云 一哉然以"長壽殿一為"對揚 權律 都定範 師 重喜 立、座欲、から向 法眼光寶 一欲」申二請散手 一御下向寺家爭不二 法眼 堂前 道 快 童舞 目 給 權 也爱 南 必魔 嚴會 律 一可 兩一

遣 自二个日 之上,止,其儀,之後未練之條勿論也定見,,吉事 行,之仁不、及,,下向,仍止,,童舞之儀,了本自, 別當御返事云今年長官右大辨可二 一彼下向聊又為」持二成童舞 十四 日 仙洞最勝講被二始行一之間 一雨一俄令…結 下向一 之由 相 被示 二當 一之處 率爾 候歟

> 可以依言重衆命 可 v 為三 會之時舞之其後打拾畢定不以具以事候飲 何 哉云 - 歟云 12 東南 院大僧 都之返事 云 散 手. 4 但

k

之間各傾狀一

會大衆見物

此 上猶押返申= 可以有由

人入い與合い段

寺務被、着二堂前一之次第 自:: 南 留:于大佛殿 H 門內一个之歷一庭西之置路 74 面 之壇 下

給御前

如

レ前谷

麗 禮堂西儲、座

高 高 麗三帖同文 一帖小園座 僧綱五人座 別當座

而三 上童三人者為、著"陵王落蹲之裝束一被」造"法橋 屏風二帖氣別當座之東面立彼後座前 綱者如、本着、南中門床一威從者別當座 在二着莚 之西 一候三禮 尊信

者候 之堂前,前 堂之大床一永算候,堂前, 共奉僧綱 =堂前之壇下 駈 小綱 鎰取 從僧者候二 仕丁 別當座 御童子等 後

先安摩二人 次二舞 且始二男舞

入調始」之別共着

樂屋

之間

次皇仁 次大平 樂

次散手定壽殿 次陵 院,着,装束,

別當退出

次 八落蹲長壽殿

レ廊 自 >前但行事三綱參 :堂前:出 申以假各退出 = 西 軒 廊 御共1 之戶 -如-出 三綱者公文所威從者着侍 仕 之路 退 出 御 前 同

行シ 10 時之勝事 レ及:延年· 今度見物大衆如」雲如」 霞群: 集樂屋之 其時童舞及:|數度|雖、然不、立 之餘見物大衆於,樂屋 年預五師 近代入調之舞相二具一 - 雌- 用 之抑 醍醐前權 :別當方兒共幷云...白拍子..云..猿樂等 乙折節仍陳、舞今六許可、舞之由大衆 無一左右一揚二一 (意)十四夜之月殊晴殆同。三五之夕,但當 向後之美談也延年之間柱 權律師尊玄之許一而 僧正勝賢之任云此大會之臨時法會 磬 之條 |始||延年||自||與福寺||結構之 舞十二二 非二只施二寺之面 日及::晚景:之上 レ座於: 樂屋之前:不 歟而 松等仰一修理 今年 兼日 為 及 V 三夜陰 被 一張ン興 1 目 = 興

> 于勸 云白拍子之歌 修 寺得壽殿 白 拍 子 之時 - 俄雲 村 癁 詠 月 和

> > 歌

てりもせすくもりもは 7 ぬ春 0

夜

0)

3

お

群集 此時 题: 物 十五 延引 也六七人今夜又參二等勝院 夜 云 之間 保川,重申,延引之由 隆玄嚴盛隆嚴等又參上然而 於一个日一御上洛者枉可之有一御延引一之由 延年以前大衆蜂起明日十五日御上洛者枉可以 之大衆又以成 浴 々如、此與凡雖、難、盡終日 ,寺僧其數介,,群集,爱御共之彌若殿取天返天射,,笠 一退散畢爱入」與之餘自:與福寺 此 不上論 南 日御上浴三綱等為,,御共,参,, 手搔門,又為,,見 云 之間爲 卽 寄 々仍 可 ·儲二舞臺於南庭 引 〉申二童舞一之由次使者 ||老岩|不~謂||貴賤 1.衆從之使者,棄乘光信參11佐 .大湯屋大衆參二尊勝院,又見物曩頭成... レ市對揚別當方及: 帖 一問還入二尊勝院 ほ 打板之上敷」疊己巳寺家沙汰 ろ月 五寄合之 一於一南庭一企一延年一見 よに 猶上 洛三 之會願二譏謙 ·褒譽銘>肝感淚 申 しくものそな - 曉更 一猿樂古ハ猿樂ト云 網數度波二佐 東對 一但猶可」有い 務 各退散星 是 申レ之其 保河之邊一 各及 而中 (餘)袖 £ 此

東 大 寺 續 要 왊 誻 會 篇

束狩衣袴 東狩衣老人左右合十人許參上裝

先陵王龜王殿次落蹲屬著殿御儀,堂口懸,御簾,上,之見物大衆候、庭御簾,堂口懸,御簾,上,之見物大衆候、庭

、之給有方懸、肩入;樂屋; 也,別當沙汰仕衣一領被、出、之給于、時長壽殿取之中,別當沙汰仕衣一領被、出、之給于、時長壽殿取之中,別當沙汰仕衣一領被、出、之給于、時長壽殿取此舞以後兒共為,見物,為,大衆之沙汰,仰,雅樂屬,

次延 悦申謂口貞辰實親御返事之後大衆退散但欲、合、出給 見猿樂四人每度各人、與出、之延年無雙見物業成不,可 寺皆以殊勝仍白拍子以後自,滿寺,出,猿樂許 右,之由在,返事 歸一而於…手搔門之邊一枉欲、預,一御許容、云々不、能,,左 之時自二大衆之中一申云為、申二請珍若殿之笠懸一未一能 云大會與行之儀式云一日法務之錄事以,權律師,尊玄殊 、說之思入、夜終畢延年之時者別當幷僧綱着,,座堂東 ·射..笠懸流鏑馬馬場之躰-其程近而雖、不、能 (年一方東大寺一方興福 寺但當寺白 一仍於一彼門內一向一皷坂 立: 的三枚 拍子四人勸 一舞曲之 三鏑馬 廊

章信可参口送之由依,大衆之催,参,石墓之邊,畢立、扇申,一一番,一的紅扇大衆隨一東南院定壽殿着,甲胄,立、之二三的首餘大衆立、之於,一的,存,故實、甲胄,立、之二三的首餘大衆立、之於,一的,存,故實、甲胄,立、之二三的首餘大衆立、之於,一的,存,故實、中胄,立、之二三的首餘大衆立、之於,一的,存,故實、之會,其骨禀性此道究身之間非,只被。射,落三之的、之會,其骨禀性此道究身之間非,只被。射,落三之的、

レ調 和天皇御宇貞觀三年三月 千之外:人神感慶華夷竭 之靈像」金姿誕照光,曜百億之中,寶相高閉震,動三 崇惟新遂使,建,立二階九間之大殿,治。鑄 原夫西天瑞呈 東漢夢驚以來 以婆娑法會之儀可」謂,鄭重一者歟 韶一也飛二羽衣 嚴一瓊廡清英 之地鶩鷺成、行琪樹城 執儀,忽莊,金光護國之香場, 重開, 蓮眼, 新講, 華 流二於扶桑,至二于感神聖武皇帝御宇,與隆超、古 ·然後御願為..恒規. 其儀及..當世. 一以豫叁价人之奏二億舞 十四 仰車駕親臨供養甫訖 惠日照 於震旦 H 遠詩二天平勝寶 廊之庭絲竹合 勅使之街:鳳 也飜: 霓裳 一十六丈 法 次清

華嚴會式近代作法

先已 時 槌 :集會鐘一下部役

次色衆 并樂人等北中門集會之

前後轉參 諸色皆參々時在 京東西樂門 二亂聲 **後**前東西 但寺務出仕之時奏〉之

次引列

先仕 丁左右各 一人名勅樂御前

次勅樂舞 人樂 人等但左方勅使為前也

次威 儀 節引頭 各

已上勅樂

人

12

各智

i 東 西 樂 門

次色衆之引頭

次定

次散華師

甲衆

次衲衆

分經

VÚ

梵音

錫扙

次中 樂仕 已上 J 各 各立 人即 東西床前 立二中樂屋之前 待調、之後同時 可!!着床

次師 一子登 舞臺 次菩薩天人

人等

已上各着"中樂屋

衆僧南 門左右着座中樂人着 樂屋

東

大

寺

檀

要

銯

諸

會

篙

次中樂亂聲 次西樂門亂聲 次同音衛聲 次東樂門亂聲

次前後轉登高 座 如樂為,前在,執蓋與等

若有、供養、之時者此次備」之 次前後轉佛前三禮之時色衆同時

惣殿三度東西床

次登腰皷奚婁事中樂

次舞曾利 古有勅樂

以前二箇條 為二其儀 歟 傳 供 以 後數 之由 一樂所申

之云

々仍當

世

次打金皷

次華

供十天樂

供 中 樂

先菩薩

次天 人左線

次打 次打 金皷 金皷

次小供 傳供次第如資 青西 堇東 次奏鳥舞中樂

也前

次明師進持,香呂, 廻坏樂 次散華進

中 樂

115

次定者進從儀師

远,退還四相副但自, 一觸其由

八行道即

相

一之後左右方樂人等進立行道

先勅樂仕

ľ

僧前 華師 威 儀

師

次定者 次同 舞

人等

次衲衆

篇

頭

次梵音 次中 次 甲 樂仕 衆 衆 丁 次錫杖衆 孙 經

師 子

次明師 複本

次菩薩

次樂人等

次衆 次天

僧

着

本座

L

次奏舞萬歲樂 次梵音發音 在樂 度 餘葉樂 左勅 次金 皷

次奏舞延喜樂 右勅樂 次錫杖發音

都鬱志

右勅樂

左勅樂

次打金鼓

次打 此 金皷 間 於一衆色一獻三手 水 出 次前 納 役之 轉後轉

說經 亚

次分經 立 =舞臺上 又奉」返い納

菩薩 假從儀師 壁蝶鳥等 左射樂 迎 御 經

次打 次打金皷 金皷 卽 分經 次 次 著 左 薩舞 右匝 卽

次右 勅 兩師 1長保樂 樂 た右唱! 退下 四色退 勅樂 立引,去東西樂門 或地久 打

次左

質殿

次打

金皷

供 舞

金皷

7

次刺樂人 、等自 中中 門一入渡 中

樂屋

意樂但能

留網

本

次入調

二舞如常

次左 右舞等隨、召奏、之但 一十許軟

或記 云

八八二

年始興行

之云

12

建 久三 年 花嚴 會 式

被い下三諒闇 月十 H 寅 刻 宣旨.以 法 皇 崩 最略式一被公行了 御 依 レ為…寺家之歎

雖以未

先巳時令と . 槌二集會鐘

次引列 諸色集 會于北中門假屋

先勅樂仕 神分亂聲 丁舞人樂 被上上之了

人等

次色衆 依と無 着:樂屋,畢 = 樂門 亂聲 次中 樂仕 丁樂人 刺樂人直着:

左右樂屋

平中

樂同

禮之時磬 後轉 叁堂儀式如,常 打諸僧惣禮

井左右各一人持,香呂,以下井天人 」華蓮華小籠相交供」之在、樂中樂役

次磬 一打

次小供

在音聲 井天人捧:佛供 左右

勅樂

次影

次唄

師進

次分經頭

相副

次定者進

次散華師進

次大行者次第如、常 諸色復い座

次磬 次梵音供養在下樂

次磬一打 次發樂左動

次錫杖供養在下

次磬一 次發樂左劫

次分經作法如例

次各退出畢

也 但 南

中門大皷

次獻

為手水等

依無樂門之亂聲今年不、施二大皷一 M 一帳ン之単

當年式以,,安元之例 一被 ン行 レ之畢其後度 々有,;諒

闇

東

大寺 檀

要 鉄

諸 會

篇

神分亂聲 儀 叉以,,建人式 集會亂聲北中門 被レ 行畢例

式內

被路

樂門駕聲

梵音舞

錫杖舞 建舞

入調等也

安元三年 華嚴 會 式

去年七月八日 日被下前隔宣旨 國 母 仙院 一仍諸寺皆行二諒闇儀式 建春門院 御逝 去以二 文矣 同 廿四

>鐘以"小綱」令>催、三面僧房等

先當日巳時諸職集,會北中門,依、為,拜堂,以前不、槌

行事三綱寺主永俊

次引烈作法如一常

先勅樂仕 次樂 人舞人等

次小綱左右各 次色衆引頭 四 [色衆等 次引頭綱所原權上座威儀師宣

範嚴

次亂聲

次中樂仕丁

師子菩薩天人蝶鳥許也

先西樂門

次中樂門 次東樂門

次同 時云 12

二百五十七

振样如常

次勅樂人奏音聲烈參樂屋

次前後二轉參堂

在、執言與等,如常

至,佛前,三禮之時磬 一打

諸僧惣禮

次花供事

菩薩十人天人十六人籠花蓮華廿八瓶相交供、之最前 并持香呂

次鳥舞在一般物 次磬一打

次小供事

同井天人捧之世八杯

次明師進但以前着,,禮盤云 次蝶舞在祿物

次打金皷

次定者進

分經頭依以為,,從儀師 代相副至:舞臺階本-定者昇:

F 央 例 立云

k

次散華師進寬時

次諸驗行道次第如二常 右至一舞臺 唄 散花 次金皷 打

> 次錫杖供養 供

次左舞

次右舞

次金鼓

打

次分經

次供手水等

頭二人至三舞臺中 央,向而立菩薩天人迎、經賦、之在

次舞

次樂人烈立星

自餘事幷入口等併被、止、之了

樂人祿京下紙二百帖布廿段也

例祿凡絹六十疋代雜紙六十帖

布廿端

者任,保元永萬之例,不,被,下,之但今度被,相,具 已上盡、數出、之舉即於一中樂屋一配一分之一於一八丈一

之一也

天人祿白布四端井十人

樂前四 人師子十二人下紙內如」此被了下學各 帳

八幡宮大般若會 事

會之真文,即餝二三所之社壇一所,展一日之法會,于、時 仰:神託 且憑:法力 勸:十方四部之知識 去寬喜四年三月廿三日於,八幡宮,始行,之尼成阿 寫 日

僧六十 口會式在以別

八幡宮般若會式

當日 方帳屋相二待樂人二講讀師 三月廿四日已刻聞, 集會鐘一衆僧令>着, 鳥居內 可以臨一其所 兩

次飛僧列但兩師從僧許

次樂人迎二衆僧

妻戶一着座其間會行事妻戶東邊立衆僧守 發 座,衆僧着座之後三綱着座樂人歸,坐樂屋 行事三綱引頭兩師衆僧各經:西面大床 ··壹德鹽·列·· 立樓門下· 其所已狹少々可以臨也左右 一人以自!! 南北 ▽標各今…着

次講讀師着二禮盤二二禮

我僧物禮行事三綱催之

次樂人發樂 兩 師登高 座

次振样

次傳供奏樂

天童役

次唄 次奏舞萬島樂 師發音

次 童 一賦華筥

次行道其式在以別

次分經天童左右列立以、東為 承

經,舞臺,上,東西大床 机并衆僧前之机-後經-本道-複座此間奏樂 一入」自二南北妻戶一安二于兩師前

次児願

次說經可,有語經

事訖兩師複 座在、之舉即迎出之

次天童如、本奉、安、御經一可、經、本道一

兼叉隨

便

次行香 有無隨宜

次左右奏樂賀殿 陵王 延喜樂 納蘇利

次緇素退出奏樂

菩薩戒尼成阿 彌陀 佛敬白

奉建二立 大般若 臺

黄紙墨字大般若 奉ン安い置白 檀釋 經 迦 牟尼 部六百 如來像 卷 躰

每軸奉、籠二佛舍利各 粒

同摩訶般若波羅蜜多心經 七十 卷

紙 金字妙 ン法蓮 華經 部八卷

二百五十九

無量義經一卷

舰普賢經一卷

臺原奉、圖,論十六善神像名金光明最勝王經一部十卷

周三波 以前 使之由仰信 本經 、足尋"歸、佛信、法之便」營, 功德一而千萬端矣摧 賴不、足…于言一宜,祈…神 三年仲夏八日或人告 云夢中神人來捧: 大般若法華等 色之儀,偏住,佛法修行之思,去,桑梓,而數百里焉任 生,過土,為,,女人, 」可、稱者歟弟子受...人身. 値..佛教. 雖、悅... 宿善之貴. 形神道之施,汲引,也 一肝要神 卷即以 扉 善根甄錄 - 課...于微妾...可... 書寫而奉納.. 云々當寺八幡宮御 罪生善之業一个留一此處 未 轉 明之所」重也仍 而 三繪 | 覺悟矣靈託有>限默而難>止然而 如 ·讀之·窗中六十六卷者六十餘州大小神 レ斯夫以 猶恨,前業之拙,依,之永捨,婦女容 祇 同:水之隨 佛界之垂:照陶 一字三禮而敬書: 寫之: **樂勘中緇素」般若** 各 | 收足累||薫修 躰 器感 應之道得不 也如二鏡之 一然間嘉祿 心經者 我身無 ン骨 實

祇為シ奉

制

%光1也

今五卷者三界天衆四海

龍神

:琰王

願之處

面

々助

一成中心之誠

爲

ル此雖

ン犯:土地

草木

神

至魔

界為下除二業苦

_ mi

增申法樂业也各

々影…向大

般之果 願既滿 若擁 冥助-儲,一會,偏効,曇無竭之志,禪侶之列, 羅神, 迎」寶臺一而安一寶前一省入一妙香城之內一歷一一心一而 衆徒代二神 障礙 者萬人巨益也 于鷲峰之昔,伶人之鳴,玉笙,也不,異,于龍翔之古 開題供養重發,意地之誓願,欲為, 社壇 金闕之尊,遙迨,千刧,而流布久守,九禁, 界,次最勝妙典者王法要道也 之一必分之至 界者多昔修二行佛法 之妙典也既於 遠期二千佛之為 徹、骨牟尼者般若經主 Ш 祇 護也故介"圖 |愚意所\所其旨如\此勿\謂世及||澆李| 不以為以崇為以此 勿以謂人無,信心,我今果,此 能事 一壽域福连之樂 矣敬白 虚而 市就所生惠業奉 √弘n宣於恒 」副:冥助 既於以以以衆力 |王法護持之計猶契||百王之後 爲」感萬人如二我願 而 一之人也早還念…本心一不 每、致,恭敬供養一龍 顯 也故奉迎而安,臺中,善神者般 - 所:勝利 自他法界之衆生併證: 菩提涅 恒沙刧! 扉 面 一途...大願一畢 レ賁! 權現 殊瑩: 麗水 釋算證明之天衆護二 遠可、施二利益於 微塹 願一歡喜餘 墨結ン縁與 一而與」善去年今日 - 佛法弘宣之誓 之珍! 咖 之例 所、憑者拔苦 而不以衰方今 介 事 也相 神旣 少得レ 調 >善之諸 奉 身渴仰 所と美 於戲 節魔 垂 持

一世親壽始行事

鑽作稽古一各相議始一斯講具見一子勸進文記錄狀,矣建久七年一寺之法侶兩宗之碩才為一佛法住持一為一

勸進

世

也親講事

勝 因 來此會粗雖」有,與行,善願難」成途使,退失,云 諸宗之中撰,有志之輩,展,知恩之筵,就中々古以 廣旦二三論花嚴,末資遠泊,天台法相,味道之士義學思,之師範, 寔是佛家之柱石釋門之樞鍵也所以遺弟 悟入之眞文一以增一內證之威光一副談: 惠毒門論之 謝竭誠之營,思而送、年歎而默止爰群議云 之侶誰不人戴"恩德一哉而當"道樹變」色之日一無"報 五印一造論及二千部一大乘 右會之起源出二與隆之儀 玄旨,以賁,外用之莊嚴,氣叉扣 躅 在 >斯爾則且不>耐!報恩之懇念!且為>訪 |每\迎||三月五日| 將\修||一會| 矣講|| 讀開示 矣夫世 小乘仰三之高祖一中土邊土 二論皷二而決 親 大士者化導 一寺之間 與隆 雌 施於 k 先

東大寺續要錄 佛法篇

唯即末世之斯時,也後學尤可、傷矣仍 勸進之 狀如仰,者法命爭持哉旣知 如來正法壽漸沈淪已如、至,仰,者法命爭持哉旣知 如來正法壽漸沈淪已如、至,

建久六年十月 日

辨修法 質勝 順致法 宴信 線永 樹 延眞法師 慶 法 泛師 法 法 師 師 教玄法 聖實法 乘信 定慶法師 重 行 運 法 法師 法 法 師 韶 師 顯覺法 惠賢 真辰 觀慶 覺澄法師 聽 女 公法師 法師 法師 法 法 部 義海 貞禪 辨盛 圓慶 信 堯慶 辨 法師 法 法 法 法 法 師 師 師 飾

條々事

興一隆世親講事

自 之加護 答 本願 以出二三論之家,來,於花嚴之室 右當寺者大小二乘並 二往日,及二當世,應二 請宗之流·雖 レ借= 聖皇之叡念 者歟 >窓權質兩教 兼學之地 修學之名 公請,之人勸,大業,之才多 是則依 勘疎ニ 而近代法侶幾 于稽古 1鎮守八 也 所 幡 以

見二子勸進狀一矣。
「是一子勸進狀」矣。
「是一子勸進狀」矣。
「是一一兩之結構善脈」諸宗」始僞,此會,以備,後一子蠻仰」法水之枯竭惠命將,終盡,其哀惜之餘為

一始行講人掌事

聊途 月比 大會參勤人之外更不以用,先達,且為,後代,永所,定 之用途一買,上紙,以添曳滿座之講衆之外撰 力一雖、然為一執行之私沙汰一勤仕執事之間以一合力 曳、之為。會座酒肴之用途一結衆等有。少分之 被下之綾被物一重開眼布施雜紙 雙也於二小捧物一者寺家沙汰也別當實壽院僧正 執行法橋尊信住坊一為,,政所房,儲,,會場,講,演之,次 及申二請岳崎法眼一而加二綵色一軸表紙幷佛臺等以二 右建久七年春 日 有三 來之沙汰一奉 圖 繪世親井三 為一會座之先達一即維摩會供奉之已講成業也 也物限二人數一廣定二講衆卅人先達十人一設雖 ·其器,數滿之上不,可,添入,之由議定了後代定 三開眼 一別當醍醐 |導師西室得業賴惠問者實勝有詞。論匠三 比欲 僧正 執行 入滅因」兹冬十月遂行」之先為 - 之處自然 幅像一依一衆力難 四百帖計 III 延引漸及一六 三傑 歟 講 一銀日 H

可以為!!規模!矣

一饗膳及寺家沙汰事

、之可、牒,,送執行所,是為,,用意,也矣 者饗膳內可、略、之講衆多少隨、時不、定也承仕檢之外出仕二人都合四十二前也但於,,人數不足之時,之外出仕二人都合四十二前也但於,,人數不足之時,之可、牒,,送執行所,是為,,用意,也矣

講會繁昌事

東南院問題講始行事

東大

寺

續要

絲

佛法

篇

問,於,,今月,為,,第四卷,又令、講,,讀仁王經上下兩徒,勵,,多日之稽古, 遂展,, 一日之梵筵, 致,, 二座疑講, 即俱舍一卷中書,, 數帖之論義, 即賦,, 數輩之學志,正治三年正月晦日於,,彼院家, 被,,始行,問題右東南院第十四代院主權律師定範依、有,佛法興隆右東南院第十四代院主權律師定範依、有,佛法興隆

上卷講師乘信法師 問者實親法師

樂爲義海法師

下卷講師義海法師 問者

範真

法師

樂為乘信法師

大乘義章州講事

之講行,一向以"大乘義章,為"宛文,分"二百餘科,保延二年始行撰"召三論一宗之學徒,令、修"三十座

= 互決,雌雄,者也 論 問 疏 答 論 口義章之精讀三論疏之問答共關 讀 於 施 供 而定花法印院務之時 等 用途 者 П 三智辨 被過

Ξ 季講始 行 惠

之講 相議 者 云 法 紹 右 马之配文 匠者講衆之內以,當座探,可以勤、之然間何同 马,合、定,每季之所談,講問一座論匠三雙可、行、之 一數而 八月廿五 命一而諸衆皆同心一會無二異議一即相 寺之慧燈已欲,消失,因,兹講衆等互歎 …隆俱 去建 々講師者先達之中守,夏萠之次,可、請、之問者論 肆稽古知新無雙之梵筵義歟子、時貞永 本講之外每、迎二三季一新修二講行 人七年之冬比花嚴三論之明匠始行 時 公舍宗,竊預,佛法之住持,專在 H 屢衰 一誰共浮:數帖之論義 寔是與 二尊勝 習學稍踈就 院一始行之之 中兩宗之法將多以隱 三此 11當俱舍論 头法勸學 講之鎖 二此事 中世 元年 研二一 親 ル総 第 仰 講 秋

> = 俱 含論 第 马

運

一覺大法

師

賴

邓

剛

1 %定

1他身見惑,可以云、證,得擇滅無為 |井不染無知|得||非擇滅|事為以限||金

為一當一通一前位 論匠 三雙 - 歟 問於 問於

番學修之擬 講 增支

番光喜法 師 聖

問光 法師 意以:不染 無知三 性 禪 阿中 法 師 如何 問 判し之飲

返

問光法 師意染汚無知軆性 如何 釋

番 良 忠法師 答 尊惠法 间间 間

問 法 一个人住一不生一可、云軟 .論文永碍當生 得非 擇滅文爾者非 擇滅 力碍

未来

返

問光法師今 兩釋中明 望二品類足論 時 造論 前 諸 後 論 如 何 造 判り之 時一爾者以:

問大毗 婆娑論 以二六足論一可以云二佛說 三番良嚴 从法師答 中 一發智佛 慶重 一數 說 法 師 問 爾者

今

此

師 意

一法花

經

第

得」之可」云耶 問光法師意斷煩惱得自 性斷無 爲者於:惑能斷邊

品之蓮臺,者講衆評定記錄如、此而已 代之法命一此儀遙契二後佛之出世一 寺本講一季之外新加二行三季之講經一為」相 旣 于、時貞永元年八月廿五日 「挑,」螢雪之欲」消知新案上忽驚, 睡眠之愚鈍, 惣 世親講衆等 稽古窓前 其勤永彰:上

年 Ħ 光慶

光慶 長辨 玄淵 勝辨 寬覺 惠舜 智舜 景範 信咸 重範

賴專 俊慶 圓算

之儀已墨 現座交名已上廿二人皆可、用,所候人 之由講衆

賴舜 静 定禪已上二人維麻 曉 範承 者會 明賢

光曉

繼寬

融慶

不出交名已上八人

先達交名

上野 修學寺擬講增玄 得業惠賢 嚴信寺得業定慶 笠置寺已講 圓成寺五師祭源

> 俱舍第四弓 天 福 元年 八月 廿四 日三季講行之

師 尊 勝 院 法眼良神花嚴宗長者 初 問

因明講事

嘉 順三年 被 沙講二法花經 四 月 廿五 第六号 日於二東南 院 被 勤行

少讀 疏 四 種 相違義

問者 講師 人聖 人宗性大法師 禪 法 師 良忠法

師

豎義 云 入之一了講問共優美納受定無、疑歟重評定云於二秋 延引而今以:因明 三季 >注>之是為、散…後代不定 季,者無,不候人,全不,可,立 ン被:始修,之處依: 與福寺訴訟, 七寺閉門之間空以 々任二群議之旨 嘉禎三年四月廿五日記 世親講內於:秋季一者唯識 一之由或上人頻有之被二勸進 一為一所談,只講問計可以修二入之一 ,以,嘉禎三年四月廿五 之 -聊錄:書狀 二學道 因 一仍自 明為 - 見座交名不」可 去年秋季 所立・可と 日一被火修! 一可 有=

東 大 寺 續 变 銯 佛 法 篇

年 智 舜 法 師

凡 於 = 因 浦 上此 丽 DU 疏 年 行 九 四 者 月 秱 计五 嚴 相 違 重 日 異 他 於二大井坊 貴 種 清 被 花 人 Ę 行一當季 皆 勤 被 仕

法 權 大 僧 都 道 寶 八 條 左 府 良輔 息

問

初

賴

歷

法

師

爾

者

今此

餘

法

問 可以云二 疏 自 所 何 物 餘 法 III. 皆 入同 喻 無不 定 過 文

此 疏 文 厌 因 不 遍 欠不遍乍 之樣 如 以 何 唯 能 有於實 句 丽 無質故 云 R 爾

間 疏 局 文 誦 次 寸期間 於眼 進著者 自 良 忠法 等 性 無能 差 別 師 受用 俱 通 文 三躰 爾 義 者 能受用 耶 躰

神

我

開 集與 書 云

我

中

何

ン勤は 為三談義 季因 一之處 說共優美滿 丽 講 講 講 一衆議 13 衆 々師 師 故 寺 催 給之條講行之繁昌 依二講衆之評定一奉、請 皆催...隨 |有||御勤 = 出 仕 在 畢就、中 問 為::貴人: 者 兩 諸人特致二喜悦 人兼 民部 為:高位 :定安祥 H 卿 取 業宗性 探景 寺法 令

> 俱 範 師 舍 代 嚴等 世親壽學道一為之散,後日不定一記,錄之一 |賴舜||丁見座出 當 之而 景範 出仕之輩 依 三所 勞 可 立 代 學 良忠-其分濟 朋 嚴 如二 神

年預聖禪

新院 談義 事

院家 當寺 レ挑竟二談義 座 而 日 座以二當所大事 二之論疏 晴 各 披 自 講之所 冷 之談義-偏 £ 散,疑滯,仍下冰水當,,惠日,而 別當法務定親仁治三年六 々學ン疑 號二之新院一即自二寶治三年 三論之法命 宗,而 間 講師 談 第二淵 歎三二論 可」有,用意 -複讀 其間 一為一疑問 重 啒二廿人之學徒 依 々分と答加之諸衆同 レ之可 底 一宗之衰微一个 新二 簡涌 が機 -條々事 差; 定複讀 間 月 之後談 之比 宗之智 Œ 點三 才 解朦 月 智 计二 始 季文 義之前以, 先 師疑問 が談 出不 毎日 被 燈 少建二立 日一於二彼 爲 迎」覺月 而 講 中 審 者 始二七 占 問 - 問

以二含利 三論談議 講鐘 可=

香於火 次 唄 散花但開白結願許可 次講 登一禮 盤 二禮如來明也 次 講 師 表 白 可、置 神

衆

皆

座

R

後出

仕

諸衆極,,玄底, 讀了金三丁講師自,, 禮盤, 降 次讀師三論品釋了 次問者論義二帖於日講師,也

以,燒香盡,為、斯諸僧退散讀,宛文,諳衆彼文析簡盡,立底,可、談、之

可少命一存知一之條々事

談義時剋長

ん短事

講師事 為, 散也有, 相殘子細, 尚延引者非,,沙汰限, 也前机中央置,,別大火舍一口,盛,香以,, 件香燒盡, 可

子,可>讀>之

一品釋廻向何事

以,最略,為,定物,可,書,置之

一問者二帖論義事

日數事皆成文之內為,宗大事之論義可以為之之

一僧衆故障事

内,可、免、之自由不、出者可、有,過怠,也於,現所勞,者可、免、之於,請用,者又無日可、申,

一日記事

造,雙希二帖,論義幷談義之間所,出來,宗大事共可造,雙希二帖,論義幷談義之間所,出來,宗大事共可

日々僧參否事

以言到,可、注、之

奉行人事

義爲,,年預,可¸奉,,行之, 談義衆中三人撰,,器量,可¸定¸之三箇年一度二季談

一可二禁斷事

之外不¸可¸有"他事; 專他寺人上惣而別院供析米下事可¸停"止之;

一可、持二十戒一事

房,之後者非,沙汰限,於護道場,不、可、破、之歸

言宿

大寺續要錄 佛法篇

東

以:1少綱六人.可以召:1付 承 仕 事

五人 寺少綱永停殊不便 各六箇日下稿 一人五箇日佛供御明等事可以致二 仍難レ為ニル 事 思 :,宛之:上臈

沙汰 春季談義之間者南面可、立..明障子,為、防 也供析事如、形可、給、之

可」置:火桶 極寒之時節尤可以有事也炭者下,知之一了

談義畢諸僧退散之後者日々佛具等入,朱唐 可 ン進…御前 一出仕可」存一知之一為一盜人怖 畏 櫃懸 也也 子

僧衆退散之後火桶火入炎器可,移二置他所一細 者可, 属埋, 也無人之跡火事尤可、恐、之出仕存, 知 々火

嘉祥大師供僧事

之,奉行人可,下:知之:

」之右以前條々如」件 談義以後房中談義衆 今,供養可い行い之以,到着 為,供僧,每日行,論義講 一論義幷僧交名可以日:記

顛倒 代與隆 談義衆合力進二得分 抑供析事相轉 一之或為二甲乙人達亂出來 也供料事切他口 以二水田 - 為: 直納 一宛」之若向後自為一他 但藤非左加分米 可以買い具之 者院主已下堂供僧 損巳 寺一被:

> 之條者不便事 也 必 k 存,其旨,之狀如,件

者遣!! 撿見

口

隨

如

惣寺

供析被、懸二無線

院 主

法務法印大和尚 法 師

根本 談義衆 少口

:::寒風

北

定佛

勝延大 嚴範大法

景範大法 禪 師 師

經 FII 師 師 師

良 定 兼 法 法 師

大 師 八臣僧 都 大納言得業定春 覺 濟

此 日

外內

ロ々出 一寶治三年一至一建長七年一每年 一關怠一而院家破却之後談義又退轉 仕 內交談義共勤二講 問 兩季首尾七十年

寶治二年十二月廿九日

房僧都 法 乘信

光喜大

法

淨密房擬講

繼寬大 重範大法 法

師

算 諞 法 法 師 師

良 重 守 法 法 師 部

惠 法 法 師 師

講 被 三始行事

以::十二門論 命 右東南院第 一被"始行"三論卅講」首尾五箇日講衆十五人當年 布施 十六代院主聖實僧正為、繼, 無相宗 | 拜同疏,為,配文,學徒成,勇問答拂、底 法

成業以下能米五斗等分下::行之: 僧綱已講等加:分袈裟絹:被、曳、之

·被:定置, 建長七:年 又盡被」納,一子院家經藏,了是則盡未來際永不 於,,此講行用途,者以,院家領內山田 異國一入滅當院務之御時數十年之間未入及二動行 于高野山、遂被、渡、大宋國、了再無、歸、本朝、於 於舍弟聖兼得業,離,寺門,非,山家,其後隱,居 慮,院主僧正被、切破,山上禪房,之間奉、讓,院務 於"此講筵, 者可与為"恒例不退之勤行, 之由 被、相,宛之,即注,旧代之員數,講衆加,署判 二月十二日為,他寺大衆不 庄新田所當 一調 雖

四 聖 講始行

人皆思,僧正,寺皋恐,法滅,矣

正嘉 過一給四 元年 聖御影 \mathcal{F}_{i} 月 · 菩聖 提武 一日相 當本 行良 基辨 展"供養」了三幅御影奉 願 聖武 皇帝 聖忌 奉

導師 權律師 一面僧房北室一 賴覺三輪宗

講師權律師藏圓 花戲宗

講衆十人僧房衆 先達五人青級 問者二人 初問已講聖顯 次問聖禪大法師

者即為 聖之忌日,令以修二二問之講行,問者々當座之探講 之大殿,是偏四大菩薩之御力也依,之且為, 抑弟子禮二一十六丈黃金之靈像一拜二十間 >詞精談拂>底講讚者五部大乘經也每:一季.一經講 之問題,其外先達三四輩守, 薦次 者策日之用意講衆者三面僧坊衆也先達者 四聖之恩德,且為人分與,隆一寺之佛法 出仕 "談義,殊啒"二人之明匠, 為"彼役,出"四條 口口 - 巡,請之,問答盡 一每、迎,四 四 一寺成業 報二謝 面 殊 師 妙

ン可」有…相違 有,小捧物,聖守即送,之為,恒例不退之勤行,更不 世俗者清澄藥薗兩庄內以,相傳私領 一而已

寄! 進彼

一三面僧房法花義疏談義事

·名三論花嚴纔弘其中於,三論宗,者尋,本院之 盡,稽古之志,專積,鑚仰之功,實譽快圓定春等成業 綱忽顯智舜大德即列,梵筵,令,證義,了談義衆中殊 行一凡談義之場問答之筵一宗之難義悉詳八軸之 之刻當与論義或四帖或八帖出二其問 大德一个少始,義疏談義,即於三二面僧房四聖 >傳二三論之宗旨,且爲>弘二一乘之敎意, 堀二請智舜 却之間談義吞、聲法 窓, 僧正隱遁之後傳法永絕訪二新院之論場, 院家 百餘日義疏十二卷精談事畢卽法花一写疏披 一依、之修學盡、譽碩才揚、名偏是傳法之力也 于時文永元年五月十九日始之沙門聖守勤行之 被以崇,八宗之敬法,天台法 輪已止宗教欲、廢因、茲且 題一分修二講 院一首尾 論終功 相

十講始行事

令、勵,稽古知新之勤,遂尋,參勤之人數,被、出,請出,論義三十帖,普賦,世親講衆,各得,其問題,維日如,每,迎,春秋兩季,被、修,俱舍十講,即疏論 | 弓中右別當僧正定濟殊歎,佛法之衰微,為、勸,學徒之鑽

等撰,其器,啒,請談義之先達,但其中非,座目,之仁 此議一剩為。勸一稽古之勤一被、始一行此十講一 、苦之由有"其沙汰, 只偏與"佛法, 為、勸」學侶, 及" 為,寺務之計,撰,器量之仁一可,令,,術入,之由被相, 都不,行一論匠一仍佛法忽欲 疎學之輩相二語講衆一多以 心准,一亭論匠,了凡近年雖、有 >達。其望,之由有。其沙汰,即立。第一之學道一被 >及>被:責出, 凡參勤之輩者云: 寺恩, 云: 先達一可 也講衆 中於: 非器之仁- 者有、泥: 出仕- 是又强不 自望,相交,奇口之條可,遣,其恨 講問,為,論匠,無,不,經,其役,僧綱以下已講成業 副,行三雙之論匠一合、鬪,智辨,仍列,梵席,之仁為, 之勸學無雙之與隆也即出仕之輩以、涉二十講之類 儀十座之間每座之式也仍學徒切、肝聽衆流、汗第 之問者 」定,,所作人,其後被、始,講行,即散花行道之後講師 書印講 觸講衆一學於、無、其器、者雖、不、滿、卅人、不、可、有 欲及三釋經 一然間更不、及,思惟一件問題合、皋,疑問一此 行點と日學侶列と 一之時 別當以二兩帖之問題,被、與一當座 座 三衰滅 補入然間寄二事於左 一世親講之名一非器之類 之後以二當 一之間所、被一召加 一之間於 应 一講我 者也別 右

中御門房一被、行、之畢

于時 文永二年八月廿二 日

被談点供 ·講·妙法蓮花經 含論疏第十八号-

開

弓講師大法師實譽

問者賴

承

法

師

師

第三座講師 第二座講師 覺禪 賴承

第四

座

師

快算

問者覺禪 問者快算法 問者實譽大法

法

師 師

第五 座講 日 師 永 督

問

玄親法

師

座講 講 師 師 資惠 叡

問者

叡

算法

師 師

第六座講

師

玄親

問

者永賢

法

座 座講 師宗 師 親 晚大 算 法師

間

親尊

法

師

者

宗曉大法

師

物

紙上積三帖下六十帖

論

匠衆袈裟絹

賢惠法

師

宗經 經實 賢惠

論匠

番定緣已講

快圓大法 並大 法 師 師

定春 經 大法 大 法

師 師

俱

舍第十九马

現座交名 緣宗大法 師

> 經 質大 經 師

別當 僧 Œ 出仕

聖禪僧都 先達

勝

延

律

實譽得業 信禪得業 貞叡得業

快圆

得業

曉

賢清得業 定緣已講

定春得業

賴承 講

盛玄

玄親 坊宗

永賢

同 年十二月 >被>宛寺領為:政所之沙汰,人別二斗下行云 已講并僧綱開結兩座加分袈裟絹曳」之饗析不 H 於"西南院新房一十講被"始"行之 問題無日出」之所作人等當座探自 12

東 大 寺 續 影 銯 佛 法 篇

二百七十一

法 篇

1世 餘 行 र्रात 皆 座 如 前

長 史 出 先達 仕 一交名

已香權 涉 僧 都 連

大法 定緣 師

實譽 貞叡

賢清

擬

講

信 師

禪 勝

權

律

延

凡

宗開快 曉座圓

定籍定 教^座春

講衆交名

算算

宗

會 玄 尊 叡

> 論 匠 三三雙

> > 海 親

藏講

第

加

賀

尊 法 聖

師

先達

快局叡同宗 賴 信

坊同快同覺同賢

禪

算

慶同盛講親講良

数而已

之興隆

天魔成〉崇梟黨致〉妨歟不便々

々不と

可以

嚴

重 以 靜 行

尚

退轉剩臨時之梵筵永削二名字二了衰微 箇度學徒成,勇鑽仰積,功而文永十年寺 類之族違背各十二月寺務上表其後恒 此講自:文永六年 至:同 令,舞了萬人催,感一會入,與令,悅,目又肥,耳畢 一舜勝等兩 なな 中 時在僧 超 清 一過先代 定 之春等答 面 F 々出 华 -- 年 辨 紀 在 一例之講 毗 Ħ. K レ之其 なけ 沙已殿 箇 門 年 後 門 行 勤

夜延年殊勝

二百七十二

別當坊 論 兒二人出 匠 以 後 有 仕 延延 毗 沙 邑 殿 千

花 殿

開 猿 樂

東南

師堂一 無:違 殊撰二器量 領也買,取此所,加,院家領,次三論長者諸宗三論宗中 南院一永傳一于門跡一之妙音寺者會口大法師所」建之私 軀檀相十一面觀 屬于聖寶,仍得,兩方之讓,為,萬代之證,五間檜皮葺樂 師壞 聖寶」為、備二後代之龜鏡 南大門東腦 三百餘人夫工 當院家者當寺別當道義律 南院々主 毛人會孫等深象,由來,所、壞渡堂幷佐伯院敷地永付, >陳二子細| 隨叉氏人故參議正三位大宰帥佐伯宿 院屋一字,以為,代々院主房蟄,御門御脇此處號,東 ·取香積寺·之條理不盡之沙汰歟然而氏人 展弱 禮。矣次中築地以南敷地者本是嚴調 字安:置金色丈六樂師像一躰.同 ||可、為,,此宗長者,之由被,,宣旨, 以來チレ 以"官符」所"補 一也其後律師延喜四年於,,大衆中,付,屬 等壞 |音像一軀等也次乞|| 請當寺|破|| 壞悲 一渡香積寺一字佐伯院所 一即請二寺司之署判一但道義律 師延喜四年七月二日夜發: 來一也 而 延久三年永以二 日光月光像 E 建二于當寺 講 相 欄今 傳 各 茅 子 領 東

> 也慶 被 時建,殿舍,為,御所,其後累代相傳可以 定畢 信任 為 白白 11 院 御臨幸 一買:取 之一白 Ш 為,御所,之由 天皇御 幸之

疾之營作萬人 營一院家 下一郎 治承四年十二月廿八日為一平家並臣 十三代院主勝賢僧 可以為…御所 藏等是也而建久元年十 月十九 下諸堂等一之尅東南院同成 嚴 座中門廊殿 盡 \美仍往還之客驚\目見聞之類傾\首畢 後白川法皇可、有, 御幸,任 一舉八月廿五日擬"上棟一十月十七日御幸速 一仍期 之所以 上廊中門隨身所車宿對屋等房宇 日以前可,建立 正一墨仍首尾五十箇日之間合义 **感也寢殿** -灰燼-畢 日大佛殿 字五間四 之由 :先例 所及纔院主 被焼 被如二下 上棟兼被 以,東南院 面檜 失大 皮芸公 並 房經 佛 宣 檐 以

東南院 々主 次第

庄 卿

建 東京人姓 一根本法務僧 一院家一弘一佛法 王 氏白壁 IE 聖寶三論派員言 天 皇 苗 源

延喜九年十二月十三日入滅七十八

東

左京人俗姓 法 務權 少僧 長緣氏 都 延攸聖寶弟子

延長 七年十二 月十三日入滅

第三 權大僧都觀理延齡資

左京人姓平氏

第四權律師法緣延敒觀理弟子 天延二 年三月口 日入滅年八十

姓的氏

貞元二

年口

口口口日入滅七十

第五 一權少僧都澄心觀理資

伊賀國 人同國筏師子也

權律師濟慶澄心資

長和三年二月五日入滅七十六

永承二 俗姓藤原氏有國宰相子 年十月四日入滅六十三

權大僧都有慶濟慶資

延 有國子濟慶舍弟 年二月廿日入滅八十六

第八法印慶信 原氏中納言公成子 1有慶貨

> 第九前權少 保 年 五 僧都覺樹慶信弟子 月 九日 入滅五十 五

保延五年二月十四日入滅 右大臣源 顯房 息

第十權少僧都惠珍覺樹弟子

嘉應元年十月十五日入滅五十二 俗姓源氏 少將顯國子 母右府宗忠女

大藏卿師行 息

大法師聖慶惠珍弟子

承安五年三月往 生

第十二大法師道慶聖慶弟子 俗姓源氏中將有房子

文治五年讓勝賢密藏入音伴山

第十三權僧 IE. 一勝賢

第十四法印 俗姓藤氏中納言 人八年六月廿二日入滅年000 權大僧都定範勝賢明遍資 通憲子

嘉禄 姓 藤氏民部卿成範子 元年二月廿五日入滅六十

·五法眼 道快口個正定豪僧正弟子

第十七權僧正聖憲子時

嘉 職元 末寺庄園二十捌箇處 年 官符宣 被 言書載

山城國三 一箇處

大和國十 宇治庄 簡處 **狛野庄** 槻 村 庄

虚容藏寺 安隆寺 別府庄 角庄

中門庄相運庄 大 倉 喜庄 槻 庄

庄

成 定 長 庄

Vii

攝

國

筒處

伊 賀國 漆窗

廣瀬 庄 處 [33]

庄 湯 船庄 波庄 當 山

永 田

庄庄

別府 庄

伊勢國一處

越後國 安樂寺 處

豐田 庄

丹波國 一處

備 曾我部 前 國 一處 庄

周 防 陰陽頭位 國 處 田

宮野庄

嘉禄 心元年十 月五日 左大史小槻宿 爾在 圳

右少辨平朝臣在判

法即,畢仰於,大部庄,賴惠法印知行之時寄,附東南院,畢而定範法印有,子細,令, 實僧正,于,時若君畢其後又成,院家領 播州大部庄防 州 **椹野庄者大和尚南** (令:讓,與定勝 無阿阿 亚 奉譲 聖

東 大寺 續 要錄 諸 院 篇

和 源 庄 白 土 正 樑 庄 虚空藏

已上 四 箇 處聖 一無僧正院 務之時被公治 却甲乙人,

致::忠誠.所:建立一也謹撿::案內

一是專遠期:永代一為下奉

一之後殊竭:身力

御願 之由經上

上奏一畢 ・
茲以
ニ

則

師觀音延命 天裁

不

被

月廿八

日

奏狀一傑件

堂舍佛像

為、奉、誓…護公 東大寺者感神聖武

家

皇 殊

彼 防州 此五箇 宮宮 |野庄者依:供 [處當代離]院家之□退]畢 料懈怠一被、避…出寺家一里

尊勝 院

太政官符大和國 司

應以二新造尊勝院 爲

口一个人修中御願山事

建二立五間四面檜皮葺堂一 字,在,禮堂

十三間僧房

奉 造,金色毗 **盧遮那** 佛 像 躰

金色佛頂 金色釋迦如 《尊勝如 來像

金色十 面觀 世 像

金色 延 命菩薩像

> 奉行 左

K

梵天 介帝释 四 Ŧ 一像各 躰

右得

別

當律

金色藥師如來像 師法橋上人位光智者去天德四年十 日音菩薩 來像 躰 東大寺一院,置,知行僧十 躰 躰 正六位 臣宣奉 聚二 從 廣大無、際仍為上立,第一之宗,與事廣大之教」也者 以"華嚴宗,為。院住僧,者華嚴教者抽"大日如來之肝心, 願,但其院司撰,,智行之者,師資相傳令,勤,行件事 為期,永代,殊命,勤,仕 ▶賜||官符|以||件尊勝院|為||寺家一院|置||十口僧| 將 動眞言, 精勤無 轉讀仁王般若 即撰,定智行僧 十口僧,於,件堂舍,可,勤,仕 勤,仕寺務,而間更廻,私計,寺內擇,地建,立堂舍,刻, 立,也光智幸蒙, 帝 造算像,結為,一處 四位 普賢薩埵之行 上行左少史笠朝臣云 聖朝之寶祚,及攘。除天下之災變。也因、 上行左中辨 > 勅依>請者國宜:承知一依>宣行>之符到 一始,自二十月廿八日,勤二修其事 →私冥助何空乎望請特 蒙: 夜則轉二念尊勝大日藥 願一也圓融之理甚深難」測利生之誓 一策內藏頭美作權守藤原朝臣云 天恩,拜,別當職 一號二尊勝院

聖朝安穩國家豐樂之

抑 御

大

申

大缘佐 少掾 掾 藤 原 文 伯

太政官牒

東

師

法

橋 用斧

光

二七

花

院 Ŀ

右 天 從 帝 曆 四 +

年

歲

次丙

辰三月十

四

日

1

未

H

巴

時

記

Ŀ 傳 燈 燈 滿 滿 位 位 僧 僧 賴 松

花 嚴宗 嚴

花

右 同

應和 位 T 元 行 年 Ė 左 113 月 辨 四 兼 日 內藏 Æ 六位 頭美作 1 行 權 左 守 少 藤 史 原 等 朝 朝臣 Z; Ż.

牒

位太后 民部卵 皇太子及藤原氏繼榮可以及"龍花一之地現" 政所上地三 衆天神地祇 院 藤原朝臣 三時也即卯辰巳仍爲、後記 者蒙:,勅宣 主以 :觀念緘一件戌亥地與二三所聖靈御陵地 一御願 皇太子繼榮一朝中第一 藤原朝臣 文範傳宣 :去天曆九年十二月 同寺唐院西方地 之所。自有,三所 伽藍本願三代聖靈」誓願云蒙二 一後光智勸,請大日如來三世 在 衡宣奉と 宜 仰:東大寺別當光智 勅 也中如:宣旨 1 伽藍之內可」分」建二立 Œ 即一寺家戌 \mathcal{H} 五. 日 位 E 下山城守 亥地 十方諸 位 為一帝 立亘 示瑞相 帝 宣旨 T 王太后 左 納 紫 同 尊 王 中 辨

記 置東大寺別當傳 燈大法

師

光

智

東 大 寺 續 要 錄

傳

燈 熔

滿 法

位

沛

師 師

位 位 師 師 師 師

法

蓮春州 蔣年蔣年蔣午十三二三

花嚴宗

花

當

國

牒

東大寺尊

勝院

衙

傳

燈

燈 幣

位 位

二四腐年腐年腐年腐年 智十十二四三五三五五七腐年

一三二六五八

花

花

慈高 位

花

宗

兼律宗

燈

法 法 法 法

位 位

秀 题 範

燈

平

+++

花 花

嚴宗 嚴宗 嚴宗 嚴 嚴 嚴

二百七十七

諸 院 篇

幷衙 牒 副寺牒 去月 牒 # 進送了 三日 加舉已了乞衙察狀今勤 學常燈佛欲 衙 牒 乞二衙察一狀早欲一被 偁 供料稻伍仟束. 供常燈新加 不, 早加 二加學 學省 牒 符以,,先日 - 者依:-省

符

權 守 介件朝 原 應和 朝 三年四 臣 臣 H 廿三日 權少目 追補 使大掾 紀

大掾大藏 良 種

E

權大掾文 一排 八日置

藤

原

丹比

目

佐

伯

小 自 大中 忍海 臣

佐 伯

和 國

應上混二合 T 稅 加學 東大寺尊勝院 1 燈佛 供 料 伍

案

被太政官 儞 東上事 彼院今年 去 月 四 月 + 五 日符 日 牒 偁 狀 得 何 謹撿 彼國 一去年 案內 九 件尊 月 日 勝

以三國 泥 裁 代計,恐不、經,幾程 雖 知 禪勤修之間六時之燈常明終夜行道之曉 准 | 成題 | 混 ン件乞!! 衙察 言..上公家,件榖以,去三月,貯,納當國,已了仍 有、數為、宛,諸尊常燈佛供析,雖、儲,穀一千斛,非, 今件院奉、造安置諸尊其數 本類,言,上公家 寶祚護天下太平一所>傳者花嚴圓融之教法八 爲公家,所,建立 院 口 五味之備佛鉢無、塵八供之勞法喜有、 修一御願 宗也所と |晝轉||讀仁王般若|夜稱||念諸尊眞言 別當 一依: 件加舉 者左大臣宣奉 依、宣行、之者國宜、承知、依、件行、之符到奉行 以,每年之利,宛,終御願之常燈佛 解言上隨即給一官符一古令其數巨多不一可以勝以 律 師 守者大日如來之肝心三世諸佛最大尊也寔 "合正稅」加"舉之,雖、云、經"永代,不 一狀因,唯件等傍例,早被, 言上,以, 件籾 之局,未、有,備,供燈,之儲,方今以,私人 法 橋 上人位 一加"舉正稅」之例或進"自解 奏聞 1也发蒙,一个年三月官符 從四 盡失歟仍准二加學正稅 位 光 智殊 下行大輔 巨多結構造 為文章奉公之忠誠 が勅依 源 朝 餘者望請 五更之光鎮朗 立之堂含復 請者省宜 供析 -撰三智行 臣 保 萬法 祈 傍 然則 光 機送如 例一 一藏第 4 爲

東大寺續要錄 諸院篇	多富庄 大岡庄	長井庄 箐河庄 和邇庄 櫟北庄	平城左京三四條等田畠有之具如留記	添上郡 .	大和國	尊勝院根本取領員數		少目佐伯	大中臣	權少日紀良種	權大目忍海	大目佐伯	丹比	椽少掾日置	介藤原權大掾文	權介伴朝臣追補使大掾巨勢	守藤原朝臣權大掾大藏	奉行到來同三年三月廿三日正文績收於國已畢	應和二年三月廿八日	正六位上行少錄吉志宿禰公胤
	山城國	草樂園	宇陁郡	家地一處	宇智郡	田邊庄	葛下·郡	近坂庄	長富庄	高市郡	社本庄	十市郡	内田家一	城下郡	椿富庄	城上郡	新富庄	山邊郡	深溝庄	添下郡
		竹田庄						八多庄	宮富庄				處 遠南庄		薦堤燈油門		横路庄			
二百七十九		橋庄							田倍庄				上		園		隱岐庄			
		萩原庄							山本庄								長屋庄			

樂郡

舊鑄 錢 圖 田 庄

泉鄉

締鄉 家地等 有之

家地等有之

祝 鄉

家地 等 有之

唇那

久世 世郡水 庄

石田 庄

等隨分供析 供造佛寫經百部法花八 右 梵王帝釋四大天王閻魔獄卒五道冥官勸 件田 共 年 地 輸地 限 一若後代邪見之輩破二此 利 日 月記奉と 一宛"用大佛 八講傳 施 殿常燈 法 入於東大寺尊 會新修 願 備弁 理作 一妨此 請大井大 當院 新供 勝 H 僧 地 如件 明 住僧 燈 前 者

等國

内普天

祇冥道命」蒙上破二滅三寶一之災禍

:現世當生之利

益

一御弟子

依

此

功德

一者分…願 切神

廣多分繁各々得

中佛 主得

法與隆之便上天下界四

恩

ン致ニ禮議 公家之輩可〉定一補上職一也又律宗弟子等互補 掎、心為:上之人 差平等利益 一又於:院司等,者經知院事之人必 者為下重,慈悲,為一下 上但弟子等中 無一爭死一而 選可 之偷 心皆 7.出仕 者可 同

康保四年七月三 日

也更莫,違背,敬白

奉 願 主 大 僧 都 法 眼

和

尚位

光

教院 司 法 師 等

知院 事 法 師

知 院 法 師

勾當大 法 部

勾當修 勾當修 御 御 願 願 ---禪 禪 飾 師 成 法 春

撿 撿 校修 技 修 御 御 願 願 禪 禪 師 師 松

御 願 禪 師 校修

御

願

禪

師

闸闸

連

治 以 下 承 東 四 大 年 興 + 福 月 兩寺諸堂諸院悉為,灰燼,之尅尊 廿 八 日 為 平 家並 臣 清 盛 道 勝院 佛 內 殿

便宜 當 堂閣 師 廊 之由院家經二 日 天王各一躰已上等身物是 ン造単築 拜 H 面 正 功 党期 像靈驗揭 躰 位從:公家,所之被:安置 東面 治二年終二營作 二于大佛殿營作之時 九間渡廊二間 三再與之願樂 丈六 釋 躰不、殘併 一可 雖 僧院 計燒失 了、申"成 平門等 日以 師堂本尊 同 迦一 焉宛如: 生身 交..炎火 前 像幷厨子等被:造送一已畢自 一佛像免一煙焰一个度治承四 至"正治 功 為一灰燼 企二 勵 躰藥師 厨 一造營 一棟廊 也後代為"用意 Œ 子內 一之處忝 治 畢 院之土木,即 - 奏聞 元年補二寺務職 即臨:拜堂之期 而當院第 十三躰也 年十月廿二日拜堂之當 公家尋言 記錄云天曆御字 73 躰 之佛 間四 有1動 有 + 此 像盧含那佛 面 憚但付: 侍 面 十三 佛 **舊跡** 許郎 寬弘 記錄 延 廊三 建 先可 久 命梵王帝 代 如如 五 間 中 年 同 年 跳 院 一餘佛 募., 內舍人 年六 十二 當院草創 門 被二急造 釣 中 # 伴 被三 躰 殿二 年 始 辨 像 月四 一月廿 釋 賃 宇 介。途 曉 內 造 猶 日一个 四 勝 間 中 僧 伺 歟 黎 菛 大 之 佛 H 都

院主權大僧都法眼和尙位辨曉記之

人人七年五

月十三日

庄 却 康 保 也 年 而 中 至..近 所 被 至 尚 定 置 被 領 庄 知 蘆家地 者 橘 等 元真所 多以 頭 寄附 倒 或 介 <u>元</u>. 舍 沽

大和國內 田部庄 差柳庄 標庄 清澄庄

頭倒而已 錢司庄 已上五所也 此內

尚

以

或

沾

却

或

伊 同 國 賀 國 鞆 財 良 H 大大 修之 正壇供 內 國 動天也奏 衙 倒 申

横山庄 新庄 與"別相傳領所,後快大略, 玉瀧庄 同付玉瀧寺 沽却云々

領被

同

國

末寺

山城國

海印寺宗性法印院務之時被,返付,之

時之定 東大寺 領 致 者戒律 院宣 額也 嚴 別 院 之所以 m 偁 昧之練行 算 或或 草 111 勝院 入二人家 創 城 禁格條所以 年積 國 末寺 面 者 花 即 介!相 寺者道 早企 構空廢剩 院宣如、此悉、之謹狀 誠也自 傳 蘭 雄 以 今以後 寺 僧 沂 都 年以 佛 宇 地物 建立 如》元宜 之營 降 或 嘉 作 為 祥 為 他 寮 明 口

文永 年 + 月 # H 左 大辨 雅 言

勝 表 書 院 民 院 部 # 卿 法 法 印 即 御 御 房 房 云 K

勝院院 務 次

第 法 光 智 春 大 大 僧 法 師 都 依 院家建立本顧 光 智 一付屬 也

第四 第三 法 法 師 師 依 依 三松 法 橋 春 護 讓

第六 第五 良 眞 直 律 律 師 師 佐製佐 製造 依 心觀真護,其 … 見真 護 -松橋還補 時 雖」有二上萬千猷一不以成 院主,其後 讓

第七 第 延 權 律 法 師 依 辛 猷 讓

降 定 延 助 暹 幸 法 大 大 橋 法 法 法 師 師 依依定依不依等依 理其 成一彼時難、有 去 深 隆時 助管,領院家,畢 幸還合一院務一然後讓 雖 有 ,上 萬觀圖 上店 延 快 延 觀

四 俗 姓 助 法 橋

辨

睦

法

則

法 EI! 依 辛 曉 瀍

第

俗 姓

Fi. 良 俗 謯 僧 姓 太 IF. 政 大 臣 依 良 性 平 譲 息

勝 信 閣 梨 依 員 頑 讓

宗 性 俗 俗 姓 僧 姓 法 IF 性 道性弟子 澗 定 殿

10

息

唐 禪 院

三千 立一戒 篇 唐 僧 壇 右 月 北七 院建立 都 十三 大 禪 粒 院 聚之戒 唐 擅 舍利 日 龍 同 天皇初 儲 老 與 + 寺 法 大會 年 來朝 宣旨 鑒 一凌 依 登 直 展: 同六年甲午 一寄一附 壇 和 受...井 十二年之留 勅 尙 供養」導 被 依 11 戒 建二 聖 四 笛 同 師 和 武 月 國 年 難 權 尚 天 初 Ŧi. 一被立立 13 皇勅 修練之 道場 天平 於二 僧 月 都鑒真任 盧 勝 請 一戒壇 日 含那 寶五 被 為レ Ţ 弘 殿 年 同 持 前 五

戒

堂 舍

僧

房

東 西 町 南 北 町 南 面 伽 藍 也

大僧都法進 唐禪院師資

弟子十人

惠雲律師唐 弟 子 藥 Ŀ 八子勝高 弟子濟古

一賢亮 勝 道弟 子與智語 弟子慈識 朝宗等

弟子道雲入 道出家之師 也

三惠基唐

「安暨 弟子豐實 弟子真藏 弟子權僧正聖寶

四

道雲 觀道 峯仁 禪基等 弟子 弟子濟棟已講東大寺法相 延惟 泰智澄淨 子慧 延暨 弟 子 7 慶洪 聖勢 壽 福 濟慶 仁俊

五景深

延尺

明

俊

弟子 繁澄 玄澄律 師 勝 操 慶泰 平仁已講慶恩 豐榮律師已講 4 · 智 平基

六肆開

七慈賢 弟子 意應

八位淨

弟子善基 願雲 弟子 ,勝古 弟子神不

馬

九法印

十慈慜 以前師資相傳為,後代,大略記出如、右願已後裔為

三指

延喜五年三月廿七日

南

酸仙 建治三年九月六日經二 委細如:別記 條注:別紙 珍事也就,中寺僧等氣感,夢想二云々 奉、堀二出數百粒佛 建治元年三月十四日為〉築、築地 七日大勸進約 洞 一御如法經之次被、展,供養一剩數粒分留 畢此事添達" 叡聞 忽在" 御奉請 於" 嵯 一倩案:事之次第一若再與之時節令 住事始遂行墨 舍利 畢聖守 奏聞 一圓眞寺主任 曳地 即參向悉奉請罪 御 三勅定 舍利之神變條 堀一竹根 -同 事云 然與 13

知足院

當院者寬 家皆荒仍監僧多以 4 ·二年 高 住 雄 俗 昇 嚴 叉トレ 禪 師 建立 居爱別當法印 也 iffi 星 和 定親建 態

受戒 敷地 在三別 堂舍之敷地 本住監僧等賢覺五師道源 資助,各移,造房舍,遂寄,附田薗 舍房宇同 一之由雖…歎申.恐…後代之相監 房舍,且又營作之間可以有,助 18:造: 在一僧房 所宗 之由上人之素意也當寺蔑如之輩又破戒濫 年 住,者也 破 他所 春 出 向 ·於::女人·者不>可::入居 軍 以此 上人之建立 一彼所止住侶者尤學一戒律 其 一畢隆圓得業且為一重代之居所」且 後或學徒 砌 |被/定: 也隱遁之禪 得業明真良榮增 或禪衆僧行輩以二 清 |更無」有二許容 淨之地 被定 成 枉 一之由 侶 可以 可レ 介:1 止往 - 置 全宛 被一相 淨 區院僧 興 行 丰 녺 許,居 觸 畢 - 仍堂 吹之 戒法 此 給 務 僧 內 餘 11

日 建長五年二月五 m E 一棟寺 務 之沙汰此堂本在,中門堂西 一日以,,法相堂 一被\移…知足 二號 阿 院 彌陁院 同十

院

斯所者 三新 院 天慶元 而當寺別當僧 新 年 祐 戊 戌 明珍僧都 院 Ī 永為二一 法于印時 定親仁治三年六月之比 所達 院家一个人崇二三論宗 立 也 本名 念 佛

字經藏|安二八宗法文|

文永五 十一月 其 同 之,自,同 後造二繼三間 地 濟 而 十年夏比 方 為 禪 僧 後雖」有二再 建 衰殿 久 IE 年 相 八 年 一十六 傳之 五 日自 字五 建二 宝 月 $\dot{\mathcal{H}}$ 畢 日 後聖 興 月 間 西南 一之企 庫院 一建二立之一檜皮葺 日自 間 四 守 日 四 院 京都 面 相二傳 未 為 面禪場」以二一方一為二經藏 三間 字五間 胆 移,渡房舍等, 令,建, 西南 福 中 寺 間 門廊 四 院之敷地一即文永 西 一面維屋 TU 又在二間 金堂 面 部 堂左右廊一 屋 二僧 衆 町 字五 被 正空入滅定 透廊 宇運 切 立今此 排 [][] 以 = 渡 亚 年

業住 代 連 大 寺 當院家 定濟僧正寺務之 建治三年建二 仕今又執務之始為

一予禪房 摩遂講之時先師始被、建二此院家」之尅同自 德 日 々之口者所,也先師 房 列-其席 |畢聖守為」達二先師定親僧正素意| 命以談,中 一之時出」自 被レ 行言寺 面々受二法訓 論 始 疏 門 此 西 畢 南院未 - 畢於: 僧 砌 然間寺門 正維 經三羅苑之講 一之處幸住 當院 被被 摩爹 學徒實譽快圓 レ終ニ造 講之年背為三賢 者於 :此室 匠 屈= 功 - 定濟僧 彼 被 門跡 間 智 忠 Œ 行 維

祈願所,奉\前*天長地久,事可、早任,沙門聖守寄附,以,東大寺內新禪院,為,御

十餘鋪 立堂 僧正 檜 淨侶 右 置釋迦如來像 納佛舍利 寺 Œ 經律論幷顯密聖敦內外與籍等一 随如來像 安二金剛胎藏兩部曼陁羅各 寫當麻曼陁羅 一去四月 面 字談義所住 內 皮葺堂 當寺 造立 含經 可り 尺像一同 新禪院 一已上十八鋪 同安:」真言道具等一目錄在 金色阿 一同安:四天王像一同安:極樂曼陁羅 大佛弁 藏僧房,安二置 致::長日不退御 宇-南 躰.同安.三論宗祖師 日彼聖守解狀脩請特蒙,院廳裁 E安:佛井明王天等幷十六羅漢 永被、定二置 福 槌鐘 躰 摸 彌陀 寮 脇 建二立三間 北 士四天等像圖 建二立二間四面 兩面在〉廊 如來像 口建:立五間 佛像聖教影像 嵯 祈禱 仙洞 峨像,同安,十大弟子像 瓦 葺 鋪一 由 御 躰,在,厨子二 安二置多資塔 祈 目録在と 經藏 下 = 自 同安,1 金色三尺 願 之八幡大井社壇弁 四 別建二 小菴 三馬 所 賜御下文狀 面 -建二立 字,安,置 鳴井,至,聖寶 僧 別同安,四天 立七間 旭 房 字,安,置 長齊 師 一方立 字,安, 等 幅圖 基 間 河 東大 僧房 像六 四面 同 彌 切

皆破 庄內 庄內 寶通 嘉祥 來而 琵琶 之處從,治承年中,以降聖跡埋、礎俗舍並、甍而 當寺,之日來,入此 貫一當院家者本願聖 大寺領河上幷伴寺領內一累代券契等在 基, 其中奉, 納州二粒佛舍利等, 建,立五 像 地 尚良辨僧 地 十二堂,之砌也即弘法大師 之中間造之之建,立雜屋二字,資財帳在以別樂器筝 金色阿彌 字,浴室造,加之,建,立僧侶齋粥所,三間僧 形等圖 同安,等身弘法大師 至:天慶元年 大 一寄進狀等在、之一 用田地等一處合參町肆段 奏二管检一有5調二供養一 一
劣
契
寄
附
狀
等
在
ン 師 像 面鞨皷一 施如如 善導和 一躰.同安..尊勝曼陁羅一 レ之左方聖徳太子 行基井等御 來觀 鉦皷 尚 音勢至像 所一號,南院一是也而星霜多積堂舍 弘法大師 明珍僧都再 武皇帝御字為"鎮護國家 影圖 间 御影 處合玖段在:大和 之一處合參段在二 長日 依二嵯峨明主之勅詩 為"彼講」分、施"入之一三 聖武 聖寶僧正等影圖、之同 |摸||善光寺像 鋪 修二舍利講一之時適伶人 在 施,道場,奉、祈 右 天皇 -起二立實篋 大 方龍 鋪.同安.不動明王 和 書 樹井 國 提 之右謹考 國派 Ш 間 ili 僧 -同安…三尺 印石塔 逐郡 城 四 羅什三藏 正 被建二 房 面 鑒 去仁治 圆 - 移 :: 住 庫 庫院 郡 相 家一 張 院 和 東

家忽破壞談論空廢怠定濟僧正讓 修二長 管領 无相 ▶講,讀金光明妙文,素願無、私以,國土靜 專,三時之妙行,敬祈,萬歲之寶祚, 剩却, 異國 運,去文永之寶曆建,立堂舍僧房,安,置經論章疏 成舊院御願一舉是又訪二三代之芳躅 傳狀明白也努契等相,副之, 僧正已營, 作西南院,申, 禪房一之尅聖守永立一替西南院 住持雖、成,其願,香花燈之新物未、及,彼構,之處今依, 念二三寶之加被已有 失滅見、彼聞 累代之聖跡 感有、憑以,佛法弘通,為、最凡厥堂含房舍之建立顯教 大 之仁佛法住持之器當時尚以稀後年尤難、測廣 願一永任…施主之寄附 之願樂,聊得,有緣之檀那,各施,入小田,令以 為一致,王法佛法之護持,新造,立四天王形像,命 日之勤行,奉、新,一天之安寧,而 僧 露 更不、假"他人之資助」偏成、 IE 「纏掉,八宗之法門」權者化人書寫之經論 分枵損先德明匠 買言取 此 肝消眼暗縱不 驗四 所之敷地 一可ノ莫 海之泰平更无义 一安置 -建二立三論之道場 .知上雪童之投;1半偈 一个、傳,領斯靈地 :得彼舊跡:欲,建:立 一後代之違亂 但院家 之聖敎交; 塵 一為一 去建長八年院 從二一身之願 論 為 望玄 疑佛法僧之 百王之聖 異賊之 王 卽 訪 與三 卽

> 滅可以 有公間 真俗一若權勢之仁破戒之輩於二相綺一者還招三門跡之 持之僧一皆有一佛法崇重之志一能撰一定器量一可之委一附 而 志 願 早任,沙門聖守寄附,以,東大寺內新禪院,永為,御祈 侶一必安二 井戒比丘僧 射山御願所一而朝暮奉、祈! 千秋 ↓護,王法佛法,今崇,顯教密教,早以,院家,被√定,站 思一歟諸處多以如2 >崇:三學之妙道二而人以,世財 不以分!! 風波 重是雖以為二末世之儀一尚悲二法滅之瑞 所 傳山顯密於吾國一因、茲不、越山山河一飽得 上復雖 忘下常諦之凌 一可、奉、祈,,天長地久,狀 大師漂 >致"聖敎之散失"口稱"與隆之由"心挿" 押妨 三蒼波二而 已值 斯此條堅可:停止,望請恩裁偏 一欲以修二智三論 百 代之法 求..佛法於異朝一高僧疑.. 丹露 城 如 之功」 尤慕"累祖之芳德二可 子件 為レ 萬歲之仙算一又於三住 遠非り 珍世以二佛教一不 四曼之教法一矣者 但於二 :諸宗之敎 可以 尋近皆 戒律護 為

兵部 權 判 別當權大納 官代勘 大 弘安四年後七月 一權大輔 納 解 藤 平朝臣在判 山 次官藤原朝 兼 春 宫 大夫藤原朝 B 臣 主典代修理權 在 在 安倍朝臣

防 右 前 前 心衞門佐 鵬左 大 權 字 中 權 納 河 藤 使 曲 言 源 衞 奉 原朝臣在判 -朝臣在判 朝 門 兼權佐 臣 在判 春宮權大進藤原朝臣在州

大藏卿 前 右 陸 奥出 權中納 少辨無春 高 羽按察使源朝臣在判 階朝 言藤原朝 宮 大進藤原朝臣在外 臣在判 臣 在判

參議樂備中權守藤原朝臣在判 參議修理大夫樂美作權守藤原朝臣在

權右中辨藤原朝臣造東大寺長官參議右大辨近江權守藤原朝臣在判

左少辨平朝臣

真言院

法大師 眞言院 齊月修二息災增益法 之安寧」則官符傾拔 不、成宜於"東大寺,為、國 者弘仁第十三之聖曆 撰"甲勝之地,新祐,灌頂之道場,令> ン苦與 以可以鎮 建二立灌頂道場 > 樂佛乘是在至心鑽仰何 國家云 嵯峨天皇 々因、兹點、大佛 御字 - 夏中及 祈 勅= 三國 三長 事 家 弘

> 加被 崇,祖 之構一不以得二 機-威時 **命√發≒顧」仍跪;高野山之**菩洞 新企:一院之與行,矣與 而 在春駒徒嘶,,荒原之風,禪床更空秋鹿獨鳴,,故苑之露 若開演之場荆棘成、林寶玉安置之處莓苦埋、地密恒 息災增益法」建立之後星霜多移破壞之間蹤跡空絕般 堂, 合产安;; 兩 大殿之前 沙門聖守且續,先王之御願,奉、祈,金輪之平安,且 籠,大神宮之襲祠,而數廻深仰,尊神之冥助 師之遺跡一為、興一鐵塔之教法一再欲、祐一基趾 至靈託 當: 部九幅之曼陀羅,定,置廿 日新依义之亦 東塔西塔之中 勅施一不、费、寺物」只假、三寶之威力 擺三荒蕪之跡 忽建 而 多年泣.請大師之 五 間 一口僧 1分分始;1土木 四 面 之灌 一辆 m 何 修 頂

真言院敷地事

裁 門之與隆一忽尋 經>年蹤跡空絕爰中道上人且崇,祖師之遺跡 教上云々此條無 右眞言院者 許 言有と便 建長六年三月廿 者數仍勒一仔細 嵯峨天皇御願弘法大師之靈跡 、恐之願念隨書尤深已為,,寺中之莊嚴 :礎石 建 H 二佛閣一宜上勤二有緣 永所、與之狀如、件 與中 也而 -且 存一寺 隆密 顚 倒

法 務 師 權 在判 僧 TE. 在

法 法 法 法 師 部 師 師 在判 在判 在判

寺 大法 主 師 法 在判 師 判

上座七 座法橋上 · 橋上人 位 人位在列

在判

抑 果,,多年之宿願,致,,再與,畢大聖之方便順逆共蒙,,利 也彼智舜上人者依= 明山一舉依、之為、斷 ン取:給件垣形 畢依 院一被二入堂」之時依一便宜惡一仁治四年九月五 立: 眞言院南 東南 院院僧智舜尊良馬竊起二再與之願 垣 法橋上人位 形一之處別當法務內大臣法務定親 三向後之煩 一旦之怨望, 令, 隱遁, 愚質中道者 二此妄執一智舜上人即令、龍二居光 一所、申二請別當等去狀 為一類 日 自二新 三築地 忽被

> 經朝臣 之時 經 二十餘日一不慮奉加偏起」自…神 長 奉》圖 九日朝 年六 百五十貫令 一大 被 月 師 + 書」之於:此材 御 九 影一个と 日 |施與|自||大神宮||令||下向||之後纔 自 行 懸レ 向 淀 頸畢色紙形之銘 木用途 者前下總守行 津一買…取料 慮 歟 材 行遍 里 F 僧 向

跡 H 廻廊檜垣始之 』墨一寺介,歸伏 - 萬人擧感嘆而已 同六年 七月廿二

六月廿七日柱虹梁以下大物百

廿餘

上

真

言院

同 一州餘 年八月十六日 人當寺新 事始 本 兩 座 机

大工三人宗重 助 延已上本座行 成 新座

字五間 正嘉元年七月乙卯三 年十月十五 庫院 一字五間對屋 H 一灌頂 日 真言院 堂上 一字大工助 棟 僧房上 大工 一宗重 延禄物以 棟 五 間 F 四 注 面 別紙 屋

助 延

馬

正一正置鞍

捻重

領

縫

在縫

物

禄物

馬

正

一正置

鞍

錦

被物

重

捻重

領

行成 崩

I 九 人人各 审 馬 疋

生衣

領

九 人各綾 被物 重

益

一者歟

六人各組 面紫等染物等

連 奉行三綱實施法橋 七人糾布 各一 段

役人大童子瑠璃王丸 陰陽師散位資朝馬一正引之

為一見物一雨寺大衆濟々群集

當院家一舉其式具載二供養篇 長者實瑜僧正之時開田准三后沙汰經二 利殿 奉、安、東寺御舍利 弘長二年 日 問四面堂閣介之建一真言院 一件御舍利去年三月十九日一 上奏」奉レスコ 號二舍

上棟大工助延馬一 段細布一段 疋生衣 領淺黃直垂吳綿十兩地

淚 門弁築地下,可、謂,奇特, 冥威之至行遍僧正殊拭, 感 後都不、知,其跡,而自然懸,今所、建,彼門,之處,雨滞 弘長二年正月十六日眞言院東面 四足門建〉之顛倒之 一築垣 土居 等忽堀,出之,舉不,違,尺寸,在,今

同七 月廿 四 日率 未 Ŀ 棟

東

大 寺

續

要

錄

諸 院

篇

吉日 里

文永五年十月 懸類號三真言院 近衞 殿 但打納

之一建二三間四面檜葺僧房 畢

H

真言院本僧

房依と為言

板屋 驱

壞 去

助延馬一疋丸柄太刀 一腰

付大工,又給,被物 平

但依:所勞一日雖太不,一參仕

-以三年來之功.召三

引反十人衣一领 錢八百 雄大工二人被物一重丸柄 錢八百文 太刀一 腰桑口

四

丈

大臣書之墨 影,奉,崇,此僧房,仍准,社壇,號,神護殿,在)額前內 自,男山御社殿,奉、移三三所御性躰,幷圖,等身大卉御 文永六年五月十一日僧房內室禮始作、之巧匠七人

宇 文永六年八月 日真言院庫院造,,替之,五間三面屋

堂 同 九年 一在、額號,具言雲堂一右京大夫經朝書、之畢 真言院七間僧房造>之以二北端二間 為一僧

文永十一年十二月 鐘樓造>之同懸:鐘一口里

太政宫牒東大幸

長裔, 梵行淨侶勤, 修息災增益法,事應,任,弘仁官符,以,填言院,為,鎮護國家道場,令,

額 建工五 家二云 是在至 之露 擅 \被:"崇重. 緇素豈以不.. 歸敬. 哉就\中摩尼之實玉 頂道場,夏中及三長齋月修;息吳增益法 之道場一合、前一國家之安寧,則官符偁拔、苦與、經 右 任一叡慮一而勤,天長地 · 戲天皇之御字勍:弘法大師 撰: 甲勝之 月 遺身之舍利同 **心般若開** 何 三護持之力 | 鯢海波閑萬民併仰 | 修念之德 | 四曼茶之 太 、政官令 在春 一然而 日奏狀 間 | 友因、兹點..大佛大殿之前,當..東塔西塔之中,忽 僧守山刺命 心鏡仰何事不以成宜於…東大寺一為以 於斯 四面之灌 駒 講 高祖 徒嘶 之場荆棘成、林舍利 日下二治部省一符 地一 傾東大寺眞言 納 B 一荒原之風 而建立之後星霜多移破壞之間 々之影向 雨部界之月新耀二 |而修||息災增益之秘法 頂堂」介ン安山 久之精耐.爾時風城塵 猶無一關念.舊跡連連 院者去弘仁第十之聖 何得:沙門聖 禪床更容秋庭獨鳴= 南部九鋪之曼陁羅 安置之處莓苔埋 于當院 地一新祐三灌 一御願千萬代 以可、鎮。」國 守 國建二立灌 君臣尤可 收 去 蹤跡空 之捡 百 车 放菀 地密 佛 唇 王偏 土埋 定 嵯 乘 红 頂

之在世 之與行 高祖 密之秘法,若不、全,身器,等可、受,法乳 >待||勅施|不>費||寺物||只假||三寳之威力||速途||一院 之平安,且崇,祖師之遺跡,欲,與,,鐵塔之發法 頻 法 之官符一安一置清淨持律之僧侶 法一人莫、忘…本教 漸致,其勤,蓋成,彼願,抑至,當院止往之緇徒,宜上守! 衣一鉢之資緣依、合"關 曆慕寿三月之天始擺。荒蕪之地一分、跂。 土木之構一不 **尊神之冥助**一而機感時至靈託日新依√之去建長第七之 年泣:請大師 為一點上點一類合一發一誓願 世一非人无一奇特一发聖守且續 正治之秋天紫雲屢聳建保之春日 上」 聖慶得業瞻 行梵行之仁尤可、合、居、一个砌、望、清天裁 示三處異 遺誠之玄旨 · 剩安,,數口之淨侶, 合> 修,, 兩部之大法, 但三 奉、祈…聖朝安穩之御願一 一佛閣僧院皆複二弘仁往蹤一本尊道具悉同 重 之加被一籠二大神宮之裘祠一 源 一體之處瑞光 和 一破戒無戒之彙更不、可、住一當院 寂護 尙 參詣之尅 乏一廿一 持五篇之禁戒 仍 正 | 先王之御願 | 奉 | 新 | 金輪 現二于灌 跪 心鈴音 口之定額雖以不以滿足 之山 一个ン動に息 高高 金篋忽彰雕と 親韻 被 野 頂堂之蹤 宣 山之莓 二于瑜 而數廻深仰二 可以修11行三 災 世雖」屬二末 F 早任:弘仁 一者彌介西 增益之秘 洞 一然則再 為: 末 伽 加以 而 擅 多

權大納 い宣行い之者寺宜 河一 三長齋月之妙 清之聖代,久欲、湛,青龍三密之法水 言藤原 行 朝 承知牒 一遙前中 E 信 嗣宣 到准、狀故 千秋萬歲 奉 シ勅依 之實祚」幸奉と 牒 ッ請者 者正二 省宜承知 . 値三黄 一位行

安四 车 M 月 六 日

四位下行左 修 理左宮城判官正五位上行左大史祭備前禮介小機宿顧 少辨平朝 太利 牒

左大史返事

細 依 申承可以為二本意 無二指事一未入申 - 案內 候 候之處悅承畢於一向後 一者細

抑與言院與隆事 事期二後信一 一候恐 隨喜申 々謹言 一候官牒 通內々合二召聽一候每

79 月十 亢 日 左大史秀民

目 政 昨 H 被行候 相 诗待 政 之間愚報遲 々以外候

西南

右 件院者如 神 護年 观意寺本 1/1 圖 願 = 女親王藤原貞子 院 所 一草創 也 為二 鎮護國 秀見要錄 家

> 立之 取 聖守令、與、靈場、爲、建、僧院一對, 于六人之領 顛 倒之後送 字建,立之,文永元年九月三日五問四 所之敷地 二年序 即弘長三年八 -之間佛場 月 削、跡人屋並、摸面 $\exists i$ 日壬子 面僧房造: 四 主,買; 面堂 沙門

同年五 間 四 面 庫 院 同 些国 作

此砌 砌一弘法大師來住二子此場一 之前當寺眼目揭焉之院家也就一書無三藏 之屏所,强非,,寺門之莊嚴, 西南院南大門之脇 削 定親僧 灵 同 时 家之道場也早以二當院家之敷地 了被」再一興彼院家一之處聖守申云新院者為... 年十 可以被处建 正入滅之後定濟僧正被,傳二 月 比 立二經藏一為 |院家||云《仍感嘆隨喜逐相||傳敷 其上寺門寂初之僧院鎮 一火難一只如二土藏 一被立二替 領 新院舊 止流 面 大佛 角 地 寺 之尅 于 被 於 護 此 殿 中

小施三院 聖

同六 年 造畢

文永四年六月

H 西

南

院

事

始

侍 小房 寢殿 所 宇三 字五 間 間 四 四 町李 面先師僧正被,造,令熊野南 面 公卿座 所 中 門廊 Ŀ 廊

對 屋 并 部 屋 字 御 厨 子

東

人

寺

粮

要

鉄

諸

院

館

同年三月二日移徒車宿所隨身所等未、被、造、之

押二聽 院廳 有二童 自 ν群兒童付」轆轤 之間兩寺五 同 命多十 舞 院家,遂,拜堂,畢翌日 一舉院 一途以一當院家一被 亨 新院本堂舍被人曳 主僧 一
テ
ン
時 申 依以為二寺務一同十 子日 師成業被人 移 少于西南 有:1延年 法皇御 院 付二大繩 祈 成業 畢緇素: 願 月 所 田樂 九日 或 成

御祈願所,奉、祈。天長地久御願。事,平年任,權僧正定濟寄附,以,東大寺內西南院,為,

大寺內 可 右 1 三論等諸宗聖教 論烈祖影像廿 安二置堂舍僧房佛像經典等一問 去二 ン致ニ鎮護國家御 = 離 四 ·區之地 一丈六釋迦如 西南 m 月 三舊貫一當院家者 檜 皮葺僧院 一發三大誓願一 銷壁 一被、定一置 日 [彼定濟解狀係請下殊蒙] 院廳 來像 五 圖レ之三 前 稿 一躰脇士普賢文殊像各一躰二 宇 四 曲 面檜皮茸寢殿 一分拓 天平 五 院御願所-永 間 被上下二 間 木瓦喜經藏 神護 四 二網構之基 一面僧房 四面檜 廬 年 御下文狀 中隣二大伽藍一矣 為不 字在 異朝本朝之 宇土間屋 宇納 畫 裁 · 杇道 山具屋 建立 "真言 以三東 場 宇

侶往還. 此堂 聖跡 詞政 寺飯 **空以送□居諸一為〉答□謝其曩意□重興□** 進之懇願一雖、宛一置供佛施僧之資貯 典,以三七日 七十 河 >奉>報"・此皇徳一不」如"只假"佛威一因>弦令擺"荒蕪之 涯 顚 高 之勤當時之功 之勤行,奉、祈,聖朝萬歲之延祚,卽撰,廿 可 分-數 倒逕跡跡 僧 学之僧院混二春華 多來 初 求二子當寺 含之搆講論之勤者先師定親僧正平生 日之玄談 |無|| 修治與復之人| 爰定濟智行共欲而寫|| 遠之客見之聞冀」不"傷嗟! 然而唯有",慙愧 無又屈二十八人之學徒-朝暮講 幷跂 偏以二 ン澄官禄惟 至 ..思願念之無。私足、為..鎮護之道場..且例不 理兮法音久絕人屋 土木之新功,萬德之世尊容映,秋月,兮耀 法力-非聞 只偏 之禪侶 - 講...讀三論宗之章疏. 令 > 鬪 彼砌 一尊勝院者光智 家鎮 重而 奉と - 顯宗密宗之深法 《護之道》 派 晝夜勤:修 | 榮運只浴||聖仁| 飽擅||名望| 欲 兮添 皇澤之雨遍相濕 :朝家之安全: 為、添 場 レ餝加以始修 屋並 層都寺務之時勵 也 而 法華三昧之行法 分俗 星 公不と 三讀 專 霜 行 弘 法花 語 屢 此 思:此事:顾: 推 三傳 發二勇猛精 頻囂止住 之白足,致: -長日數 善業,往 今 膜意 諸大乘之 寫瓶之水 遷 此 露地 三王之兩 哀歎之 佛 場

い動衆海因い之靜謐異賊為、之攘除然則昆誾之涯 寺」者佛閣之行法契三龍花一分無一退轉一 空籠之期守文 摸、今望請恩裁任、申請、下、廳御下文、被、定、置 院任二僧正定濟寄附 之崇敬一梁棟永不、傾我君者依一佛法之加護一玉躰 之絓躰超11鳥紀1分誇11理世安樂之俗1 佛法者依11 主之上計也 所三草創 之月影遙照三射山之麓一萬歲之嵐聲常聞矣者早件 - 也 一依、請下、詔此者當代仁君之德化也以、 為傳言未 |氷為||御願所||可と 來際 中= 寄御 願寺役 泰レ 新二天長地 者 天曆 千秋 彌無 我君 御 西南 古 願 明

權 修 造 參議 Œ 左 正 右 亦 理宮城使左 東大寺長 丹波權 /辨無 中辨無皇后宮大進藤原朝臣 位 位藤原朝臣在判 藤 原朝 春宮大進 官左 守源 一中辨藤原朝臣在判 朝 大辨氣長 臣在判 藤 原朝 門權守 臣

上在判

藤原

在

久御願 之狀如、件 文永七年四 月 目

右 權 別當兵部卿 判官代右衛門佐 主典代大藏大輔氣 作中納言 衞 門權 佐 衆大宰權帥藤 一無赤 藤原朝臣 宮權 「兼春 日 大 在判 宫 向守皇后宮大屬安部在判 進藤 源 權大進藤原朝臣在判 朝 源朝 臣 在判 臣在判

東 大 寺 續 要 錄 諸 院 篇

右 權 Di 權中納

少辨 中 鴨

藤

原

朝

臣在判

納

原朝

臣在判 .權 臣在判

河

使 言

左

衞

門

佐朝

臣

上在判

言

藤原朝

一百九十三

篇

東

具

Ŧi.

師

成業等

J

m

近

代被

東大寺續 要錄 拜 堂

新 熊 野 法 務 定親

當 H 天晴 治二 年十月廿六 政所 房中御 門房 日

爲 臨 居南 一威從等! 出 庭 之期三綱等退 仕 同 1 下一庭前 小 綱 所守 座 房官 鎰 所 取 等 徘 下!:向 候二子 徊 TH: 育 門 門 庭 內 前 以 綱

御 出 下御沓役能玄

行 刻 威 次第奉行三 儀 僧 下::向于車宿 綱 寺 主 定 前 庭 各 臨 期 仰 省

先仕 次所 次引 加 守 J 馬 二人列表持有 一人二行 次綱 次 次 仕 仕 掌六 T J 四 人着捧 人 人 退二 行紅行若御 穆幣

次 綱 人中,依,為,宋座 は不算度 立二御給 前變

所 司

前 人二行 一人二行 綱 六

前 代 儀 $\exists i$ 師 師 成業等 勤 削 駈 威 役 儀 師 F 古 一人二行 卽 二仁安顯 惠治

所

見

辨

曉

例

一般

文

一帖二云

12

大文

之條

如

何

上,上,其 儀 拜 堂 一之時 召

次政 所

御 共 次 第

次 次扈 次 先鎰 威 Ŀ 從 儀 菫 取 里六人得王行鎰取 僧 定濟上童一人藥王。定通內府息 得王 有王 乙鶴 一行 龜若 土田石 整持王 一名王 乙鶴

東

僧 綱 已講 成業等 -H-人各 椎

鈍

衣

五

帖

草 五 座 師 五. 居 各 箱 役 法 服 人 各 平 袈裟

次 F 童 子ニ 人二行 次 大童子六人二行次法 師 原

御 參 大 佛 殿

自 前 仕 J 駅 小 威 御門 儀僧等 綱綱掌 房 悉昇 前 至二于 駈 三壇 等徘:徊 西 Ŀ 廊 畢 壇下 自 所 南 司 r Ŀ 門 重 御 拃 **參**堂 役

御 党之刻置言物 具

留

一南中門一者成就院僧正行一後

例

縣

御 座 正 面 內 重 二小文高 麗 枚

導師 誦 御著之後取...行 經物 權 少僧都乘信 裹作布十五段置,佛前, 法眼紫印

御 誦 |經事畢導師復||本座||之時給||祿綾

被物 裹物 重 得王取、之 龜若取」之

次八幡宮 >勘>之無>例之珍事有> 興之次第也仍萬人驚> 當寺拜堂雖、及一數十代,兒童勤, 此役, 事先規未 會動、意也可以謂,後代之美談,也

當寺拜堂今度始也 御殿御簀十一 松童等御實同 間 被、懸,改之,并若 被>懸,替之,當社御遷宮之後 宮武內 伽 和

御前等次第如前 出」自一前中門 前一零八幡宮一即任自東麻被上出了

御幣七捧高頁兩社造,加之,仍令,增,二捧,御座正面舞殿高麗二枚敷,之在,差莚等

令シ申ン之 寺主定嚴持參再拜二段之後給>之與;, 神主延久,

> 次御退 祝師祿 神馬 突白布大童子取之 出 **正大童子二人引、之** 行列如前 綾被物一 重能支上座取之

次食堂故大和尚堂也

御佛觀音聲禮盤立:儲之!

堂內一讀」之退出之時賜二祿綾被物一重一您持王取之 命、立...正面外.之間上座法橋範慶請..取官符.入..

次御著座

次三綱著座南床下司所司著座北床 正面內足高功床高麗二枚數之,東向

御誦經導師著一北中床,但無參儲一高麗

導師定慶擬講法眼青聞、 御誦經物一豪在調誦文,大鐘槌,之

御誦經事畢導師複二本座 一之時給二祿綾被物 重

有王 取っ之

裹物 其後御退出 次床下僧等引袋近年後日引之 乙鶴取 シン

次電神殿

東

大

室 為 終所養,,,衛聲,馬道捲,,東間簾,張,,三間著之時樂所發,,衛聲,馬道捲,,東間簾,張,,三間

次御著座御物具如前

|獨奎远底二行 東西行 高麗一帖 紫三帖 | 之三面在,, 差莚, 御後絹屛風一帖立, 之 | 一枚敷御座馬道西妻戶間無,, 足切床, 小文高麗二枚敷

勾當座三網座後一行東四行 京四行 京四行

綱所座三網座東制東儲之

便 被、途,,拜堂,之日如,,今度,被、儲,,座 更非,新議,即宮僧正房御任者承元二年為,法務 綱所行列畢至:座席 レ得…其意, 為,法務之賞, 綱 m 子細,不、被,著座 威 一若不、辨一先規 一之所進以著座但以一中為 從等申云被、設 當時沙汰之次第頗介 一何 綱 可レ 所 座於 所之日既 為一下座 上凡此事 綱 於 席 哉 次 二行 - 之間申: 綱所訴訟 座 113 存!穩 加 4 猶

宮僧正任御拜之間三綱不,,著座, 祝祿 綾被物一重 房官取,之

宮僧正任御拜之間三綱不,,著座,各座下畏蹲此

儀彼時始例也

共高融二帖重敷、之 世高殿二帖重敷、之而於… 即於,八幡宮等御拜座,高麗二帖重敷、之其上敷,, 半帖, 然者可、供,, 半帖, 一枚, 丁大文其後必不、守,, 彼例, 數何今度兩所一枚, 丁大文其後必不、守,, 彼例, 數何今度兩所一枚, 丁大文其後必不、守,, 彼例, 數何今度兩所一枚, 丁大文其後必不、守, 彼例, 數何今度兩所

次舞四 襲裝束 先例多用。變繪一今陵意·

左 萬歲樂 賀殿

右 延喜樂 地久

之 具以= 斯問 下司 F 司所 竈 前 殿 司 御 榮久 為二 捧 在: 御 膝突 使 合 布 ·供畢光成 幷禄 相

次上司廳自,竈神殿,至,廳檐,敷,莚道了

入御之時役人置,物具,事如,前中北床之際,著,御東床,來之私數之三面著中北床之際,著,御東床,來之之數之三面著出,電神殿馬道,合,向,廳給入,自,廳中間,通

殿邊,畢 一 一 八 參 " 御 共 , 自 餘 留

竈神

レ之於言差莚上

一御拜其後定嚴給」之與一神主延久

段給,延久,其後祝合命、中、之

次房官取軾布

次房官取二御幣三捧二

授: 寺主定嚴

k

12

| 参而

雏

一綱着 座 北床東上南向

中

南床

於三此 可以敷,高麗,云 二行床 |雖||本着人||可\敷\疊即圓成寺日記 一々但近 代用二紫綠

廳南庭引い縵在 二幕柱

外徘徊 扈從人併威儀僧等徘,,個于廳西檐邊, 先例上下縵 云 k

2爲,僧綱,又是例也但代,,都維那, 慶快依 床東間, 爱下司目代飨俊下向與, 上司目代範慶 其後合、開、藏奉、出。印鎰櫃大小五合,在、覆出納八 可奉渡即 次上司目代上 人界,出南庭,居、案廳中上下首頭請,取之,昇,寄中 鎰之由出納 |座法橋範慶下床於||中床巽角間 相共請,取之,居,置 在例 開。印藏一開由二聲, 御前中床上 仰

筆三綱沙汰 次小綱二人內一人視從、之類數居、之筆二萬 人紙置之之 雜箱蓋入之持參共置二辛櫃面 砚 土型力

執

下司

省

渡御

于

一次復二本座

次寺主定嚴渡居 入,,蘿茵蓋,具、筆自,,床上, = 中 床 一開 一唐櫃 廻 成 唐 店櫃南 L膝行 書 算佐國御

> 申二御 申 第緯畢下座之時給、祿 細御 封 判 判 副 返了 御 櫃」於二鎰箱」者吉書三綱付> 判 執鎰三綱即取〉之成,,正印,之後 一之後三綱次第加署以二小 綱 取

次綾被物一 重土用石取、之

次備二酒肴 上司目代役但近

所 抑廳屋吉書事以二權上座法 |聊依二訴訟| 不、待,出仕,之間當 橋隆嚴一 日 兼 H 始被心仰心付 云 仰付

奉行三綱定嚴」也

置、之乃米一石下文也 次廳屋式事訖政所令立 レ給之 時草座 役人置錢下文 御 門 入御

畢御威儀人々退散了 還御次第任,,本路,自, 大佛 殿直禁中

次還二人政所房

著座之後上下 御座母屋小文高麗二枚敷、之一帖在,養爽, 首頭出納等持: 參印鎰 櫃 大小五 政 所御

時政所御答云言時者闡動座 頭 光成 參 上南庭 申云印 鎰 命

次 上下目代昇。上之一置。御所下司無後快

二百九十七

東

依と 可以尋也 \申之間以;, 上司目代々官, 為;下薦,此事先例尤 代一對:慶快之目:是上薦也尤可: 吳上; 座申者代官之仁已以下萬也 上司 為,僧綱,以,子息慶快 目 代异 Ė 墾 事 是 例 也 - 爲: 代官:之間 兼 上司 俊跳 目 爲二 代 耳 法 一之由介 日無後上 下司 範 目

各給祿

出 首 先上司 納 頭 目 拜 代二人能慶代慶各綾被物 禮在一莲 人 人 下上光延 成久 目代 道二二 々官給」之次下司給」之 各自布 各合衣 一行三綱東五帥西以,中 一反 領 一重役人 為上

次職 勾當二人後遊立之 先三綱六人 廿二人二行 次小綱七八一行 五. 師 Ŧi. 人一行中高

子細一被,,召具,之間所僧廿二人也是依、難、捨,,住 寺職掌一也次先代一物以下隨 今度久行雖 先例拜 職掌 廿人也而今度久行久定父子共在 依以為,,座席之上萬 右 方二物 對"左 列立上下聊介 一位階 方一 一雖一分一列立一 物 論 近真

> 唯 Ŧī. 師 綱 以 · 中 為上 今√拜畢仍無□遠亂

拜 减

三綱六人 五 師 五人

各綾 被物 重度

中依 有 一僧綱 一先給」之次五師彼此各座相交給

勾當 二人 同綾被物一重給」之

小綱 七人 各單 衣 領

職掌 十二人 各平 衣 領

職 小綱如、例召"立南庭、給、之役房官 掌 召 □寄東面 一給」之

著座

口 口

勾當 五師 五. 口 口 但依...座狹 三綱 不一著座 六口

- 是先例也

成業 已上法眼 十二 平 一袈裟

已上鈍色五 帖

次權 上座 **硯墨筆紙等儲,置之,小綱役」之** 兼 俊成 三 下 亩 目

>之但不>成,,正印,近代例數 執筆三綱複二 成二吉書」訖 入二羅宮蓋一持參膝行 本座 一之後三綱次第加署 直 申 以二 三御 判 取

請僧料 次著二經膳一御著床以前居,儲之 一十七前 御料 手長上座能支

御料十二本在打數副御料一 前衛重六本

僧綱已講 成業五 丽 \equiv |綱役人初獻||御盃 一寄時手長口折數

第二獻出仕一薦下各本座給」之第三獻 斯問舞四奏之 衣冠 萬三綱如,前

右 左 萬歲樂 延喜樂 賀殿

之間 但 人饗州前庄 被心略斯 今日當殿下依以為:春日 云々略」之且 日舞事在」之尤可」謂二先例 一役内下」之墨 | 奪膀院任依: 指合: 仁和寺舍利 印經宮 郷人等 也 歟 M 但樂 指 合

次被之曳山禄物

僧綱三口 E 1 八人綾被 成業十 已講 物谷 口 ---口 五師 重 勾當 主 一役人房官 口 口

> 次 被冷二御 15 事

僧綱 口 **減照 減照** 聖玄 已講 ---口定嚴

房官上役人

樂

人別祿 事

將監 一十人 將曹十

一人

生四

府

例祿 裝束預三 白 布 一人自布 廿 端

者先例 抑樂人 東南 法一引之型次近真依以為二一物一一 ン送ニ遺樂所 近真之座席 同可、預,一刻祿,之由依、令,訴申, 而 |又人行為||近具座席上臈||之上 院住 心心而 祿物事奉行三綱召:立庭上 有11如2此例1之由 今右 上臈一給」祿前後聊論二中之一問祿 - 仍無,, 召立之儀, 只以,, 樂頭 方外行召為二一物一依以為二一物左 一給之 依い合い物中 為一樂取勾當一之間 重列給」之是例 重一 守:座 重給」之此事 席一給之 光成 物悉被 之沙 也

綱七人白布各一反於:東面

上下 經師如い此等之諸職 已 職掌木工膏鍛冶 上給祿之後入御 在二饗膳 **延工下**部佐平 庄々幷庄官役於: 主典銅

細

佛 小

師

綱

者每

日給之

東 大寺 續 要 餘 拜 堂 篇

第一 Н 计七 H 天晴

依下介 第二日御入堂者先例也而今日殿下自 ▶叁:「春日社」給事之指合」之間被、止;今日 三黑木御所

畢

御料以下儀式如前日 臨:未刻:厨饗膳居>之笠間庄役

但政所無 二御著座

三綱六日

勾當 五師五口

三口

僧綱三口

成業十 口

各給祿

綾被物 重役房官

次被以引川御馬 一房官引ン之

僧綱三口祐明 定口 宗性

一綱六口定嚴 於,,南庭,引,,給之,了 後 と と 後 裏

式如」前

今日及,,夜隱,之間庭前立,明儲,之畢褐冠職掌役

第三日廿八日

天晴

先御入堂已刻

扈從僧威僧上童勤役房官等登二擅上,自餘候,,于 自二中御門房一人二大佛殿西軒廊 經 三 擅 御

堂

擅下

行列次第

公人小綱等前 行裝束如:初日

次政所推鈍衣五帖袈裟步行

上童四人命而 扈從一人 定濟 內大臣得紫

從僧四人

威儀僧如一初日

中童子二人 大童子二人 力者十二人

導師權律師宗性法眼紫甲袈裟 政所御著座之後之行御 誦經

御 誦 經事訖給心禄

綾被物 還佛式如い前 大佛殿式事畢出、自,南中門,御, 參八幡宮 一重有王取之寒物一 毗沙熊取之

其後

御入堂間居...儲厨饗膳

御料式如前々日

五 師 $\exists i$ 口

三綱六日

П

四

勾當二口

三獻事畢之後被5引二祿物 中﨟 口依,老耄,不

但五師三綱勾當等除」之 各綾被物一重役人房官

次被之引二御馬一役人房官僧綱 五師五口 各請:取從僧大童子 二口口 畢

給心祿撒心饗退出

ン舞墨其後雖、有二猿樂,不、覺人眠而今自,翠簾 梁始來臨之間諸事無與也自延年者方出二若音見一令 雪飄雲之袖 · 老若叩首振 · 咸興之聲 · 貴賤鳴 › 舌 大寺大衆集二庭前一而馴二刷花顏月貌之姿一互 中一出一于王君一个人舞之間 、鼻重動..童舞.或揚、聲聒催..猿樂.之處及..深更. 堂定顯得業之結構也而時刻推移會場物舞之間或抑 吐,稱美之詞,漸及,夜隱,之程有,延年之沙汰 今日儀式事訖有三童舞之馴數策 會不以惜 一少人皆刻二堂上 レ聲萬人催 一翻 = 廻 一是西 色 感

> 興,之所重出,有王君,而轉,野曲之詞,揚,迦 福口色衆繞、之振,,狂言倚語之才藝,在僧乘、與廻, 聲一了凡姿是嚴似一織錦之萩嫋」露心實妙也有一展絲 薄靡/風詞花鮮妍梅嶺之雪慙/色言葉婀娜柳 你門之煙 陵

雪秀句答辨之風情

綱裝東七具如常堂童子裝東六日如常下部當

綾被物百廿六重 色 四具如常

一重上下吉書

二重紀下流 重大佛殿誦經料 神殿

一重上下目代印鎰

六重三網六人祿 一重勾當二人祿 重八幡宮祝 五十九重四日日 五重五師五人祿 著座

卅三重樂所祿 重執行禄 重入堂誦僧料

重恕奉行三網錄

一重樂頭二人祿 重出世後見料

重執行別祿 四重木工大工料

合衣六領

二領上下首頭 領符主四 人碌

四

東

大寺

續 要

錄

拜

堂

衣

領

單 領 () () () () () () Ħ. 無官六人 小綱七人祿 人 六領兩座木工權大工 廿 四 領 檜皮鞋大工 職掌廿二人拜祿

白布 單衣不足代辦面 切給之還過差數

三端装束百 小綱七人

> -11-Ħ. 端經人例錄 別語 鐘木緒 出納八人

三醋滕突 一六文潭料

四 淵 華雨座

端瓦權大工

馬 五

六疋 Ŧì. 定五師五 僧 綱 正人 始 也

疋 同 1 Ħ 16

餘 入物等不」能二委記 1代々拜堂之記, 具見1于用意記祿 且 守 1. 先師

僧正

之例

東大寺拜堂用意記

禄 物

上司廳 古書語 愛物百 計 重

重大佛殿語經濟

導正師 師在祿料成

重

禄布施

五師五人拜祿

代印绘吳料

成業被物題

重樂人二人祿 重後日御入堂

執

行 旅

重執行禄 宮僧

領

六領 五 領

上下 順二 人祿 領

1.

領

員樂

数人

定

士 領 職掌廿 時本 八拜祿

領木工橋大工三人料

僚 13 115

11

四 領 槍大士 人工 料四期 料人座

四 領 領 兄部四人料 、五大工 料

Ti. + 端二六丈

 \equiv 細 云文 入拜料

五.

端

鐘木稻料

白

布

六端小綱六人祿 L 端 ·斯娄束領四人料 ·斯井八幡宮職料 ·

端 **瓦檔大工料**

印鎰櫃覆

料

赤絹 唐綾 端表料

火五尺 帶 **

十七疋

疋 m 經 物三 通反

御

修理

目

化

襄物三 同 線師 料

裝束等 御 幣 事 摔 上紙三帖但遷宮之後二捧 副捧

四 八 端 端 樂人祿 上下出納八人料

端華雨座橋大工料

染絹 四 一丈裏料

定料

御任給之

> 堂 具 小 别 但表 先例未,有,之然而初口衣 裳 五帖袈裟 狩袴 東 二六具

> > **地間給之**

具 下 別任符 部當色十 童子裝束六具退紅 上給之)下袴 長 長 四 具退紅 帶標 為 等勝院 烏伯 一个體 之下問務 西朝 給之 北岛

具 八別符衣 狩袴 帶

八木等事

袋 八 神 米三百 供 米 _ -薦 石 石 名上 寺斗 五司

置

殘

米

石執寺 五.

文

成

袋布

三百

端

HE 之右 布 F

武內 幡宮 御 間 斗鐘堂

若 伽

御薦

和 宫

鋪 松童 設廠 物 間 70幔等事

大佛

殿 良

禮

盤 間

大
半

帖

一枚大文方四

綾被 高 大 佛殿 麗 物 一計學師 帖帖

裹 御 物 誦 經 導 物 師 岩

裹

施料

帖御 座料 被物 著莚 突 四

御 高

七捧

疋

麗 幡

自 重 布 説師禄 龅

拉

ナ 李 續 要 餘 拜 堂 篇

京

三百三

食堂

高 麗 四 帖 帖 下三三御 所綱網座 司二二三一 導師

站

御誦 八 經 帖 物 導官 裹 師符文右

綾被 竈 殿 物二 重

裹

物

導師

料

高麗五 壁代但此一雨代 御 威御 座廻料 **一三** 帖綱 站 紫

八

帖

威三

僧四帖

帖

高

麗

11.

枚髮

殿

同

帖 勾

差莚

四

御 幔 屛 鈴 ナレ 風 帖 樂南 三屋北壁四 帖儀綱 捧 帖帖

膝突 被 物 重 祝 旅

門內

帖幕柱

DU 本

校

帖內經

帖屋

高

燈

温室二

Ŀ

燈 差莚

爐

膝

自

布

布設築預沙

汰

莚道 長莚 枚

被物

重

祝

禄 捧 端

司 突

御幣

風 帖

差莚 高

四四

校 帖

御座

廻料

麗三

三御

網座

帖帖

紫

八

帖

南北

床四帖

床二帖

司

廳

壁代近來不懸之軟

被

重吉書禄

幔屏 五. 帖 幕柱

紫十 ル

合高麗十

七帖

莚 7 + 九 帖

屏

風

物 _____

二寒 帖

被物 白 布 七 湍 重

裏物

御幣十三捧

神 馬 疋

政 所 房 鋪 設

同 同 黄 墨 都 緣 四 合 五 「帖屋障子 枚 H. 高 麗 公文所 枚 书 六枚 上 黄緣 紫六枚殿 紫 幔 四 Ŧī.

校

枚北殿

上

、堂袋事 燈 カ 井 六 大 大 中 門 廊 野

拜

六日 八 口 E 分 六堂 餘 大 時堂二所各一分一 八堂各一分職堂 八堂各一分職堂 八堂各一分職堂

者 對 治 對 近 華 堂 堂 堂

三昧

些

本院東南院

[Ju]

£. 四 口 司 五 + 四 所 各 分

政 四 云 前都 12 云 而今相,尋大膳延久幷三綱等 大佛殿 以不 八分餘堂六口等即上司 ::辨存:不、足、言事 也 一之處 五 7 彼 四 Ħ. 所

+ П 都 下司八所 合 十二口 并三所各一分

衆 分

賓頭

已講各一 盧 三分 口 五 網各三

師

、供僧 成 業各 内山寺非寺 分 法菲 大 + 햚 會 以 以 下 E 禪 衆 廣

堂司 戒師 維 口各 那 四 八各 分 三綱各三 \equiv 昧 僧六 八口各一 分 分

各三分 小綱 俗名二分

已上口別一斗入之但九升入之事在、之

從分

本寺有住房僧綱者寺 員請い之 住 房 僧 法 師 原徒出,其交名,隨

無住房僧綱者

僧 正 法 FII 七

僧 都 法 银六口

> 律 舳 法稿 Ti. 口

古 今 間 所 三設 定定 如

が斯

法華 已講從分四 已上從分 一會以上 海宗各 入1八升1事在1之 成業五 口 方廣以一 fiji 府 驗 下 四 各 人大三

口

一綱各三口

諸職

木工 兩座加 木津 木守

鍛冶

兩座

造工 兩 座 二口口了 木

繪 經 師 佛 師 兩 座 下僧從綱

佛

師

職掌

皮工

各

分

末

業各

分

主典 近 近來出之

銅細工 檜

神作

人 手

石造

寺 薄 Ш 師 巡撿

八女神樂男

里工不定

新 Ш 色

本

樂

陵守

紙

濂

新 本

樂師

口

堂

一童子 四

大慈· 諸堂童子 山四上 內兩

列末

曳 口

三百 五

寺 續 要 錄 拜 堂 篇

東

大

勸進所 木守七 檜 物

如少斯

否隨、時取捨依、樣尤任,道理,可、有,成敗,事也 此外或先例不定輩有」之或臨時所 望之類 濟 々用

諷誦 文詞云

東大寺 請諷 福事 政所

一寶衆僧御布施

右諷 誦 所、請如、件

號 月 H

年

某甲奉

置錢下 狀旨

東大寺政所下 乃米壹石者

右置 年號 錢料可二下行一之狀如

日

都

維那

法 師

座 宝 k 在判

三日 厨 語 出世後見成之

請定

年 月

H

政 所 房二 日 厨 初 日 1請僧事 三日厨衆申

> 第 日 第三 日

僧綱 已講書:1假 名-成業五師三 如が前 網等載:質名:三

三日 厨饗膳事廣々所課題文 網雖以為二僧網一書二實名一

御料 十二本 在 打 敷 副 御 料 前六本

請僧州前末懸盤

初 H 黑田 庄 第二日

笠間

庄

薦生庄

第三日 右 依 政所仰 北伊賀庄 支配 如一件

年 月 日

三旦 勤替之御料 日 通 卽 三箇 厨 二用之一此 御料 H 各調 十二 frij 可通 條甚 本三筒 一替之一 孫餝 用 哉何 畢其後皆任 也近 和 合 此儀 力調 代新儀欺請僧饗 自 二辨曉 此 例 任 具 引 止畢 三箇 毎 H

三日 諸庄設役 支配 厨饗膳等事 狐 事 完內

雜學壽莚之道長莚事諸職料饗膳事

簾支配 事

已上執行成」之

廳屋前 竈神殿南北橋 上司戶屋修 定可」設..波橋,事 橋 理料材事 高橋

大佛殿辰巳角橋

已上此等料材丹白土等修理目代可、成,, 廻文 都任,,行道路,橋等悉可 一渡替

成就院僧 々參堂次第 正大佛殿 八幡宮 食堂

勸修寺法務大條殿 醍醐前大僧正食堂 龍砌前大僧正食堂 電池 竈神殿 竈神殿 聽 廳 大佛殿

石

題

大佛殿

竈神殿

白川 侍從大僧 法印食堂 正食堂 廳 八幡宮 八幡宮 大佛殿 大佛殿

竈殿

廳

保壽院僧 Œ 同前

算勝院法印如·成就院

宮僧 T 同

> 新熊野 新熊 一野僧 法 務 IE 如」成就院 前

東南

院

法

如

記

品關僧正

尊勝院: 法印

勸修寺 僧 IE

寺僧正大佛殿 八幡 食堂

廳

御 誦 經 導師先例 事

醌 醍醐 侍從大僧正任 醐僧正任 權僧 正清覺任 大佛殿 入大 堂佛殿 大佛殿 理真己請 辨曉律師講 既照 食堂 食堂 入堂 是嚴 辛絲

保壽院僧正任

大佛殿隆祐振講 食堂完幸擬講 入堂直般法師

尊勝院法印任

大佛殿完幸擬講 食堂隆祐擬講 入堂

六條僧正任

大佛殿完幸擬講 宮僧正任

食堂高玄

入堂顯範擬講

大佛殿高支經講 勸 修 寺 僧 E 任 食堂顯範 成寶 入堂高範僧都

三百七

東 大 寺 續 要 餘 拜 堂 糯

大佛 食堂高支 入堂無之

Ŀ

座

法

眼

和

尙

位

在

判

東南院法印 任定範

大 佛殿秀惠擬講 食堂高支律師

大佛殿聖諾法眼 新 能野僧 正任定豪 食堂票信擬講

入堂貞禪律師

大佛殿乘信僧都 新熊野法務任定親 食堂定慶振講 入堂宗性律師

大佛殿權少僧都 尊勝院法印宗性 食堂聖禪疑講

入堂導師法橋宗覺

勸修寺前大僧正任

大 佛殿 配 一碗僧 正任定資 食堂

大 佛 殿 食堂

吉書筆 師 事

東京代 撿 八寺返抄 級納封戶 É 烟調 美作 庸雜物代米事 國

右任 三式數 檢納如 件以返抄 H 都 維 那法 師

別當權僧正法印

大

和

尚

付

在

判

在 41

> 權 都 權寺主大 寺主法橋上人位 維 -那法 座 法 法 師位 眼 師 和 任 尚 位 在 绑 在判 在 判 在 判

上司 成就 院寬 助 僧 IE -1 任 剖

上司

上司 權 寺主威儀 Ш 法印 「顯惠任 師 宣範 下司權上座

待從大僧 Œ 立旗器任

上司 上同 寺主隆玄 保壽院覺 完成任

尊勝院辨曉法印 任

上司寺主隆玄 宮僧 正道尊任

下

司寺主隆玄成之

光信

上司寺主

權 權 一寺主威 僧 IF. 任 儀 師 7 前

權 上座 成儀師 玄嚴 下司寺主還寬 於本座成之

F

司

司 權 上 座 隆 玄

東南院定範任

以成,下之,是故下司吉書目代多成,之是三先々非, 薦,尤所、望、之日更不、可、 目代勤,此役者卽依,,目代之舉狀,是四身已為,一一 經,其役,是二上司吉書者上司庫 第三稿相,語之,隆玄申云吾身既重代也是 今度兩所吉書筆 師 上座 隆玄執行一萬守 致,唯餘人,是五今以, 返抄也目代尤 權 二度 Ŀ 座 12 光 口 叉 信

條々道理一致一除、之所望

無口口其上光信者已生"始々重代之家,長吏數代又光信申為、代之身經,,其職,事子細只同、前更 司目 勿論之申抄也又依,,目代舉狀, 之事又以 于他一口次上司返抄目代可以成之事先例如以不以然 此 此 吉 長東被一仰合、之由聊計申許也企、不、可、為一舉 其 之儀一所詮為二一萬三綱 則 一代多執行策,,帶之一執行者寺家便宜事斗申 於於 所、成,,吉書, 之硯相傳 中三代者不以被以遂、拜,當職 書,事先例無、之就、中成就院 二食堂一讀 萬一而讀,官符之三綱,未以成,上司吉書 二官符 而預經」頭又於 一成二初任吉書,之輩 而在:我家 十五代拜堂之 已後別當十八 一
尤
可
く
異
い 三廳屋 成 成

> 吉書

光信 之由申兩方申狀中光信所、申多以有一先例 還仰無い 一被仰 人其外定 有 ini |深放||軟尤可と 被依依 仍 先 例

不、撰,其仁, 軟範慶已為, 上臈, 申、抄似、有、謂若 雖、爲,末座之身,已是重代之家清撿之所是非,其 **薦範慶當…其仁」之由令」。申** 、能、成、之叉第三藺光信成。 、成、之然間 寺主範慶之第二 顧目 」之而當目代無乘 意雖、爲,左道,之又僅右筆三役仍被、仰 手跡不」可、事範慶可、為,,其仁,也何敢者 司吉書事者先例事有,其沙汰,於,下司吉書,者除 仁,之由分、申也頗似、無,思慮,軟而別當仰畢 叉下司吉書事見: 古今例: 一哉就 一僧正 レ中於: 範慶家 定口 任 其身旣 不ど 未、成,上下吉書,當 多為二 而又都維那隆嚴 上司吉書 單今第 基二 執筆之職 代依 下司目代役 レ不レ堪 1.付之1事 卽

新熊野

新熊野法務定親任 上司 寺主隆嚴 F 司權寺主衆俊

上司 寺主定嚴 司 權 Ŀ 座 兼俊目代

東

尊勝院法師宗性任

勸修寺前大僧正任
上司上座法眼定嚴 下司上座法眼氣俊

上司

下司

醍醐寺前大僧正定濟任

上座法眼定嚴 下司寺主慶舞

司

大佛殿 八幡宮

廳屋 政所房

食堂

竈

神殿

已上六所以,,各三綱一人,為,,行事,任、例

可以致一沙汰一并非一篇次一隨一器量一可以被一仰付一也

所々掃除 所々修理行事

已上行事等可、為,,勾當二人,例也

| 文圻房三日府之寺丘匝□ 野智岡司本县|| 巴上專同可√有"廻文」也

定範法印任,高玄律師,為,五師,仍雖,為,正口政所房三日厨之時五師口帶僧綱同躰事

僧綱次五師勤同合、拜畢今度始例也

代々寺務為,法務,被、遂,,拜堂,時開,綱封藏,先例

事

一大僧正旗喜治承二年十二月十七日拜當

第三日十刻日入堂

同申刻綱封倉

政所依、雨不。令:著廳一給。

专家使執行靜寬

下司目代還寬 勾當二人永慶

慶取,上之,房官執,次之,經,御覽,之後一々被,首頭光行出納小綱等實物少々持,參西室,勾當善

返納 墨

御倉封任綱所併参仕三綱等付之權上座威儀師玄嚴合奉行事

一僧正覺成

被人付一法務一封事又有人例

建久八年十二月九日拜堂

期日被、開,綱封倉第三日十一日入堂

使綱所 威儀師慶寛 從儀師但不參別當無"出仕,近來依,無"廳屋,也其一不是一系書之

Ŀ 座法 橋 玄 隆

權寺主光信

都維 那永慶

假屋城中屋 北 綱 所 南三

在

開 主光信相具分之多一實物一少々被一御覽一之後悉返 被い出い之 1御倉一之時如ン形奉行幣首頭清光 光成申也 大赤皮面 一頭入二長櫃 |持||參之|權寺 寶物

道算

納畢

宮僧正

承元二年十 一月十四 日 拜 堂

同日未刻被、開 洞封倉 日十五日入堂畢

件鎰在:政所房 一印鎰櫃仍隆玄被〉出、之

使綱所二人 依、無…廳屋」政所不、能…御出 惣在廳 俊紹 從儀師 相

圓

首頭清光出納等之沙汰供,之清光參向 胃: 卷 看: TX 里 孝 三 和 包 物幣新紙 1 帖 開,御倉,之時 三綱出仕 範隆 慶玄 有二神供一御幣新紙一 光信

相 具權上座成隆玄參,,上政所房,又寶物多入,長 赤皮一枚

象牙

合持下部等

寶物少々

櫃 鎰六不」被」付二御封一自餘皆付」之 申二請御 於二一 封 棟 -付 經二 ||御倉||又參會三綱々所之封同 御 **完** 之後 k 被二 返納 件也 畢

卽

慮外之至極也有憚々々老雀任言口 于時文明十七年已七月廿一日筆,終之一右筆者道

東 大寺

寺領

東大寺

大和 注進 國 庄 k 近 年 田 數所當等事

櫟庄

六町五 所當地子 段

見 田 卅四 町 二段二百 四 + 步 建仁三年撿田帳定

除

戒 灶 田 師 昧 五段 田 田 町 町 法花 温 月堂 室 會 H 亩 佛 供 町 町二 H 一段 町

寺 顯 性 房 供 五. 田 一師給 町 田 勾當供 八 毁 田 林寬房得業給 用ſ

尊明房得業 堂 昧 田 田 八段所當 町 段 井料二段 公人給田 HI

佃 五. 司 亮 給 五. 町

> 表 田 段 百 四 + 步

定 田 流 + 四 一段三百步不用不熟田 MJ 九段百

損田 四 町三段二百 九十 步 町

九

段

#

步低大風

段損

囲 町二段一 三百 + 步

除庄神祭二段 定 使発 五段

田 一樂二段

田 五町三段 百 +

所 當米 給二石七斗五 升之内除傳食五

石

清澄庄

畠 八 H 应 段 百 册 步

田 廿六町三段二百 所當地子 # 步之內建仁三年檢

田

常荒 町二 段 河 成 段 小十 步

除

不作 廿三町八段內 五 段 八 + 步

町

段 藏 極 小 ҭ H 維 那 三段 町 但 福 馬 町 朋 小 綱給 段 二丁幡磨寺 小 九段公人 如來寺 緣主

別

三段職 耳 町二段下司

已上十五町二 段

定田 、町六段 內

四 四 可半 H 小 - 卅步內 卅 步

所佃 町 定使給四段

定得田三町一段年卅 步

樂薗庄 所當官 物九 石四斗七升五合內損得不定

自現作廿三町七段六十步

常荒 不作七町九段三百步 町四段百八十步

田 Ħ. 所當地子 于二 荒 三町 町四段百 段三百 五十 北 步內建仁三年檢田帳定

不作五町二 段三百卅步

現 作 田 四十三町三段三百步

除

町二 一段神田 六段寺田 三町預所給

> 町 HJ 定使給 公文給 用了 III 圖師 一條下司給 給 田J 案主給 則 三條下司

給

職仕二人給各五段 年預五師免

町 N

町 近江得業給 一町 圓修房已講給 一町程 勾當增慶給 一町五段 寺主供田

二各町

一段小總給 町 大進得業仁和寺

町七段但馬得業給

定田 損田七町八 一十七町 段三百 段三百卅步內 五 十步

得田九町二段三百四

所當官物廿石三斗六升六合八与二斗代相 一外五升代

長屋庄

田 八町三段

庄立用 一町四段 HJ 段 庄家神田

九 几町八段

駄 庄 五 段五人供免 殿 長 日 悔過 八 町各 供兇 町六段 町八段

飛

東

HJ 段三百 步內

段

小

段 屋數 段 年荒 二段小

Ш 成四 一段

見畠二町三段 損六段大

町 段三百 步

地子麥五斗四升段別五升定

除二 一町四段

見作

田四町七段六十步內

預家佃一 町五段 下司三段

池 田六段

定田 町三段小

田 田一町二段大 町半此內一段神祭料也

十市庄雜役庄內 泂 成幷下司給等九段 所當米二石八斗五升

定畠 地子 一麥一石 町一段 一斗段別一

斗定

笠間 庄 Ŀ

河成 世 年荒 町 町 段二百步 町九段百 段百步內建仁元年散狀定 步

見作用十九町百六十步

例損三 田 十五町二段百六十步 一町八段

除

山 四 HJ 口祭二段三百 田三段 五段 百四 神 田 + 步 一段 步 **秀龍然四段牛** 井 料

段

公文二段 撿技五段 職仕二段 下司 即 定使二 佃九段小 段

定得田十町七段二百八十步

所當官物十石六斗七升七合內可除駄質石別一斗定

同庄下鄉

田 年荒六段百廿步 十一 町卅 步 建仁二年散狀

河 成 七段百 田 十九町六段百四十步 步

神田 除 四 二段百八十步 四 ms 町八段六十步內 段百 八 + 寺田 步 三段百四十步

井料五

段

定得田十町七段卅 佃 撿按五段 山 八段 口祭二段三百 百四十 庄官一町 步 步 光 定使二段 **署瀧祭四段** 公文二段 华 職仕二段

除運 1: 駄賃九斗七升

所當官物米

十石七斗八合

薦生村

見作 五町七段六十步內建仁

損田

一町二段百六十步

除 得田 田 四 三町七段百廿步 MI 肆段 百六十步 庄官 松口

定得田 所當官物米七斗三升八合八勺 七段 百 四十步

幷定九斗三升四 除駄賃九升六 出 三斗 升六勺 合四 合八勺 勺

> 官 御 物御封 卦 現 并 定 八石二斗三升四合八勺 三斗

H

春 庄 # 五 MI

三箇寺 等立用之殘以 當庄者寺家四至內 所當段別現米 庄如い無い之 僧幷在家人等悉作取敢不,叶,進 一被三種一辨之所、用修理料也 斗比曾 春 H 五反繩 山邊也寺家鐘突温 五 方也 此 室

已 m 料

戒 本田 四 HI

件旧 戒師等供料免 每月二箇日布隆七月十 也 四日自恣勤行律

大佛 御佛聖白米克卅六町所《散在

長屋庄 東口 機庄三可勤三十箇日大宅庄四町勤 東庄十一町勤百十箇日化田庄四町勤卅箇 庄四町勤四十箇日西口三町勤 五段勤十五箇日安田庄 六町勤六十箇 四 三十五 + 箇 笛 日 日 H 日

過 华者難以濟也

日

別白

米

一斗三升所

三辨濟

- 也而近來損亡

之時

燈油 田六十六町之內

高

殿

庄 # 五町 西喜殿五 町 此內 河 成 町 段

東喜 用T 城 戶 庄 午三 町 段

彼 多庄 十二町二段

已上 所:勤仕:也而 料 東 子土江宛一寺家修 町別御 油一斗 近來願 正物 理 主致 料一 幷 ご勤 埴 副 土運 押 米 土 71 花 料 毛 米萬燈 修 瓦 理 木 等役 一役等 會

大佛前 不科 香田 11-四 MI

切不、勤、之

修 右 物 三百六十 是田 町許 米 理 五. 人 大夫道 者元 也所當 斗二 町 也 為一大佛御香菜料 直幷臨時雜 町 而 役町別比曾十反繩 别 近 凡 來旁被二押 絹 一疋辨濟來例 役等也又町 :妨見領 一宛二日 Ŧi. 丈瓦 別 別 也當時 付得 僅 元木半斤 百 町.凡 七 H 所 官

出卅石許也

華嚴 血會色衆 平 群郡 床饗発廿町 福田 庄 土田庄

Ш 城國

津 木 屋 所 畠 四 町修理目代沙汰

賀茂 院御沙汰 庄 1-町 段 二百 四十 步官省符別符引合定

H 四 「町二百四 四 北

> 荒 仕 段 加加

H

段

H

段

寺

田 三段

下司

四段

職

庄 二町二百 立 用 四 + 步 例 損八

定田 町

所當官物米六石

畠七町

除四 町、

常荒 馬 場 旁兔

殘三町三段

所當地

玉井庄· 十七町七段二百七十

田 九 町 四 段 + 步

神祭 庄 立 用四 料 段 町 步 八講 田 二段

下 職 仕 司

公文 例 損 (五段 町 Ħ. 段 井料

段

段 町

定得 田 四 HI 七 耍 + 步

所當官物 米十四石 一斗八合三一勺段別三斗正物

町三段二百六十步除川成三段三百步定

河 道 段 小 寺敷 地 段 常荒五段百七十 步

作 畠 七 町五 段 百 卅 步

畠 \mathcal{F}_{L} 町一段二百 七 ル

除 町 段 百 卅 步

神 畠 一段 F 司 _-HJ 公文二段 職仕二段

損 高六段百 卅 売

定得畠 二町九段 百 四 干 步

作 畠 所當地 一町四段六 7 麥 二石九斗三 步內 不 作 升九合一 段 与

地 子麥 石一斗五 升八 合四 4

冬 并 地 四 子 石九升十合六勺正 同 前 但牛地干

攝津國

水成 瀬 庄

H 十二町八 段 百 六十

口家川 成 四段 常荒 段

庄 田 例 立 二段 用 井料 町三 段百六十 一段 下司六段 步

徵使 田 九 H 例損 H 步 町 段百六十步

> 畠 一町餘

所當官物

米卅七石三斗

升二合

賃設別用四

石別一

斗駄

所當地 子段別 斗正 物

猪名庄

八段

除荒 見領 田 H 华 四 十五 方 R 相 町 論 四 町 00 段 四 +

百

步

田 四 7 町 四 段 白 四 步

例 立 用 八町 段

寺敷 地 町 鎮守 敷地 町 神 祭

料

段

預所 文五 発 喪 町 定使 職 事 Ħ. 段 町 池 下司 溝 井

料 町

町

例損十二町六段半

十三町五 設六 + 步

所當官物四十石 但 |隨||見納||百學生幷卅講衆支配之 鰯二斗立

長洲等濱

在家六百 八 + 七家但員數隨時不定

數 百 天 十

地 子 事 餘 石 1間米

件

所

出 年 貢 代寺家州 講捧 物 紙 千 帖 也 但近 | 來無

有

丹波國 後河 庄

一十九 町 Ŧì. 段百 九 + 步

最 荒 勝 譜 Ň 段三百 一用六 Ш 一町六段 步 加 四 所 田 R 井料 步 町 寺 曲

徵使 定 使五 段 段 下 例 司 損 阿十 HI 百 八段七十步 步 案主 段

預所 Ξ

町

段

定田 + 四町 四 段

所當 官物米 七十三石二 斗段別三斗 定

畠七 町二段百 一十步

庄 例立用 町 五. 段

殘 滿 樂寺燈 町七段百廿 油 料 步 H 下 司 五段

地 子三石七 斗三升四 合

當庄 事 「所當相」 宛"九月大佛殿般若會料,不及" 他

伊賀國 黑 田 庄

> 荒 田 H MJ -[]-四 Ħ. 段 町 七段百六十 百 七十 步 步內建仁三年散狀

成 一段百四 + 步

嘉應以 已上嘉 後 売 應 田 元 年檢 則 田 儿 段 帳定

无. 年 juj Juj 町 五 成 段百 段 干

町 六十 步內

神 町六段

大家子三段 案部 田社 三段 揾谷社·

九段

守 屋明 神 段 龍神 発 段

寺 田 町 段三百 步

瀧 屋 安部 H 寺 ___ 段 水 越

寺

段

蓮花 福 持 黑 H 福 寺 一段华 段 木 福 寺 寺 段 段

安部 大江 町 段七 田 寺六段 新 公文 作 給 井料 五 段 長 五追 樂寺 新作 捕 段 使給 料

講

步

下 司

給

五

段 百

專當

三段 段 徵 使二段募二人路

定田 町仁和寺各 1 司 寺 佃 町 九段 + Ť 供 町 一段 H 4 五 傳 林寬房得 剛 食料 十步內 顯淨房 越 H 業給 前 給 町 都 維 町 町 那 上 供 座 小 法 大進得業給 H 橋 町 代 供 公 田 HT 八六 町

五斗 所 代 町 石 段 八 五 斗 步

ή. 升七 段 升五合八勺五才正物定

所 石 II 斗 升 Œ 物定

麥島 已 上所 新作 當米 町 D 十三石二斗八 段 廿 步 內 加安部田新作定 升五合八勺

除 HI 五. 一段內

家 下 言 子 京第五段 神 H 段半 非 料田 黑 田 一寺五 段 無 動 寺 段半

定田 HI 九 段 # 步半地子

所當四 石 升六合三オ

所 12 井 料 所 當米十 Ŧi. 二一石除 石二斗八 七石二斗八升七合四勺八才 升七合四 勺八 才 庄 斗定

御 封 都 合 米 # 石

神 册 一一寺庄 除町 四 官 例 除 五. 7 + 石 用 HI 等料 餘 一斗八 升七合四勺八才

定得 畠 一十餘 HI

所當麥廿七 石 餘 段 別 斗

玉瀧 出 村 作 神 新 H 加 庄 寺 7 瀧 田 寺 百 等 或 真 加 小山定五十二町九段定十一石一斗徐町。出者為一百里生供用途,云々 增 或 新立用 在 H

三針段別

湯 保 村 村 洲 町 沂 間 來所 近 來 所 F 石寺升 五 石 四 斗 五 合別寺 三斗 升定 定御 村段

內 九段保元檢田

已

E

田

九

+

五.

修:理 內 右 村 以一百四十 tz 林木 勅 施 一之例 ス 右 和內 切課 町 也 但 也 但 此內見米廿石者辨,濟寺家 一彼村 近 一來當 々一仍募...和工食料 國 定目 也錄定 御 封三百六十石 一採進 所

住寺用也

鞆田 庄 天 餘 町

村 之內 箇 日 之境 也 但 所 供 料 當 米五 显 伯 於二寺家雜役 右 和 年 相 宛 者 大 全龍村 佛 殿 修

東 大 寺 續 要 錄 寺 領

美濃國

大 , 井庄

作 H 百 七十 N 一段百 四 步

損 得 H 十八 5 $\overline{\mathcal{H}}$ + 町六段百 一町六段 计步 计 步

除 前 匹 + 四 町 八段 寺田 二百四 例

Ē

二百四

撿 町 町 日 大般若 別 當 町 H 町 權 別 當 F ·司三町 講 HI 田 八段

定使 所 仍個六町 Ŧī. 捕使 段 案主二 町 目 代 有司 町 佃 + 一町二段 徵使二人一 7 町 町

各 Ē

段

定田 百十二町七段 百四十步

所當御

地

子絹百

六十一疋七尺正別七段定

此 外糸 綿桑代等在」之此大旨也

茜 部 庄

見作 to 町四 段 二百四十步

町 三百四 HJ 五. 恩宮五段 定使給 町

> 年 H 荒 Fi. 町六段六十 所 佃 二六町 步 五 段 田 十二町 下 司 給 町 二百八

定田 年貢所當絹百 Ŧi. + 町 段 三百 疋町別二疋定 五 十步 但此內二斗代二丁餘

在 之

册 EIT

桑代 綿 千 兩吳斤定

E E 物百學生各一疋十雨料也

越後國

號加地庄

豐田 庄 至 西限下佐 御々 方木 河 北南 限限 佐鹿 木岡 河

百町

見作 田 代 田州 百六十 五 町 29 町 段 八 本田 段

石家

Hi

野

千

町

徵段 餘

米

彼

此 共五 斗

升

當在 所當 五. 兩 國斤定 別 官 物 五斗加 賃

敦賀津石別

綿町

紀 伊 國 田數不、能

木 本庄

注注

二進之

目代給

越中國

入善庄

件庄為,受戒 一如少無、所、出

筑前國

觀世音寺

寺領田數不」能,注進 本寺年貫三百五十石 相分四封 四庄

末寺

笠置寺山城國

永隆寺大和國 件寺廻田所、出四十餘石也近水廿石計也為, 左寺年貢

新藥師寺同

崇敬寺同

财良寺

安樂寺伊勢國

件五篙寺雕

一往古末寺一各門跡相承本寺不能

進

止也

右寺領庄遺

建保二 年五月日

院廳下 備前國 在廳官人等

停止勃院事大小國役使人以勘東大寺領管三野郡 可,早使者相共堺,四至,打,膀示,立、券言上永

四至

內野田庄事

伊福鄉- 使主典代造東大寺 判官中原朝臣基康 東限,底田庄 南限,公領三野新鄉幷新提保 西限。公領三野新鄉幷大安寺庄 北限: 公領

使一記,定四至,者古今定例也发野田庄者依, 勒定 寺之領被、下三庄號宣旨,之後任,申請心,差,遣御 右得。大和尚重源去月十五日解狀一備謹撿。案內一諸 子細,之時無,後司訴,之樣相斗可,立替,之旨被,仰 間返上被,散在一田可、合,立替便宜保、之由言,上 納一敢非一公役之丁一見作田僅百十餘町也雖、被一立 下一問在廳官人等候處各申云野田保者自之古夢一別 所"開發, 燈油田二百廿丁散"在諸鄉一不"一圓,地 保」以"其保丁」為"當寺燈油料田庄」之由去々年所 其旨,即返上散在之開發田二百六十丁立,替野田 替,無,當時國田損,何及,後司訴,哉之由依、申任, K

寺 續 要 欽 带 領 章

東 大

寺領」可以分、備二大佛殿燈油 者將, 鎮護國家之伽藍法燈無、斷聖朝定穩之御 燈長日雨界供養法最勝王促講讀八幡宮等燈油」然 雜事。以"其年貢」欲、宛、用大佛殿常住不斷供 役在廳已下國衙催促濫行入路次已下向官使等祗候 當寺不輸庄一切停止國使入勘幷勍事院事大小國 准,傍例,被,遣,御使,記,定四至,立,券言上永為, 領|矣專為|傍例|被|裁斷|謂| 非據| 平望請| 廳裁 上永停下 念不以怠矣者早使者相共堺,四至,打,傍示,立、祭言 >進||立券||爾停||止持來之濫妨||正欲>定||置不輸寺 有"向後之煩」歟是故被心遣"御使一記"定四至一合 全無二當時之牢籠一然而不、被、記二定四至勝示一者 >被\下..宣旨,也仍宛..用其年實油於.. 件用途.. 之間 「宜承知敢不」可 " 稽失」故 止動事院事幷大小國役國使入勘。為,不朽 F 一狀所、仰如、彼右于一官 願祈 花廻

建久九年十二月日主典代左衞門尉中原在判

權 權大納言源朝臣在判 別當左大臣藤 大 納言兼民部卿藤原朝臣 原 判官代勘解由次官藤原 在判 治部權大輔平朝臣在則 左衛門權佐 藤原 朝臣

諸寺庄領依"便宜

一立: 替他所: 者古今不易之恒規也

朝 臣

權中納 言 藤 原 朝

臣

中宮權大進藤 源朝

權中納 參議備中權守源朝臣在判 藤原朝臣

勘解由次官藤原朝臣在判

右中辨衆中宮大進藤原

参議 左近 衛中將藤原朝臣在判 臣在判 左少辨彙皇后宮

參議 左近 衛中將藤原 朝臣 在 判 進 右少辨氣丹後守 平

朝

臣在判

大

臣在判

左京福 右 右馬 內藏 大辨藤 頭 頭藤原朝 大夫藤 **須播磨** 原朝 源朝臣 守高 臣 臣 在判 在判 階朝臣 在判

左辨官下備 前 國

右得 應、返上東大寺領當國散在燈 院事大小國 圓野田保一處為,不輸地 一被寺大和尚重源 役 一大佛 去 殿 御油 月七日解狀 | 偁謹撿 | 案內 - 停: 止國 H 油 田 使入 貳佰陸拾町 勘弁勅事

後若 之問 作外荒野二百六十丁之由被、成, 廳宜, 了仍一兩年被, 仰、國寄、之處依, 宣旨, 可、 令, 開發, 建久四年 旨依、被"仰下」等"合在廳官人」之處各申云野田保 六十丁二可い合二一 、任:其旨·依、無:一圓之地·令、散:在諸鄉·之間向 ン宛...用其燈油..之由 大佛殿之相折御油 開 發國中荒野二百六十町 入等上之由被以賜 者任,其旨,以,彼野田保 者自い古墓別納保非い指 細一之時可以無一後司訴一之樣相斗分二立替一可以 御油定及" 闕乏」 歟故返 "上件諸鄉散在燈油田二百 可、停下止勍事院事大小國役在廳已下國使催濫行亂 之由依二計申一以二 開發田所當官物 所一被\立...替大部庄 |田保地利||可>立||用御治||之旨所>加||下知||也然 也雖之被,立替,然,當時國損,何及,後司訴訟,哉 則久安年中以二當寺領播磨國 不信之寄吏奸濫之目代等出來者被以致一濫 |所>進"開發| 之功也隨>無" 當時牢龍| 雖>須 言符一者以二其地利 圓便宜取り之由先日介ン言:上子 經二 |是也爱作於||燈油田|者依、無| · 公役之丁· 見作田纔百卅餘 - 爲1當寺燈油相 奏聞一之旨有二 重水 辨」濟國庫」以二 一欲」定一置 栗羽 折之地 赤穂三 許 宜之 大佛 妨 一可 卽 倍

> 哉 常燈不斷供花廻燈長日兩界供養法最勝講八幡宮燈 之御願 已返上多町田地申請最少一 圓是非 國益 幡宮等燈油料 殿之夜常燈不斷供花 明等料一然者將上仰一與隆之善政一專成上 由被、下。官符宣、者以、其年貢、欲、定、置大佛殿夜之 〉停下止國使入勘幷勅事院事大小國役在廳官人已下 所二立替一野田保山永為二 承知依」宣行」之 願上者中納言藤原朝 國衙催役濫行亂入路次上下向官使等祗 裁斷之處誰謂 一是非人思二寺家之最要,專奉上所二聖朝 三非據 臣 廻燈長日兩界供養法最勝 經房宣奉 一望請天裁因、准傍例 以下 當寺御油不輸之地 レ勅依 ン請者國宜 候雜事上之 聖皇之御 早可 一件

右少辨平朝臣在判 右大史三善朝臣在判

オハシマスナ 南無阿彌陀佛在判申サクヤマトクスへニタカへサセ 大和尚自筆裏書云

東

東大寺續要錄寶藏篇

寺家之沙汰一當二北藏一立三三間幄 レ加」修理」也前 **刺封藏一个√移□納賓物於** 建 開 在一幄之西北一 座高麗端辨座紫端 可以介言皆參一之由 人四 三撿 [年八月] 勃封倉 日 惠 五 綱 介"官掌」被 所 日己未天霧風靜今日 大監 勅使等參向各宿 座 在 物更座 綱封藏事 = 同 西 二催促 南 黄端 一次各著座 卽 宇 被被 寺中: 申事相具是為: 勍封 開 立之長官別當 史生官 東大寺 辰尅以前 藏 為に 掌座 被

勍使辨 |東帶|辨侍 一衣冠 前駈二人 左少辨 相從 藤原朝臣

長官

左大辨宰相

藤原

朝臣

大監物 史 右少史惟宗重 已上西上 安部 泰忠束帶 一南向 光束帶

レ知!!名字!之物!或有!!一

色繁多之物等,皆悉合,運下

來見物衆徒群集韓櫃數十合納物堆多之間

史生官掌等行

事此間

造東大寺大樹進

Ŀ

六重

源 或 有下 春乘

不 出

者持夫脛贏時尅推移之間依、難、逐二一日之覆勘」差」

遣史生良重於"堂上一合`取"別目錄一直

移:網藏:丁但

次 別當前權 僧 勝賢

三香染衣 長官 與 對 少 從 僧 四

٨

堂上,開,之 以,, 雨藏之納物大監物簽等到,以,, 雨藏之納物

一个一宿一置

所一丁

于實物一

者猶撰進所、令、覽也次中藏開檢事

同

前

已上東上南

面

著座

於三幄 掌召二上寺家職掌人等一小綱等相,加之一令」運出納物 下奉入:藏中, 亘, 假階, 大路巡檢之後各退下復,本座 捧"幣帛」向"辰巳方"申 造寺 物傍,執,,目錄 次官掌起座召、鎰依時合、開:封藏! 判官以下不以及 前一次第合、檢一知之一移一納網藏一重光起座到一納 已上東上 一依三辨命 北面 :著座:徐: 史生等與 也 就 了衣冠藏戶 徊 對 幄 一封一進一覽辨一 開聯 勃使辨

二官

以.

勅封藏 開 撿目 錄

北

癥

厨子 脚

角 圍 基石 帶 筋 笥 黑白 7. 琴緒 具在指五 筋 太 刀 腰

木地 厨 子 朋却

笤 1 同 牙 鞘 加尺 同石 具 筥 笛 馬 一管竹牙 瑙 圍 暴石六笥品 唐 淵 象牙笏三 筋 海蠲子 笙 隻 管 Ù 同 雙六賽 牙 I **卷**

冠二 VII

屏風 三帖

毛 屏 風六十五帖

納

染付張

畵 卷 同 在臺

> 青 色 12 玉 門子二 、标 口 枚袋盆錦 瑠 脳 水 帶 瓶 筋 納黑岛宮

> > 瑠

璃師

口

朱漆櫃 合

納

白 漕 服 具 一具太上汽王 Þ

朱漆韓櫃 合納 廿六合定卅二合云 以朱漆櫃 琵琶 大小 面

香納

口

合納 白生活 管 琵琶二面 丸 折葛筥

合納 大丸鏡 七 面 紫檀園 暴杯 合納金銅佛具等 枚

合納 太刀十一 腰 折葛筥

合納 紫檀 切口一尺長三尺

合納 筋 口 -j-瑠 小 虚五 · 形 筥 璃 水瓶 口 納筥之一 合 口 合 納錦 同 器 小 袋二 口 枚 碧 金銅 瑠 捣 虚 帶

合納 花氈 皮 帖

合納脇 足 四 脚 (白綾錦二)紫檀螺 釗山

合納 员 熟 香 切長三尺許口 尺斗

丁子皮真多

太刀十 三腰 象牙笏一 隻納

合納 樂壺 一口大小 水精 念數二連 小納 筥朱

東

目錄櫃鎗云第廿一云々 金銅水瓶一口 合

合納 香二袋 丁子一裹

合納人 合納色々御衣等 八叁二袋 五色龍齒 種 々薬袋等

五 合納 合藥々等

合納鏡二面各納黑漆筥

合納 合納鏡四面 『鏡三面大二 銅鉢四口 銅足 付鉢五 口

朱漆細櫃 合

黑漆杖 筋納銀長一尺八寸統一筋納小鄉各在袋

同 小 櫃一合

瑙 石十 細 長

小 櫃 馬 合

仙納 人履四足

椙

櫃

合

水 瓶 口 佛 具等如,花鬘,物等也

白

李

櫃

錫杖

支納相細櫃一合

色 12 玉 錫杖廿支納椙細櫃 合 被 "取出了

琴四 張 琵琶 面

中

大鹿 角一 支人云七壁鹿角云

琵琶 宇津保秀 面在錦袋 大筆一管長三尺 鐵九透香納筥 大墨一 合

師 子馬瑙 枚犀角帶二筋八花形唐鏡

黑漆小宮二合一合納蓮實念珠一連一合納

小

刀五

同 小 相 口納白檀小佛

銀提 口無口三百八十兩 木繪宮一合納草鞋 足

八花 香爐 形鏡 小 面 琴 徑一尺四寸 張 一合納梵網經

角臺 脚

辛鋤二

支

弓二張長四尺計爪竹銀壺

三口

枚

合納瑠璃大壺

口

同

小壺

口

雙六杵

枚

种

蒔繪筥 玉箒 支 甲 白衾 筥 合 具納 等香 二領 爐 鏡 細櫃一合納笙 面 但 平 臺 具

黑葛 靭 腰

合納 御開 眼 瑠璃童十口小九文机 脚

雙六杵 脜

合納 合納鏡 太宮 八面納、當或不入納 合在覆 象牙笛 筥二合 管 合合蔣木

合納黑筥 二一枚納色々糸 覆鐵針三筋

合納平文筥 合納黑漆小辛 櫃 合小文臺 合納禮服冠等赤覆 一基錦袋茵等 柳

枚 背搔 一支

合納 朱小櫃 合納 白 1衣等 折葛筥 枚

合納

柳葛筥

枚納鈴插

頭

花等

水精念珠

四連

小宮 瑠璃壺蓋 口 赤小櫃 合納香

柳葛筥 三合大小納等

合納黑漆櫃 合納 御衣 唐錦 等犀 角 坏 口

茵 覆二帖答三合各玄上足

白 銀 鉢 念 五 領四幅黑漆宮 口同臺五基 柳葛筥一枚

> 辛 櫃 納 錦 Ŧī. 十八合 結 金 銅花 盤 一枚 鲱帶

合納花氈皮一 枚村損 履 足 小鈴等

合納大刀那岐

合納香納一具銀手洗 口 圍碁笥等

塗筥 一合納小筥等

合納 合納 師子 香盤 馬 具在座 瑙二果 師子馬瑙二果 柳夷筥一 合納錦 琵琶 省 此 画面 一枚

合 藻納 熱

給地

黑葛 郭 切 B 圍 非 杵 脚 蘇芳 袋

合納 紫檀 是電 面 張其上鞆

合納鞍二具各皆具 **手繩轡**

合納鞍三具各皆具

一合納 花氈 皮

合納 御衣 念等

合納養大 横杖 一筋 錦 如意

脇 足 脚在折敷

擅

子

弓二筋納錦袋

竹御杖

木杖

支

辛鋤

四 合納 合黑葛筥 錫杖 合統籍色

青白瑠璃等色々錦覆等

東

合

合納 柳 為當 合 鏡 大 小 廿一 枚 方鏡也

柳 葛筥 合納 柳葛筥一合 合納袈裟 三衣袈裟御 經當 納梵網經 卷

鏡臺一 合納 显 小 柳 為 宮納鐵 廷詩 書序二卷代々書目錄 色々亲袈裟在風流 合

否 爐 合納薰陸 柄 香 眞 珠 琵琶一面 長笙二管 玉箒 下鞘樣々細筥等 支 背搔 支

象 牙尺八 一隻

合納錦覆 七八帖 計

合納 犀角 隻 圍 暴杵 脚覆鏡 花 形 缯 口 鞘納

合納 久世 楾 П 其躰如三大牛角

繧繝唐綾茵 合納 柳葛筥 合納 水精念數等 真珠佛小張卷

精 珠 丸桶 鏡 合 É 同櫃 香爐筥一合 四一台納馬腦具一 日折第二合

如意 合 I納 銃琴 筋 面 大刀 龜甲 佛光 廻 劒 在

一合納箭三合納 花氈 皮 一合納綱等

合於 琵琶 合十 面 鞍 具. 二合納錫杖廿 本本

> 鉦 验臺面 打 敷 目 隱綱等 ---合納御拂櫃

柳 門智蓋 枚臺 纤打 敷等

合納 合納 如意 赤漆筥 龜甲 合納色々紙 柳為智 柳葛筥蓋 黑漆筥二合 二枚

綿袋 帖

合納如意 色 12 小玉在象牙筥一 合

合納 金銅 花 盤 一枚大小 佛臺同打敷等

御經

合納

軸等

聖武天皇御袈裟等

合納 櫃帶 小 綱等

合納 合納 同鉢等并香爐筥 供養法佛具等不知 怎 員 數 \pm 花鬘

合納 具. 柳葛筥三合 綿袋三帖 枚 合納 銀花筥 丹

納

黑

枋

繪櫃 麝香 佛 111 院 麝香 筒 御 天平 時 斤八兩 召:三南,其代銀三百八十兩 三年藤原宇合被、進度々 龍 齒犀 角小

口

在:實撿一白 **介**,置給云

tz

納

納墨五廷 水精玉四果 眉間分

天正勝寶五年七月一日檢納 櫃銘如、此 不、知,員數

杵等

小匱一口

小櫃一合

納鉾一本折損

建久四年八月廿五日 空納韓櫃十合 同細櫃三合

刺封藏實物事

家所 賴 建 137 一辨藤原朝臣資實大 室 兼 术大監 司 华三 定 長判官 物 八綱所 月十十 小 槻 宿 日被 威 H 原朝 從 繭 上二人物為處也 有賴 少史惟宗重 - 返納二丁藏 臣基房別當前 鎰 藤 非依時 光 修 大 理 權僧 以 造 史 生 後 寺長官 IF. 紀 113 莿 勝 艮 資寺 左大 重 他 石

寬喜二年七月十七日

勅使以下供奉人交名

從 從 五位 四四 位 ŀ E 一行大監物 一行右 中辨藤 原朝 原 朝 臣 臣 師 親 世 俊

右大史 右史生正 左史生從七位 正六位 天位 E 上行大善進朝臣 上高 二銀行 香朝臣 左 衙門少 資驗 人息 志 紀 朝

信

飨

左右衙門營士二人

左官掌從七位

上紀朝

近回國

為兼

連

造寺官

藏 參議造東大寺長官從三位 人 東大寺案主右史生從 所出 納造東大寺判 官從 七位 左 大辨 Ŧī. 上右衛門少志國 位 下俊戦 家 光

里

官使四人

長官宿所光惠僧都住坊正藏院為一寺家之沙汰一儲之刻使宿所定寬法眼房藏南院為一寺家之沙汰一儲之之

鎰事

今度錫杖

支重源

上人依"申請 被

取二出之二

事

一之時

為一被一用

渚左

少辨口彼子網注

這嚴減了

也公家鎰在所不"知食',歟之問有" 御尋', 寺家鎰入"唐皆自",監物',曲取",出之',故大監物令",下向',取',鎰開'之北勅封倉中封倉此二鎰公 家在', 之由日來存知處三鎰

三百二十九

東

櫃 白 木 新 111 寺 完完 薦 一敷」之

俱 也 此 云 頭 留呂鎰 鎰 R 倒以 後職 事 後移 惠 刺封倉三鎰 義存」之此倉乍」三勅封倉也綱封倉者別倉 :置此倉 在、之自二公家一被、下之銘南 一之間以三倉南 |申||綱封倉|云 中北 12

以 鏘安開俱留呂以外久不以開也 寺職掌人也 作、三在"印藏"印鎰櫃中長一尺二三寸計也先開 下刺使皆登 心件光成 三寶藏上一也以二 取二俱留呂之鎰一後俱留呂開 光成左近將曹一舞人也此 心一个度 ジの解辨

捧 一幣事

光成取、幣向二八 次取...出實物 事 八幡宮 奉、幣其後勍使登一寶藏一開、之

家 辨 間 也 者建久注文之上合點或加、之或無、之除也 信 出納運」之出納下司倉四人也仍一人數少一故召,付公 也中寶藏之三問 下學著,本座,長官元自著,本座,倉雖、有,三間,九 少綱一也 衆執、筆何 俊職 一櫃何 或自、棚或櫃中取,出之,合、見, 中之第一之間大和筵六枚敷、之寺 柳中 ·何程實物在」之之事注 也地躰 長官

次座 座敷 一席事 三高禮 辨以下敷 、紫也綱所座者威儀師高 禮

(三百三十一頁の圓此間に入る)

從儀 之由申國無尤可以然分、申仍引、慢星 北刺封藏前五問 v然建久縵外合:徘徊·之旨見: 日記 謂一之由申 綱所座儲」之事强無: 雨儀無 時稱。日記一持作來誦上又別當代云建久例別為一勒使一 水屏風,也云 時供之時於三威儀師座一者敦 云刺使御座為一紫綠一之處威儀師 師 紫緣 二別嘘屋 別當代官故 也 一々國 別當座 一於三寶藏軒一儲三勒使之座 . 幄屋儲。之間綱所縵外 領紀云 高 苦見, 歟 其者 僧都 禮 執 云 ||高禮||叉敷|| 圓座|| 立||山 行 刺使無一御著座一之時 南都 其儀候者別 以 座用:高禮 F 作法維麻 紫綠 - 國衆亡父奉行之 徘 也 一時綱 徊歟今日 官 會 可言相 掌 事無二其 對藏下 之時 國 兼 非 可 來

倉西 雨儀事 刺封倉一之間件中門廊可」宜云々辨又不」受」之途勍封 當日辰二 下座定 下可以宜之由申以之長官不以受以之又長官云我宿所為 執行法橋隆玄徃反而與一長官別當代一問答執行實藏之 日,下向之後遣,消息,云今日深雨之儀何程候哉云 軒下以、中為、上南座別當以下寺家座北者長官以 座黃緣 了執行 點降雨終日不」止長官十七 為三 -113 用 僧綱 高高 禮 之間 之條別當座 用 一一 禮端 日早 可 也長官者建 日 相 參 - 尤有: 詣春 R

開二 例,三綱目代之儀無、之但彼時實藏別儲。 勅使座一之 其 封倉之後儲,, 勅使座,之間不,見,之故三綱等為,目代 間依、為"眼前之儀一無、有"不審一今度者依"兩儀一當勅 >遣>之由長官被>申之間遣」隆嚴寺主, 丁見, 建久之 之間官掌大監物指。造之,又自,寺家方,三綱一人可 口法申長官勅 恐 可 .別當代官定親僧都被,申之間隆嚴吞,聲途用,紫了 勅封倉一舉辨大監物歸一本座一史生一人在一封倉 改 也 云 使仰綸言也不、用、之條不當也可,追立 R 下 臈 綱 正寺主隆嚴不」可以然之由

發束事

可」遣」之由

有,其沙汰,者也

發胎開也 長官衣冠 辨 東帶 **俊職衣冠為五** 貫位了之 大監物帶級 信

別當代法眼平袈裟 執 行同前

勅使長官出仕道事

レ参也 行之條如何云々 長官乘, 手輿, 經, 綱封倉西面, 參自 別當代先參二手與一自 日勅使用,,手輿,常事也尤可、為,其儀,之處 勅使為" 步行 | 如" 長官之參道 | 長官語"別當 三綱封倉西 面一叁次長官後勅使 :別當座之後:令 也

> 别 當 用 代官

未二拜 建 **人勝賢僧正** 堂之間可 一著座然而今度尤可ゝ有コ 之被、進二代官一之由長官申為,便宜一之 著座 之處別當

豪發心地每日為二大事,之間十六日有二下向,十八日上 目 從僧二人體收幸俊大童子二人士用王丸 誾 下向氣日下向寺家事可,見,沙汰,之處別當僧正定 定親僧都 被 力 者

十二人十六

洛里 人々著座 事

如以此例也御前祗候細々 俊職者始合:著座一後者 北 座別當代權少僧都定親 座長官次辨次大監物等任二位 珂 長官前床子蹲居此建八之時 ン致言名仕 執行法橋隆 |次||勅 料云 使造寺官等著座 玄正上座氣泵

寶物取 出

正寺主隆嚴此

未時許勅使 著座 及二晚景一之間非二重實物 今度三方物皆可,取出,之由有,其沙汰,之處依,甚 倉之內櫃數許注、之勅使書、封付、之墨 一皆移 一置中藏 之間北 刺封藏許物共取二出之一猶日 |者國氣於||寶藏上| 具令||記 丽

綱封藏事

ン合:下向: 者寺家其順 等請、之此即寺家執 >遺>之由所望申也 自二公家一被之仰三綱所一々 行 可 申 12 云自,京都,公文惣在廳於 出,請書, 南都便宜之威從 有 レ之仍南都綱所等可以被

僧綱牒 東大寺

應 ル介下開 |綱封倉|移。刺封倉納 物上事

使威 牒件封倉來十七日 乘 從儀 區師實玄

牒送如、件寺家宜承知牒 可い合い開い之由被い下い論旨に云 到准 レ財放牒

寬喜二年七月十三日

從儀

師

相圓

威 儀 A

法務僧 IE 立親嚴

ン知:「子細」如」此事與又奉行 開一中封倉一移一兩方寶物一也建久北中破 此 封倉一移二置雨方寶物一也綱所 綱農物請求可以召以之今度者 職事解事飲 北勍封倉南綱封倉破 若以二建久之案文 損之間 開

寶物移 三他所 事

三綱々 開一中刺封倉 所寶 畅 移 一之處 三置 心時刻 北勍 已及1 封倉實物 戌時 而開 m 塵 1. 綱 一多櫃 封 倉寺家 上落

> ン加三下知 移置今一 不,相觸,彼仁者難,叶之間開 以下文書納、之勸進所分大勸進行勇律師合、住 上司倉一云々長官尤可以宜之由被以中畢上司三字藏內 之間別當代出:一 字勸進所、預之一 + 餘合 字藏可、移二渡綱封倉之實物一之由別當代被 - 畢 櫃 詩 義一舉若爾者件綱封倉物可以移 字舞裝束等納二之一 難 置 中 間 明 日 宇倉,封藏 可以移り之由 字,本 心中納物 三屬東 一願勅書 執 申

付封事

友仍

於一期封倉 三綱封藏 一正法務封也 勍 使辨付い 鎰取持下云 封 畢

書一下判一之間介」付了之了

寫, 紫端, 幅北東西 同第 百第 勅封倉前構 問敷 間敷,紫四枚二行為,辨幷大監物座,為英職 行 敷三黃端 三高 三三箇間 麗端疊二枚-為-長官幷別當座 一為一史弁史生官掌等座一掌在、屋 輕慢 卯酉麦當,北倉,立 對座

同有畔 敷 三同 畳 為一寺家所 同等

西庭 敷 三廣筵 為下取二置實物 之所。為一般知 座一叉為二黃端 也事

東

具之後 叁 輿 正 藏 院 衣 冠 持笏 。雜色追 レ前 宿 所 遠 者

勅使辨東帶持笏 幄 座一後著 座 南 之長官以前參著者起座 面 別當參 會者氣可 レ著 可=出立 レ之北面次

次大監 物 **弁史已下** 同 著座

歟

〉開,御倉,由 藏 学也歌 仰,辨 々仰少史 R 仰言掌言掌仰

同

職掌人數或六人或四人

建久四

例

次取三下北倉納 頭著褐冠 下向品 開 取 物一見と 必幣再拜。 二北倉一橋,入,藏中,長官不,登,假 之卽 或 向二大佛殿 納 - 或向

假板敷 一綱封倉是也先」是開之 上人運渡 也 藏 戶 前

寺家所司在「綱封倉中」加」 或取一出舊件日 目錄後 日 田 **撿**知 殿下歟 辨以 F 後 座 史取

物一儀如之初 今度或辨不以昇建久四年大監 可 雜一之由仰、辨 已上北中 雨倉納物奉:納南倉,之問各 物 已下登」之換言 知寶

ン納ン封辨書ン之物巴上参向時也

事 墨 退 T 或 此 間 衆 徒 有 氰 舞 專

鏁鎰 建久四 被 4 渡也 掌人不足時鳥帽 記 云 鎰 北 司 中倉 173 相 相具 具 鎰 一一 任 持 盆 子 が例 下部召加 下也云 可 鎰 三歸 司 ン之可言 13 4

理

本 鏁

浴

m

御 子 其 Ŀ 可戶介二 月 事返 洛之後何事 册 返進 人の御 H 不審候 候哉 温候只 綱封 抑先日 本候 倉物已 間 散位 被 被仰候 被沙波二 レ遺候 行 俊 御 和 他 恐 次第 所 12 候 小

被心中 紙 取 東大寺執行 候 進 北 一候了 机 訴 事 法 三箇 同 橋 御 可 除事 中 房

度

な被

申

重

候了定經,,御沙

折

勅使用 用 候 抑勅封倉開 强 之常例 レ紫之上 候 執之儀 封 H 高麗如 = 但 綱 如、此事必不、依 御 何之由其 座 事 一谷候 きの例御 口入許 隨二

所

之由所以候也恐惶謹言 勅使用 神妙にこそ候 可以然候數且建久被以用一黃端一个度被以用以紫之條者 以紫寺別當用 へ傾申之人候は可下令>答:此由一給 三高 然者三綱被人用 レ紫之條

九月十一日

散位 二行俊奉

前儲狹少之寺領營」之枉於二个度一者存二大佛 代日記曾留,公家,仍寺家更不以知,實物之員數,之 戊剋到來仍自,別當,同廿九日長刻相,具五師狀,以, 間 同 儲於一个度一者難、叶之由申、之去八月下向之時千餘 殿下御所,隆嚴申云所詮急可、被、下:, 勅使, 但寺家 書,具消息,遣,長官之許,丁長官相,具隆嚴寺主,參, 間取失物等難、辨以,寺主隆嚴一為,使者一別當僧正 云早々可,披露,候取失實物可之被,注申,云々而代 燒二穿鏘根一尺餘一開二門戶一入二藏內一云々長官返事 >之中門臺後戶階置>之盜渡>之立二彼橋 登二 歳上 公人,國貞遣,長官家光許,了卽大衆令,蜂起,鄉々求 二不可知口寺家儲之由命、申之間折節參會諸卿所 年十月廿七日今日終夜流人燒 開東大寺勍封倉 盗,取實物,之由以,年預五師狀,申,寺務,廿八 日 中

> 務之沙汰 申」有二 - 急可>有二御奏聞二云々三綱臨 其謂 也 之由評 定云 ~殿 To 三夜蔭 仰云此 一能歸乘物寺 事 被 驚思

彼僧出台介,相圖一面彼寺々僧延覧讀岐者含弟弘景九 廣田庄江 詮奉密殊為一根本一之由令」申彼僧者當寺之僧 餘所 弱取了結法師被、疵幷母:女等同介:面縛 種々介 云聊奇事候葛上那顯識 而欲、搦、収之一處無、之然而積惡之至其罪難、遁之 師於::大湯屋所: 殺害之下手人也彼僧一乘院 了於二京都一欲。治却一之處減、直之間大佛殿前五 間遂搜求 v 糺 二 問之 一處皆以露顯同類等差申之鏡八面細 同年十一月廿九日彼盜人搦、之吉野前執行下人申 即向過切合遂弘景打"臥彼顯證, 即兄弟轉"身 一數之由中仍與福寺大衆令一下向一欲、搦」取之一處 《社中襄惟置》之云々仍取出了 東大寺古 一面弱 三人道之許隱罪之云々仍觸申一 出 申僧在>之彼仁定為:,彼盜 乘院押寄 領 F 大和 打破 遍五 僧圓 命 百

郎

彼盜人等顯識同含弟法師幷春密等於一佐保山 頭 懸一首於奈良坂一墨

一斯

東 大寺 橙 要錄 寶 藏 篇

勅使一實一檢實物一動使 寬喜二 寶物二丁仍 华 -月 為知 # 七 二紛 日 夜 失物一十二月七日被」遣 群 盗 燒 穿 IF. 一藏院 中 倉

大史中原職清 15 分辨平 時 爺

左史生 物 高 FF 原 橋 職康 師 冊

右史生人忠

左官掌紀 卤 飨

官使十人

寺家

權少僧都定親 寺主隆嚴

寺 執 主定嚴 行 法稿 隆 玄

權寺主衆俊

勅使 レ簡 都 長官故障之間造寺官不二出 掌賴無奉行日 召:木守貞久:敷:高麗:了國衆立,座來云建久亡父官 例一可以敷,, 高麗一之由申丁官掌國氣尤可以然之由申 TITT 行 被二計申一云長官出仕之時者依5為二大辨宰相 二別辨座 儲 紫綠 | 今度長官無 | 著座 | 任 | 維麻 法橋座敷 座如二先度一七月儲倉西軒寺家事遲々之間早參 事任||先度例||勅使辨座敷||紫緣||別當代定 記三綱 三高 禮 座幔之外敷」黃緣 之條未曾有之由申改 仕 七日 自 = 早 -見候今度剩 直 座了 深 雨 會 17

尤可以然可以被以著二高禮二云々然而右大史職清申云 \然哉所! 訴申 尤其謂也申」之辨云隆玄法橋所」申 戶敷,紫綠,儲,奉行座,自,上古,皆公家扣所併三綱 戶大外記大夫史著座行,公事,法城寺阿爾陀堂自己 緣,以三綱座,不、簡,別僧綱凡僧,敷高 勝寺阿彌陀堂座者上卿座:高禮,以,奉行辨座 著座,之由申仍勍茨辨出仕之時語,訴訟之趣,且法 失二面目,次第也世以成二不、足、言之思一所詮不、可一 玄法橋申云忝浴 云物為"僧綱著"座高禮」始」自"法勝寺」例也隆 早可、被,改座,之由申右官掌國氣立,座同訴訟勍 與福寺被、取"損色」之時一萬三綱為"僧綱"雖、著" 為一僧綱一之時著一座高 凡僧一敷一紫綠一寺主都維那師為二僧綱 禮一丁首 敗一之處自望申狀甚以不一回 橋所三訴 座高禮 正面之北, 僑, 三綱座任三綱次第, 著座之時上座為, 申云先度實撿之時實物自了倉被,取下 一各訴申改、座了雖、爲二當寺三綱一等可以 訟申一尤可以然荷今日為 頭光成 奉 ..朝恩.异..綱位 レ幣大監物取 禮」事例也至一當時三綱一何 ン然云々各承代仍敷三高 之崇班 ン鎰開 "勅使」奉"行 ン倉勅使辨 |敷ニ高禮|後 禮一件座末後 之條招 座座 紫緣一 寺成 使辨 然哉 玄法

勅使付い封退出了 語,引,合建久日記 座北東西行三綱著座一々物實撿之處非、所、及,,言 八日勅使逗留為、早、事早參其後寺家三綱參大監物 覽之間入、夜執行儲、燈小倉分所,紛失,鏡七面 面 不二著座一西南北行辨幷定親著座東南北行史已下著 師世今朝上洛右史生久忠參; 與福寺般若會, 之間 并定親著座東南北行紫二帖敷」之史已下著座自,,正 撿之,倉中自,,正面,南東西行敷,, 紫緣一帖, 勅使辨 運遷,物共也下階者自、元所、有物也先上階寶物質, 可、然之由返答了中倉者二階也上階者自,北倉,所 宇治寶藏一之時長者殿下入,, 倉內一給其例 - 北東西行寺家三綱著座 北倉分寶物六十餘合披 同實撿之間 口銅小佛三躰也中倉物不、及, 披覽, 之間次 元 也 一个度者於;,倉內 H 記疎荒也今日及,深更,實撿已下 一雖」勘 : 紛失物 : 不 : 分明 : 建久三 一可以披 三覽實物 者 也云々尤 被 い開 銅 H 137

>下"食馬 宣旨, 嘉禛三年六月二日所>被>撿"知正藏院賣物,之由被嘉禛三年六月二日所>被>撿"知正藏院賣物,之由被

三日天晴被、行,此儀,行事官宿所雜事執行上座法橋

庭指圖在下取,出辛櫃六合,實, 撿之, 大衆以下諸人 云々 見知也仍自,大湯屋,大衆蜂起中以,小綱,申送云被 行氣乘申送之間立二入藏南院一年秀房、午剋有二實檢 以"衆議」可、被、入,,當寺,之由小綱教仟爲 」取二出實物一事其儀不」可、然於二倉中一可」有二勘定 棄乘沙□ 汰之□ 因、兹勒使已下登,,倉中,寺官同入但依,可以為, 櫃員數許計之 奉行兼俊 ITT 宿所 積 藏院 邊云 |使者|執 12 175

下層 劫封倉分事繁多. 櫃員數:

三十四合此內空納一合八十四合

北倉南端綱封倉 北分

七十三合綱所驗,見不一十二合此內公和一名

倉中事小綱下司 出納并烏帽子 出納等二人也役

之

勅使

右中辨藤原季賴

主鎰 伴 為連

右官掌中原國鄉為此等安主左史生高橋資職左小史中原成村

右史生安倍久賴

寺官

二百三十七

別 座法橋銀乘 僧正真惠雖、儲、座依、未,,拜堂,不、被,出 上座 範慶 仕

寺主 權 E 巫 兼俊 隆嚴 權 上 座 乘惠

寺主 定嚴

都維 那 慶快

綱 所

威儀 師濟宣從儀師等依,所勞,不參云々

へ次頁

ノ圖此間ニスル

俱留々鎰三在"寺家第一者南云々以"此南 所,持下,御鎰三連也各銘云一東大寺印藏 綱封以後羂索院綱封倉鏘用」之仍難、用歟云 以一件鎰一開」之畢倩案」之公家三鎰者綱封以前鎰 >之何不審之餘相"尋上司印藏,之處綱封倉在>之即 南一者東大寺北云々而開,北藏,之處件北鎰不入入 封」之綱所於"庭上,見"知之,出納付」之畢抑主鎰 事訖付: 封中倉一辨封、之官掌賜、之付、之北倉綱所 - 翠毎事 非、無:義審 云 k 一東大寺 一々其 鎰 一開 E 也

條 中華諸人退散之後大衆蜂起而 々事沙…汝衆快賢五師二云 押言寄辨宿房 相

> 者可、進,公家、云 行貞重貞遠等,注,之付,修 詮為",寺家之沙汰,可"注進"云々仍召" 木工宗 勸申處為,方忌,之間不,及,公家之御沙汰,所 望申旨者修理也然者可、被、注,損式,之由寺家 專被、守言寬喜二年之例一 tz 理目代,畢目 云々 寺家 1代清 日 來

四 四 所 此 人八升主典食一斗 人粮析八斗 外造寺官一人判官重俊下向 ·實撿之時共奉 "支配 · 外送 " 粮析 小綱六人酒食新一斗二升 然而 不 : 著座 石 候前別 鎰取

可、下二行之一斗寺斗可、有二酒肴粉五斗一之由首頭 申之弊執行尤可、儲之事也率、開, 御倉, 之由出納行 首頭弊事左近將曹光成申之弊光成沙汰之析物執行 稱>之三聲向"御堂方 寬喜二年例如以此先例者下司出納 申也

今度開 建八年中開封左大辨宰相宗長為 「破共納」置之「不ゝ及ゝ封ゝ之納" 辛櫃| 件櫃印藏舞 辛櫃也雖」可,,返納,依、無,入物,納、之了 封之次依以有:便宜 寬喜 二年盜人所"取出 ||勅使||下向

篇

東

三百三十九

延應元年十一月廿 壇 院 在一御受戒 同廿六日任:嘉應等例 Ŧī. 日 ル 條禪定殿下於 東大寺戒 開 正倉

勅使下向

宣下狀偁

左辨官下 大和 國幷東大寺

使左 少辨藤 史中 物丹波 河 際原朝臣 原 朝 臣 尚 題 康 從五 從三人 從 四

間 各

全高 中 原 橋 從三人 從三人

使 部 一人 中 原 從三人 從 各一人

寺物勅封藏 中納 ン彼之間依と例勤 言藤原朝臣為家 一差一件寺人一發遣如、件者國寺承知使者 :供給,官符追下 宣奉 が勅為 ン介ン開 撿彼

一辨藤原朝臣在判 延應元年十一月廿一日 大史小槻宿禰在判

| 猶以不、敷..高麗. 當寺可、同云々兼俊申云先以...

此外衞士二人令,下向一粮米等同給」之畢

權 Ŀ 上座 一座法橋範慶執 嚴晏 行

權 Ŀ.

寺主 座 橋 兼俊 隆嚴

都維

那

慶快

綱所

東惠今官掌國鄉申云寺官被√敷」高麗」之條尤以無言 申出一哉云々而官掌重申云八幡宮寺三綱雖、為"僧 中至"僧綱」者可、用"高麗」之由事切畢今何事新可" 處去嘉禎三年六月三日被、開, 勅封倉, 之時三綱之 、時兼俊寺主申云先例多雖、在:1其沙汰 其謂,代々之間未ゝ見,,其例,早可ゝ被,, 改敷, 云々于 小文, 畢雖、儲, 別當座, 依、未, 拜堂, 不、能 1座席次 :寺家座|辨座用||高麗||至||三綱之僧綱座 間儲鋪 可以有明指圖 敷,於左右,以上北為, - 先張: 七間 幄於倉中間 勅使座一 -未:落居-之 二出仕1 同敷: 以南

然而為:開封:三綱等相:觸事由於 之間範慶隆嚴等用二高麗 大衆」仍其後召1返國鄉1 畢然後勅使致11 公平之計 頗可、謂,高惟,云々重及,大衆僉議,追,立官掌, 畢 宫寺所司等,比:,當寺三綱 - 畢見物大衆等擧嘆;; 勅使 一之條更似、不、知"故實 勅使一并披一處

之成敗,感,兼俊之中狀,訖

御覽及"數剋」之間依以及"夜陰」仰,武士一守,護之一 在一松明一御覽實物不以及二百分之一一數 奉行左衞門尉秦實悉付"兵士,被、送,納御藏,畢路次 持, 運之, 小綱幷上下出納官使等相副分,持,整之, 鴨毛屛風等,披見畢於,自除,自,倉內,付、封取,出 臨二入藏中,取二出實物,而大衆於二藏前,可之被,開見 俄式事訖開一中倉一刺使辨顯朝 三綱定嚴 之由雖、有"僉議」及"晚頭」之間纔開,一兩櫃一又立 合也或納, 厨子, 或入,長櫃等,人夫 慶快二人

仁治三年正月八日先帝崩御同三月十八日 臣禮服冠, 畢三月十二日勅使下向同十三日被 勅封倉-訖 即位而為,彼御即位,開,,勅封,被,召,,上玉御冠幷諸 當今御 ン開

勅使

左辨官下 使右少辨平朝臣 大和國幷東大寺 時 繼

大監物丹波朝 右大史中原 臣 尚長

從四人

從五

111 安氏

左官掌中厚 左史主紀

忠直

從三人

使部十人 從各一人

權少辨藤原朝臣在判 右 者經、彼之間依、例勤,,供給,官符追下 藏一為、取一出禮服御冠等一件等人發遣者國寺承知使 權中納言藤原朝臣為經宣奉 仁治三年三月十一 H 大史小規宿禰在外 >刺開,當寺刺封

宣旨狀案

實」 頗難治之間欲、被二新造一之處又無一本樣一可、被 失云々正月五日雖、經二奏聞一先帝昇霞之上 `取" 出東大寺勍封藏御冠! 而彼鎰去年窮冬之比紛 來十八日可以有" 御即位一而內藏寮禮服御冠 無 其

合寺家,廻"秘計,可、被、取"出御冠,之由依"天氣 無,沙汰,之處今號,本樣,可、被、取,出彼冠,之 踐 執達如少件 祚 .其議出來縡已重事也不」可"默止一鎰雖"紛失,仰" 以後即位以前不以及一如以此斷罪沙汰一之間 自然

謹上 三月十一日戊 右少辨殿

左衞門佐經俊

逐申

明曉急可。介。一多向一給。其次諸臣禮服玉冠早 大監物,定遲參軟然而且可以被,取出,候 同可、被"取出一之由被"仰下一也率爾之間如

當無。出仕 今日十三日被、開二 勅封藏 座席如 先例 儲い之別

上座法橋範慶

權上座嚴晏

權寺主俊快

綱所等以、鎰取雖、有"御催」依、無"其要"不、及"出 一少々雖、今,來臨一不、設,座席,之間不、能,著座 敷

抑 刺封倉鎰合:|紛失一之間無,可以開之趣一方為,朝家

> 治一打!破鏘櫃!畢仍奉>開>之希代勝事歟其後 四頭諸臣禮服冠廿六頭云々 入倉中,任"記錄,拔"見御冠櫃,取"出之,即玉御冠 重事 勅 使下向之上者不、可、及,,子細,之間 召一鍛

或云可、進。玉冠計、或云可、進、卅頭、二義在、之然 返納,之由能々經,問答,畢即御冠請取狀在,之 而任"勅使等申狀一卅頭合、進"上之一畢早速可、被"

其狀云

十八日御即位 勅封倉,星 √員被√送二子寺家一同廿一日勅使下向廿二日奉二納 以後王御冠四頭諸臣禮服冠廿六頭如

宣旨狀

左辨官下:大和國東大寺

使權左少辨藤原朝臣親賴

大監物紀朝臣 右大史中原 河

> 從四 從五人

左官掌中原

右史生紀

使部

寺承知使者經」彼之間依」例勤供給官符追下 右 藏一為一分。返二 權 仁治三年三月廿日 原朝 納禮服御冠等,差"件等人,發遣者國 為 經 官 奉 大史小規宿禰在判 勅 開 寺 勅 桂

性, 座席如\前設",倉之正面,無",別當出仕,綱所又無",

右

少辨平朝臣在判

三綱

上座法橋範慶

已上二人

權上座衆俊

之一抑於"四頭玉御冠」路次之間散々打損畢是公家 皇御冠一被,用, 御即位 凡 御無沙汰歟勅使越度歟一向被、預:持雜夫. 之間不 御冠也其銘書付太上天皇云々 今度即位以: 云先帝云 \pm 一御冠四 々是孝謙天皇之御冠歟今二頭者聖 頭之中於二二頭一者女帝御冠云 - 畢諸臣禮服冠同被 R ↘著! 用 太上 武天皇 但 其

知子細

振

:損之, 舉不便

R

住國東間也以下三綱法眼平袈裟行事官在食馬狀 別當代權少 僧都定濟 別當法務定親常行事官在食馬狀 別當代權少 僧都定濟 別當法務定親常返 納于御藏, 長官左大辨宰 相經光卿下向勅使以下寬元四年九月廿八日天晴勍封倉寶物等自, 上司倉,

奉行衆俊

(此間ニ次頁ノ圖入ル)

之時松明貞久九木守臨。少方一雜人中有。國諍事,祭久行向鈍色五帖御物御前一萬公人為房著禪別當代沙汰榮久行向鈍色五帖御物御前一萬公人為房著禪別當代沙汰榮久行向鈍色五帖御物御前一萬公人為房著禪別當代沙汰榮久行向鈍色五帖御物御前一萬公人為房著禪別當代沙汰榮人行向鈍色五帖御物御前一萬公人為房著禪別當代沙汰榮人行向鈍色五帖御物御前一萬公人為房著禪別當代沙汰榮久上司小目代雜御物御前一萬公人為房著禪別當代沙汰榮久上司小目代雜御前一萬公人為房著禪別當代沙汰榮久上司小目代雜御的一方

寺官

同 幸主 定嚴 定嚴

同隆嚴

權寺主俊快

都維那親慶

東大寺續要錄 寶藏篇

		· 文 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	子 一 1米1 広出上
第二帖 都維那親愛 國守主題快 國守主題快 權守主修執 權守主後快 非主 任服 非主 足跟 非主 足跟 精上所活物(食	9	●	1次1 尺出中1次1 尺出中1次1 尺出中
小文一帖権上所法権政委員と連任法権政委員ととと法権保証の小文一帖●上述法権権関	•	一 大 小	
●小女「帖®別常代座 東 在 図 座 記 票 企 人女一帖®長官座 翻 中 文一帖®長官座 翻 和 的人女一帖。我们		間 北 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	四 - 大 - 数 - 数 - 数 - 数 - 数 - 数 - 数 - 数
紫一帖大監物丹波俏長 ●虫座 幹 計	6		1大1尺玉寸
● 史官 生掌	<u>ज</u>		一次一尺五寸
		尺者窦背也	一 ● 艾 ● 三 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5

篙

別當代 權 少僧 都 定濟 依肥 前判官職中扈從

長官 官 左 大 大 和 宰 國 相 开東大寺 經光宿所整恩院慶藝法稀房 井 經

使 右 大監 物 藤 原 朝 臣 定賴

丹波 朝 臣 尚長 從五

原 章治 從四

官 + 原 主鎰

[In]

康職

從二

小

少史中

史

全紀紀

使

部拾人

光朝 從一 從二

從 各一人

差11件等人1發遣 右大臣宣奉 刺 如少件者國寺 為令、返 納東大寺勅封藏寶物 宜派和 |使者經」彼之

間依以例供給官符追下

右 中辨藤原朝臣在判 寬元四年九月廿二日

少史中原朝臣在判

入一唐 今度勅封倉鎰出、官被,,紛失,之間 之後鎰 櫃 剑鎰 封倉鎰幷久留 - 之由 一名云一八東大寺正藏院北云《交替主鈴康職 被言 宣下一 R 鎰三 仍新造」之即撿 為 出納行 寺所 房取 汰 封御 レ之 म

·替上司小目代榮久勾當·云

破東面 卽龍 敷居等造替之番匠卅人八箇日之內作 勸進圓審 申:,事由於別當一新熊野即被、經:,奏聞 冥助,今得,三倉之安穩,不、廻,時 放其扉,還以打消畢一寺騷動萬人群集偏依,八幡之 長六 神引割之間同介,造替 神 入,,藏內,雷火付,,寶藏,然間 北端扉, 幷抓, 裂下柱等 年六月十七 一被修 =理中北兩倉屏四 日天刻陰 雨降雷 神落 投 枚 日,年預五師賢寬 為消,彼火,切, 捨知足院門邊 懸勅 一之間先仰: 幷北脇柱 レ之下柱 封藏 六本 蹴 本 大

同 七 偁 月 Ŧī. 日 被\下,,行事官 其人數見... 于食馬宣旨:

左辨官 使 權 下一大和 右 中辨藤原朝臣資定 國 **幷東大寺**

少監物工 左少史中 原

4

伴

從四 從四

尙

從三

左史生中

原

三百四十五

 筆師代中原光里
 從三人

 木工屬藤井行次
 從三人

 本工屬藤井行次
 從三人

長上

清原宗次

從二人

取將領各一人

、例供給官符追下等八,發遣如、件者國寺宜,,承知,使者經、彼之間依等八,發遣如、件者國寺宜,,承知,使者經、彼之間依右左大臣宣奉、,勅為、實,,檢東大寺勍封藏,差,,件

權右中辨藤原朝臣在判 少史中原朝臣在判

所不,, 參着, (三百四十七頁ノ圖此間ニスル)中間也座席次第在,, 指圖, 不ゝ被ゝ開,, 綱封藏, 之間綱七月六日被ゝ實,, 撿寶物損失之有無, 張ゝ幄如,, 先例,

納八人或褐衣或白張仕丁等少々幄屋宣仕小綱等也定嚴權寺主寬圓辛櫃廿餘合取"出之,倉內伇上下出內,之輩小監物久近史國氏官掌維兼三綱 法橋兼俊俊快慶快他行都維那泰紹重服仍\不\被"著座" 臨" 倉三綱之中執行上座法橋範慶依"所勞,不"出仕,寺主三綱之中執行上座法橋範慶依"所勞,不"出仕,寺主

参"候御倉北砌邊」 行事官注、之及、晚小雨降各至"于倉下,此間兵士等行事官注、之及、晚小雨降各至"于倉下,此間兵士等

行法橋範慶奉..行之,辨宿所北室賴覺律師房寺家然官掌監物付、之陳倉此外無..別儀,寺家儲如..先例,執長任..權大工,新座申之問各被、仰.. 勸賞,本座宗長任..權大工,新座申之問各被、仰.. 勸賞,本座宗長任..權大工,新座

受戒其翌日被、開"刺封倉"

一登壇

之七日上洛云

18

別當 定親無品仕,但儲,其座勅使右中辨高輔

三綱等參仕

集,之間被、上,御簾一間,畢 然,他御息,即有,來臨,同披,見之,云々大衆合,群於,中御門坊寢殿,被、披,見之,一乘院禪師房信照依 在目錄

此砌,被、見墨不、可、然之由返答仍不、能、開、之使申。合禪定殿下,之處日已及。晚景,之上大衆於。於。勑封倉,可、被、開。寶物,之由大衆介、申之問勅

巡禮,三日早旦御,一參大佛殿, 文應二年九月一日一院御, 幸于南都,為, 七大寺御

·取"出實物等,於"中御門,有"御覽,即被"返納,畢五日入"御子當時中御門御所,斯日被,開"勅封倉,被

別當前大僧正聖基無出任

想,被,返,納實藏,畢去年御幸之時所,被,召出,御袈裟依,嚴重之御夢

招提千歲傳目次 上之二、三 同 篇 中之一、二 明律篇 下 之 二 舊事篇 下 之 二 舊事篇

異親充篇

拾 遺 篇 篇 篇

連 辨 法事 篇

居士篇 尼女篇

三百四十九

招提千歲傳自序

故推為 尼圓教 號三南 千鄉 吾 斯邊 真制 應 Ħ. **教不**: 非、他唯生:斯宗·帶·七衆·而無、漏及。草木·而沒 派 或後逐、跡 繼之傳之其門家更無絕也譬如,水流 天! 大小權 地之下凡傚二 也金棺永納 Ш 尋迦羅尊者傳"之華國一從>是漸後有"一名匠 孤 一以、放天人讚稱梵僧敬仰厥德行實不、容、言也 【大師」依"法華涅槃之玄旨,即以"四分,丕興"毘 戒門之高 起 實其派不、同幷行、于世、於、宗有、異於、 紹」踵厥 釋迦大聖唯誕 經 萬 道耳殊吾戒律 出家基本而 一而已謂老孔二聖生,于支那,聲 王之遠請,乘二一葉輕 起必因」入人既不」 細 日衆生受"佛戒」即入 不行無量 1雙林1後波離 彼大仙之威 間 盛 也當時 律儀 三世諸佛常法之敎如來嚴言之 衰是理常也就〉中釋 "西天一輝"法光於百億 宗氣。備大小 不」可,思議,誰 大師 儀 尊者初立: 此宗: 弘:通 同致亦非 册 其大行 法 :諸佛位:矣誠是 孫龍 偏圓一萬行萬善 - 英傑俊哲或先 興 所 門多分:宗 レ薫喩 然 有 - 德音於 眞大師 心 至 爾 人 理 來

歲之雜 隱沒以、故憂中催、勇思 狀或闕或失求、之難、得嗚呼桃李不、言與、誰語 于兹一雖、然意高才陋奈、遂,斯志一將欲、綴 非"作者之過|不"我門| 故未"親知| 也故予夙夜勞"志 分:派 志,,于此,者頗 實,該,通持犯,再振,祖風,續,千灯於將,祖,也又厥中世有,獨英哲,諱號,覺盛大悲 傳,中三卷顯,于一派千歲名律傳,後三卷記,子自 レ之題日 度投、筆唯濕 祖門古德且少適雖、有一數傳一其傳來行 先生甚少聿又近比有"一 集者自門 者罪歸,,後學, 有志精士豈恐\罪\之乎因\兹今古俊才 名聲也其傳 春 .梓而行,,于世,子得、之屢披,,閱之, 尤雖,,戒門 與以 物精 流一別立一傳 爱以世稱,中祖,焉若 ·招提千歲 之士多而他門之士太微 離 法也 為 激昂如 || 衣巾|| 今若恨\闕 多矣故其史傳等顯,于世 红儿 蕩 門 傳記 卷 な平而 一不、見乎者 關之釋書 吾戒 =月 庶吾門君子 シ義存 在上星 1謂初三卷載,,于本山 律師 一諱號,覺盛大悲井,洞 今尚新也實為: 夫使。先生之行狀 等慈無礙 ン盆聊搜, 殘文, 筆而 悲、失止,,已此 纂, 吾門三國名匠 也况 曲披二覽之一 一者繁 似 吾佛家 業未以詳是皆 燼 日東吾宗太 日 レ之先生行 な如 一而虚然 其功豈不 麗 諸傳各 也然 一徹權 阿千 往持 門之 猶 天 我 其

錄、之退待,,吾門後生之英,矣。
一致不、足則補然則為,, 祖道勃與之一助, 乎吾庸才無文改不、足則補然則為,, 祖道勃與之一助, 乎吾庸才無文

n i

凡例

定,也見者思、之也片字憶說是余所、謹以、故耳傳猶言,耳傳,未,决也片字憶說是余所、謹以、故耳傳猶言,耳傳,未,决

不,望,人贊,以、文賞、笑讀者知、之
立,,造,以、文賞、笑讀者知、之
文章甚卑是余深思,,祖恩,不、耻,於他,全以,文才、文章甚卑是余深思,,祖恩,不、耻,於他,全以,文才、文章甚卑是余深思,,祖恩,不、耻,於他,全以,文才、文章甚卑是余深思,,祖恩,不、耻,然不、以为者聚,之一處,

√責√予也

招

提

Ŧ

歲傳記卷上之一

南 都招提後學 釋義澄撰

傳律 篇

大小 郎所 祖受」之聯綿合、不、斷、之故若離、傳律 レ奈乎夫太 /傅/律則 離、寺無、法有以之故 法 沭 篇一記二傳初一也 一切之事, 也吾宗 和 日 喻如,事二 - 也 傳 낈 "是吾寺之本宗」也若 律 傳律篇來一也若又吾山毳侶有、雕、之者我將難 以,戒律宗,為,我 誰預,此宗,若 組 謂 者傳律大者也 所に以 輪鳥兩翼 住 切事者生: 起于唯傳律 謂 法與以 |持戒律||兼相中 不、持、寺則法無、住、之矣於 一也 本躰 其諸祖 闘レー 雖二此法 寺相 傳律之功嗟偉矣哉是 不可謂 依成 者傳 續寺院 無 - 曾無」有: 吾宗 律 此宗 太祖 小者 寺有之之又 色也 故以此此 傳 也 也若不 ジ之諸 然其 律 卽

持祖

- 傅律篇 者以、所"以

然何直以

…住持一不、名、之邪

E

有 妨

住

持戒律及

令門一

放汝今連

日 傳律

三傳之異

派

等

紛如故今以,傅律

一名之則無

遮

レ中レ 暫連二載流一以」有二少證及久流 放三傳合用若三傳中拾ゝ彼取ゝ此而 頗 有 三傳 共 丽 之則 :.所以:.所以者何以:.今傳 派相 律 ill 篇 吾罪莫大是予 分密 正 中 皆 傳 為一傳 々是非、旁而何哉曰於, 斯篇中, 旁出 放更無 律 所: 以深恐 亂 無 也 -納-此 遮妨 流 見,此篇中,已有 - 也 為 者何乎是為 何 篇中,不是"別篇 中"取捨」則可若 也 页 流 ジ故 邪 末い歸い 不」取以於 一旁出 -旁 出 不

扶桑律 宗太祖鑑真大師傳

有四歲 和本銅朝 慶雲二乙巳二當 就二子會本朝四十二文武帝就二子會 滿禪 幼而 髡之後也誕。于嗣聖戊子五年,統帝二戊子,無年號 是為宗第七子華宗子等 明祖當。本朝人王 太祖 闡提行一普度 寺」見」佛陀 則天皇后長安元年圖戲題長安元辛丑二當一隨父人二大雲 **聊元戊申ニ當** 師 不以凡精銳絕倫氣貌雄偉才思濟發有 諱鑑真世姓者淳于氏支那國楊 祖會 即配 一聽三訓 住 像感 言, 岸師 三難化生 岸 誨 入...長安城 龍興寺 其歲 悟求,出家一父奇,其志,許之途依 一中宗皇帝神龍乙巳元年龍元乙巳 太后詔度、僧乃為、沙彌、師 日人能弘 稽道岸律師 師器、之景龍 年三月廿 」道非"道弘」 一受非 州江陽縣 丁未元 戒 老成之風焉 日 **年**雲元丁未 舖 治四十十 齊 時 時 歲 年代持 智

方之化

- 為::吾國之行:則善矣太祖因

百年有:異域人

八當」與

此毘尼之傳所,以猶缺

製二架裟千

領

一附)舶 師

遠

施

二此

邦

F

沙

岳思

禪

然佛法於::天下:固無: 彼此之沮

溟渤 頂

禮太祖之足下! 而請曰吾搏桑在

聲暢似二天皷一聽徒濟々莫山斯為」盛二公咸喜交起講終 楊州大明寺.遇.太祖昇座說法之席, 其辨注若. 飛泉 歷二十年,天寶壬午元年爾洋本朝四十五聖武宿 律儀尚未、備特降、論命於榮睿普照二公、入唐聘、有 鬱為二一方宗首一由、是緇白依歸如三雲歸以岫矣本朝 武皇帝以,,正信,自志,,佛乘,以爲此方雖,有,,佛 於諸宗與義,莫、不,通貫,恒旋,江淮,以,戒律, 歷"講肆一從"融濟律師一學" 南山鈔」深入" 要渺」又 |以||風之逆順||為||遠近||而未 | 易 | 以|| 道路| 計 二唐使丹墀廣成一度,越滄溟,遊,學諸邦 生、彼為,太子,初弘,佛法,又聞 然一也昔聖德皇太子記曰我後二 · 真教· 歲數漸符大師其能輟 · 此 而師範之來或難之 時 上此 .咸. 其志. - 法礪疏 復屢觀二 菛 11 |邦之東 | 界以 且 嵗 綉 習所追 九編 光兩 尋 一偈 而答曰 長 法二而 利少物 4 屋王 於 至: 京 至 道 聖 旣 景 昔 神從 歸或入二 \泊\舟歸,至嶼山 可以量 、水三分存、一太祖遙見欲…入水救」之忽然空中有、聲 緣-日 分安: 置鄭縣山阿 岸,水米俱盡飢渴三日風停浪穩下臻,大阪山,亦不入得 以發、舟欲、到,,桑石山,又風急濤高 風寒嚴密辛苦無、譬更修,理舟,到, 平十五癸未 學、帆東下到"狼溝浦」風惡舟破人皆溺、 此 有、還、海官人至來問:, 消息, 告;, 之明州太守, 太守處 〉得却到"嶼山 而云莫、入...水中、俄爾惡風便息於、茲諸人着、岸免、死 師獨安然在二浮草上一而座有之 法遞思詫曇靜等八 之我欲」傳 佛法 思」之則誠善地也吾何為 故摩騰 纔離 Ш 海 傳二於漢二 蛇海一或入二魚海及飛鳥海,漂,其蛇海 Jil 涌 異 僧會使二 出 ||嶮峰||還落|| 石上| 舟破諸人免 | 死 法於日 奪"祖之所以 域 |留、此一月而待,好風 風 而漢人不ら 育 |有上人將||來水米||相救」復經||五日 月 舎利 十餘人一天寶癸未二年冬十二 王寺二從 同以天寄二諸佛 恃佩 寶含 以験と 違,此慇請 詳始傳言 是越レ 利 舍利 神棒」之臻」 佛世自〉是翕 子一头羔 大坂山 泊、 日日 舟垂着、石無計 者意在二于斯 國渡り 於吳 궲 一乎乃募:祥 嘆 風靜浪平因 而謂と 海屢發 岸餘人在 而吳人不 漸上 然而 勝

=海

律師二二公隨

際寺

擅

從

宣恒

景律

師

三 受:

具

足戒

緣

以

月

- 習. 學戒律及止觀

教一而達二幽玄一

依"義威遠智全修慧榮大亮五師」聽』

編 師

篇

向海 發 時 楊州 往 我是請 寺,到江 大師五度渡〉海向: 吾 日 集 時 而 不》知》之十五日四船同 月十日之夜 舫一唯於二江 幸有,我等之船四,乘、之去則到、東無、難太祖許 禮歡喜譬無二比物 一个寫 東大使藤 此含利之所、在我當 | 其第三升昨夜已泊| 妓 而 道俗皆云 可留十六 有二仁韓 東一重觀無、由弟子等願今預二於最 金龜,負之而出,俄化為二 **春過秋** 雨會上 龍 止太祖哀,其怨誠,孤舟按、纜授、戒別去十 乘、船其時冬十月十九日 廿四人沙 E 大 頭 清 大師 伴副使竊 洄 來至:天寶癸巳十二年:其冬十月十 1相:|待太祖| 一從一務州一 無邊莊嚴 所 日 等 一發廿 欲心向心海東 到,延光寺,拜,祖而日弟子等早知下 唯願大師早到: 吾國 奪 彌 三衞護 我 日域,將欲点傳以 海雲 發時有:1一姓:飛:第 招 其處 無 日第 追來悲泣 來竊知二 |師及衆人| 令と 太祖 所 一言訖條然不」見祖感 威 一十二月六日南風急起第 山以故防護甚固進 第二舟同 德輪蓋龍王 賴 與同 太祖欲 老翁! 持以授 戌刻也既欲 矣於 向 是 法今親對顏 | 爲| 傳 後結緣 到一阿兒 而 者 乘"舟中」他 出備: 具船 间 机 一舟前 隱出..于 大師 一解レ DE 戒 八个已 師日 系波 一發靡 喜交 懇禱 諸 Ŧi. 師 去 今 時 7 纜 頂 H

忍等 東大寺,五日天竺菩提唐道審謁見歡甚都下緇素到來 等州餘人迎來禮謁翌日入:京師,上聞、之大喜 詔遣; 內州,亞相 攝之難波,詣,四天王寺,謁,太子之像,三日 月 浦 漸見,山頂 十八日出,其島 〉果和上幸成||朕志 少年矣常 レ闕 禮者紛如也 正議大夫安宿王及僧都良辨」迎山于羅城門之外一館山於 之前,上先登壇受;菩薩 之險。直 亡〉何 也其明年正月十二日 一相尋登岸寓 大宰府 |上大悅詔請,,京師,依、兹正月出,,子宰府,二月朔抵 舟着公石 Ŀ 一登壇受具三公百官及沙彌證修等都五百餘人競 碩德者: 靈 一皇命:正議大夫真吉備,慰勞曰和尚不以 .任..傳燈大法師位,是年夏四 欲下立 抵 1 47 イイン動 仲麻呂藤公遣」使問候又一時英哲賢璟靈福 ,是邦,其志甚 太祖以,佛舍利州粒及經籍法具,隨以 "戒壇」為"僧尼」受戒"以" 日午刻第 一福賢璟志忠善頂道緣平德忍基善謝行 去十九 大宰府 第二州發 自一个授戒傳律之職 大伴宿 日風 一戒,今上及皇后太子皆預 - 即天平勝寶五年癸巳冬十二 二舟着二。薩 可以嘉矣朕創川建東大寺 向 雨大起不り 禰 禰一去 奏 月建 摩國阿 太祖 分1四 一戒壇盧舍那殿 H 無師範 以委一和 到:大宰府 多郡秋妻屋 到...益救 移 憚二 鯨波 方一午時 少錫到: _ E 表進 島 尙

ン加 后妣

樂.戒

御

畫棟照:1輝

林巒

恰

相

宅嗣

卿 藤 頂

言我終已

龍王祠

先帝之志

尼一欲、學一戒律一

養政事躁煩不二敢勞」老宜」 乃成此歲廢帝元年也厥規制飛楹層閣塗、金間、碧朱甍 頭不>變遠涉,,滄波,歸,,我聖朝,號曰,, 大和尚, 恭敬供 雜一帝改賜... 大和上之號一其勅曰鑑真和上戒行轉潔白 之名刹-師其營、之遂賜二皇子新田部之舊地 年二月上皇遣、使詔曰朕將、開, 拟梵場, 以永為, 弘 |戒順于大殿之西||叉子||院北若于步||建||唐禪院 | 其營造未、及、完而上皇崩孝謙天皇亦欽| 師德| 尊 嬪公卿大夫,皆預,受戒,又詔,天下,爲,出家,者 壇|從受,,菩薩大戒,今上同 |翰墨| 書, 唐招提寺四大字 | 懸, 于講堂 | 勅…高房藤公,為,經營之司,至,,三年八月 ·以鎮,于寺,蓋龍王有序:該,舍利 一味、不、異矣後果賜、之達人所、 者皆屬介、習天平寶字元年上欲、遂、 都及法務大僧正,太祖依、厭 如、化,成龍天之宮,也太祖特立,輪 建壇 發四衆 |語,|侍者||曰是地吉壤與,|唐國 授戒之權 停"僧綱之任一集"諸寺僧 道 俗從者雲結風靡 登壇 輿 也 受戒 - 之誓」 後依と 見無" 毫髮 至 三綱務煩 勅 ii 於皇 一叉詔 故 是 其 移 IJ 北 以塗而 梵網會 散滿緇白送者哀號之聲滿二四衢道 氏刷雉公等皆賦、詩傷、之云留身三日容色不、變捫、 觀世音寺,受戒依學恰如:京都,師甞在〉唐時 神 踏而赴者唯恐、後焉以、故常居凡三萬指四年記、祖啓、 子 猶温諸徒奉、龕葬,於寺之東北隅, 兹日紫雲靉靆異香 賤號慟悲戀 、期面、西跏趺而逝猶如、入、定實天平 願||坐死||汝可"爲\我於||戒壇院||別立#影堂』也然後至 之終也諸徒驚悲而造, 真影, 棟梁折而落、地群衆怪、之一日謂、徒曰此仲夏初六吾 僧|以||祇園靈土三斗| 遺」之故凡所、築戒壇取|| 其土 其籌今尚存焉六年奉、勅建二戒擅于東州藥師寺及西關 與:諸菩薩 嶺,聞,,鐘聲,尋、響而進忽見,,一神人,乃問曰是何鐘 先入"招提 日也當享,世 应 日 此 |萬餘人又於||此國|所>度緇徒極多而嗣 其規矩皆取"法於南 法起菩薩行 - 以資: 聖武冥福 一受、戒學、律 ·周市圍繞而布薩說法遂預··其會·乞>籌而歸 無以異三釋尊唱 滅於雙林 |齡| 七十有六坐||菩提位| 五十叉三黑白貴 布菩薩說法集會鐘 五年 而 學 Ш 自宗 又恒謂: 思詫 十二月晦 一焉七年春僧忍基夢講堂 一太祖在、唐所、化弟 據レ 也亞 寶字七年五月六 也移

違

敬尤厚位賜三大僧

清宮戒壇地

日太祖到\此事,,其地味

建 彩

垣受

戒是 實本邦

居、之盛談,,民

尼一開二

太祖

偶遊,葛木

頃法

起菩

之四

方雲孙騰

律

篙

四、使 戒 ッ塔而 修塔-領 無 七 歲 濁 號二鑑真一懷藏通二 改叉諸藥物此方不以 道德之感有之若、此也初 及清河藤 吾國」如::右 加 十餘編 遮大會 一寂滅離 校正 也 佐護 二吾國一謁 金剛 太祖 省 無 差誤 (放勅以」具無 差誤 (放勅以」具 祖東渡時瘴 公等 歸二 一斷二疑者迷一或自 捐 也 二點塵 :萬年春 一或有下 神 若干修二 一僕射藤 麿 化為一大力生一運、材為、助 疏 四 輕重 + 邦 四神變 禪院從」今古青松遠」 一太祖 之廟一而賦」詩 田 隣國一真如轉二付民一早嫌~ 一崇祖 霧傷 造伽藍,八十餘所又製, 细 未ン知 儀各十編手寫二二大藏 公亞相仲 太祖 本朝大藏多二才刀魚魯之謬 祥 眞偽-が晴 一尤厚焉曾唐國 凡講法屬、疏 士及信男信女! 彦 二石浮 居 傳等 金白之魚 而 恒 其幾千萬人 高和 勅レ 大藏文句暗誦故隨即 麻 進 神 圖 日 呂藤公黃 思 異甚 上之號 上方 詫法 一忽放二異光 祖辨」之太祖 妓 始存 多自 擁中 /傅=佛 大將 載義 四十編行事 或有二 塔 也就 門氷上真 ご其 護船 現"三目六 新法留二 一鎮入利建 袈裟三千 軍高鶴 靜 敎 神人旁 一歸五八 中 餘 - 或再: 居二 如寶 聞い 名僧 於千 神 等 鈔 更

百,而已

以故 堯日 景光,何』〔眞夫我祖眞八宜:濕、衫不、忍、去也吾未、有"萬 不ン學 上伏 四 如此生 來 祖 賛曰 岸首彌高 吾宗太祖 相南二家戒水 + 臻"此國一合"六々州聞"未聞法,厥德功實難」量 也遠應,聖王之請,自起 吾聖武帝 餘年昇座 為三三 m 恨、生,於千歲後,退喜、遇,于其遺 一佛出..現於世 汲、流却濁、源矣常登…影堂,每、 「彌堅吾太祖也德亞」。金仙之下,功 實理 |朝帝師||屢承||恩寵 於和 說法 佛 一德遺記 法 漢兩 願 神威龍現熇 一又似! 優曇華時一開 雨 力 不」虚也其將何 邦, 厥遺敎也千秋 矣聖 來登 が航い (宜哉 海遙 武帝 二金輪位 一報二於祖恩一奈下易」移二 - 塵中 々乎哉 大悲薩埵之應化也矣」 固不と 越三 塵外仰」之崇 表 巨瀛 一 拜 法一耻者 彼白華主此 準 也蕩々 :法像 恩澤 在 新萬世 言也 天 南 日 如 乎哉 之猶 一忽然 山 流 教 也

第二祖法載和尚傳

靈 鑑真 敘 和上名法 **翘寺** 名震 大 迪 師 緇 載 侶 唐 圓,戒 :當世 國 平 人也 品深 寶字七年 一後隨二太祖 通二台發 太祖臨 姓 氏 聰慧 在 化此 滅 囑 有 開二 國 三高 師 志,受, 台律 靜 衢 如 州

第三祖義靜和上傳

養日載 隆紹清 預:其部上:于鳳闕 不動尊像,某年弘仁帝部,八宗碩德,合、論,宗義,師 招提,自造"經藏,而納"經論,亦別建"立實殿一字,安" 來,,至斯地,為,人所,,尊且蒙,,祖命,治,,招提衆,, 省於 學,,台律教,而達,,其與,居,,于楊州與雲寺,隨 和 佛耳惜乎哉 重 咸,矣弘法利生以爲,己任,終未,聞,之門人明哲施總 尚義靜得」生,,唐國, 禀性清純俊才秀」他師 國 觀念時大風 人 ·静二師扶、祖東應勝瞳高竪光, 燿兩 福等岩干人師 親靡、不,喜盈,然行狀失」具今兹所、 一陣條忽吹起折 一諸德皆現,種々神靈,師又頃刻入 在 :載之次 |底樹枝| 豈非|道德所 -因爲二二世 域一 也也 一于太祖 事吾祖 行潔德 傳 祇 時 彷

第四祖如寶少僧都傳

少僧 都諱 去寶便相從於:東大壇 一幼而入,,于太祖之門,乃成 如寶朝鮮 國 人也 不少知 自: ..何氏 ..息慈.未、進 吾太祖 - 天性異氣秀...于 "具戒 太 於具 戒

> 内-州藥師 年 僧都-弘仁六年正月七 岁 地 代不、絕又賜,,對五十戶,師上、表以謝亦自別建,一一 間 、戒故 緇素從者雲 結風靡某年勅就, 于招提, 歸:住招提 貫,通律敘 、度門人太夥其中為", 上首, 者豐安壽延吕禪等若干人 徳罔い不二望い風往 大般涅槃大乘印佛等一百廿七卷, 黛延, 屈百僧 」旨而開,律講于本山一聲名益顯國人歸依某年間任二少 下、詔於,,此寶殿, 令、講,,玄義文句止觀,以爲,,式例,永 皆為,釋家大 齡迨||八旬||云師臨||命終|| 引|| 法弟豐安壽延等 -勝計 面 乘,以報 一藏大士之像 延曆廿三年春正月進 表於闕 寺 王 |殿||莊以||七寶|||而奉|| 安彌陀三尊之像 一譽振…東州 馬 以為,四 一發:明台 戒 |四恩| 也師道德峻高夏然雕\群故 匠 由 來一如二 弘法大師 也厥餘宰官士庶等預; 受戒法; ,是后妃太子及公卿大夫等相 .世, 桓武皇帝崇,,于其德, 勅召,,宮 門一戒行 日安然而化居, 于扶桑, 六十餘 天平寶字七年 清白 為レ 為一魚水 親受 太祖遺屬 國被、重住 交 建二創五 一時名 也所 共受 持 殿 野

乎善 哉 孔門唯有 此 月 有 1,夫子,而無,曾子,則譬有,月如,無 _ 此 水 矣我 旭門亦 稪 如 是 且 戒香芬 水

篇

招

提

猶 而 如"彼孔門有"曾 第五祖豐安贈 燈 赫 12 也 置公 僧 子 其 - 也 Œ 何人歟謂 傳 亦善哉 所 此 月 以吾 有 此 祖 門有1 水 寶公

之海衆來歸 其勅 弘 寶字之例 大教規淹博 聲雷震遠響,天聽 師 長=經論 造,長廊 恰如二懸 無、異、太祖 其二年四 尋進,少僧都 至: 妃嬪公卿 之歲入...子招提..師: 水之譽-帝勅賜 「範寶公暗自,,示寂」任,,本山首,為,, 第五 僧 戒律 一撰三戒律 正豐安參州 河 -帝詔::臣小並 [月十一 - 僧尼新 明,於毘尼,以、故 屢度,群生 , 其理皆宣,, 甚深微妙之旨 在 猶 預一戒法 增加二崇重 一天長年間命,,諸宗匠, 各上, 宗義, 世 傳宗旨問答記三卷 如 ||寶田若干|帝又欽|師 日勍 - 也授 人 ,萬水之赴」室以」故常居幾 受、戒者悉令"從、師 也 平城皇帝詔: 于大內 事如寶 傳闕 擢 等 戒說 黑白嘉尚 |大僧都||尋詔|| 國 - 弘仁七年 者森々然也帝觀二 就 僧都 姓氏 法日以般々演說梵音清 ::于招提 戒 光輝 河 一俊敏 修 以備 二月朔 臻濤 德,捨,于王宮,以 シ國徳 學能勤寒暑無人俗 建 習一學 碗 二五層 涌 透過ン 叡覽-親受: 内 |動任: 一世,於、聿歡 師之規模弘 去 風震 弘仁六年 一戒律 如一天平 塔 塔中 萬指 人教 合と 律 大戒 四四 師 藍冷 師 「熾 更 賴 蟻

> 戒得 泊 御被 春正 煒煌 安...于 十一日撰之一戒律傳承和二年六月戒律傳 道俗聞い 子百官及信 推、茲可、知天 經四 然 度弟子 而寂 師 月甲子帝御 R 日之間 四 昭二映 奉 佛 計雕 同 質 其認 數萬人嗣法 一十八 男信女受二三歸 大開 旭 像 長 不 H 日帝勅 五 紫宸 四 來記 思寵 :法莚 師預 哀 年 師 層 一秋九月 又自置 高 三卷番和 之云所以 日 賜 屈 上首道靜 以厚也 |僧正 :請名侶:而 \overline{I}_{1} 三放 日皇帝為:親 八戒 "其詔, 為"講匠,也九年 出 元年 網位 八生池 碧 著招提 承和七年 圓 間 者以 勝 於諸 之外 蓋 永穩等若干也 介 寺源 墓:其 レ指難」記 Ŧ 刑 論義 九月 平平 流 嚴 造レ 德 十三 記 世 Ż —担 佛寫 一慈濟 普 妙 日 煒

加之上 穆 菊」也 難于と 賛曰為、人遇,,于真 **平哉疑是** 可、貴太祖 爾 天子下庶 安公 大士遊 親事 法 人 皆以 來歟 孫 丽 法 干 師 甚 ·萬之中 且 敬 一難偶雖」値 レ之猾如言 受...真法 帷 權 此 佛陀 而 之隨 師 學 得 實師之德穆 仰 于明 三傳 之一如二蘭 燈祖 師 亦

第六祖眞璟和上傳

太祖 和 詳 尙 附 真 法 湯未 孫 于 m 學行 戒 聞 姓姓 律 為 與四國 師 拔 本 也 出 倦 于 人名 法 載 在 和 尙 世 之門 其 終未

第七祖戒勝和尚傳

綱,名有"律林,其終未、聞傳"法于喜高律師,和尚諱名" 戒勝,眞璟律師之高弟也 神性聰敏大張"戒

第八祖壽高和上傳壽或作之喜

、國授",律于增恩大德,云和尚壽高受",法于前和尚戒勝公,尤達,吾道,聲德鳴

第九祖增恩和上傳恩或作、思

未、知實戒門明匠也和上名增恩受,,律于壽高律師,後授,,之安談和尚,其終

第十祖安談和尚傳談或作。鎮

大律師,也和尚子足也 點點超邁後傳, 法子喜寬和尚安談者增恩和尚上足也 點點超邁後傳, 法子喜寬

第十一祖喜寬和上傳

為,,吾傳灯祖,奈,失,事跡,何,, 養曰自,具璟公,至,,寬大德,皆是律林翹楚僧海鯤鯨而受,,法于談公,為,, 戒門祖, 也後授,, 傳法於曆悰律師, 可,法于談公,為,, 戒門祖, 也後授,, 傳法於曆悰律師,

道靜仁階眞空三大和上傳

道研精殊善", 戒律, 附", 法仁階, 階公儀貌魁梧志行端和尚道靜為"豐安僧正之上足, 寶如寶僧都之法孫也修

以"此道,震"扶桑州,矣不"招提,能支",祖道,授",律于真空律師,空公俊英偉潔依"靜律師,親嗣"其法,始住"戒壇院,昌以、律鳴後

施総尊叡二和尚傳

于尊叡-叡又多才而能弘"此道;云和上施総義靜之徒也好"於律學, 名鳴" 京師,授"與法

明哲和上傳

下,和上明哲吾律門中眞明哲也本出,于唐律師義靜之門

隆紹實義願盛三和上傳

秀。他以"戒律旨,名有"于時,實義,義公敏英超、倫受"得此道,傳"付願盛,盛又才智實義,義公敏英超、倫受"得此道,傳"付願盛,盛又才智和上隆紹義老人之門資於"吾宗門,通"奧義,也傳"法

清福豐亮觀澄三和上傳

和上清福

義靜之徒也振

| 聲戒林|

傳二其律法一流二之豐

有"英才,廣達"其旨,布"法于世, 與之律師觀澄

昌禪壽延二和尚傳

家鸞鳳也延殊一 代魁 才與"安僧正,能令"此教不。墮和尚昌禪及壽延幷出"如寶律師之門,也實法門龍虎吾

招

律

篇

\地也未\聞,,行業之具,是余恨而已矣

圓勝豐翼安康三和上傳

燈祖 康 過 也疑然國 和 二百餘年 尙 康亦俊秀人即豐翼公徒 從上靜公 圓 一而英偉魁傑之士也厥事跡吾求、之不、得 勝豐安徒也為三如寶僧 附 師 一理朝且 三法豐翼 記 日 |以下至||康公| 之諸 從 此等祖 經二十四世 -卽 勝 公徒 111 翼亦 已來至: 範律師 都 惣不」知。住持人名云 法 孫 師 世哲 皆以 而 於三 一人也授"法安 為 吾教 質耐い 星霜 當 Ш H 恨 傳 R

人也豈复斷 史等中 有二水流 當り知り不り 、寺邪貴賤未、融寺有必人有是世當理歟〕以、是推、 事必依と人 其名行 如何 論 于此一或悲或 有〉客問〉予曰自〉是至〉範 ·人成故可、知必有,其人,也[況亦多記,招提事,若都無、人云何有、 不一記二子世一人名難一知雖一然習 一乎客曰水者何乎予曰戒也客曰 日不と 絕顯然也且 有 流水平尤足、為 忽忘然幾度投入筆然觀 Ē 夫範公好相以、筧流、 一何為其然乎予曰 百 阴 餘 據 年 が無、人 豊 有 有、事已是有、事 學不と絕 1 筧者 編』於斯傳 也嗟夫 國 其 師 間 水豈筧 日傳通 何 加 定文又國 人能 乎予 流 滅 紙記 - 句: 絕 之 歟 E

無 謂 來下 ▷謂:|中興祖|邪予曰絕有:|二種 廣行,世夫豈非,中祖 如等皆以清律 受戒義 法, 也客目 、絕也祖豈獨漏邪然作法不、明故中祖憂、之再 者 持戒」何乎中 井形像前受: 法律衰清 何對」之乎何况持戒者絕故客曰律夫以、戒為、基豈謂。 中祖之與與 息:: 大愁 ル道 預"別受法」中祖以"自誓法」與 破戒 何遣疑鈔日南 戒 道 讚與一絕律一言似一相違一子曰是禁德言故惣謂之 而未以絕邪如何予曰未以必悉絕 未、引、人也爱以不、絕是有、人之謂 也客 - 學..天下.爾以 濁混濫放尚如二子先言絕一也客曰 耳 極 其時皆 日 樂性 ·祖用: 客が真り 若無」之則可以用,自誓,也然千里內已有, 得戒一 廢之與歟予曰 **梵網經云若千里內**無 都七寺皆悉登壇受具自、昔至、今都 也以 師受..東大擅.等其比 爾乎否予日 自誓, 哉予曰中祖先登壇受戒所以 也謹案,此意,謂有,能 . 疑矣客目 之與與」廢之與一乎客 ン故中祖自誓受後行 何疑」之况復藏俊覺憲真慶戒 唯々 調 爾也所謂 善哉 ン律然則 爾山溶曰 斷 『能授〉戒師 雖 一個有 與以廢也客 行||羯磨法|作| 別受正傳絕否 然 也於と 泉涌花公登山 一然何又天 其濁何哉予 :"別受法|而 日自誓法 授師 不 行言自誓 事子 白然則 絕豈有 一得一佛 -則

嗚呼其

中世無人數痛

哉

葉也 ν論||機絶||持ν飛習>律者縦無||師承|| 又即吾太祖實後 >之則似、絕而不、絕繩々如、 縷焉况又律者夫以, 予日 乎客聿生!疑冰,自、論,戲事,寧就,若干勤,矣 斷絕後有、汲,,戒水, 者是即吾祖末徒也所以云何 水者皆是吾太祖律海殘流也何况不、絕夫賛然也 入中祖之深淵 切戒律,物為,一宗,豈非,豐安僧正之言,邪假 1先有 ||筧水||相續 "師承」不、學不、行全非"吾太祖之末流 | 其筧水者源出 | 于吾太祖律海 | 也卒見 流 一憲俊慶如之法川一後又流 也客 只自 其戒 使實 大小 故然 爲

記 戒本,也以,是思,之為,,載流, 明然今汝指,, 如寶豐安 吾今胡拒」之邪然今所、傅宜、從,三傳,捨、一取、何必 有、並、之故吾尊、德記,其次第, 况又古多稱, 第五祖 後未、有、若、安若有、如、安告、我我將直記安德大也誰 記,有,,範及傳受老德之言,謂吾昔少時隨,戒光及,學, 之流幷絕,,人名,其中以,誰為,,今流, 邪予曾披,,覽古 又論曰夫吾太祖及"入滅期"命" 法載義靜如寶三大和 用,, 三傳, 所以云何於,, 有、別乎故予置,,安公次於載公徒,也又以,,安公,置,,璟 ||相承次||此義如何謂如||汝所存||吾復如\此然載公 一付1屬吾招提之衆務一其義顯然可、見、之也然中世 何傳 流 皆吾太祖律 海 味 何

也

于三傳,為,今傳通,也猶具顯,于下卷傳灯宗派之圖 誰 正一扶桑國裡潤,其法雨,夫僧正也名譽籍々受性温々 篇,并載,此篇,伏嘆中世不、記,人名,故難、决、之然 所謂三傳合用不」可以依以一子故以,,三師徒 人名,於,載流通,連々乎也問思知,之自有,理在,上來 公徒一篇連一續傳燈一不過一之也於一寶傳流一未之失一 置"璟之徒」甚哉汝於、情也子論未、盡予安公次連" 載 公上,從、古以、安謂,,五 流派,安公後連二載流,今且啻據 于人世, 慶蒙, 天恩, 時預, 論 五世間,其名,耳為,寶遺法,落々乎也然安公之德甲 有、齊、肩傳灯祖師非二安公一而誰 載流 何煩亂,傳流,以、安立、傳則可、置,其徒,不、然 <u></u> ||於十世|知>名久如 世一故就為馬五世一更有論 師。忝為。帝師 為二 静傳燈一 然傳 一耳汎謂」之則會 流非 一不」記 1別 | 官轉| 僧 或四 其義明 各有 世或

レ人故為 ! 傳戒祖 和尚 唇悰 喜寛律 祖 曆悰和上傳 師之門人也 - 也

傳

一法于雲茂律師

一題悟

甲

和 倘 雲茂種性 第十三祖 逸 雲茂和 群遊!心於毘尼! Ŀ 傳

三百六十一

從

唇悰公

嗣

篇

招

與,,之戒光大律師,

第十四祖戒光和尚傳

之某等 賛曰此三大德實律家明 和 間,吾得,此三人,誠如,貧人得,寶叉語中得,燈也豈是 E 戒光受性敏 律授 利 | 議量超 | 群受 戒其 燈也祖門珍寶也當戶 、終末」詳 一戒 焉 于雲茂律 絕 師 人名 又傳

非

1.律家明燈祖門珍寶

邪

採、筆 レ断所以云何合言 經二一百七十八年 毫 者之得以心然觀國 然吾頃年偶 論 百五十年 也有! 知…其名 不以論:前論:恐 人微也恐有以關 之不り E 未、視明也 l前論 亩 絕綿々爱容、疑 記 何云,,不知 已謂中世 鳴 .視,,古書中記,,此三名,予於, 茲喜不,,自 呼 以不 事事 平唯々然雖二少嗣 吾 其 殘廿八年, 其間有" 一取意。其間 得 濫 レ記故 不少知,人名 人々為二五 師未、見、 "斯人」譬如"矮人之獲」起又如"渴 - 乎謂 也故待。此 乎然安不」謂: |而自,, 承平元, 至,,大仁元,已 前論者 為,唯三人,歷、歲 之乎公若看以 十壽二三五郎 觀公所、嘆余又與、之 然此三人已有 於,其傳律,彷彿 老德 前論 吾判 也推レ之計 之喜 擇之 而 有、兹邪 五合 久如 記 之而 也 勝 不 其

傳律不い紀弁

其

何

直

不>連二其人名

而

煩

先論

本- 誠至人也今時

人也温

飽食尚不り

誦

一戒

本田

- 者多亦

賛曰嗚呼老德何人乎

池温衣飽 飛月墮

地自

趾

明

常

戒

繼絕 是吾大恐而 師 之正說 後連二二 作,此書 | 今補"前論之嘆' 吾今得"斯三祖| 也所"以 師及老德等-邪子 也 論 未 蓝 前 論 是 依 觀

第十五祖一般老德傳

其規則 相偕進 也範聞 山鳥聒 耄松垂 叉日 好相 老德 顧 又號,,秃丁, 也余取,,其一, ン其歸,,中河寺, 昌唱,,吾教, 乎真公影堂在:何處 範一常嘆/滅 . 斷, 于今, 師之功力豈不、偉哉 阿傍 会雖、不、全…道儀一少時 |也範不」耐」於而任"神夢,尋入"招提 未以詳॥其名一故 有二一 12 ||登影堂||於||太祖前||親授|||戒印 レ之生に難い遭 々百草芋々看無一人有一殿堂朽破無」 範親受」之自不」堪」 虚 成…狐窟一範情思 レ律入:春日宮 僧 追、牛畊、田範 想,請、受,戒傳,老德着、 或稱:招提 - 乎老德答曰 二請:其 呼,之耳某年間有,大德實 也由と 曾 喜慇懃謝禮 古感 人其終 問 殘 依"戒光和上,聽"戒 三老德 感通 太祖影堂在,其處 僧 未ン詳 是律教燈 今涕淚 或 於 呼二 日寺無,此 揖 師資相一 期滿 - 範已入>寺 忍言 别 R 衣誘 般老 巾範 相 歸 日|得 N 耳 續 去從 調 丘 -也

、然何能如、此實奇矣哉、然何能如、此實奇矣哉 疑是其一老德恐化人歟不妄乎哉余倩想,,範丞之戒傳,, 掌非,, 人世之事, 也春日託

第十六祖實範律師傳

神託 唯識 律 勤究, 奈、無, 師傳, 因、是詣, 春日社, 期, 七晝夜, 慇祈 溢,子智中,淵々諄々一日自思戒貴,師承,為、本吾雖, 竭、意披、閱律書,以、之為、業緣、之四 幽微一又謁,諸宿老,既博,群宗,然嘆,律教弗 大悅乃竭、底授焉又依,横川明賢公,學,止觀旨 覺公 河 問寺中縣 寤後以為是好相明旦至,,招提,見,,殿宇荒廢緇徒寥落 度冲深神 于 求法人來,若等當、拂,擅場塵,以,其日,果範公至覺公 一殘僧畊…于田 戒光和 師實範京城人也姓藤原氏諫議太夫顯實第四子也智 -洞三明底 1期滿之夜夢自,,招提,以,,銅筧, 用 北比丘 上,師大喜遂就 高 席 蘊 出、池矯二首水面 爽少而 師 |邪僧曰我雖||不敏||曩曾聽|| 一後入,,醍醐,從,,嚴覺公,禀,,於密敎 四來學徒雲臨 近問日太祖影堂何在僧指 出,父母之家,投,與福寺,習,學 "影堂」乞為" 海 因召、徒曰今日必有, 涌 通1 淨水于中川 初 律五論三大五部 師 在 尋歸= 四分戒本 其處 與夙夜 二而通: 山 亦

此言 不」信 老德 誓,故約、通自誓得戒然今範公嘆、無,別受戒傳 要義七卷 羽皇帝詔、師修,,秘密法 徒不、召到集士女不、求來歸恰如,水流風艸 與律法漸盛一寺碩德如,藏俊公,隨以 行等卅八人登壇受具常張, 律席, 屢度, 群迷, 七衆競 於二戒壇 修"理伽藍'盛說"律教'於'斯律徒來聚更復" 古春,又 因 仙之發勅豈非乎哉且知如來深 彼不ゝ知邪春日神宮埀,跡吾 侶唯迷。一片理、未、知、一片理、而浪疑。 子範公得戒、 神夢|隨||一殘僧|親得||戒印||奇哉銅筧好相異哉 替曰受具軌則大約有、二乃通與、別也謂律未と 爾陀法于嚴覺公一覺曰於二生死之縛 曰:根本 生名律請察〉之也 ン採 可以貴吾佛遣。使乎 |嗚咽涕泣也後移||居於光明山||終焉甞述||于大經 二範之戒傳 が華 成 一院,與二行登壇受具之規則 一解脫慶公甚稱>之也又記:戒壇式:云 |身院||後亦入||招提 至"中 - 者嫌: 神託 川.見. 可以仰…高德之深志,矣然後學僧 一前,其叡 境物靈 佛 歟若斯神託虛妄則吾金 R 也疑 永久四 願一云師 内證親在と 乃奏」官建 - 日五年三月行尊覺 -法性蓮華生師聞: 師受、戒學、律律 銅筧之好相一而 「年奏! 於 也某年鳥 : 醍醐: 受: 茲歟祇後 一于鳳 伽 許自 藍 號

第十七祖藏俊贈僧正傳

底,道價日高四衆依仰如,覺憲公,隨、師受、學云深究,,蘊與,普天無、比依,實範公,做,戒律旨,而徹,其僧正諱藏俊住,于與福菩提院,大振,學道,於,法相敎,

第十八祖覺憲僧正傳

以,,戒律教,付,,授真慶律師, 學,,戒律,銳,,精律部,,妙入,,深義,建久六年慶,,東大寺, 學,,戒律,銳,,精律部,,妙入,,深義,建久六年慶,,東大寺, 超,,出群倫,幼而入,,與福寺,從, 藏後公,聽,,唯識教, 稅,出群倫,幼而入,,與福寺,從, 藏後公,聽,,唯識教, 稅

第十九祖貞慶律師傳

學律者廿員 就:|于與福:別建: 黑白四至甞與"明慧辨公, 友善辨吾邦中 、記為,最勝講匠,又為,帝之落慶導師,由、是嘉聲遐 師 習,慈恩教,莫、不,洞達,又從,覺公,傳,受律 應保二年入,與福寺,時齡八歲相尋薙染依, 覺憲公 生于久壽二年,即覺憲僧正之甥也明敏 律師貞慶又號,解脫,北京人也尚書左丞貞憲之息 一本來好,其宗風,於、弦淬礪罔、怠終通,持犯,某問 日啓,律席 一院一號二常喜院 一吾中祖亦入: 其數 - 為: 律學場 發都是絕 與偉器也 也建仁三 部又律 一乃集 又 쨪

> 論義云 焉 厥 報算五十九門人甚多其中有,慈心公 之美頗極,, 幽絕, 更不、顧、世師初登, 于太祖影堂, 昇座 賀玄賓之風,壽永二年終入,,笠置山, 剏,, 置草菴 會,至、今凡五百年末,曾斷絕,也性不、望,浮華,好,增 \會歸,,命金骨, 緇白來詣如, 雲水, 然爱以世稱, 之大 佛會一个三 年於"吾招提」補"一僧坊"為"一 Ш 坊」也師 一建曆三年三月三日於 群生結二善緣 殊常恒嘆、不、起、律幢、 為レ 之和 海住山 道場 州諸寺諸 老宿坊,安然化去 | 又學| 師風| 住| 而自深盡 開二於釋迦 Ш 話が 山山泉

第二十祖戒如律師傳

賢之梵網古迹:云 野之梵網古迹:云 野之梵網古迹:云 野之梵網古迹:云 野之梵網古迹:云 野之梵網古迹:云 野之梵網古迹:云 野之梵網古迹:云 野之梵網古迹:云 野之梵網古迹:云

賛曰 支...吾 余 志也但是微載,其傳 今頗闕 俊及如公之四 道一个公至一中 其事跡 一若他家人詳考,,行狀,記,其全傳 師 祖,其功不,少然本為 皆是唯識大 有,傳律功 匠 故實是相家大匠 m 明: 戒律旨 "他家之祖 _ 則 能 放

招提千歲傳記卷上之二

傳律篇

菩薩諱覺盛字稱,學律,亦自號,寫情,和州服鄉人也姓 、是衆人皆指目貞應二年夏初安,居於常喜院,專學,律 數,時年廿歲也齡雖,最少, 慧觀絕、倫曾無, 集,秀倫廿人於常喜院,專合、智,學律教,師亦隨, 與一建曆二年解脫講師為」與一律擇人人如一沙中掬」金乃 分陰不"空過」依√是唯識俱含諸典研, 磨之一究, 其深 金善法師一途圓頂脫一俗服 相偉嚴聰穎超倫方八歲便奇然有。超塵之志,師,事與福 氏未、詳降, 誕子建久四年, 其日奇瑞太多人皆性、之骨 唱,法道,聲名昭々乃天下明俊師往依焉學,雜華敎 藏|偏瑩 之諱字,而輙蠖曰異時成,照世大明燈,者必此乎也於 日慶公介, 徒某書, 廿員之諱字,公披, 閱之, "其玄津 |終以"律法未 |發與 第廿一世中與第大悲菩薩傳 一戒珠 | 矣時明惠辨公居|| 于山城州高山寺| 盛 | 畫修|| 練學業| 夜趺坐習觀 1為、恨乃隨 知足戒 相並一 自爪 師

招提千歲傳記卷上之二 傳律篇

招

事/師 當,此 華堂一嚴 約 下 感:瑞 が歸 戒以果:本願 酷 公 院 與"尊公一進具師子」時四十又四矣樹" 律幢於與 受"近事戒"次 如一張、綿鋪 表於常喜院 則七衆各得戒 日日 輔其道化 緇素老若靡然何以化若下大旱之望,雲霓,嬰兒之慕。 尊大喜飛い場而 金 時一岩二信 應一又降一蓮 口 「果而不」爽」慶公之記」 藹然有」 青藍冷冰之譽 暫不と 據二占察瑜 主律 二飾道場一稿二 | 自\是勵| 興律之志| 益切喜禎元年講| 表無 風 戸繍秋九月朔 - 叡尊等為: 之聽徒- 明年師意謂當自誓受 雨暴起師 - 時尊在...生馬 怠吾家諸典悉該通焉 줆 日納:息慈戒 一曆仁元年冬十月廿八日 一锅 願逼廻心空一號為二一時鸞鳳一咸集三會 成 磨 |華於天||或翻||々空中||或墮 為 |至師與\尊乃圓晴有嚴三公同於||法 :其性 傍有:思圓尊公 |伽所說||以|| 自受羯磨||禀||受戒法 = 自 - 明日 休三一 新好相 任 《依:大乘三聚通受法,各自 行四 - 如公當代律範也於 这嚴 社,忽值:一僧,談及 一鍊二學律教-一三日晴嚴二公登具四 師以"慈氏尊」奉 分布 陸 日詣!! 長谷寺 尊公結:界西 師昇座 師乃遣 一偶謁二神 |地上|恰 、之乃 - 律門 使促 福 戒 H 一路 師 誓 寒

泣落淚 帝釋 Ш 寫 充₁滿 辭 行"布薩|故十六應眞遣\我隨喜又曰雖"比丘僧旣備| 裳偉麗比丘效圓進」前問曰卿為」誰邪曰 有"金光一 行, 梵網布薩一師昇座說戒布薩畢率> 聚...衆侶四十六人.開.. 舍利會於講堂 揚江之道赫然大振 四方學者競來嚮> 之夏四月十四 佛會,以為,永式,二年春二月瑞 卷 侯,同受者衆矣寬 福皇帝聞::師 」他不」意今日預,此勝會,如」法行,布薩 未、有...比 妙蓮經 林,次行,四 一造、塔納、之其歲三月十八日於"服寺一啓"釋迦大念 衆歸 也覺盛師發,无上菩提心 而 淨,私念戒 二古鄉 ·中·忽教圓轉>男成>女一衆無>不,, 駭嘆, 圓即 丘尼 不 及四分梵網大 道,從,坊之西 耳仁治 道化, 韶入"大内"受"井戒"至"于后妃公 已後尊公問:其 - 勉...其姊某.. 出家名曰...信如 一我先以一爾為。尼言訖隱矣時香氣欝勃 分布薩 元元年於,常喜院安居坊,手如、法書, 根不二清淨一而妄 元年春講, 梵網, 忍性等預聽其年天 一請,思圓尊公 一起光中有:神 乘百 放 法論陀羅 與二已紀之律藏一 - 師云我甞作= ..世于招提大寺 唱:"如\是言:自 衆集,于三聚坊 而分二說戒一翌日 梵明伶樂聲震: 人,長一 尼心經等若干 我是卅三天主 故悲喜交集 師更勸言 布 丈餘冠 如法 薩 欺 H

酬

= 其洪恩

生馬

日之忌辰,

囙

戒法 夢師告〉之曰吾化, 生補陀落山, 首,,于千僧, 大度, 誓一十大願一也未是鬼來者師滅後三年玄歲也四大尊律師 撰集, 也又製, 招提三時勤行之式, 大衆日以範, 之甞 菩薩戒宗要文集一卷井戒通別二受抄一卷井戒通受遣 律玄也又法性寺道家藤公隨、師受戒取,弟子禮,屢問, 嘆」矣後醍醐帝遐聞,師之德望,元德三年秋諡賜,大悲 生一分知同 蓮等一十五人各闡"化 刻而聽: 平明三下之鐘: 也遠近緇 戒學大安本性 | 尊崇甚厚師附以、法云所、著有"表無表文集七卷 卷一行一于世一又釋迦十二禮七佛略戒經幷師 .侶.則可也尊夢覺見.禪窓,青天曉月皎 五智 一方,而紹,師 乘 心極樂賢明往 住 素聞 生入 招提 知莫不 阿 一者 白 即圓 |毫思 所 異 群

難」遇

未、幾歸二招提

四

招提 闡

- 更建: 別院

丘尼戒

一如開

于正法尼寺,昌弘,毘尼,

…師及尊公,進具三年秋九月欲,以,白四

十六應與於

舍

利殿

#

一即於三如

來真身

(舍利前,授;大比

自後正法法

羯磨,為:諸徒 等之尼衆皆依

扇...大古真風,實恩大哉故仰...於吾朝戒宗中與第 邦,始弘, 毘尼教, 令, 此邊地下凡, 而智, 彼大仙威儀 贊曰物發必有:,中廢,若不:,中與,則定斷古曰五百年必 加之垂, 生吾國一 天福 正五百 1. 此言實哉吾高祖眞大師天平 明世 春秋, 吾法既廢于 天帝 灑" 甘露於將 來贊轉 一神で 孤 发大悲薩埵超然而 岸 枯分二此大地 - 異僧敬仰彼芝 聖代 來 人再 至此 祖

如孤 乎嗚呼區 顧 支,前山,與,日 Ħ 祖 報二于厥洪 [華 異] 所 **尊公之夢** 謂 **墨野鶴** 牛 而 々小子奚夫所 弘 린 毘 其 無所留礙 恐師 月一年、光近比、靈芝一與一龍 ·戒業也如\ 雪其慧解也 尼 三矣 一死歸二安養 是 真公再來軟 一稱養 一聲巷燁 一哉然存...千 師 亦傚 不少 K 鳴二扶桑間 爾何能 ン之歟 如以氷飄然天性 百於 虎論 但 至 是故遠 西 三于此-ジ威伏 邦 與

第廿二世中與第圓 律 玄和 尚 傳

恩

illi

戒於 勝 年 下 建長元年 U 111 性 和 羯 道價欝跂 即往拜,,足下,為,弟子,智解 為 不 尙 師 字圓律 ジ貫三 與福寺常喜院,次受, 具足戒于松院 レ凡幼離 月訪!與 如湯 法社 數 文永七 感嘆涕泣 中祖 律 通群宗,而以,戒教,爲、業同侶 得以人寬元年 諱 杯 展赴以泉河三年初冬受1 世世 年四 正井之病 示以滅 證 傾 挹師 玄未と 間一着二法 去興 月初六招提金殿及 師親 恒 詳氏 正滅後諸徒行二分物法一師 海二暢 時算公 間於…家原寺」依 受命紹二子本山 太一後聞二 族 日增嘉 律 為:諸 鄉 敘 里 具足 訓誨 徒 頑三年秋受, 息慈 大悲 一嗣 右夾侍千手尊容 ···別受法·進 遺言 灌 一井高德 法大 官務 皆推: 緇 其歲 頂 聞二 悲井 《十八歲 正 由 重之一 為秉 博 厥言 應 識 具 氣

眼法,請 叉五 應初 五. 說 年 黑白 人極 爲二當山 衆十有二人為"受者」也 之門人多登壇隨、師受具同八年三月廿一 餘 m 月朔初 行"尼別受戒」西大與 為過期磨己 十六日以;;白四 修 功於其七年某月, 其年再興。 修= 化 年 口 = 四 輔 一群聚 法會 多 國 實 已 分梵網戒 又開 舍利會 弘長 理講 成 一月初 正應五年八 行义之弘法利生其功 為二其首 新建二年尼藏院一 戒 光臺寺 大方丈,也 間、計無、不!! 慨 戒 」勝順 卽 惠、教圓禪等若干人其 堂 重 八金堂左 擅實相上人為"大導 行 「寂禪等若干人為」之受者,此時西大圓公 「法,為」衆授」、戒師為。和上,「西大圓上人 月,其年再興, 戒擅,其九月十四十五及 也 始 大 - 者卽道御廣、勝順 理性老 同六 會 月十四日也俗齡七十有三法臘 同四年再建 功初 一夾侍昭 正 年再 屈 始 和上,以為,唱導,學律 井為 同十年再 = 請 春 嘆|治||招提衆侶 補 江其十一 已終不公欲,世住一 干 璃 東室 一羯磨 初 僧 二湯屋院 光 一餘緇 師 春 梵 造 佛 性 師 始:手 月 一、勤 - 僧 像 三年 師 唄 素預 高,答法,正 終:功孟夏 成 修 為 伎樂響 性 厠 四 師 三児願 同 於 補 四十三 + 其 日於= 月 母滅 四 共 功 戒 功成 月月功 四 成 JE. 於 法 寂 -建治元 日 僧 云 五. 戒壇 四 年 一安然 是即 一弘安 畢 法 , 畢 Ŧi. 兩 隣 尼 日

戒之隙修,造伽藍,數字也 道風 」堪、數、之也 願而全,也 識者謂 黑白依 師 之秉持 一未、聞若、師 歸 不" 翅百川朝" 乎大海」 師生 方今第 弘.揚宗教 也紹= 行,別受法,于、爾再登,成壇,而行,中祖在世時未、熟乎於,泉之家原, 乃父之位 聲名高 席 平說 法授 大振 故

悲祖師 父. 乎 贊曰或云能知以子者 譽在"于緇素間一一時英衲靡、不"從、之遊、焉以、之大 網,而化,送徒,加之治,于群衆,再,與大藍,故善 命、師令、紹,本山之大匠 不:爾父, 也玄師紹; 父之席, 大 一誠是非二 知シ子不…爾

和

尚

傳

大導 堂佛世尊大 尼衆二百餘人此日相,當玄師四七諱辰,也永仁二年金 老和 祝三玄師 席, 其年講堂慈氏形像再治功成其九月十二日更開 和尚字勝順 > 斯譽日 尚 師 第 之上 十三世中與第順 請::于三寶院證達公.為::児願 第三年大祥諱辰 請, 于西大和尚慈道公, 起矣其正應五 III 供,請,,忍性公,為,, 唱導師 足 真性諱 像再補已成其 也 洞 也姓氏未、詳又不、知"何許 二貫尸羅藏 年八月玄老和 性和 八月十四日 尚 幽 微 傳 英秀卓:絕時 師 尚化 為 - 僧衆四百餘員 又屈 一開眼 去師繼 人 二請學律 供 世 證 為二 大 一於 兼 厰 立

> 講堂 七衆 徒 贊云玄和尚之徒玉: 振,,乃父之風,善哉此人矣 元曆三月十四日,終"功其七月七日,其日 示、病而寂計" 世壽 " 六十叉九僧臘若干夏實嘉元二 一月初 衆 |者幢々不、絕凡司,|於招提衆首,春秋一十三廻暗 7 一也門人甚多云又再,治太祖影殿 |敷毘尼諸章| 由 員 illi 縫 法 立當時 衣 了是東 千帖 師為二 南西 施典 其首-一貫傳 皆聞,其名,集 其大衆 矣恒 上棟云 肇: 手乾元 心 為 m

常 於"靈山院"禀"兩部密教 菅原寺,如法繕 、之至…志學比, 圓頂於, 東大, 受, 息慈戒, 十八歲入, 領 | 棄 | 于東大寺之側 | 有 | 梅本公 | 詣 | 春 降 部一 和 探"索玄微| 兼遊 招提,受"具戒於圓律玄和尚,尋親附習"大小戒律,終 以二百日,爲、期期滿感二靈夢,其婦途有 ·噗、不、值、母詣...上宮太子夢殿...至心祈禱太子託...小 | 誕甫三歳父喪母寡不」能」字乃書|| 郷里氏族於其 尚名道御 字修廣父姓大鳥氏伊州之人後居! 故師產,, 于此鄉, 父名廣 第廿四世四世道御廣 ||寫妙蓮經||以追||先考之冥福||是歲 :法隆寺 - 涉 依、之嘉聲遠播學人戀慕師 元甞詣! 春 法華勝 鬘維 日 日 レ妊貞應 神祠 官,得而養 摩等經 和州 亦 往二

篇

招

之遺跡 年 像一師 念觀 士靈蹟 凉院 終而 居! が師 冥報 | 又就 | 京兆清凉寺 像今尚存二于法金 於」是親子相 走休二于樹 乃知是大悲應現 僧,告、師曰 凡 會 師 童 衆滿 也於と 一盖寺 不レ勝 北 合、紹.其位,師 E 復始故 音大士 一開,念佛會,來者益盛屢詣,愛岩山,山是地藏大 賜"圓覺上人之號」弘安己卯二年三月於" 洛天安寺 恒念〉之云嘉 汝欲太滿 一得,伏藏,乃建,寺於其 師 二十萬1則 茲道 既百廢 下一其邊 可性 薩埵神力必陰助,, 尋 母眼 遇悲喜交集然以: 母眼 俗 人稱:十萬上人,德風遠響,于天聽,建治 新 - 盛 師 群 去 也 為設 忽然 |剛院||途與\母 聚以 二幡列, 尋、之卽遇」矣言訖惟然不、見 屈 願 再...與之. 應い請 元年 有"一盲 卽 - 須 京京 大齊 如义教往 法道 明朗見聞 至,耕 ·間本 一創:地 兆法 而乃讓二之法弟 唱二 嫗 爲二 也 Ш 者息 金 發願 融通念 應長 省 藏 彼道 地一大作…佛 師怪問: 剛 共同歸 緇素莫 務性和 レ母之願 院 院一大建二融 廻向嚴:淨 レ来織者 方之大藍, 時弘安五 元年 喪 一安…奉地藏聖德 過 佛 其旅里 二古鄉一於二先考 南 -以 弗...威 明為、無 九 算公 Ŀ 野 投 事 化 月 示 量度四 一十九 寂 日 通大念佛 動一焉 時値と 一乃母 嵯 有 - 如」是 增二進 万新! 前 ılı 嘅 H 衆 來 語 雨 異 其 也

> | 屋関世 院峨山 萬人故世俗以,,百萬,爲,名也 當於:1壬生寺₁又啓:1大念佛會 坐念 佛 地藏院及法幢三昧寺」師 m 化容 叉九 貌紅 僧 潤 福 猶 七十 如 有 生 也所化四部弟子凡七十 也 其 平生所、造 時 徒 異香滿 侶 樹 塔 **一**伽藍二 室室 于 瑞 法 一十所 雲覆 金

賓子也 未,至 於レ 公除 於佛 是以知道者深怖、之圓 堅戒 贊曰此赞未凡人無始以來至,於今日,不之知之經, 皆有,生々父母,但轉、生改、形不,復相識 | 矣生々必有||父母| 有||父母| 必隨\業流轉 感有 神 不上許:一般生一懼其害及 1.母病1歲與明1.母眼1以、是計、之時 誠 慇懃求、母 也 誠必通如 浮應 鼓 奉》佛者 果而 思之之乎嗚呼孝哉覺公實吾祖門中 遇レ 覺上人憂:愁不遇 母 1多生之父母 也豈不以爾乎 如: 水應,月但无. 且 至 母 眼 異事 得以 - 耳是故 毎祈言 放六 同 明當時 夫佛 其感. 加護 吾佛 幾許 道 响 勒

治 學道 和 世 尚 车 中有 字勒 日於 一大、於川毘 第 # 性 Fi. 講堂功成之大會 戒 世 諱尋算證玄和 壇 五中 - 玄和上行-尼受戒 尼,盡,于无 世第 性 算 尙 和 盡 師 明 尙 人也 為一明 倦 傳 K 終 師 名 匠 弘安八年三月 聲 進 為 昭 **尊證** 大僧 着 于時 - 嘉元年 凝 建

二月佛涅 間 法 兄圓 覺 槃日安然而 Ŀ 一人親 命 滅亭. い師令 報齡 主 -本山 工其 有九門人厚作 二嘉 元四 年 德治曆

算何人乎修,,,智釋尊之大道,,而寂滅烏兎同,,於世尊,,嗟乎尊何人修,,,智釋尊之大道,,而寂滅烏兎同,,於世尊,,嗟乎尊何人

第十六世中與第了寂證和尚傳

年算後任,,招提官領,終未、考也本等後任,,招提官領,終未、考也,,進具專學,,律教,,持犯開進之旨靡、不,,精究,依、是門,進具專學,,律教,,持犯開進之旨靡、不,,精究,依、是門,進具專學,,律教,,持犯開進之旨靡、不,,精究,依、是門,進具專學,,律教,,持犯開進之旨靡、不,,精究,依、是和尚字了 寂諱 圓證本 天台宗之,碩德也走,, 圓律 上人和尚字了 寂諱 圓證本 天台宗之,碩德也走,, 圓律 上人和尚字了 寂諱 圓證本 天台宗之,碩德也走,, 圓律 上人

贊曰人預:佛 遠近五衆无、不…崇重,終未、聞、之 尼 和 尚信 一公學明,,諸宗,行清,,戒律 第十七世七世年季季和 沙"群宗"證和尚 乘其諱也字謂: 律受 八世中與第示觀然國 教 通:一宗義 化後繼二 一尚 術倫傳 師 圓律公之神 實法家偉器也 難况於 本寺住持一 傳 "群宗'邪 足也 故道聲藹 通 然今證 =練 to 里

\不\學\之兼及! 諸子百家之書! 無\不\涉\ 之其中殊 元年三月六日 務乘和 與一諸臣一聽」之才辨清發言與」理冥龍顏大悅四衆 國 西大慈真公寂 執,,弟子之禮,賜以,, 國師之美號, 又召,, 鳳闕, 講法帝 戀,,公之證度明敏,乃廻,,鳳輿子,,寺中,親受,,圓頓大戒 >是即知" 其種即觀公| 聞者生"奇異思|焉後宇田皇帝 種戒壇院邊- 眞問此何種乎曰華 嚴種也寤後念怪哉於 唱,,雜華毘尼兩宗,矣先,是西大慈真公夢,,善財童子植, 水,聽者如,稻麻竹葦,旣而嗣,照公席,居,于戒擅 者比」之建治二年開,講華嚴于東大大殿 研,,究毘尼雜華之兩宗,無,遺餘,也學行浩々孜々焉何 依"宗性僧正,聞"華嚴教,至"於唯識三論及教外旨,無 歲從,實相律師,受,具足戒,依,東大寺,以居出習,律 聞轉誦豈不ゝ有處乘,,願輪,來者,,乎至,,十八 正應四年講, 蓮經於和之金剛山寺, 聽徒雲蒸正和年 于吾第二和尚, 叉附, 眞言院中道公, 學, 台密二教, 數 師 諱凝然示 水之起 倘 物故 門人行一分物法 觀 **壑道化之聲播** 衆請、師師 風貌清 以其字也 氣敏提惣無雙也方三歲經書 豫州 卽 高橋藤氏子也誕 應 1師為秉二獨 於遐邇 之依、兹黑白來歸 1其妙辯如:流 磨。聿招提 天之英俊皆 嵗 出家冠 于仁治

招

篇

Ш 於東大寺一報齡八十有二僧夏六十又二樹, 塔于鷲峯 勤 園一十八所某年間住: 持室生山 云化度說法之間假 推 道 贊曰嘉禎年天我中祖出,,于律法衰殘秋, 忽然與,, 於此 漸廢自、師又盛故學,雜華,者以、師為,指南 餘卷書題恐、繁具不、載、之也元亨元年九月五日示、寂 之中者、師不、見,,一二也噫非,,善財之再來,而何哉 數七衆,又自著,書垂,於將來,巍々乎哉今古賢哲 史百家書,而通,貫幽微,且與,,營數字精藍,將誘 <u>一</u>國 々著述 , 所度弟子極多嗣法 上首十有二人矣吾朝 師忝 師 滿家所謂南 為 如二天 二法孫 龍夢相國 大弘 山教義章律宗瓊鑑章凡慮 "此教」加之博涉"群宗 師 ,隨、師受具云屢興,,建 -也 中世 化無 T. 一華嚴

第廿九

世中與第

禪戒惠和尚

傳

招提千歲傳記卷上之三

傳律篇

教授,也 "元德三年春三月上旬自欲,至,越之前州,建。明和上師爲"元德三年春三月上旬自欲,至,越之前州,建。 盛唱||毘尼|於〉是聲光曰顯高名在||緇素間||師宵 其講肆,元亨元年觀國師示寂師續,其席, 丕擧, 祖風, 群品, 嘉曆三年 仲夏講, 大賢古迹於招提, 照遠等望, 登:通別戒位 志懷恢厚神惠奇拔某歲從,,證玄和尚, 受,,尸羅妙經 和尚字禪戒覺惠其諱也未>知:何許人,又不>知:何 守」之恰如:眼目 > 兹申>官開, 於賓塔, 遂得, 六粒, 而到, 彼國 利1然今遠去奈何造營功成 立新善光寺, 于、時師嘆而曰吾常□恭,敬尊重當寺舍 宇,更為,,一方精藍,厥功 ·佛恩·兼導·迷徒·蜀華永德元年十二月廿日於,伏見卽成 功終旣歸,,招提,路中忽然見,,二禿人,師 一博達,大小毘尼法門,常開 一放六年中六粒分二滿六千粒 過一六歲 至、賦川歸哉 而成其間恭敬尊奉 人不、拜、之於 問 與,,建寺 一之日 師彌 擬下

論曰昔有,,哲人, 慇懃禱,,祈感,,得舍利, 及,,一七日, 未顧,其武論不,可,書數將戒公道德所感軟 設利羅古今為,,諸衆生,成,,大福田,者是如來大慈作用 √龕神在"左右,思"其應感,雖"上古人,多不、讓也且 贊曰感, 得舍利, 一粒 猶難况數粒乎師也何人實珠 >現又至,二七日,猶未>現亦延,二七日,則至,于此 善哉此古記何人筆記乎惜哉沒,其名,矣若無,此記,則唯口傳耳後 世恐疑、之幸得,此文,吾亦記、兹若不、記則定隱沒故煩述,數言 以,其三千粒,納,青瑠璃瓶,奉,安當山彌勒律院,也夫此所由世人 二千粒|納一子勢州淺間寶殿|其三千粒事感|得之|其餘五百粒寄| 取二信於後 所、知然尚為、敬、後生之疑網,記、之一紙、云 進其邊一矣又餘四百粒付,屬城州雞冠井室,所、殘百粒散,于諸方 移物變其寺斷絕其大檀那末孫松尾氏市尉定信數歲守、之茲終以二 亦為一邊地結終一以一其六千粒之佛舍利一體一千彼寺一為一靈寶一也 福智,再,興招提之影堂,又脩,補衆藍之崩倒,又專美,,禪戏德,將 -北.

滿 其

> 利羅 、爾子聽今人不上如二古人,精進勇猛,漸所無、感不、知一 戒公所、感又是不,一旦,其功及,六歲,漸次感、之于 」不…其容易,又顯,修者之勇猛,卒威,得之,何難有」之 精進奉持及,, 功六年, 何夫生、疑乎况又感應無,, 古今 乎難哉感、之然如: 戒公,令"六粒分; 滿六千粒,何乎 大悲利物隨宜應感以、言不、可、議、之 己之不精,却而爲、佛嗟呼惑哉古今頓感漸應皆是如來 異,如來大悲隨、時應、機古人如,至,三七日,蒙。國示 顆如、珠燦爛現,,子壇上,云古猶如、是况於、今

請,仰為,鎮守,厥佛舍利散,在諸方,古今號,招提舍 利,者是也吾慇求,師之事跡,不、得後學幸補、之焉

分散駄都記曰中世和州字多郡岩室庄崇福律寺主比丘信智報: 備

師威喜交集自,其崇,重於此

二神,歸,來本山,更為,勸

何人乎異人答曰氣伊氣多也為、護,佛骨,今現,于此

間 傳,,子當寺,云當時以,,毘尼瑜伽二門,指、師為、長某年 轍受,,之淨真、眞受,,之全賢, 賢受,,之稚海, 海受,,之一 部教,終通,其理,珠公本受,法于俊譽,譽受,之真轍 旣造,其與,又從,一子八幡善法律寺正願最珠公,受,兩 尚,受具與正菩薩為,羯磨,尋親,附玄和尚,聞,戒律旨 傳而至、師師即是松橋九世之的孫也從、是松橋之流永 海一海受"之元海」元海大僧都是松橋元祖也如、此九 真教, 弘安七年九月十四日於,,招提戒壇,從,,于證玄和 和尚諱慶圓字寂禪住,持城州與戶鄉與善律寺,盛唱, 住,室生山之主,建武元年春二月初二主,,于招提,師 第三十世中與第段禪圓律師傳

八僧夏 月十九 就、四入,,六波羅,然以 為三其 衣今尚存 道 74 時 海公等 於 招提之壇 方學士負、笈來者接、踵駕、肩 上首,也一 岩干 日於二三千駄都之竈前一修二子十種 有 1 於い弦 夏紹.其法.者 唇應四年六月十五日泊然 代行業未以詳 大 一下。 一授: 四分圓妙戒 森々 IE 幢 來者 然城 建 屹 武 補い焉 後醍醐帝厚崇,重 然 州草內十藏寺慶朝 元年 為二 而寂 初冬初一 都 供養 俗俗 曆應元年九 南 龄 之標 其 八十又 三寫二 中之 進

顯 法根本之靈地 離,此二途,永無 贊曰戒教是即入 然親如少對道 一豈非 馬 佛位 成佛 = 幸 之正 期 人 今 圓 路密法又即 公學 自 披 "此二教,而住"其二 覽公之殘書 身成 佛之直 筆下

公次為...吾山

大匠

深奥 主,也 和 尚字 第卅 慶圓 寂 心 世中與第 大老主務後師 譚 .覺疑進具之後習.. 學大小律 寂心 凝 住:其位: 和 尚 傳 敘 東關極 終盡二其 樂寺

和尚 後紹..於本 諱宗真字 第卅二 北 山 世 世中興第覺禪 衆首 十一甲第 了練 也 禪 T 磨 惠和 和 律 尙 尙 傳 傳 洞 明 其道 故疑公之

> 華院 者藹 老師 年道 和 日 行 尚 跡 海 諱 三分物法 第 々矣復文和四年 又其年 沿州四 紹二本寺律將一依と 公從,慶圓公,受,別受法 尋慧字覺禪 四世中與第圓 師師 十月三日 為東三獨 甞 潜 **宣了海和** 十月十七日 住一持 心律 是德風 磨 云師本出, 生于河內淨蓮 室生 尚 傳 震:城朝野,預:其法 于,時 傍涉 山 西大光曜 其 密密 終 師 教 未り知り之也 為 公寂 矣建 **拿**證 其 武 - 眞 元

和 武元年十月三日教圓律師 倘 圓 J 諱 重 海 早出, 生死之縳 受一別受法一師 速 え 卽 為一堂 身佛 達 法 位建

跡 和 Édi 尙 剱 為…吾寺律 第 智字號二花信 卅五世中與第花 將 一地 博 信智 通二律教」名重二一 和 倘 傳 時,重海 老人

後住 和 尚 字質空譚 第卅六世中與第 三持招提 排 源 秀學精二 戒門 名翼四 飛 劍智老公

空秀

和

尚

傳

和尚 後入二于本山 諱賢譽字靜忍精 卅七世中與第 一十八世郎 方式 公云 靜 忍譽和 通 毘 尼 尙 名德 傳 鳴一子 都 南 源 秀

老

第卅八

世

仙

圓

和

尙

傳

レ傅:行業 贊日覺疑 以來至: 圓老人, 皆是 :秋念佛大會唱導:云 律海猛 龍也可 い惜不

第卅九世十九世禪 海和 倘 傳

五年春二 勸誘終 律師一然公受二之中道律師一道公受二之憲染僧正一 衆一也終未、詳、之自一年尼藏律院」葬一送之一云其日行一 隨三子尋惠律師 才,建武元年十月三日於,本山戒壇,從, 和 大德心光為: 羯磨 律師等圓為 答法 并擅上衆匠者 通,,其究意,,會圓老人後一山之屈請已及,,再三,門徒之 公又傳:授之光臺寺之惠律 受,,四分即圓妙戒,、其壇場三師 七證皆一時律 分物法·衆僧有三三百廿九 地行本等也 尚字禪 月五日登三圓乘一 兩年 依 諱稱二道海 |尋設||大僧齋| 以||編衫及白布等| 施 一酌 ...兩部之瓶水- 惠公本受... 之道 >之永和年問題..于傳戒 生國姓氏未と 一實之壇一受一音衆度人作法 人1也 師一云終則於…顯 考」之也尤有 于慶圓和尚 和 尚位 密二教 範 三與其 也海 月然 也又

> 顯密之的 第四十世中與第心光猷 嗣 可、仰寺門法中之龍象此 和尚 傳 言不い誣

Ш 行:大法會: 師製表白白芥城縱盡廣大之利益無以 海公後任,, 本山首務, 恒啓,, 律講, 嘉慶二年九 和尚字心光諱良猷河內州人也某年出 縱平無邊 一高名負い 之有情悉度 時道海律師畜衆之時 ...生河內勝軍寺 師 月三日 羯磨

譽 為一答法一心光和 和尚字等圓諱稱,隆惠,永和中道海和 日顯也 第四十一世中则第等圓惠 尚歸寂一山請」師令」補,吾山主,故美 和 尚 傳

Ŀ

|行||畜衆法|師

第四十二世中與第本地宗和 尚 傳

生第五 空律 **教|名重||于世||文和三年為|| 招提綱維|| 也惠老和** 林 和 尋 相二續毘尼宗匠」明德三年正月晦日御舍利於小京都華御 尚 中興第五和上也後以,,其法,付,,于覺深律師,深者 師 諱 和尚 一學一瑜伽 理宗 本地 也師屢走...于室生山 北其字也 道而 即寫瓶空者 室生中興之開祖 通別滿 戒後研:磨律 一依二空律師一練二究密 部 隨三忍 尚

第四十三世中與第宗禪源和 尚傳

和 佝 字號二宗禪 一諱呼 三窮源 脫白進具後常 恒 習 練 毘

招

贊曰道深浩如、海禪心止,一境,三學究、

實業與一名能相

應乎甞心光和尚

讚

師言

可レ

代 趣

津顯 日

密緒が

當

蹲踞和 若干人 レ堂過 於二 之入院即文, 証得、不、記邪入院規則雖、不、及、記幸得,師 拈\香敷\座三|·禮具像 拜 那進三登金殿 尋 南門一留 邊 光 偶 尼 而受,,大衆拜賀,也從 本師 轉盛 入上寺大衆隨 一從二湯 本 條巷」則鳴 ш -.僧堂前-經 實 尊容 尚 師 其 虚 置 屋 時應永五 此 躡」履進…于山門 乘…玉輿 一乘輿于山 道 上卷,造,小比丘某,某為令,慰問 一然後經 一西轉 尙 位 本 |和尚之後| 如|[鴈行] 二講堂 住 于皷鐘」本末大衆整二 東面 车 知事 門邊 仲秋 寺 -持 金殿 一大衆群…立于階下一事終和尚下 是日 後 大 北 而立和尚拈、香展,尼師檀,三, 知 一過 初 德 容及 京 西 |本末大衆下||于庭上 一維那鳴」鈴徐 日 四 請 嵯 一西室東, 登,太祖之影堂 ...行透廊... 入... 牟尼方丈 岷 諸山之衆等拜謁問 也從,北京,出其隨從 網維三公迎: 師 地藏院 任 :吾官領 īm 正威 入...于山門 々前步和 名 鳴二 攝天神 -轉三乘 かり 出迎 北 東面 尚 一維 洛 趣 和 杰 磬

第四 + 四 世中 四與世第 禪 如 慧和 倘 傳

和尚 対刺 門 諱元惠字禪如初住 - 招提之綱 捧 振 持持 二祖道 佛 舍 維 利 一省隨 明 至三華 叨德三年 三道 持光 海和 御 所 為 |臺寺|為人見」崇長| Ŀ -智 親 受 認 事 職一其 密 帝 教旨 顏 年 此 Ė 一永和 月 時 大 晦 將 Ŧī. 尸 FI

> 軍 源 公 直 奏聞 in 被 ひ改 動 封 世 第源公後續:其 位 席

和 倘 字 第四 了 觀 + 重 五 世中與第 助 **以其**諱. 也精 觀 助 一戒律教 和 倘 傳

事 尚 誰 第四 源 一十六 智 字 世中 尊 六與 戒業清白助 尊真 智 和和 老人後 尙 傳 元惠公後治: 紹 吾 門 衆 務 吾衆

飛僧 請、師 和 西大,行,茶 廿六年孟冬 和尚字惠仁 步步叉 第四 (雨朦 為秉 百餘 Ť K 毘法 員其外行者淨人等亦多云 Ŧi. 諱賢惠長、學達、道 七世中與第三仁意和 羯磨 見聞緇素悉動 H 西大和 一或殘文日 雨 11: 天晴 尚英源 が肝云 尋有...分物法 口源公寂 、老人 應永年中 倘 其 傳 日大雨穿 時 寂 行 師 主源 乘 :分物 旣 金玉 而 石 招 歸 法 一寺入 師入! 提 相 衆 同

贊曰 律 身清 上從 謹 或 良猷老人 惠禪 邁倫 一下至...賢意上人.悉以 也 然物換星 移事跡皆滅予唯記 吾山律將或

名字 耳

年 漿 和 故 倘 月 字 第四 為 於一本 教 世 十八世中與第題 林 人 山 所 謂 三顯 喜尚 南 Ш 天性英俊 事鈔 也 林和 其 時 一從二其 尚 自 播 傳 同 揚 席 兎 律 - 者 初 風 如品温之受力 應永十七 至::其八

招

講二 為二講 答〉之論談合〉鉾辯如"懸河」師為"其正義」也師 大開二論 又其問餘暇從,初一日,至三八日,討,論律教,其期滿 講者宗如問者賢如其七 恐同人乎來者等」之補」之號,順一,也予考」之時相合 法 補 三身成道同時異時等之義,賢立,同時義,玉引,自在宮 法金剛院之主,仁上人寂師尋住,招提衆首,某年問再, 中 日 戒擅|云應永卅二年於||吾戒擅| 為|| 諸徒| 行|| 別受 成正覺已知足化身即下閻浮之所判文一而破、之賢亦 一論二於 |德音轟々鳴||于兩都| 其終未 \ 詳師從| 城州溫園重 角 |傳:眞言教| 轉)之授: 忠尋律師 | 焉 師一 Ш 筵一宗賢為二大講師 1 鈔 殘 戒 顯珠為,門者,次移,子華洛五位山雙丘寺 學一 戒圓忠尋等隨行聽」之其時冬十二月也 日祐照 日講師宗賢問者某人八日賢如 為二 以,義玉,為,問 講 師 戒圓 爲 天富宗蓋律師又 三問 者一而 者二二鳥 本為 論 日 記

敎 贊曰吾高 簇然深入 為 公其微 |律範||又少哉 祖初傳二南山 達二其與 女 宗以來扶桑國 一者落 々於戲若 一裡預 が師 其 博究 教 者簇

第四十九世中與第惠明宗和尚 傳

某律 尚 一字惠明 降 諱任宗某年斷髮染衣未、詳,氏 里 尼 一既 而 洞 明 其旨 名振二 族鄉里,從, 古都之間

> 釋院 為,休息所,大衆入,煽勒院,也安養宗尋律師 騰踏 が尚 滿,於見聞,須更如,是况於,末代,乎嗚呼奈 達嚫齋,後行,分衣法,西大元澄和尚為秉,羯磨 喪,也當,五七忌,召,請大衆三百四十人,行,大齋會幷 八年其間開,講席,由、是聲名頓高遠近欽、風諸方龍 戒,師爲"其證,正長元年任"招提主,師任" 其位 教林老和尚於:本山壇一行:別受法一多授:四分即圓 化考: 世壽, 八十有八道俗哀傷送者滿 本出一生于伊 眼 日任公治世七衆競崇顯密幷盛漸去五十年真俗 屢為二七衆一開二 而 而 已也尋師殘記實爾予亦拭〉泪耳 赴者 唯恐 州 服部郡荒木庄菩提律 >後焉享德三年冬十二月十日晏然而 敷律教 應永卅二年十月一 寺,為,四 レ寺門人如言 何涕 部 日前 一點二講 凡 淚 零 父 妙 所 落 Im

播二都 贊曰爲、臣忠、君爲、子孝、親故君以賞、臣 # レ之四海 除年寺院平安可、崇中世俊才矣 鄙 靜謐 一容止端嚴襟懷豁達是以徒能 我法亦復 如ル 是住宗和尚 以, 毘尼教 一親以 師 師能 が慈い子 名 依

師 和尚字性如諱弘源學...尸羅藏 和 倘 第五 宗公示寂衆徒 山十世 中與第 性如源 等請 和尚 師 補 - 究: 其底蘊 傳 住持位 也某年三月 享德三年

先

律

鴆

九日寂

第五十一世中與第五個譽和尚傳

和 為 尙 問問 字 ,戒圓 源 和 諱實譽律園 尚 後終登 中拔楚 一本山 也 位 應 永 十七年 + 月

第五十二世中與第四尋和尚傳

授密法 照盛等岩 耀 和 日講 本住 尚字賢如諱 師也 應 河 千人 東淨蓮 永十七年冬十月初八論談師 譽師 恵 尋又號二宣盛 華院 跡 在"持本山 又主"安養律 |盛唱||毘尼| 甞從|| 敷林公|傳| 一飛行如以月 為二二日問 照 智光 如 - 門人 者 及 日

第五十三世中與第良惠和尚傳

▶聲:於時,某年間 和 當.其五七諱辰 秋八十有五計聞…諸 汲二松橋法統一律流 本山 實律家 尚諱良惠住,持和之神福律寺,專演, 代修行尤勤 一受法僧尼結緣男女甚 ::本山 衆 棟梁密教 焉文明十八年孟夏初 務 隨:忠尋公|傳: Ш 一六年其間 ·招提正派 方黑白 飛 、僧於 宗統也大小兼 |多忠尋公後文明十三年主,,于 三神 為之哀慟門人等厚葬之 修"造寺院」廣流"法 1 通別合受秀居 1 七衆和 福寺 受秘密旨! 云以故密 怡然而化世壽春 學乘戒 說 毘 尼瑜 俱急有 伽二 修

孝, 也師又住, 持安養律院, 云大秘法, 書, 寫妙典, 棄讀, 誦之, 皇營, 佛事, 擬,

其追

第五十四世世與第良海和尚傳子,也師又住,持安養律院,云

事終和 唱導 矣 追福 師為 干人其二年五月西大秀如公寂 月廿二日奄然而寂享齡八十有六僧夏未、詳諸徒專為, 彌 輿大衆相 元 極多其七月 及同色褊衫 尋住,,本寺和尚,由、是聲 和 (年依:)別受法,為、衆授:,具足戒,受者聖秀舞盛等若 勒院實意等也皆 倘 時 諱良海 |也師甞受||密教於尋和尚| ,其二月廿六日諸大德等會啓,法筵 年齡七十有八 羯磨-尚及衆歸」寺大雨急降時人美」之可」謂。幸 隨 二日為,,五七忌 法會嚴重 演法殊 明 群衆三百廿四 乘與相隨 敏酸發絕以傳顯密傳 乘駕 、相隨 大衆 供 聞之起水涌山 大老藏松院慶海菩提菴 奉集前,故略記,之明應五 人師 叉請:一 絕 百 同六月一 而 餘口 着:: 木蘭色僧伽梨衣 西大衆等甚稱 燈 三之于招提正秀等 山和 之 其 德 外 碩 日作,分物法 大德源 光益 德故慧公後 行者淨 尚 如前乘 明 祐 也 年 為 Ė

第五十五世中與第府和尚傳

和尚諱源祐住,菩提卷一食號, 兼居,伊州福壽律寺,化

先祖 墨今存此道勝、他子何幸哉住, 師之致坊, 有二別受法 隆盛 一根者傳來事跡未、詳矣 阳 應 二師 近五年 野 長亨元年十月廿七日於 本山戒場 為 · 先和 答法 Ŀ 一某年永正三十月十 寂 師 尋 紹:其席 - 於/ 此 日 丕振,道 寂 師翰

第五十六世中興第盛和尚傳

十二夏別受戒夏廿有一某三月廿七日寂云正四年為,,秋會唱導,年算子、時六十有二通受戒臘四年從,,良海老人,受,,別受法,某年來與世,本山主務,永和尚諱舜盛資性聰利文正五年依,,通受法,進具長享元和尚諱舜盛資性聰利文正五年依,,通受法,進具長享元

関師之入寂相,,當天文十四年,也 智秀、他至,,九十歲,而寂予夢覺生,,奇異之思,則記、紙也若如、夢

林,某年間奉、 勅領,北京泉涌衆主,有,于和州刺史提戒壇,從,高範律公,受,具足戒,廣涉,律海,築通,密義,天文八年二月十日辰朝依,通受法,進具某年於,招義,天文八年二月十日辰朝依,通受法,進具某年於,招 制,華藏山,為人後朗秀,拔群表,銳,精事鈔,妙入,深和尚諱泉弉字寬順自號,衆耳,駿州人也世姓今川氏髮和尚諱泉井字寬順自號,衆耳,駿州人也世姓今川氏髮

於宮內 筒 男女受二三歸五戒等,者難以以 唱,滅泉涌,春秋七十有一通受夏臘四十又九門人奉, 甚崇重從」是時々韶 柏屬尋常容貌和雅堅持,,戒律,食不、過、中行止唱, 之受者-某年間開二宣南山大鈔於招提一四方聽徒肩壓 十月廿七日於,,吾戒壇,行,,別受法,照珍光晶等為, 衆度人法,光宣等為,,之證明,其年始為,,念佛會唱導,同 教,四方學律之侶慕、風駢臻老母屢入、寺修,,佛事 佛殿淨厨方丈鐘樓等, 蔚為, 精藍, 結界立法一式, 律 為一公之追善一創一南都傳香律寺一請、師為一開 遺軀. 逻.. 于泉涌寺.. 嗣法弟子玉英珍等老千人而黑白 勒聖號|期>生|內院|其年天正十六年春永祿皇帝召| 任:招提主於、兹聲名森出其九月廿一日登壇受:畜 受二致化 井順慶公,公既 一受」菩薩戒,其年一月兩 師慇懃而誨 亡其老母後公愁、之常恒 內講:演戒教 其歲五月十八日 レ之天 正七年 及一卅六年 應、請 度入二子禁庭 授 戒上 尊 山祖一造 師 因 彌

主,,內院中,何難之有予時詣,傳香律寺,每、拜,遺真,卒宮, 弉公學,,南山敎,又同,,南山跡,屢顧,,師之事跡,發曰昔南山大師遷神,之期都率天人奏、樂來迎又先天贊曰昔南山大師遷神,之期都率天人奏、樂來迎又先天

招提千歲傳記卷上之三 傳律篇

當

孜 R 心心 去 宜 哉 聖 天 隨 師 受い 戒 聞 法 焉

別受戒 第四曆 章,達 十六年 又慶長 天文十 古跡 和 」是緇白莫」弗…傾」誠歸 尙 一解河下傾辯 律 受证通 師 八月 其深 光 後 弉 四 九 道 九忍諱嶷 年 + 時 和 + $\overline{\mathcal{H}}$ -八世中與第 夏六月 十四 初 尚 月十 奥 m 別 七 + 導.四 寂 二示寂 戒 海横注 嘗有: 位一為 海東陽 |夏門人樹||塔西方院 師 有 日立 繼二共跡 撰二 飛,天正八年於; 春秋七十有八 光 表無表章法苑選 聽 依一 少筆同 人 時 人 忍 表無表章起因 者 所, 尊慕 心也 海 聽者具 一又某年 師 雲布星陣 生質 和 登三 廿年十 尚 無 粹 傳 一住...持鎌 間 通受戒 畏座 美 云 西大寺, 講,太賢 任 其 師殊於 屢 集抄十四 月廿八 卷云 雕 西大 臘 譽= IL 倉東勝 \mathcal{F}_{t} 學 八寺務 公去天正 焉慶長 揚木叉 表無 日功 + 林 卷也 有八 畢 不 曲

神

恒

河 和

贊曰

中 與正菩

世

戒

漸

昧天

下旅

徒悉以失

レ儀時吾

麻

天

薩 光

世

此

國

- 恬然振

二起陽江

大

之道 大悲菩薩

領 人已及 州人觀=

二兩都

兩門之主

一絕一自他不共之義 一然未り聞き無い任

可と

謂

超

111

一四百餘霜

古道颜色

然後兩

門

同

流流

燈

H 師

相

續

代不

律

其主,

公師

机

矣吾與,四大,雖,同,祖流,兩門相分宗

第 Ŧī. 九 卅中 九與 王 英 珍 和 尙 傳

泉秀寺 朝廷 律師 于七年, 八月六日受之海師寂後歷, 八月六日受之 + 住 提壇,自,泉弉師 德等諸刹之主! 之諱辰一修 爲 趣 其十 二于東 寺 孙 1.戒師 | 天恩厚受封祿甚 君 揀 州 持京 尚 使 月六日 降 欽其德風 布衣 一元龜三 津 諱 大修 為川導師 照 廿三人為二之受者,師初 田 一年十月廿八日 旨命 府 兆法 席 氏 珍 不以思言名利 三行 -法事 不一修 為善 故 玉英其字也自號,.實囿 ·金剛院, 叉黛任;; 年依:通受法 納:滿 禀質不い凡總 入秋會 法會 主,泉涌 元 所レ 屢問,,法要,賜,,于封祿若干,文祿二 法先住堯清公三十三年之遠忌 和六年十月十八日為,弉公三十三年 四來學徒 其年間 傳,別受法,博通,顯密 并 唱導大德凝實代」之師勤い 至緇白尊敬 -以放 寫.理趣 律寺 於一本 請任:招提主務 於三 多雖以然嫌 明 嚮慕沛 君 於 秀徹 金剛寺,行,大曼陀羅供 ili 一妙經 臣尚と 城南善法律 居,于古京傳香律寺 レ是聲名 之壇一授 道光 分戒 天 出家禀,,學干 然如 1叉稱||光照 一若干 之如、佛元 シ身毎シス…宮 益 卷 明某年 -別受戒-轉震慶長十 水趨以澤東照 - 尤精 = 正七年 亭齡 寺及金剛壽 也慶長 唱導, 九和元年 壽德珍 五十 皇帝勅 生 即於 木叉1 ·登三招 律 有 年 于 祐 年

粉る 全身 五年十二月六日 臨 終 告,, 門人, 曰吾其去矣卽 同九 子若干人所」著教誡儀抄二卷也常講,,律教大小律三大 有四通受夏臘五 十有五別受戒臘 四十又九其諸徒 應秀海等十八人受」之某年間受, 畜衆度人法, 云寬永 二月廿六國 介"衆唱"慈民聖號 月初八女院為,,先皇,從,師受,,十善戒,也同六年 度元和三年八月後陽成皇帝崩 | 葬,法金剛之山,遠邇緇素如、喪,怙恃,所、度弟 「母薨去師為」之導一同 一師亦隨念乃泊然而化俗齡七十 九年再行:別受法 師 奉 が勅 爲 安山座 同 奉 質 車

興,,營寺舍, 專又頌曰尸羅止作戒全持願必主,,都天樂衣,須、離,名利難,勤行精進護吉羅堅全持戒律心文字自書,,遺誡偈, 曰吾門人住侶願斷,,色財非,身着,,忍辱部及定賓戒疏等諸部,而不、廢也師令,, 畫工寫,,形像,

果

|灌頂瓶成尊||信受||凡身即佛理

一安然

味 贊曰珍師抗、志高明視 氣和如之春分二人渴仰弗以紙焉 道德秀人故也予甞詣 共 削」跡而 、七大堂場之主, 且為。帝王聖后等之戒師』 慧解絶倫 二禪律 長,,育佛身,及、遇,,五位山勝地,卓,,錫其中 |以自飫弄||松柏|以自適真比丘哉至」如。任| "世之名利」如、見" ..位山.禮.. 師之肖像 破履 眉目顔 唯思』

常然 真产 化宝叉 疣 乞 岳 可叫人第六十世中與第 光宣薰和尚傳

秋七十有一別受戒臘
和尚諱照薰字光宣又號,,芝岳,阿州人出,大津氏,弱齡和尚諱照薰字光宣又號,,芝岳,阿州人出,大津氏,弱齡和尚諱照薰字光宣又號,,芝岳,阿州人出,大津氏,弱齡和尚諱照薰字光宣又號,,芝岳,阿州人出,大津氏,弱齡和尚諱照薰字光宣又號,,芝岳,阿州人出,大津氏,弱齡和尚諱照薰字光宣又號,

干人上首光順春律師香,出考, 三寺大衆極多賢照律師為, 羯磨, 云所>度弟子若酒受戒臘五十一夏門人偉為,, 追孝, 尋行, 分物法于傳

弱冠年 依: 和 受戒臘四十三夏樹,"塔竹林寺山, 尋行," 分物法, 皇修," 戒,某年間中,,與生馬山竹林律寺,延寶年中薫和尙寂 招提寺 一衆分、續,其席,其時延寶三年九月十八日也一旦示 病而寂實延寶六年五月五日 尚字智教諱賢照和州 第六十一世十一世智教照和尚傳 一師二事行賢律師一 通 受 |法一受" 具足戒 後進" 四分之律儀 八田鄉人出,安井氏 某年出家轉受: 息慈戒 至: 申刻也 俗壽六十叉二通 二幼而

招

提

教學 佛 事 子竹林 111 師 兩院跡 阜 三具 言于 焉 祐 海 律 師二云 上 足 智堂 峰 律 師 紹

珍公專 贊曰 然薰照等師宿因多幸任,,傳戒和上位,可、謂,,隨 人也 一時及 持 三濁世 - 戒律 一僧侶漸 食不」過 々護戒慢也予聞,老者一日 レ中也其後追り 年乘戒 俱緩 ン宜應 王英 也

尚遷 /座唱 公於 戒 五 喜和尚,受",別受法,延寶元年十一月東大主務大僧正 學,,密乘,終受,,兩部 二十一年六月十九 于招提|從|能滿祐 生,於播州 和 倘 十有三受,大衆拜賀,容貌 先派 一种同六年九月十八日一衆 字長傳 二戒壇院 第六十二 一法要 |好相|岩 瀧野鄉一 登具 聞人感 世中與第四即航 清算後改 干 海律師一聽一訓誨一事」師至孝也寬永 師為"遺敎經之講 日隨二海律 父波邊氏母佐藤氏 日明曆三年三月十六日從 動 法,正保二年二月十日進,通受具 延寶年中修 稱 :: 義尚 和 海和 師,出家受,沙彌 潤 請」師住! 海又 尚 人皆歸 - 造唐古鄉養福寺 傳 師 也志學之比入 自 延寶年 伏音聲妙奇 本山 號 和 一西 旣 中 尚 飛一尋 卽 大高 正 航 登 時 和

> 方院 衆 辨公是子之師範 遠近聞、計無、不"慨然,門人厚勤"七々之忌, 建" 塔西 閣維僧 交代 一受戒得度僧尼若 俗送者 日 夜 唱 森々然尋行二分物一大德寶 光 也 明 妙咒 干人親弟尋元辨公紹 其 十六 日午 刻 葬送 海 為 当 能滿 之野 磨法 īfi

月六日 予涕泣 遺像一戀、昔感、今淚爲、之萬行焉 顧"師之恩,不"曾暫忘!!師也氣正 來至, 志學年, 初知 遁汝爰娛、何 贊曰予九齡時遊 隨 in い師剃髮不い料其年冬師已示 拒、之師日汝不、知也如,,天子, 拒、之唯出 能 滿 三沙 室一 門之道無」比為 家而 日師 死〉 苦乎予漸 告 iffi い余日 和 **/滅然後春過秋** 色莊 - 貴福 汝 教最 歸 m 為 伏 猶 恕 其秋 一於一茲 出塵嘉 百向:

車」真 義 父速水氏母 受!!別受戒!又從!!雲龍 剪受:息慈戒,某歲依 和尚諱玉周 衣 | 圭公後主||法金剛院 第六十三世中與第四圓嚴周和 享三年正 某 日 號"圓巖,又名"退室,自稱"圓融一京兆 幼而 內 月 見 為 師 ル帝 招提 "通受'登具寬文十二九月十四 二事法金剛院觀圭大 如周 某年 某年 主 律 後齋院皇帝登 奉助 師 元禄 傳,兩 尙 五年於 領 傳 1 泉涌 部 法 長老一既 遐師 主 尋賜 盡 為二 其奥 iffi 入 剃 也

院一

世壽

Ŧi.

有九

僧臘

四

夏

Ш

嘆愁三晝夜中大

念佛大會唱

導屢舊貞享元年十月十

应

律

篇

其多辭,衆治,而喜,遁五位山裡,焉受戒會,師為,唱導及戒和上,受者照戒惠晃等若干人壇成其月從,十三日,至,廿一日,有,功成供養及別境成其月從,十三日,至,廿一日,有,功成供養及別十六日招提大衆應,請師為,唱導,元祿十一年九月戒請,七大僧侶及諸山之毳衆一萬員,而有,大會,其四月

晦,跡位山下,韜,灼々明朗德光,兩都恩澤人無量及朝與、師淸話及,古今事,其神志高遠不、可,得而計、之即能至,于茲,邪予甞隨、師受,別受法,受,秘密法,故時能至,于茲,邪予甞隨、師受,別受法,受,秘密法,故時

第六十四世十五世南溪海和尚傳

第六十五世中與第四玉竿峰和尚傳
後受,通別飛位,元祿十二年四月十日住,招提主,其月終受,通別飛位,元祿十二年四月十日住,招提主,其月終受,通別飛位,元祿十二年四月十日住,招提主,其月和尚諱實海號,南溪,城州木津人也幼而入,招提,而出家

或衰或盛然戒月不、墮、地光輝、一千秋、冷、人學、應供贊曰從、高祖大師、至、今幾一千歲歷、代六十五世其間年九月十四日應請登位春秋五十又九也

弘秀! 人, 傳,,來其法,曾未、宗也若不,記,,其名,則德生必疑,之 予披"閱傳律宗派 別人,夫贊然來者幸莫、疑、之又凝戒照珍之間實盛春 自博考、之時代遐隔呼,其名,者有,二人,也實為,同名 盛泉弉之間 次、之不、闕。戒傳,源祐舜盛之間大德意不、零。戒花,舜 宗彌源之間大德英雅不以滅二律灯一惠尋良慧之間弘秀 道海心光之間有"貞濟公'續"戒光'等圓理宗之間 不、絕,, 戒傳, 靜忍卽仙道海之間聖海律師不絕,, 律灯 大德禪融,不、斷,戒流,賢譽會圓公之問秀空了聖連續 圓了公之間堯學大德傳:通毘尼一芿信尊空公之間有言 放今予記,,傳律宗祖之連名,所謂自,,覺疑公, 至,, 宗真 之風」是蓋上 海 秀相紹不、絕。一戒門,義海寂後尋圓巖和尚任: 其位 海行賢相,,傳戒法,照珍照薰之間衆秀實應英尊俊盛召 玉盛良泉灯々相繼不、滅,律光,且先有,弘秀,又聿有, 秀不、絕,, 戒香, 顯一任宗之間祐惠大老傳,, 流戒水 公,之間存律明智二大德為,,之首座,相,,續此道, 尋惠 實照峰者為,,唯念佛唱導 同名同字後人定疑予爾以故搜三尋古記殘文等 一來和 尚之力也 一殿 "和尚位」屡有、之也其間為"首座 - 耳子親值= 和 倘 海義公

律

篙

人時又ハ教園上人時歟) 年月 未詳 勅封御判在于今也 (禪戒上後顧關院 御舍利之封御改 年月 未詳 勅封御判在于今也 (禪戒上

教員上人後醍醐帝御歸依也

勝道 加寶ノ徒也日光山ノ開山也具ニ在,縁記,智範 年五月雷火ニテ焼失セリト夫ヲ建立セリ摩耶綜記ニアリ智能異徒也天平寶字二年攝佛母摩耶山ヲ再興玉フ - 勝寶五

于時住持第廿二代理宗本地上人

老僧二人御判

了譽禪珠房 元惠禪如房 于時年記

後

東大寺井高野以前御沙汰云々 室町殿加法御恐々 室町殿加法御恐々

招提干歲傳記卷中之一

明律篇

以 律 檀興一有"願雜」未"必唯明律一也然今傳諸師皆是以"戒 解 述 慧方願等亦復如、是然家,其家,者雖、有,餘德, 家事一稱」之也識者正」焉 故自、古至、今習禪家有 前明律 日 一為」基也其有"餘德| 者蓋兼備耳故不」擇"彼此,但 |有||習禪 口明律者 一立,此篇名,也凡明德者達,質萬途,豈一途哉 謂洞 |有||感進||有||忍 三明律 藏,明,白律身,也然此中 |明律者|明律家有||習禪者||其 行,有"力遊,有"方應" 有 以:其

唐揚州崇福寺祥彦律師傳

師 律二宗,而究,其深奧,唐天寶元年吾榮叡普照請,真 寺」實鑑眞大師之上足 律 、答良人祥彥進曰彼國太遠生命難、存滄海淼漫百 至人 .師諱祥彥唐國人未、知..何許何氏,居..于唐揚州 一子」時真公對」衆日 身難、得中 國 難」生進修 也天性神氣非,直也人 誰隨、我去,東邦一乎群弟默然無 未 レ備道果未 レ剋是 - 廣學::台 な故 無 大 福

所謂 之謂 慟而 而有 曲 覺否 ン去我獨去耳 、之假令骸雖、沈,,滄溟,神必有,,此日國,將雖、無、之經 顯,來,我朝,人,汝焉舉,亡,,中路,之人,,邪余答曰 更無」省"身命」傳戒最初發起唯在"此人一四度作」船 中僧侶無、不,, 嗟嘆, 誠相,似仲尼後,, 顏淵,見、我如、父 師即一聲稱、佛端坐寂然而無、言老和尚乃喚、彥彥悲 等相隨是我朝傳戒發願基緒 也然後天寶九年 於衆侶, 令., 吾祖 子哉嗚乎如、顏者必如、 贊曰彥公與、祖共同,千里思,爲,傳法, 忘,身命,真佛 助二祖本願 僧成默無い 几 日何夫 無來無去云 上也師隨:逐和 日末、覺師日今欲,永訣,託驚則諮,和 一師復相隨師 |來使"師憑"儿向"西方| 即告日 |彌陀淨刹| 擧念係 \ 心佛自來迎而念 || 阿 "達公事跡」越"功於渡海人」也其何乎先" 對而 |果功徒盡骸沈||海底||實堪>情焉 一旦告、別早速乎涕淚濕 「師日和 已祖曰 々汝何以」不」來而難」除平 於一舟中一端 而喜,或又造、航丕助,祖願,誰豈 尚,已卅年且修,功德,且行,御事, 尚若去彥亦隨 是爲 顏也痛哉或人問 ン法 坐問: 也 何 去矣從 思託! 云老和 情!身命 西 > 巾愁惕無>比舟 方去レ此不」遠 少予曰此 是思託道航 尚 一祖郎 一諸 吾祖至: 彌陀佛 東遊 「實爾 尚睡 人不 傳

招

提于

律

篇

扣

戒填院法進大僧都傳

學 省 鈔 擅 擅 國 時 圓 八 沓 占法礪鎮 唐禪 後敏 年勅 僧 羯 宗, 飨長,,世 命〉師 師 厚為"緇白所」重矣吾天平 磨 都 亦相 人 疏 兩院 任 神 法 日 國等律疏 行 臨」填度、人故戒德振 智 進支那國 =律師 隨 比」肩 事 無」並 以附い師 我 鈔 「典、出,,世唐揚州白塔寺,以 尋進二大僧都一我祖 比 難 聖武皇帝與"大 也 Fr. 人 度滿 容な膝 心也姓 又受、請誦!! 宗台三大部 尼 々恒講,一手律教大小諸部一謂 一鈔拾毘尼義鈔沙彌經及慧 戒後貫…通 王氏高 机 々預ニー 勝 師 祖 寶 及と 三藏 鑑 五年大師 同龍遇 眞 入二招提 方衆匠,其天平 大 11毘尼 深 師 太祖築: 明 高 來= 達 四 弟 |虚||戒 鳴二于 徧 光智 梵 游 台律 也 戒 꺌 網 此

ン師 勝滿 ン知は其所由 山行讃等甚多貴賤 至:讚州 頂咒,聲,而家人初不、悟、之謂為,啼聲,師怪 經註六卷沙 皇崩 佛事: 多度郡 指 謂 一信 御 瀬經 其親 云寶龜 後亦 宿不、去至、夜聞」、児聲 - 宿..或 一鈔五 領 九年示 日此兒非...凡人.善熟視、之長當 孝謙帝深 其戒法-者指 卷戒壇式等也得 家,其夜聞,隣屋有 寂閱世 恭敬 僧臘 故及二 不レ勝 如 法 未 門弟 先皇崩 前 ン計也 詳 夜 所 平 レ之欲 著梵 天明 師 惠 勅

> 為二 宮 弘順 室 師 國 群生"矣是故入"此邦 於 且 歌"曲之,矣 慈育契,,圓空,遠邁 寺 吾祖於:海中:為 散 驗 及.大師 | 合 || 含利 大 龍 _ 流 法 佛戒」紹二遺蹤 至 レ今吾祖 滅定 再還 後 巢 三龍神 然即 為綴 則應 傳 寂滅 レ燈照…海東 化 和吉 "七言六句 失言 於 日於二 海 畢 弘 分り身歸 H 如來之設利羅一師 野郡 法大師 國 祖 一建二創佛 影 一建二戒壇 度 前 淨 是也 働、之其 ン物寸籌盈: 國 末葉衆侶 豊不 娑 院 々誰 詩 名 教中拔 異 佛 爲 復 石 大

贅 輝,,戒光,以,故為,,吾朝傳 不:相違:於戲宗門異 日賢哉進公隨: 于吾祖一續二 八哉 古謂 戒第 平 二祖一其 於法 知 燈 聖 能 其 俱 聽 斯之謂軟 至 兒誦 = 此 方 大 而

唐台州開元寺思詫律師傳

法度 律 法海 礪 侶 德 律 疏 風屢振從 部 師 一從)師 猛龍 鎮 思詫 -廣沙:台教:一 人靡」总會 國記等諸章以至,天台教,講授而不以廢遠近莫 而受學焉師 也 唐 當從: 國產 >焉唐道塔大德知"師尤長"毘尼一乃命 也未」聞: 大 于鑑真 師赴 莫不 爲開 -本 國 二講 ▽通瑞! 其 願 師學 姓 席大子官寺,四 朝 神 挽 世子台州 習台律 姓 師 俊逸英辨快 偕 行 -是故專 開 五歲 聲光 元寺 日 利 著 法 徒 實

招

使"設利羅傳"于此地」何在"常人之事,乎苟非"天賦夙

德

一斷不」能」及矣

贊曰夫長、德者必達 七年選: 述延曆僧錄

二諸道 師 一卷二云

洞

17釋教一氣得上作

:..佛形

之妙。而命。其尊像一末代遺。福厥形像等今尚在、之堂

々非及三凡慮

一世人今古以為、奇之又入, 龍宮

隨、師受"井戒

逃入,, 梵宮, 神飛,, 生死表, 遺,, 教法門中, 如,, 弘法大師 金人道已東戒香餘散、馥慧炬復流風月隱歸: 靈鷲

一矣其終未、詳傳律弟子常巍忠惠忍基等

若干人貴賤緇素男女皆偕崇,重師德,更無量也其延曆

唐仁 韓 律 師 傳

船 受"學業,與、祖共遊"化此國,唐天寶十二年冬十月艤" 律 加舫於江 師 名仁韓支那州 頭 -相 ...待大 .人而吾戒門之大匠也隨..于吾 師 ·云其傳來未 .. 具聞 » 之也 太祖

六盧舍那同左夾侍丈二藥師及大祖真影等其外佛菩薩

不り預

美美

德

光, 天平寶字年

間大祖

輔

儀

一激|揚此

道」且得产造二佛像

一之妙」招提 新創:招提

大殿 師

丈

之形像自刻者多之及,,吾祖滅後,為著,,東征傳三卷,以

一代之遺跡,焉太祖東征時舍利為,龍宮所,奪

唐法顆律師 傳

律 至、此以"戒月光 師 法顆 唐境人 一拔,濟群迷一也 也隨二吾祖眞僧正 -習 -授道 行 俱、祖

唐泉州超功寺墨靜律 傳

義。也太祖常謂、師曰我若終已願坐化汝可。

為戒壇院

聚淨戒自誓作法其徒他受亦受, 三聚, 成, 七衆戒, 之

維摩堂一與一賢璟一論下和尚來朝以前諸僧依

- 瑜伽行

師常

於

人,,海底, 責,,於龍神,故還,之是師之洪勳也

別立,影堂,矣師

傷, 太祖遷化, 有、詩云上德乘, 杯梅

- 珠

師

記 ||大祖

律師 間隨 殿 巧天府與"思託公,共造",丈六毘鷹像, 以安",于唐寺 台教 吾祖大師 - 梵相端嚴見者 心祖東來吾祖 諱稱,墨靜,受,生華國,唱,化日東,尤能 神足也志節高簡 生、敬其像今尚存焉師本在 至、開,化於唐寺一輔贊功為、多且 為世 人所以尚 律 ||唐出||世 天寶年 :無涉: 大

泉州超功寺一云 唐竇州開元 寺法成律

律 師法成支那國人住二子資州開 律長、台導: 引七衆-隨 元寺,從,吾 大師 東遊尤有:美 高祖 大 師

師 傳

譽.矣

唐智威律 師 傳

師 威 西 唐 人 心也吾 高 祖 之徒 也從,于高 祖 來二 至 此

律

方,以,於戒學,名在,于世,矣

唐靈曜律師傳

聲 律 師 曜 大唐 時 一其終 人 為: 吾大 未ン詳 也 丽 之徒 從 祖 至 此 也 善、律

店懷謙律師傳

尼 律 部 師 懷謙 一後輔」一所大師 支那州 人人八鑑 東應常以 真 大 師 拿律 門 | 教||訓 服勤受」道精 海 無」替矣 通 毘

屋島寺空盛雲律師傳

律 壇 和 如少雲起若…弘 潜州,建、寺號 尚 師 一從…吾高祖 - 德音振 譚慧雲字□空盛□未▽詳 法大師 海岱 - 屋 一受,,具足戒 島 隨二吾 常講 從 後為 師 律 大師 ii 姓氏 學 敘 三智毘 一戒填第五和 來 支那 三遊 尼云 化道俗 人 日 也 國 嗣 是故 尚 於 一 當於 法 高 祖

唐慧良律師傳

戒場,依,我大師,受具以,律學,有,其譽,也律師慧良唐國人眞大師之徒也與之祖遊,此地,於,東十

唐慧達律師傅

律 師 名重 意達唐人吾和 海 -於:東 倘 弟子 壇 也 從 從 い祖 納 大 滿 師 分戒 東來能 戒

唐慧常律

師

俥

足 律 戒一尤長 師 此 境 -常叉隨 一戒門 那 州 產 西 机 登 附 東 渦 海 飛場 大 師 從 二于大師 吾 道 偶 - 受: 具 大 師

唐慧喜律師傳

甚 桑,於,東大戒壇 律 有,高譽,云 師慧喜為 ...吾大師 從 徒 大 和尚 本 唐 受 域 沙 具. 彌 足 扩 大 從 戒 大 師 々學尤善 至,,扶

世 夫斯之謂乎恨者年 實釋門之文鳳法海之長 來遠 鯨 隔 也謂栴檀 事 跡 悉失 一发但 林 1 唯有:梅 一名遺 壇/者

贊曰自"韓公,至"喜公,諸師

皆以

生

···於吾·

大師

法

蘭

道忠律師傅--而已

徳」夙 律 贊曰皇哉忠公之後吾祖稱: 行:利濟:國人號:菩薩 聞之以是知是且 紹白 師 道 者有: 師欲、弘,通臺 夜服勞曾無」難 忠 尊嘉吾祖 不 于其稱一 知 何許人一 一教一書: 寫經卷 稱贊 師夫類 所謂仲尼有上贊,,弟子,言。也焉 也 也天台圓澂未為、童時 日 師 也 哀其 レ之乎厥 持戒第 師 戒第 一級誠 事吾 師 一如 一事行 懿 殊 祖大 - 授以... 井戒 助。其功 來在世 休 僧 化 德 JE. 慕 東 具 -戒 以 師 行 三婆 傳 好 氷

招 提

干 歲

傳 律 誘一於大師一欲」越一巨

海,時道俗悲

至.和尚之海東一晝

然而化大師悲哀不、已緇素愁傷泣々殯葬焉師在、唐時

神猶至…故學,輔,和尚

之弘戒 語畢泊

葬二骸於魚腹

天寶元年至...于揚州大明寺, 謁..吾傳戒大師 國定賓律師,受",具足戒,旣過",十歲,博達",戒律,然後 大使丹墀廣成舶,遠入,,西唐,屢參,,詣諸宿老,終從,,鎮 性忍、苦耐、勞律身堅貞為,,人所、敬後住,,濃州 師榮睿未」聞:何國 「天平五年與"普照公、奉"聖武皇帝之勅」附"于遣 何氏 一住二于興 八福寺 - 卽禮:足 度人弘 絕以倫禀 贊曰命不」迨」志古人尚憂況於二令人, 邪余顧 師

動,怪命上人入二水中,尋点之終得 夜衞護官人來挹, 普照師 願_再發中路 遇、病歷,二箇月,蒙、赦從其又至,和尚所,又述,本 而沒矣 師 走入,,池底,暫時 師 而 二師共所三禁錮 而 有 水

眄

哉也入娱,,于虚妄空華事,徒又歸,於生死之冥關 寒忍、熱幾春秋乎唯為上請一吾祖一傳一通戒律一教。拔衆 雖、然如、師雖、沒一中途一其名不、朽也且風飡水 之深志,先墮淚而更不、進、筆嗚呼師之命不、待 有限希望不、盡直赴,死路,奚急不、期,當來值遇 三寶之益一也今人胡爲捨、身建、志勤、道弘、法歟人命 有』也親切懿志豈不、偉哉〔自始于此吾扶桑國全蒙 ン望哉 - 邪惑 宿耐

大安寺普照律師 傳

朝,國人稱、之勅令、居,東大寺,聲德日著天平寶字二 律師普照未、聞,鄉里,素有,淵才,深究,內教蘊奧,于時 年 州, 謁, 真大師, 而同、 容請, 老和 拜,,訪諸大老,因從,定賓公,納,滿分戒 其天平五年奉、勅與、與福睿公 所,嘉尚,其性慈閔而能忍、苦居,大安寺,大振,化 奏曰 城外道傍宜、栽 二果樹 一何者行人往來熟則就上答 Ŀ 入唐留 既而 學彌增二智 誘祖歸二于本 風

何命不>迨>志願和尙來,,至侮東,為,,毘尼鼻祖,則吾

日夜不、廢不、果受、病嗚呼未,時至,乎未,機熟,

乎奈

自,,天寶二年,以來欲,請,和尚,飯,,本國,弘,,戒法,意 年百苦積、身及、至、端州、自知、不、起謂、大師、日貧道 油然俄起甘雨頻降

一舶志、憂豈非,道力所以

感邪師數

心清凉容又曰願及:,舟中衆人,異人卽呼曰雨矣天明雲

、水願為施、水異人乃將、水與、客々飲

、之甚

一甘美

一面身

有二一異人,於二求戒法一師謂、之曰舶中之、水衆人愁

>之天寶二年揚、帆流、海中途乏、水舟中憂惶

一夜師夢

下,親述,,吾皇帝懿志,請,至,海東,吾大師好,其志,許

律 篇

招

入唐之功-也 深,平寶字二年賜,師之母某于位從五位下,也蓋美,師 飢則啖、實得、非 輔二聖化 - 歟制日 可其利濟之心不 亦

至」今普天受,,厥除風 冰嚼檗之難一而終請二得大師 贊曰大哉師功靈承...吾 |厥忠」君也如||范蠡 皇帝勅,直抵,支那,不、憚 | 飯|| 于此境 始弘三吾道 一厥重と 法也

如,玄弉,嗟夫故國 山川雲行雨施矣

賢憬僧都傳

也性 藏四 羯磨法 得計,也延曆年中朝廷議而遷、都勅、 憬定,鴻基,今平 實字三年八月招提戒壇成吾祖為,"唱導師一師為,"児願 寺宣教法師 | 天平勝寶七年東大寺戒壇成鑑真大師行| 僧都諱賢憬尾州人姓荒田氏幼而 安城是也其十二年冬十一月辛丑入寂壽八十九 千餘卷一納一乎招提之藏一以擬一聖武帝之冥福 |憬為||受者||是本邦登壇受戒之始也甞寫||於大 出塵習: 唯識 於與福 云

梵福山善謝 傳

教法師 師 釋善謝姓不破氏美州不破郡 ||與賢憬|進||大戒| 桓武帝崇|| 倘其德 一無達二六宗 名翼飛 遐邇 人也 - 某年 性俊邁學! 唯識於璟 中從 一于鑑真大 推為!!僧

> 綱一 夏五月終,,于其山,世齡八十有一焉 晚入 二梵福 山 排一拾人事事 修三 淨業 延智 廿三 年

レ詳來學補レ之 間 釋靈福等七人者皆為一昔往之大德一幷一方衆首也某年 與 、||憬謝||共從||于吾眞大師||受||滿分戒||也厥傳來未 靈福志忠善頂道緣平德行忍證修 傳

A 如其中八十餘人者吾國名德然失,其名,漸憬謝 存、之予以、故記、之耳惜哉事跡未、詳也 福等九

贊曰吾高祖來..至此邦,始弘..戒宗,普天慕

~ 徳從者紛

唐聖一慧山二律師 傳

進僧都依:海路誓願 元興寺,後住,,于吉野佛國寺,為,,第二世,寺蓋師範 邦 律師慧山聖一幷支那國人即法進大僧都徒 盛振 :師風,名重:一 所 時山 二創建 |也並不、知"其終 居一于東大寺一云 也來二 始居二 至此

大安寺善俊律師 傳

寶字三年八月朔 羅大道」 無隨 犯開遮之旨,為,當時律學之英,也恒住,大安寺,唱,尸 律 多以、故德光照,,屋四海,其終未、聞、之 師 名善俊不」詳"何 =思詫公-親學 一於:招提一講: 南山 許人一道塔律 "戒律,依"吾祖命,自"天平 師之門人也練,磨 法礪 兩 疏

忍基律師傳

方二云 禪院一 所 道 律 師 | 矣吾祖入寂先兆師之所 | 夢也寶字年間 忍基 慕 講,宣南山相部 本出 氏族生地 思說律 俱 不了可了考博加通 二疏 師之門| 衆隨| 侍吾大師 聽者森々乎聲風鳴, 于四 律 部 於三 厚為三 東大唐 練出此 四 衆

事之,能學,,戒敎,夫豈非,,大幸人,耶爾,與強其大師支那國之 高德日域傳戒最祖也 師奉,,兩時此敎,於,,師戒學,何有,疑泳,,乎其詫公此道龍虎贊日忍公大幸人哉親依,,詫公,學,,毘尼敎,氣事,大師,

常巍忠慧二律師傳

疏 中 律 敷南法鈔 之巨擘也 師常巍及忠慧幷出,,思詫律師門, 也各才學厚博 集,輪下,者不,可,算也慧又其年間於,近江 爺 等,來,至講堂, 巍實字 r 於"大安寺 者如"千河流,大海,也 | 開 演南 山 法礪之鈔 國 而法

惠新真法二律師傳

古德也 律 與福寺一講 知何 師 惠新真法各有:才智一而善 新於 門 侶 於南山法 礪之章, 幷以一時 之明匠也 未 矣 大安塔院 開」敷南山 - 戒學 相 皆吾 部兩章,法又於 大師 在 世之

法智道欽行潜三律師傳

冬於,,保良宮,與,,惠山聖 進僧都之徒而大師法孫也開,法于山田 祖 師道欽支那人也從,,于大師,出家得度欽未,為 地 請,赴,其館 律 經,云各為,吾門之智識,也 群徒之中既稱 東征傳又相隨後未、知、進 也可少立 師法智者大師弟子也 ||伽藍||云後果依\刺賜 一時意欲、立、寺竊甞,地土,即語、智曰 道欽律師 一定登...大戒一歟律師行潜本 B - 共隨 .. 法進僧都 大師 |,具戒||或傳灯宗派中 應 其 地 一寺一也實字 卽 招提是 上真人 聞二 =沙彌 吾祖 此 五 也 福

宇琳施平戴榮泰演四律師傳

此 甞 贊曰從"寶字聖朝,至"弘仁明世,學"吾戒宗,振"其名 律師施平戴榮泰演三師皆以為,,戒宗大匠, 也天長四年 十四年弘法大師於 律師 跡 者幾千萬乎皆悉吾祖自:東渡 常召二禁內 示 未 傳 |宇琳不>知||何許人||居||于招提||盛唱|| 具 其諸師也皆是照世之慧燈渡引之寶筏也恨者事 存,,千百中之一二一个漸取,,存名師效十輩 也 矣 以二二律師 為 講匠 ..東大戒壇..受..具 - 始然失...其名及其德行 -云 戒 師 足尼! 為二尊證 一而編 也也 曆

拟

招 提

Ŧ.

选

傳

招 提干 歲傳記卷中之二

明律篇

寺,正以,世間榮名厚利 心心起ン類 大僧都諱 仰"中祖 千是一破"其百非 於與福松院-師聞 香莫、掩黑白尋到尚,其道光,嘉禎年間大悲井樹 >不"傾嚮,某年中為"權 真心要决,呈,之國 丘生戒俱成之義 疑信相半是非鋒起師多著 書自飛 宗學,究,,盡其奧,尤以,,因明,深達,,其 ,書凡百餘卷貞永元年師四十八歲嘉: 遁于生馬山竹林 生 至 馬 二東福 德一師常恒修 良遍字信願又名, 蓮阿, 出, 京兆藤氏 風貌清奇開 山大聖竹林寺信願逼大 一散無,,右雙,時之旅徒於,,大悲井立,,通受比 一謁二聖 一於、茲中祖之化轟,,于天下,四部皆悉 宮喜不ど 師 "淨土之業,不"怠慢,而以、此導 "法白毫寺-又住 國 大僧 國師,咨,教外旨,因以,所以 勝即往謁 原雜精一修梵行一凝一唯識 「師稱讚自跋"其後,云某年中" 都一掌居:與福 僧都 之遂從受,滿 底以故緇素無 傳 - 勝願院 論 講 於三 分戒 屋 - 法幢 觀德 也秉

> 律 書八不」可、書辨館篇可以書」之 嗣法弟子 蜜嚴等若干人所配」之年算五十七也屬屬顯此細嗣法弟子 蜜嚴等抄數云建長二年十月下旬十又九建,塔于竹林寺「偷寶僧云」六十九、者謬遍公述作之通受 律師 子不、然見、善揚、之見、義勇、之於、姓賢愚懸隔 >著通受大理 鈔止防用心及 念佛往生澤心 興 贊曰為,人情,也見,他勝善,嫉,之欺,之是謂小人也 法相大意鈔遣疑抄二受抄 謂:君子:誰謂:君子 東大 |直至謙||身取||弟子禮||偉輔|| 其化| 以」如」師而 |內以:高才,不、慢外以, 榮名,不、僑見,大悲興 知 足 院 建 長 四四 「年八月 唯 識觀因明 # 日安然 の抄等極 ifi 記 真心 多馬 岩,逼 要决 齡

師 律師諱真空字廻心號 秘壓密 焉尋從, 南京東南 于建仁甲子元年1 若齡 藤原氏」衣笠亞相定能之孫親衞少將運定能之字也生」 im 有、年遂盡,, 蘊奧, 去而啓、序講,, 三論教, 之法匠也公美,,師之風儀俊邁,慇懃誨、之師遊, 歸 剃髮染衣性而傑時絕二出夷倫一 三醍醐 京兆大通寺開山廻心空律 決竭 底傳、之且詞義宏博無…能屈者一諸 休行賢公受: 院貞禪公 學二三論 日 入,, 醍醐寺, 依,, 理性院行賢法 中中 兩部灌頂 觀 |又號||定氣|京兆人 傳 一以貫、十濟輩推 教一 聽者廣集旣 禪當代三論 野廣澤 其門 重

師

徒泉涌 將欲上請二一大德之師 旨一云文永四年師六十四歲會鎌倉無量壽院虛」席老 新居莊,永寄,僧食, 师弘律之外唱, 眞言三論及 〉讓應>之山曰: 萬祥 | 寺曰: 大通 | 飛樓湧殿卓而 文室即 不、足"以壓"服人心'途招、師師以" 耆年 固 神一禪尼 方佛場一此地有:源經基公舊廟一因、之建、 禪尼以!!所居之亭| 更為!!梵場|請>師為!! 具足灌 嘉旗 餘其間荷、箱來者恰若,稻麻,又歸,木幡 相律師之請一於一戒壇院 師講, 宗鏡錄於慧日山, 師走聽、之國師以、師表,, 于三 幡觀音院 由、是篤、志不、廢與、信願律師」以、扶宗、爲、業開、木 堪...大息..顧...子之才 凉,入,厥玄 三年 為,,弟子,因 頂一受者多之皆碩學之士 中性賴 金剛 |時々禮謁預開||佛教||恨||相見之晚||乃捨||預州 大悲 - 以居盛唱: 大悲之道 | 名翼四飛某年聖 三昧院榮信閣梨招、師補二 理 井 從 開 ||大悲||受||具足戒||精勤修練 法 日中 一不、凡必能興…吾道. 子其懋哉 興 |講| 敷法華義跡三論玄義| 學 祖謂 福 松 院 >師曰近世律風 鳴 普天 瑜音等也八幡 - 弘長元年行: 住持位 非...廻心和尚 開山一祖 社為二守 師 回解衆 不 が一個二 懷 成二 、再三 居歲 淨土 振實 師 香入 宿 護 不 國 師 律 也 堅

論

暄

贊曰法門貴,,平得,人得人人則與失人人則廢吾祖門中得 密教|振|發妙義|是以密宗磧學傳為| 木旛義| 所>著 貌如」生使い余不い忍い歸 廢之有予甞與...圓岩大長老 世一如是孤峯我一萬峰中一滿月在是衆星中。吾門得之師 面、西面 師 流然性好」間安二坐 二請 住...人間世.六十有五師 可」謂、幸也然才思舊徹敏朗絕輩禪心律身中,,于人 不と 生論註鈔十因文集三廟鈔等若干卷二云 得 座結二 彌陀定印一長往實文永五年七月初八日 已而 赴道 一室,止,心日 俗 焉 來 博識治聞靡、所、不、綜殊於 依 一隅遊 星 羅 雲結 ||大通||恭拜||遺像||顏 觀一日 談柄 集語弟子 麾慧辯 如

怠終 于緇林一中,,與真言院,以居盛弘, 顯密之發,受,請講, 隨,報恩院憲深僧正一學,秘密教,深眞言宗匠也又禀, 嘉禛年中依二大悲苏, 重受, 具戒 三論 霜包雨笠至者紛如師 三論于樹慶大德 凡所 習學 師號中道諱聖守和州人也少出家有,遠志,聽悟夙發 明,其道,爲,人戒範,又天人常恆來下佐,護師之 城州法園寺開山 云時有: 石清水撿技准僧 中道守律師 一々開示如"月出"纖雲中 了無,疑滯,慧目高出冠, 正行清公 - 專志:: 傳 毘尼-新建二 研究不

弘安四 治元 及實相 首道月然律 立,塔於法園寺,西兆隅 如、入、定處,, 菩提位中, 若干夏享,, 月廿七 年 日示:|微疾| 臨終手執:|金剛 律師一分後二大法一除一外賊難 年秋七月蒙古兵船 本 師 Ш 為 師 講 HI 党輔 山 第 成圓律 祖 也受戒受密等門人多之嗣 至,太宰府 玄公請 由 是嘉名 杵-端坐寂然而 師 人間 一云正 為二 遠聞黑白依 後宇多帝勅:師 壽一七十 梵網 應 四 說 年 戒 有三 法上 化 + 歸 云 猶 建

贊曰 命一僧中寶非 波離尊者之跡 守法是 中 師 - 律身嚴淨道 祖眞子高 Thi 誰 温的 眼圓明慈々 孫提 前 Щ 數傳之印 綿々紹言 佛慧 显

戒壇院實相照律師傳

諸宗 推:重 師一習 ン自二天然 》律莫不:清究,以故德化 戒壇院自、有,兵火之難,人廢西迎實公者見而慨 志再:與 諱 法 師,士庶尊敬如,佛甞從,與正井,受,別受法 遍學貫綜而無 圓照又號,實相一中 知相旨 殿堂院室等 - 斷 髮染衣後依,大悲井,納.滿 至 ..華嚴三論俱含成實及禪密天台淨土 い餘也以、女扶桑國裡諸宗雲衲皆 一皆悉歸 遐布聲蓋 四遠 道 律 ン古時 師 之胞 師寓 弟 4 心也邁 分戒,篤、志學 ||又從||信 海 倫 龍王寺 種 南都 願 性 律 出

贊

日

道

實相法

華

玄妙今為"兄弟

以是為人名於戲實

公雅 帝 以用,燈燭,或時數月無以有,,光明, 資徒謂以師曰比來不 中三興 顧,祖恩,與,董孤志,莫,令,祖德,而失,也戒壇院,嗟乎惜哉不,行,于世,伏望其徒深 以 師 異疾! 平生凝..心於月輪,身有 云由 感 師 氣唱:群宗 撰:.行狀三卷.其德行感 Ŧi. 分說戒云建治三年十月廿二日終,,于鷲尾山,享,,世 彼不 見一光 **層凡留** 場利一 道 為。奇建治元年本山講堂再與功成師 - 師 無比時 甚尊,,崇師 尚人 レ是懿德玄 猷 師 生 卽 一在、此然後又有一光明一豈不、異哉白河有、女嬰一 明一 馬 物 師 為、之以,不動火界咒,加、之女病立愈 H 僧臘未上詳得二法門 陞 Ш 請 召二鳳闕 潛山于腹中一 .圓空禪願道本實敎等諸公集..師 何 竹林 坐辩 爲 哉 師 一中興第 師 十餘所若,善法律寺金山院等,是也師 奉、勅或停 寺,以居,之以 飜二波瀾一 日 月映蘭芳遠邇雲水莫、不…擔、簦躡 一余頃日 陸坐說法帝賜 堅如」石楚痛萬狀其 應不と |光明|每||夜分 祖 シ風或 間 辭旨 師 人,極多上 可 欲一再二 一得 三毘尼瑜 應、之乃建長三年 公祈 明 以二大悲觀音之像 析衆 而 雨効驗非 測 造大塔 為,供養, 一誦、經為 首凝然律師為 咸 伽 之也行狀今有二卷 (発悟) 輪下 親 教一導と 故心在 都鄙傳 後深草 以輔 之四 救于 盡不 也

橘寺慶運律師傳

大安寺禪慧律師傳

于師門,之未ゝ知,終處,也林寺,丕說,律敎,戒行甚峻爲ऽ時所ऽ慕英才之徒多出,重受戒弟子也居,大安寺,宏,闡戒宗,又住,生馬山竹律師諱禪慧字,本性, 縣慧秀朗修學不〉倦吾大悲井之

戒,尋依,,中祖,學,,毘尼部,深入,,其微,律、身勵、行大善。中祖之室,,拜成,,門資,終從,,中祖,受,,二聚通受大輩類,常恒居,,和州三輪山五智院,偏修,佛道,某年入,,建衛,常恒居,和州三輪山五智院,終後,,中祖,受,,二聚通受大 三輪山五智院,乘心意律師傳

播。宗風、故當時世人皆呼號。三輪律師、云

白毫寺思蓮律師傳

具足戒,博究,宗教,終未、詳、之律師思蓮住,白毫寺,施,化于時,依,中祖大悲井,

長谷往生院入阿律師傳

有、聲,於時,常居,長谷往生院,云律師入阿處峰受性敏利就,,吾中祖井,成,,大比丘,精、律

極樂寺賢明濟律師傳

在"沙石集,終未、詳、之嗣法門人甚多善願忍律師為"、故黑白崇、之一夕夢中與"人殊井,賦"連歌,載"其歌,後住"相州極樂寺,道韻高同",斗山,德聲香"於蘭桂,以金親",付吾祖,精"究律藏,篙聚開遮之旨無、不" 洞曉,

其上首-

海龍王寺證覺忍律師傳

三年見,與正井于海龍王寺,遂受,息慈戒,去入,常律師諱玄忍證覺其字也幼避,廛中,成,沙門那,嘉禎

提千歲傳記卷中之二 明律篇

招

意

寶治 年間 喜院 越 ·元年冬十二,月十日 住.海龍寺 拜 重二 吾 加 大 時 悲井 寬元二年依: 別受法 師 雖 - 禀 示寂世齡州 有六法算一 為本 滿 分 "律宗」兼通 戒 時 年 算 增11 重具戒 # 密宗-有 六慧 其

靜慶寂惠二律師傳

受二三 蕩聳,動四方.云 律師 静慶同寂 一聚之戒,為"大苾 惠幷出一于吾 一菊 -朝 中祖之門一 鍛夕鍊逐得二其 俱 就 法 中祖 - 德風浩 親

大智院禪忍律師傳

光臺寺理性律師傳

律師諱空惠字理性 座 一放以二戒教 也弘安五年招提 爲他 |未、詳,|何許人| 金堂藥師佛像修 見 ル嘉 居: 和 之光臺寺 神智過 輔功成有二 人克學:家 為: 第

> 歟 法 會 師 飾 為 爲 一尊證 導 師 也未入詳、出,于何門 弘安八年 於 招招 提擅 爲尼 恐為二玄公之徒 衆 -行-別受

性遠覺鑒二律師傳

律

師

性遠字禪密住:長安寺往

生院

- 以... 毘

尼宗,道聲洋

人之門,荷、法導、徒識度寬舒也並不、知,其終一々證玄律師之神足也覺察律師又號, 觀照,又出,玄

增福寺真照律師傳

律 云終未、詳、之 及川照爵世|遊川化 鈔及梵網鈔 圓照公分座說法名振: 朝野 師 以,正元初,航,海入,宋慶元年,也隨,妙蓮 律 師 師 -練學尼 實大 真照姓氏未、考受性 悲井法 疑滯悉消凡寓,支那,三 記等, 也侍, 給左右, 一 孫也 北 洛|寓|止泉涌 依:東林寺淨 一誠實 一敷: 演戒本羯磨兩疏行事 脱俗為 寺 圓 一寒暑後歸 十五載 - 叉甞住 律 僧師師 師」學。三大部 律 師及行居 数始末如 事實相 -增福寺 居二戒壇 律 照

室生寺中與忍空律師傳

律 周 於 八常倫 公 師忍空字空智不>知::何處 聽 依 "三大部 三泉涌 月翁公一學」律夕夕與 繼入:戒壇 一禮 人一少而 圓照律 出家敏悟之名越 三真照1 師 師 從二圓悟 洞

與言院道月 然律 師 傳

寂

師 及嚴律 至 尙 律 尋住:持眞言院 師 |於天台三論諸宗|悉入|源底 諱 7律 師 聖 輔 部 一然字道月依 - 依 _野 樂師 C₁₁中道 正和 律 信信 元 師 師 願律 年八月十五 其 』禀』密宗旨 助 師 以放道 之正 得度受具 一應年 日 皆達二 德震 寂 中 隨 守 三城四 其奥二 律 證 玄 師 叉 和 寂

可為宗綱要 振」祖 之,又於,秘密 師 律 寺是當時 〉德某年間垂 勅初 師 左右一留,意律 海,是也 諱 道 立 密嚴 野 三戒壇 厥 為。東八州之戒 州藥師 就 功偉哉終未、考 一 錫于東關下野州 -而 - 探--微 典 寺中 願 後人荒 遍大僧都,受,大僧 戒珠皎潔 與 隱 へ密嚴 心以故 場一 無、與師 ン之悲,受,具戒,之義,不、是以,律 天 律 兼學= 紹素 卒 師 中 深慨、之終再興、是熾 寶字年中 傳 屈請 天台 與樂師寺之古阯 戒 致い敬愛い風 敎 吉 尋親: 逐研二 高 祖 奉 飲 究

倫 海 律 師 傳

之響專 律 師 諱 倫 津林 海 圓 照 律 師之門人也 雅有才 智緇素歸 向 聲

聞

泉州

久米

、田寺

圓

戒

師

傳

十叉 遂洞 河 然 遠。慕道之士肩 一受,具足戒,志力堅 師 馬 為二精藍 -行 創 懸 m 諱 道 幽 Ш 元 寂實 泉涌 禪 如 玄 竹 寺 期 爾字 林律 ン故顧謂」徒 ,某年間 極 IE 受い請 字-包 俊禪 圓 中 寺,於,是律 笠海衆滿 戒 號三 摩袂屬依:法兄示觀國 年正 誦」華嚴 師事 觀 出...圓照 久米 國師 日吾 朋 爾律 為 月 研 レ堂觀 退 八 田 幢 律 師 及三大部 味戒 日 製造 高 戒壇院 佛 師 也 門 峙 國 一殿僧 不 敘 俗 磬 師稱、之某年就,泉 褒 遠也 協 英敏 名 造,其微密,名流 于 寮淨厨等屬既備 命〉師 戒壇院 日 師習二雜華旨 逸 灦 歷 代 從 三香旦, 旦 一慧辨無 僧臘 三示..微 五 律

州 礙

而

四 師 律

戒壇 院 十 達國 師 俥 奄 疾 住

塵 國 眞言院 玄 馬 師 諱 秀之聲 三華嚴奥 俊 一後移 方 冠 :北洛大通 達其 義 三于緇林 - 叉依 也 道 示 弱冠之年登壇受具 大 月然 觀國 張 師之高 律 講 師 肆 傳 弟 兩 = 密 也 都 效旨 少而 黑白 入1 尸羅 削 -初 無 级

篇

が重 也 法之徒圓淨等若干人所、著有,五教章要文集,卅二卷 月初二也歷:八間 日 蕃後遊,化 其 師 風 乘 東州, 竟唱, 滅于稱名律 後 麗 世九十有五 間 醐 瑞 天 - 世南 皇 都 井 坐, 菩提位, 七十叉六付 戒 大 擅 戒 诗,時 院 化 文和 風盛 子 播 禮 年 學者 賜

生 馬 Ш 竹 林寺 敎 願 律 師 傳

律 寺,為,第三世 師 敘 心願於 - 某九月十二日 一戒律 學」頗 盡 三精微 寂 住 持 馬 山 竹林 律

出 律 馬 Ш 師諱本無字了心為,,空智公之徒, 祝髮受具 一世戒壇院 戒壇 . 竹林寺 . 壽未 、 詳門人覺行去等若干人 院了 一不唱!!律 心無律 師 **教** 元德元年十月三日 傳

、器度拔

群

律

示

化于

四

日

示,,寂于北京大通寺,報身壽歷,,五十八年,也

師

傳

又住...持戒壇院

,居二歲大唱,宗教,延文三年六月初

律 為二律教華嚴之長一也入室習學尤多所 嚴二宗,為人所、美妙 釋等若干卷其終未、考、之也 師諱湛睿字本如 稱名寺湛睿律 為 師 傳 入...玄微 竹林圓 成律師· 一戒公門中 之徒 レ著教理 師與 毘尼 鈔及纂 盛譽. 華

戒擅 院盛 零律 師 傳

師 崩 智盛 一譽其 譚 也不少 詳二 何地 人 也 依 圓 戒公

> 靡風 レ之 甞著…五教章鈔 如、此也某年間住,,招提,為,第一座,未住和為, 秋,使者也頃日師宣,, 楊大乘, 故明神特遣、我隨喜其 鈔一 斷 往』戒壇 會之唱導師 髮染 夕夢神人衣冠嚴麗來謂、師曰我是金峯山 心心師 衣 | 精| 開遮持犯之旨| 雲水推| 之男女歸 學 又長,華嚴旨,歷應二年於,八米田 也康安二年正月 一海汪 洋名 五卷二云 翼 四 起 初 廿一日終沒世壽 居 泉之久 米 一開 田 伏 秋念 未 阴 如二草 應 神 . 聞 佛 感 後

學"尸羅教,尤造"淵極 年 師諱照玄字覺行 於:,東大寺,建:,香積 戒壇院照玄律 師 出二本無 傳 一氣受"瑜伽旨" 厨爾 律 後應、請主、鎌倉極 師 門 下又依

旁涉

);華嚴

樂寺

達

國

師

後慕 律 梵 網 福 中二年重依 師 覺也 諱照遠未、考:何 **落**提寺照遠律 |志戒門|元亨二年依 於,,大賢古迹,深得,,其旨 律師 "別受,納"具足戒,時廿二歲嘉曆年間 德...于梵網 國 何氏,也靈慧異氣絕、群 ::通 | 尋依"招提覺惠和 受法 其餘大小律部莫、不.. 進 一滿 分 飛 時 倘 薙落之 重 從

當

寺一 時 資 研 行 窕 正慶元 由 個 上是聲 E 而 貞和 浩 藝 又 年 心微 意 著...焚 五 4 一德突 日 年 志 月 題 有 **企**起 元網 古 月1凡 緣 興 八緇 都 日 迹 律 林 也 述 + 盛 迹 康 唱 Ŧi. 惻 鈔 车 安安 二吾宗 卷 及"白 五. 而 车 始 卷 功 H _ 住 成 於曆 開 衣 其 衆 律 招 間 應 肆 雖一寒 提 慈 主 年 部 之道 招提 鈔 記 暑 曾 E

室 生寺 真海 律 師 傳

玆

丕起其終

未以聞

ジ之

素間 建 律 定 師 具 元 牟 海 月六 即 知 尼 眞 日 何 住 地人 言 持 兩 室 出 生寺 照...導 空 智 於 四 律 衆 師 此 Ż 其 名 門 終 風 卓 未 性: 聞 敏 振 修 也 一紹 道

招提寺 源 平 國 師 傳

百 國 其邊子、今謂二 其 東路 - 習筆道 年 師 長其 風 諱 公空海 邊 H 遙 聖 聞 以合言往 - 也常 之英 跡今 H 支或 興 聖明 或 國 尚 師 崇 人 賢聖 也 筆 排之師 來人 散 休 聖或源照 春 禪 晒 自 日 在于 場 師 照或 1書…句 朋 m 未 神 又幼年出,一于金堂 聞之自 對 見。之日以如 世 詳 也 於 達墨 굸 師 住 何 紙 E 代 我 而 -以 皆 招 人 願 E レ是來 提著 感 染 吾 動 傳 奎 庭 掛 奎 稱 提 E 道 往 以 及 贊 菴 如 置 F 翰 招

> 承傳聞之也此外一山之衆師資相聞豈不√信耶尚徒衆,其祐公時代一休和尚同世也云又師資相師,海公又聽;之祐海大德;祐海公聞;之空泉律師,良國師行業未。得。記。紙唯口傳耳吾師義辨口,傳于予 僧 E H Ш 之枯 H 木 社 則 鹄 足 國 111 雷 逐 入 出 春 其 H 國 Ш 師 柄 與 徘 不 出 水公聞:傳之源 祐,辨公聞:之義海 大華 [然後 招 之也也 邊 提 世 和律

H

圓淨律 師 傳

包 律 が 寺等諸刹 師 諱 、敬應安元年 हिस Œ 奥 為 _ 志 常講 在二 淨字 八 物 也 月 華 表一覺行 依三 嚴 1 及三 H 唱= 達 一大部 律 寂于 或 師 師 住 以 極樂寺 得 ジ故 持 度 極樂 道 習二 化 戒壇及竹 流布 戒 律 敎

淨心 律 師 傳

安四 華 究持 徒 律 也 嚴 師 年 戒 犯 行 俱 譚 高 月二 敘 幾譽入」寂 名叫照慧 聲名顯 **飨弘** H 寂 著某 不 師 於 乘 繼 年 聞 叉住 依 其 幡 何 之善 席 人 地 米 人 後 馬 法 田 山 住 也 律 寺 竹 為 戒 盛 擅 譽 覺 律 年 律 行 寺 協 師 律 不唱: 未ん 云 師 精 應 之

性 通 師 傳

名 太 舖 諺 如 波 律 師 性 剃 通 髮 相 m 小 有 倉 英 氣 出 尋 遊 足 利 南 氏 京 也 依 從二 達 稱

邇 院 律 章鈔八卷五 通領德 師 所、著有"律 至者 一教斷 森 ili 戒 漕 k 图 必 分 濟 永 與要傳十卷戒壇系圖通 凉 和三 、之道 具. 足 鈔二卷五效儀解 年八月十五 反住 戒 于 朋 一持馬 智 大 日 山竹林寺,由 德 終,于金澤 詳記 集卅二卷起信 旣 īffi 五卷五教 住 是遐 稱 戒 名 擅

雪心聖地覺乘通證四律師傳

倫

一十二

寂覺乘: 居 寂 證諱靈賢又雪心律 華二院一名聲為。聞 戒壇院 生 戒壇二刹,名播,字內 律 一戒壇 師 远巷 雪 律師 院 一後主,人 多聖 字通 . 飛行聞.. 于人間 諱號 地 融 律師諱 米田寺 性 一融 應永 師之門資 通 存 律 一總深亦 廿九年五月十一日入寂 出"于雪心公之門"主" 一化振 師 至德三年四 之門人也 也 初 性 遐邇 應永卅年三月廿 住" 久米田 通 月十一 性 之門弟 某年二月 |敏善/律 也 日入 诗-初 居一龍 戒壇 律 # H 後移二 日日 寂乎 師 日 世 龍 華 通

贊曰 門之俊馬 遠公著,大部鈔 求法戒公開 自 中世之逸才也可以惜行 理性 部鈔,聖師達, 惠公一下 至 一通證玄公一之廿 師 翰 為一人 墨道 狀未、詳也然 Ŧ 腳 師 一譽師 跡深 五師 山 感 悉是吾 照 二金峰 公跨 嚴

> 谷 慕」道者宜」察」之平 飯 之類 等 使 非 道 德 超 邁非 常 人 者 其 容 易 臻

戒填院普一國師傳

後居: 肩 益 講 名寺」剃度又從,,量乘 國 神 至 宮 大室上師 為,,住持,以故七衆競起 具,住:戒壇院 集 以,,普一國師之號,由、是遠邇雲水莫、不,擔,, 簦属, 當,, 大明永樂十五年, 也明年大 宗文皇帝召入,, 大內 開遞之旨,又研,究華嚴及諸宗,應永廿 殿出 二輝師在 一ル此 一俄 :華嚴 其 隨如山雲歸之岫 輪 不」思」之乎神嘉 諱志玉總圓 謂 爾 下 邪 稱名寺及 經 肾受√請為,,亡人, 沾、香事畢 師 雷轟風惡折, 樹枝 頻守 師 師 ||支那||歴||五寒暑|後歸||本邦||多得||經書及法 師 日 曰我最忌,,亡人之穢,上人旣有 始 々開導夙夜敷,揚宗教,表,卒人天,惠光 - 常講: 華嚴于舍那大殿 壓譚 知衆生本 極樂寺 稱光皇帝崇"其道風 帝 王之裔 律 其言 柄 師也如片鴻毛遇 師 彌陀華嚴高 來成佛生死涅 一詞彩嚴正 也七歲隨二 進具聞」講,三大部 古 詠 洞者 和 一縱橫自如帝大喜賜 歌 Ш 而 雪心 - 復賜 皆畏 屋島等諸寺 歸 四 |順風| 巨魚 槃猶 學徒 而隱噫不 年渡海 因詣:春 融 三觸 而 = |國 如三 律 去時 奔赴 事一何 師之號 師 昨 能 于 入唐 神 H 踵 為 自 南 以

贊曰 邪寬 涌聲名籍 門人普開等者干人瑞谿鳳禪師亦甞從、師受、學焉 正四 派出,天潢,身遊,法海,立性嚴峻奉戒清素惠溢辨 年九月六日示:滅于梅 々西入 "支那,立"戒律幢,王臣依歸士庶來靡 尾高山 寺一春秋 + 有

東歸,,扶桑,再移,, 法旆, 帝尊神威苟為,, 人天師, 者如

が

机

律師 三年冬十月廿二日安然而化春秋未、詳 真賢住。持大聖竹林 竹林寺真賢律師 傳 寺 識博行峻為、人成、師文明

招提寺賢盛律師

傅

律師 受抄及高祖記傳等,初開,即板,又集,記中祖作持 恒有"戒法與立之志望" 應永二年九月四 文,刻、板行、世思,祖恩,甚厚其志實可、受也 諱賢盛未、知,何許人,也常居,招提 日 -以 以 E ン律導 中 羯磨 궲

招提寺詮秀律 師 傳

律師諱詮秀從,,住宗和尚, 受,, 密律二宗, 堅,, 享祿元年九月廿三日亥刻遷。神西方,春秋九十又四進 年 受戒七 附 法之徒若干人其上足源盛律師 (功)常思 有四受別受戒四十一夏居,于招提,五十餘 ||興隆|化||度群品||神志和雅 為他所以敬 持戒律

> 法金 剛 院士順 律 師 傳

嚴 等,親王預聞元祿十年秋應,妙心禪寺之衆請,開 住持,以"法命寺,命"徒珠正,以"亭子院,付"弟子 、任,寺事,某年寂其十四年珠慶讓,弟子珠榮, 律教 某年間 律 多叉依,,仁和寺覺助二品親王命, 上殿講,,三論起信 偷屢受〉請講,因明俱舍圓覺起信六物等諸章 聽者 讚一云其後照珍和尚住」之然和尚神足賜紫觀圭大長 同圓嚴周公至..現住照山晃公,人法俱昌山公殊慧解 師 |予亦預||其肆席||聽徒凡三千指其辯如||飛泉| 士順不〉知:何 住"和尙位,天文二年命" 處人,住,北洛雙丘法金剛院 其徒 珠慶 - 唱

悉悅伏也

俥

敎 當代密家大匠也梯、山航、海為, 善財行, 凡受, 密旨 山 律 法 至"十三師,旣達"閻奧, 也天正五年九月朔寂以" 密律 師 |傳||厥深義|常依 |傳||付春海律師||海公當||師之大祥忌辰||修||八千牧 又至"七囘忌辰 尊貞住..持安養院 安養院尊貞律師 招提寺春海律師 |修||八千收秘法 = 印融阿闍梨 傳 博 學!戒律 - 兼 聽二秘教旨一 通 ...眞言..屢之...南 融公是

招

提

Ŧ

招

依 律 公至...現住覺峰律師 貞公之後主,安養院,某年某月某日寂然後實秀公實海 中二與彌勒院 月十二日於,招提 二安養律師 師 春 海 字 尊貞律 ·以" 毗尼密乘二宗, 導、人慶長十三年 寶 永 禄 師一受一眞言教 |有||傳法灌頂||師 -相三續彌勒院-年 五 月六 日 也 初 依 為,大阿闍梨.又 至 = 通 法華院 受法 受具 後

招提寺英祐律師傳

衆命 松院 律師 英音英訓現 干,造,立古戏壇 之嚴命一輔二招提殿堂之破壞 英祐 一展赴,東府,登一金城一預,大樹及桂昌 一以,,毗尼,鳴後住,持東大知足院 不り知い何地 任英範律 | 範預, 其命, 其功豈少邪 師 人 主,合相,續藏松院 加加 志雄遠為人所、敬居,于藏 又自,尼公 其後英尊英秀 寄二黄 一院殿一位公 - 也範公依 (金岩

招提寺行賢律師傳

受 别受法 分說戒天正二 歲而入,,招提,十三歲而得度一十六歲受,,沙彌戒,弘治 一年九月廿六日依,,通受法 師 諱 四歲 行賢字忍禪 具足灌頂卅九歲修,八千收法, 進具 年三月廿四日於,,西大寺,依,,高與律師 八其歲 和州式下郡八田鄉人東氏之子 於"招提戒壇"受" ,進,具戒,至,廿二歲 畜衆度人法 一座四十四 -初 也十 四

> 照峰律師 奉,持愛染明王,屢感,瑞應,云師寂其後賢照和尚現住 教學, 及生馬竹林南都新坊內真如院等, 師之師某常恒今晚號, 及生馬竹林南都新坊內真如院等, 師之師其常恒 師 年與福寺務大乘院某大僧正公於,東大擅,受,具足 滅 五十年之諱辰,有,大法會 昇座講:遺敎經 修 [為]諸受者 為。大阿闍梨 受者甚多當。于太祖八百 求 聞 相紹住 持 法 :持教學及竹林寺,也 一時七十有六也師常居...招提之愛染 座 某 年 問 師 爲 為,讀師,時七十二歲某 論 義 講 匠 至 春 秋六

招提寺空泉律師傳

律 甚勤云慶長十五年七月廿五日 又慶長八年十一 師 安,置井之像, 南,一山衆, 行,大供養, 其時慶長年間 軀|歸||于招提|以|菴移||建其西 歸,依虛空藏并,行,于奧州柳津, 五囘終得 萬枚 歷三日同九年入,大峯,柴燈護摩一代之修行 又於"與州,依"靈夢,感"得毘舍門天像 師義海律師義辨律師 師諱空泉字良寂居, 菩提菴, 習, 學律密 月廿二日至,,某日,修二行不動護摩,供 相繼至。余主。能滿院一也 寂春秋 改號二能 未レ詳其後 今尚 滿 之致 ·井之像 院一寺成 師 也

招提寺良泉律師傳

律師諱良泉居,,于招提不動院,會數號,學,,戒律教,某年

招提寺祐雅律師傳

和上 律 行秀」人以」故依 實和律師 師 一授:之祐算,其終末、聞其依:賴秀 祐雅住:持 真桂 招提法華院」以上律導と "大樹命」主"于眞言新禪兩院」也 律師一相紹住二法華院 人與言受: 及一道 也殊道 律師 公學 良惠

招提寺俊盛律師傳

其廿 十一年十月廿八 律 律 堂等之破壞一寬文二年十月十九日 申 刻寂春秋七十八 和九年再依,照珍公,重受,具戒,甞移,建湯屋 號二圓光院 年中予之法兄義顯律師投,長財若干,再,與此院,改 賓生院|又建||一宇佛殿|自勸||化道俗 師 真言二致,為人所以尚 俊盛幼 日行:分物及殡葬之法: 祐 一而入 日隨,照珍律師 ..招提寺.居.. 某年依二 招提湯屋院 海首座為 登 通受法 招提壇 -輔二五層塔及禮 一寶生院 以二 受具叉慶長 - 羯磨- 元祿 進具元 院 戒

大覺寺泉秀律師傳

律師字賢智諱泉秀居"攝州大覺寺,慶長十一年十月廿

相紹居"大覺寺,至、今律家精藍而為"本山枝院,也八日依"照珍律師,受",別受具戒, 其後實施泉戒千照等

壬生寺祐海律師傳

廻壺中 壇一 院, 尋作, 分物法, 三寺大衆五十有三人建, 塔西方院及 持二小器水一而 京 提 律 壬生寺-云戒律及眞言門人甚 日 消云某年間 千返九旬如、是而不、關、之承應元年冬十一月於"招 夜至、暮初夜竟不.. 闕如一或一夏中齋後廻一五層塔一 常不、過、中二六時中誦,念胎藏舍那之神咒」自、朝後 受具元和九年秋九月廿七日依二照珍大和 髮染衣慶長十 終,于壬生寺,春秋七十又六同十 都客 師 為一諸徒 ▽··畜衆度人法·先·是依··通受法·進具持戒潔白 祐 海 一恰如少輪 相與拜, 金堂佛骨, 時三千粒佛骨急然而 字 住」持 良 傳 稱二南無輪蓋龍王一返而 開 年十月廿八日 肥前州 ;北京壬生寺方丈, 也寬文三年二月三 ... 轉念殊 > 壇授" 具支灌頂 | 云某年間 小倉鄉 - 也又招提 多上首即形義海律師 從照珍公 人隨二招提 ·四日葬:招提西方 東寶火起及 投 空泉律 尚一於:招提 | 依||別受法 レ水則火忽 > 棟師 H 師 有= 一刹 食

法金剛院觀景律師傳

律師諱照嚴字.. 觀景. 京兆人中原氏 第六子也 正七歲

招

提

嵩

醍醐山 息慈戒 僧正傳:受于最秘之旨,留:師之門,三年增研,智牙, 密二数,凡遊,泉涌,十八年也師年廿隨,周和尚,入, 招提寺一受:具足戒」尋入:雲龍院如周和尚之門,學:顯 真言法具典籍等,至"十九歲,修"好相,三七日適"南 薙 投,法金 經同 藏院流之秘印,四十四歲春四月當,先大樹大猷院大相 出品,君臣預聞又隨,一子嵯峨法輪道場有以法印 尚,又受,,南山宗義之玄底,年卅七於,,仙洞 錫雲龍」依二周 于梵網古迹等,年廿六走:南都 造,其深奥, 廿有三遊, 槇尾山, 九旬安居聽, 真空律 公,受,,傳法職位,十七歲珍公歸寂命,師付,,法金剛院及 法護摩之法 國之小群忌,應,東福門院召,於,仙窟, 髮住"珍左右一年十一修"好相,三七日依"珍公 登…臺嶺」就…惠心院僧正 賜 一、秋應二女院殿下之命一所上演二宣四十二章經 |白銀岩干|其後時 一十三歲承,,十八契印金剛界,明年禀,,胎藏之秘 |依||堯圓大僧正||學||眞言旨|入|| 其淵深| 明年 剛院照珍公一受,三歸五戒等,字,尊王一九歲而 一年十六秋九月於二八幡金剛律寺 和尚, 至" 卅五| 再傳" 松橋秘旨于周 々雖、召以、痾固 |學"|四教集解| 年卅三卓" 法隆寺,聽,學教旨,年 講:四十二章 日解不 -講:法花 一依 一受"地 應 三照珍 -受 - 毎 踊 師 京

> 也同 十二月廿七日化 春秋六十有三僧夏四十有四立, 塔于 山崎神宮寺」與、師 陽 法金剛院,上足玉周律師 合山請、師主、之師以、香年病病、僻、之衆勸、之其年冬 命,主,泉涌寺,由、是聲光日著緇白依歸延寶二年招提 法師,受,悉曇學義,初從,周和尚 周等慕:戀秘密傳 王 |周光潘等||京兆尹板倉防州公及長井濃州公等以| 冬於,雲龍院 法一為之之授,事相,四十四歲依,悔焉 |飾||兩部道場||付||于傳法職 師應」之年四十二昔隱皓山空淵玉 紹 其席 |傅||習之||其年依||帝 位 于宜

大瀧寺實祐律師傳

凡歸 崇〉師 十有五建" 塔于厥山頭 也 其徒賢正律師紹" 其位席 遁地-山是稱德帝建立而如意輪觀音應現 青山氏尊,崇師德,屢問,法要, 甞於, 大覺寺, 立, 佛 律 感應日昌故其山下邊及海邊者奉"此尊像一為,護舟神 人住,師應、命入、山愛,山水奇,奉,觀音 其後大守以,武庫 師實祐 大方丈及鐘樓等 |依斯山|村 極多無、何建,立寶殿一字,以安,觀 居,和州齋宮寺,後移, 々十有餘鄉也某九月十五 地再度山古跡方八町山 又請! 乞本山 合衆令 攝大覺寺 尼 地也久荒無 音大悲之像 一付」師 切山下民俗 日寂春秋四 訓祐 心崎大守 師 為一隱

安養菴智空稱律師傳

律 成,,一流,世呼,,之壬生派,殊歸,,崇之,延寶八年五月十 於"城西壬生寺下,以、竹為、柱葺、松為、瓦構" 業,堅持,禁戒,食不,過,中常行, 六時不怠之念佛,自 甞於:,北洛·自建:,艸菴·號名:,寒耳,以居·之而修;,往生 聞"法華勝鬘等經一某年於"高野山,受"秘密灌頂法 謁二了性律 師 成,出家,十有八歲講,選擇集 人也天機應慧有,超邁之操 隨、師親得、度者凡二百餘人皆持,,齋戒,修,,安養業,途 號,安養菴,安,彌陀像,而移,居之,終日夜盡修,專念 、壯至、滅稱,彌陀號,日三萬遍雖,風雪慘栗陽光熾烈 師諱智空字唯稱又號。覺雲一姓仲村氏母珠岡氏京兆 一於〉茲聲聞 講,,子法華玄義,四方道俗競來聞,之曾往,,南京 (含幷台宗三大部,深達,其奧,廿又三應,衆所 師于法隆寺, 習:,毘尼教, 又隨;, 高榮法師 =都鄙 |戀||師之風|為||弟子||者緇素頗夥 一十有四歲入二子緇林一乃 - 明年逢: 良澄和尚于京 一小廬 -初

> 請,而 賢師 有八 或操行高潔 實為一律林中之 虎法海中之龍一也就中空 贊曰自:,上竹林賢公,下至,,安養稱公,諸師或道念堅明 之傳,也欲,,細視,之應,披,見彼,今記,,其梗槩,耳 \不、墮、地甞著,,緇白往生傳,以流,,子世,其中具載,師 六十又四 古人,未,必有,愧也 轉囘,且真公參,諸師,而硏,究秘門, 念佛集七卷行, 于世一也其稱律師振, 乃父之風, 更合 為,追福,云其上足忍稱律師繼,安養菴席,所、著念死 日著 得。天王之感,泉公有。夢裡之瑞, 屢說、法稱師修行不、倦盛啓,安養之業,等且視, 僧夏若干葬,靈骨于壬生寺西南隅,也諸徒厚 二僧伽梨 一向一彌陀像,至心念佛安然而化 海師 景師預:皇后之 拜! 金骨之 閱

招

招提千歲傳記卷中之三

王臣篇

記、之而已 第1計、是誰可、經邪予以、故集"取當山有緣之王臣,以 等1計、是誰可、經邪予以、故集"取當山有緣之王臣,以 正臣,王臣不、信吾徒豈安且聞諸佛并現"國王身,現" 正臣,王臣不、信吾徒豈安且聞諸佛并現"國王身,現"

聖武皇帝傳

就"行基大井"受"井戒"其七 算五十落飾修道法諱勝滿天平 像 賜 東大號 異域聖賢嚮 風來應甚多天平廿 水,國昌民豐也又造, 毘盧大像, 而建, 大殿, 以安, 其 範,政舜禹之式,內扇,心漢帝之風,以及普天潤,其慈 養老八年二月四日 也生, 于大寶三年, 和銅七年為, 皇太子, 時年十有四 聖武皇帝者文武之皇子母者藤原夫人大師不比等之女 ·從言高祖鑑真大師 卽 位 時 重受"井大戒」令"此邊國 歲廿有二治」國廿五年外 月二日禪"位太子' 叡 勝寶六年四 月初築 年 初

新田部親王傳壽五十八葬, 于佐保山, 矣傳謂, 如意輪觀音之應化, 也弘, 毘尼之妙道, 厥功不, 皇乎勝寶八年五月二日崩聖弘, 毘尼之妙道, 厥功不, 皇乎勝寶八年五月二日崩聖

紀,今略記、之

孝謙皇帝傳

號, 厥敬重如,,先帝,寰龜元年八月四日崩擊之皇女也母者光明太后也誕,,生于養老三年,天武皇帝之皇女也母者光明太后也誕,,生于養老三年,天武皇帝之皇女也母者光明太后也誕,,生于養老三年,天武皇帝之皇女也母者光明太后也誕,,生于養老三年,天武皇帝之皇女也母者光明太后也誕,,生于養老三年,天寶字孝謙稱德皇帝者號,阿阴內親王,亦曰,,高野姬,聖寶字孝謙稱德皇帝者號,阿阴內親王,亦曰,高野姬,聖寶字孝謙稱德皇帝者號,阿阴內親王,亦曰,高野姬,聖

廢帝傳

廢帝諱大炊一品舍人皇子第七子母者山背上總守當麻

島,故號,淡路帝,也在位六年也登位就,吾大師,受,大乘井戒,厚歸,佛乘,與,先帝,老之女也天平五年誕生勝寶八年立,于太子,寶字三年

與人元開傳

傳 眞 落、春自歸二二寶德 漏津一今朝蒙」善誘 華豐欲」識…玄津路 尚吾大師,受、戒甞賦、詩二章日 人元開未、知,何人,也傳謂丹墀眞人廣成之子也欽, 一卷,以記,大師之事跡,蓋就, 詫公所 二豊若 "真和上含、章戾"海東 一緇門得...妙工.. 我是無明客長迷...有 一誰畏二六魔瞋 - 懐抱絕 三塵埃 |摩騰遊||漢闕||僧會入|| |寶龜十年選||述東征 一道種將萠、夏空華更 一禪林戒網蜜惠苑覺 述東征傳

四條皇帝傳

葬"于東山泉涌寺,世傳謂俊芿律師之再來與井,受"井戒, 其三年正月九日崩寶壽十有二依" 遺勅,三年, 貞永元年十二月五日 卽位仁治年 間從" 于大悲皇帝諱秀仁後堀河之太子母者 藻壁門院也誕" 于寬喜

大相國道家公傳

大相國諱道家布,清政于扶桑,專歸,吾法,某年出家名

寺,弘,佛心宗,公於,戒律,尤有、功故吾中祖親付、法也號,行惠,依,吾中祖,受、戒取,弟子之禮,又創,建東福

居士篇

婆塞,豈可¸漏歟予以¸敌得"二三士,立"斯一篇,也述曰佛法之中有"七衆異,吾寺門中有" 厥功, 者雖"優

軍法力傳

外之敎,大師偶遊,(化東方,力亦相隨入,,于此國,大師外之敎,大師偶遊,(化東方,力亦相隨入,,于此國,大師來、勅建,,立招提,力有,妙工,故大師命、力令、刻,丈六奉、勅建,,立招提,力有,妙工,故大師命、力令、刻,丈六慈氏之像,以安,,奉壽堂, 其餘佛井像若干也古今佛工善、群力之所、作像所、不、及,,當人, 也予恒登,, 講堂,皆謂力之蘇豈又乘,,願力,來非、助,,大師之化, 歟其終未力從、之臻豈又乘,,願力,來非、助,大師之化, 歟其終未入從、之臻豈又乘,,願力,來非、助,大師之化, 歟其終未入從、之臻豈又乘,,願力,來非、助,大師之化, 歟其終未入從、之臻,以表,以表,

潘仙童傳

善聽傳 一篇,近事男潘仙童本支那國楊州之人也歸,依吾真老和向近事男潘仙童本支那國楊州之人也歸,依吾真老和向

招

招

寶最傳

| 地, 尤助, 吾高祖化, 云| 信男寶最朝鮮國人未、知, 其姓, 隨,, 吾大師, 來,, 至斯

慈禪上人傳

至,,于今,人法繁昌也 吃,以居建治元年十一月十一日 化春秋九十歲 其兩院退,,具戒,,堅持,,齋戒,,當於,,招提, 建,, 創西方妙香之西戒時五十歲疇昔南都四律匠之一也事具在,,大悲傳,後上人慈禪號,,有嚴,又曰,,如願,嘉禛二年秋九月自誓受上人慈禪號,,有嚴,又曰,,如願,嘉禛二年秋九月自誓受

尼女篇

述曰清昇成、天濁沈成、地陰陽相分男女自有也吾佛法

門之清尼二三人,以立,此篇,也 默誠以大悲拔、苦大慈與、樂意有,于此,今吾集,得自則成、女若於,今生,持、戒修、道不、遮,其障,何免、之則成、女若於,今生,持、戒修、道不、遮,其障,何免、之出時轉、男成、女豈可、捨、之夫宿善厚則成、男宿善薄出時轉、男成、女豈可、捨、故以高祖來時三尼相從中祖中更無、遮、之幷聽,許度,茲以高祖來時三尼相從中祖

智首尼傳

地,其終未,詳也時有,,三尼,相與來應二尼沒,,其名,也性英才也從,,吾大師,進,,尼具戒,而隨,,大師,來,, 于此大比丘尼諱智首唐國人居,,于藤州通善寺,清持,佛戒,

光明后傳

后之事跡存,,續日本紀等,故略,,于此,也光明后者淡海公第二女也聖武帝為,東宮,時納為,如光明,云然生,,孝謙帝及皇太子,太子早逝甞建,浴辈,皇后登壇受,,并戒,歸,,吾和上,與、帝同也寶字二年寺, 皇后登壇受,,并戒,歸,,吾和上,與、帝同也寶字二年寺, 皇后登壇受,,并戒,歸,,吾和上,與、帝同也寶字二年一受,,天平應真皇太后之尊號,其四年六月七日薨年六十一受,,天平應真皇太后之尊號,其四年六月七日薨年六十一受,,天平應真皇太后之尊號,其四年六月七日薨年六十一受,,天平應真皇太后之尊號,其四年六月七日薨年六十一支,。

釋尼教圓者未>知:|何許人,也一旦發:|大心,進|轉男教圓傳

大比丘

為、尼言畢即隱圓忽轉、男成、女從、是歸,, 古鄉, 勸,其 天人日比 寬 元 年 丘 中大悲祖師行二布薩 既雖、備、之未、有"比丘尼, 先以、 - 時 天人來下圓 對 汝 話 紛 如而

悲之傳一焉鄭太女三七日之後亦轉、女成、男也取意

姉某,合、為,出家,從、是我國七衆亦備矣事具記,一于大

戒

也

▶人取:來之一既欲以開▶之時凾中忽有:鈴音 尼及沙彌尼聚二共輪下一 」奇哉師恒堅持,禁戒,門人甚多甞於,和州瀧市鄉,立, 以:此由,寺衆不、許後勅開 旁具記,太子及皇后之行狀,也寤後師眞參,寺僧, >之其曼陀羅大二丈許一々縫: 顯莊嚴微妙之國 天壽國之曼陀羅今有,當寺法藏,應、見、汝須臾而 如"皇后之諱辰,師多年求,之更無"之知, 為,,上宮皇子之母間人皇后之開基,師居,,此寺,初曾未 法,已而進,大比丘尼戒,中,興中宮寺,以居, 發"大菩提心|從"于大悲丼|剃髮成"沙彌尼| 大尼諱信如轉男教圓尼之姉也某年間因 正法尼寺, 為,開山 金堂一慇懃祈」之其夜中夢上宮太子告、師云我昔記」之 法寺開山信如尼傳 一也建長元年三月晦日結界於、兹大 恒 製 之果如:師之夢: 云豊不 十輩 佛殿鐘樓藏庫坊室 = 教圓之勸 故於 開 尋學ニ六 之寺是 土又 返 法法隆 一忽 見 有

> 念佛會,也昌度、人弘、律焉雜談集云,中宮 爲二 方精監-也自 其四 月二 日

> > 開 一於釋

迦大

招提千歲傳記卷下之一

殿堂篇

夫此 薨國人憂¸之勅遣"官人數輩,監"護葬事,又使"連兄 寶字年中吾祖大師自甞: 地味->舞厥歡樂豈窮乎 其仁情慈育而為 從,朝退入,長生殿,戀,不老藥,詠、歌吟、詩奏、樂作 宮女步、廊朝乘,,牛車,轟々登,,于鳳闕,哀,四海民,暮 人皇子入:其館,而吊之也其後殿閣相荒年漸古也 品|兼任||大樹職|當時為||天下範 也皇子初住,斯地, 紺殿朱閣綾、玉雙、甍官人進、階 地 专基大路,北限,四條大路,此餘酉山有,別院四十八院,也 天武天皇第七子一品大將軍新田部皇子之舊 乃知 :清明人: 也位進: 一也天平勝寶年間 為一佛法延榮之 舍

5 2

金堂

輔 破壞,則輔之也文永七年丕加,修理,而後元享年中又 等本師以\故安::大殿:也安 毘 也樂師者在||東方淨瑠璃世界||故安||之東方||中央本地 觀世音者本地彌陀尊也故安..西方.彌陀淨土在..西方. 安二丈八千手觀音,天人來下而造,之也跡之篇,也蓋大悲 世千佛也左脇安,,丈二樂師如來, 幷思詫公作,之右脇 感、肝圓光之中有,千佛 吾覺王之太子也以、有,,此次,表,,之于、茲一也旣而至,, 後板幷諸柱畵;,二千佛,光中千佛與;,此二千佛,合則三 頭」唐如寶師竭」力建 金堂南北八間東西 | 盧尊卽華嚴會場大乘頓機之尊容也是此一代教主吾 尋時々加 :其輔 也此元祿五年大輔用 一十六間棟高 、之中央安、奉丈六毘盧像一金色 像一唐思諾及曇靜造 三彌勒尊于大講堂,當來世尊 聳一松梢 .. 黄金. 岩干也 - 日昇輝 之之以龍

講堂

壞則 江沼 東塔者平城天皇嵯峨皇帝刺建〉之也大同五 取二一佛一元祿六年加、之也 四佛尊像 大塔也其飾絕、言上聳、雲漢, 下映、大地, 其後時 而墮、地其先寶生院俊盛勸, 化道俗 修二輔之一 今尚 臣小並等為,其刺使 一四角四柱盡一子如來八相一矣近比有一盗賊 存 >焉其寛文中大地震九 四四 間 四 面 高 加修 十二 理 年從五 輸水 一丈五 也中安, 炎折 位下 層之 々破

西塔者未り詳 Ш 所 由 今唯跡耳其地彌陀堂東 水也少高有

開 Ш 一殿者 安二于高 祖鑑真 大師 之眞影 也 其眞影者 唐 思

> 盡焉 也夫斯殿者寶字年中始建、之鳥羽皇帝御字中川範上 幾度有」之同八年東關護持院大僧正隆光寄,掛錦帳 壇, 其上構, 寶龕, 也乾元年間再造, 營之, 而後太損字 大哉殿東西五問半南 詫造」之尊顏和雅 其後及"大破一乾元年又丕輔尋信智修、之至、今美善共 登...于此殿.開 人入,, 于此殿, 親得,, 戒印, 又建仁之比與福貞慶大德 輔」治衆藍傾倒,也元祿七年又輔」之其餘之少輔 多鄉崇福寺主比丘信智投, 長財若 1大論筵1尋叉戒如上人講1梵網於此殿 而猶笑也 北七間 時 厥營也 々毎と 干,修,輔之,象又 拜忘 美盡中央安: 須彌 ン去鳴 呼 祖

羂索堂

索像 長五尺餘三日四臂也 其跡影堂之向東室之北也影堂與"此殿,如"兩翼 在1于大唐1現1其尊形1 羂索堂者寶字年間藤 - 幷八部神咒之 像此尊者吾 原清 蓋斯觀音者鑑真 斷,疑者迷,云中世倒而 河 施 屋 作レ 大 師 殿 大師 傳來之像 奉不 之本地 無 也 身 也

堂

世 禮堂者未、識 崩 無再 造 "其所以" 之旣而慶上人再: 地者東室南也安: 治東室 釋迦算 لا 號二 禮堂 像

招 提

堂

篇

裙

於此殿 像 安 也厥 尊 長 也其 Ŧi. 尺也常 其 殿南北十有三間 像者 恒法會 71. 加 傳 多 來 開 毘 東西六間 省 斯 羯磨 殿 之所と 叉秋念佛會 也 作 赤 旃 檀

陀堂

寶一嚴、之而安下自二百濟國 彌 叉安...于殿 比有、賊盗,此像,去不、得 使、講,,天台教于此 陀堂 桓 中一 武 以皇帝 相 中一 勅 立 也 中 斯 二遠行一拾一置此堂之邊 一所一南來一之彌陀 世 殿 絕滅今有 東西 南 北 唯 $\overline{\mathcal{H}}$ 小 三尊 間 殿 也 像上氣 以上七 耳近

沙爾堂

朋 沙 彌堂者 八 年丙 申 在 五月十七 元戒 壇 前 蓋 百 受 午 時 戒 减 時 褒矣 諸 息 慈 居 于 此 也文

起堂

法 起 堂由來 未 詳 其跡 叉 未り知り之也

不動堂

所由 不動堂者唐義靜 未、詳 也 殿 者 造之其 中世紀 《像者 而 無处建 從一大唐 之邊也是傳謂大師廟所 來也今尚

、勒堂

彌 滿勒堂斯 彌勒院 殿 未 其 知 跡 本 其 所 像者吾祖 也永仁元年正 將 來尊 月 也 移三 殿崩後安 建 此 殿

跃 院 中 也

文殊堂

從一西唐 文殊堂茲殿 Ŧi. 來赤栴檀之像也幷有,四童子,其殿倒而 間 四方而 東室半中 東方也 形像 文吾祖

未

興 也

地

藏

堂

東南刻山西北之二間間 地 藏 堂 者唐 空海公與 如法 "如寶公|友善其歲殿倒今有"小殿 建、之像者弘法大 師 所 作 也 夏傳 小殿,耳

大 間間 日堂

大日 四間許殿絕後安,像大殿一隅,也一二存、之計、之東西入間許南北十 形 堂 **此殿** 金剛界會 從 44 含那 Ш 尊 去 也 西 殿 南 波 之方五 か今 無存 町 許 也 跡 也少高柱礎 容二丈二

東宮

レ祖日 、殿余親拜、之爲,,白石,明也 時十年有,,再造,時衣中取、燭入時 祖益感構、殿鎮、之永為、律門之護神 現11白石1矣果爾吾祖 征之時海 東宮有二二 大師臻...于扶桑 中 殿 琲 ア形遇ニ 也 南 殿者海德龍 及文立、招提 吾和 建 k 三戒場一 有 誓 護二 破 王 者吾於: 一也蓋斯 忽然現 故 也 含利 加 久或 神者吾太師 其 迷,青白,元禄 輔 地 大白石 吾 也 東南 多天正 龍 神 謂 東

招

々及と憂い 文太夫大雷 吉備 大臣崇道 天 天皇伊與 神 也昔 往 親 有,樓門等 王藤原夫人藤 神 酮 大宰少瓦弘 叉大也 太 夫 橋灣 中 一世廢 太夫

絕 有二小社 耳

南宮

時興

福大衆入...于斯處

□讀||誦大乘||請||乞雨于此祠

华

問 比丘

|賴專以||他力||丕治」之元

減

十年冬再, 與之

其功至、春也

夫此

龍神今古奇瑞非

年々歲

宮者大辨才天女也其來由 未、詳也

南

北宮

併 因 一縁如い常也

此神鎮

護之深故也其中社者

一棟三戶而

勸

三請五

社

謂

威,未,遑,記,之加之當

Щ

既重

千霜,未、有,火災,

ン雨有!

其應

北

宮者伽利帝

母也是食堂東北隅也有,小社,耳此神之

大雨如、此之事旣三度也其餘年々數度祈

兹與福大衆入二于此寺一讀

ン經經

未レ半青

天忽變雲起

應如,月印以水也近比青天明々不以雨數旬國人堪以憂依

旱水,民俗祈,雨此神,必靡,不、雨依、是國中及,大旱

天神也

德之比覺慧上人鎮;座此

三神何歲鎮、兹邪未、知、之也其氣伊氣多兩

天照神皇八幡大神春日

明神及氣

伊氣

多

明

也其

僧堂者藤原亞 門天像 僧堂 相 仲

公崇:

吾大師

捨

レ屋建

シ之

安二

林 干,也計、之南北〇恐東十三四間南北十二三間【古 多 小幾千於 二此殿裡 也中世滅亡今 |養||報命|矣] 無其地 講堂後 也今存 : 礎石 往緇

庫院

庫院者調 一僧 食 處某比倒後今有,小屋 也

癥

以,其地,俗呼謂,鏡池,也樓門前殿雙、軒莊嚴盡,美麗,也中有,小満,是則其跡也亦,樓門前殿雙、軒莊嚴盡,美麗,首門門門等有,小溝,是則其跡也亦,據愈成、電飛往,王都,焉兩神值處社前廿間許令語,其所由,龍神云公欲、成、顯應,往,其地,遷。影子水, 菅公如、教往,

招提寺,話,,之龍神,,菅靈入,,于此地,于,,時龍神出,,於神殿, 對,,之菅公古老語,,予曰昔菅公鎭至,,初瀨寺,其處守神告,之曰公之所願欲,果行,

往歲延喜之聖代有,,菅公之靈,因以鎮,,于此,也

所也事具見.覺

其北殿者

神

者中 神

世元 北野

經藏唐義靜造之納 -大藏經 一也再二與之二 一也源類朝

公

寶藏

寶藏者納 皷樓 :佛井像及 切實物 也 再造也方也 賴

朝卿之

想 Ŧ 哉 傳 篇 西宮叉三棟

也御

震八

王子

熊野

也

御

震者

為

八八

神

也

調

古嗟乎神

德 之倒

昭

一破則

川嶼と

之今年春三社及樓門

寺皆悉歸

招

提

皷樓者從,中世比,舍利殿絕後安,于此裡,也雖然去,

鐘樓

鐘樓者某比壞後今有: 踈殿 也

舍利殿

定知大 義靜造 院 像 舍利 矣夫三千金骨者吾寺最第 一號二舍利 切實物 殿者未以明以厥 而 之納 美盡焉今存經藏 殿前 一乎疑今經藏中世贄與予看::大圖 佛舍利 有||滄海池||邊有||孤山 地一中世 **华合及佛**井 至 一安二 靈物而日域之珍寶也其殿 小殿 于皷樓一 也奚納二 像 經 律 釋書曰經藏唐 松一理可以然乎 論 藏金骨及佛 東構 切 寶物

戒擅

堂

後廢則 樹 多 四 十五日有"落成之大會」事具見,舊事篇,夫斯戒壇 戒擅堂者天平實字三年帝 算母一 「所之 成, 莓苦之地, 僅 中世及、廢弘安七年與二立之一 堂一美盡善盡可以謂: 孝謙帝命再至 興 位宗子公聽 也藝師寺及當山也 レ之文禄 五年大 有 二小 |其大破|賜| 屋一覆 地震此時殿 刺築、之又構 :戒壇:耳元 同儿 于黄金岩干 再建二 堂多 一也 月行..受戒 = 其殿 往可,見也事為 倒此 禄 九 其九 年 殿 又 也 天 倒 月 個 花 F

> 禮堂 絕後 東室 此一也今歲北方分、二其 赤栴檀迦文像| 年中諸會多修: 此處| 大壇 奉以安二子三千金骨 遊學含也 建仁年間 者 加一于東 南 四 北 叉 # 北同 解脫 西 八 間 丈,故十三間與,六間 上人修"治之一南方十有三間以號" 東 レ之號ニ 西 四 也其 為一舍利 間 三面 华 二講坊 也 僧坊 此宝 殿 就 即與福之衆侶念 秋大會全行,于 莊嚴美麗而構 中東室 往 也中央安,于 普 天 孟者禮堂 F 緇侶

西室

佛

會

中居..于此坊一也

妙 所 間 西室 北號三祠堂一十方檀越寄 檀 四 T. 造之像 也 面之小殿 手大悲像 |如..東室. 也今以..南方八間除..莊、之即安..于白梅 也彌 年秋成 蓋其像者吾大師 |而安||于地藏大士之像 1ºE 千體住持連牌諸靈牌等並皆安 レ財設レ齋吊 三六親靈 也小野篁朝 持來尊容 一西構三 U 臣

北室

ī建. | 跡皆為..別院.也 大 | 北室者中世倒而無、之其跡庫院之北

東西修

K

也

浴室

東室

浴室 老 醍 醐 水 北 邊 也 太古浴 宝壞 而 無 建 其 後 Ī 應 四

西井殿水號三醍醐

為1成佛田1也 醐,名、水也古謂有,有信人,飯,此水,則現除,病根 井, 甞窺,, 淸濁, 味,, 其好惡, 其水清冷味殊最上故以, 醍 名,,西井, 也天平寳字三年吾大師肇啓,,此山 西井殿者當山第一靈泉也呼,其水一稱,醍醐 號三其 - 先穿::這 殿

尊靈殿

嚴有院殿之四牌 安,,于東照神君之影像,左右安,,于台德院殿大猷院殿 尊靈殿者祭:源家代々之神靈,處也其殿小而美也 也 中央

廁

後倒而無」之 僧厠者庫院東北也古厠滅亡弘安十年四月又造 之其

開 山塔

昔時 廟之古跡,耳有、籬施、廻也 開山塔者寺之東北之隅也世人呼為,,廟山, 前有> 殿塔及燈炤堂等雙,,建山 一裡一中世滅亡今無唯有 池也

西廟

是則中與大悲井之廟也 西廟者有,西方院內,以,石作 年之遠忌 一故再營,,造之,也 前有: - 五輪浮視 燈炤,今年為,四百五十 高 一丈許·

机

廻廊井諦殿邊之廊

歲 堂 分衣·西大之衆想: 于廻廊之邊: 也明乎其比尚 王宮,造,長廊,也中世亡滅蓋道海和尚入滅之時及,于 餘自、殿至、殿諸廊中世皆倒其中從,, 于講堂一至,, 于僧 廻廊者從,,中門,雙建廻至及,, 金殿, 也淳和皇帝勅捨, 廊老人語、予謂少時親看也曾知未、過:四五十 存矣厥

ılı 押

門者中世絕倒而無」之其跡今有二大門 處也

uli

1-1

間 中門者從一中世一無、之地者山門之北數十步許也傳謂 今大門者山門崩後以,中門,移,建于此,也今門南北二 华東西六間餘也

四方築地者文祿五年七月十二日大地震此時悉倒也南 四方築地

方尋雖、築、之又悉倒也

別院

殿 堂

宿坊 者唐禪講善應量之四院也其唐禪者吾大師住居院也其 金生者和州內山 院一其寺廢後移 吉祥金生西方妙香之四院 藏松德園本號"圓光又號,寶生」能滿菩提,法華等七院也 十七日滅倒後無、建也今存,院及名一者教學要染 公寂行,,分衣法 者地未以明也相 中,見,,于古記,院倒後移,安之太祖影堂傍,也其講釋 滅而無」立之當時井尊像安二于斯裡一譚辰法樂修」 箇院 居,于此院,六過,春秋,歿後代々和尚兼,住此院,爾來 南蓋中與大悲井安住院也寶治元年七月十八日落成井 京一如、是此義明二古記 跡未、詳於,, 左京, 住,, 大師, 院號,, 唐禪院, 又在,, 右 皆殘院稱,于此裡一也古別院悉以失人名今坊無而 四十八院中院々有一數坊一故曰一千坊一數今無從一中古一 搆,四十八院,也前唯口傳後古記也如,何會通,乎計知 是非,,寺之甲乙,依,, 現前住僧夏薦,記,,于茲上心又有, 院千古有"此寺之西 一也其後未」考一何比斷一矣其與善者文明八年五 二立此山,謂,言祥,者和州結崎鄉市寺也 傳謂: 彌陀堂後 - 也享德三年和尚任宗 一時西大澄公秉 揭磨,點 講釋院,為 之 頭光寺也皆為二 [方] 也傳謂井山千坊然古記 一也其應量者 兩藏之背滄海池 | 其吉祥金生二院者本為"枝 方精藍 絕後如 存し名 彌勒 日 月 西

> 、鳴,,于時,且昭,,々萬世,焉其妙香者同慈禪上人所, 公之力,吾山殿閣再歸,千古,嗟乎重哉公之德也唯非 祿領"若干,大將軍之敬仰更絕"倫類 >之今春功畢護摩殿方丈庫院門等已成此院西邊葬 建長元年大悲祖師化去葬,此院 故 貞享年中二徒諍而分成;;二院一 正隆光公者本出,於此院,公值,大樹之恭,三轉,僧官 一地此院自了始旣四百餘年今尚繁榮東關護持院大僧 呼稱。客坊 也又西方院某年間上人慈禪建 一者妙音一者妙智也 世也 有,彌陀堂,去年輔 聲重 二于時一依二 レ之以

招提千歲傳記卷下之二

有,著述,若不、有、言則吾法幾、絕以、故今立,此篇 國郡,故以,枝院,為,一篇,也各師碩德出,于世,則必 勝法會等,號為,法事篇,也本山成後必有,枝院 立,靈像篇,也衆居奉、佛必作,法會,故吾記,錄年中之 年々普施,靈應,尤可、知,其靈像之因由,也由、是今吾 レ之以,靈寶篇,也祖師搆、殿建」堂必安,佛菩薩像,故 跡篇,以記、之也千秋已古法具珍物滿,,于寶藏,故吾露 咸、瑞其蹤自殘深求、古者豈可、不、記、之哉故吾立,,舊 故吾記,其與絕衰榮,以為,舊事篇,也神仙重 述日太祖開、山 聚立,,異說篇,也古記中等有,,勝事在,而未,,廣記,之故 之記,此書,會,見諸傳 有、居無、食則合,, 僧住沒, |撰述| 也寺成僧居必有" 封祿| 令" 三寶久住| 也若 [篇|而欲」遣」疑也然異說多端頓難||會融|以」故別 叉 (有)衰 我等亦爾或與 "辨訛篇|也諸記傳中就\事有\疑故立| 弘、律至、今千歲然有、興則必有、 |則知」有」謬故吾令取」諸傳記等 由故吾立: 封祿篇 或廢或衰或榮未、有、無、之 - 也又就 跡賢聖 即盈: 絕有 題

也年

、圖以知,宗派正旁,而見,于傳律不,妄也 至為、旁以、旁為、正則宗脈顚倒而傳法無、由故今顯 等,唯名字,有,未、詳,其跡,之大德,故吾但記,其名, 春,唯名字,有,未、詳,其跡,之大德,故吾但記,其名, 春,唯名字,有,未、詳,其跡,之大德,故吾但記,其名, 本,唯名字,有,未、詳,其跡,之大德,故吾但記,其名, 本,唯名字,有,未、詳,其跡,之大德,故吾但記,其名, 本,唯名字,有,未、詳,其跡,之大德,故吾但記,其名, 本,唯名字,有,未、詳,其跡,之大德,故吾但記,其名, 本,

舊事篇

乃為..沙彌 配..住龍興、即大雲時年齡一十有四編聖十七克..佛陀像一感悟發心遂依..大雲寺智滿禪師,剃髮染衣文武皇帝十二世大寶元辛 丑歲太祖與、父詣.. 大雲寺,聖第四曆也 大寶元辛 丑歲太祖與、父 詣.. 大雲寺,聖第四曆也

元明皇帝十三世和銅元戊申三月廿八 同 時 同 十有八 四年丁未太祖人,,于長安,求,,明師 慶雲二乙巳歲太祖從,,于道岸律師,受,,菩薩戒,祖齡 也 戒擅,從,恒景律師,受,具足戒,年已二十有 元年也神龍 目 也 元年也景龍 時 太祖於二 西

招提千歲傳記卷下之二 舊事篇

篇

招

元 同 年 71-太 祖 元 養老 初 講 戊午 法 礪 嵗 疏 太祖 年 世 年 有 ·卅又一 元唐 元年也 初講 南

遣 聖 ılı 正皇帝人王四 到 第五曆也 第五曆也 第五曆也 第五曆也 第五曆也 第五曆也 第五曆也 唐使 Ü 丹 壬午 、堀具 人廣 冬十月榮叡 平 成,至,支那 Ŧi. 一癸酉年 普照 榮叡 國 至:大明寺 一元廿一年 普 照依 初 皇 開 帝 謁二太祖 命 隨

> 嵗 示〉寂

太祖

病、眼

次至

太祖應二太守請

一授

飛

說

法又奉、勅住

開

元寺,此

見…其誠怨一許」之天實元年 頂 同 足 年 T 備宣,吾皇帝 之旨 -請 Ξ 東渡 之開 化 太祖

溝 祖 秋八月許放 同 浦 引率網 十五癸未年夏四 此 年太祖 索八 出、獄亦 齡 十餘人 算 月榮叡 至祖 五. 十又六寶二年也 同源 T 普照 - 述 依 船 = 志堅固. 冬十 僧 學之例 如 海 之讒 東下 被 到 月 狼 太 禁

嘆太祖 送 此 加 同 門 人 之下 間 十六甲申 、京又所、禁、獄 戒又杭 前 請 八三十餘 後 一泣述 至,吾日 講 린 沙律 州湖州 歲 歷 : 度/ 難 於三 人,出,育 東 <u>-</u> 折. 叡 卽 人還 一宣州 年 成 唐國 頻 太祖 告 一気シ 至.順山 一越州 之諸大德等幷 王寺, 尋登,,台山 |州官| 搜 悦二 病 龍與寺 万得 其志 加 育 實,買 放出 王寺一此 應 來勸 飛 い舟具い - 叡照 普照 又歸二 僧 歲 請 太祖 緇 叉至"太 著い 講律 楊州 粮 李 枷

> 孝謙皇帝十六世 福 同 寺 至二于新 年 戊 子 夏 河 天平 自是是乘 六 月 勝寶 廿 Ŀ 二年春太祖垂: 于端州- 榮叡 が船 日 F 至 諸 言常州 弟 子 界狼 出 于 Ш 揚 州

救-吹 寺-同 宰 五 同 府 起舟發向 日發、舟同 五年癸巳 冬十月十 十九 九 H 日 多 風 上太祖 # 爾 大 日到: ||吉州||祥彦示\|滅唐支宗天 去七 從三龍與寺 一發廿 有七唐玄宗天寶 五 H H [1] 日 至 著 兒奈波嶋 太祖 二益救嶋 出 薩 謁二大使清 至二江 摩國 十二二 十八 頭 其十 一月六日 同十一 河 日 六日入二 等 發二 子 於益 南 月 延 風

四 州-初 津浦 百 僧 卽 同 太布 位 六 為 餘 書 提僧 年甲 人來 T 四 一入中大宰府上 謁 賢 律宗 賜二 安宿 午正 超 Œ 傳 根本 綿 唐 王迎,,于羅城門外,次引,入東大寺,五 强等之三十餘八.四 禮 灯 道叡律 月十二 拜 大法師 加 百 間 二月朔日祖 又別刺 屯 訊 H 師等來至慰問宰相大臣等官 相 幷減…其半 位 大伴胡麻 尋勅使真備公來訪 良辨 叉賜 到= 公合 日入:1 于京 密絹 呂奏下 難波 賜 廿疋 于諸 進 :太祖 于 太 細 其 師 日 徒 加 叙以 布 刺使 重 到 門人· 也 四 河 其 H 四 梵 IE

月初 擅北若干步,以為,太祖之住院 勅」寄廿一國,為,其料,云明年 辨僧都幷建: 戒壇堂講 堂山門 臣宰相已下五百餘人登壇 受戒其五月六日 或記曰" 勅 戒,皇后太子皆預,擅法,又若,靈福等,沙門八十餘 房藤公為, 經營司,又勅別建, 唐禪院于大殿西北隅戒 移三壇於大殿 勅令」立 西 即是天皇受戒 落慶 導師太祖大師咒 願 "戒壇于東大金殿之前,上皇登壇受"菩薩 功畢號 廻廊庫院方丈僧 也天下僧侣皆住:戒壇 二戒壇院 ·黄門高 坊等 良

命一合义心盡义力 地一太祖應、勅營、之旣創一其功一思詫如實等從, 太祖 朕將欲上建二姓刹一永為中弘戒之場。即賜 同七年戒擅院成春二月上皇遣,,使太祖 之下一而 二新田部王子舊 宣旨 日

號

院一或一年或三年而學、律云

皇之供御米鹽之類 授"太祖于大僧都,賜"法進于律師位, 六月勅以" 太上 種物 天下僧徒悉集其五月初二 同八年春上皇於…東大大壇,隨... 吾太祖.. 受... 菩薩 -永賜-太祖 一上皇崩御令上皇帝 十八 勅

勸二導尸 梵網經-同實字元年 羅寶在 秋閏八月詔曰如開護,持佛法,無,尚,木叉, -甲寅勅自.,四月十五日. 至., 五月二日 、施、禮是以官大寺別永置 三田十町 講

同

日

林之定影 翼: 兹妙福 | 速乘: 智海之慧丹 | 終生: 蓮華之 徒 今已 寶利,自契二等覺之真如,皇帝皇 朕意』焉多十一月廿三日納』 備州田一千畝于唐禪院 良因一成。菩薩之妙果。也此年欲、途、先帝之志 治,,萬國, 若,, 天地之覆載長育,,兆民, 遂使, 為,,出世之 房藤公一重為經 H 二上皇, 也其詔曰伏願先帝陛下薰; 此芳因, 一後每為二布薩 属: 其志 精勤之士彌進 其行 宜 告: 僧網 三營招提 |恒以||此物||置用|| |太后如||日月之照臨 布薩 庶使下怠慢 恒蔭:禪 红中

官等登壇受戒尋又移二壇于金殿西一範二子東大寺之壇例 改授,大和尚之號,云々明知此前任,大僧 廢帝人王四寶治三年秋八月初 提寺之號一尋賜 者皆屬介」習續日本紀云授二位大僧正法務一綱務煩 敢勞,老宜,停,僧綱之任,集,諸寺僧尼,欲,學,戒律 滄波|歸||我聖朝|號曰||大和上|恭敬供養政事躁煩不|| ル 三眞患二綱務煩雜 勅於,,招提大殿前,冷、築,, 戒 壇,上皇令上及后妃 - 其勅云大僧都 月十五日壇及堂成有 鑑真和尚戒行轉潔白頭 一也此八月招提悉成其朔私立一唐 ..落慶法樂-導師太祖太師 勅賜= 大祖 Œ 于大和上之 |法務||釋書 變遠涉 雜

事

篇

也又自 式 為"出家」者先入"招提一習" 嚴 重 州 大僧 其 田一納二 日 日 太祖 兩 都 皇 屈 于當寺,上皇賜二 引二 二請 命」善俊 衆僧 率 一啓,焚網會,以資,聖武 盲 僚 師 百 學戒 清津 親幸: 除人,奏,于 震筆額 律 于寺一 鈔疏 而 後 使樂! 可 叉詔 次日 學 一个上勅 法會 = 自 天下 儀

同

年

一庚子帝

詔:太祖

冥

福

卷

行讚等 鈔五卷 同五 同六年 葛 |木嶺||親謁||于法起菩薩 车 士寅 辛北 十月十五 正 春 彌經 |月奉」勅築:|戒壇于下 一月自二月初一 鈔 日 十二月十七日講了 隨」駕往,保良宮,為, 一太祖 法進大 時年七十 野藥 僧 師 都 其晦 有 Ŧi. 聖 鋭 太祖 志觀 沙彌經 惠山 登二 世

十有四經:三昏旦,葬:於寺 天平寶字七年五月六日也總元年也世壽七十又六僧蔣 音寺,以為,邊國五人受之式,云 同 郁 七年癸卯 」太祖遷化之先兆 | 仍與 | 諸法侶 云 此 中夏初六吾之終也至以 春僧忍基夢, 講堂棟梁 東北隅一是日紫雲靉靆異香 期面 |摸||太祖影||叉太祖 摧 折 西跏 寤 趺 而 驚 而 逝 懼 會

> 蓋路 桓武皇帝 同 為三戒壇 同 同寶龜十年二月八日眞 十 九 年 出出思託 年唐使 法進 唐禪之第 十世延暦と 大 撰述之東征 高 僧 臨林詣 都寂進 七年 世 <u>-</u>國 人元開撰 戊辰思詫律師 者吾 傳 一子太祖 人 崇 云 祖 敬 上足 证:吾 墳 = 集太祖 塔 扶 撰: 于延曆僧錄 太祖 桑第 有人 東征傳 詩 其詩載。太 云 戒 和 卷

ン有に披 平城 律 吾 爲二招提寺 聖武皇帝 建出 同 之宗久而 伏望合二永代傳講 町一宛三給 山 廿三 講 皇帝 于 講 招提 甲 十人王五 供 申 無以廢先師之旨沒而 料 春 叉以二 則 其奏曰招提寺 -專學::戒法 也天平寶字三年勅以,沒官地 JE 大同 乖 月 和 越前國 **党**丙 戊 使用 尚 戌 之素意 律 戊年夏四月勅置 水田六十町備 一爾來五十年雖一厝 賜 師 者斯唐大和 傳 田 不以村帝許り 燈 宛 大 則 神律供 法 闕二 師 尚 前國 位 ·安居講 上儲然則 弘通之至志 鑑 一賜 如寶奏開二 真所 二律藏 田地 招提 師 于

散位 嵯 同 六乙未 峨 江 皇帝 沼 年 臣 十二世弘仁元 小並 春 IE 月己 等 卯如寶僧 庚 寅 營役 年 一御願也 都 四四 寂 月 甲 申 勅 建

光仁皇帝

九人

世王

寶龜六乙

- 卯年

五 賜

月

沙

所 六

百

人

四十

令」讀い大

般若

經

攘レ災因

幡 召

州

戶

Ħ

+

于

寺 于

淳 師 和皇帝人王五 依 丙 ン記為三講 天長四 一月朔 匠 日 丁未年秋九月勅開二 助以 ..豐安公.任 律 法莚一豐安 師 位

有,,論義, 豐安律師應,,于其詔,賜以,御被,云同九壬子年春正月甲子帝御, 紫宸殿, 請,, 名侶廿員,

同七年庚申秋九月十有三日豐安僧都入寂同廿八日帝同六月十有一日豐安和上撰,,招提本源流記三卷,,了同二年乙卯夏四月十一日勅,,任豐安少僧都于大僧都,

田· 以"買寄田百七十八町四段三百廿三步,勅永為"傳法文德皇帝+五世 仁壽三癸 酉年冬十月寶字年 中吾太祖

勅贈:賜僧正位

- 蓋慕: 其德- 也

錢廿貫鐵廿挺1以充1.寺之修理料1

若干,賀"皇后四十壽,云同十年戊子冬十二月五日勅修",轉經功德,賜以"新錢

皇之病,賜,燈油名香細綿新錢等于寺,陽成皇帝十七世元慶四庚子歲冬十一月廿九日勅祈二上

鳥羽皇帝十四世天永二年庚寅實範上人依,,好相,入,,招村上皇帝十二世天德三己未年勅轉,經除,疫云皇之病,賜,,燈油名香細綿新錢等于寺,

同永久四丙中年實範公奏、帝修,,理伽藍,提,得,,戒傳,自,太祖入滅,已歷,,三百五十七年

授》戒同五年丁酉範公於::東大之壇:為::行尊覺行等卅五人

導師,帝幸,南都,同兴三年慶,東大寺,覺憲僧正為,之為鳥羽帝人王八建人四癸丑年中祖生,于和州服部鄉,同保安三年壬寅秋八月範公製,戒壇式,

歲師:事金善律師, 士御門帝人王八 正治二年庚申中祖初入; 興福, 時年八

同三年癸亥自, 同二年壬戌秋八月解 大念佛會 東室一以爲二念佛 也 -以 為二水式 含利 九月 道 殿寶藏經等一云 場 二叉源 一諸山諸寺每 脱上人試修二念佛會一勸之人修二理 九日二 右大將 至。同 11 賴 H 六日 朝公寄三賜 番 初 行 财 释迦 木岩

篇

德皇 斋 十人 四王 世八 三講:于 曆 元 主 · 梵網 未 年 古 秋 九 月 + 有 日 解 脫 上

講 同 年 主申 解脫 # Ŀ 人命:過真 中 旭 應二 公,建二常 其數-也 院 中 加 H 時 開 酚 律 11

宿 同 建保 完 年 癸酉 春 月三 日 解 脫 Ŀ 人 寂 于 海 住 Ш 老

明

日

行

二四分布醛

1

祖昇

座

說

戒

同承久 後 云 此 年 十五五八 中 年 庚 申 諸 祖 院 圓 二戊子歲 家衆 律 寺興 稲 結 冬 番 十二 出 月 仕 剋記 之畢 于 秋 念 佛 會 祖

同貞 製」集于菩薩戒 永 元 年壬辰秋八月廿八日 良遍 宗要雜 卷-僧 都 嘉」遁 生 馬 山

竹林寺 四 表帝章一叙 【條皇帝人 尊 大工 律 嘉 師 禎 等 爲二 元 Z 之聽 未 年 徒 中 祖於 中祖 二常 年 喜院 四 表 無

」是於:東大寺法華堂 成就 也 息 丟 芮 之終飾」擅 戒 由 秋 四 九 都 日 月朔中祖 一一大佛 進 四 律 具足 匠 以三彌勒拿一 於,,東大寺,受,近 戒 受戒 日 = 四 皆三聚通 也 - 為三歸 同 法 志者 師 受自 依 也 尊 一誓法 戒二 修行 祖 叡 時 机 日 好

同

年

·辰

月

中

祖

端

善山

以居,之云

鐘

鼓

廿八日興正菩薩結 戒 算 曆 四 齡十有八 仁元 + 有 戊戌成歲 四 相 其冬依..中祖..受..具足戒于松院 圓 次 秋 律 住 九 公於 □界西大□請□吾中祖□令□秉□ 居 月中旬 與 二常喜院 福 松 中 祖述:,作二受抄,冬十月 從一吾 中祖

息慈

祈 年 鄉 後 祖 王之皇后 同 放於 春 嵯 = 向 日 講 仁治元庚子歲帝 ·明年春悉功成云至\今藏,,之吾山寺常喜院安居坊第三室也立,,筆元 手如法 一般帝十七世寬元元癸卯歲中祖! 至 (願文 此此 大乘百法論 月晦 二十五 大地 妃娘 戒 日 作 之菩提 獄受苦之衆生, 氣又欲, 使, 人永值 日 二父母之追考一平後依太相,一合于招提春 日 字 妙蓮 吾 Hi 初 相 為 Щ 開 百 詔 合 菩薩等預 召:中祖于宮内 一大念佛會 卷陀羅尼經 此 報 衆 年夏五月中祖於 同 教主往來八千返之恩-開 預 山寶藏」也 結 | 寫法華 四 聽聚二會 三戒 一蓋是服部 於,服寺,自,三月 法 戒 親受二菩 千部 極 中祖 卷 多 此 梵網 **兼讀**:誦 釋迦念 薩 三遇善 生產 年 如 戒 春 云

布薩 祖昇座 道,從,坊之西,起光中有,一神人,長一丈餘冠裳甚 利會于大講堂 | 梵唄伶樂聲震 | 林嶽 | 相尋行 | 四分布 也覺盛大德發,無上菩提心」樹。已倒之律瞳一如法行。 比丘教圓進前問日卿為 薩 西大興正菩薩 一放十六應具遣\我隨喜云具如:中祖傳載 之也]1] 改 說戒布薩畢率、衆集, 子三聚坊, 時 夏四 【月十有】 昇座說戒同十五日行-梵網布薩 > 誰耶曰我是三十 三天主帝 四 日 集..僧侶四十六人. 開 有 金光 麗 中

群臻和上,也此年中祖歸,我山, 講,宣南山三大部, 一過聽原寺,為,,諸弟子,依,別受法,授,,具足戒,中祖為,,其戒同三乙巳年秋九月十三日中祖與,,西大正公, 於,泉家

之三日屈,,請衆僧,設,,大齋會及法會,也書寫之經卷,嚴飾造、塔納、之藏,, 應量坊, 同世七八九舉後深草帝大正八實治元丁未歲秋七月廿五日中祖以,,是獨立一人。其十一日功同四年丙午冬十一月製,,菩薩通受遣疑鈔一卷,其十一月

安然而化春秋五十有七僧夏一十又二黑白哀慟絕、喻中祖覺,,體不,,佳同十九日亥剋更,,新淨服,著,,僧伽梨,二日,啓,,釋迦大念佛會,,大尼信如所、建也夏五月十日同建長元己酉年三月晦結,, 界正法尼寺, 又自,,夏四月

實恒相續利二益諸有情一結二緣諸智識一當來龍華會值一 普施 尋樹= 同 遇大慈尊,常隨不,捨離,一代所說教信受皆奉行念 大衆一味和合奉、彫, 此版印百五十卷, 當,,百日諱辰 增二大心」生々利二含證 志趣曰為::唐招提寺盛師 開...梵筵...爺印...施 三年辛亥冬十月圓律和 "出家人, 又有人 命,主,于本山 塔 西方院 殺 諸徒相 誠儀 - 師時立年秋九月朔修--大齋會 偈曰願威儀教法久住二於世 - 自他行 | 幽靈生前誓願決定成就 | 寺々 集厚為二 一百五十卷, 普與,,出家人,其 上具足灌 願滿終 追 直 孝 得 云 圓 上道 間 Gli - 僧 親

中祖一少一歲立..塔于駒山竹林寺,同四年壬子 秋八月廿八日 良遍公寂享年五十有九自..

著極多 龜山天皇\htt 弘長元辛酉歲與宏及行:秘密灌頂,受

同三 當 同 寂 同 五 後,中祖,一十有六開,山大通及觀音寺,長,毘尼教 文永四年 一年戊辰秋七月初八真空寂法算若干俗年六十有五 年丙寅秋九月朔作 丁卯具空公受〉請住 = 鉾 立道修 一持鎌倉無量 一此年圓律公尊母 壽院 死

提

究…三論宗,以、故吾祖命、公合、弘、

招

律 請 同 律 E 僧 年 仍此 庚 此時 千 員 再 眼供-輔 云成 悉 成 舞落 夏 四 慶 月 導 六 師 日 實 相 大 上 法 人 咒 會 願 屈 圓

答法 後字 向 於 那 行 光 良覺行 一體 匹 功 心臺寺 多帝 分布 堂,行,舍 冬十 印 理 人王九 建台叶干手大像再 薩 引 世王 性 唄 月 公長為 實 建治 利 和 良忍聖 其 老光臺 五 為 月 元年 日 唱 7 說 意 松 道 JU 戒 乙亥講 網 為 Í 五 師 布 用 兩 $\overline{\mathcal{H}}$ 薩 _ 圓 相 H 堂 德 說 律 為二 公 仙 戒 修 秉 伽 造 中 落慶 陀 道 始 业 羯 叉 手 壓 良 林 會 忍、 + 明 理 春 + 勤 聖 四 性 E 事 意 四 H 為二 月 校 維 Н 驷

同 年 岗 子 凝然律 師 講 華 嚴 于 東 大 舍 那 殿

佛 同五 同 會 弘 安 有 年 七自 J 北: 多十 卯 年 祖 月 13 廿 一月六 + Ξ 目 九 實 也 H 相 圓 和 覺 Ŀ 律 泡 師 初 事. 啓二 鷲尾 嵯 Ш 峨 大 春 念 秋

神 同 體 四 年辛 云 E 七 月 東 祉 龍 疝 殿 再 輔 功 成 共 11-五. H 奉 移

服 同 供 Ŧi. 年壬 衆 卒 洛 金堂 雙丘 百 餘 黎 法 A 師 金 道 如 剛 師 來 院 光 像 臺 云 再 寺 修 理 成 性 春 和 尙 月 也 八 此 H 年 為 圓 開

僧

贈

 \overline{f}_{1}

+

又

五.

自

1

祖

139

1

住

持

吾

山

四

+

 \equiv

同 同 六 Ł 年 年 癸 甲 未 申 東室 東 室 及 及 膊 禮 堂 修 再 浩 輔 自 成 正 此 月 年 戒 始 增認 再行 随 秋

九

月

於 壇 行 |受戒| 至自 六四日 甚

大禪惠招提 尼 壇 聞寫 圓 同 羊 勝 受戒 人 蓝 同 年 年 不 Ŧi 然法提同 然法 提海 程 題 照 王 Ż 丁 行=: 行一受戒 女 行 酉 本 春 『玄同智遍其中玄爲』教授, 智遍爲。堂達」照點爲,答法,華法妙遍同照心同妙善同宗、四大隆惠(堂達)尼十師者法華眞惠爲,和上幸尊引導招提葬算公义喜光性海光臺空 之夏五 四 月 Ħ 證 次 造 # 於 玄 月 作 和 日 僧 上 爲 山 再 厠 戒 = 樂之臺 與一僧 Œ 壇 法 寺 及 **長毎** 尼 尼 惠写二和上一 證玄公答 受戒 - 五月六 [1] 同 從 道正法公明宣西羊 故日 吾 太祖諱 Ш 了海琳石 戒 祥西惣吾

伏 持 丈 居 見帝 = 牟尼 十人 此 一王 世九 院 藏 Œ 院 兼 應 住 -始三于 元 二.應量 年 戊子:證 Ě 也 月 末 玄和 終 尚 功 建= 四 月 當 末 Ш 之 代 大 12 住 方

同三 夏 同 相 티 H 回 中 匹 五. 道 月 年 年 年 庚 再 辛 律 年 ŋij 寅 辰 師 也 造 春 秋 秋 寂 立 湯 諮 八 俗 一路 屋 月 玄 齡 月 4 嶷 和 于 七 同 然律 Ŀ 法園 十叉三自,中祖 四 五 入 月 寺 日 子 師 圓 於二金 西 西 日 律 北 初 大 隅 剛 行レ之冬十 和 訪 _ 云 Ш 上寂 興 少世 寺 IF. 講 俗 菩 有六自一質 年 妙 薩 月廿 之病 法 干 又 七

舶 九 年 忍性律 月十二日為11開 命…真性公,主…本 師 此 日 相"當支和上四七之忌辰 眼 供 ili 務其 | 僧衆四百餘人尼衆 年 講堂彌勒尊像再修成秋 二百餘 人導

華千部會等, 殊昌而恒有,,僧衆數十輩,呼,,之彌勒院衆,每,年行,,法殊昌而恒有,,僧衆數十輩,呼,,之彌勒院衆,每,年行,,法

為 同 相二當證 唱導請三于西大慈道 :開眼會,請,于一千僧衆 年 甲午金堂舍那大像修輔 支和上 大祥忌辰 和 Ŀ 一児願 -初, |縫二一千袈裟|以 功 一實院 成秋八月十有四 證達律師 施 也此 興之 H H

日,上棟堂倒,更造,,營之,始,,功春三月十四日,至,,秋七月七後二條帝十三世乾元々年壬寅再,,造太祖之影堂,依,,古

等云 雜文集, 跋, 其後, 極樂三寺,性公隨,吾 同嘉元元癸卯秋七月十二日 忍性公寂立! 々已云」師故 知有"師資之約 日甞追: 1中祖 學、律公自 憶過去師靈隨逐給 一矣 書: 寫中 塔竹林額安 位之時 궲 撰述

圓覺公,爲,本山主,公又讓,之法弟尋算公,合ゝ代ゝ之同二年甲辰春二月初一和上眞性公寂享齡六十九命,

成 華園皇帝十四世延慶二己酉年影堂寶龕之壯嚴 同德治元年丙午春 仍算公任 有九圓證 和上尋任 其位 也 性公司 語寺務一 非務 月十五日和上尋尊公寂 - 算公住 位四年 十三 旭 報齡 具等悉 七十

同 Ŧi. 僧 應長元辛亥年秋九月廿九日圓覺和 臈 七十 叉 ___ 建二 塔 于法 金剛 院 峨 上叔 山 地藏 世 八十有

會此時尙修云 會此時尙修云 一後醍醐帝人王九 元應元己未歲 如意輪供闕 如服寺念佛

算八十有二僧夏六十叉二 扇元亨元辛酉年秋九月凝然國師寂立,, 塔于鷲峰山, 壽

照遠等預"其法席」

大悲菩薩之號, 建二五 大悲菩薩之號, 是二五新善光寺, 此年秋後醍醐帝聞, 吾中祖德, 諡賜, 同元弘元辛 未年春二月 上旬和上 覺惠茲到, 越前州,

光嚴皇帝人王九建武元甲戌年春二月初二教圓律師主

篇

駄 都 龕前 皇帝十七世曆應元戊寅年和中國照心性海來迎好海棒樂禪智淨蓮華子師者和上教園公招提覺祜龍門服 Ш + F 幸海 H 惠温 殺 也尋惠公為,堂達,也 修 種 供養于 受等

受戒位 同 74 年辛 五 Ė 十叉六通 夏六月 受戒 1 五 位 日 未 和 E. 詳 敘 圓 寂 俗 龄 八 + 有 八 別

席

卷 也假 崇光皇帝 名 十人工工世九 觀應 年 沙 門賢位 撰 大 祖 東 征 傳

次 後光嚴帝 行 物一 十九王九 吾和 上尋慧公為: 和 四 Z 未 年 揭 冬十 磨 H 西 大 和 Ŀ 元 臞 寂

布 法 登 後 **返**國融帝 百世 一施二與衆僧 戒壇 地行 当受,畜 本等為 康曆元 出衆度人 證 朋 年 也 法 己未春 時 二心光 設,大齊會 爲二 月 羯 Ŧi. 層 H 一以一編衫及 和 等 Ŀ 圓 道 為 海 自 答 公

法會 後小 松帝 百人 世 嘉慶二 一戊辰 秋 九月三 日 和 Ŀ 心 光 行 大

同 同 應 永五 法 七庚 三帝人王百 吾 寅 戊寅 和 车 上賢意公為二之羯磨 年 秋 自 八 廿六年冬十 H 林 初 和 四 窮 Ŀ 講 源 户 公 南 西 主 Ш 剑 子 和 尙 吾 英 Ш 源 Ш 寂 行二

> 者甚 同 名 7 年 Ż E 冬十 月 初 和 Ŀ 敎 林 公行 別受戒

後華 公寂 同 IF. 園 長 世壽 帯 元 百三世 戊 + 申 年 享德 有 住宗 務 公 一甲戊 衆 主 凡 年 吾 -11-冬十 本 Ш 年 弘源 月 + 律 日 師 和 繼 上任 其位

後土 續 福 Ħ. 同 司 任二吾寺務 1.吾 明 .啓.大法會 御 門帝 Ш 務一六年也當一其 百四王世 丙 午 年 -寺者是 文明 一夏五 + 月 為二 $\dot{\Xi}$ 初 五 年 和 七忌 和 辛 上之住 Ł 亚: 辰 良 良 惠淑年 惠公 院 良 山 任 合衆於二 算八 海 吾 律師 Ш 務 肿 有 相

亘 亭元 丁未 年 良 海 和 E 依 别 受法 為 衆 授レ 戒 聖 秀

舜 同 盛 等 年 戊 爲 三受者 申 夏五 也 月 西 大 秀 如 寂 其 云 月 行 分物 法

等 叉 名

和

上秉

揭

乗り

輿

相

隨

大

衆

百

I 餘 人

其外行者

良 淨人

海

持

比

丘

同 員 意 永 JE: 享 年 元 年 Ė 子 有 夏四 月 結 界 城 州 金剛 律 寺 住

同 ル 三年 文 殊堂 甲 宙 夏 中 門 五 西 月 東南 七 H 門及 大 地 四 震 方築地 此 時 羂 坊院等 索堂 貝 悉破 吹 堂 壞 北 顛 室

為"唱導師」相尋滿公任"和上職 二月廿六日 年 内 五七 春 正 月 諱 11 辰諸大德等會啓: 二日 和 上良海寂享年八 法筵 大德 千 文六 源祐 其

導師| 後柏原帝五世 永正四年 丁卯舜盛 和上為; 念佛 會唱

通受法-進具後奈良帝八王百天文八己亥年春二月十日和上泉弉依二

勸進沙門法華院賴 同 十三甲辰歲 春 二月 秀 北 四 日 龍 王 神 祠 再輔 功成其 日 上棟

山,行,灌頂法, 五壬戌年 寿三月 十八日於, 室生正親町帝之王百永祿 五壬戌年 寿三月 十八日於, 室生

者, 多十月 廿七 日行,, 別受法, 照珍 公等為,, 之受帝詔, 多十月 廿七 日行,, 別受法, 照珍 公等為,, 之受同天正七年已卯夏六月泉弉大德任,, 本山長者, 蓋依,, 一

千陪會 同十三年乙酉秋八月爲 同天正十一 和上泉弉為 癸未 **小年冬十** 二唱導師 高筒 月廿日至於 非 氏順慶 其 神 、老母開 福寺 一灌 法華 頂

菩薩戒,皇后妃嬪宰官等同預,,戒法,夏五月十八日和同十六戊子年永祿皇帝勍召,,泉弉和上于宮內,親受,,

泉涌寺,凝海和上次務,和上位,上泉弉唱,滅泉涌,春秋七十有一夏臘四十又九建,

塔

戒

同十年乙巳秋八月六日照珍公任,,吾和上職位, 戒位五十叉八別受戒位五十有四立,,塔西方院, 同四年戊申秋八月初二和上凝海寂春秋七十有八通受

登壇具 同十一年丙午冬十月廿八日行"別受法,律祐等廿三人

公拈香, 卷水尾帝(A)生一元和三年丁巳秋八月上皇崩帝勍,照珍

之 同九年癸亥珍公再行"別受,為"實應秀海一十八員,授

四立,,塔于法金剛院, 同宽永五年戊辰冬十二月六日和上照珍寂春秋七十有

祐海為,,阿闍梨, 後光明帝大王市承應元壬長年冬十一月行, 灌頂後光明帝大王市承應元壬長年冬十一月行, 灌頂明正皇帝大王市寬永十年將軍家光公改,,賜祿印

俊盛

後西院帝人王百寬文六年春正月一山合衆行,灌頂

篇

招

和 太 上位 、上皇 帝 十人 三王 世百 延寶 年 之卯 秋 九 月 + 八 日賢照公任

立 同 四年 二塔于西方院 岗 辰 春 JF. 月 六 日 和 上照 熏公寂 春秋 七十有

同十年丁丑宗子

尼公寄

=

賜寶

物器

并

凾

及展

風幢

#

流

塔 同六年戊午夏五 子竹 林寺一秋 九 方。五 月十八 日賢照和 H 義 怕 Ŀ 公 寂 次 任 春 秋六十 有三

同七年己未秋八月合衆行,,秘密灌頂,

立 同 真享元甲子冬十 」塔于西方院 户 + 应 H 和 上義 海 寂 春 秋 五. 九

拈 同 香 二年乙丑春二 月 世二 月 後 西 院帝 崩 勒一于 圓 嚴 和 上

今上皇 同 三年丙 一帝人王百世 寅春 Ē 元 育和 禄元 Ŀ 戊辰年夏四 富大德任 月 語山 怕 都 大佛 殿 初

行"法華」也

興

功,請,七大寺

有"大法會」其第二日

吾山合衆出仕

開 行 同 五 為二 百 師 一大法會 五年壬申 <u>E</u> - 結緣 嵩和 春三月小 上 貴賤 大衆 四 月十六日吾本 Ш 四 集此 小干手像 八口此 時 於二 并 諸佛像 末衆出 東 年大樹綱吉公以"白 大 大 仕 書 一般 薩 詩二 像弁 二姓網會 于萬僧 物 等

> 再 园 八 年 乙亥 大 樹 質 母宗 子二 位 尼公寄: 黄 金 七百 兩

嚴重 瀨 同 細 金絹等一蓋就」壇 十九人也廿日修二大法會二一 至二十九 十餘員泉涌 修 僧 布等一蓋是為 一梵網最勝二講講 Ī. 年戊寅秋九月至二十二日 乘法 郡 日 | 行 | 別受戒 Ш 太守 親 西大戒壇 E :戒壇院 成一 哦:七言詩 南都司官等各詣,法筵,道俗群 此年和 師 等衆出仕 光光嚴之 和 圓島和 £ 上富公解三吾衆務 1賀」之冬崇子尼公賜,,于黃 乘真敬親王 圓島公受者照戒慧光等三 具 口行一戒 上讀 奏 也 伎樂: 師 南 壇 溪 法華寺御 落成 也自= 大德大衆 會 聚 所八 法式 初 日

同十二 泉涌 香 受者若干人其 西大戒壇吾 大法會一 三日,至"十九 - 其十九 大 拜 一年夏四 此 通及藥師 初八日 秋 日 南 於一大講 日 7 月 溪 中於二 于禮堂 大衆 衆 自 行 迎二中祖大悲菩薩四百 請 二灌 E堂|修| 燈 凡七十員亦奏" |南溪公|任||吾寺務| 頂 香 # 于 禮堂 **梵網** 拜 晡 修 阿闍梨照峯覺峰 時 會 = 光明 大衆詣 唱 道 眞 五十年忌 言 師 同月自 レ廟諷經 緇白滿、山 士: 南 溪 砂 和 加

舊跡篇

雲臺之 疾 結緣 湖孤 滄海池此池者古往開山大師所」 造初大師 渡海之時親 精舍,拜,三千粒之佛舍利,也厥影向處為,,此古松 禎 孤 鞍馬櫻斯樹 淨衣人! 云己上耳傳及又或記曰每日午時 含利講會龍神化成二白 也依,之大師為,龍王一掘,池號, 滄海池,蓋是滄海 謁三龍神一且為 >是亦名三影向松一也刻到今有,植具後,之木。也 年 Ш 問春 山之松種」植三子此 松此松昔時開 一此池表、海故名、之也每日午時出,佛舍利,大為, 」其時龍神必出,于此池,拜,佛舍利 日明神託日自、今我日往一詣三聚淨戒弘通之 護佛舍利」也餘禮,百毫之秋月,滄海波上透引。紫佛舍利,也解脫上人所撰舍利講式 日疝山松間 櫻者疇 昔太祖之高 弟思詫律 ||約契||而謂盡||未來際 Ш 大師從一於支那州一 地 一故號三孤山松 一守…護此佛舍利 一也口傳中世嘉 持二 1 且為二守護 師傳云三鑑長 來杭州 為,海 從 西

二間 或時鞍馬 一疋忽然來二至室前 別櫻木之

T 遊 傳記 卷下 之三 慈蜂 445 445

褶 北

詫 叉口 山也 地 馬 以故亦名:[羈〉駒櫻一也,此樹者講堂後僧堂東南隔 名 此寺一登二大祖影堂,厚寫二追孝一 一乃就 獨 卽 云:鞍馬櫻,從、是以 一碑曰 風 乘1白 公自 四 略 詫 公 住 呼 唯 思隨= 一鞍馬寺 至二留山 一建、寺名,鞍馬蓋寺,蓋是鞍馬以、蓋,此 行 一被山 後時 眦 此 な萬 馬 來吾山以二 城 也 州 看 木 屯 森羅矣 北 二彼 〈鞍馬 K 方之山 自 自山鞍馬 其間 本 櫻華 留 詫 現1出此 處 上, 詫尋入,其 喜為二 山,乘,鞍馬,至, 羈 便 為紋為、標云 隨 櫻木 馬 絕 此 此 域 下放 馬 木 之靈 Щ 去

覺盛師 帝 讚.中 誓:永代 元二年夏四 今其石碑 分...階級二二受定...飲 釋天 人降臨 恭性智將、悲遐昌 絕也 四依志:陳創 门月十五 也 跡 此跡者僧堂東北隅也昔中祖 時 元德 日行二处網布薩一時帝釋降二臨 規 一誰 元 二七律法 弗 親釋提來勤 Œ. 主 潤。夫 月立二石 更興二 賜 時 碑 詩呈二 羅漢證知と 絕戒藏 工其詞 大悲菩薩 此 云尊哉 近所 砚 一十願 碑 飛 寬

> 置此 筆師

處

令...往

來人

之故名

ン之也具 音源

見=

國

師

傳

場此

蹤者寺之東

公四條道: 見

巷也

平

國

師

以三筆

П

所 霧 丘 Ш 傳 千 手 丈 谷 八千手 此 森 ılı 所 樹欝 谷 尊容 便溪頭唯 者 此 K 寺外 也 其間七晝夜霧厚覆 天平寶字年中 有一金色千手觀音之靈像 酉 北隅 一町程 天人來:下 也今 而 絕二 有二. 肉 眼 此 小

> 勅安 二神相 也太祖 事:此 像是也自义是指 而 脉 路 甘辻此地 神 心背吾 異香 與一龍神一 一手吾山大殿 地脉 齊於 馥 會跡 老此山 郁 此 |語||弟子法智| 日此邊地 騰奏 太祖 是者龍宮 相會跡也 所土,日,除是甘,故云 地邊 三其跡 東北 應, 黄門氷上與人之請 右 心應立 脇 帝 隅四 一日二霧 具在 耐前 即今 闕 **三飛場** 帝 町許去伏見坂邊即 路 ili 金 以『客官』介、見、之果 殿 1 千手谷 殿 堂篇東社 有 一後 1 1 清是其 二甘辻 果奉 西 咏與:清官戒壇 和. 下上記 が勅立 遊点其宅 所也 也 今南 干 古色 伽藍 然仍 都 营 太 地 暗 道

龍池 池塵 碑龍神勸請 + 此 池 一無」不」雨 素東社邊也 之池也自 机 ン古至ン今大旱時近民必 4 有二八石 -是標=八 大龍王 除此 也 口

十三重 阿 建建 云::井山干坊:是也 伽 机 井 此 井者 圖此塔者 在二 西 Ш 有弧 中 Ш 其 八井邊告 松下一告大將軍 為二 當寺別院 賴朝公所 放

所 所改 金塔高 、之而所、寄..黃金一百兩幷金蘭覆袋四具一也 晴 失、之事云今在"今塔者征夷大將軍源賴朝卿之寄附也 粒 遺 大臣綱吉卿之尊母從二位宗子尼公勸,請東武金城, 之黃瑠璃之壺者從,天竺,入,此器 隨身供養至.,此日國,藏,,吾山中,具如 也開 有一聖武帝之御封一云中世後醍醐帝開、塔拜」之其時 一又勸,請此佛骨一所、拜時大樹義滿公直奏所、改,一御 舍利此佛舍利 |今勅封是後小松帝御封也 元祿 山 大師 封 尺餘以二金龜 一尚別存之 而後後小松帝 在一大唐,時從一焚僧,親得一付處一也常 者 本師 載、之古往 釋迦如來之遺身也 |展轉至||于此 一太祖持來之塔中 於三義滿公之櫻御 十年大將 "駄都傳來記」也 其 、數三 軍源 境一當 拜 世 內 中 恒

宗子尼公寄,,于函二重及包絹等,也一 色也於,,東大寺戒壇及當寺戒壇,行,,受戒, 時必以,,此 釋迦如來袈裟此衣者傳云,吾開祖之持來,十三條 衣及太祖衣-一也元開撰述傳中不,載,此衣,也 奉擅 Ŀ 為二證 崩 也元 乘真敬法 祿十年二位 親 王 木蘭

> 祿 開 IF. 所、寄,其函及包袋等,其題名有栖川親王書、之 長 書、之 山大師 中宗子尼公寄 剛 尺六寸 Ш 籌此籌者高祖 一袈裟此衣者吾太祖之衣也十三條木蘭色也元 也事具見,,于太祖之傳,元祿十年宗子尼公 ,,附凾及絹袋, 其題名護持院隆光大僧 於一金剛山 . 從: 菩薩衆 之也

之災 、夢實有:二物于枕邊,僧成,奇異之思,深藏、之守其後 時以二當山寶物一置二于東大知足院 太祖鐵鉢此鉢者吾太祖平生受持鉢 乘真敬親王書>之 名寺 | 也元祿十年宗子尼公寄 | | 凾及絹袋等 | 其題名 稱名後主以;,此鐵鉢,返,納當山, 其海公友今猶有;,稱 值...火災,故暫時預,汝言已置... 枕邊.. 而去夢覺看,之如 衣者弘法大師受持之衣也幷是招提之珍實今卿足院已 左手持二衣鉢一即言持、上鉢者鑑真大師受持之鉢持、下 - 其夜南都稱名教寺主某夢着,,甲胄,人右 二然知足院權二 祝融 也中世 天下! 大亂之

本 大悲菩薩真筆經此 題 圓 卷幷皆菩薩之真翰也又宗子尼公寄,附絹袋凾等 證 卷梵網經 寺文智法 上下二卷大乘百 內 一經者大乘妙典開結 親王先、之所、書故宗子尼公改"造 法 陀羅 尼經 一部十卷四分戒 心 經世頭各

招

提

僚

篇

凾 IJ. 凾 二寫 之 也

等 陪 翰解脫上人之袈裟教圓 寄,附函及絹袋,也大悲祖 名大乘門主真覺僧 >之具如..內記錄 惠上人真筆羅漢講式等其外經卷畫像等其數無量故略 一餘寶 也元祿十年鷲司左府公書,此題名,三尊彌陀小像題 忍性菩薩之所 光門主高 物 非 一辨一品親王書」之東征傳 一具載 也也 一、寄也繪古名畫師筆後鳥羽帝後 正之真筆也已上幷皆一位宗子尼公 ・い暇所 和 上之袈裟御 師袈裟題名人智內親王 謂 銀 泥 五卷本為二十卷 之金 質丸真 筆心 京極 之真 經明

靈 像篇

レ之以二布 傪 南 金堂毘盧含那尊丈六金色坐 都某信 千佛 及漆一重二十三返一云永仁二年再補延實年 士义輔」之 - 坐者大蓮華臺私唐思詫律 像皆後有"圓光,安"付 Ġij 之作也以 111 1/1 造 苏

也 同千手觀 秘 密家 書日 音長丈八而金色立 ili 招提金堂千手 1 洞 為 本也收意天平實字车 像 像也千手千眼 以 為語 國靈像 以 龍 更無 阊 天人 = | | | | | 如 來

> 再 響」實字年間 同樂師如來丈二金色立像思詫律師之彫刻也弘安五年 三修 m 造レ之事 之こ云 |刺安||此殿 如二舊跡 篇 · 文永七年再, 輔之, 也 -也 其 感 應古 一个非 v 恰 如

奉西 跡,號,大日山,也中,云俗呼,其堂 同 大日如來長二丈二尺 坐形金剛界會之 山之大日 ·堂·置之殿跡, 今存, 礎石, 一二也殿倒而移, 此殿(皇) 自,此山,西南方有,一堂跡, 是師為, 此尊像安 尊像也古安...

同梵天帝釋 四 天王 并 唐軍 法力之作云耳傳

之像 講堂彌勒 如 來像而 一也其像偉麗絕〉筆也正應五年再修一輔之 如 來此 以一大蓮華臺一為、座背後圓 像者 唐軍法力之所、造長丈六 光彫1作 金色坐 天人等

市豐 長五尺傳云:吾高祖之帶來 迦如來此者 昆首羯磨之所、彫亦栴檀之尊像 也也

也

背上 名佛師所造也昔者有:別殿二云 文殊菩薩是像者吾鼻祖傳來白 - 威嚴殊勝又有:四脇士 安二 梅 于四 檀之像

開

是扶桑之古

也

乘

=

坐獅子

有!! 別 小 彌 勒菩薩菩薩 殿 今安: 像而 于彌 坐 勒院中 華 蓮 永仁元 臺 吾 年 高 以 祖 之傳 其殿 來也古

建 彌 勒 院 云

不 動 III] 工是以 声黄 金 鑄之坐像 而 一尺許 或 記 日 二思詫

吾祖 頻發::火炎; 飛;;入宮殿 公之護持 一也昔時有,別殿,云 尊 師 容 - 負.,此 一背吾 祖於二 尊形,入二龍宮界,此像自二背後 |龍神驚而以,佛身骨| 自手返 海路一為三龍神 王 所 季ニ 金

中,修,法會 殿」以安」,斯尊像,每歲春正月九日樂師寺衆徒於 昔自二百濟國 彌陀堂阿彌陀如來三尊坐形 一也至」今不」経 一獻三吾桓武皇帝 而幷坐」道 一帝刺於二當寺一建二立寶 座」此三尊 此殿 像者

某再修,治之,昔者藤氏清河朝臣別立,一 及八部衆 目四臂也即為:高祖本地之形體 不空羂索此像者開山高祖所,,帶來,之像也金色立形三 心也影堂中 也 元融 年間 殿 太龍寺主 安... 兹像

尺八寸金色之尊容也靈瑞今古尤多矣秘而容易不,使" 地藏堂地藏井此像者弘法大師一夏九旬寓,住此 小千手像此像者吾太祖自,,支那州,所,,帶來 元祿十三年郡山 安,此像,也又某年間有,一信士,再,造此殿 人拜心之昔有心別 刀三禮而 作之云如寶僧都別建。立五間 殿 信女某輔,治斯像 一安」之此元禄年 間輔1修西室 -也 西三間也 四 -之像也 面之堂 Ш 其

> 修 斷 T 味 供一二月朔一至,其八日一元禄年 中 初 修 每

自 不 新刻像等不,能,具載,又散,在諸州諸寺,吾山之靈像非, H 一二一也古往伽藍數十字西山別 徐靈 千手護摩供 知:其佛像之數, 今在:當寺, 像其數無」計或釋迦樂 -担 師 院數十字故殿堂院 或地 及"破壞」像又尤多焉 藏 觀 音等古像及

法事篇

經會有 行 每歲 每年春二月自 十三日,最勝講會五月九月又同修,之同十六日大般若 二舍利悔過 春正 月 三日 一或含利講應眞講等有」之同自,,九日,至 前門 修 正 至一八日一千手陀羅尼會 會初 夜後夜修 駄 都 護 二月,元祿 壓 供

其十五 每歲 行之。春每歲二月自,二日,至,八日 年 不斷光明眞言三昧,以,衆僧七十員,勤,之寬喜二年有, 夏四 信士,寄,田八箇 春 月八 日涅槃會同 三月釋迦念佛會今絕無之是明子,後行四日今断 日 佛 誕 生會 廿二日聖靈會 -每~日以二一 其 一十六日安居會延喜式二十 田 - 為、料云今斷絕 - 於 ...駄都龕前,修...

奉此

【像,又自\昔每\歲於;此像前,

一山衆侶

七晝夜中

篇

寺安居 安 居 12 講 之 間 師 以 勅 二當 講 寺 說 淨行 法 華 僧 蕞 勝 次第請 Ŧ 般 用不り得り 岩 經 叉 請 日 凡 他 招 寺 提

梵網 后隨 每歲 光 會一也此會者枝院遠近宋衆皆至出一仕 中 衆詣 朋 自 修 開 愛五 眞 講 念 山 三其軌則 言 子祖 一太祖 紀網最 此 於 月二 也 H 1講堂1修>之自餘多修 味 普 衆 一講 廟 一受、戒故為! 此 日 奏:舞樂: 中各 也 -讀經燒 本願 至、晚詣 日 又有 作。團 此 會 香 日 兩 正聖 一大齋會 武皇帝之 自"法 扇 等行之同 報恩一 H 廟 之間 諷 奉 三獻 華寺 于 二前日 所と默言 經 同 語三不 燒 궲 Ŧī. 十九 禮 前一 法會 此 獻 日 1網維 香 堂 國 之祖 ル北 拜レ之 H 光 - 且六日 目 川 日 1 行 傳 含 前一 會 訕 具言,日 利 云 與二七 夜 會 種 11 晡 光 會 修= 修 時 茶 至 朋 是

伍 嵗 夏六 月 朔 天 供

每 슢 如 年 年 大衆會 Ш 秋 秋 九 出 月 月 ·法事記 合 7 仕也建仁三 釋 迦念 咖 H 火樂修 證 佛 會 女 至十九日 和 年解脫 法 Ŀ 華講 一諱辰 上人初 含利 結 修 講 番修 梵 開 網 會 也 此 不 大 會 斷 和 念 也 州 佛 諸

包 年冬十月三日南 Ш 滿 有 論 義 也

> 此 毎 外 年 位 久 月 + 加 月 T 佛 湔 名 南 會 至自 Ш 三朔 靈芝第一 日日

院 自 地三 月 Ŧ 時 辰 部 法 勤 H 叉 會密 大檀 會 座不 行 西 大悲菩薩作り 社 西 供 方院念佛會等往古是多今斷無之 那 多繁今略 等 浦曹 同 譚 之式定 晦 辰 不 半 日 空 毎 東 月 記之二而 開索 日 社 k 於 丽 12 尊 三駄都 布 祭 前 等 已又一切經會 薩 和 尊前 諸 E 具不、載、之又 本 檀 等之諱 地 越等 六座密供 供 忌 辰 座 及 目 及 地開 毎 秋 弘 供祖秘駄也本法都 九 日

枝院 篇

院 院 堂蓮 坊 郡名 內 强已上九 大 前 多門院 光寺 建凝山紀四 聖 之坊西之坊以上下 州 一寺尼崎 報見 園 四 開祖建立 肥久 海藏寺寶藏寺常樂寺 111 已上三寺在 寺 寺伊州也 州 藤之坊 大龍寺兵庫已上 海岸院 寺 野 州 後州 大覺寺釋迦院 伊 清冷院 伊州菩提寺 雅木 同蓮臺寺 被州淨光寺預存之也 越前次完元年之此 越前來 之也 越前 二泉州 樂 西明 乘賢 丰 勝軍 七寺 資命 郡名張 一寺居上八 攝州 寺修 文殊院 百 Ĕ 同蓮臺寺 善 也 H Ŀ 壽德院金剛 院 寺 久 八寺 不 米 大德院角之 郡名張 前 田 動 也持 在 究實勝 寺 備 州 于 延命 蓮寺 地 新 前 河 藏 善 州

衆地

田下

樂寺町

喜多室法隆

中宫寺

正法寺

市瀧

已上 寺尾箸

寺

林 寺法隆

寺駒生 興

一之坊

阿藏院不

動 尼

院茅

之坊

竹林寺」一齊恩寺添 寺到新善光寺等竹

下

福

院郡添 西

F

小眞

寺

寺大 安

法

尤

名 寺

記

之吾祖宗滿

諸州

が経

其

〈法脈

者 和

推 州

可以 此

知

百三

五

原田

法菲

5后開基尼五

智院輪

已上在

餘

郡宇智元

·林院森雲分寺衛安樂寺岫矢田寺號·金剛北僧坊

福

寺長命寺佛國

寺野金光明寺宇智往生

染田

寺緒雲福寺緒龍與寺風極樂寺風

與隆寺風

遊臺寺 華 華 華 華 華 華 新 新 語 崎 結 安國

品

寺高神

福

寺

鄉南

蓮華

寺

郷南

崇

福

一等衛

報

恩寺

生院郭智 等爾 蓮臺

明

養福

古唐 寺

福

福寺四

安樂寺仍松雲寺豐

一寺町豐

法蓮寺

光

明

田池

光臺寺

頭

光寺山

藥師

院内

樂寺宮

蓮寺 寺南 味佐田八都南

院育

城

福

寺

寺新樂寺羅安養院結滿

福

寺

崎結 隆 常

三寶院 福

坊與之院聖寶寺民止永泰寺署于

·手堂籍金剛

法樂寺

南

僧

之律宗雖、分 之叉 古 記 E 太 |派流||皆是無\不||吾太祖之末派||矣 祖 於 州 建 律 學 院 --今天

撰 述

寺東幡小峨嵯 大 觀 明

新坊 音 王

坊四恩院 與福寺 真如院都 五 智光寺幡遍照心院京八條六通寺別院在 傳承

安養花寂靜

卷記 西 法

· 音德院洛

福

寺

鄉山

地

藏

地

一藏院

一之坊竹之坊南

坊 院

之坊

梅 院

坊

東之 生寺

八巳

幡上

金

剛

院

雙

丘

亭

子

條七

法

命

丘鄭

壬

寺光明

寺聖德寺常起寺

蓮華寺

幡小

海

傳香

寺

都知足

院

之思 述詫 心 六 丘 部記 段 卷 大悲并行狀記卷數作 東征 相 文 本 述 本スノ計 卷 卷釋 集七 舍利 述法 進 源 同 記 文 卷 ノ註ミ日 + 梵網 意 二十卷招提寺大悲祖之 流 理 人 傳 卷宗 卷真 迦 講式 同式 記 剑 明 拜見未拜二 抄 一卷網表記記同 經鈔 三卷豐安 十二 抄 同 心 懺 要雜文集一 上十 念 六卷 卷撰寶範 要 悔 卷 佛會 二十卷書惜哉行狀不得諸有出之云々菩薩行狀記有 決 同 軌 四 戒律 卷七佛 假名 則 JŁ. 菩撰 部 調 卷 沙彌 開 抄 招提 防 也質處述古迹述迹也 大經要義七卷 良温 誦 傳 指一思能之述一云 ılı 卷井 用 抄 來 經 一受抄 同 講式 略 略 心 次記三卷 數 上人撰述師 鈔五 願文 卷 記 抄 戒 戒 經 别 唯 遭 遣 . .. 卷 各 受行 疑 疑 卷 卷 識 四事未詳非一 進己上二 **卷招** 抄一 和讃 觀 鈔 招 述實範 唐云 鈔十卷招提寺照遠述上補諸宗章疏錄梵網述述 一 巻 通 光 経 日 上 二 米 日 上 二 各 提 傳略 否 卷作者者 裙 表 卷 提 戒 一 延 述法 曆 也傳 念 通 壇 述法 卷 述四 苾 表 佛 時 別 問 戒 僧錄 部 有 勤 章 往 通 表 擅 生 受比 略 一受抄 式 鈔 無 抄 賢假 式 表 卷

招 述 鷮

糕

述也之 雙翼記 義 鑑 網 記 記 祥 華 卷 一卷同 一卷心 賢 鏡 記 香 戒 1 V 巖 會 Ŧi. 律 四 十二 門 + 象 章 卷 梵 記 會 記 --生 要義鑑 卷十 南 網 十八 釋各 章 章 同 卷遊 册 疏 瓊 卷 舟 論 三生 窓三 卷 法 要 同 卷 卷 th Ŀ 疏 H 計 並 法 卷 界 心 重 珠 科 觀 南 敎 卷 目 创 義同 聖 嚴 義 古 同 卷太 成 錄 唯 鈔 業 法 文 音 Ш 相 --迹修 佛 界 識 卷 八 記 記 法 宗 章 疏 Ŧī. 因 要義 義 1-卷 -11-册 科 7 卷 記 圓 N'A 融 敎 卷 安 林 加 新 卷孔 督 治 鑑 要科 探 游 卷佛 華 科 觀 卷 卷 章 師 文 法 集 章十 義 嚴 譜 傳 華 編 章 文 記 聖 4 1L मिर् 章六十 卷淨 卷太 文 影 目章 彌 孔 盐 同 + 法 爭 疏 廟 一卷同 惠光 卷還 樂 + 汽 傳 嚴 遊 記 洞 陀 四 目 鈔 卷 彩 15 章 心 卷 四 發 道 經 觀 + 通 祖 网络 卷二 諸 卷 悟 一致義 瓊 剑 科 疏 香 章 四 維 記 頌 源 同 巴 12 師 源 鑑 記 宗 分 厚 九 谷 B <u>|-</u> 拾 義 + 傳 觀 流 七 嚴七 女 要記 章 亢 戒 疏 + 科 章 卷 # 秱 -H-七 傳 生 忠旨 卷法 卷 通 卷三 本 花 卷 卷 窓 文 本後 朱 **宁定賓** 卷華嚴 六 业 $\tilde{\mathcal{H}}$ 科 卷 錄 維 太 --死 $\overline{\mathcal{H}}$ 真 七 心時 普 義 國 卷 独 空 卷 記 7 嚴 敎 界 音 鼠 懺 重 佛 疏 勝鬘疏 要 菲 唯 卅 章 卷 四 經 傳 義 律 惟 第 同 Ŀ 梵 琐 觀 卷 卷 贊 + UII UII 通 嚴 法 識 通 卷 敍 法 師 行 法 界 帝 記 海 網 傳 卷 釋 銯 行 梵 路

之圖 三卷 章 卷義 懺 義制 秋 上 悉 卷大般若 講式六道 式長谷寺 部 土 真 卷三 一毫端 南 要 源 唇 章 A 太 临 起 中 卷南 批 決三 文 法 Hi. 14 流 師 不 卷南 觀 九 卷 卷持 信 卷帝 行 拿 章 中 同 師 要義 障章 卷同 一卷內 行 論 狀 理 講 觀 南 記 卷音 山 ---梵 語音管絃 卷 式 张 犯 疏 圓 \equiv 趣 卷 Ш 網 Ш E 第六卷 濟 各 典塵 安養 卷戒 要記 時 分 淨 木 立 添 御 照 曲 潚 叉義瓊 位 雲章 系圖 卷行 緣 卷律 章三 疏 + J. 秒 滿式 卷 露 義 淨 擅 要 略 1 _ _ L 五. 中 非 章 鈔 南 遷 行 圓 宗 卷 新 業 甜 開 述 ---鈔 綱 南 南 弘誓 內典 卷 章 卷 都 狀 E 戒 章 **玄章**二 覺 Ш Ш 卷淨 戒 要 行 卷 轉 身 略 各 人 山 [1] 盛 Ш 卷臨 受章 7 律 行 刼 佛 殿 秀 注 卷 111 法 記 和 滿式 淨 卷大 觖 卷五 卷善 要義 谷 波 4: 樹 俗 輸 章 士 旬 谷 義各 菱 童 章 講 雜 教 終 義 ----1 卷毗 卷與 卷井 $\overline{f_{l}}$ ij/ 得 平. 要 律 誡 音 財 Ш 梵 卷十 網 兩 卷法 竹 記 章 卷 卷 部 H 道 章 律 論 耐 梵 大 7 抄 卷 略 十 量 林 Œ 南 南 通 章 講 --卷八 卷資持 卷 南 釋 相 寺 井 Ш 乘 住 成 ılı 記 要序 通 卷 略 + 講 式 NI. 卷 五 四 窓 111 锅 南 位 流 式 法 論 南 歷 行 致 同 第 祖 北 111 修 異 卷 狀 綱 章 部 記 手 作 卷 靦 山 跡 行 + 郷 四

戒擅 撰 卷五 梵網 鈔 鈔 述作 111 Illi 四 沭 Ť. 戒 教 教儀 卷 教 卷 本 系 五 誡 迹述 圖 朋 卷 疏 同 敘 查 解 起 儀 通 智 五 章 抄 # 集三 抄 迹 田 律 **教章纂釋** 要文 羯 卷 鈔 記 酾 摩 覺 卷已 一卷照 之作 盛 H 集 Fi. 兩 卷 卷 疏 和 Ĭ F 珍 笨 $\overline{\mathcal{H}}$ 資 Ξ + 删 1 敵 好 律 起 F 行 補 興 師 信 照 鈔 窓 律 戒 章 卷 鈔 律 之 論 鈔 遠 在公 Ē 于 抄 義 E 述 律 意 餔 剑 八 蓬 梵 之述 表 + 卷 抄 國 網 卷 師 本 無 Ħ. 之 題 如 P 師 鈔 南 一卷已 教斷 撰 緣 律 記 表 選 律 巴上 Ш 章 鈔 師 述 凝 惑 之述 忌 上 然 都 起 法 豳 真 於 茄 性 分 要 六 信 國 傳 7 網 選 誦 齊 五. 論 照 師 讲 集 律 魦 Ŧi. 教 教 律 撰 抄 卷 音 理 師 師 沁

佳 禄

卷末、詳:撰者

批

插

注

州

渡郡

寺

本

庄

草

庄

島

庄

杭

庄

等是

越前 僧建 備 供養物 立當 前 州 物也吾其 水 水 田 田 六十 祖月

備機無 帝六 勅年 前 五月光仁皇 州 平 H 中 封 戶 HJ 五 新三 定 也因由同一野郡葦方庄等 烟 之也或日二 後 日 渡者 前改 굸 超六年五位嵯峨自 = 播 州 年所と 戶 寄弘 五 + 州年 煙是養 之間 戶勅 者賜

> 然乎與 以 社 大 師 則 是 也 鳴 也戶 二呼 前十 《爲》別可》知又古記曰桓武皇帝建,立一年于4个也性 靈集 第四往見焉寶龜中一年于4个也性 靈集 第四往見焉寶龜中歲之時也豈二歲之童能書』表乎況亦表一惑哉是者弘法大師代,如寶公一書』表述 建,,立 彌陀堂, 時賜,,此封墓總中未,當,六十年,豈可况亦表曰如寶隱,師遠投,,一問,表進, 闕前寶鑑,不年者

宜作。字字字 实得皇帝 家一其後沒 田 地 貳 百 N 故造」立廻廊 间 四 ·永爲·當寺之傳法田,也C然文 德 實 錄云。資 題以 增廣以"功德,故聽不、論。和仁壽三年冬十月四段 三百十三步曆太祖置。得此地,施,入寺四段 三百十三步曆太祖置。得此地,施,入寺四經,建。立大塔,又賜。田地三百町,也是未詳 古記曰大同皇帝歸。崇豐安律師,是未詳 古記曰大同皇帝歸。崇豐安律師,

布 已上 和 納 等 之尤多不以能以委記以之 持院 州 薩 御 適 田 質麻 \mathcal{H} 條庄 7 殿 見記 寺 HI 呂自 之寄 上三百石于、今領、之四寄、之具見、舊事篇,也東照神君寄、之 今尚 書 進 之自 存 也 一未、詳 餘 苅 小十方檀 之計思力 卷-所 富 以 越 帝 為二 或 尊氏家 有一其歸依 溝 田 文等持 庄 歸 津江 田 等隨 院殿書 依吾 #11 山

征 傳 傳 文 E 有二 誤 王子 取 其 意 밂 親 新 王 田 部皇子者太祖 捨 宅 造 寺 芸 宗朝7 たち 已前既 海 就 東 悪

招

提

F

哉

傳

能

也寧公認、之 也等公認、之 古典 是 如 以 此 乎 況 又 諸 傳 等 曰 以 " 新 田 部 親 王 之 舊 宅 , 賜 、 真

佛祖通載佛祖統紀幷曰"開元十四年相當日邦日本沙門佛祖通載佛祖統紀幷曰"開元十四年相當日邦日本沙門縣成,共至"西唐,也東征傳曰留學已歷"十年,而謁"大和上,也計"其歲數,已相合也謂自"天平五年,正"普照歸引,廿二年也若如"通載等,則經"廿八年,也年數已過不審又廣成入唐者續日本紀其記、之即天平五年也對已過不審又廣成入唐者續日本紀其記、之即天平五年也當寺古記東征傳等皆曰"天平五年,以、之思、之通載等當寺古記東征傳等皆曰"天平五年,以、之思、之通載等義定知、不、其矣

乖遠乎 又曰"真初為"大僧正,又下曰"基後二百年無"大號,何又曰"真初為"大僧正,又下曰"基後二百年無"大號,何

進 為,是三師,自餘七師為,證明,者為,七證,也是十人受 具之式也 羯磨闍梨也 和上也豈有三二戒師 為、別邪受戒之時必曰,和上,則是戒師曰,戒師,則是 又注進傳云下真 |為#羯磨」或可真為||戒師|進為||闍梨|也言||闍梨||者 夫三師七 為 三戒 一成,具戒,乎但宜,謂,眞為,和上, 師 證 進為#和上』也和上與"戒師 者戒和上 羯磨閣 梨教授閣 梨 何

、及,,具記,之也、可、笑也都三國記中吾太祖傳下多誤見而可、知、之不、可、笑也都三國記中吾太祖傳下多誤見而可、知、之本也堪三國傳記曰以,,真如親王舊宅,賜,,和上,者誤之甚也堪

也也與"直現, 噫呼勝劣天別律苑之義不、是不、可、取之見與"直現, 噫呼勝劣天別律苑之義不、是不、可、取之原來記東征傳凝然著述章等及當寺古今之記等全以不傳國僧寶傳中太祖傳下曰見, " 六臂菩薩現, 道場, 云々

北 叉曰 月, 乎是 誤宜、改,,七年,也或可, 天寶二年冬十二月, 叉曰以,二年夏六月,具、升載 物一如,天寰二載所。備也以,此二年,今日,二年夏六 \是也天寶七年夏六月也可\見;| 東征傳, 傳曰備;|辨百 祖之威得,也吾祖得,咸應,雖、不、假、之威應無、 古記等可…披閱》 寺中無、水持、錫扣、巖即 之是威應者惠遠法師之應威也非二 三經律」由 涌 出是又不」是東 | 楊子江|此義不 征 測 傳

五十七,受戒之年為,四十又四,古記等多為,四十有公壽三十六,也已自記、之以、之可、正今吾計、之相,當公然中祖撰述宗要雜文集之後曰,安貞二年撰集之星古記多曰,中祖寂齡五十七,又或曰,五十六,予久疑

机

予以、之為、證也 薩諱辰之法則等之至古之本數本皆記,元德三年秋,也 古記一而卒記」之子以,後義一為、正者招提解及大悲菩 醍醐帝賜、之也二說之中以,,後說,為、是也後人不、見, 菩薩贈號,有二二說,其一謂後深草帝賜、之也其一謂後 今記,大悲菩薩,未、詳宜、改,覺盛和上與律義,也又就, 覺盛和上等,也賜,菩薩號,然公滅後元德三年之秋也然 又僧寶傳凝然傳中曰:大悲菩薩與律 在世之間未聞、有一菩薩之號,也故疑然撰述書中皆曰一 義一者謬也 調凝 然

也 自,中祖一年算為、長為,五十九一則從,中祖一少一 五十七一也以」之計」之入滅之年當,五十九一也不、爾則 撰述之懺悔軌則抄之跃自記曰"建長二年記>之了俗算 又僧寶傳中良遍傳曰:寂年六十九,是亦不以 是謂 遍公 歲

 \equiv 又僧寶傳泉弉傳曰: 筒井順慶公存生之 間 東征傳及當山古記等皆曰二三千粒 或日,二千五百粒,并不,是也以,二千粒, 義,者是非也傳香寺公之寂後其老母建,之也 |國傳記又太子傳抄等以||招提舍利||或曰||三千五粒 山机 可以為以是也 建い寺等之

> 計思佛舍利入,,龍界,斷而不,怪也 、之卽白石而大石也 其色其體非, 山岸石, 又非, 川海 白一也然此元祿十三年神社再修之時予竊夜中取、燭拜 龍神變石或記曰::白石 石,都無、可、比余一見而忽動,心肝,恐而速退也以、此 - 或記曰::青石 也余又久迷:

遣疑篇

日宜 "和上小僧都拜 "大僧都 云々又九紙 日 其大僧都及招提寺解幷曰" 滅後任 "大僧正 | 也 續 日本記十九紙 唯記,大僧正之官,故更無、言也然後未記等皆誤、 來記曰初任,釋門大僧正,也且傳來記等不,論,次第 就,太祖之官,屢有、疑也今具述、之夫當寺今古記拜 然廿一卷之文與」之相違謂彼曰,其大僧都鑑真,今此 日,大和上一云々又世級。目及,皇太后不豫,所,進醫藥 鑑具和上戒行轉潔白頭不之變遠涉二滄波 >勅, 任傳燈大法師位, 也又示觀國師三國佛法傳通 謂", 天皇受戒之時任", 之嗚呼謬之甚也 受戒之時 唯見 有>驗授:1位大僧正1俄以 レ授:位大僧正 一次授二大和上,之文勢也釋書 - 網務煩雜 改授 一歸一吾聖朝、號 .. 大和尚. 也 「亦引 傳

日

篇

年任 寶龜八 法務越 釋 基节網 務 訓 倒 書及傳來 相 前 云 任 E 務 文 一次也 務煩 法務 達 後乖違尤耐河、怪矣嗚呼 書自 後 者 釋書前自記 三// 云 書 國 - 明也定知勝寶八年鑑眞僧正法 務實字七年 也 三僧 師 何 12 百 隨 具記,任官次第一謂天平勝寶六年上皇勅任 僧 年寂 # 雜 平 沢 傳 何 此 勝 都 都 レ見學 任之. 放改改 卽 復 記 三真始 文 通 年無一大號一也其 旧 寶 <u>-</u> 一个此何 大 一法務任 記 并古記等多記:大僧 是 吾太祖患"綱務煩雜|故改賜|大和上之號| 叉 恐 八 入太祖 僧 法務 年律 之滅 々如い此 賜 ...此文,後又何曰...實字七年 邪況 ~疑故報未~決! 為...大僧正. 都 顛 大 ジ 前 之都字筆 後文外 也太祖寶字七年若任! 日 倒 為二大僧 師 和尚 吾太 祖者寶字 11律 慈訓 数謂慈訓 相違多、之以、之計、之文為、 平尤以不審 師一邪又釋書訓 一之意。 未,見,其 (間已有11眞大僧 法務實 都時 此義異說多端而諸 m 者 又何曰:"基後無 謬 官 一理心 正其明 訓 如何通 字七 之乎 職 且 七年寂訓 師 次 夫慈 為二小 车 恐 一然續 -也今吾就:太 據甚多也 于吾 任二法務 傳 正一奈~ 法 為 訓 日三勝寶四 僧 務 眞 勝實 日 師 祖 .大號.乎 IF. 語文有₁ 都 僧都 深書日 本紀 者 字 則違下 傳 子綱 E 之邪 唯 加 遠 何 八 顚 智 法 燈 示 慈 年 後 唯 乎

> 著之傳 大僧 大法 必莫. 太祖 太后 太祖 進撰述沙爾經義抄 之事就:此三義 上一也已是任官所以各別豈可以然乎後 不い記 玄義等之事元開 同幷是依二詫公所撰廣傳一或略 帶 盲 都 師 不豫,任,大僧 濫舉、疑又正記也彼 レ之賢位 一往見一也 其歲 位天 眼同 二來經籍法 也 然或記 法像相 4 述傳 勝 |屢有>生>疑今且恐>繁略| 所 具等 寶 闕 中具 及四條 述 Œ 具記 八 \此或記加\彼以 傳 |寶字二年以||法 年 - 具如 | 賢公撰述 尋任 示 載、之以、之可、 Ŧi. 皇帝 之也以 ~載 ~ 之賢位 月 此相 僧 1: 幼 或具記 E 皇 照而 が放一 而 法 崩 隨 務 御 生 務 應、辨、之也 ン放諸 後孝 傳以、不、載、之 所撰載 之也其 五. 知元開 東 煩 IE. 亚 中祖 征 于兹- 也具 改 然後及;皇 謙 傳 傳 帝 撰傳 之也 中 彼 元 韶 文 此 開 賜二 戒 略 法 句 所 不

異說篇

提解 舍利 去時 等并皆 入 思詫公入二于龍界 ::龍宮:異說是多如何通會 E 過一蛇海 -奪:返之 一之時長三丈餘之蛇 尋又龍王再奪! 賢位 撰述 來奪 之傳 佛 取之 及招 納

金金龜

背

都

可と

勿

曲

定 萷

知 請 此

此

事

ネン妄 由 國 中 之 到

傳

最 元

勝 開

講

會

舍

别

功

德

本

等幷

有

411 禮

此

義

略

不と載 無

之賢位

撰

傳

及解自

|餘古

記

略

記

御 元

順 開

一季

之事 時

焉

都

龍 上

宮奪二

含利

之事

所

撰 記

傳

依

捏

傳

疑 利

為 總

虚

事

者

龍宮

之因 義 少之 傳可

文或

記

日

漂真

蛇

海

時

龍

飛

入舟

1/1 位義

奪

言語

嗣明一

王說 神

工之像,至"其识

(像出)

出不動

石

三護斯

佛

含

利

及

戒

場

也

賢此

世 所撰

見

海上 慇懃

捧

: 太祖

也

金龜

頓變

作

4

老

公初

卽

E 舍利

我

是無

於

THE

成

秋

妻

屋

浦

到

ご岸

Ż

時

太

加 負::

患

之向

海

龍

玆

龍

王化

為二

金龜一

佛

浮

=

于

嚴

海雲威德輸

盖

龍

Ŧ

一如來在

世立二含利守護

之誓!

故今 邊

師

到

本

立

戒

場

心必於

其

地

東

治

水精

岂下 太非

隨

表進以闕

也

然 征

Ŀ 傳

一義是非 如 記

未、詳定

依

此

也所以

如

何 也

東

來肉

舍利三千

公

撰述之傳

記之如

何

如此

有

二異說

一乎今吾

日日 北

> 地 所

唯

一舟無い

難

到

ジ岸云

R

朋

知

到

岸

義

世 本

辺

用

之者 乘和

予

曾讀:

東征

傳

選與別

傳

來 唯用 前

此 義

義無二再

奪之義

叉三

國

傳 云

日

於言招提

返

之等 粒

出,返之,也以放

龍

神

化龜 頻

載、之捧…太祖

也

約語

等

如

傳 太 及 祖 當 汉 日 Ш 古 記 日 本 并 紀 釋 日 書宋 $\bar{\mathcal{H}}$ 月六 傳等皆 日 也 日 以 五. 何 月 為レ $\pm i$. H Œ 寂 謂 日 本 征

當

此 紀 異 Œ 歟 也 レ之奚可」習乎蓋計」之五 而 之以 古今於三吾 故 朝 山,以,六日,爲,正諱辰,以,之可 廷 筆 記 定不 日夜华入滅定乎故有 可以誤 然 吾 東 征 傳 又

者總太 撰賢傳意 或 餘人,是最初 乎卅六人亦同 五百 別卅六人退留者二百餘人,也是以,最初 指一僧俗 也又恐二字脫 卅六人,故有,此違 少隨、時可、有、別也又古 師 至 或云...廿 來朝 人 四等一宋 众祖隨 三三三 也 一个謂 邦 -也諸傅多日 叉 隨 以 逐 四 順 且 時 八一日略 沙門也至:吾 一十二 之人 之人數云...廿四 Ė 揀舉 ン之乎又 傳 依 乎又 徒 四 :時宜 日 属 十一人 |也具可以云:四 其 也總處 :思詫等 本東紀征 及十一 日 八 數 二弟子廿 解 本 ,或云…廿 傳或云 7 不 紀 日 餘人 々違不い可い 可以 記 等一者唯 :弟子卅 同 日 十一人,是舉:出家上首 人 E 二卅六人一菜說其 邦 如 一人放 鑑真等 為 死者總 諸 何 者學: 一人,也餘略舉故 傳 和 是也 沙 除人畫士等都 或云:廿 或云 皆 會 阿
也 知 十二人又 同 初 决 或 八十餘 唯有 五百人,故 人 或 廿六或 出 叉路 來朝 也 叉 四 船 四、又云 四十 名 Ŧ 日 時 中 人數 者 是 卅 或 廿 四 徒 亦 都 百 四

> 傳云和 古記 綱 太 要等 祖 及新記有、異可、知但待 自 Ŀ 自 岩 1先所 浮 圖 塔婆 建 H 石浮 出 中忽然 圖忽然而 光 有 三廣 出 光 傳 發光云 義 也依 īfii 也 傳 有此 k 來 叉賢位所 記 傳 洲 記 撰 律

東征 太祖 白雲覆 之也 傳 入 (滅之日 步坊 釋書等唯曰二異香滿口 也葬殓之日異香滿、山者諸傳記等無、不と 後葬り 之時紫雲靉靆異香 山又繪 緣記 滿 畫 山 **泡滅** 之招意提 解 日 叉

唐招提 古記 之號|後賜 日 寺 太祖 官額 且賜二震筆 先建と 也 寺 號三建 官 額 初 也 律 然東 寺 又日」建初生 征 傳 日 先 々律 私 後 立 勅

以,,五十九,可、為、正乎解脫上人之寂齡或云,,六十,或云,,五十九,具考,,古記,

不少可 幷日 正 諸傳皆曰 · 榮叡業行· 也業行 也普照入唐者續 疑」之恐為…別名 二榮叡普照 續 H 日 也 本 為 本 紀 紀 E 叉菅太 日 之別名 Ξ 入唐沙門普 神 之 手 類 未 聚 國 詳 史 其 傳

卷大集經三十卷摩伽般著波羅密經三十卷,也分律六十卷同疏十卷華嚴經八十卷逗拌經四十年春正月,也又帝王編年曰,延曆二十年正月,也井

如實就〉開

||律講||有||二

一說一續

H

本

後

紀

日

延

暦

四勅

E] 山澤 等 寥以 、 、 為 丘 序 元 亨釋 書如 寶傳 曰 .. 弘 仁 五 年 寂 . 續 日 本 後紀 曰 .. 六 年

故緣記具記日本紀等總記レ之乎故曰:正月壬子古麻 呂來歸唐僧鑑真法進等隨至 中,又着、岸而未、入,、客府, 歟太祖等先入,、客府, 壬子歸朝又丙寅古麻呂奏」如何是者古麻呂尚在二于船 入之日一乎釋書等記一奏聞之日一也然續日本紀日 十二日十二月廿六日者私入,,太宰府,故緣記等記,,私 朝一何爲、是乎謂正月十二日者奏、之日也故云二正 記等曰"十二月廿六日入"太宰府,釋書又曰"正月十二 受戒之月,乎是義不」可、然也為,二二月四 盛衰記曰::二月入京,唯釋書曰:,四月入,都是指:,皇帝 征傳律宗綱要傳通記等又傳來記招提寺解其餘古記 太祖入京之時或云,二月,或云,四月,何為,正乎略東 日入"太宰府」也又續日本紀曰"正月壬子入唐使等歸 正月,也釋書認以、六為、五平 北 日 明也又緣 正 乎以 月 月 及

拾遺篇

泉公本,,于何史,日,不知,邓未、詳

東國僧寶傳曰豐安不、知,何許人,也書已曰, 參州人,

延喜帝代以"菅公之靈,勅建"社于此山,也 敖於此寺,凡四度也平城又詔為" 天下律宗之根元,也 古記曰指"吾山,為"我國戒律根源」之時天曆聖代降 "古記曰延喜格曰國危則必可、修"理招提寺,云々 古記曰延喜格曰國危則必可、修"理招提寺,云々

例,也當寺無;山號,者九重之內故無、之猶如;北洛萬壽寺之當寺無;山號,者九重之內故無、之猶如;北洛萬壽寺之傳云思詫是為;鑑長,者未、詳後生可、考、之也某五月廿八日中祖尊母寂也

長月必修二金光明經會

-以新

三 聖朝安穩天下太平一也

古記曰號...鎮護國家金光明建初律唐招提寺...也故年三

連名篇

樂寺禪智某寺重海已上諸師慶圓律 寺實盛常實寺覺秀招提玄智大通寺性海來迎院妙海 **公相隨登...于金闕.親謁.帝也招提覺融龍門寺照戒崇福** 正月當寺佛舍利依,後孤松帝之勸請,入,,于北闕,時譽 代人也招提禪珠諱了譽與,本地公,同時人也 空印良覺堯賢良忍聖意了月仙宗已上七師證玄律師之 圓妙壽圓慶乘花珠忍證慈印 禪道等者道海 師 同 時也行 和 明 上之時人 本良 乘 年

拾遺

篇連

名

篇

招

名

龤

Ī

雪

為禪圓

一般時 招級 算室住人 提住和 紀 111 室住 州 智 定 森 连增 有 別 三東 也 戒 屋 小 秀 귦 專 河 招 源 盛住智 Ш 鄉 燊 福 受赔法永 寺 海 施 持端弟 一雅時度 就 岸 惠 住一持程時為記 森屋 院 理等一室生寺 意 慶 超派 勒兼院住 卿 純 光臺寺 院住 新 達 元綱菩提寺 TÍ 新 招 旧於已 麙 和樂寺光 提道 九 松 ᇤ 院 是深 智 祐 雪 慶 上諸 慶 良 降 越 本地,又授三子智祐,也不地,又授三子智祐,也 海 意 前 盛 河 崇 和 松 內 法 福 州 金 FI 州 寺 光 新 勝 MI 弘 軍 院 善 海 寺 寺 光 快 寺 高 光 道 雅 融 招

招林竹戏 傳 日延 日に徳三 中一 提 如 興慈 īm 教覺 祐 本行 泽招也 眞 林丁惠住 三其行 賢照 寺五公持 教悟 提 近道 玄并皆明代 惠實 空 又五 實恩 業 i it. 上諸公皆 有相 淨 也 專 之真 珠 之以 恩 道裕言 जि 舰 算受 律 爲 恩 今吾 律 性 也于 徒號 也如 上譽號 永蓮密 竹林 莽 源清 隨 9年是 行 第 見順寶傳 然淨 苦薩 性 10 剪 也 曾 BH 招提 朗 教 相 浴 觀 林 願 明號 尊律 性 管

宗 派圖

本第 戒管 法第 商業 師 景律 勝士 那 າ 釋 律 律 和 迦 師一 須 価 師 尊者 加 來 華壽等二 高四 扶桑 道第 覆 太祖 律 律 師 鑑 眞 憂婆 增置 惠等 大 大質 思芸 泇 師 光 毥 薬 律 律 彩 雪 師 者 给 若 安置 法裁 道学 女談 雲 律 律 律 部 師 師 義和 墨省 道等 喜節 阿管 無 寬士 洪 難 德 约 律 律 律 尊 師 師 師 X 如實 智育 曆 未語 戒法 H 律 律 律 地 尊者 師 師 餔 空 豐等 南草 曇光 座 茂九 女士 Ill H 律 浴 律 洲 羅 照 師 師 大 館 者 師 真璟 戒管 光十 律 律

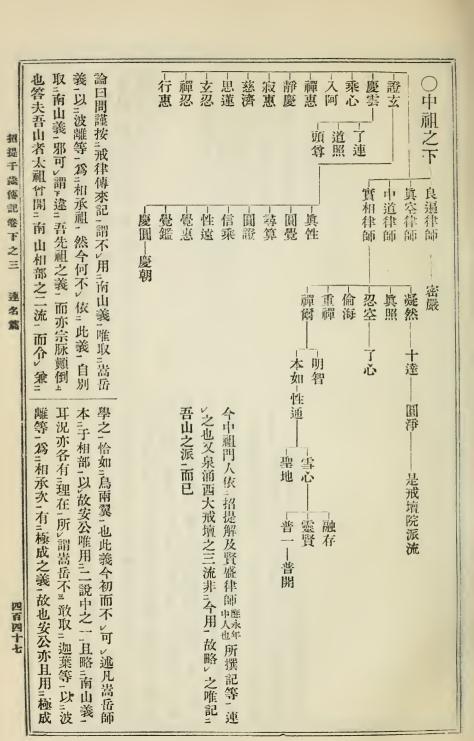
師

師

四百四十五		COCCUMENT THRU CHE PROPERTY OF THE PROPERTY OF	ACCORDENS TO SERVICE SERVICE ARRESTS CONTRACTOR AND SERVICE SE	名篇	下と三連名	提千歳等記を下と三	4
		是戒壇院派流	是戒	法進律師恵山			〇太祖之下
		的傳派也	已上本山的傳派	照峯律師	——南溪律師	圓巖律師	一義海律師
季節 賢照律師	照薫律	召秀——	俊盛	英尊——	實應	泉秀	一照珍律師
一行賢	春海	實盛	凝戒律師	泉弉律師	良泉	玉盛——	- 賴秀
弘秀——	良算	質雅——	朝秀	元譽	源貞	良懷	
一 舜 歷 律 師 一	實意	源祐律師	-良海律師-	良惠律師		忠尋律師	實譽律師
弘源律師	英雅	——任宗律師	- 祐惠		賢意律師	源智律師	重助律師
佯師──元惠律師 ─	窮源律	理宗律師	中質	隆惠律師	良猷律師	貞濟	- 道海律師-
年師——聖海——	會圓律	一了聖	秀會——	賢譽律師	源秀律師	禪融	一劍智律師一
重海律師	堯 學	尋惠律師	一宗真律師一		存	—覺凝律師—	-慶圓律師-
伴師——覺惠律師—	是然 律	信乘律師	圓證律師-			—真性律師—	一證式
『祖大悲菩薩―――	+ 接至+++	一	解脫律師	· 覺: # # # # # # # # # # # # # # # # # #	一藏(全)	實範律師	- 般老德

17 500

四百四十六



名 篇

四百四十八

南山義, 更不, 遠, 光祖之義, 又非, 宗脈混濫, 也謂吾山 兹今記 | 影略互顯而似 > 明 | 吾山二流氣學之義 | 也尚 自、古氣、學二宗 之義 記 如具別辨之 不、取則違,太祖本旨,故令又吾不、舉, 嵩岳義, 唯舉, 1相承之義,而全非,不,用,南山之義,也若全 ,故今但舉,一路,一耳却是傳來記與,

撫,古銘,或尋,一殘文,隨,得直記三四囘七八倒而痛,志 予曾十九齡之秋初撰,,述斯書,今既歷,,十期,也厥間或 傳一已斷」也實可」不」恐乎中世以來入一吾祖門一負一時 于此,嗟乎昔人以,不、舉,斯事,故命。吾懷,今日寐寤 楊江末葉釋義澄於三古皇州害沼提寺能滿律院 是唯予之願而已矣時元祿十四歲次辛巳春抄十有五日 之所。知輙記。之耳幾庶博古之君子作。之拾遺一且正。 名一者頗多矣吾欲」盡釆收一吾將無、力私雖、求、之難, 之愁,也奚夫吾宗徒扑質不」事,記述,哉爰以欲,使,正 之訛 | 然則我 具得,之依,他欲,求他曾不,揚,他之善,也以,故隨,予 祖道至,千萬歲之後,更可,不, 标沒,也

九八七六五四三 與福寺 春日四所大明神御鎮 諸堂建立之次第

座之事

春日山內御塔之事 春日社末社之事 春日社末社之事 山城國 福寺伽藍所 日山內御塔之事 栂尾寺御神影幷開帳之事 々間數之事

福 寺 濫 觴 記

鄓

雕

福

與福寺濫觴記

興福寺

那一京 17、時內大臣後胤贈正一位云々,也嚴重也元明天王和銅二年許文天下之盛衰,云《一持統文武》 坂 坂里 遷:都 背國 が討 稲 其 命 八功成矣 11. 先 寺,迎,大 和 文亦 字 考之志,占,春 逆 國 於大 四,于此, 治 世 造,丈六 添 福 嚴 那 入鹿 苗 Ŀ 八和國 織 ili 裔 郡 日鏡女王大織冠 據 冠 北 春 高 孝德天 釋迦像脇士二井像 造立 神明護持敢不以假語寺爲依以海公願 鄉 H 市郡 逐 出一出一十九 日 上大 狂 鄉 一之眞 鄉 具 與 見原宮仍移 功不と 八皇天智 勝 織 福 公國家 像 地 冠 寺 請達:伽 建 移 如公發 內 者 天武 天皇天 余線 一年己酉 大臣 降 福一之謂 -- 今此金堂 :高樓閣二 位太政大 兩 峭 = 四大 爲 天 代宸 偏仰,冥監,誠為朝有,與福傑 造 正二位 Ŧī. 願 皇 藍 武 山 遷: 臣 枚 大天王 也 翰 天皇 卽 陪寺 貫 而 致 八臣淡 一階梵字 像,故令,護,持 都 位 藤 省 開 像 王嘆、德御 三代 信 同 於同 原 天 元 額 海 基於 國 年 爾 兒 心 朝 號 從既 公相 護陀國助 主申 來終 御 郡 於 屋 臣 11. ŀ. 耙 厩 計 根

當寺 於論 上件者 冥威-之神 於 也 率 國 至,,春 命 多依,來世 寺,於,神 福 之代 之御願 君 津磐 - 依 土之濱無、非 寺 祉 社 臣之御 日 天 依二 百以 法 日 々之皇王専令ン傾: 仍諸社 上下 之擁 皇 根 大 官不少 中 氏 興 雖 國 明 或破 之御 泥 福 神 萬民 誓約 現 冠 護 之桑城一不了可以離 柿 專 寺之今,如 各有: 九大明 於"藤氏之人, 乎來世之冥助又無》 之遺意 國 照 不り貴 鎭 壞或衰微 如、稱,大安寺, 又於、今有名無實也 願 哉 Ŧ 不」可」有」 1又於::末代 深 太 後國 東大寺以下一東大寺以下 可以 和禮 臣 重也 神亦 神 神宮寺等, 歟雖、然自; 一个日 年 家之 可代 廣 創 崇 マスト敬 神代卷紀 鎭 平志連之神詠一 戊申 可 建 因緣 度 叡 座 不 靈 逢,昇平之時 一藤氏 一不、可、有、不 春 矣朝 同 仰 諸國 神 相合 致:誠信 於當寺 月 所三之神殿姬御 H 而 生云 之寺一 抑天照 祇 諸 難と 大 仍諸 人 全無 朋 有: 偏 勿 沛 於當寺一無、盆 釋尊 又諸寺之創 太 存二 論 諸有ン不と 遷 事各有:鎮守 勅 神 其比 預 也 神代之昔 我滅 藤原 願寺 天兒 鎭 雖以然如 佛 類 陀之 御 屋 護 建 依 願 根 與

諸堂建立之次第

置 階寺,後大和國高市郡安,置旣坂寺,都遷,平城,時安, 也 等。建立也中尊釋迦像者大織冠逆臣為、誅,,入 當堂 幷此釋迦白 |嫡室鏡女王為||鎌子|造||此丈六像|山城國安 三銀御長 四十三代元明天皇御宇和 毫內 鎌足公持念佛納二 銅三庚戌年正胤淡海公 釋 鹿 迦之像 三願 置 ılı 像

本尊 迦如 來 坐 像 御 長 丈八 尺

其後焼 者稽 文 个會稽首 失應永年 觴 本尊者 君之末 Ė ŀ. 御 古 孫 炎 游 立 春 Ê 洪 本 H 尊者 (後建 大佛)人年 師 藤 山忍慶造」之 法印明圓奉、造、之 $\dot{\mathbf{p}}$ 御造立之尊像

脇 **築王大士** 即觀音 大 7

立 像御 長 丈

+ 面 觀音 大 4

古 像應永年 中 供 時修 補

四 节 像 增多 長聞 天天 御長 七 戸 建 廣持 目域 天天 久年 $\dot{+}$ 春 H 大 佛 師

> 天 女

子內 安置從,上古,閉、帳

古記 本尊御長三寸銀之釋迦像奉納 章造之旨古記有〉之右吉祥天女厨子之 云從,都率天宮,降臨云々 但 有之旨申傳 現 在 者 內大織 春 此銀之算像 H 大

冠 佛

御 師 院

守

或記 者當堂本尊根元之尊像也 日堂中 柱 等 在 繪未申柱法相

曼陀羅書又巽柱

繪

貞慶上 也但本尊不見 可思議 巡禮 机 p 記 E 當堂 西 間 唱 南 無當來導師慈氏

堂

人 麼女為:先妣,建 Ŧ 24 十五代聖 ·立之,正四位下民部卿藤原仲麿 武天王御宇天平十 年 芮 戌 Œ. 月 臣惠美大 武智

合为云々

文 殊 大士 本尊 建久 年中 阿 彌 春 陀 如 H 大佛 各 來 坐 像 師 御 法印院尊造之 座像 長 四 御 長六尺

摩 居 坐 像 像 御長 御 長 二尺七寸 一尺七寸

二尊共建 久 年 中 法 削

四百五十

女

定慶作

興

福

耶

福

寺

建久年中院尊造,之四天王 各立像御長六尺

五大尊 厨子內安置閉帳

弘法大師作

上古之像厨子內安置 地藏井 立像御長五尺

東金堂

王依と 月造立供 Ŧ 四 為二御 十五代聖 眼 病 武天王御宇神 - 聖武皇帝彼上皇為 龜三丙 寅 奉除病 年 叔 母 延 命 元 正 天

本尊 金銅樂師如來 坐像御長八尺

H 云 燼 春 H 一寺之本 日 々其後又燒失中古本尊藥師者蘇 興 福 寺流 尊也丈六 記 日上古本尊者寬仁元丁巳年六月廿 金銅藥師 焼」之次餘 下 通公 仰 三尊安,置東金堂,也云 炎及"東金堂」成" 我大臣建,立之,山 佛師定朝造之

二夜叉加

"彩色」時此大將

同

時奉

一,异出

一未、施二後素一之

像

高

躍。越於七尺

復,本坐,畢

希代不思議之

右二尊共漢土之作 名立像御長七尺五寸

峯之西北方 山田寺者多

其後

饭燒失又

應永二

十二年河內鑄師

奉

靈 前像 尊

也

勅使

為

隆

卿

七月風

徐龍

被

備! 大將

供

文殊大 新藥 神 1: 師 將 キ 像岩 各 坐像御長 立 温勤 像 御 操僧 長三 一尺五 正作 四 寸 4

佛師運慶造

維摩居士 坐像御長二尺六寸

電銅藥師如來 本佛厨子閉帳 建久年中春日大佛師運慶造>之

聖武天王御守本尊

自然涌出深秘口傳 正了智大將 厨子閉帳

當寺緣 剋流 出永承回 記 雷火半身已 起記 禄大 日 師辨 正了智大將者 Ŀ 基 御 灰 首計 中 御 執 介\作,繼之,永久年中 寬 仁之炎 出寬治三年二 1. 自 猛 月五 炎 中 日 Ë 踊

薬師如來 立像御長五尺、加"彩色|平氏治承火亂半身已上無

傳敎大師作

王

帝

釋

天

王漢土作 各立像御長五尺

地藏菩薩 上古像四天王建久年中

各立像御長四尺七寸

不動明王 上古像

同斷 二尺六寸 二尺六寸

聖德太子 上古像雨寶童子 上古像

立像 一尺五寸

金銅釋迦如來

工像子即長一尺四寸

右三尊者本朝新羅國奉獻之靈像也 上觀音大士 立像各御長一尺五寸

大黑天 二軀 立像御長各三尺同御厨子下宇賀神將王 深秘口傳

弘法大師作

西金堂

人王四十五代 聖武帝御宇天平 六甲戌年光明皇后為二

本尊 釋迦如來 坐像御長六尺先妣橋大夫人,證"大菩提,建"立之

代春日大佛師運慶奉\造\之 上古本尊者印度之佛師問答師造令之本尊者建久時

毫,放,光明,于、今雨所不、納,珠玉,也不是,放,光明,于、今雨所不、納,珠玉,也相副造立者也或時皇后御拜。覽之時半作自,眉間白人相副造立者也或時皇后御奉、刻,彫之,本朝小佛師三十年世末孫其字文答師奉、刻, 彫之,本朝小佛師三十年世末孫其字文答師奉、刻, 彫之,本朝小佛師三十年世末孫其字文答師奉、刻, 彫之,本朝小佛師三十年世末孫其字文答師奉、刻, 版之, 版, 版之, 成, 版, 表置佛師曰為, 母及御皇后曰奉、造,立阿彌陀如來像,安置佛師曰為, 母及御皇后曰奉、造,立阿彌陀如來像,安置佛師曰為, 母及御

抑 幷三體造立也 也 形.云々大王夢寤思惟萬里蒼波難>叶.渡海.重一七日 從、是東海州大日本國聖武王之正后可、拜... 光明女之 生身觀世音,發願入定三七日告曰欲,拜,生身觀世音 臣之少女皇帝之后宮也爭顿可、見,異國大王之賢使,耶 入定祈請亦現日遺,,巧匠,摸,,彼女形像, 可、奉,, 拜見, 身,顯,現於十 印土佛 「宜叶」吾願」者可、見云々佛師應二后命,上件釋迦像 |王歡喜而渡||工巧師||難波津着而經||官奏皇后日妾大 師 來朝者北天竺乾陀羅國帝見生王欲奉,拜 爾後皇后見 面面 觀音像 一佛師 也 則 任〉仰觀 非 后后 音三軀造立之 身女體之肉

興

花滅 養一口別施二衲袈 流 記 災罪寺觀 日天 使 平六年正 音也 佛 師 |後一帖||是從||乾陀羅國||被||送遣||途| 隋 月十一 體者安二置施眼寺 り録い 國 日堀|四百口 體者安..置於內 - 也 僧 侶 裡 成 **- 今法** 供

供養」畢 脇 七聚王大士

師問答師

心脇士二 一尊共 正應元年 亢 月修 復

彩 面觀 色繪 所 大士 大佛 師 觀實

緣記 晴天放、光示、出現之地、近見十一面觀音像有、腰田之 所(イ本加茂坂邊菅田池トアリ)有い音喚…和尚名,見… 四方四隅一敢無人天魔所為護身結界欲。行過一又呼入名 曰天平二年二月 吾 Ã. 厨子安置閉 日 住侶壽廣和 帳 尙 拷 問 坂邊 徘 徊

流 記 日 治 承四 八中一奉 年 十二月 取 计 出 八 也 日燒失之剋大十 師 嚴 宗

膀干

負,, 觀音像, 安,, 置西金堂, 日天長二年乙巳二月五 堂」云々皇后崩日天平寶字 四年庚子六月七 同記云后誓曰妾崩之後過二六十餘年一予我形 坐,為,,本尊,放名,,座光寺,云々於,此靈像深秘口 哉是施眼寺之像盜賊取」之投,入泥中,彼等取殘以,光 ||天平寳字四年||至||天長二年||六十六年也皇后詞誠 日 可以來二此 也壽廣 1傳數 日 也

多有人之 梵天王帝釋天王 谷 一御長五尺四寸立像

佛 師 問 答 舖

迦葉 各立 一菩提 像御長四尺八寸 富樓那 阿 難 尼 迦旃 含利 延 弗 優 目 婆離 犍連 阿 那律 喉羅

八部 衆 佛 師 堅那羅 問 乾闥婆王 答 槃茶龍 師 王 額安 復 河 修 畢 鉢 遊 羅王 今古古 羅 龍 羅龍 像 Ŧ

泇

樓

Ŧ.

雞

龍

E

Ŧ 沙 羅 伽

>安,置西金堂、云々和尚不、信而為、安,置金堂、負、之

一仍欲〉安二置

西金堂一之處學動

如

三輕毛

-自--南 チン今

西田

中一寒,於袈裟,自奉、負而前坂井水洗浴南大門負

一哉思惟之間童子自然來云可

來祈云何堂可>奉;安置

立 御 長五尺 端

入:: 之別堂, 修圓僧都時自爾以降南犀

師 問 答 師 額安寺古像

右十大弟子十軀八部衆八軀

金銅藥師如來 貞永元年壬辰 十二月十七日修復 立像御長 一尺七寸

自,,印土,渡

不空羂索觀音 閻浮壇金如意輪觀音 自,,印土,渡 同斷 坐像御長二尺五寸 三尺七寸

+ 上古像 一面觀音 立像御長五尺五寸

上古像

銀釋迦如來 同斷

巡禮記曰銀釋迦佛立像一體高六尺三寸厨子高九尺計 厨子安置閉帳

件佛者海龍王寺之安置佛也然其比者興福寺智尊僧都 古記之趣不,,相違,者也但自,,御胸,上者往古炎上之時 于時海龍王寺,別當職之時恐,盜賊,寺家僉議之上言 上依,長者殿下仰, 去永久二年春奉,移, 件像此堂,云 云于時享保二年丁酉正月四日諸堂炎 上之時奉、出處

> 羅唆羅 尊者 坐像御長 尺七寸五分

漢土之作中 傳

正應元年八月二日修復終、功

于時享保二年炎上之時奉、出處尊像臺之底箱有、之其 但臺座ノ裏書云正應元年八月二日奉」開"眼之、畢 施主性貞自笑判

內佛舍利數多小壺入在、之外箱書付云

建武四年十二 一月十五日

妙幢菩薩 御舍利 奉納 立像御長二尺一寸

行信

山田道安作

天燈夜叉形

龍燈夜叉形 各立像御長二尺五寸

右二軀共建保三年卯月廿六日春日大佛師法印定

慶造」之

共正應元年十月十日修復 右二尊共建久時 代春日大佛師定慶造〉之但二尊 各立像御長五尺 善增石見

大佛師 給所大佛師觀實薩摩

四百五十五

分燒流御首流蕩仍而只今之御長者五尺有>之

颱

駒 DC

法 天 師 作

地 藏 宿院 書 地 **巡堂古像** 寸. 像 御長三尺八寸

閣 丰

命

森

移

御

春

日鹿

ラ使者

坐事皆以昔因緣

深

習

w

也 笠山

額 安寺 古像

南 圓 堂

鎮壇之初 為、途、先考志、弘仁四年談,於弘法 冬嗣公建立之本尊不空羂索觀 Ŧ 二弘法大師教訓 造立 五 + 也 一代嵯 內磨所」造觀 팺 天 王 御 音安"置之四天王 一先奉と 字 弘 音像 安上於講 四 潜父 年 當御堂建 癸 長 已 関 岡 其 右 院 立 後 大 左 本 多嗣 臣 大 朝 内

師 都 弘法 師 也

風 擅 建 本 歌 人 讀 之時 年 去 沙 一交,人夫,二人老翁有人 Tuy 聖 H 大明神 デ北ノ藤浪今ソ昌へル 補陀落之南之岸ニ堂立 索觀 佛 音大 師 康慶奉と 人者榎本 造之表 坐 之或 崩 像 前 御 一人云 夜 長 云 神記 丈六 K R E 唯 此 和 御 堂 國

彼 今ツ昌フルン キタノ藤浪 花盛 御 堂彼 山 ヲ 移 メ 造立 故

シテ

K氏公卿 北 索觀 日 此壇 ٠ د 源 香 浪 氏六 左 上不一参詣,云 藤 肩 人 鹿皮着給 氏 四 家 同 薨 又自 內 去 也 北家 依 庭 島 之代 御 R 之由 殿 御 幸 武 也 之時 雷 此 御 槌

不了可 記一被、埋一置之一云 內 定云 巡 禮記 談 念院殿兼平被、仰云當擅者本願 申 ン然云 一佛像經卷等多被、埋、之聊 "入長者」 壇上之石等 E 件堂燒失及,度々,建治三年擅 々仍馳。下東寺,一 12 可,改切替,云 長者以二日記 不 與 可二相亂 弘法大 崩 J K 師 爲一長者 于 仍 如一大師 時長 者有 寺

以可、隨 又擅上之石者隨山破 各立 之儀 像 御 111, 損 長 六 次 尺五 第 R 寸 k 可取 替一 云 k 寺皆

叡 六祖 十天七延四十五十五十八五十五十八八战一 師 像 常 一月入滅一 十六六歲 坐 宋延曆十六四月六日 玄賓弘仁九六月 五十六四月六日 像御長 尺五

滅六

珠延曆

H

滅

月

法

建久

年

 $\dot{+}$

春

日

大

佛

師

實

酿

造

谷 E 古 像

高祖 畫 像

方壁板七書

耀 師

惠思 禪 師

金剛 惠果阿闍 智三藏 梨

> 善無 行 派畏三藏 阿 閣 梨

禪

師

各從者僧形童形有之之

玄弉三藏

右 八 組 畫像弘法大 師筆

元要記云此 巡禮記云壇下在"橋木」此下在 御堂脇藤塚在藤門繁昌表相 二如意實珠 口傳

納

平二年四 光明皇后

月 御

十八日發願自持、誓蓮、土夫人命婦大臣 表。天地和合君臣合躰陰陽不變之理、天

北圓 堂

帝同心奉、勅右大臣從二位長屋王天武孫高市 大臣淡海公 則相 Ŧ 四四 一十四代元正天王御代養老五辛酉年 迎 周忌1八月三日造立供養 元 為 朋 二贈 帝 太 元 政 Œ

永承年中春日 大佛 師定朝造」之

本尊

彌勒菩薩

坐像御長年丈六

巡 禮 記 日 炎 上之後古佛之頭者新佛之御腹 奉ン納レ之云

云

叉光 阴 皇 后 御骨 奉、埋山當堂、云

大妙相 菩薩 各坐像御長二尺八寸

> 世無親着 上

古 像

11

各立像御長六尺三寸

上古 像

四

天王 各 立 像 御 長六尺

永 承 车 中 春 日大佛 師定朝造之

五 重 塔婆

願

言文武 東 北 西 南 方 方 方 方樂師 寶生如 拿 各 彌 釋 百官四部 泇 御長 如 如 如 來 來 來 來 尺五 衆 共 脇 脇 寸 杵築と基 金金勢觀普文月日 剛剛至音賢殊光光 光幢菩菩菩菩菩菩 菩菩薩薩薩薩薩薩 薩薩 歲之內造功終

一方各 坐像作 者不り知

四

脇

士各

御長

尺五

食堂

和銅 一年淡 海 公御 建立

尊千手觀音大士 立像御長 丈六尺

本

四百五十七

31

福

寺

濫

師 安 阿 彌 作

四 各立 像 御長四尺五寸

上 舌 像

--不空羂索觀音 面觀 音 立 同斷 像 御 長六尺五 五尺七寸 寸

右 尊厨子安置 古像

巡禮記 本尊者東大寺本尊也度 日在:本佛:左厨 |々兩寺及||爭論||云 子貧頭留尊者坐 像 々又神木入 也 口 傳 云

勝陀羅尼曼陀羅每年正 都之時此尊者必奉、入、都云々同記云右本佛右 月真言宗唱: 尊勝陀羅尼七箇 厨 子尊

日二云々

人王七十六代近衞院殿 三重塔婆 御 宇 康治二癸亥年鳥羽院皇后

東 樂師 千佛

待賢門院御願十二月廿八日造立供養

本尊 釋迦 千 佛

北 彌陀 勒 千佛 千 佛

三千佛繪 四 方 四 面 書之

中門

師 筆

南 大門 長者門

金 剛 高 丈七尺 立像

東

上古 安阿 彌 作

西 應永年中 力士 春 一丈七尺 日大佛師慶賀慶秀兩人造之 立像

上古弘法大師作

建 八人年 中 春 日大佛師 定慶造之

12 二疋 長七尺五寸

獅

西御門敬田門

北 御門悲田門

東御門奴婢門

東西不開 門

僧正門非門也

井像也云々在"與福寺巽方去五町餘一天平十一 昉僧正之墳庿也云々又彼僧正在,十三重大墓,以, 口 二月為:|太宰少貳廣繼之靈: 入滅云々 傳云菩提院贈僧正 .IE 頭 |埋||此墓||故號|| 頭塔|| 此墓四方石多皆以佛 藏俊為,出入,開 ル此云々 年十 或玄

東持國天 西增長天 八夜叉 各立像

各長 右各應永年中春日大佛師成慶造之 一丈四尺五寸 各八尺五寸

四面廻廊

計也東北者退轉 件廻廊者金堂北圓堂東金堂 此三堂各在、之今者金堂

鐘樓 鼓樓

流記日鐘樓經藏在」之 在二金堂講堂之間 一西鐘樓

三面僧坊

件室者在,講堂之東西北,四室北室是也 廻廊 倉馬道云

在二講堂北堂之間

東室

件室者在,食堂之東,學侶集會所

竈殿

件屋者在:食堂北

在 會所藏

細殿

興 稲 寺

濫

觴

部 話

堂 建

Ů 之女 第

二竈殿之東方 東西六間五尺五寸高一間二尺四寸

三綱出仕 在一食堂前 一於…當殿 維摩會結日取鉢有以之勅使當講

三倉

在:中院屋之西:

大湯屋

蜂起集會所

在,東金堂東方,大釜有、之修二月之時燒、之云々大衆

勸學院

不退之熟行所也人王百十代明正院御字寬永十九年十 一月廿七日炎上其後造立己丑年造立 人皇九十代後宇多院御宇御願弘安甲申年御建立爾今

本尊 大聖文殊井

左壇上 四天王 東照宮御影探幽筆

右壇上 台德院殿初御代々位牌

懃行所

四天王

地藏井

藤山忍慶作

左戶內

韋駄天

佛含利

癸巳三月廿一日職中衆彼符供,,目代英算 還御中院屋再與之根元衆悅無,比類,者也天文二 月十 口遊之間 七日土一 種々 揆 (御舍利 廻,計略,癸巳三月十九 悉以失墜也 然處 城 H 州

日垂跡 右戶內

春 二重塔 像

本尊 釋迦 如來

康 正 元 年引,移大乘院御 塔二云 K 天 福 元年建立

鎮守社拜殿

榎 至德四年 本 明 前 未六月九日勸 本地毘 沙門 天王

巡禮記曰中古南圓堂建立之時寶形之金散,十方,其金 來一 醍醐寺三寶院之本尊云々 之中在,圓堂一,披,見之,中在,佛舍利,仍安,之尋,由 同南方石文珠師利井與嚴

トアリ

東院西堂退轉

也 光明皇后 人王六十六代一條院御宇永祿元己巳年八月十三日 一四十七代廢帝御宇天平寶字五辛巳二月感神皇帝 奉,為兩御菩提,奉 ||勅宣||惠美大臣所 建立

> 本尊 本尊 依三烈 風,為,轉 安二置彌陀西方淨土一奉、爲二光明皇后 觀 吾 倒 補 陀洛 以來無一再興一云 海土 准 東方 K 也也

東院東堂退轉

- 也

建立十萬基小塔安置 人皇四十七代廢帝御宇天平寶字八甲辰年九月十 横 佩右大臣豐成為 三所尊靈 建立 H

安,置阿爾陀像

東院地藏堂 退

立奉 六月廿一 - 為贈太政大臣藤原永手-藤原家依建立寬仁 四十九代光仁帝御宇寶龜 Н 為,,雷火,炎上已後再興無之 二辛亥年二月廿二 三年 日 造

本尊 安二置地藏井

東圓堂觀禪院堂前也

門院御 人王 七十五代崇德院御宇保延己未年鳥羽 建立 也其後 R 小松院御宇應永十五 院皇后 戊子年已後 待賢

退轉也

本尊 堂之門 日 永 一西脇八 Œ 九 索觀音 年三月 重櫻之為:植 一十日炎 析,有之 像

堂 在:東 四堂之西

一代朱雀 院御 願

本尊 五大尊 弘法大師 作

流記曰右大臣師輔 王,所、被,施入,也奉、爲,春 三昧, 其三昧僧等 供新者冷 泉院勅使日 御子兼家大入道殿天祿四年八月廿二日合…初修 一所、被、修也 |天曆年中所||建立||也於||件堂 日大明神,又為,藤門繁 |奏|| 聞太上天 二法花 -相

二階堂退轉北院內

本尊 阿彌陀如來 院二最勝

本尊 地藏井

人王七十二代白河院

御

願

與西院退轉

堂二字塔 一基坊舍等松俊上人建 立 也

時致,集會,計也 番論議,又為,學侶 維摩會勅使住 勅使坊 在,五大堂西方, 退轉 山集會所 一所也又同會第六日於 1 細々無>之只供目代初住之 "當坊"修"

四思堂

流 記 光 /明皇后 御 願 女 防 僧 正 P 二武帝 母后 宮子淡海 於

興 福

寺

濫

瘾

部

豁

堂

建

立

之

次 第

> 彼堂 通之所惡テ 御寺燒失之時諸堂雖、造件四

恩堂

字不、造云

松院堂退轉

流記 ス祥演僧都造,松院堂,奉ン之云々 光明皇后建立從一大安寺一北移」之 云孝謙天王御本尊十一面大安寺北

正

法藏院

=

御

乘院

件堂者東寺一長者兼與福寺別當定照僧都建立 也

長講堂

本尊 大日 如來 阿彌陀

信僧 巡禮 正 日春 一奉ン鑄云 日御 本 k 地 御殿不空羂索在 之其院至 惠

大乘院 權別當法印隆禪為,先考,建,立之 門西,云々退轉在,勸學院東四日 足

件院

多寶塔 本尊 + 基 面觀音 則 此 塔勸學院引移 丈六

喜多院

空晴僧 一都本願也天德元丁巳年九月化

松室退轉

算大德所、住也 本院家空睛僧都之弟也 不 知 何 許

仲

絕倫安和二乙丑 福 宗之北門過六七歲計童子逢携歸 年能 野 山 那 智瀧下講: 般若心經 沙坊學 憲 勿

現,,千手千眼之像,講已陟,,岩上,自、惟不、見 觀禪院大御堂

再與造…立之 十六代一 條院御宇長保五癸卯年興福寺勸

今之堂者慶安二己 丑年造:立之·

鐘 本尊 樓 阿彌陀如來 **銘無」之達摩寺鐘**

鐘

ŀ

云

鎮守社

白 th 權 現 本 地 妙 理

之子島荒神池 元要記云 光 - 隅中嶋有 帝寶龜十 车 ÷ 月十八日 建、社勸

總宮 社

明神神龜三丙子 奉》物:請之 日月星三光 年 七月上旬 也 中 H 輪 大伊神勢 為 左 元 月 Œ 矅 明神日大 天皇御腦 右明星

治承四 年十二月 11. 八 日

燒

文治四 大臣 [年四 忠 奉レ 月 再 下旬 後 計 白 擅 河院 被成 院宣下 中御門右

> 吒天 祉

丰 計 井支

法 大師 窪辨天社 奉 一勸請

弘

弘法大 師 睡 奉》勘:詩之 神 社:

稱院

明

本地 妙 見井光仁帝御字寶龜二 龍藏 社 在三喜多院東 年二月五

日

奉

三勸

請

也

千 手 觀音 天 禄 年 中 社

壇

造立

本

地

狛

子

神

社

密 狛 本 光 地 時 天 家之日記云陵王 威 德明 東門之前之社 E 永 保 元 芝小 年 遍 過智院僧 面 是ヲ埋ト 者家之實物 都 義範 云 也 社 增 立

興

福

寺

ノ下ニ

ħ

南 權 一左大臣 僧 IE. 快 祐 勸 請 云 k

弘

仁

车

中

多嗣

八

男權

1

言

良 世

建 三 立.

春

H

里

菩提院 大御堂

玄昉 僧 河 IE 爾陀 建 立 如 机 來

丈六坐像

厨 子 閉 + 面 觀 音 大士

當殿 行一現行 + 董種子文創立發心堅固願然障, 名利 發心疎 面 觀音者 朝近 上人南坊所住僧也 驚 種子 生現

安二置當堂 路鹿野苑,至,松邊 暮年|愛犱念』是薩埵悲願恨||菩薩|既成||七日| 趣||歸 \睡死朝噎處自遺言如懸!| 松上| 直詣,長谷寺,起,造, 懸自, 死日, 至,,七日,開,棺可,見,之中間莫,開,之如 期有、近止、息不、改、姿入、棺昔奉、逢,鹿野苑」 約經,六年,長和二癸巳年兒臥定,,死席 圓山麓 為」是斷詣,長谷寺 面觀世音坐朝大怡悔、奉,薩埵恨,即奉、負、之歸 歸鹿 |朝沒後告云遺弟弔如>願生||補陀淨土| 野苑之路一來小童賴、朝具歸、坊給 |薫,,異香,開,棺見放,,光明,生身十 一所、之寬弘四年正月 語〉朝 一日横大路高 仕最 松枝 我死 ジ坊

般若臺 解脫上 釋迦三尊像 人念誦佛也 厨子在人之閉帳 二月三日開帳

鎮守社 雅 花樹院退轉 上 一權現

本願 法 務 權 僧 E 賴 信

基

本尊 释迦 M 彌陀 藥師

> 同 院 內 放光院

Œ 建立

法務 權僧

本尊 泇

此院 巡禮 八角堂 爾勒念佛一三日三夜也行道在」之念佛者上人修始云々 依"上人祈請」大明神造給云々於" 為,東大寺々內,自, 與福寺, 相計云々此故歟口 記曰解脫上人住 而春 本質 日大明神造給云々 三尺白檀像也知足院雖 彌勒 所也東大寺 知足院地藏井者於, 此院 每年九月修二 1傳云

同谷禪定院退轉

燒失 本願 權 少僧都成源元與寺別院也寶德三 年十月十四 H

丈六堂 本尊 彌勒

天竺堂 本尊 释迦

m 爾陀 樂坊專場,今在,之 柴上已後奉,入,極 是已後奉,入,極

多實塔

當院雖 於,當院,行,之然間 十二月廿八日東大與福等燒失之時與 奉ン入二 が為ニ 一元興寺 禪定院 别 准與福 同五年修 院 大乘院兼帶知 寺内 T 修 - 也於 月 福 維 行故治 已下十 寺本尊相殘分 摩會 一二大會 承四 年

食堂一行、之其餘常樂會以下悉修、之

寺 濫 觴 æ 諸 皇 建 立之 次 第

颠

福

彝

三 春日四所大明神御鎭座之事

神,焉今所在之辰市神社者則是時風秀行也。舍人者乙野九也、今神,焉今所在之辰市神社者則是鄉,奉、濟,靈舍人者乙野九也、至辰市鄉,而後為,采地,突故放。其鄉,奉、濟,靈舍人者日祠官成正郡者天兒屋根命二十五世之孫大宗之息也一男時風者今之春日祠官成市表天兒屋根命二十五世之孫大宗之息也一男時風者今之春日祠官悉行也,是祖司者神,宮領中臣連時風造,宮預中臣秀行也時風人也社司者神,宮領,中臣連時風造,宮預中臣秀行也時風 二月七 月 孫 國 而 風 秀行 茂 稱 國 日 司 國 護 移 祉 中 会"栗林, 仍神賜,植栗姓紀,可,侍從,其栗必可,爲 日 德 添 日社家者流之舊記載、之世 Ŀ 臣 司 獻 御 姓下 二御 武 一郡三笠山之頂 一而 御 時 年 前 于薦生 神 天兒屋根命者 宣汝等以二此栗一 蒙:植 護 神 身鄉 二之時 和 至 景雲元 鍞 阈 有 坐 一神社是也供す 安部 栗氏 瀨 Ш 年 一会ニーノ井」 備 於 Щ 御 而 是 進 知 自 此 於 美 生生 同 未 自 可 常 窗 權 栗 時 泂 年 植 爾 所,傅之說 天 育 陸 月 輿 + 月 內 齋 矣神 兒 國 Ë 卽 御 祉 也 國 而 # + 屋 應 一來時 同 隨 座 司二 秵 月 平 根命 申前 地 盧 嶋 焉 除 九 H 岡 者 命 甚 一於三子 於此 年 風 人 日 自 賞 之鎮 植 秀行 Ŧ 渡 戊 移 同 而 F 姉 御 申 年 御 四 孫 所 詫 坐 御 Æ

云

之命 降 而 年 隨 無 百 此 有 Щ # 云叉社家者之 世 故 笠 伐 年 清 春 Ш 以 麻 名 春 前 H 呂 申 之 日 也 「奉」遷 御 野 今 記錄 邊 社 案萬 笠御 栗 云 奉 日 種 K 葉 祉 遷 大 益 集 中 三攝 乎 中 臣 之歌者 所 津 天兒屋 清曆以:天平 國 載 島 千 盖 下 根命 盤 指 郡壽久山 破 兒 神 始天 屋 之社

ン遷 宮是 年 殿 同 神 四 = m 年 以 神 机 奉 胂 庚 悉 前 勸:請於 於 兒 戌 今所 太二立 IF. 根 月 命 十二 一宮柱 在 天照太神 鍞 坐三笠 日 南 ヲ 戊寅 於三笠山 向 補 爾 殿 中 山 來逐 臣 朋 焉 連 矣然 一號 Fi 時 造 風 鎭 後 四 自 一給焉 神護 益 所 於 朋 本宮 (第四 景雲二 神 御

鹿 化 兒 島 屋 九 并 年 根 H 命 香 御 取 鎖 御 神 影 護 座 孝 向 景 稱 雲 德 德 天 天 年 Ŧ 一御字 王 凡 御 旨 宇 大化 世三 神 護 二丙 年 景雲二戊申十 之間 午 年 也 也 自

大

介 春 御 夜 申 移 神 給 永 記 云 E 日 御 神 本 座 國 其 花 後 雲 月 天兒屋 興 年 佛 + 法榮昌 根 尊 月 齊 九 在 主 日 所 同 高名靈地自.... 姬 飯 御 添 神 Ŀ 御 郡 許 各

ン相三四 御神達 殖栗連時風 我正 日寅 法相 笠山 王託宣此 皇幷氏長 大乘 體 高 外 應地 一可以被以崇故也 |時宣以|榊為||乘物 立言宮柱 如 ılı 教 者解別神奴等幷氏人令:守護一策人可以護 秀行等奉义負奉 |形|以||神護景雲二年戊申十一 本南向 - 矣任 無之各來臨 三此 御殿造建了後時 可以被以崇則成以驚被 |命||即一處各集會給于\時稱德 云 12 御 隨 座 一可以奉以移放何者後代為, 移 仰命 --崇居--墨 所 集住給 風秀行等奉」移:入 乘: 下 青葉榊 如一所 月九日戊 勅使 誓 Ħ. 申 被 天

御 御殿 御 殿 殿 天兒屋 濫 武雷 生神 槌 神 根 命 河 下 常陸國 總國 内國 香 鹿 4 111 嶋 大 大 崩 朗 朋 亦 航 神

拾要鈔云 M 御 四 殿 御 殿 以前 姬 大河 一所御 命 殿 伊 內 勢內宮是 住 給問奉レ號ニ #1 相

几 若 「宮殿御鎭座之事 神

- 第四

御殿造宮者已後之事也

若宮殿 五 天 八押雲命 所皇子

天 押 雲命 兒 屋 根 命之神 子 也 御 系記 見,,于名法要 集

> 已剋鎮;座于二三御 王六十六代 條院于時長者御 殿間 時風五 堂 長保 一代孫權 Ŧī. 預中臣 葵卯三 速是忠 月 三日

家 程 也 市 奉>遷,子第三殿,祝,申之 曰是忠長保二年庚子年二月十一日

卒云未、知い就是

按預職補任之記

房朝臣奉」還川御 崇德院長承四年乙卯二月廿七日寅剋時 自,長保五年,歷 ...於百三十一 々神於別殿一今之西向神殿是也 箇年,之後 人王七 風八世之孫祐 Ŧ 五 代

Ti 五. 社御本地之事

宮 不空羂索觀 音着,緊底耶皮,為 三袈裟

宮 藥師 如來 手十二神也 明崇師如來也左面日光右面月光項上午 明崇師如來也左面日光右面月光項上午

三宮 地 藏 一菩薩

殿

十 面 觀 香 叉大

日

無,御 如 ..四宫,又文殊二 殿 -名:師子 間 御 故 殿 與三 若宮文殊垂跡 御 殿 間座 御別 說 在

若宮

之春夜記趣也

拾要抄 地 藏 自 四 宮十 乘院御門跡 面 岩 宮 口 聖觀 傳者 音云 宮不空羂 12 則 乘院 索一 宮 昭 藥 圓 僧 師

四百六十六

云 五. Œ 體 k 時 共鹿 彼 院 仁 室 被 之銀 シ乘云 佛 ヲ 々大 大 乘 乘院御 院 經 覺 菛 御 跡 拜 П 見 傳 之 者 由 藥 彼 地 銀 觀 佛 文 者

春 H 社末社之事

飛 手力雄神 來 天 大宮 信 神而 濃 內 社 社 政 院 亦天 戶 名御中 隱 社 常立尊也 明 神是 謂指內瑞 天 手力雄神 院立內 也 也

神 大雷 黑 雷 座 火雷 山 雷 土雷

雷

辛 神 所 社 謂 八 雷 神是 水 酸 也 芹 命 也

隼 加 神 是 也

海本 市市 社 大物 主命 也

佐 杉 本神 軍 Ш 城 計 阚 葛 野 坐 H i 松 若大 山山 尾 姬 咋咋 机 明 命命 神 是也

輪 明 神 是 也

> 國 宮 宗 中 像 朋 丽 社指湯 是 也

本 神 社 宿 禰 命 調品中學 机

風宮 椿 神 宿 社 彌 明 神 也 角振 座 明 神 也 彦邊 命命

和 國 龍 田 朋 神 是級長月

智 淡 神 路勢社 國 多 賀 伊 弉 神 諾 尊 也 也

神 社 座

岩

本 人表為為為

住 吉大 神 是 也 年 六日 始 而 勸

請

此 神

靑 楠 耐 北 3 ŋ 靑 和

榊 神 社 同 和 幣

辛

穴栗 神 神 社 社 同 同 四 高 魂 次 算 桶 也 相

四

社

Ŀ

世

者

去

於

御

殿南數箇

町

坐

横 井

村 後

神 社 大宮 귦 房 外院 朝臣 猿 十 奉 田 彦大 勸 言詩 謂二外院 神 也 中 也

榎

本

山

地

主

也

竈 殿 市市 社 座

興津 | | | | | |

津 姬 命

殿 神 貞 社 觀 元 年 二座 十二月十六日 始 m 一請於此神

酒

戶 神 觀 元 年 -二月十六日始了一座 酒爛豆女神 而 勸 請於此

社 社 衝立 瀨 織 一船戶神 津 比 咩 神 HI. 也

船

戶

神

水谷神 社 素盞嗚尊 三座

大巳貴命

奇 稻 H 姬 机

紀伊社 H 前 市前神是也 四 座

屋 师 神

猛

神

抓 津姬 姉

白乳 神 耐: 天照大神妹也 舊事諾尊御子 龍田同體 級長

戶邊

命

赤 言主 乳 神 計 耐 一盏鳴尊 雅 H 姬 尊 言 主 神

> 大 和 威 葛 木明 神 是 也

手力雄神五雄神 有」之

率 河 神 社 三座

開 化 天王 伊弉諾 尊

住

吉明

神

若宮內院二社

子與,,同 舊 請之二云 日 者宮小社等者以 々按通合幷卅八社兩社之勸請者已後之事 月廿九 日庚午,之兩日。 保延元年 中臣祐房朝臣奉义制 乙卯八 月十 日壬 也

手力雄神 社 手力雄命也

通合神社 中臣施 心房靈祠 也

預職 今按 云天孫降臨三十二神鳥 日 依,神能,奉、齋,靈魂於內院 廿四日七十 崇德院長承三年 同三月十三日始 北郷永祐記云天太玉命大神宮ニテ 中臣 日 辛未 是則三職兼帶 祐 房者 餘以,,天年,卒歷 寅剋奉 而任 Ė 同 姓時 月十日任 遷」鎮若宮御神於 也功成名途而後仁平 ||若宮神主職||雖\然猶 從神 風第八世之後也人王七十五代 其 :正預職 |同四年乙卯二 ,於二十七年,後治 傍即 也 通 別 ハ 合神 大舊 殿 二年 兼,任神宮 因= 女荒 社 是也 承二 十二月 其 神 功 月 年

若宮外 院 社

建 御 名 方命

兵主神

四百六十七

國 諏 訪 明 市市 和

元 年 月廿 九 | | | | | | | 日前 房朝臣始而 奉ン樹 此神

南 宮 神 國 加 141 ili 神 社是 金 Ш

一輪神 社 一童子卜二 云卸于 也

大巳貴命

廣瀬 延元 神 社 年十 月 计 Ï. 日 1始而 物清 於此 神

和 國 廣 瀬 明 神 是 也

葛木 神 計 一言主神

人壽 所 伊 弉 神 年中 諾 社 尊 子守 始勸」請於此神 三坐 伊 排 裥 册 日 算牌手 本 整余意

佐良氣神 社 蛭兒也

以上

鬪 鷄 稻德 置大山 天 主 前 十隙年 面那甲 戌 氷

始

右宮 左宮 額 仁德天王年著 田 大中產皇子馬頭

漢國 計

中宮 韓神 無名 雉 神 勝 軍 地

藏

右宮 自 薗 神 舳 司 司 禄 命 神 神 里 不 沙 動 菛

水 屋號 ..長尾大明 前

日

右趾若宮 左 方 一輪社 水屋 春日 并 Ш 一種本 社 五 所 社 善如 道 口 右 龍

方 王 板

祉 殿

お社 浮雲明神町宮三所三金人スイサク神町宮三所三金人スイサク神町 二武甕槌

宮

神 本 野

神 護景雲 島 3 ŋ 力 戊 七 申 * 十一月九 乘テ春日 日 自 ナ 鹿島 w 三笠ノ 此 Щ 仁 浮雲之 御 影向

宮

辨天

社

イ

u

7

t

カ 姬

石荒 野神 神 社 牽牛織女

沙津 查神

中 津 御 神 市市

一笠山 興 荒神是也 姬

神勸

子安社

愛宕將 軍社

水 屋社 于西四恩院北子寅在、之

北向荒神 計 日 月星 机

寶院支配

上古社壇者三

一
祉
在

社也當時持

初宮大明神

御殿 神 祇 官 八神 殿

座王 前 後 都境原宮自>遷,都春 王九代開 此 下御堂關白道長公再興虚治年中春日若宮殿造替以 耐 城即神祇官八神殿齋八柱靈神 一伊勢 化天王元 三春日 日之地 年冬十月丙 四住 -是謂:率川宮 申 朔戊申大和國 |或鎮||御魂神 大宮造 輕 御 地

住吉三所祝 長承元年九月一日靈驗子細座伊勢兩太神宮春日五所 前田樂舞之當日事: 各舞. 也 三副奉各初宮大明神,于今若宮祭禮初宮御

文治二年十一月二日社壇炎上同四月下旬一字造立 尺御殿面四所祝副元 藤原廣嗣參議宇合一男大宰少貳紙左近衞少將 和 心七年五 一月廿日造替

自,筑紫松浦 勸 請

春日山內御塔之事

庭園院退轉

與福 鹿島御影向之時鹿埋、塚也云 向 頭倒於,,此地,建,二基大塔,號,,春日新 寺別當坊至:永綠 僧 正等寺務之時 k 在人之其後 御願御塔」也

東御塔號,院御塔,五重大塔也

十二月八日,至二十二日,終二般若會,應永十八年壬午 海屈,廿日僧侶,每日講,法花大般若唯識論,云々自, 十月廿九日建立 開 十月十五 人王七十四代鳥羽院御願也崇德院五代御字保延六年 帳但大乘 日炎上云々已來大乘院奉、入、勸寺務任之時 一供養導師別當僧都覺譽鎮擅三寶院定

西 一御塔號,殿御塔,五重大塔也

日熟行有、之但東御塔同時炎上燒失已後 院殿下忠實御願導 人王七十四 I代鳥 羽院 師覺信大僧正云 御宇永久四年三月六日 々屈二六口僧侶一每 建立知 乘院殿奉 足

元要記曰新御願赤栴檀像者天安二年八月廿七 遷寺務初任之時開帳院殿限

內 御 塔 Ż 事

興

鬴

寺

濫

觴

韶

春

日

Ш

日 良房

昔藤氏累代之重寶今法 廿八日入 造 三刻之一成通 唐 使云 時 $\dot{\mathcal{H}}$ 八京然長 一所 之御 F2 元年十月十五日功終使飯朝貞觀三年五 懿宗皇帝佛工巧獅 本 者師實公覺信御入 地造 相實首之靈尊也 立 依 立 季 願 仙甫以:赤梅 貞觀 室之時 元 年 與之給 五. 月二 檀

拾芥 東御 殿 本尊者 抄云 塔 炎 本 Ŀ 一本尊四 一之時滅 御 願 人 主 御 一佛幷佛 百 里 太 + 尊 代 御 舍利 明 神 Ē 影者 院 在之云 御宇寬永 于今 大乘院殿 K + 九 年 = 在之 乘院

十三重塔

兀

恩院御祈禱所

六十六年經 尊,者佛舍利 條院御寄進云 月十日門弟行蓮房建立供養導師 順德院御字建 在」之本尊者五社 而文明十二年十一。月十九 以下悉以奉:取 保三 々於:一舍利 垂跡釋藥地觀文尊像舍利殿在〉之四 一年五 月廿八日覺連上人 - 者 出 本來寺物也 權別當法印範圓 日夜炎上於 建立已後 八入滅 同 七僧 +

鎮主社 浮雲大明神元要記曰十三重塔婆白河院御建之 但殿持佛堂有5之

也

弘法 弘法 後東 此 師 同 元 春 橋 自 要 日 上 堀 大 大 記 深雲橋 大明 師 井 師 ニテ蒙 日 御 御 浮 アリ蓋 作獅 神 派 雲 御影向 懸二其 稿 朋 二神勅一深重御 之時 子狛 ノ裏ニ承應二年二月廿一日 神 應 道間 此 時 犬稽文會佛 島 御 靈水 立 耳語 空 最 約 御 吸 初 杖此 灑 東 橋 御 子細依〉在〉之耳 在 水 I 影 所納 供 市市 明惠上人 向 E 壇 所 第 御 右 也 前 之脇 御 靈寶 ŀ 御參詣 池 前 有 弘法 [30] 白 話 御 也 伽 應 歌 時 井

鹿島立雲井はるかに詠むれは

叉浮雲橋御詠歌日

浮雲の三笠の山にたな引て

抜ナリ で変隅井筒有」之寸法 一寸五分小口差度二尺二寸五分但六角 で変隅井筒有」之寸法 一寸五分小口差度二尺二寸五分 高一尺 で変隅井筒有」と寸法 一方一尺三寸ッ、厚二寸五分 高一尺

鹿嶋王子坂戶神惡魔降伏禮文曰

普門示現為,,衆生日月慈悲水火二

受实,世界,降,伏魔,

山 城 或 栂 御

神影 左右春日

務初任之御 時開 帳御 沙 汰

拾要抄 **幷費寫」**之 者ナリ十 1 見タリ童子御座若宮殿之賛者明惠上人 Ħ 七 日 月栂尾御 栂 尾御影奉納付 影開 帳付之御影之讚之樣當 レ符 Ī **裴紙放門主御筆** 八御筆 無 社 レ疑

栂尾 和影

讚明 惠上人眞筆明障 也 相 傳 子細 在

本尊銘云 前 法務 大僧 正 尋 算判

文明

月

7 廿六日·

奉

納之

遠入 藤 根 略 渺茫 應永 Fi. 7; # 菛 四 酿 趣 明 何長

禪倪 身心 爾差 安樂洋 至平濟惠 老病 香藥 衣 Ŀ 調 菔 和 等 别 分張 有 方

微塵生佛如來 喜き細光波羅 蜜

得 普見諸佛 勸

王百六代後奈良院御宇天文十 H 住 明 惠形 像 社 頭 本談 義 屋 倉 己 **晦日月** 酒年 栂 尾 亂故

> 文 僧 # 正 年五 尋 圓 月 御 沙汰 十二 日 於 匹 思 院 枏 尾 開 帳 乘

院

法

翁 味 寫シ留シ 為,法味,每月大般若披讀ノ事アリ其時 朋 喰受シ ア形也 其 神 子 傳撰 由 壯 ヲ 集抄日 坐 問住吉明神 삞 ŀ 一故老衰 滿 栂尾ニ在、之筆者ハ住吉法眼 仰 ラン 御 貌 春 日住 也 シ 義 御 住 ニ依テ于今於:春日屋! ナシ 返事 吉明 吉兩 住吉 神 神明惠御 = 日春 者 老 ハ法味闕乏ナレ 日 衰 對面 八旦夕恒時 白 I髮體依 ト申繪 兩神 フ時 住吉 春 師 影像 日 ハ 老 法

興福寺伽藍 所 々間 數之事

金堂東西十八間三尺六寸南北十 間 四六尺

廻廊 柱數百 五十六本但片側 尺 南 北 + 四 間

問 數百 三十 間 尺

內金堂 ŋ 西 F 一間五尺七寸

西 表三 西表 西廉 ŀ 3 リ中 間 同 前 間 4 V テ

十五間一尺六寸

間

二尺

四百七十

興

中門 西 干 間 四 尺七寸

高三間六尺 南北四間二尺

柱十八本

同 壇 上東西十三 間 五尺南 北七間三尺

一講堂

高四間一尺 東西 北九間二尺一寸 二十一間二尺

柱四十四本

同壇 上東西二十四間 南北十二間

東金堂

東 南北十二間 西六問五 尺

高三間五尺

同壇上東西十問 柱三十六本 二尺南北十五間四尺

閼伽棚 尺三間半 西表四 間五尺五寸四間半北表二間五

一間四尺

幅三尺八寸

西金堂

南 東西七間五尺二寸 北十四間三尺六寸

同壇 高四間 上東西十 尺 一間四尺五寸南北十八間二尺五 柱三十六本

一間五 4

同 高 手 水屋東西七間二尺五寸南北三

間

半

一南圓堂

東西南北差渡八間一尺ツ、

八角一方表三間二尺五寸ッ

同壇上一方表四間五尺ッ、 四間 三尺七寸 柱十六本

北圓堂

外

ョリ壇外マテ一間四尺宛

東西南 八角一方表二間三尺 北差渡六間

同壇 高 E 三間 二尺 方表四間 柱十六本 五尺ッ、

外 リ壇外 マテー間二尺

南北八問五尺 東西十七間六尺

高三間四尺五寸 柱四十八本

細殿

東西十七間五尺五寸

南北四間 半

高 二間四尺 柱二十二本

竈殿

東西十七間五尺五寸 南北七間三尺七寸

高二 一間三尺 柱四十四本

五重塔

同壇上 東西南北四間半 八間六尺四方 高

三重塔

東西南北二間三尺 高五間三尺 柱十六本

鐘樓

東西三間一尺 南北五間

高五間半 柱十二本

鼓樓

同壇

上東西五間五尺五寸

南北七間四尺

東西三間 一尺八寸 南北五間

尺

柱十二本

高五間半

同壇上東西五間六尺 南間七間五尺五寸

南大門

東西十一間四尺三寸

南北四間三尺二寸

同壇上東西十五間三尺 高七間三尺五寸 柱十八本 南北八間二尺五寸

西室

高二間三尺 東西六問一尺六寸 南北三十一 柱五十三本 間半

北室

高二間三尺 東西六十一間二尺七寸 南北六間五尺四寸 柱九十二本

中室

東西六間一尺五寸

南北三十二間

柱六十本

高二間半

倉馬道

四百七十三

高 東 二間四尺五寸 西二間三尺 柱六本 南北三 間 五尺 勸字院築地 間半 廻 应 方 高 間五尺二寸

高二問半 東西三十間

大湯屋 東西五間半

柱 南北四間五尺 二十本

高三間

東西十

間五尺

南北三間 柱四十本

尺

勸學院導場 東西四 間半

南

北七間

高

サー

間六尺

高三問

同所文珠堂 四間四 面 高二間二尺

同所二重塔

東西南 高 八角 三間五尺五寸 北二間三尺八寸 一方 一間七寸

同所拜殿

東表五十二間三尺五寸 西表五十五間二尺一寸

南表二十三問 一尺三寸

勸禪院大御堂

東西十二 間

南北七間

高二間四尺

柱二十本 南北五間

總築地東表 二百五十間

時

大閣秀吉公一萬石御寄進天正十七年東御門門隱同 萬石之內二而新造

押上北廉ョリ穴口マラ五十五問二尺七寸 但九尺間四十間アリ

穴口門一間四尺

自二宮門」東御門迄六十二間五尺但此尺五寸間

同門 東御門四間三尺九寸 3 リ東不開門マテ六十二間五尺

東不開 同 門 門四間 リ大湯屋門マテ二十六間二尺 五尺九寸

大湯 屋門二間一尺六寸

同南表 同 門 ョリ南廉マテ二十九間一尺五寸 二百五十八間四尺

內

大鳥居廉ョ リ僧正門マテ三十三間四尺

僧正門 二間

僧正門ョリ西廉マテ百六間四尺五寸

(但具方東柱マデ)

穴門一 南廉 ョリ穴門マテ六間五尺 一間五尺

右三口 同門ョッ北廉迄七間五尺七寸 ハ南側總高間數ニ不入

北側東廉 ョリ南大門マテ十五間五寸

南大門十一 間四尺三寸

北廉 同 門ョリ西廉マテ十五間五寸 ョリ穴門マテ七間五尺七寸

穴門 間四尺二寸

右三口 同 門 ョリ南廉迄六間一尺八寸 南側總高間數ニ不入

南 側 東廉ヨリ窪ノ穴口マテ州九間

> 同門 穴口門 3 間三尺

リ西廉マテ三十四間二十

東沿御門

高二間 尺五寸

東西二間五尺

南北四間三尺九寸

東不開門

東西二間四尺 南北四 間 五尺九寸

大湯屋門

東西

高二間二尺九寸

間六尺 南北二間

高二間 尺

西不開門

東西三間一尺 南北五間九寸

西御門 高二間八寸

東西三 間五 寸 南北五間四寸

高二間八寸

北御門

東西二間二尺三寸

南北二間五寸

高二間四寸

四百七十五

" 興

福

昆蒟

幅 間 渡二間六尺

震和福 院橋

幅二間 徑一 間五尺三寸

菩提院大御堂

別院

四恩院御祈禱所 東西十一 間 南北十間 高二間二尺六寸

同所十三重塔 東西五間八寸 南北九間一尺五寸 高二間

東西南北二間三寸四方 高十二間

同築地

東西 卅四間半 南北三十間 (但門共)

同東門

間四尺 高 間半

同北門 間二尺二寸 高一間一尺五寸

供家

傳燈法師位禪長

右請二定明年慈恩會竪義者 文永十年十一月十七日 如外件 少學頭傳燈法師位榮恩

大學頭傳燈大法師位 在判別當前法務權僧正法印大和 鎮學頭傳燈大法師位 在判 尚位在御判

大十師簡定 維那軄事

傳燈法師位聖賢

右件法師常,住伽藍一年尚心操相調尤足,維那之器,仍

大十師等簡定言上如、件

弘安元年四月十七日

大法師

諸進師善重

別當法印權大僧都在御判

堂司大法師

戒壇院大十師簡定言上

傳燈法師位永寶

十師之器仍大十師等簡定言上如〉件 右件法師常二住伽藍一年尚心操 相 調

弘安元年五月

日諸進法師善隆 大法師

堂司、、、

別當法印權大僧都在御判

政所 府 傳燈法師位覺慶 戒壇大十師軄事

右件法師常,,住伽藍,年尚其上去建治三

雖消之餘炎猶殘矣爰覺慶捨命而消 廿六日當寺西塔惡龍落懸雷火付塔婆之

仍其勸賞所〉補二任大十師織 如外件

弘安二年乙卯二月

四百七十七

師

寺 黑 草 紙

別當法印大和尚位權大僧都在御判

補任 金堂吉祥御願五僧職事

弘安二年六月二日 少學頭禪長右以、仁所、補,任彼軄,之狀如、件 傳燈大法師位

別當法印大和尚位權大僧都在御判

補一任 一切經承仕職一事

右以、人所、補,任彼職,之狀如、件大法師位定質

別當法印大和尙位權大僧都在御判弘安二年五月十一日
少學頭禪長

補,任 五師軄,事 大五師軄事餘八全同之

傳燈大法師位聖惠

別當法印大和尚位權大僧都在御判弘安七年八月 日 少學頭禪長右以、人所、補,任彼職,之狀如、件

補二任 堂別當職 事

法橋上人位賴尊

右以、仁所、補,任彼織、之狀如、件

補,任 鎮學頭軄,事 大學頭軄事 同之 弘安七年七月十一日 少學頭禪長

擬講繼實

弘安七年十月 日 少學頭禪長右以、仁所、補,任彼軄,之狀如、件

別當法印、、

補"任 一切經惣藏司軄,事

傳燈大法師位辨

右以上、、、擬講繼實

別當法印、、、

弘安七年七月

日

少學頭禪長

正月

行、公文也 一一日節堂成業少學頭大十師維那鈍色"五帖袈裟也奉

等。可:書付:早參事每夜同事也 參,道場,之樣可、見,沙汰,道場具足運寄事神人役也 夕方、早参う遅参う催。修中、所作配可、為之又結緣莊嚴 八幡宮吉祥行法事 向供,,目代沙汰,也先朔日々中

若惡,、可,嫌返」之鉢、寸法、公文、鉢、口二尺也自餘 第七日「六申剋計」參,牛玉幷差帳等可、出、之承仕可」 存知,事朔日、日中、參、道場,造火鉢,催集,可、見、之 二尺五寸也

十五日過、三藏講廻請可以成以之

加供事、去十二月"定」之畢

請,近年少捧物在、之發願結願"不參輩者不、可、引,捧一十日八幡宮祈禱大般若、請定、七八日頃"可、成,, 廻 以一生料二斗五升一金代令、下一行惣官之邊一里 物官, 々々相具。事來但愚僧、初年、熟食為、之次,年 節日、無,定日,大旨、三ヶ日之内、可>有歟催事、觸, ン、 吉程"相計"可以勘以之居肴、大坏"一前備」之"出,物中 、准、之是先少學頭"相尋"記、之酒、一瓶、申傳《雖、然 自餘折敷也餅、白赤共切餅也何。三重配盛也自餘菓可 作手節之樣菓子六種也但惣官"、七種">高坏"居之

> 經衆承仕、外不、可、配、之 人力心治熱食之時、二人可,參為,配膳,也於,捧物,者 ""可」引之義"定了世俗配分,樣三前御供經衆承仕 方,見物衆群集甚見苦々々止,熟食,雖、為,少分,生料 衆乏少間見苦作法也殊當日依>為, 田殖之日, 自, 諸 人中綱已上人數多少隨、時不、定但中綱、奉取中綱 神

"事書之探,時、不」可」待,,群參,三學頭之外探衆五人 方、公文沙汰。。催促之難、治之時四人可,會合,軟 廿日頃'修二月所作人請定可」成」之取奉事行事僧 "可、催、之散花、中﨟讀師、下﨟役也何"付、"當座"出 上有,出仕,者可、始、之讀師幷散花事引見丁聞集次第 作人,三學頭相催,可、始、之來月配處并飯料下文當座 廿二日唯識講早參、所作人、遲參可、催、之雖、非一所 行事堂司咒師四人相義、、、切符,札分事公文沙汰也大 廿五日以前"諸庄"上分米可、催"促之,但是、供目代大 仕"不>可>相::待遲參者:也

>之次日中、世俗用途七斗除田地子 也人數巨多13%僧 若何",十一'合、年分可、配、之此旨請定右狀可、載 廿五日最勝會定也五師 供目代三綱出仕、鈍色五帖供 目代無"指役"也

廿五日六日,比金堂拵可、為、之拵間下行物事番匠、六

避

人ぶ無シ之 置時、公人、人別一升宛堂童 子四人、人別五合宛 三合宛堂童 一人別四升宛奉行人學司、咒師、并及人、人別二 一子四 人。一升宛木守一升宛下行之間 奉行 拵取

修二月事

每夜"早參、守一式目一加一下知一連行衆參否可」勘、之每 レ之若自有…舊花等」者任 立花事、供目代沙汰也花皆參、腐次,見善惡,見,可以立 付之,四人 晦 日正月早朝参二詣 八沙汰 阿事 北 一 壇供 員數結緣莊嚴等可と …舊日記一嫌」之不」可」立」之

仕之時、花唐佛供牛玉紙等皆以一人、沙汰也 帖 空蓋八流但一萬×九流下萬二 諷誦 夜"披」見日記 正莊嚴頭一人別"花四瓶唐佛供 牛玉紙四帖之內一帖、寺家御沙汰也 若僧 表 四坏燈爐四臺 児願布施手 綱御 地舌八 王 品 出

一可い加二沙

>之但請定讀師沙汰也同 三日聖靈講事講師、讀師中廻問者、付 が差が之唯識講 供料結解狀此 日散花讀師、守二唯識 講 披露脇上預所沙汰 二唯識講勞積 講巡 口

施

夜莊嚴頭一人別"擅供數不定 炭三籠油三升諷誦咒願布

披露 五 毛立差帳、當座「引出」之四人同加,判行「讀上、「命」不」 二人堂童子二人也當座酒肴堂別當沙汰也居 日夜莊嚴差事朝堂別當之邊會合沙汰 八八四 人行 一肴二種 事僧

六日結 用也差帳結解狀等,紙、用,, 牛玉紙, 也結解之時 人四人新童子二人六 前之用意也結夜、成業供目代大 解事四人沙汰人,中"廻"是,イトナム二斗之立 、沙汰

十師鈍色「五帖

書也人夫、公文所沙汰也立文""可、進之花裹事、公文八日寺家、花、送文、供目代沙汰也即送文"供目代某、七日巡、花等可、収之躰"定"及"夕邊"花"可、付、札 匠 沙汰 排取置時公人、一升宛番匠、無、之設公人,中"相交**。番** 雖、有、之一升宛。可…下行一奉行人食無、之空蓋等支 机

唯識講作法如 配如二日 二正月 一最勝會丁衆依,勞積之時,事

勞積,年、設雖、為一勞積之年一於一學道一 最勝會事聽衆、一年、萬次一年、勞積也 被以請」之成業之外 、守…勞積之次.可、下…中下 稿 成業者 次 第可 於二於二

問役事撰,,器量,,注進、注記、邊"不,,必依,,學生, 付,, 先寺家"。被,出下狀,以,即披露、、、,會堂少綱之役也, 少學頭,者必入,,六口問請之內,也諸定、別、不,可, 有

、可、然云事注記申、之數可、隨,,時宜, 歟仍总僧每年"勒仕之事卽遁問役不,,數付,之此條不、可、然數仕之體,可、注、之也

四月

論匠 、之卅六人。爲、本若有,不足,卅人、定。、於、論匠客進米可、宛、之卅溝品宛、廻請廿六七八日之比 、之先例也若論匠三人不足よっ、末五人。可、探也以 ン立二 勞積一之間置 可以引入之設雖二散花以後出仕人なった過二阿 入り月者卅講荒 十人學道役可と 一廿二日唯識 一何人なりまれ、足處が探一可」取也但被、置之體が不 致11沙汰1也 講事如二正月一但寄進米,札《計見出 廻請可以成以之新入が、不以可以載」荒廻 探也若講衆之外 昌 論匠 一殊一難」量雖 一廻請廿六七八 日之比可 成 一人ナットで除者可以置 レ然相計が可い置 爾陀經 11:

> 學 少學頭承仕脇机取事初 可以定义之今日領酒 品 廿八九日 開 事 也 結 頭 配 之計 酒肴,時、無、之各 , 廻請成日、少學頭承仕寄合。世 一座 可以觸以之第三日以後、氣 也 師 「「可」置 瓶取 一成業 日十一日十五 一膳宛也 :寄之:用 也初 日「不」可」催」之 日 ユ 俗切符酒肴,日宛 第二日 日'有」世俗 jν 例 が所作 に時 人

雑用

三前御供 一前神主 三前鬼机 二前中網

綱-"、酒無、之遣,,社頭,八合定也酒、御供"、三升自除、雜用、皆五合宛也脇机,中

定所職皆飯料也是、雜事立用無、之 酒三斗 內事立用、一膳別"七合下行之所、殘飯料但依,所常多少,事立用、一膳別"七合下行之所、殘飯料但依,所常多少,事之用、一膳別"七合下行之所、殘飯料但依,所常多少,

五月

五月會~事當座"。差帳。出"遣,衆諸進一諸進則取"判行一日卅講付、鐘"可,,早參,讀師、下薦役散花、中薦役也

新入事內々可:動仕

之體ラ思廻ラ可と

勤」之新入了、必

可、合:成業,所作

公彼體

可以可以

隨い乞也古衆、

向

中見,器量 綱一々 一差レ之 々則於ニ 中門一 讀:上之一當日 ,散花、中萬

今日會奉行 在、之諸事取二行之

論匠 探、十一日取、之探作法如一唯識 講 等

時日金堂舎利講也御佛供一斗也女珠院ョリ被、送、之 一斗之內五 开、堂別當三升少學頭二升堂童子 支配如 此

六月

蓮花 之一棒物、公文、沙汰分米也 會事酒肴田堵役也酒、一 斗一 升也 中綱相共請:取

樸揚講捧物事兼日"可、申,八政所,也 酒肴事其用途

瞱 捧物,加分 者可以披山露 酒肴、大輪田庄役也 日 解除會 集會 講問 奉行人 番 論 危五帖 匠六人也承仕已上十一口 自餘皆付农也 ノ等分

七月

七日節堂 純色五帖

八月

廿三日 使承仕請 大津宮御祭酒 取之 看田堵役也居,看二種.酒三斗少

酒 三斗之內 提 荷神 主 提御供 提藏方

> 講讃仁王 經之導師 萉 其日事萬事奉行人 沙 汰

也

九月

出仕體 成業 少學頭 三綱以,世俗,職,為,結解用途,也酒 講師、自、上次第"請、之請論匠 途神主,役,取,成之,也結解之時,少學頭承仕會合 日惣番定事 世俗、以二八幡宮御敷地、負所一配其用 「請」學道衆 大十 師 衆諸進 敷

五人番頭幷少學頭會合,世俗幷酒肴,分齊,, 定之,作事, 惣評定, 被,請,之也請頭獨不,可,為,,的勞,, 及,,非學道,於,,傳戒, 者必可,請,,成業, 但八講 隨,取當,員數,世俗,日數大少不定也 也 所

次第'請、之講師"問者"先請,學道衆,有,不足,

者可

均分,也 石四斗也之內一斗五升、欠分「取」之世俗調進、番、可二 良眞得業寄進米了、少學頭許

"納"之世俗,番、下行

九日會事散花、撰言器量 貝定 元應二年庚 之由當座會奉行方被,下知一了則領,收之 日ay ニ鐘ァツ 講之始也 カス 九月會評定云於::向後:為少學頭 ヘシ於…世俗者, 已貝以前 散花 一可、差、之萬事會奉行沙 汰也 4 **稿也若無:器量之躰** H 沙汰已 調進

世俗酒肴等,嫌言善惡,事 可二下萬差了也思僧則 下臈 一年年 番頭弁番下臈 勤 全仕 之 **门沙汰**

如、此可、有也 假令若有:六前,残! 出仕一世俗"有」殘者番 者番 一頭三前 頭少學頭 少學頭二前 番 一下腐配分也 下﨟 也 前

事

非戒事 世俗、三ヶ郷幷寺內役也 但惣稱奉行也 即會行

八講 中井戒事披 À 見 了舊 日記二 可加加 三其沙 汰

精義者事 維摩會過、急感恩會、請定可以成、之竪者稽古、人生、者 第1也不>簡1未逐 可、申一人政所一會、講師、成業中"可、守一進次

F

慈恩會 慈思講,酒肴依,評定 "可、入具足等先立可,,申入,之 「可」調」進之

先立一置之一 集會成了可以始了會 ラ講終す 世俗皆取"勤」堅義者,捧物

同會事近來樣々一相替數

雖然近年之樣

、世俗

居置之

當座 日唯識講 御 十講料以下闕文 二可以下關文

十二月

日節堂 鈍色五

八日『方廣會始之彼會 事堅義者/許引送二 披露

西南院禪師御房顯守遂業弘安元年也世俗竪義者,世俗捧物事無..定相, 出立講師房也先師顯覺例「三學頭問者、甲,袈裟也 金代定被、送之捧物、雜帛三東上積三帖結絡 生 皮二文 料 小三十

御十講事

也

唄講衆,上五人下五人、散花

番、以下關文

廿二日唯識講草子探在」之札可」引」之

并參籠衆請定可:放 露

八幡宮吉祥 御行

燈油 、承仕之沙汰用 途 **示柳所當米**

但百姓 以 練行衆十六人 加供田所當, 牛玉紙炭買、之所、 『、飯料計》下行、飯料、一 十六前, 一如供 吉祥天女宿直二的番神人人 斗 升地子 升也

| 殘配

僧膳

一用途

前田堵 前人

恩 若餘分了、少學頭取」之若三人中"炭四節力"方有、 講田 等,歲末事 少學頭 承仕 平等"可以 配言 分

簗 師 寺 黑 草 紙

學頭 可 、取、之此准 111

淦 嚴得業云カ 分 锡 田一歲 一者可い為 末六尺莚也 イ ..得分. 也宮瀧、庄楠、歲暮"沙汰 ケ事必一年損後ず可、替、之也 九枚、有、綠湯室"敷、之若有 可」成也賴 1116 其用 三餘

御十講 世 俗 日 記 五前 調 進之一 前、生 料二斗 五升賢忍

ク ソ É. 升金代 カ ゥ シ カヘ五連 ウシ 七也 チュ サーニー・

フ ŀ 七升 ナ

牛房四 | スス九本品 大 根 五 把 Ħ ブラ二東 イ

箱

ク

ウシ

=

ン

若

出

切

汉

ウ

フ大豆三

一升十合

慈仙

已上五 ず、其外、物ラハ十二ニテモ時 前 分 也 Ł × 1 「取ず可い計 御菜 ハ 此御 荣養ラモ テスルニ不足

八幡宮 八講田本地子事

一番 一石二斗夜叉丸 斗

五升

三番

斗

一升五合地

條後

二番一石五斗順專房得業一段半 五.

斗七和

條泉

斗步

内光 太郎

五斗二升五合战後 寺內 石段 五.

石段 二斗現宗一石五斗越前五 已上三石六斗二 一升五

已上三石二斗二 一升五

石五斗西佛七斗西佛五 上斗西佛口 四 1.斗八郎二

斗

七人條道

已上三石

四番

Ħ. 番 石 五十觀音丸 石二 一斗懶三郎六斗相太郎

四斗時定房 二一石諸進入道 進入道 一石四斗尾江

斗

Æ

林堂寄進

田

田

已上三石四

惣都 合 7 九 弘、 安十 石 四 斗 年九月八日於妻 八 升

三十講 田

一七所條 二池段田 觀音太郎 行 方石八斗 一所 彌二郎 一段派太郎

段二石三斗但是八合

欄三眼五斗部童子 斗 七升 西 佛 斗之内一斗七升 八世三

加 供

五.

吉祥御願寄之 升金堂

諸進入道寄進 田 四 月引之

五. 屬太限裔宮

此記錄者禪長五 康 永二 一年癸未 -師 ---少學 月 四 M 日 之時被、用 書 瓵 此式

炒 禪 Y 繼 禪

修 月增 供 寄 淮 H

升代金代延定一石二 金伏定 當作 幸真 一斗三升 物斤入道寄進 作人初太 郎 九 條

段 M 九 斗 斗 ·金伏定 代 四一 [升八合延金伏定五斗九升 當作集田 西大路 法之三郎 當作鳥見兄次郎 六余條

一完一完 段^屋段^屋太代 八

定に一石では、金代

小小小

升六升

二升 當作 當作夜叉次郎唐東院 未國 北 御

代西門十合発二斗五 之十一月十三日升歲末二升引物 百明 性月菓房 園寄御進 房田

> 條九 一代十合升定 半二 一升法蓮 房寄

進

當

作

觀

音

太

QI,

段一 石 斗 代 金代定九條覺 善房寄 田

段 二 生 觀 世 化 太 郎 金 · 伏右京八條三 坊六坪 四 1至 東京八 八佛田南小路 中 作

當

步 所當五 地一段 |年金伏定|
|安六十歩ノ内半分ハ招提金堂|
|の方十歩ノ内半分ハ招提金堂|

尼 西 [10] 彌 寄 進 作 人 黑

太

郎

七

條

經

寄朱

進定

段五 斗 代十 合 金伏延七斗癸巳金伏 一斗得 當作

段八斗代金代 宗延房寄進 王 血

清

次

八幡 宮 十講 提 領 交名

五季五斗斗 石 ·彌二郎大夫 觀禪入道 五. 五斗又太郎大夫 源太郎 五斗 懶太郎 Ŧi. 石松三郎 五斗 今壽 二王 源藤 =

次郎

法師太郎 一斗五分定貞 六條 唐東院 傳教 五斗九郎新預 傳致院 五斗 五斗 源原大夫跡 五升十六日作

作之一

玄

大上三外三八条道が 五升 海太流 六條 六十十年 一升 年 加之 六條 Ħ. 31. 逆王太郎新?

五.

31.

四百八十五

築 師 寺 黑 草 紙

左莽 近太郎 五 茅 領五 五斗 清五唐東阮

大路

石勢次 八斗三升經王與一 五篇 1十 架线

七條

五斗法之三郎

五斗禪貳師入道

三斗五

升圓月房

五斗左近入道 石西念入道 五. **斗亦王入道** 石 城力壽乙 酉 Ŧî. 月 斗源领 7.他界 五. 二斗 斗 Ħ. 能 升 源 藤

五. **斗** 未孫 太郎 太郎招提國是 五斗 尼王 大夫 五斗 十三日預城力壽石王太郎乙酉年 分卯 月

九 條

五斗 五. 升 春三郎郎郎 力壽太郎 跡 入道 五. 斗 師預之貞和四年戊子三 月月十十 四河日法 二斗

五 五 斗 斗 以康觀 康永四年乙酉四月十三日預之親世太郎神主定城力壽分親世太郎神主定城力壽分四二十三日預之 二月日二月日

預太

之郎

分

Ŀ 一十七石六斗六升八 合 升定

段 石三斗代八合升定

畝三斗六升代八講地子升也

三十講 三斗五 升 世 代八壽地子 下行事

升

膳 御供 一膳

膳 少學頭脇机

權主

八膳 膳 人中數綱 承 仕 可以 脇 机 依年

鐘ツキ 七膳 膳 田 作 F

木守 膳 一膳神人數人 高 土

可以

依 蒔 7

膳

以上四十 膳

九升齊生入道酒

次

之時酒肴料 利 **分七石六升** 七合之內六斗 世 俗不足下行二斗品

配

定殘六石二斗六升四 内

合代酒三

石七斗五升八合在之

此 二石六斗五升 八 窗 日 酒 四 斗 升七筒日分肴立

用之每日六升宛

斗八升三箇日

分定立

都合三石二斗五升八合入了

跡

國清 堂司 松石

月 月六日吉祥湯公人沙汰十一5房 晦日 修二日湯 樂 師 寺湯 番 帳

與一西大路又太郎九條)十七

廿日

八日〇若江〇勝綠房今

正

藥師寺黑草紙	七四月十十一日日十二日十二日十二日十二日十二日十二日十二日十二日十二日十二日十二日十二日十二	一段六條一坊一坪 であった 一段六條大道西ョリニ丁ノ東四反目北限大路 但半論也(二月廿四日) なった ガージ カー・ イン・ カー・ イン・ カー・ カー・ カー・ カー・ カー・ カー・ カー・ カー・ カー・ カー	九月十七日	・ う・ S コ月廿一日半 四月廿一日半 四月廿一日半	十九月廿一日十十九月廿一日十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	一一一一度年	一月廿一日牛	坪	サブ後屋後日本 作用	一整币字尺易量易日平寸目录	四月王與一 廿一日源右太郎平松(中太入道) 廿七日春	松 松	一二月十七日 廿一日(成修房总日空原五師忌日) 太則厗影 廿七日越前介(七修案) 太則厗影 廿七日越前介(七修案)	二月三日上人御花御湯招提 七日彼岸湯又太郎(七條) 十七日延觀房五師忠日(力壽太郎西大路) 十七日延觀房五師忠日(力壽太郎西大路) 十四日尊善房忌日(法之
	養天滿神田	角院法師太郎	經 王 與 一	茶 太 郎平松	夜叉太郎平松	徳壽太良メ子里	たこと ここ 手				1七日春熊(七條)		世七日孫太郎平	即西大路) 廿一日新
рц	坊十	一段右京六條四坊十五坪	一 度 二月十七日	八段切右京六條三坊七坪	三度七月十一日日日	些三坊七	一 度 七月五日	一所右京六條三坊ニ坪ャシキ	一度□□□□	一段右京六條三坊屋シキ	一度一口口十七日	一月世七日半	脉	一度半 运用世上旧半
四百八十七	۵	辨入道	力壽太郎西大路	御房西大路	寅三郎		□□入道		□吉次跡		金剛太郎	袈沙太郎		禪 日入道

24	
百	
八	
+	
7	

一段右京八條三坊十坪十五十十日 度 八月後岸 六月廿一日	一段右京八條一坊九坪	三 度 八月十七日	一段右七條四坊九坪 一月 五月廿一日	一段右京七條三坊五坪	一度半 九月二日	一段右京七條三坊四坪	一 度 六月十四日	段右京七條三坊三坪	一度半 四月十一日半	一段右京七條二坊十六坪	三 度 二月十二日	段右京七條二坊十二坪	一度半 六月十一日	坪	六 度 四月十七日 七月十七日
七條ノ利田定	i	末國跡					又太郎七條				新太郎		學禪房		經王與一
一段右京七條一坊十五坪 度 十月廿一日	半右京七條二坊十二坪	三月廿一日	一 安 一方 五平 一 度 一 一 度 一 一 度 一 一 度	三 坊 九 坪 十	四度年 七月七日 十八日 八日		一度华 九月廿七日	华右京九條三坊一坪	三度清品十一	一段右京九條一坊五坪	三 度 七月七日	一段右京九條一坊五坪	三度小八月月二日	万八條四	二度十月十七日源三郎二度十月十七日源三郎
又四郎		十月十一日	藤七跡	月十七日	一月廿七日 觀音太郎九條月廿一日牛		一郎九條		月廿一日 口入道西大路		左次入道九條		春熊七條	-	瀬三郎十一月十一日 瀬三郎

,時寬永十二年亥八月廿二日於,寶積院,々主光英集 决曰

而雖、在、之近年當錢五分一 同快榮咒師職 西院與尊堂司補任料之事先記八二百五十匁本錢 事本錢 貳百文當錢 三而五十文可以被、出者也 廿五文被 三相定

7

當錢廿五文二相定可以被以出者也 同興盛十 僧職 之事 貳百文之舊記 見 ス ŋ 雖 然近來

同 同十僧與盛 咒快祭 五十文 三十 北 Ä. 文 可以出了

文

右堂司真尊

可」出了

可以出 同年八月廿五日少字頭光英

事

大五師 一一一一一一一 腰

慈恩會參百文 五師參百文

堂別當五百文

得業五百文 五僧參百文

大學頭鎮學頭各參百文 別藏司叁百文 大十師參百文 質百文

總藏

司

藥 師 寺 新 黑 草 紙

師 寺 新 黑草

右 趣 被 仰 出 候 付 從 往 古 至"于)个年 中 相 勤 候

式等書付差 上ケ申 候 條 FZ

H 毎 開 13 無解 Ш 第二祖 息 相勤 行基 候 菩薩忌 法 會覺 日

殘出 H 於 · 七反心經七卷右之通 雪勝陀羅尼三反十二神偈 - 樂師經壹百貳拾 卷讀誦 學 侶 堂 方不

個 四 H 季三月廿三日六月 樂 師 經壹 百寅拾 卷 # 讀 Ë 日 誦 九 月廿三 日十一 Ħ

同 日 合利 講 座 道 師 學侶老僧分出仕學侶二人堂方

壹 仕 7 壹 人

日舍利 講 座 同 前

同 日 祖 師 慈 恩大 師 忌

十五 N's 光明 日 於 眞 幡宮 誦 尊 勝 學侶 陁 羅 尼壹 堂方不以殘 出 仕

正 月十 月十 五. Ħ. H 日六 右 八月十五 之外 八 幡 日 講 八 支 月十 五 誦 等畢 日

+

日

東照

權

現宮

御

法

樂論

議

座

讀

誦

筝

仴 日 御 晚 JF. 月 ۱ر 學 日 朝 倌 於 成 唯 識 院堂 論 同 舰 音 堂方法 音講式 讀 花 經 同 音

日 舍 利 講 座 同 前

计 開 Щ 第 祖 祚 蓮 和 倘 忌

廿五 H 於三文殊 堂文珠 講式 經 H 等

H

廿八 但 正 五九月自二廿六日 於:八幡宮,摩利 支天尊前供 至 一十八 日二夜三日之間 養法 座

學侶 分從 座十萬反讀經等修 上座 一貮人五 日 行 替於三 金堂弁

御位

牌

前

毎

堂方 日 講 + 問 於 座讀經等 西院護摩 堂 供養 法 座 讀

毎 日 日 中 招提寺-含利 出 之承 仕 經 貮 等 人 千 五替

ス 藥師寺所持仕候間右之通候但自,往古,招提寺小別當職

替候 共無"懈怠」可"相勤」法式 机

右

p

要用

有之時者前

日

或又

ハ

黎

日

叉

ハ

時

節

相

年中月別 相勤 候 法會

JF. 月

夜 於 八幡宮|學侶 七。夜吉祥懺神名 分七人自 帳 大 晦 日 後夜 至 七 日 初

於 從二七日後夜一 至一十 应 日 初 松 七箇夜學

侶老僧分三人堂方四人仕丁二人吉祥懺行法讀經等 · 黃僧分言 大華常

六時行法相勤候

亥,至,,享保七年壬寅, 所、經九百五十貳年每年無, 右二ヶ所之法會 依 ::光仁天皇御願 - 從 三寶龜二年辛

懈 念 相勤申候

朔日於:東禪院堂」節堂學侶堂方不、殘行事僧貳人

同三日於,,招提寺金堂,十 承仕貳人神人貳人仕丁貳人出仕 面觀 音懺 座讀經等

同三ヶ日堂方中於」護摩堂」護摩修行讀

同三 一ケ日於三西院堂」讀經等

同 同 七日 ·朔日於上辨財天社前 ·神供讀 於一同 社 前如先修行

行 事僧 日於…南門前一心經會修行學侶堂方上座分不之殘 一人承仕二人仕丁貳人出仕

九 + 日於 日於二八幡宮一御 二招提寺阿彌陀堂 阿彌陀懺讀經 亦 [禱轉]讀大般岩經全部

同 H 常憲院殿御法事

四 四 日台台 日藥師如來御身拭幷內陳掃除吉祥行法練行衆 經 一德院殿御法事 在 亡演人

月

於,,金堂,修,二一法會 | 備||造花十二瓶檀供等||一七ケ

夜叁龍六時禮懺行法修

児願 梵音三十二箱中下腐役 堂別當法印 大導

師

夜導 堂司大法師 少學頭

三臈已下巡番初 三萬巡番後夜 師

咒師 日沒

晨朝

日 中

讀經等 三臈 已下巡番

錫杖 新入之小 献等丁寧勤。之候得共近年献料八石宛後朝之振 僧者自一初入一三年之內新頭役 相 勤往 古者

舞 汁三菜 相定學

至...享保七壬寅年.所、經六百十六年無.. 懈怠 右之法會者七十四代鳥羽院御願 嘉承二年丁亥始 相

候

十五 日涅槃會四座講式從二十四日,至二十五日 相勤

事春季同音論胤眼寄進也 成唯識論同 七日於二文珠堂御位牌前,心經幽賛講談是六年 音讀 誦井阿 彼岸講施主胤 彌陀經十 重禁漸寫 盛 同 中 自 供養 (彼岸

欒 師 寺 新 黑 草 紙

菜汁

折修行 退轉 最 位 官云 者白衣中腐以上墨衣上腐分者 除 下臈者白衣着用致候得業位一 12 座 付會も + 仁明天皇承和元年之詔 此 往 心會者四 古者 勝會者講堂為,兵火,燒失仕會料者被 一昇進仕候中古亂世之時節より禁中之御齊會當寺之 り依、之從,,中古,永宣旨被,下置,法會相勤次第官 月與福寺維摩 ||緋衣紫衣||之外は何色にても着用重 せり與福寺之維摩會東大寺法花會計 々三會者正月宮中之御齋會三月樂師寺之最勝 有」之候右之二會にも問者二口 自 干 月 退轉 jı 日 代光仁天皇天長年 仕 會也 至二七 候類聚國史延喜式三代實錄等に 併藥師寺最勝會之義會料無: 御 日 日自今經,三會講師 最 勝 色衣着用 會 絹衣着用堂方中へ從こ 儀與式福 $\dot{\mathbf{H}}$ より始る 似時維 法印 衣但布にて下 宛出勤仕 也摩會 |横領||夫より 至,一于今,折 五十四 僧都 一始任《僧 職 候 會

> より 律 戒 衆勤 出授〉之從, 當寺一 ż 个二 口 宛

勤

世三 方不以残出 H 於二金堂 仕 春 季藥師 經壹百

貳拾卷讀

高 學 侶 彩

堂

四 月

+ 日 日於:東禪院堂:五重 於:金堂前 佛生 一會修 唯識 行

論

議

应 日

十六日於 = 同 堂 翻發 謎 講 論 議 巫

十七日 同 音論 議 於 法施等堂方中者法花經讀 |文殊堂|東照宮 御 法 樂學侶 誦 中 は

成

唯

識

論

日 大猷院殿御 法 事

廿七 H 於,東院堂,傳 法 講 成唯 識 論 論 議 十座 相 勤 候

自 晦 經諸釋論議讀 日 一十四日結夏一 學侶中三人宛五 有章院殿御法 經等每 至"七月十三日一 事 校勤行 日廻に

叁籠仕候法花經最勝

夏九旬於二八

九旬之內大般若

經全部

讀 誦 學侶

免許有」之仁

者

絹

衣着用免許無」之時ハ上下共

布衣着用仕

法式也

東大寺於二

往 跡

古

は

諸僧受戒

仕

一候得共

古亂

御

門

方計

折 毎

K 年

軌

則受戒

有、之七大寺

自 = 朔 五 日-月 至"十五 日,於,八幡宮,法花三十講修行 朝

座夕座 日 行結座下﨟み論 一新講 每 師遂業近年献料五斗三 日 一座宛 匠勤修新入之小僧有」之時者簡二吉 十五 日に 都合三十座講問 一相定 論議 勤

中﨟 五 献相勤候へ共近年者献料壹石に相定差出 八日於二文殊堂一嚴有院殿 日於"同社 - 轉二任 得業位 五月會仁王般若經講修行 - 時は捧 : 臨時之神供 御位牌前 御 物 但學侶方從 を一法式之 中候

十六日於二八幡宮」明圓講講問 六月 座

自 誦上五僧之分出 前明日 至 五日 於" 金堂 **真讀大般若經全部讀**

自 十日に一 二十一日一於二八幡宮一新談議并打集成唯識論 卷宛講談讀師四人の內 一人宛五日賛に講え

世 日於文殊堂寄進之文與秀地藏院 座

廿三日於,,金堂,夏季樂師經廿二日於,,同堂,長懷講論議 百貳十卷讀誦 座

廿四 福藏院堯宗寄進 日地藏講一座齋料寄進有>之

七月

自:前日:至:十日 於二八幡宮 新 談 議

> 畢至"五年,全部 成唯識論十 日に 成 卷講談井打集如\前每年 卷宛講

三日於"八幡宮|長諶講 論議 座

九日於"同社,長基講論議一座七日於西院護摩堂(國文)

日於,同社,夏竟法事

自,,十四日,至,,十五日, 聖靈會

堂方中於,,護摩堂一七箇日盂蘭盆會修行讀經等 御代々尊靈并寺中先亡之聖靈無緣法界廻向

八月

世三 十五 一日勝 日於,八幡宮,放 馬田 龍王神 生 事 法會 會修

彼岸中於二文殊堂一藥師 畢

中日彼岸講如二春季

九 月

九 日天武天皇御國 忌 御 法

自二十 十日於,八幡宮,明 日,至,十 疝 圓 日,於,八幡宮 講 講問 + 座 法花

十講會

五 日に 十座修行

右之法會者六十 应 代圓 融 院御宇 從 北水 觀 元 年 壬未

四百九十三

築

始而修行至,,享保七壬寅年,所,經七百四十年無 一勤修 解解

同十五日夜於 …同社 一井戒三歸十善戒軏則受授 論

匠等執行 に候

乞戒堂司大法師 戒師堂別當法印

其外學侶堂方不以發出勤

廿三日於,金堂,秋季樂師經壹百貳十卷讃誦 同夜八幡宮御法樂學侶下萬分論 匠相 勤之

十四 十五 日於 日於:八幡宮 文殊堂 - 算如 御位牌前文照院殿御法事 論議 座

世三 日於"東院堂 一懷 禪講論議

日於:文殊堂,長胤講論議

北五

於,,金堂,簡,,吉 日, 御祈禱之一萬卷心經讀誦學侶堂

方不、残出勤

於,,八幡宮,同前修行

十三日於,,東院堂,慈恩會竪儀逐業

人

師

讀 師

精義者

竪問役

五人 人 人

以上學侶分不以殘出勤

廿三日於,金堂,冬季樂師經 之法會、從一下萬分 - 轉 一百二十卷讀誦 ..任中萬之位

一之時勤修

同音讀

廿四 誦 一汁一菜齋有」之 日堂方中於"護摩堂 開 山忌勤修法花經

七日於,金堂,元明天皇御國忌

八日於,東院堂,法廣會竪義遂業新入之小僧勤修之 近年献料五斗に相定

十二日於,,金堂,佛名會二夜三日

山祚蓮

和

心佝忌日

法事論議

廿一日於,,文殊堂,第一開

井讀經等

廿二日於,,金堂,持統天皇御國忌

後住入寺之節は兄之俗姓器量等を書付 山評議次第二可,相定,入寺之一献并得度祝義 山江 遂,,被

振 舞等は任 "先規之定式」可"相勤

黑き五條袈裟着用ス 從,得度,以後至,學頭中江入衆, 迄口白き衣生絹之 卷藥師經井 戒師は堂別當一臈法印相勤定也見之內成 唯識論 小經等習讀心其後得度儀式相勤定式也

進中﨟五一之僧右之衆より少學頭立使を遣し入衆之 於,,金堂,修二造花會之初日後夜之法事前;新入之 願下一評議相極リ入堂仕法式也 願申遣す少學頭右之趣老僧分江途:披露 各依:其 僧井從"中﨟"轉"任得業位"之僧井從"下﨟"昇"

祝義 十二月八日於:東院堂新入之小僧法廣會竪義執行 献口近年献料五斗口相定畢

於,八幡宮,得度之年之五月三十講內に簡,吉日 講師論議相勤 新

從,得度相當,三箇年修二 右之祝儀 一献し近年献料五斗に相定 法會新頭役勤 在

三菜に相定 献は近年献料 八石に 相定其上後朝之振舞等口 一汁

於,東院堂,四月廿七日傳法講學頭衆一日十座 . 修行論議二十帖暗誦仕 依、探に問講相定

> 若學頭· 七條以青甲之袈裟発許 中江 新入之僧は右之講問相勤色五條之袈裟

五月五日於,八幡宮,五月會仁王講修行從,中萬,得 衣等着用免許 至,,五年目,轉,,任得業之位,仕候從,,得業位,一色之 **業之位
1 昇進
之僧有
2 之時者
臨時
供物備進
之
祝儀** 甲之袈裟着用免許祝儀一献等は如,先例,輕く仕候 此竪義相勤以後下﨟轉,任中﨟江 黑重衣七條は呂 於"東院堂,十一月十三日夜慈恩會竪義修行 献近年献料壹石に 相定右之僧五 月會勤修以後

官職

人

五師 是は世事を相勤職也 職 Ŧi.

讀師 職 四人

是は學頭中之上座四人諸法事之導師並に講釋 等相勤職也

法印

祝

儀

堂方中は老若 絹衣着之法式也 衆之一 﨟 麻衣着 **臈三**﨟轉任 用若從

學侶

発許有」之時は

樂 師寺新 黑草 紙

藥師寺新黑草紙

四百九十六

法隆寺記補忘集

鵤寺沙門良訓集焉

求聞持法,得,自然慧,真觀十八年逝云々本朝高僧七卷五丁ノラモテ 元亨曰釋道詮武州人居,法隆寺,學,三論,世言於,和州福貴寺,修,

之末最宗汲,太子及惠慈之流,遠照,龍樹提娑之宗義, 宗分、鑣俱從,三論,而分三論是七宗之本諸宗是三論 教一盡二二諦八 福貴道詮和尚生國者武州初居,法隆寺,學,三論無相 不源, 曰四河入、海同從,無熱池,而出

更兼,,學眞言,時々行,,三密,嘉稱彌,,天下,帝之皇子眞修行賢

薰

如阿闍梨 歸依而受.. 三論空 宗於道詮. 也昔行信和大法師 曆霜露- 甍損雨澍 房前一天平聖代途修造功畢然後又彼夢殿被」侵 卜... 閑居於太子之古跡一面見... 上宮荒廢之礎石.. 悲淚遮 |類廻||再興思慮|奏||聞聖武皇帝||則勅||命太政大臣 |佛頂|邪俗嘲云||頗似||灌頂職 位 粤 餘 ŀ

> 觀十八年十月二日端坐唱、滅子、時天紫雲靆、寺異香 雲聳、風澍,甘露法雨,和光月應、感影宿,福貴山,終貞 信伏而調,,嘲千古, 豈遠望,,西天, 方是傳燈聖哲續命法 隆學問廢|欲"再揚"法燈|逼通" 太子之疏義| 夏朝往| 生三會曉遙遠五十六億萬歲衆生 沉冥而忘、返故大悲 匠也有時道詮於,,道貴寺,修,,求聞持法,得,,自然慧,世 法空床自觀 "法性月」雖 "實陰遁接寂而人跡幽" 聞 " 法 福貴寺|使||平居荆棘|抖擻阿練閣唯開||三學扉| 坐禪 夕燈華供及遠忌追福不、解又道詮在存日自草,,建和州 造,行信道詮兩像,安,置上宮北壇,自、爾至,于今, 勵||再與意樂|達||申忠仁公| ,四方,諸人皆合,掌加,敬禮,云々 本地慈尊當成佛雖下於,都率天宮,鑒中閻浮機熟,下 |經院|妙講||讃三經||冷\被||群下||見聞貴賤敢歸敬 益加 一修覆 - 畢依」之大 旦

逻

會講師 舊記日齊衡元年十月以二法隆寺僧道詮律師一 為二 維摩

講,最勝王經,道詮為,第一 或傳貞觀元年 清和帝召 南 座講 北碩師二十人於二大極殿 師

四十八躰黃金佛銘文 光三尊光銘

戊子年十二月 十五 日 朝風父將二其零濟 師慧 燈

寺 良 訓 補 忘 集 清和

天皇御宇道詮和上見,,彼上宮墜搆

悲嘆泣

、血重

册 為 四 嗽 恩六道 加 大 四 臣 生 誓 禎 願 成二正覺 敬 造 釋 享保十九年寫 泇 佛 像 以此 願 力

又 佛聞〉法 (甲寅 K 金銅 世 k 年三月 釋迦像 不 經 一十六日 三塗 軀 弟子王 願父母乘二此 遠二離八難一 延 孫 奉:為現 功德 速生,淨土,見 在父母 現身安穩 敬

綱 封倉太子 香印 机 華 御 褥銘 道 享保 師 机 $\overline{\mathcal{H}}$ 车 春寫之

恭 張 常 机 褥 枚

蓝 机 褥

同

眞 神 命 嬬

> 御 褥 之色種 k

寶藏 藏 如 窪 來 吏 絹 御 阿 幡 書箱銘 古 銘 爲 享保五 三親父 誓 年 願 春 幡 寫 和 之 銅 七 年十二

月

同

此 如 ||勅命|過4者也 來 手 御 見 書 者從 |及||後代||有||邪見人 往 古 任 封 盡一不」見」之遺誡更 一開」之者回」道と

權 炒 僧 都 長 乘

日 權 年 會 律 Ħ. 師 ÉTÓ 光 實 祐 秀

倉中比自,武家,封之則封狀之與二奧元文元年六月寫,置之,

慶長十

丙年八月十

七

慶長十一 也 年八 月 + Ł H

奉 行 片 桐 市 正 且 元 高 橋

當寺 盧志長者 切 經 經 奥 卷 書 E 德 年中 經 一藏蟲拂之時拜見寫之

官使下

代

梅

戶平

義

大

夫

右衞門尉

明.正 沐= 奉:為 力用 師之轉 翰 彌高之法身,遠暨,存 水之龍駿泛 維 神 一門を成中也先聖ハ聖武帝ナルベシ 禪 護景 妙子 法一惟朕 流 讀盡焉伏 雲一 或變:桑田 ~香海 敬寫二 年 仰心給〉脩:詩業一權門利廣子拔苦知: 敢對:不 願 成 而 橋 在 留」影遂披二不測之了義一永證二 戊 亡-傍周 山之鳳輅向二 敢作 切經 下居之歲 申 頌 $\pm i$ 部,工夫之庄嚴畢矣法 動 一月十三 月 日 植 蓮場一 非 同二 太 一日景 垂 有 | 兹景 而鳴 罔極之頭 能仁 申 弟 福 鑾汾 子 共 謹

天 平 願 寶字六年十月七日 主 僧光 學

彌勒菩薩所

問

經

論卷

第三

笠 菩薩 道 風 師

客人 母 奈志乃部 君 益下 君 古

白

上小 町

忌

小

衆事 分阿毘曇卷 君白 第十

> 掃守 宿 禰秦都加古

天 寶字六年六月八日

文忌 願 主僧光覺 心寸國長

鳥部 紀勝賀田奈古 連刀自古

大通 方廣經卷下 11 原連嶋古

知 平 一数十七 人下 月十六 寸主水 H 奉 通 勢卿麻呂造

含利 弗阿 平實字六年十月七日 毗量非 簡 念第六

願 丰 光覺

秦連鵜根 連長女 子

度津臣家守 部 連飯良古

連志都古

客人 君 [42] 古 萬

投 餓 起 大 經

卷

大將藤原朝

誓 贈從 願 延 曆 右 十口 大 臣 年六月十 兼 太 子傅中衛 H

一分阿 毘曇第九

天平 願 寶字六年十 主僧光覺

月八

H

幸原 が東便

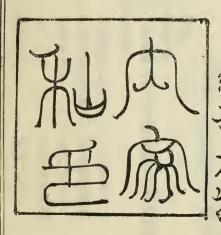
子紫 一字虫喰 不り見

> 大宅臣美都良 光道 一菩薩

殿門古

日

4世



法 隆 寺 良 訓 豧 忘 集

四百九十九

夷 戒 經 卷

本 願 · 資字 主 僧 光 五 智 年 ÷ 月 戒 頭 優婆夷 H

問 界品 第

天 寶字六年 + 月

願 主僧光覺 七 野 H 法橋空專普門院

尾 毛 張 人黄皮四 連 4 H 女 . 枝 範 圓 寬喜三年辛卯九月廿四 慶長四年八月朔日八 僧 ıĿ +

同 宇 申 腄 女 東日 VI 懷 得

大 伴 和 御 河 久 都 木 暦 寺女 要 尼蓮如房 範 範權僧正都餘流日午時入滅春秋六十三 展示三年甲申正月十二 -月十九日減

長 阿 含 知 爾 報 桑 法 麻 經 呂 下

養母也

順房

舊

記

曆

應

年

天 4 寶字六年 Ħ. 月

主光 覺

亚 亚 頭 水公黑 優婆塞大 水 赤麻 呂 行

水 水 大 大 野 麻 呂

水

平

伎

多

萬

仕

1

者人皆

フK 廣

亚

水

古

麻

呂

和 筆

嶋

布 也 间 布 村 主 伎

大

ılı

東

部

宿

刀 木 自 33 古 古 女 水 和 加 孫 都 良

像 法 決疑

猪 多 猪

名 Ē 名

部

首 禰 首

iŧ

24

哉

為

過去禪定聖

靈版

圓

出

雛

生

死
往

生

極

樂

所

招摺

寫供養 也

H

滅

願 # IE 六位 F

行

左

衙門

13

尉

4

臣

宗

家

朝 朝

家

政

弘、 安 月 四 H

年乙酉十

4

月 專 寺 延 年 見等 尼 妙

風 開 流 口 崑 H 崙 111 Ш 11 ヲ 寺 ナ Ŀ テ 八 ヲ 仙 尋 ス = 7 w ウ 連 詞 汉 ス 也 岩 IV 事 音 龍 1 金 王 八 剛 大 殿

王克與 殿華鶴 "。事 殿タマ 仁王龍 ス 力 ツ フ IJ ŀ 云 事

河

人 窓圓 菊壽殿 仙房房 殿 催 金阿壽喬和弄 人淨專 殿 殿 金春万水松縣

七八 ナ仙 キト セテ

テョ

出立會 法隆寺夢殿 西園 御舍利華臺之銘 院 二テ有朝後會於,三經院,有之 有二綱封倉

法隆 御含利華臺 寺上宮王院

貞和四年戊子五 月

見エタリ 現花臺水精塔之事嘉元記有5之 東京 元記有5之

H

綱封藏南 藏奉納御鏡銘 勸進所北室

長 尺計納二革箱

又有二 御鏡裏如

> 此 fi

等一委不上圖享 保六 藏一寫,之訖 年六月廿四日於三寶 ιμ 獄形 人形

當寺靈寶有以問尺、太子之御持物也 亦別圖之

文字不明

下學集 法 鷹秤が 隆 寺 良 鷹猛恶鳥也生 訓 補 忘 集 ン子在…其子生 長

則

也放呼!!一尺! 有一食、父之氣、父畏、之居一去、巢一尺之枝、而養、子

當寺靈寶琴之圖

ル波 小足 -----是 の神の時年 中大分 O 開 尺三十四 空寸分 洞一人有り 0 元十二年歲 0 桐木黑塗 之表圖、 0 分 田市 舊記 琴文表圖 在甲子片立宗開 非太子之琴云 長三尺六寸 0 0 京亲弄足处 尺三寸五分 0 九三寸七分 元 R

五月五 H 於 九院縣 一造

王林 抄十五 此含利殿有」琴非二太子寶物

下學集 六合 寸合 四四 天地四方也前廣後狹象, 尊卑, 上圓下方法, 天 時,長三尺六寸象,,三百六十日,廣六寸象, 琴 伏犧造」之龍池八寸通,八風, 鳳池 四

地 徵 羽次少宮少商也云 \overline{f}_{i} **粒象□五行□大粒** K 君 小粒臣粒第一 為宮次商角

池 當寺琴合一伏懷製作一長三尺六寸七粒也前廣後狹龍 柿 鳳池 飾 元 《年甲子,至,享保七壬寅年,凡九百九十 有 之能 相似開元本朝聖武天皇即位歲 九 相二當

長遍 此 長者 大德畫讃 僧 IE. 長 一遍者 成育遍當寺密教中與之師範 Ш □金章家入;三密瑜 伽

HI. 小 一從前大僧 野者仁 一海僧 T. 正之正 行 遍」受1.兩 統廣 澤者 部大法 信澄僧 |傳|諸尊秘 正之嫡 之

護摩堂過去帳裏書

﨟法印 囙 實一日西尅 與二讀之寫在、之候 與二讀之寫在、之候

古摩堂御 圓 信房得 業,遺言ラ請 テ 懇經

綱封ح有リ 又云長遍 ハ蓮乘院仁和 寺大僧正 也等 云

故 澄 遍 大 德

裏書當 庚 寅五月十 大 阿 閣 日圓 梨 寂 澄 七十 遍 法 一六本 起寺住賢光 一者仁和 上人 寺住 大藏卿 觀 應元

脫 僧 都 奝 逼付法御弟 畫讚 永 E 四 年 與 以基修復

> 保元年癸酉三月三日 念之念是絕以妄利 劔 解脫上人貞慶於,海住 不觀之觀則見」具 丽 山採 IR

表 如,,七星,長一尺五寸五分七曜御劔圖厚增長天御太刀太子御作形七曜御劔圖長一孝讓天皇御寄附之小塔之事史錄等見一潔讓毋壽五十九歲 3 W. 1 分半廣八分

裏 -The state of the Suc adiate. 66 人派及

平行き 銅 劒 柄 卷 3 金 摺..持國 天

此卷點了 菩薩 飛比丘尼信女生年七五年壬午正月菩薩 飛道の人を落花狼籍と云也と無道の人を落花狼籍と云也を無着といれる。 (経済) からと云けだ物盛なる花ををりし

分パ三 厘九ハ分

六本 聖瓢 子 榮啓期 重 鳥 四羽 ッ廿コ目 三二寸分 四 メクリ 鬼谷 一尺六寸二分 先生 蘇 銘文 張 儀 樹 孔 木 夫

クルリ長館ニア t ナ ク Ł 長貮尺壹步 御 箭 六 1 目 トカリ箭根二寸四分コローナカリ箭を長二尺三寸五分コローナ 1" Ŧi. 寸壹 光 御弓六尺 分寸すカ 四九フ 分分ラ

壹寸五分

大聖勝軍寺沙門 新學子二年庚申云々一御舍利奉出舍利堂高机銘 永享十二年庚申云々

薄似 律 講 之至,途中出迎即日着:沙 瑞心,九歲能誦,法華四教儀西谷名目等,日遊,高峯 知二大德之所,感也師生而岐嶷森然有 也而人不」知:何祥一後見: 師之來一瑞異駢然大顯併 之未、到前三日山中雨,,寶蓮華,精緻絕妙輕若,, 蝴翼 八法萬三十有八遊三平南京春日山 不、犯南山事鈔罔、弗..精究,已而法身成立得、離..依 因比丘于大原野,空因教、往,,慎峰之僧坊,衆僧聽,,師 母奇」之治二入學歲 黑白嚮、化如:景星慶雲 飛鳥井大納言某公建二蓮華念佛之會 師 肆一學一台教一聡明英敏度一越醜夷一十九歲 師 |董||席和州北室律院||恒以|| 顯密二教| 諄々誘 北京人姓蓮池氏了性名也明空字也世壽五十有 一為。師明年二十歲進納。滿分戒三聚妙行,纖毫 "羅穀,人爭而拾安"之掌上,光澤映"徹乎手文, 一投二雙妙寺自勘法師 - 薙染名曰: 一人爭而觀恐 .彌衣 .改名..了證 .禮..慧雲 二如 ン後 ||絕塵之趣 三蟬蛻二而逝師 師師 レ之也時北 扶一行之一 去謁一空 - 父 掖

矣從 勸二人 時從 、存抑果有...不、同者...歟識者高、焉師爲、人端整隆重 寺,越,廿五日,謁,春日社一下、階行優,遊亂杉枯 精進之行,如以此慶安二年十月其日偶赴;南京興福 、佛三萬聲勤而行、之未、至"中夜,不"肯臥,也其為" 樂寺之舊蹟 」妙有是送一流黃一者」或、手遮、之見一乞丐者一分、食與 也其為、佗所、敬也如、此生平施衣節食以、支、身為 雖一門弟子,弗山敢輕觀一矣有一深津氏某者一買」勇之 旨,師往訪焉 大機厚禮, 待之, 不, 聽而返其志之所 之化物遠矣哉郡山有:大機道者-自謂」達磨單 之皆以為。得 者悚然呼喚不、應少焉安祥開 之間一留、錫憇息籍、艸而坐忽然昏眩似, 長逝者 撥,置衆務,專修,淨業,禮,佛若干拜誦,經若干卷稱 士也常語云每、見,,我師,心戰股栗嚴、於、見,,人主 之日以爲、常其爲,慈忍之行,也如、此晚而菴,于極 ||囊中|出 ||西方||白光一道煜々然下燭光中有||寶幡||蓋 念 佛 | 其地隣,,于寒林,者有,意哉自,,師 女相 有下 二往生」左券」歡讃弗」置由 || 斷末之符| 服了合掌 要,日 與 念佛者盈;道路 課 者 ン眸告 上則 題 面 之日臨終時到 于蓮華 >西怡然委順 矣嗚乎性公 是和州 燧 居以此 傳之 與

顛末,以徇,光和 假弄之說,良可以 見,,玄賓溪光公和尚所序行業,文辭質朴决無,,玄虚 而逝異香滿 算示 蓋瑞鹿神之使者 告、哀者,尋春 彌 倘 论 有…除 |滅鶴林||天神異類飲泣競集乾利婆羅門之偃室 佛 與 咏得!未 輝 諸 >室天樂在>空聖賢威>物豊 一諸 時,聽,此翁末后一 聖 日 乘 倘 第 社 信」弗」誣故雖」と二董狐之筆一觀 曾 人聚觀恍若 三神殿 -請"兼為"淨業者之龜鑑一云 第 有 威 三神殿金鑰自 一忽有:瑞鹿 光 赫 地 奕 一藏大士之垂化 ン登: 際顯 段盛事 蓮池 自 右遶三匝 解實戶自然開 在 有 海 ネル り頃 會一莫、弗 也熟矣今 也 然乎余 而去似。 い窃惟 引 去 艘 矣 天

日書,,于椋苑太子堂,

八癸卯年八月寫¸之 右之記者北室院什物也住持密元律師命,,借用,享保

等之寫章保七年需月日東鄉住依、令,所持,一當寺東院修育院建立之時堂供養之表白諷誦咒願文

敬白

奉供養一間四面堂舍一字

似

海

顯

道

之嘉運伎樂歌詠之動漢

也豈非:優墨

平安御 成就 本朝有 稱 講道 答:, 施主一列懇志: 則文明第 七曆歲次乙未之陽開;; √經二年序一滯為二 粤君 誤燒 輻 者何佛法鎮壇之伏藏入定靜慮之夢殿自於 立根 邊 聞 嚴重道儀-願聖皇慈悲廣大之恩德 之巧匠等一味共同新造靈閣也恭此唯為 南 中天 輸 境 閣 圓滿 於三 字妙法納、藏入定示真先身之持經現、殿而 文之足印 本之大法城四十九歲傳燈演說之金剛 。雖、異依、器是勝處者歟蓋聞當寺者四十六院建 浮 奉 於 有一釋 提 祈精守屋 開 || 聖德太子之誕生 | 卜 || 斑鳩 | 為 || 不退之席 | 中 乘甚 唄 東院之東面一有一 III 制一供 伽 之歟本尊者生年十六歲 供 陀 深之真文,又數口淨侶者列, 梵場之席, 迦牟尼之出 養聖 本國法隆學問 之曲 養軌則 一逆臣邪見降伏尊容也造畢以後已 粒生身駄都獨留,此宮 衆儀紛 德 調 太 一
发
者
年
導
師
者
登 紅 次為二一 子 世 三夫法幢幡蓋之飜 + -以:靈鷲:為:常住之床 未,及,造,率供養,仍今 ,寺衆等稽首和 六歲 字少堂 是則當 揆種 御 影 族等二世悉地 用明天皇玉 一何 尊 ン奉ン報ニ :師子之坐 此此 南 啻妹子表 坐也所 以風也宛 一寺止住 而 地一千 已哉 白 雖 躰 本 以 風

如 引...導順緣逆緣一佛界不、阻... 利生一仍善願旨趣大概 源 願盡、成哉特希伽藍基堅久載, 星宿刧之曉霜 >請親著,開眼之臺-權實分>品至理何隔事既周備善 養之座一个一字修治者送二八百餘廻之遺風一龍象應 立者當: 秘曲誂...轉於天人.借..響於聖衆.而已於戲昔七堂建 海岸之波,訪,吳山之岫,所,施者伶倫之舞樂呂律之 開 深永湛三富緒河之餘流 ン斯敬白 花之良辰一 推古天皇之御字,太子奉,,詔旨, 自昇,, 供 哉 所 · 捧者禪心之妙香合掌之瑞 - 凡厥村南村北本願不 花 法水 起

交明七年二月廿二日 法隆學問寺衆等敬白

敬白

風 誦

寶衆僧御布施在之之

夫以 多爱天國押開廣庭天皇卽位十三年歲次壬申百濟明 √设□五常之流□依√之失 1111 渡 |機弱緣薄投、江沉、流不,,肯信受,豐日天皇御代掛 我朝 |,佛法於此朝|是則當|,于佛滅度後千五百一 佛日 一未,, 照鎮,迷,, 八正之道 』於二世利 益」墮」于三途」者 一法水 源 遠難 嵗

> 滅度時 之法 院 動,供鐘之逸韻,耳仍所、修如、右敬白 天之護持一棒三一霎之壁嘅一為」却二魔界波旬之障碍 法莚之便場 調二開 有九二月廿二日夜半忽薨每>迎,被御忌, 掃,上宮書 建"立法隆伽藍 與"隆佛法 利"益生界,然化緣旣盡 之階, 豊御食炊屋姫天皇即位十五年歲次丁卯草, 創 難。出悲,貪愛之河深而含識易。溺製,三經義疏 畏聖德法皇方始 示,,凡聖三乘之異,作,,十七之憲法, 以定,, 君臣道俗 文明七年二月廿三日 移二靈山 一爱同鄉內有,,一字新造精舍,即號,,太子堂,喜,, 至同天皇卽位廿九年歲次辛巳聖皇生年四 雨 化之會一莊 誕 眼供養之儀式一仍為 生生出 本 法隆學問寺衆等敬白 ..文殿雅場. 講... 王城放 慨二 邪見之林 ン仰! 冥衆諸 稠 而 群 生.

東院太子堂供養咒 願文

眞影 歸 造立 寺中東院 字精 命 一安置 頂 浦豐 點吉 本尊 本尊 南 图图浮提 東面 日 內 本 證 願 開眼 教世 聖德 施 大日 主 二別願 一如意 法皇 本國 供養 近代 御 和 第十六歲 所 州法隆 在 講 薩埵 新造

隆 寺 良 訊 辅 忘 集

法

當所 玉躰 出三界門 涅槃經等 民豐樂 村北 安穩 男女 出世 妙典 權 功 現 到九品 貴賤 倍 來集 林 末寺 種 增威光 佛 長 念 唄 K 證 上下 和絲 諸庄 地 遍 歌 灌 人 施 親疎 攘災 自國 伶倫 必滿 二世 勝 願 音悲 鬘 舞樂 必足 悉 招 他 維 地 福 滿 國 願 壓 六 無病 天 成 當郡當鄉 住 天下太平 金 、趣四生 持遙契 飛 就 輪 盐 圓滿 安樂 地 類 軸

敬白 請諷誦事

文明第七乙未仲陽廿三日

奉新造立 金殿 二字

奉圖

繪開

服

浪呈 IL 窓禪寺殿德蓮社 法身 、響矣所以昊天能順,意願,聖君亦育,黎民,乃 從 品大相 分慈善根 國大居 桃 和宗譽大權現井幷源 心花施 士神儀之兩 >薰真如凝然分功德水 賃像 所 机 高 院殿遠 知

莚 鄉安全而舞樂之曲節有之勇重乞功說…天地」德通二遠 然也感應天真軟伏願國家豐饒而春秋禮奠無」違郡 敬供養逸磬 | 開眼供養多歲願望者也觀 | 夫新綠 聖之新影, 莊:瑜 德太子堂之內陳,奉"遂嚴"飾兩字之精舍, 案, 置二 夫報○按報下謝德釋尊金言孔子玉詞不」可以不 君者忽出,有漏之假城,速遷,无漏之眞都,是時天下 生必飯、死無常不遁之理別離難忍之悲也爱 兩 國無,干戈災,里無,貧之愁,須,謂,千年之雙聖一天 照,惠日於扶桑,暫受,無常身,掩,慈雲於若木,以來 利 近一而已仍所、修如、件 添...瑠瑠金山之色-窮蟬暗助...讃歎和雅之聲..景色自 > 兹當所止住之巧匠等稽首作 | 禮於法隆寺修南院聖 生民涕泣 東照大權現 井正 物之德 日也 于時寬永廿一年卯月十七日 所、屈淨侶調, 梵唄歌碩律聲,所 |潜滨海更淺合\掌思||恩山之高|須彌山還 雖、然形無,常主,壞及成、茲魂無,定家, 春 而仰、天躃踴而倒、地曰於戲低、頭顧, 德海 雨 猶 不上喻拔 伽秘密之擅場,營,理趣真實之法 位台德院雨殿 濟 之功船筏更無」比恭惟 下假示:有為狀 レ招聖衆鳴…恭 信因 短誠 兩

永祿年中聡明寺住持守芳禪 文保二 正月 日宮中 金光 明 師永祿五年壬戌八月朔日 會聽衆可

一綱封倉炎上大永四年甲申閏三月師日年也八十五年也入水三年ト云證文與ニアリ及奥ニモアリー寶德三年辛未二月廿七日聡明寺供養 右三色之舊記綱封倉有人之可人見

十九 地頭金子十郎妨事可一停止一之趣去年下知給之處猶 東鑑第七云文治三年丁未三月十九日之所云 日 辛酉 依之被之重,上宮太子聖跡法隆寺領

不少靜之由寺家帶山院宣 食一有二被文載趣一二品專 上二鵤庄押領一之由及..沙汰一件庄事太子殊依 所」聞食驚一也 一就 |訴申|遣||雜色里 久 u執思

播磨國鵤庄住

宣,令,,下知,墨而金子十郎入,,置代官,令、押,,領庄 之由重所、被、仰也甚以不當之所行也自今以後早可 右件庄可、合、停, 止金子十郎妨, 介、停,,止其妨,若猶不、用者為、召,,誠其沙汰人,所 可。冷、停,,止金子十郎妨,一 向從與領家所勘 之由去年 依

> ン下二遣: 文治三年三月十五日 使者 里 一人,也早可、今、停,廢彼妨,

> > 如好

賓度羅版羅 喧閣住 三西瞿陀尼州 一岩腰カケ玉堂ゴト

一連諾迦伐蹉住

三迦諾跋釐墮閣仕 四蘇頻陀住...北俱盧州,右鈴持左獨鈷持前獅子一疋居 在:東勝身州-珠數持黑猿排指出躰 二北方迦濕彌羅國 - 左獅子持右第二指

也

五路"也距" 羅住-南瞻部州 一白ヒケ也左草ヒラヲ持前牛有

可

||耽沒羅州||岩上坐マユノ 毛左右持下赤ク

八代歌型 有也 羅弗多羅住二鉢賴拏州一力 二僧伽祭州」岩上 坐 岸 タヲ 足サ ゲ ヌ 杖持虎愛也 ゴノ手持

九戎シセ カク躰

☆博迦住:『香醉山』片足ハクッヲハイガー・ 北 キ片足ハスアシ

二字活連住二二十二 迎住,三十三天,片足岩上有片足下木杖持.

法

寺

良

訓 補

が経った 泇 犀 那 住: 住。宇 利" ·度波 殿。 瞿 ili 111 右 ٤ サ 手 1 如 如意持前々 上書 **戸置岩見下**クけ前クツ有 ッ

因红 羯陀 住 二廣 脇 Ш 岩 L. 坐片 足、サ ケ 柄 否 爐っ 持 王 フ

应 八莊泰宇託迦住 並阿氏多住 整 了伐分 鉢 がが楽斯 有 黄 猿 枇 住 杷 可 排 住 Ш サ 軸 山 シ ۲ 山 出 サ 岩 岩 躰 Ŀ = 一个杖持虚 手 也 Ŀ. 力 子 ケ 2, IJ 岩 坐亦 下 空, 拜 芹 7 躰 也 ۸ ッ ラ 有 >

重 都 社 姓 家 云 有 惠 出 者 藤 例 原 惠 美 神 勝藤原 姓姓 也 重 姓 規 摸 事 南

順 疑 南 之出 元 天 京 記 德 春 月二 行 、大 年 日 、乘也院 一中大江 本談義屋 日寿要日記異説 **児願** 與 同善 正 福 有 房 祐 歌 供養和 之松室 歟 云 紛 R 紅年號不少知 行信 村 銅 仲算扇子 Ŀ. 三年三月五 帝 忌 歌 日三月二 不 之歌 H 、君 日式帳過 か代は 導 師

如、常以"法隆士(東院緣起見) 類 寺 史百 於定額 八十云仁壽三年三月壬子以"出 寺僧 貞 論宗 年正月八日丁丑直 傳 燈 大 法 師 工大極殿 位 長賢 羽 成始齊講、道詮弟子 為二講 國 法

一同百 師 七十七云貞觀七年五月十五日甲子律 第六卷 代實錄文言 同之 四師 日法 橋 T 未執命是 L. 賢

法隆寺

江 僧 家 毎 次第五 年 預 云季 摩最 御 勝 兩 會 竪義,立為 總百 人僧 綱大威 例 儀師 百 口

大安寺 東大 隆寺一人 中 威 字 從 次第各 各 與福 東寺 人外百 一人往年四人輪 人諸寺 僧三 西 寺 會 次已 樂第上 師 已講 轉次上 一各 **公第各一人 小第人軸請** 寺 人一 諸 西 延 唇寺八人如 寺 元與 次第一各 一東 人大 法

醍醐寺 極樂寺 崇福 定心院 寺 次第在二百份 天王寺 廣隆 元慶寺 僧內 常住 法性寺 法 琳寺 寺 梵 釋 仁 貞觀 寺 和 林 院 圓 圓 嘉祥 成寺 融

一 直 想 六 年 元 代 宗 形 元 照 以 慈 平 後毛 常曉乎 德寺 安久誓願比 實二寺 合 第云傳燈大法師等 等勝寺 已上 積善寺 法橋 力 奉利天下平 上人 心が野さ 位權 圓 教 位 各 平 律 上下 爾護持知萬 慧叡 師 --人 法成 爾 和 真慧正 一陸之天 有但 任 出隨 賜 入僧 比 左 綱員-天皇我 進道 圓宗寺 治 賜 昌 布自 道 朝廷 詮

一个

與

或記 之時 日 泊 對 瀨 天 八皇之時 同 來朝之造寺佛 百 國 使等惠総等又道 同 令 三刻刊 一嚴等 寫

院是也 者太子十七歲之御自作 法隆寺守護, 當寺者聖德太子 御入滅之處也上宮王 以,,沈水香, 御自作也太子十六歲之御願當像 也然者太子 御入滅以後為

上宮章垣宮御本尊,奉,,崇之,敏

也右四 安二置之一當 天者初佛法傳來之時升之上乘為,守,護海上,來朝 法隆寺大工之由來者欽明天皇之御宇四天來朝也四 人鑄物師 天 躰付:番匠 一人諸職人一人宛 來也是職人者四天 為 :造立一也 人佛師一人畫師 人
延師

嘉祥二年五月吉日

當寺者

比丘實乘

神屋成 福寺 營也

人王五十四代仁明天皇御宇嘉祥二年己巳五月御造云深草天皇云々

今至,元祿三年庚午,已得,八百四十三年

歟

當寺傳奏裏松左大臣勝光書翰 近々之結願可以為以來月八 誠可、然候 机 八日 | 候 本紙ハ在二地藏院 也

御祈禱 由 可下 九日大流星所、载 致一想前 本自 =來廿九日 抽 声丹誠 ::占文 - 御軍益長久天下 候可ン分:下 | 其愼不」輕連續 知 彌太平之 樣山 星 被

仰下一候也謹

九月十 四

日

勝

光

般若臺に納めをきて組集釋教部

めをきてし法花經 8

慈

鎭

夢殿 よりもうつくには

かきりありし 法隆寺の含利の御はこの歌を見て 鶴の林の といめ 置ける か たみ をは か 3 カコ のさと 般富門

院大輔

あたちか原のしらま弓

綱封藏善光寺如意御書筐銘文箱上 心つよくも見ゆる君 か な

此 不、許,,拜見,及,,後代,有,,邪見人,開,之者巨 如來御書者從,往 古 一任三切 盡一不以見之遺 一誠更

|動命|過 业者也

權 少僧都 長乘

慶長十一丙年八月十七日 年會伍 權律師 師實秀 光祐

此藏往· 時寶藏同 古者刺封 御修 理 有之則實藏之封從 也慶長年 $\dot{\mathbf{p}}$ 豐國 伽 藍御修復有」之 |武家|付||之狀

法 経 寺 見 訓 補 玉 集

文言者如、右同右三人之名有、之而與一

慶長十一 年八月十七日奉 行 片桐 市 IF. 且 元

此釣

綱

封

官使下代 高橋義 梅戶平右 大夫 衛門尉 判 判

等 當寺知行往 言殿依:于入國 播磨國一知行五 大分之知行 古者領:當國 一國中之知行改易之刻幾千石宛行 千百 也國 餘石 々封戸官府別有と 也然天正十三年 羽柴大納 及和泉河 內 攝津 之其後减於 近 江出 羽

上代御釣籌圖

深七寸三分內二上二一尺下二厚 一分バカリノカケチ マリ有

總高九寸五分 歌金宝本の五原であり 四寸六步 寸八步 六步 二寸九步 000 二寸一步 リ形八 厚 步五

適屬…水祿 年1矣豈非

虐熘大易..魔風

一於靈場,弗、可,勝言, 途時松永氏暴梟尤甚其厄,途

多菩薩像一金堂寶塔講堂僧房規摸宏壯已歷,,千有餘

福亮造二阿

逸

…救世大士至德所、被天龍之所: 呵

護

表

辰歲 レ之享 倉南御 圖之之 保 藏 甲 納



南嶽 胸開 皆鐵 誅 化 以:此寺,囑:,于山背大兄王, 尋吳國僧 世四十九年靡、不上宣、傳真乘 倚!,狼座,其日威,得落々天花爭墜曳々水蛙歌唄,住 勅二太子」講 法起寺, 其一 竊惟離宮禁殿有 法起寺大悲堂記住價碩奉律師作 H ||逆臣守屋||而後創||建九伽藍||乃以||岡本宮 域 後身東桑始祖降, 蹟皇宮, 爱稱, 聖朝副貳一闡, 之場歷載所 式著 ,法華於此寺,太子自披,袈裟,握,麈尾, :..覺天高大,用明二年太子年十五秋七月 也俗目 三以繩 レ時煙滅名山 』池後寺 推古十四年冬十月帝 々不い斷者尚 一翼。贅聖治上焉末後報 大澤邊爾變遷惟 矣况我上宫

攻 以日落成指□畫地基|正當□ 先代講堂之蹤 I 焉伏願 寶 律 逻沓以賀:|落成:|乃述>偈曰 恩光於先雲 璃殿上時聞 修、殿安置一幸獲一近隣同一家然助、綠由、是營構不 **这有: 觀世音菩薩像 | 梵稻奇古靈應轉** 、俟耳爾來繼,其席,者數員迄、今屈、指僅十八年間 臘三十三可」謂,紹隆為、務弘濟為心尚非上臨,垂終 此地,以,,幹緣,為,,從事, 而重興漸成,,寶坊, 旣而 焦,幾不以悖,先師之志,平即 而矍爍者。孰能然哉于、時雖二斧斤未、竣蓋亦緣之有 師退二 一遺址 五年歲 載名藍 一居藏 旅一丁巳一十二月二十五日寂世壽六十九法 更無一燼餘一只荒凉 一流, 德澤於後見, 法苑永榮福基鎮固亦 二金鐸鏗鏘」 菡萏花間每見,玉毫燦爛,報 王谷一牓 レ廬日 H .. 閣務菴.不、幾亦移...于 浮圖 合會作:話佛 尚 存焉爭奈荆 新予頃年規: 事一七衆 瑶 延 政 棘

足服豁開 林 時 祿七年甲戌歲吉祥 至起雄風 超 日 月 雲龍 千古講堂建 日 際會盡圓 梵宮 誦

法

法 起 寺比丘 碩

卷 抄 日 或抄今年 Œ 一月太 子御自筆 峰撰 書寫給

> 外題 便今法隆 御 手皮割押給 一寺上宮王院 滅今親拜奉事來緣 有云 々推古廿二年太子 **%勝利** 得給 御 方

推古廿七年也傳有:,一信女,可、建,小寺, 進古帝或持統帝云々 、、、 之圖編集之時可、見,,合三十卷,一平隆寺勢益邑建立 太子椎坂吹、尺八一山神舞曲事復當年夏四 施庭園寺建立之事同推古廿二年有可、見二二十 月事實物 卷

維摩會表白

來獻 敬白 十二分教星,,列萬國之外, 軍尊軍勝掩 欽明天皇十三年冬十 自存水恒相宅能仁之 教猶欝至二于磯嶋金刺宮御 皇帝驚:曉夢,而尋:其蹤 天之國釋迦大師掩:夜星 臣藤原相公之所、創也相公寄,,重國家,功銘,,鐘鼎, 匡 伏尋,舊蹤,此維摩大會者是近江大津朝廷大織冠內大 難、解難、入經:恒沙切:而難、窮謂稱絕 天皇崇重普布:海內 王室,以寧,天下,誠是大厦之棟梁瓦川之舟檝也至, 一十方佛聖四 ..佛像經論若干 座 龍象 許種一雖二朝議紛紜彼此異論 | 遂使"八萬法藏| 雲| 飛八州之中 月百濟聖明王遣:西部姬氏等 一而疏。其源。東漢之朝 原夫佛教之與爱自声 我國家葦芽抽、空至神之化 |微塵界|而班標 レ境誰能悉」之 **夏古西** 孝明

疾品事 レ此而 レ尼日 始開い が切 藥 者 於山山 子 轉 自、非,禪尼 圖遊岱之魂更歸屬纊之氣還續自\非,妙力,誰能若、此 自進,,上奏, 偁尼持,, 大乘, 名曰,, 維摩經, 其中所說問 巫 以此周覆十有二年卽天 演:維摩之與旨:式扣 階字一像::方丈之淨室一即屈::福亮法師! 聞」之聖心歡喜歎,,未曾有,即令, 月十六日大臣下世繼」之無」仁不」遺" 明非、無,推蝕之異,朝昏自如, 生死, 必然己巳歲冬十 便請 弃 鳥河 少、驗天皇深憂衷襟 「我命旦暮塡」溝在」近依」聞 學、鞭天神地靈稿:有 次請用講文計 興神通解脫之理 口偈 庀 陶原家 洒 二法明禪尼 清 原 ン期爰有二百濟國所、貢禪尼 未と終い 試 宮御 一何復如」彼生々世 為之一誦若 宇齊明天皇卽位 行大臣之疾應 |掃門庭|而移 |轉讀旣經||兩歲|至|| 其四年戊午 地 百、厥而顯 義但古記殘闕難」詳二名號一如 淨名之秘局 至神 不 有少所 安卽崑 廖之効」者擊 猶有二變動之殊 一々歸二 三廣 其後海內碩學天下高 "大乘,出、死入、生何 レ感幸得 二年 **」聲卽愈相公大悅** 禪尼問。安山其疾 道館 嚴之精舍 不二法門之名從 依妙典! 永不 内 其名曰:法明: 爲二其講匠 老 岫 辰 三冥助一 求 穀 風 嗚呼哀哉 不死之 日月着 於訴訴雖 水 粧二 餝 天皇 乖適 =' 退 -尼 甫

> 今卽略¸諸爰以 也積善之家自有,, 餘慶, 德位共高功勳揭焉記課明¸之 也積善之家自有,, 餘慶, 德位共高功勳揭焉記課明¸之 也積善之家自有,, 餘慶, 德位共高功勳揭焉記課明¸之 其後帝京改¸基王室多事庶務忍忙日不¸暇¸給法雷鍛 其後帝京改¸基王室多事庶務忍忙日不¸暇¸給法雷鍛

烹 己酉四 ン説:維摩經 生智寶法師一个講 身捧持精咸洞 自誓云臣之愛拙怠、修,,先業,自、今厥後紹,,隆舊蹤 著兆, 冥譴告,,各大臣 文武天皇慶雲二年五月體乖;和適,驗乏, 沈、光大會中微十三年間 瑞國成姬天皇 養老四年八月三日- 大臣早世嗟吟逝景 如此轉說 木之功,且說,,金玉之文 莚一就一植槻之淨場一于 又有一家記一次歲在,厩坂寺一請一新羅遊學觀智法師一合 日,終,,于十六日,是卽先內大臣之忌辰也自屈,,入唐學 在,於宮城東第,莊,嚴廷字,初開,法會 同 七年即移 月皇都遷; 惣五箇年至: |遞講||新舊兩本| 旣經 徹 "法會於此寺」天道不>恒性命有>涯 匪 於平城一法會從復移即 :無垢稱經一自作 日平復即便以, 同三年歲次丙午 | 即時大驚遣 使祈 同三年一初占, 勝境一 - 即以...淨達法師 時萬物惟新庶事草創且構:土 講說終日 二四箇年 和銅二年 而已善福不い空感冥 三願 文,具述,法旨, ,始、自,十月十 一為: 其座主 引- 厩坂之講 療術 先靈,又口 建 問二之

水 聽衆 啓先業 清和 ン由ン此哉會留 有:: 特降山 佛法| 為"|私願| 勸立"| 七道之國分| 墾"開三寶之福田 庶 宏器難、量之偉才也豈只家之光輝亦是國之柱石也光言 儀一而共長共二二光一而永明椒宮連、局槐位比、蔭豊非 施混,三界,以為了一不盡妙會同,九地,而不了異比,二二 卿大夫或傾,家資,以續、乏或竭,筋力,以供、役無遮法 後永留,此地,復不 ν 遷講所頻改雌ν無二舊記 藤氏七卿上表以,,曾祖功田百町,添,,入會料,然時世易 爺用,,珍財,宛,五尼寺維摩會料,其後紫微內相為」首 是即 然至。天平 太上天皇真觀十八年 招三種 勃旨, 係維摩會宜,如文本修,與福寺, 者自 州一人 |潤||色法會||即有\命云大寺多數智德比肩而 |太政大臣之家生也利||益衆生| 為||己任| 興||隆 叡旨, 宣毗, 法會, 即捨, 腹田百町, 永宛, 會資 岡神足家,至,子 华 三興福 會筵有、限名德多、漏深恐、政玉之輩空 |挑、燈之人徒倦。披、卷之勤。即更增。九 中,應眞仁正太后齊, 外至 · 其施費大臣獨供自\是以後玄門學者 二遷轉一是故世 - 聲聞,, 大唐, 何其盛哉至,, 平安宮 |抑有" 先聞 |或講 | 南都法華 攝政太政大 桓武 々后宮相府代レ之 天皇延曆廿年一殊 臣誠是不世之 拿 被 こ爾以 急德 公 古 黎

菩薩像 鴻鐘高 其利益 自 自 接、武惣而論、之皆是大會力之所、致哉此日華屋捽、雲 未」聞,同宗一家之慶誰能比」之況復紫服赤微繼、踵 >功以鹽..梅帝道, 唐稱.. 八元. 周號.. 十鼠. 各出.. 異門 納言八所中納言六所 會與盛關白大閤下為、首左大臣右大臣 內大臣九所大 陛下撫、民制、俗唐堯謝,其光澤, 尊、法歸 也世代雖、遠法會惟新苟在,含生,蓋、致,誦歎, \減經 \古到 \今待 前二人, 以增, 法燈之光, 以添, 惠海之波, 至, 于延 仁和元年乙巳」殊有二 飄 紅葉 共 霜及 而裁 錦空蹤 喜三年癸亥, 右大將大納言閣下奉、造, 淨名文殊雨 令上曆應三年庚辰,歷、代六十代經、年六百八十四歲 與,隨喜之情,者乎即自: 殿耆宿掉、舌所、論者六宗三學大義碩學膏唇所 寫..王舍城 有一合、歌之念一 |正教與隆正在||當時||如來附屬定知\在 響梵侶聽而駭〉耳妙香遠薰天 一令上會庭無山所以闕也然則此會為」會有」增無 之形勝一 諸寺名賢曾 >時加>新是亦 大會之 勝事也誰不 玉樓映、日更圖 參議或論」道以經二綸王家,或效 勅命」更增二當寺竪義 齋明天皇戊午歲,至,于 無 丹霞 緩」己之怨: 衆聞而降と 假 卷雞苑之粧嚴 レ佛梁武耻: 風 月 至...于 跡林

今之疑文也昔

Ш

之

妙

會

廣嚴

智 八

1/1

部

途1况 向 諸善逝淨 法 法 令」圓 海 - 也 組 天下 光溺 傳 平不、夢…吾 一即是前朝之舊式玄門之盛 基常固 和 部 名 本 一妙德 大 說 定水之疾浪 兆 施 似 」與三芥 語方龍 庶寧謐仰望菴 主 答言 師一人倦 御 願 城 神 間 謹誓自 企! 足學 八部 - 研精 争人人護 伏 願實祚 非 園 觀 敎 Ź 者 忝膺:講匠: 山 主牟 等還念 .持三寶 也小 二早迷二 無窮與二 尼 僧 八尊十方 公憲問 理窟之象 修= 願 拂 辭而 石 放影 行 愈 世 而 不

加 身 佛 來 菴 園 法 敦 PH 主 微 釋

泇

妙

至

請

方三世 心勸

德

諸

井

照臨 目 向 御 聖 願 會 HL

諸 本 願 施 質. + 成 增 福 佛 道

登霞 梵釋! 淨

聖靈 四王諸

IE 護

一朝安穩

增 成

寶壽

无 興 始 Ī 前 法 來 施 一業之 悉 主 發 御 1 願 該 盏 令 所 懺 作 滿 恠 足

我

今親

對

心

懺 安穩

悔

歸

我當

證

依三實受禁戒 斷 惡 修 有 善 度

衆

以 墨 伽 藍 此 竟 護法 安 演 處 涅 當 所 所 生 明 功 德 前 梵 天 神 四 U

派 如 龍 來 神

登霞 諸施 主等 尊靈 增長 早成 福 IF. 豐 天 金 下 輪 陛下 太 不 風 調 長遠 威 雨 光 順

萬 性 右之本 安樂 日 紙 四 恩 **卷**學 法 界 間 1 離苦 記 錄 之內 得 樂 也 畧 切 而 表 諷 白 誦 = ヲ

寫

於,金堂, 一同八月十 车 庚 H 從 辰 + 京都 月 + H 祈 維 雨 摩 官符 會 講 宣 師 F 公憲 依依 同 專法 寺相 日

講讃 畢

勅宣

口

出

仕仁王講十座

官 符宣弁 奉 唱 年. 會 櫃 仁納ン之

右之記 錄 法 FI 預 ¥ 櫃 仁有と 之 年 會 五 餇 訓

惠年 永 平 歟 丁亥歲 寺

栗 Sas

木 彌

ニデ 陁

作 像

1

惠心

僧

都

七

十六歲之比

レ之享保

+

- 年迄凡

七百

卅

九 也

一歳 寂 滅 寬 和 元年 九 月十八

計

ハ

H

酉之刻也年

七十

御迎 同 清水 寺 ノ告有 八幡之事 使 Ė 勸 五 高請有 莅 リア 御門 天平 1) 人散位廿 1 勝寶 石 川朝 元年 人六衛府含 4 臣 手足藤原朝 月清 各世 水 來臨 臣 八被遣 魚名 シ 玉

之砌 吉田邑 右者 >之分, 拔書, 作者誰人云事不、知古綠起白波掠, 之 郎方二傳令:所持一子年來依、望今日一 此寺 右綠起披二見之一此緣起中古ノ新寫也則 基市郎宿 ノ縁起ニ 有 覺勝覺賢堯懷良訓實雅 之享保 十年六 月 卷不、殘讀 + 招請 港市 日 小

伊賀國山田郡

地頭職不可有相違者

正平三年八月二日 右中辨判天氣如此悉之以狀

安村丹後守館

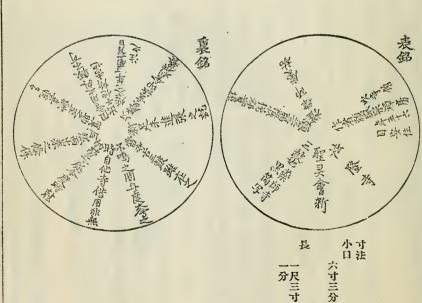
一懷訓法印 贵四日入寂 一長波法印 辛二月廿日入寂一下 一刀禰・六位ノ被官也 一得業 人二學問ヲ教ル官也 右立野安村氏所持 南帝後村上天皇御輪旨也

別當

第日記

之作者 賴盛 宗禪房目安往生年五十六

.延文二年丁酉六月日當寺聖靈會三皷



都 足 之沙汰 ハ以三慶玄法印 寺黑筒 心也矣 7 御舍利 11 筒 桐 供,,養之,內仕之一 木 慶 前 大 法 師 腐實 進 禪僧 之料

已迄凡 此筒之鉛 文享保十年巳六月晦 日 年 利 リ享保十一年乙 一參勤 之序自言

法隆寺金堂蘑餃



東院上有

堂方蓮光厚品日見之院 地 藏 堂灣銘 與 福 寺 西 福

有

付 河 合 住 春 日

位

東向 北 立野 殿和 明 二社本來神前一人人 神 山峰 立野 隆 寺鎮守 也前向 此處」 信 宗神天皇御代鎮,座 地主神龍田姫龍田彦近比人神トナレルト云近比人神トナレルト云 龍 勸 請 新宮 也

不 西 --申 往古 良尊 ハ无 日 如 レ之軟線 斯 ナ V 起見 1 八 社 不少申 也 Ξ 八 所 綠 起 緣起 = 見

有」之卅八所ヲ入テ八社 田市 中斑 鳩側寺在 之等徳天皇御宇 HI

新宮

為..法隆 医寺鎮守 '. 寺近 座 給 依 神 與"太子 御誓約 也

殿 中二月 南 向 一御前火神東 御 前風神 西 殿 間 四三東南南神向

殿二月 龍西 田南 姫向龍 田彦 殿次西南 吉向

七所

レ之四 前 云 右 新 R 宮縁起 玉津 字不審也四 嶋 寫也 朋 神 一所ト云 也 良 ŀ 尊 聞 日 事カ四ニ 大 神 四 1 所 ١, 者 御前上 也 住 Da 吉 御 也 云 前 事 ŀ 兀 歟 有 御

候立野ニ 村 == イ カ 4 ニ合御前 キノ外 テ 悉參 ノヽ 今御前 東方ニー社二戶是ハ不 ノ宮有レ之八月十二日 ŀ 一候云 æ 廣瀬明 社性ニ在」之八月十二日 神 7 殿 見不 = が知 中 在 所 曲 候 廣瀬 間 人 參 是歟 候 = ŀ 村 緣 曲 北 中 承 所

宮綠起 良尊法印自筆之寫合,披見又寫之者 也

享保六年辛丑八月十一日上遷宮覺賢善光院遷宮 門院遷宮元祿十三年辰良尊法印 比 新 ハ仙尊 法印地藏院遷宮寬文十 者古來 3 リ法隆 性侶 遷宮 二月二日也 医寺之役 **业** 也 ·覺往普 放 寬永

一傳曰建,諸伽藍,文口决云玉林抄 塔婆 金堂 講堂

阿彌陁院 樓 經藏 實秀自筆伽 僧坊 食堂 施集奥書有い之 此七種 ヨ云二 伽藍 也

>調之放管 粒請 收則當寺衛毛僅 後之仲秋比| 美濃守秀長依 天正 + 四丙 戌仲 用意為伽陁衆 一千石分被, 充行, 仍 春 十四 一夜於 ||御入國| 諸寺領太都沒 ||燈本| 寫、之抑從||去年 分 出仕染筆 御 報 恩會 資秀三九 難

當寺知行五千百餘石之所天正十三年羽柴大納言殿依二于入國 知行改易之刻 國

牛玉箱傳法堂有,之故堂司為,考合、書,記之一 法隆 牛玉箱 一候 石繞

上宮王院

貞和四年戊子九月廿七日 堂司實俊大法師

> 文庫證文櫃此消墨之寫有之之 天文十七年七月廿六日宣旨

宜為法隆寺

藏人頭左中辨藤原晴秀華

鐘

永正二年乙丑二月十七日 河內何條子息 **梵音伽陁稽古不參帳** 定

享保十年 ・ニ 寫之 之

忍辱 錫 橋 六十七歲寂 ナル 鳥 子後中書王具平 ス是ヲ 随尊ヲ禮スルニ信心肝ニ銘シテ安養ニ至ル如 修 大僧正寬逼其濫 年僧正高野山 ラ此 ジ作 羽 ス毎日懶陁厚 第七十九世六條院御字仁安三年六月晦 山眞言 傳ラ當 所 御 字勅シ Ξ 留 流之事 忍辱山 時ニ靈夢ヲ感シ 山 大 = ラ東大 親 詣テ大 ノ --觴也第七十六世 二密法ヲ弘 王 流小 中與本尊彌陁尊 1 寺別當 孫前大納言源師忠卿ノ息 當寺之眞 師塔畔有テ ス 僧 × 廣澤六流 テ當山 二任又東寺 E 近 言 ハ村上天皇第七 衞 往生 三來本 ス佛 院 流 御字仁 1 ハ 仁 ノ長者 一淨土業 一定朝法 義 目行 賃 和 平三 阿 ヲ シ 年 也 起 削 彌 ヲ

申

世後 天平 來朝 主勳 市市 3/ カ 護 作 給 條院御宇萬壽三丙寅年 ٤ w 丙午五 伽藍 也 開 ヲ tli 月十日寂 此 虚 所 瀧 = 和 建立 尙 ス ۱ر 、數百 命禪 聖 3/ 給 武 年 Ŀ 御宇 有三 人 ヲ 八再興シ 經 一歲 鑑 テ六十八 真 錫 王 ラ留 律 師

管公 宇 合 古人 ヒサヒト 清公式部 天穂日命十四世 始賜菅原姓 文章博士 文章博士

原姓へ元へ土師氏也系圖ヲ 見ルニー 是善參 議 聖廟北野天神

惡利 菅原 家菅原秋篠ヲ一度被下候ニ 姓 12 原姓 12 ハ元 ŀ 云 ノヽ 土師 玉 有人之河 游 氏也 也 內國 系 六年沙汰トシテ 圖 覺 之土 ヲ 見 師 ılı 心法即付曳付ニア 城國 古 人 之土師 始而

一夢殿悔過文臺之銘曰、享保十一年二月十八日寫之

九重殿之御筆天文廿二

正月日施主堂司公祐大法師

當寺宋寺北室院住持物帳之與書政庫證文櫃二本天文廿二丑年ョり享保十一年迄百七十四年

衆實嚴 永 秀 ĪĒ 興盛 十三年丙子六月日 定譽 懷 祐 奉 行 于、時沙汰衆實弘先沙 衆 代公文 信 舜 信 譽 曉

奥 喜多室 英 同十八 付之面 永正十七年 二天文玖年庚子三月十八日沙汰衆英秀公文代快 寺先住 年辛 校學 庚辰 · 已八 持 秀海 月八日七則奉行衆 八月十七日七 筆師 新寄」進道具日記等二云 曉秀公文代猛海沙汰衆信譽 當住持現譽逝去之間 介,會合,悉以,引

元和三年了巳六月廿七日 西大寺南室二北室住持證文與書

公文目代御房 沙汰衆御房トアリ

法隆寺 御齋 曾 金剛 表白 與書之寫本紙八舍利殿御 院師 範權 少僧 都重繼之依 執筆金剛佛子性盛 雖 ル非 レ難レ背レ 極 能 仰如 筆

八十六年星霜久積杇損最甚而問恩僧捧,,少財,水精右一卷者自,,元應元年己未告,迄,應永十二乙酉今,元應元年已未五月廿七日於,,片岡上生院,書寫畢

訓 隆 有實

尊

寶定酉學脇願 光 恩園 助舜

院房院房

律師 法印 法

覺 良

元賀專淨房

法 律 律

ED 師 師 威 軸 光 并 表紙 紀 調レ之是 則 為 奉 添 上宮 は皇之

- 為、餝...自身佛果之覺臺 和

實 白敬

權 律 師 有

元嘉奉表自 匹記元 加工 年 辛 權 少僧 11 都 九 重 繼 已 初 + 三云 荫 12 重 繼 僧

酉

月

日

都

他

+ 四 『歲云 Iz

禁裏 御 福 之書 翰 數追 之而 儀御 各輪 々ニニ 御通 調之 候寫 而一 御紙 別無當之 工候 上御 可粉

去候由 宣 = 被 月 少成二 候 十七七 井 H 若宮 御輪旨 於 御 方樣 一條被」抽一升誠一 御 怪 元 異 服 御 同 愼 御 議 嚴 讓 付 重 位 御 御 被 懇 祈 成 祈 事 各 御 爲 勅 12

和

長判

專祐

9房得業中道院年丙午六月廿

H

豧 任

法

隆

九

月十八日

近刹

房

印

源

重

一禪念光房

舜

代殿年

御師會

利內師

預有御

衆之房

厨五

B

出

度被

二相心得

可,申入,旨候恐

R

謹

曉預圓 圓印慶 海 海縣與一种原際與一种原際與一种原際與一种。

明

王 院

曉 興基

> 北之院源 慶賢闕分補任 金剛院 舜 音房 識 得

業

預

- 依

二講衆評

定

彌勒院 坊 實 舜 春 房 房 僧 得 業 都

快 普良中舜 辦林寶學知順 曾 門學道周勒學光舜足文門順 院房院房院房院房院房 院房院房院房 律師 僧都 律師 僧都 法印 法印

慶賢 懷 占延金順寶學 祥音剛學光延 院房院房院房 得業 律師 僧都

H 文明十八年丙、文明十八年丙、文明十八年丙、

所

任

国 高 實 勝 房 律 師 文 明 十 四 年 壬 寅 六 页 元 时 之 坊

律師六

八月计

上房律師 年癸子六月二 預

圓祐法師 清霄法師 懷舜	梵音衆	良弘法師 有尊法師	堯清法師 長英法師 行有	支勝法師 快乘法師 信乘	甲衆	實俊大法師 繼圓大法師	快賀大法師 隆慶大法師	權律師有賀 宗基大法師	孙 衆	讀師 琳覺大法師		定 聖靈會色衆事	懷曉同年九月任	堯譽天文四年三月任	榮重天文元年壬辰八月廿四日	賴實享祿三年戊寅卯月十四日任	長弘大法師	9年 英	長乘
法師			法師	法師		祐海	印舜	訓海					四	知	金	四	10	花	政
慶賀法師			淨秀法師	實秀法師		大法師	大法師	大法帥					之院春觀房得	房	副院住長舜房律	南院住聖禪房律	伽井覺賢房得	園 院延光房律	藏院宗恩房僧
													行業		伊師	任師	行業	停師	都
淳算法師	清經法師	繼覺法師	甲衆	訓舜大法師	禁秀大法師	權律師良如	衲衆	講師 權力	左方	定聖靈會	長官權大學	寶德二年二	右依、例請定如	定懷法師	宗第法師	覺舜法師	錫杖衆	清眞法師	快圓法師
香	曉	慶		剛懷	師寬	快慶		小僧都		曾色衆	僧都法	平二月	定如	重盛	顯實	淳清		圓海	慶清
重榮法	懷法	舜法		弘大	清大	意大		一覺清		事	眼大		件	法師	法師	法師		法師	法師
師	師	師		法師	法師	法師					和尚位	日			有美	琳连			清解
	嚴快	隆實		賴祐	清舜	良海					TY.				善法師	清法師			實法師
	法師.	法師		大法師	大法師	大法師	٠								施圓法	琳秀法			源祐法
	順懷法師	舜清法師													公師	公 師			任 師

刻

加

修補

墨志

趣非

他

偏

報

恩

謝

德寺

中

再

興

一寶

兵

為 法 法 師 時 隆 慶 基 長 411 永代 五 曆 綱 于庚 封 倉江 月廿二日 寄進令:奉 法會講 納 師 者 法印 也 祭甚 白敬

以 Ŀ 切 ~ + ノ袈裟之銘文也

御

詬 件 初 一架装者 豐氏 太閤 殿下北 政 所 御 方

歸

依

TIT

聖

靈

會 持之寺物 御 執 行 一綱封藏江 之刻講師沙汰之間分 寄進奉納之處也志趣非」他偏 三新調 **郢**則 為 永 是寺 代住

家長 人 三寶紹 隆 矣

慶長四年己 地 之孙 衣 之銘 亥二月 文 也 日 于

服 官 常支配 權 大僧 方 都 祕 法 服 袈裟之銘文 大和 尚 位 赤白黃切 雜 衣 也

長

進

上法隆寺

平靈會衲

袈裟

實站

法

師 衙

琳 辩

面 師 師

海

法

法

行

清

法 法

師 師

清 即

秀 瘿

法

舖 師

韶 衆

順

法

信

右

法

右

依

請定

如如

件 英 清 盛

德 例

三年二月

₩.

H

順

法 法

師 師 師 瘝

法

快

算 海

法 法

師 師

院賢

法

師 師

重

法

圓

錫杖 官

帖天文九年庚子二月 施 主 量 乘自敬

當寺 之刻 會式 加 今年 補一 则 綱 太 封 閣 倉江 大 相 奉 國 御 寄進 芋 息 秀賴公 志趣非り 御 他 執 報 行

思 訓 德 三寶紹隆 基 者 机

慶長 五. 式 今 唇手 车 月 太閤大相 1 日 國 御 子息 師 法 印榮甚 秀賴 公 白敬 御 執 行

> 時 法會 講 師 法 印

榮甚敬

弘 北 Ŀ 室 |棟 永享八年丙辰卯|| 後花園天皇御宇 院 上棟之證 文 也公文寺主快延 四 万月十五 簡 末 寺 日 大 大工 T. 五. 搬 等者當寺之進 師大 之書付 法 師 有 慶尊之

退 机

郎 住 古持榮賢 助三 郎 左 次 門次 郎 大 郎 夫 **彥四** 助 次 郎 郞 大夫 門 太郎 六郎 九 郎

F. 次 棟 郎 北室之進 法隆 退也 寺 北 室 番 匠 阴 應三 衆 一年甲 彦 $\bar{\mathcal{T}}$ 寅 郎 大 七 夫 月 太 日 郎 於 大工 Ħ. 郎

三郎 衞 Ŧī. 郎 郎 大 彥三 夫 郎 左 衞 門 左 衞 H. 門 郎 次 次 郎 大夫 郎 太 郎 次郎 鶴壽 大 九 夫

處也彌

當住持禪慶

明應七年二月廿三日龍田會執行也去年夏祈雨之立 願 机

講師

法印

懷舜

衲衆

權律 師 國海

圓慶大法師

與基大法師

秀譽大法師 衆

榮弘法師

快秀法師

慶尊法師 懷俊法師 嚴譽法師

與禪法師 信舜法 師

長專法師

實信法師

梵音衆

舜秀法師 錫杖衆

順祐法師 信秀法師

右依以例請定如以件 明應七年二月二十三日

長存法師

元友法師

朝甚法師

補任

法橋曉弘

敟此補任有"綱封藏, 是曉弘北門瓦銘有、之人

修造可以為,,肝要,處如件 右今度依、被,講堂與隆 一所、被、補二彼官位一

當寺阿彌陁院權現樣御宿之事 天文廿三年甲寅三月日 年 會五師英賀在判 駿府記云慶長十九

寺阿彌陁院,十七日率、兵陣,于攝州住吉, 幸村,依,旅館狹隘,移,營奈良, 十六日宿,乎法隆年十月十五日卯刻東照公發, 軫二條邸,未刻至, 木

駿府政事錄說同上

經"關屋越'陣"子住吉'大坂軍記曰慶長十九年 十月十五日東照公赴"大坂

附之勅書此印十八押、之(極近八下二頁、御)御重寶之具孝謙帝當寺御寄附有、之其時之御寄孝謙天皇御璽印之圖ナリ當寺綱封倉七聖武皇帝

永和年中兩戒師 古衆 夏一戒師

之記錄二兩義之次第等悉記有之由也

渡之候事有由

一元和年中ョリ寺役等行律一所ニ勤候事モ有」之由

下院自山高 後登 己 とと 一下院自山高 後登 己 とと 一下院自山高 後登 己 とと 一下院自山高 後輩年五德之後相勤申度所 存候哉如、斯實 と 一下院自山高 後登 己 とと 一下院自山高 後登 己 とと しんき

√下候由也為,後證,記、之畢

等有」之員長篠竹也 ・ 古今目録抄日 此金堂内太子ノ御時ノ自恣布薩ノ

東鑑日 承元四年庚午實朝公

十月十五日聖德太子十七箇條之憲法幷守屋道臣跡 記將軍家日來有"御尋'廣元朝臣相"尋之'今日進覽 奴公田員數 在所及所\被\納"天王寺法隆寺'重寶

云々

無佛御影, 一同十一月廿二日於,,御持佛堂,被\供,,養望德太子南一同十一月廿二日於,,御持佛堂,被\供,,養望德太子南東院含利殿事也

建曆二六月廿二日於"御持佛堂」被5行"聖德太子靈

會一

後代,寫,之餘者衣,被要,文字不,見法隆寺東院緣起之切在,之雖,不,全備,為,

契自覺慨,,世俗之暗擊,慜,佛教 | 《安子不》見

五百二十三

於一此

E

領生絹肆佰疋譋綿壹仟斤長布伍佰端『聖德尊靈及今見天朝·講·讀法華經 斯 院毀而 院 卯,夏四月十日即命,正三位藤原總前朝 失所翼 春宮殿下智邁口 之賜骸 厭 殿 荒 - 廣集 ||有生||自却 也 墟 天平七年歲 日 無二餘基 巡 流涕威歎途奏: 天 法徒一將以弘一聖教一與以天平十 二化丹階 應 幽寶庭生二千齡之綠苔 地 一自塵 感 一
整路
荒 □德倫,,舜 選1日 在一之亥十二月廿 放 境 光 夙稱 題 元而為...兵墳, 聞 揆之弼」諧 祥 日 也 無 春宮坊阿 一佐:機紫極 三聽覽 徐暇 於、是法師 沈沈金 H 倍內 施料衣服叁拾 臣 春宮坊 - 懼 -移 悟 年歲 親王 伏惟 地 敬造: 萬年上宮 積 寄二心玄 行 無 在1己 奉:為 :信覩: 常 物之 萬獸 永

法 隆 寺

聖 開 院

道 師 賜 等施用已盡以後天平十九年二月 行信率 慈 也 法 師 卽 被二 及僧尼三百餘 =皇后宮軄大進 令旨,天平 人 八年歳 安宿 一始講 倍與人等 在一丙 件 經 子二月 所二 津 請 一、織住 施 講 # 賜 吉郡 師 衣 律 H 服 師 法

平城 謹奉 請攝 僧 亥.十 年請,僧敬設 レ成…所求.現 識 寺等講複 下藤原朝臣八束口宣 送僧綱一即以二件表一奏二聞 時誓願此 田 網牒 地 -横窮--禀氣--同 論幷修 漬 | 勅旨 | 天平廿年歲 拾 一月十 解得 事與 - 僧例 伍 多羅宗 in ·· 支蕃寮· 牒云 二法莚一講複相 三天 播 日件法 奉行如少件 摩 蒙 地 隨 國 災難後生思趣 = 此 m 賀 ·精舍構 - 傾奉= 華修 在 福 古 無以絕並 三戊子1 二月廿 郡 被 多羅欲、成二官事之表 續爱以天平十九年歲次二丁 共證二大覺 聖朝,乃十二月十四日被三 狠 |治部省府| 傾奉 自 勅旨 H 日 一个以 地壹 一者 月 - 傾大安 後永 佰 | 若誤||此願| 也從以彼以來每 而長榮縱該 MI 二日准:元興 爲 施 恒恒 納 :從四位 賜 ij 中二 也 不 所 卽

宮治 天下 天皇

奉勅 造院 臣豐成等 司長官 大僧 都 E 三位巨勢奈弖麼朝 法 師 行信

臣屬

Œ

七位

下

平

群

朝

謹 官裁 造 此 院弁 墾 田 等 法 師 行

1 座 僧 法 叡 備

寺 都 # 那 僧 僧 介 慈 輪

天平十九

年二月廿九日三

綱

審 不 師 聖靈會濫觴以」是可」知天平七年二始」之則道慈講 至 右之本紙在三彌勒 之者私之了簡也今般加入點置也此書未曾有之書 之印 111 可也天平廿年前道慈 衆 **分曳付等ニ天平** ۱۱ 書不思議合二就見 料 紙依二 院 享保十二年春命,借用 破 壞一文字不見之印 廿年道慈律師講 ١٧ 一之間疑滯速散 遷化也予此事多年令" 也又以 師 之墨 7 有 寫レ之 朱書 w 不 11 ノト

法與元世 妙果一 於床 微 仰 三月中如」願敬造 温 依 日上宮法皇枕病弗、愈于 , 一寶, 當, 造, 釋, 像尺寸王身, 蒙, 此願力, 轉, 古令目錄抄, 不過之字入, 非君子子等及與, 諸臣, 深壞, 愁毒, 共相 真途共・彼岸・普川遍六道法界合融 | 得川脱苦綠 | 同意送共・彼岸 普川遍六道法界合融 | 得川脱苦綠 | 同信道知識現在安隱出生入死 | 時隔 | 奉三主 | 紹川信道知識現在安隱出生入死 | 時隔 | 奉三主 | 紹川中如 | 願敬造 | 釋迦貪像幷俠侍及莊嚴 | 具竞乘 | 斯中如 | 原敬造 | 釋迦貪像幷俠侍及莊嚴 | 具竞乘 | 斯 二月廿 住世 法隆寺金堂釋迦光銘 一年歲次,,辛巳,十二月鬼前太后崩明 間 日 若是定業以背」世者往登二淨土一早昇二 癸酉王后即世翌日 食王后仍以一勞疾 字員都百九十六字 法皇登遐癸未年 心並着! 年正 發願 病 延 月

> 大命受給而歲次,,丁卯二不, 堪者小治田大宮治, 欲、座故將造、寺藥師像作仕奉詔然○ 池邊大宮治,,天下, 召,,於大王,天皇與,,太子,而 天皇大 年仕奉 天下こ 御 誓願賜 身勞賜 大王天〇皇及東宮聖王 時歲 我 当当と 大〇 時二崩賜」造 次二丙午 御病太平 年, in

同阿彌陁佛光銘

奉鑄

題

觀世音菩薩

阿彌随如來

大勢至菩薩

勸 降 之永隱 石 造進 去永德年 百 餘歲 |非|| 营 方施主 寺僧等每人見前須 1 3 白 一寺之含非 磨…瑩三尊聖容 一波入 …金堂」侵…佛 爭无: 爾座 之空殘 像 四隣之傷意」依と 盗 三道 - 屢悲 具 一端嚴像 自然以

于時寬喜三年辛卯三月八日 詩務之時始鑄〉之

貞 則 へ永 斷 伏 乞本 恶 元 年壬 脩善之道漸 頗 聖靈 辰八 月 納 以滿 Ŧī. 三受面 日 足矣 寺務之時供養之 一々墾志 仰 願 人結 本 间间 [[1] 彌

法隆寺夏訓補忘集

同

樂使

師

如來光鉛

Ti.C

五行二堀、之

行々

Ż

之即

+12

11司馬鞍首止利佛師造

貞永元 年八 月 H

大 大 佛 勸 師 進 僧 橋 觀 康 勝 俊

右之銘等予直参二金堂一拜見寫」之享保二 、壇四 天王光銘 年 事也(朱書) I 平國

池 方 天銘

北

方

天銘

同鎮

薬

師

德

保上

m

鐵師

再古二

人

作

也

持到了

也同

口 大口 一費上而次木開二 人作 也 丹開 門上關也

朱書注)日本紀李讓天皇白維元年是歲漢山 口眞大口 奉知 刻手 佛

云 (同)元亨釋書(資治表孝德帝)日 又記 三漢 111 П 眞 天口 刻 手 佛 像 云

末寺

岡

元

法

起

寺寶塔露

盤

銘

調 依 子 造 一年戊午 丸子 像者調 加 三顯眞大法師 #八代孫 語同 月 御 孫 下 光 九 子丸子 相 旬 北葉盤 年三 傳 始 个十 本 一月十 一尊六臂 孫相 旨補 柘 傳 榴 之 H 五 之劃 花蓋 參二聖靈院 之本尊也 如 日 筒 安置 意輪 不 申 當院 寶 日 大 座 珠學和宗和 一方座始 去 座 之次 正嘉 之銘 爾

> 願 14 大 省 北 丘 叡

行比

盛

遍

後諡二與正菩薩 、朱書頭注)此像修補事 太子尊像 ,從,正嘉二年 御腹 白 拍 暹 子 敬自 内 至 記 **L**委細也 白人推古十年十月共,沙門雲岸,之經與,書師是四卷,二別萬入之經與,書師是經濟與經濟與 享保十二年 印印 . 凡四 思圓 ŀ. 人中 僧也

當寺寶 一字多隆選云僧數 來云々是等僧數但僧 隆潭 人物金山 寺 香 爐 銘

重大師 垸一 伊 大定十八年戊戌五 次加女納 座 惠琚金山寺 一臺具都重三十斤入、銀 絲殿前 大師 尚乘府內承旨 月日造 仁 一美京 金山 八 丰 寺 人 兩 同 郎 楝 E 將金合 殿 梁祇 康 彌 信 勒 结 毗 寺住 前 成 候 妻崔 青 IF. 持 銅 香 氏

酉 Œ 大 代兄王勅:御願旨 之年 月 和 聖德皇御分敬造 露盤營作及民舒明十年平也 圆 太子聖德皇壬午之年二月廿二 寺碑文 -惠施僧正將 田 -二町近 ĬĪ. 三彌勒像 此 竟一御 國 山 H 本宮殿宇 卅 願 前一 搆,,立堂塔,而丙午之年 至 構立 卽 于戊戌年-處專 H 翩 金堂 為作 前別之時 至 福亮僧 寺及: 一於山 于乙

上宮太子勝 東院繪殿前金燈爐鉛 鬘講讚之砌 千佛 涌 蓮花庭前下

奉施入

法隆 一寺上宮王院常燈 爐

貞治二年癸卯卯 月十八日

大講堂前金燈爐銘 大願主播磨守赤松 前彈正 小驹源氏範 倭漢沙門知由車 天智字 H 漢沙門知論造,指南車ー 日本紀天智帝五年齋明四年 漢 織 吳 織 日本紀推古十四年有ゝ之 - 獻語南

太平武蓮長久驅壽强健 征夷大將軍源公祈 ... 祝天下

法隆寺

靈前 為

謹獻

二永代堂燈爐於大和國

者也

元祿七年甲戌十一月嘉辰

改、之行秀年會之年也日記在、之 南大門外東西築地 下道幅之事實永七 年極 月廿 日 1覺峰

西端冥符之際東者福井之際其南 リ南 哥 儀 汇 桂 丈七尺五寸也各 昌院 成本庄氏 舌が に此年 側築地之根 杭打之墨 石外

東西 同 Ili 六町 林 之境內 五 一十八間

育 北 四 MI

三十八間

南北 町三十八間

東西

町十三

南 北 三十五

間

東西

+

同

鎭

天滿

Ш 間

同 墓山

七十 間

南

北

七十間

東西

極 樂寺

6 置 本境內 一五間

東西

南

北

町十六間

五十 間

東西

右之通先年公儀 書付上

南 北 五

干 間

松馬場 ۱۷ 長二百 一十間 幅 兴間

並

沉水 香之重目

沉 傳幷玉林等明レ之サレ 水香先載 モ六十 寸方 水 太 香日 佛 一貫五百目長 本第 像 ||第一||名稱日||法隆寺||又名||太子||委平 一種有:名香,其中撰:十一 御 刻クズ有、之香目二百五十五 一之名香无,,比類,靈木也本朝香目 一尺九寸方七百八十目 木方目 貫三百目 種一為一其長一沉 目 長二尺 沉 氏 錄

隆寺

々中惣境內之覺

伐 近 月 騎 <u>U</u> 由 图 1 加 年 見 上慶 四 日 - 勢與福 記 上書有」之寺家へ 「月廿八 12 田 見所 叉阿彌陁 信 是公時 日高倉宮御謀叛之時 一古老 花 〈奉』寄進,享保十三年七月 旋院 伐二 所 院質秀自筆之文 良 傳 沉 賛覺 水 也 香 書 T 天 法隆寺 JF. 司 ハノコトナリ上候日 天 代 八 正 瀧 年 衆 年 庚]1] 徒 1 左

永祿 源 安元 霏 二個別當 寺俗 行 + 四 任 年 年 次第 年三月十一 別當之事 之此人陽成院孫 F 拜 申 日 堂 記 -三 延 帝 一月廿七 王編 日 FZ. 度 筒 君 兼 行 Æ. 為11別當 井松永法 延務子 載 別當之儀不、見 日 之正 治 也 隆 任 四位 後 寺並 四 之次 年 冷 P 東 泉 松 Æ. 大 大 合 朝能 븏 和 戰 辛 在 守 酉

·\$. 薬 3 < 5 は 32 Ó h 0 枝に 太 7 まの 藤 子 0 可靈寶金剛子が 0 カコ 3 け 6 さうぞく てこ だらよりえ給 め などに げた h たるをすき なりの てまつりたまふ たる 珠 H 源 G. 氏 てところに tz りけ ぼ 者紫卷 カジ てそ 3 とも いない るこ 見蜻蛉目入之 1 0 0 御 3 國 h it < 1 ょ カジ 12 古 b j 15 る C b 12 5 御 ぎも n 7 0) 12 お Ŧī.

> 當 文 御 記 唇 弟 見 敦 考 年 家卿之為 :: 銘名人: 大納 乙未 七 月朔 言教家 日 安」置 由 是 **等也是** 藤 原系 院 屬 九 條 見 關 四 條院 白 道 家 御

當寺 等在 兵部 年 ŋij シン 卵順 7 學 行 月 領 计三 置 兩 元 人 Ш 日 (之 時 右之所 畠 貢 心心學文 町 百 五. 姓置 反高 小記 二六石此 一个1作 錄櫃公儀 役 開 者 始 御 清 延寶三 折 淨院 紙

當寺護法 餘二六寸一 四 利堂 講式 兩 御 講 E 相 足 摩 八 月 俱 殿 詞 --+ 有 陁 一歲之太子 國 Ŧi. 佛 日 相 於 足 + 石 指背 御雙足 御 經 腹 院一行」之賴站 內 帶 銷 跡 幸 長 文 云 尺八寸廣 H 12 記 出

敬白

唵

阿

噓

唱

逝 娑婆 号 繪師秦致貞

高三尺六寸一躰,事率、造,顯塾德太子御童子形御影

レ奉ニ造題 仍 右 為…自他法界共 一始、自二太子生年壬辰 也如公右 人成」佛 敬白 道法 _ 及 Ξ 治 隆 曆 寺 五 大衆 年 爲 五. 百 五 歲 所 來

奉入修,復御手拜衣裳等, 一章保十二年这六百五十九年奉入修,復御手拜衣裳等,

相

宗

祖

師

經當寺文庫有人

之繪師

覺

盛佐土

公

别

永德二年甲子二月十七日

民 部 公

康曆二年庚申卯月廿三日(朱書註)後園贈院御字康曆二

佛師舜慶

北 宝住持

奉安置

制哆迦童子

綵色清玄 作者舜慶

舜現房南都住 民部公當寺住

奉行比丘湛譽

比丘印秀

護摩堂本尊弘法大師銘文 享保四年十二月十九日寫5之 德四年"當"干支相違歟享保四年十月廿一日寫"之(朱書頭註)永德二年、壬戌也至德元年、甲子也即永

弘法大師御影 法隆寺護摩堂本尊

應安八年乙卯三月日(朱書註)後光殿院御字應安八年 大佛師法眼慶秀

僧舜慶

大願 主大法師印實

又二脇 士之銘

奉安置 於羯羅童子

法隆寺護摩堂

年中行事

禁裏御齋會をよめる

以下同"上文,故不、及、記

初春 の法 0 むしろをのへてこそ

君か八千代を猶いのりけれ

同

維摩會をよめ

新中納言

くたらより傳しまへの法のこる 大和もろこしき、絶へすして

當寺色衣着用之事ハ當寺僧侶ハ依以永宣旨」 金裳御行二 官僧綱之内,上首三口ハ色衣也 八門師着色衣則建長四年顯眞得業記錄 補一僧

日 但門師赤髮東赤甲袈裟云々此記金裳預入櫃有

和爾雅曰 蜂起見,, 于史記項羽傳漢書高祖紀,之此御行依、為,, 勅會, 種々希代之品有、之 鋒起一亦後漢光武紀冠盜鋒起注言賊鋒銳競起或作 蜂喻、多也

作=

法 隆 寺 良 訓 豧 志 集

五百二十九

ニ請ハ 三歲 母我前 二歲 八舊文 Ħ 母巫於,,御峯高泉 我母之巫,,安於西峯, 別御來臨之年季 IJ 3 威我奉 字此 ナ 元元 3 ナ巫ス ラ モ不と 古 二歳ル 卜郎年 IJ H 云^巫甲 老 左 午 年 ナ テ時二 ハ 候一雲 午 Œ ラ 西 違 則 卯 嘉 季 者 ト候ノ ハ 机 別 之處 出 IF. 申 月 畢 月 當 年. 嘉 岩薄と 什 \overline{H} 爾以 3 我 云 廿 戊 在 日 元 日 テクラヲ 之得: 午 記 年 爲 K 身者今年 是 儿 當々如 二龍 ナ 日 1 分 校 年前二 N + P 田 文後 朋 ^ 西 七 九 シ 便宜 = 八 年 シ 和 祉 テ 儿 シ 講 後 日 南 + 三ヶ御 = ラ 一直 甲心影 記 記 成歟 年 相 宮 ナレ ^ 歲 廣 尋當 ヲ 也 向 テ 珍二 披 成 歲 云 H (日 ~ = スハ X 爱祐社 右 罷 見 k 殿 歟 至 所 K 子 等 我 成舊夷 ス 日 丰 7 置勸 w 考 記 歲 テ 奉 我髭御 田參

類 元 癸 抄 節 未 元 八 用 年 卯 年 + 社 汔 集 3 年 代 部 IJ 四 F Ħ 後 # 廣 正嘉 ŋ 百 享 H 槕 草 計 大 + 元 年 十二 主 下 楠 皇 迄 鄉攝 年 E 廣州 年 廣 御 = 田武 汔 ナ 宇 H 村庫 Ŧi. 四 w IF. 二攝 二郡 世津 住西 年 後 嘉 俗五 ス宮 111 嵯 元 號位 + 一人勃 峨 年 五 院 3 年 御 ト使 IJ 享 宇 = 式--々前 寬 俕 ナ IV 元

田

[天照荒]

靈

住

廣

田

幡

四

南

宮

五

八

궤

神

一 詹 腔 短 見

業 御 子 南 H 龍 大 入 宮 記 日 記 其 廣 朋 H E 在 日 宮 肺 H 之正 + 御 等 御 龍 六 計 始 旅 H H 棟 奉 所 夷 本質乘房有之之 1夜當寺 上 工 御 奉 同 八 寬 蘢 移 參講]-元 田 當 -宮西 元 社造 立 問 年 癸卯 H 浦 替 座 戊 畢 同 子 Ξ # 月 番 同 御 已 歸 卯 士 日 E 巫 H 夜 顯 大 八 H 眞 明 夕 西 日 神 宮 甲

衞 此 萬 和 也 兩家 巨 古 而 軍家之幕 **巨勢氏之**二 當 州 一勢大 時 歲 覺 書 城 信 :後土 尉 百 勢 貴 主萬 臣 而 命 長 中 F 改 城 後 御 告 护 真盛 男藏 嵗 裔 主 乾 依 大有 門 計 前 大 備 松 和 ŀ 應 主 領 和 嶽 人 州 前 永 至: 宇 依 文明 守 彈 軍 Œ ス 橘 輪 長 付 天 功 勝 二萬 レ之三輪 則 Œ IE. 公 間 E 滿 為二 城 久 清 住 名 其子 嫡子 東山 Ŧi. 之一 秀之 者 終攻 後 武家 献 其 之神 11: 孫乾 義 冬十 先 類 幕 7 食 拔 政義尚公之治 忠 出 好,武勇, 屬,將 T 孫 主者巨勢高 孫 信 萬歲 卿 月 五千石一富 兵衞 并 松 同 城 巨 國 尼 佐 永 城 E |間| 隱| 依 乾 彈 人 松 景屬1 お為二 方住 永 間 Œ 右 反

法 隆 井 夏 訓 補 忘 集

乾孫 號 居 取 ヲ 衞 孫 11 市 工 ŀ ス 萬歲 兄弟 賜 內 被 ナ 太 大 都 新 ス W 郎 和 忠與同 兵衞 三人 3/ 死 右 并 其 17 郎 = コ 」皆以 州 去 衞 沂 時 法 追 正吉六歲 城 2 ŀ 振三勇悍 片 出一造作 江 隆 人號 此 秀吉 筒 門 手 ス IF. = 取 岡 嵐 上 一 箔 其 流 寺 ハ萬歳 時 景 非 ア川頂 末 ili 雅 化 西 施 斛 從 福 公家 Æ 和 fi. 城 文字 多勢 州長期 國 里 ブ時 ヲ 四 1) 島 1 番 郎 楯 一歲 大 東照 事 子藤 村 位 ノ大 備 忠 左 臣 = 籠信 鳴 雖 家 ウ智 乘 和 下 也 前 孝 徿 ヲ 1 = 當終 國 君 門 Ī 福 掌 右 緣 际 光 守 崩 朗 長公使 世 岩 = 杣 智 戶 叙 ノ命 大 島 **シ**/ 衞 萬歲 石 秀 楯 3/ 松 7 ノト m 夫 門 橋 籠 殊 日 永 松 シ 新 2, w = 7 字 一萬餘 向 義 海 永 莊 此 城 N 彈 ŀ 右 シ 大 TE = = 家 依 テ 則 守 細 和 シ 衞 時 清 乾 死 テ 老 久 = 門等力可 名父子 筒 F 守 テ 111 人 門 乾 ヲ 防 攻 秀 文 テ 1 チ 井 遂 戰 落 藤 慶 禄 來 屋 シ = ヲ 1 ヲ 細 カ 武將 預 娣 與 任 右 長 云 改 敷 ス シ サ ĴΠ テ 攻 者 末 敵 大 懷 母 ŋ 衞 四 ŋ テ シ 兵 フ シ 3 世 橋 βE 年 下 中 東照 子 ŋ 其 數 部 取 海 7 Z シ 之遁 隱 落 多討 新 知 IJ 井 時 ラ 2 同 老 Æ 細 姓 清 五 人 興 名 右 ス ŀ 君 ン =

> シ 家 代 代 都 春 秀 康 1) IJ 所 公近 大和 賴 中 喜 뒴 多 公 井 代 守 臣 見 大 ヺ 親 和 Ŧī. 善 ヲ 從一反古 臣 サ 郎 守 院 憤 3/ 也 右 越 衞 代 古中,取出 太 IJ 門六 ヲ iv 陽 1) 北 含 板 7 出故書以十二年 簡 4 御 倉 事 ŀ 不 國 伊 家康 云 大工 賀 幾 IJ 守 其 公 大 堺 丽 、後慶 坂 福 政 家 島 所 長 臣 7 新 何 IJ 7 右 力 除 衞 3

門

丰

京

斗四 廣 大 加 瀬 井 升 郡 安部 戶 村三十 村 九百三十六石 五石二斗 Ħ. 升 斗 安賀 餘 邊 池 村 屍 二十二石 村六 法 年 察

隆

寺

領

え

組

等之事

都 合千 右

學 侶 方高六百 六十六石六斗 六 升六 合 物与 成型 リ取 形. 百

Ŧi. 方高 石 三百 斗. 应 升 十石 合 物 成 IJ _ 百 四 + 七 石 Ħ. 斗

池 安邊 堂 村 村 家數 三輪內山 凡 入 九 組 + 軒 程 赤邊 郡 垣 Ш 內 家 法 數 隆 多 軒 五武峰 餘

> 入 組

享保 大 印 垣 各 + 內 法御隆藏 屋 丁未 會 席 年十 **秋郡** 之時 組 月 軸之文云

 \mathcal{H}

日

於三

東

大

心

光

院賢

法

同 呛 經 굸

不得 養之人功德 含利若 正等 圖 岩 or 沙 供

佛含利三 末寺幡摩國 建 (人五年十月十五 一粒奉 大部 少安,置東大寺 庄淨土堂,矣 H

造 東大寺勸進 悄 無 [in] 彌 陀 佛

印景時院予東大新禪院成慶四 右之客京太秦廣隆寺 問龍 權僧 人也 Æ 自性院 [7] 寺澄 圆法

知本命星事

武味破午

愁 名 何 • 重愛染王法 ノ奥押紙 有

王佛 Ŀ チ サ Z * 7 キ ラ to ン ス ヂ t 菩薩"、胃地 天等ニュデ サ イ ŀ ア ラ ン 明

Ŧi. 金伽扇種 剛多原本 伏益 阿布 是左置

鉤敬息召爱災 俱 施調增 噜迦 迦

疊字珠光之間, 右膀手薄茶出 庵墨跡 筒 三鷺 白梅生次マ三枚北床一間東勝手フスマニ枚 | 南線障子二枚西フス | 南線障子二枚西フス | 京保十二年丁未十一月十日 周龍澄圓良訓實雅 冷ニ享保十二年丁未十一月十日 周龍澄圓良訓實雅 冷ニ 入,,于數奇,後緣於,,四疊牢, 鷺之記令,,披見 天祐之筆

羅一立二水三

日五

外題二 鷺徐熙之筆慈照公之遺愛軸

也

奥書 白鷺綠 **| 楽圖** 記

屋額

寬永十六屠 孟 龝 上澣如意 是維單關 珠 日

厖 僫

通

五分面 3 = 二尺竪九寸 子 リ石

手水 石 高 湖 山夢 伴

四尺 寸

五百三十三

ヲ直 古 五 = 叶 方 來 德 曲 = = 3 爐 周 リ座 爪 龍 ッ ٧ ر 置 物 ソ 客 = 依 1 語 心得 爪 ナ 也 テ 7 ŋ 候 テ フ 風呂 = 七 亭 テ 主 樣 ۱ ヲロ 違亂 有と 1 左 スト 之候得共只亭主 1 爐 無之也 方 = 候 風呂 足 ヲ 1 可 五德 其 1 左 置 理

書院 釘をうち花生をか 張付有」之候へばつり花生をか うつ也數寄屋にても南部松 いはつニ花生ヲかけ可い 床 派張付ナ V ハ け可」中 張付 = 申又かべなれ ハ釘ヲ打 也 屋 ノ數寄な H 申、歟又床柱 ~" カ どの ば ラ 惣 ス j 而 候 Ξ ž 釘ヲ 必す 扩

薄茶壹 に似 しよはどんすの切の 12 斤 h 御朱印 目演百目 切 事 ノ事だれたるに似たり 竹屋町切 カコ ちよろ 之事 0 関わ 初 か 43 3

人す召京都にお 羽 織 之由 也 松屋鷺繪表具珠光 純 子 中 風袋 会東山殿間時代ノ切唐

花鷺ニトハサ 歌 御 = 一筆ハ徐 が凞立三つ 半によこ二覧に 浮 草 水 なき 0

地 藏院覺賢 也元禄 分弟子 十二己 卯 法 年師* 卿公か 月 7 藤谷 七 日 辰之下刻逝 中 納 E 為 條 去卿 之

> 伯馬民 书懷阳 更能把 奉弘院 阿於陷點 西南照 雪船 型出版 學衛 电图系 杨坊 政藏院 宝光堂 中 院 「雨花 完 立室 節議院 医福息 田田登 例对影

京 太秦廣隆 寺 最 勝 院 擅 鏡 令,, '寄 進 鏡 裹

小御

八門

寸御

也世

明 維 享保 應 十二年 年 北 室 迄 在 僧 百 禪 慶 廿 證證查文 八 年

曆 憲 應 專持信 三年 庚 辰 + 月十 H 維 摩 會之で表 庫白 記之錄奧 櫃書 == アカン之 講 師

慶安四 年 大猷院 樣 御 諷 經 應 永 + 四 年 四 月 + 日

隆 惣 境 內 覺寶藏有」之繪 6 過之拔書

蹴放 一寸道 御 放 西 七 阳 シ 7 テ 蹴 7 ۱۷ 7 テ七 九 1" 放 三町 漬 一十三間 八 シ 間 + 六 四 3 二間町町 間 壹 IJ 間 三尺 頂 尺 西 二十六間 尺六 天 門 九 7 蹴 中 四 放 間 脚 道 V 蹴 テ 門 ハ 放 南 蹴 東 百 10 院 九 北 放 シ 七 間 3 百 硘 IJ 廊 IJ 四 五 東 內 間 尺 南 拾 御門 貮 五 大 門 4

——眞

一血二書 2經プラー 第八巻十三丁ラー 一二代質録日 ラ 求 E 背 知 智度論十六愛法梵志 「德太子迎」前 得斯 身舊 時 讀之經 世 1 佛 年 法 於 閣 南 ナ 力 浮 岳 ŋ 提 云 シ ヲ 12

四

間

東

西

毌

レ偶 然ラ 110 ク 1) 時 汝 汝 ハ ナ ŀ 11 ガ 授 著 IJ 云 傳 皮 王 實 而 17 レ之於 w ヲ = 愛〉法 = 紙 ア ŀ レ是愛法 リッケ > 敎 遊 汝 ~3 糴 力骨 シ バ婆羅門云汝若シ實 門 梵志即 ŀ 1 ラ第ト 梵志對テ日我實愛〉法 我 一破、骨剝 聖. シテ以い血書 法 1 レ皮以 偈 = ヲ ÍI. 愛 ~3 细 シ 希 セ V

身 發隱 肉 梵網經心地品 = ÍIL シ 命 ナ テ w ヲ 命 寶無價 終 物 捨 根 釋 以驗 ヲ = テ = = 捨 係 云剝」皮 ハ 香花 日 流 **杇敗ス故ニ** テ E 受 為 ノナ , 二通慧命 沙水折 持 成 刺り 切 讀 v 就就 Í 110 雜寶,以為二箱靈」盛二經 誦 大用 世 也又 世間 ŀ 大 為筆書 間 乘 也 無 此有二) 用 義 至實 律 1 云 一剝 寫佛 ナ Æ 四 義 大 ŋ ノ 皮 人其至寶 戒 依 ŀ 為以 義日 身虛 乃至 ス 律 其 紙 文 無 假 MI. 刺

牛俗用 底 名"大沙門人中 w 7 梵字 沙佛 Ė 此 一寶印 ŀ 法 ラ刻 Æ 不 正修 牛王 テ 丈夫 冝 旭 EII 4 4: ラキ ヲ ŀ 牛王大 王者 Ė 繹 w 1 佛 王 = 沙門 實印者其本尊 丈夫 異名 也 一ノ義 故 公云牛 ナ 面 名: 牛王寶印 = IJ 同神児經 取 涅 又婆娑論 テ 槃經 古 來 據 七十 種 云 V 12 種子 ツ而 如 IJ 來

文聖德太子御廟〇造立多寶塔曳夷地形堀出了聖德太子御廟銘被、埋、之 朱點有宗入道

石御證

〇也

右之石碑

掘出事幷太子御篋之事

·委拙

僧

所持

之題忠

起

註

子ヲ 經 ノ諸尊種子 種子 說 誀 ノ北字ニ禳、災除、疫 ŀ ŧ シ 面 亦准」之符印ト テ國 頂 E 家ノ災疫ヲ耐フ 佛 面 ÉD ノ功 シ In 來レ 能 彌 爲 7 陀 ŋ ナ iv 集ノ説響 = ヲ ŋ 以 此 テ 回 以下 兹餘 此種 彌 BE

候而 之所此度類 文字屋五 尋 軒計燒 十五庚戌 二安否一候此外公家衆類燒有」之候 兵衛 畢 燒 花 也拙僧為二猶父一候間早速 ŀ 年六月廿日京都 園 申 四宰相中 黑田 筑 將先年 前 亭 殿用 上立 一禁裏炎 一賣室町 所 3 見舞 上以 リ出 西 來町 火三萬 ~ = 、入大 遣申 宿

或

j

御含利殿梵網 諸人始テ拜見殊勝々 料足滿寺貞治二年 \被:\披卷\令:\破損\之問箱被\入定之後御 二卷外題御 .懸之樣滿寺有..評定. 今此箱ヲ始ラ所.. 經 手皮為...往來拜見..被..安置 新箱出來之事 癸卯三月廿二 々云々嘉元記載」之 日出來御 太子御真筆梵 舍利講次 經 而 造立1也 毎度依 = 手 網 ヲ 經

也江戶市谷之藥王寺也江戶市谷之藥王寺

自,推古帝治世廿九年辛巳,天喜貳年塔裝起立之日者聖記起注之文叶,年記一

四年從二天喜二年一享保十五

年迄六百七十七年

迄者

四百五

十

而

出

R

王 石 | 断惡修善道漸以滿足矣繼牙今年歲次,,辛巳,河內一千三百餘之僧尼,製,記法花勝鬘維摩等大乘義 題二佛 為 吾入滅以後及..于四百參拾餘歲.此記文出現哉爾時 大臣發:起寺塔:願 川郡磯長里有..一勝地一尤足..稱美一故點..墓所.已 利 法 4 公成 出 彼 德 衡 Ш 一人一此 處 口佛 12 法耳蓋銘也 造二立四 日 域降 十六箇伽 ,伏守屋之邪 監心! 見

疏度終

吾

天喜寅 砂 管粒講式日科長御廟者七佛之靈地 」他近||巖崛|| 者拜|| 聖棺||而知|| 彌陁 、正雖、難、見分」推量分濟記、之畢享保十五年七月廿六日 右古記文之寫在、之依、蟲喰、文字不、見又者字依、 惡 參籠之夜者三地發光之位感,奇瑞,而 篋之為と 者見: 靈木:而信:大 僧 《年歲次甲午九月廿日未時掘口 忠禪掘,出之,依,御廟之住僧說,記、之 開門 非 . 无 非 乘四 石 而其色白或人說珊 榮之理 勝い餘全身遺留超 加加 處也 三尊之位 證得天喜一 之弘仁元年大 湖場云 一跪三庭 不 年 K

業之秘 戴」之可」見

王卅四 夫 本 朝大 友勘六親 代 推 和 古 國 法 天 皇治 隆 寧問 天下壬戌曆聖德 一寺之附 馬 陰陽 太子州 師 之 根 源 歲 者

月百

濟

僧

觀

勒來

仍貢二曆本及天文地理遁甲方術之書

爾來至 者 於 日立學 史祖玉陳習,曆法,大友村主高聰學,天文遁甲,山,也是時選,書生三四人,以傳,學,習於觀勒,矣大 唇 之先兆 也 本願 阿彌陁號|亦於,上宮王院佛舍利尊前|為,法樂 法| 算,,日月星辰之度數,或習,,卜筮,考,,吉凶 一方術 太子之寶前一為一法樂舞一也及 今千 應,其任,者一 有餘年子孫縷々不と絕家業綿 皆學以成と 業是 寺僧徒賞」之與二大夫稱 我朝陰 者 及:致 二老衰 原二剃髮 陽師 往 一矣大陽胡 之元 時 k 相 乞二法 續 祖 背 則 榮 或 也 臣

儀一為二法樂舞 -是先規也粤有: 人四郎安政 依、之今日於二舍利殿 時元祿第四歲次辛未冬十一月三日 里 173 號 三琳阿彌 部二 山之學侶 者也乎 捧 献

大唐大慈恩寺大師 碑文畫讚頌 E

勸

學院實圓法印

記レン

妙 百 開 衢 哉 12 麗 藏 性 哲 H 相 12 苦 詗 海 契 然 中 天親 津 出 梁 群 聊 疏 面 口 盃 造 申 舒 百 滿 179 辨 13 歎 本

> 一一發大雲 眸 電

萬

特進 唐 大 行門下 慈思 侍帮 大 郎。師 兼 畫 鎮 讃 西員 外 都

智勇冠 族貴 皇 $\exists i$ 世 陵 光三 超 衢 輔

李 生

> 功 其親 安人

羅藍位 持神 一崇師 彩 稱 正 大 华

滿 載 夏 天 誕

面

一駐素娥

秋夜

成蓋

覆菓脣

浮 相

身

金 羯

齔 源 之間 ച 大 徒裏 性 師 合慈 深 絕 同 等倫

神

述 以 來誰 海 到

慈 恩大 師 蔚 遲 氏

諱大

乘基

長

督

II

滿

昌文

熟能 雙 詞 才過

宣 光

鄂公敬德是 ·唐之初·

珠 資粹

漢

月

母 垂 大

娠

立

託于 胎雲

胎 え 一碑文

中 口

吉

兆 方 絲

頻

少之時 一藏學 早 性 拔

小 眼

依

ıŁ

達者

四

具 \overline{H} 躰 比 顏

亚

疏 主 重 唯 $\exists i$ 朋 識

性 聖

白

部

先師

側

風

悲雲愁慘稱筠

伯牙響 論鼓 字 每月必造慈氏 對龍象衆能 FE 句 琴徒 振 k 不 降 秘 空 置 像 破 皆 昇 他 宗望 生 獅 和 有 偏 泣 子 證 慕兜 座 據 風 王 自 獨 永 率 暶 委塵 霑 因 伸 修

照 樓秋燈下 誦 菩薩 觀 自 戒 在 金手 唯 有人窺見偷 杖 染翰 木 及制 題 逡巡 其其 波 旬

毎日

必

時高

不圖 大光

漢

+

化等

露門

利

兆民

自書般 遊博 瑞光 陵 赫 原 若 k 制 慶 何 有 女 雲 所 一替 起 諸佛 法花遺 文 殊 證 ĪF. Ш 現示 明 曉 温 \mathcal{F}_{i} 傳 照 遠賓 宿 臺 因

文章微 齒 一牙煥 佛 滅 炳 度讃大 婉 光 村 矅 獲

傳導

師 字

旬

作 VI

疏 偈

八龍顏 與

> 鳳 章 此 枇

詔

化

月

仲 嵗 旬 Ŧi. 金殿陪 日 為忌辰 一般

> 名垂萬古 本 願 不 間 涉 奉 É 彌 炒 勒

生 一第

雖多盡難陳 四 天 步 華 茵

天承二年 顯眞得業所持 应 月 # 日 書墨 也 則 朱印 僧 智 印之 在、之享保庚戌秋

慈恵大 師 讃大宗文皇帝製右

大乘沙 之子幼年募,道俗 門諱基字洪道俗姓蔚 |投。|三藏大師||出家大宗皇帝御製讃 遲 鄂公敬德之姓 衛 公敬宗 日

同右四言十六句銘文在、之

永淳 年歲次壬午十 一月十三日生年 五十有三終

京兆大慈恩寺,矣

法師 祇 洲都督咸 大唐大慈恩寺法師基及碑朝請大夫檢校史部侍郎李英撰 天竺,大俘,,真記 習二儒經 之相。岐嶷見。於能 以 有 三將師 之秀液-胎 ン神其 諱基字洪道姓蔚遲 一為、雄大父懿常寧公伯父敬鄂國公主 有二勳烈 時玄弉法師哀,像教保 而神應有:|杵金之 欖而心傳耳蹔聞 |訓譯屬授必待||其人||天假|| 至聡| 幼 一之國吏法師植 言 精微徵二於始學 氏代郡人也 祥 誕則 Mi 口諷性與」道合思者 一微 微佛滅之口, 先遊, 其先魏之別部家 妙 : 发在 殊表上得一殊 之玄根一 :家襲:首 考宗 倫 松 代

微, 甚明也只 其志」也 神 造,1玉 摧 於鄂國 德應天神 拂,,臺字,燭燿,,凾笥,我至无/靈則 修二六法之檀 鴦掘魔不、能、為、智鵬耆含无い所、辨豈惟直 麻擂一 聿來周受取 唯識等章法花瑜伽等疏惣一百餘部 二月四日 示"化於凡」以"永淳 月造 漏勒像 、詞豈支郎之在俗信安侯之得聖 義,途特降 日壬寅,終,於京兆大慈恩寺翻經院之小房,以,其年十 龍 ...) 康克 . 而已加以 ... 叉持 ... 五行之戒 . 握 ... 利 色制授已口聲花途尊乃化口備修二法義 連 石文殊 惠 離 永以 又有 - 葬 一鐘二鼓 龍皇帝曾入,,緇徒,為,, 弉公弟子, 與,師 躍 日月挂,於心臺,甚迅也風霜落,於談柄,將, ||恩旨|捨\家從\釋叉別奉||明制|操 派に天 像 寫 金字般若 為"弟子」方託 |通神之應|渾然可\觀會於||代郡 一得"意珠」而不"守嚴"或真施勇進力行 於此 軀 于宫_而 人去纏 為唯的 地一 日誦,菩薩戒 ア浴還 蓋所以密弉公釋門宗匠皇 年歲次壬午十一 聞 師 レ外 以二金牒 二舊京二 經 有: 善說之妙: 必造 桃 - 畢而 眞乘 李不 一遍,願,生,兜率, 中自二 之言 歷 河鎮 因以 ン言 有 一类狀 月庚寅 二傳三共 レ此能 神光 瑞雲嬰 原夏一 而 化 一所ン制二部 釼一而无」傷 比山海能 自 城 而 五臺 蹊 、玉箱之 朔 事 妙蕳 悲 - 外薄= 軍 乃 同學 代名 Ė 7 詩 Ш 於 賦 增

尺美眉 之

明目郡學,,孝廉,拜,,陳留令,又遷

息: 機冕之心-結三薛蘿之志: 識

者高、之母

廣

二江陵合 經經

隋

運

後本

川父惠英潔

有一雅

操

早

通

術形

長

將レ衰遂

慈思 玄弉 範一而 无ン缺 綸 人者 師之神 區 合 自 乘天 无想觀 爲妙樂 庇清凉 凉源 天皇即位十一年壬午,也言,天武天皇,者清原天 二年歲次壬午者是 按唐年代曆 聚为 其滅 意封 三一藏傳大略善殊記十卷傳可、見也 傳:我師之學,脣:闕庭之間 芽 如、存出 百七 藏者諱韓字玄弉 公公 掛 度永淳元年歲次壬午,至,延曆七歲歲次戊辰 臨下土 澆風 车 唯 之遷訛乃纂,其休 示 足宿 而 1并和曆 也 有死 狂 我 加 齊 師 揚 三翠花二 三廟 已上注文善殊釋、之云々秃,,曹之, 1植賢果1深 得四澤 錄 信蘭 授化 待 可以惧也又唐永淳元年當二倭天武 入泥洹 有 像 壬午 俗姓陳陳 大 推 菊 三郊 法 當 遊 音 用銘 龍 榮洛古 三永淳元. 聖人祚 拔迷方 遁六 師 留 秘藏一勝理 而 入談:丹展 而詣門人有 A 難 典 增 也 年 慈茲石 レ惻將倫 增法事 漢大丘長 萬物 破煩 此 切法 文 盡該精 一其解 利 滅 述 風 云水 皇 仲 月 貞 也 之 Ŀ 日 行

戒賢論師 治天十三年 記年 公之楊 於三城 愛好逾 師 必 鑒 察 豊宜 安座 起 宗 $\mathcal{F}_{\mathbf{i}}$ 一梁棟 歳 問 氏 -講-涅槃經 法 剃 座 出 四 隋 其故 都 舖 年壬 H Ħ. 座 因 生 洛 劇 堪 於 師 年惠 十三 三 - 陽,度,七僧, 一受…具 在 覆 聽 也 洲 資 当 机 也 遞 父甚 申 師 後 聞將 傳 從相 長 側 落餝 時 卽 其 百 法法 = = : 後當 佛 史 - 伏膺忘 厥後法師年 足 柳 謂、八此子 世悅知"其女成",日曾子聞"師命" 第二 二二 欽 學 王田 波 戒 楊 ν 盡再覽之後无 百 過三三 一成一定一覧弘 域 以 之 音 既得二 瑜 時使人大理 授孝 六歲 位卅年壬午,也 後 女 一時廿八也記述位卅年壬午,也 兄長捷 因將」指 伽顯 暢 寒 法 備 年|向|四 千 經 食 出家 年 以:直觀六年,逢,戒餐. 師 盡 -11-·齒幼 五 卽 七古 …師宗」美 先出家 又學 至一曾子避 對 1道場1誦 有一以" 年天 百 第 名宗人語レ之皆 避、席玄弉令奉二 與兄 卵鄭善果有二 庚戌,四百九十年也 皇即位十年壬戌,也 三復所 風 五 相詳當云 四 因 以 骨甚 + 子 嚴 住:東漸 朋 也 一年隋 武德 聞芳聲從 法 同止 聲 世 九 惠 主 立 貞 奇 周 席忽整 師 明 觀 深咸 大乘 降 詔 第 集量 主舒明天皇即立云廿六者俱第三年 己北 五 攝 一時有 住 仁壽 知 净 Ti 陁 五年壬午 **燃**驚異及 賀日 主 寺 土寺 釋門 慈訓 乘 · 襟 二景法 レ茲發 年 穆 師 - 謁 論 論 始 ラ 此 年 滿 而

經

甲 花 元

一三 卷部 各 上治 合三 二六百二 大 宮 年 往 春 五 亚 還 曆 百 德 年 干 T. 月 也自: 矣唐 百八十二 洲七 Ŧi. 1 月 不 基 $\dot{\equiv}$ 年 十七七 Ŧi. 有 计 法 百 捨 鱗德 年矣叙 年矣叡山仁 慈麗 意覺之 載 Ŧi. 日 師 四 部合 日一 畫 親 計 + 墓 部 元 四 踐 夜 年六 湿 誌 年 未と 翻 者 銘 申 卷惠立云勉一于三百卅八卷請邁云除!尚太本七十五部十七部云譯為!唐言-先年甲子1 於長安皇極 餘 譯 記 子 + 一和尚錄 大慈恩寺大法 百 年 が後 省: 有 法師還國 + 二年之事不 三惠立云六十有五惠 也 國 於倭天智 云大 至"于 畫 傳 識 已來于レ今 天世 遍 皇四 大 師 上即位四年7日相二當倭第1 寬 學 天 基 唐大慈恩寺翻 貞 弘 皇 法 觀 公 國 七 卽 廿載麟 「 第 世 六 主 師 塔銘井序 卒= 所 年庚 位三 加 ~獲 儿 於 年 今 玉 德 問

惣 論 道 巳 也

觀 住 沼 微 之大 唐 俗姓劉 妙之音 故 夫 白 根 是故法 川 馬 所 誕育 即說 氏 寺 Ü 智 彭 翻 | 風攝 雨 - 考 至矣備 譯 城 匪 惠 人也曾 旬 辰慈愛云歿厥 雲來廻向塵至方丈 沼 潤。心田之沃土 覺花十葉 安允茲在 遊れる甚 神 義.不 塔 祖秦隋青洲 碑 井序 父以,黄衣 演 刺 …眞實 者 吏 之豐紫 季姓 北 **半**卷 海 和 **腺若天** 縣寄二 撰 袍 上諱玄字慈 匪 鞠二子 照 .. 貝林 因家 悟

法

家,歲餘又以,黃被,覆而歸,本宅,及,能言,乃曰

端座正念冥目八十七歲 門實法印畫像讚法服納表五鈷念珠 一印實法印畫像讚法服納表五鈷念珠 一印實法印畫像讚法服納表五鈷念珠 一年七月三日手印紹,隆密行,併是今師功耳應永十一年七月三日手印紹,隆密行,併是今師功耳應永十一年七月三日手印紹,隆密行,併是今師功耳應永十一年七月三日手印實法印畫像讚法服納表五鈷念珠

如、斯之物也伶人鉾之紋是也

勸進沙門 敬白 敬白 敬白

狀 請 特蒙 : 十方檀那助成 | 南都法隆寺聖靈會再興 4

院御字奉一賢 結,,緣於一淨土誓,玉幸今偶,,彼敎誡,誰不、貴,,此金爭,,寺物,至,此期,猶投,,一塊一廛於此場,遠見拜恭必 浪漬、袖悲哉先哲相承之靈寶三月之共、花散再不、還、 住之僧侶者忽懷二鶴林之昔愁,見聞之貴賤者更拔提之 取之一剩放,火之間數百個之法衣成二一片之煙, 訖爱止 谷之王,然者不,顧,,多少之資具,發,,力愚僧,玉就中與,善 之首,其志者雖、如、露不、可、嫌,,巨海,納,其露,而為,百 捨也其物者雖,似,塵不,可、厭泰山積,此塵,而 女一欲、成一大願一所、憑者都鄙之助成所、待者檀主之施 王世々賢臣崇敬異,,于他, 靈地也方今羊僧勸,, 道俗男 幡六十六流新調其外數多之絹布被二寄入一惣而代々明 相之化- 住持之三寳是告朔之羊也 是以中古 言一乎勿」言色即是空諸法實相也末代之作法何勞一色 所感 但 于根,哀哉知恩報恩之堆各埋,礎石之苦,偏呈,盛衰之 日夜华盜賊破一寳藏一件會料法服樂器等盡, 其員一押, 廻無,退轉,之處隱顯隨、緣與廢待、時大永三年三月卅 之勇將也因〉兹 二月之先忌 御震筆記曰末代 之道俗無慙而貪欲 |而號||聖靈會||從||執行||以降七百七十餘 詔」前右大將賴朝卿仰,城入道蓮西一御 聖武皇帝忝為、報:彼鴻恩 後鳥羽 迎 為五五岳 以日增競 一种春

如一件右勸進帳者世尊寺行季筆也 人者可、仰,太子,誰不、頭,三十三身之利生,仍所、唱 根一之者必發一榮花一誰不、保一萬歲之壽福一歸 觀音

大永三年七月 日

也享保十六亥五月中旬寫、之加、點畢 右勸進帳從,地藏院倉二出候由ニテ堯懷寺家立施入 敬白

計 中宮寺天壽國曼茶羅銘龜甲之圖 甲大サ壹寸三分







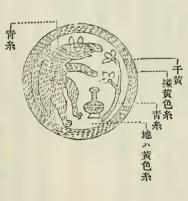
テナテボホン

前 日啓 一 一 野多チョンラ

糸色不同

、見人形佛像鬼形等五六十在、之又玉兎之圖有、之 曼多羅之內龜甲四有>之一 、 損龜 之形幽也文字不

次記



事繁、不い寫い之 享保十六年亥年七月二日中宮寺蟲拂之節寫」之舉此外之圖者依,

法 隆 寺夏鵬 補忘 集

舍 利 掛 殿 物 = 年 谷 111 觀 レン 音 圖 秀 有 圓 之光秀大姉菩提 ١٠ 中宮 寺 代 歟 施寺 主 秀 圓

法 隆 寺 在 ア之曉 住 院懷畫 像 證 E

地 藏院 法 服 納衣五 古念

權 律 歲 霜 師 六 十 曉懷 A 滅

外 題 密 朗 棟 明 梁 之覺 成 眞 A 俗

内

訡

密

之

剩

班

雖

然

化 法

薪 水

泉 波 涸 逐 則

聖靈 院 御 殿 從 = 淮 燈 1/3 籠 Ŧī. 年 號 妙 名 門 尉 如 敬白

左

金

मंग 朝中 信 清和 濃 敬守 白橋 守 利

次

中 # 井 非 信 次 濃守 郎 八 利

東方在

同

中 中

伊

豆

守 敬

橋 敬

正

朝

井

長

吉

東方在 日五

中 內 伊 丰 水 TE

> 御 殿 西 掛 札 書 付 勸 進 僧 爲 五

> > 師

右 有勤 布 御寶前,合、勤,修之,處也仍析所等注 "修之」為"御 H 蓝 老 興 行 報恩謝德惣別祈 揆之衆於:弊坊 稿 多 曳 车 之間 進 乏

土 門趣

文天如正學件 元学 车 丙 戌 月 H

法 隆 寺 聖靈 院 郁 H 講 料 所 事

岡 法 是 起 3 IJ 鄓 住 = \mathbb{H} 丘 地 代 字 反畝 K 等 减 之界 月 H

十享 月 月 六 真常本 寂 日丙 政 心 示戌 十元 月祿 日辛 寂九 寂丑 月 观 十四二 朴質雄 十二月五月 瑞素 芳 同己 職 入卯 覺 道 节草 比 元 完享保十五年成第九世 十一月朔日 後倉庫中也 後倉庫中也 後倉庫中也 惠田家田家田家田 五丁 閨 女 僧名入 忽天 純 月九日入波 本次 公惠性延寶七年 全惠性延寶七年 月和九二 年 テ仕 死七 碩電 染覺 峰 密 性皇 紛 海

永寶

極 年这百九十二年 八亨物年保本 也十支 七配 住 持 + 珠 源 月 日

頮 申 藥 聚 比眞 國 魅 師 寺 史 僧行信 八 人廣 訴 + 司 足 七 一就 推 與二八幡 日 孝謙皇帝 主藥師 罪,命,遠 神宮 寺」宣詔以二行 天 平 流 神 勝 大神多麻 六 年 配 中 納 月 同 申

藥 師 寺 · 云 12

是法 æ 隆 7 诗行 w 信 僧 都 歟 七大寺惣檢 挍 ナ V 藥 師 井

師 元 行信 與寺 Ի 行 æ 有 ۴ v æ 有 當寺行 大安 寺 信 資 財 帳 Æ 大 此 僧 都

r 云 僧 外 不 い聞 和

寸一口 七尺 分一廣 惣高九寸貳分 アレリス -廻り三尺五寸一一戸以り 此 يالما 間野七分 一寸六分五厘 计廻 1) 皮リニオ 尺五寸七分 二寸四分 五九底厘寸廣 五 分

之序 寄進 隨 云是 房 順 ガ 事 房 本 = 3 在 下云 質 列ン之故爾見 ŋ 前 也 レ之次ノ文句 妻ヲ 是御 ノ文 何 18 佛 隨順 供 = 矣 76 == 也 圓 7 大方 堂 7 御 ŀ 康 是 行 云 永年 餅 願 御 識 同 堂 中之比數 房 地 得業 藏 奉 佛 供 居 ウ 此 隨 夫 18 也 順 中 尼 云

3

y

テ

=

ヲ

維摩 重寶金山寺香爐圖 會地寺竪者與福 7 寺 法 〇上段, = 候節 人七百五 禁裏,被下候長 、二入 自 (此內入底在」之)

者宣 之寫

被二 長者 宣 - 傾大 法 師 訓

圓

寺分竪義請一者

宜賜

...去文安四年

·分樂師

長者宣所、候也 173 執啓 如外件

謹 Ŀ 寬 一興福 文四年九月十 寺別當 法 $\dot{\Xi}$ FII 日 御 房 左少 少辨方長

分 右 力之長者 者 興 褔 官 成 身院 也 代維 摩 會 相

勤

被

中

候

時

藥師

寺

龍 \mathbf{H} 「新宮 力之事

本 計 社 右者瑞籬 社 神 三神 内 西社若宮申原 龍傳 申 田 彦 傳 西地天 御御 柱柱 祉 三十八所計

法 隆 寺 良 訓 輔 忘 集 西

圓

後

戶

地藏像之由來者質

乘

日

記

E

是

地

藏 隨

順

£

西 小 社 地 主 神 東 小 社 111 合 社

+ 面 觀 音堂 本 地 之由 申 傳 候 後 本 地 堂 東 小

油 み たらし Ŏ 池 ٤ 申 俥

東十羅刹 地 外 西 女 小 祉 同東向 耐: 小 中 社 水 御所 2 公す社 西牛 頭 北 天 Ш 皇 小 耐:

廣田天照大神荒魂申 傳 候

維 摩 胎 東之坊者延寶七未 經疏 金堂後八六坊屋 遊羅記 卷第與書 生敷と申 年 赸 頭 片 傳 桐 年 叉七 責 地 郎 殿 御 新 造

于 金剛 時元應二 法隆寺乘圓上人雅請,述,之春秋八十一花嚴 於淨 一年庚 三經學士沙門凝然誌」之 申六月二十一 日於..東大寺 戒壇 兼

自筆之菴 乘 圓 上人 <u>=</u> 八れ宝 乘圓 羅記 在 者調子丸末流乘海ト ン之歟近年寺家へ 一代歟と存依、之當 此 申 時 本被 = 系圖 出 至疑 也 7 然

太子

臣

下

秦

河

勝

之末葉故

也

觀 献 經 文 吾 年 ヲ 極 也 院 月之事 師 書 長 玉 範 秀 フ 訓 死 榮律 下 也 去 其 地 人摸樣 付 師 = 源 寺 為,,太子御 氏 者 中 繪 被、申文庫納、之享保 樣 太子自筆ニテ ナル姿有 報恩 謝 德 · 扇子 懸 物 形 紙 壹 四

> 脇 後 とノ壹人 1 有 女郎 其脇 花 日 出 7 = ŋ 居 シ 叉 ダ ر ر ス 簾 **貳人** 金 ル扇子ヲ持底 中 銀之砂子 = 底 在 壹 八八僧 ア テ 演人 面 御 三有 簾 ハ 扇 童子 ジ繪 方 子 ヲ 歟 向 カ 土 御 是 サ 佐 殿 E シ

經文 繪 樣 念佛 = = 大 ソ 覺 7 身 力 無 畏所 成 身為機 關

如

以 風 ソー行十七 = テ壹 下 時 六不 尺六寸壹分昌 書 字地紙長 市 四 行 有 七寸七分橫下六寸 山午奄極 之內六行 偈 頌 九 也 分何上經



癸未 御殿 二月竹 戶 張 申 樂四 田金 春大夫秦元 座 金 春 家 3 信 1) 任! 舊例 献 之則

元祿

之 +

執行之下 曆應 建治 宮寺天壽國 二年 倉 於 元 年秋 浴 遍 六十五年 曼茶羅供養之式奧書三段式 靈山寺 月 新 奉 編:天壽國曼 釋 實五生 迦 一 十 五年 堂-實乘大法 法 師 四生 十二二年

遇 聖靈德-注三五段簡略之式 華勝鬘等經一日々讚二歎之一面 之一然間且酬:願主禪 之緣一楚 忽 之作 魯 尼請 -結二三尊值 且 彌 慕二太子 々禮三拜 者也

同寺太子讚歎六段式與書曰 天台法華宗法印權大僧都定圓記

羅寶前一始命、行…用之

同廿一日相,當皇后御月忌,於,曼陁

思

洣

見,,分之,經師二申付令,,修覆,此式之軸表紙絹良訓 令、寄,附之 右二卷 之式享保 十八年六月 中宮寺 蟲拂之節良訓 此式者園城寺定圓法印為,,中寺,被,草,之畢貞治七年二月廿二日書寫畢

中將姬縫給三尊彌陁像在」之是添狀 家 此 いとをもつてつくら 三そん 不 たへ中井 まつり度よし申候まへ永御 應 1 0 主水數 2 彌 陀 r[a 3 代所 候 1 將 間 姬 持 蓮 候 附 申 俗 0

> 誠 尤よし 古 佛 希 有 缚 給候 像 候 か 御 重

たう晃

中宮寺宮

御

喝食御中

政藏院堂棟札 右之文近年 **命**"所望」用√之經師南部十輪院町平介 卷物二 享保十八年マテニ百七十二年 致候 表紙純子 之切者智 空師

上棟寬正三年壬午十一月十三日

願主舜清大法

次郎大郎大夫

橘實 楯大郎

大工

左衞 門五郎

一同三年癸未六月晦寬正四年也 惣分衛被 お |進之| 畢寄進狀在」之 日曉懷大法師太子傳之繪像肆鋪

——同 同年癸未七月一日 懷封裏判形在 東寺籠所物分衛寄進狀在」之曉

此記錄者法印預」之箱在」之不: 連續 記錄也介二

拔書 り如い斯

不 動明王頂髮七ッ別 V タルハ七莎髻ト申也又左 御

法 隆 寺 良 訓 豧 忘 集 寺に安置せられ候は本望たるへ

ζ

候

一となった。 玉 文 フ 五獨令灌 髮 1. 生沐 一令離苦來 申 =/ 表 同淨 證智 **四如來常法身** 百莊嚴功德聚 子 慈悲 也 次第見

建 封 倉律 年 部 抄 物 旬 有人 於 於,,東大寺知足院,記以之出,之一卷寶永年中修覆 復奥書二 前

沙 蓮阿 年五十七

文 ス 介有 像 其書付二左之通文言有、之 有之四 方 四天王有人之太子 御 前白 張着

關 東 極樂寺長老本 一房

當

本

尊

Ŀ.

一卷紙

銘云

明玄自筆

聖德 太 子 御 影 一太期子 寺相 也云々 傳之

四十 法 甲 午 師 四 卉 形 年 躰 牛 像 鳥 佛 瘝生 月十 座 依 光 俱 銘 此 聰 八 八日鵤大寺德聰法師出新專之後可」送,法隆寺」期之後可」送,法隆寺」是一年報報刻寫隆寺」即轉刻寫隆寺」 成 法 小善 師 ĪF. 根 \equiv 覺 僧 令~得 所 生 交 母 无生法忍 報 片 恩敬 岡 王 寺 奉 乃 分 觀 辨

秋大原博士 変布金物/裏 大原博士百齊在 水 IJ 付 × n 王此土王 姓

如 何 此 金 尊 知 物 カ = ダ 彫 シ 付 四十八之內後光介: ŀ 有ど æ 難 之六 知 一寸計 物 111 混雑 一後光 之莖 有人 敷

四 十 座 手 寶 八躰 X 珠 ク 內 ヲ IJ 握 銘 梵 文四十八躰之內 = 筐 彫 付 即 一御長座 ダ w ナ V ドギ如 IJ \exists IJ 文字雖 天冠 惣動外 外解する 至壹尺壹寸 不 正 本 尊 往

故先 在。 辛亥年七月 記子 布 此 本 太 7 利 日 記笠評 古臣又伯 0 君 在 名犬古 0 違古臣 0 臣 二人書題 李 :IE 日 崩

去長

時

0

丸之分は文字難、知只推量分齋

也緣 食堂 樂面 寅四 テ 源 永 食堂 總 起別 仁 信 月開 此 共可」申 氏 四 面計各別二出 年 = 帳 = 自,永仁者九十一 出」之源 之刻東院太皷倉 諸總トハイ 知樂之名 候 月七 鬼面 信 在 h 一字保十九寅年迄四一代伏見院御宇永仁 ŧ 氏 ン之何 レ之故 ア ツ所以チ 病 ラ ぇ 在 氣 名 = ŀ 良訓 之願 テ ソ 樂面 子 千懐合二 = 細 百四三年 illi 挍 ヲ 作 合之 一大 付可以爾由 シ之由 相談 九申 年年 處 也 申 於

見被、申候寫十五日正懷 念佛 西 堂 御 行 = 出 大 皷 桐 1 內 銘 文 有 之享保廿

明 六年丁巳卯 壹貫四百 月 文ニ而張畢 Ŧ. H 秀譽

年會五師

萬治三年八月十日 三拾五夕六兵衞

一三寶院將軍家之御靈屋ニ定中年會記錄目錄 ちん三 拾五方 六兵衞 日之沙汰也舊記 事元祿四年七月廿二

四 华年沙汰衆 相論 二月十一日ニ在」之候 一付年 衆 會 Ħ. 師之內月番公文ハ衆分兩 內 7月番可 ン勤旨元祿 人

于時左大將信長朝臣

惣社 申渡元禄五年正月廿日 山 下药仕 度 由 一兩承仕專員 願 =

而小社守候樣

講 園院 下﨟分不、殘出仕候樣ニ 師坊集會見入之時也三役者出候へ共自今八五師 後住得度砌定、之舊記 ŀ 元祿五年二月十日花 中

堂常番モ此年始ル 三綱 三綱專繼 被」下候等元祿十年十二月二日 〈是迄三綱所持之寺無〉之 故瓦坊明屋敷 一沙汰 也含利

宗源寺常念佛興行天王寺廣譽願事元祿十年九月廿

金入袈裟僧 綱以上之事 元祿十七年十 月廿六日

=

在之、候

綱封倉唐櫃書付 元文元年 元水香也 元水香也 一元文元年 悔過池寺中領之事元祿 當寺御參後法性寺禪定殿下左大臣道家攝政 後天正八年庚辰八月廿三日庚 邦仁天皇御宇寬元元年癸卯八月廿三日丙申巳尅 元文元年六月五 七年正月廿四 橋尾志摩掾吉久 申巳刻開倉畢 日月寫之 日ニ有 心其

上使 矢部 多喜河左近大 善七郎 康 輔 佳

色黄茶ノコトク无地元文元六月十一日寫」之 年 會 Ŧi. 師大法 師祭 甚

同中幡赤白青黄絹ナリ地 丁丑年三月十二 直針間古願播 ハアヤカ

綱封藏幡銘

同幡平絹色黄茶軟

一十七日為口口口命過之是以願

口播

打敷樣物表龜甲織物裏黃軟 波羅門 一尺四五寸四方數

刀士 又一ツ書付 中宮寺口 崳

寺 良 豧 忘 集

法

隆

一貳尺計帶銘絹色モエキ中入モメン

桐封藏有,之經與書

瑜伽師地論卷第八十

大原史□刀古書寫瑜伽論一卷

證

得三地記

并

起

注

一十十七大

瑜伽 之濟 天平四年歲次壬申五月廿三 伽 師地論卷第七十七 論寫依功德七世父母 途苦 跋曰 現在父母六親法界衆生 一日誓願

之狀綱封藏鎰箱入」之元文元六月十二日寫」之

四年歲次壬申年

御修

復

以御修造再興之刻當閣其隨寺町四面之間伽藍梵閣等悉

慶長十一年丙午八月十七日吉祥一也仍御鎰封連判之衆如、件

日

擬國

於脇士,忽然光明中現,彌陀三尊,誦,勝鬘經等大乘要

1見佛聞法力1字海證

|第三發光地||已畢以||地位

|建||立若干之寺塔|化||度若干僧尼| 已畢遷化年久

||彼三尊||並||三所於遺骨||為|| 母公於中尊||為|| 夫妻

御

奉行片桐市正且元

官使下代 高 橋 義 大 夫之為判

文等 同元三十三弘仁元年御年三年 權 律 師 實 秀 判事寺 權 律 師 實 秀 判事會五師 權 律 師 實 秀 判事。 權 學 師 光 祐 判

門遍照金 剛 之記 註

于、時弘仁元年秋八月十五日半夜初時 寶池一而已誠是濁世末代之規 摸也清淨無染之靈陵也 詣:此靈廟 並,二床於一基,母公者西界家主夫妃者東土之救世也 於安樂、矣擬、三尊之位、藏、三骨一 土之三尊者垂,權跡於馬臺一 | 輩成|| 思念於九品之淨刹| 望|| 往生於安樂 東家之四輩者成, 菩提 廟 表三三乘之教

起註 文

化一度一 義疏」斷惡修善之道漸以滿足矣 終顯, 佛法之威德,於,處 吾為"利生一出"代衡山一入"此日域,降"伏守屋之邪見 千三百餘之僧尼」製,記法花勝鬘維摩等大乘 12 造二立四 一十六箇 之伽藍

此 稱美,故點,墓所,已墨吾入滅以 今年歲次辛巳河內國 記 或 本二起注文斗書タル有」之其與如」斯記」之 文出現哉 爾時國 主大臣發,起寺塔,願,求佛 石川郡磯長里有二一勝 後乃于 四百叁拾 地 法 餘歲 尤足1 耳

僧忠禪 歲 旋 次甲 之為、躰非、玉非、石其色白或人說 午九 堀,出之,依 月 # 日未時 : 御廟之住僧說 記、之天喜貳年 堀 H 處 机 - 珊瑚: 云 々惡

後冷泉院御宇天喜二年歲次辛未九月廿日 未時 出 現

> 塔 已法隆 云 | 勸 | 人夫 | 地引之處堀 | 出之 | 了夫二人一童二僧 寺住 僧忠禪於二 御墓之西脇 為 起 立 一多寶

K

三骨一 為度 大慈大悲本誓願 石結、偈注、之其 大鳥部父松子傳云太子御存日時自. 生育我身大悲母 誕生片州興 躰現三 度參詣 末世諸衆生 廟三尊位 同 部 思趣 江法 松子侍崛親見」之其 決定往 過 我身救世觀世音 愍念衆生如 父母所生 西 城化緣 方敘 去七佛法輪所 生 # 亦已 一彌陀尊 血血 極 樂界 肉 身 八頭文云 御廟崛洞 遺留 還歸 是故方便從 真如真實本 定惠契女大 乘相 勝 西 地 方 應功德地 此 我 西 甭 勢至 方立 廟 西 崛 土

當寺 寫本 禄 Ŧī. 九兩 舞樂裝束新調幷樂器面冠沓鉾蝶鳥羽鳥 了恩房得業方江返畢至德四 车 出 來 年七 月 甲 B 等元

提 般若十六善神名者 VII 期間期間 嚕 12 毗 K 12 迦 毗

嚕

新 12 H 新宮西之方坪 K ラ外四 .社 小官拜乾 1 方 社

小宮

五百四十九

年會所ニ有」之ヲ又寫 右者福井ョリ享保十二未九月廿三日南都へ上候寫

東之坊者延寶七年に地頭片桐又七郎殿新造立にて **地御柱** 龍 田 本地堂 ||火御前|||股斧 一十羅利女 □三十八所吉野 口四所御前 □□ 火風神神 Mich 宫圖 地主宁賀神 廣瀬明神 拜 拜 殿 殿 严南

五百五十

別當坊 と申候真 而刑部家寺本持参り候由 福

井書付 ニー有

北小庵 胎金堂後田六坊屋敷御年貢 小田 除地 刑 部 所持 地也刑部所持又此堂東

播州斑鳩庄之事

\被納心[置]天王寺 七箇條之憲法并守屋 逆臣跡奴公田 東鑑曰承元四年庚午實朝公十月十五日聖德太子十 員數在所及所

大永三年癸未三月晦日之夜年七 得一之處也 箱陶箱共七合... 失墜, 間先以假七此二之箱於被,.買 綱封倉火災之事 人亂入而法服以下寶物押取剩致,放火, 訖此時香呂 年會五師長弘 經箱陶箱之外箱之裏書日 綱封倉之北倉江

癸未八月日沙汰人懷曉口口箱之表書付之年號大永三年

砂糖百五十目 酒 一サニストン之 一肉桂

防 風 一名 一木香一名 一茯苓一名 一何首烏二タ 一紅花

一タ

一匁

現 右絹袋二入七 在賢却干佛名經卷中

丁子二分五厘 日過テ用酒者しやうちう也

> 此經只一卷良訓命三所持 - 金堂ニ 有レ 之佛名經ノ箱之年號ト

也可:秘藏,也只一卷ノミ悲哉

法隆寺佛名析從儀師千叙奉施入

馬屋調 應和三年十一月十三日 子丸座 書付

修復之時寫 享保廿乙卯三月八日御馬鞍

奉寄調子磨 御 影

元祿五壬申載八月廿三日

右去堅所望故又者為級平氏政等作之者 辻本甚兵衞敬白

盜

彌勒院如法堂之丸瓦有、之銘文曰 如法經 卯月七日二成就 堂凡明應元年ョ スル ナリ リ勸進始テ明應三年甲寅 勸進聖堯寬敬白

中院支配 前住當荃室仲齋記室禪 戒名見分書付者也 石塔 禪慶下云人有此實名歟又 私云此堯曉 前住柳溪仙公 西多部之藪之內有"石塔」何人歟不以知其 ハ堂衆歟又 記室 石塔三有、之年號無、之歟 禪 師 師 ٠, 北室歟明應之比北室 ハ字歟可〉正也 直翁守臻菴主

もりいでけむとおもふに、手もはなちがたきこしちなむせられ 如くなるべし、いかなれば此かりもかりとて、かいるふみは世に てさてかのほうもちを見むには、まことにたなごしろをさすが なり、かの寺の寶庫をつくして、本寺中院のあるじ 良訓といふ とて、とう出たるかひらき見るに、まのあたり見しはいふもさら 珍書をみて侍れば、夜を日に繼てうつしとり侍りぬ、世にたぐひ しかど、さらにあくべくこそおぼえざりしか、そのころ石町の筆 寺なるに競ふべきをおぼえず、われもあまた、び行かよびてみ りなく多くて、得もいひしらずめでくつがへられしは、この法隆 りつし、年ごとにこのもよほしはあれども、其ほうもちどもかぎ りき、そもそもくにんくの神社佛閣、とほきもちかきもたちかは とこたふ、しからばおのれ得まほしければ、あすとく行てあがな る、いとなつかしとかの人にとひしに、ふみあき人のもたるなり し、さても!くうれしきものかな、此本書をば何人か秘藏した はもの調度のたぐひは、圖にうつし銘をもしるせり、これをよみ みじかきものは全文を書とり、長きものは題数をわきいで、うつ 僧、元禄享保の年月をかされて、いとこまやかに筆記せしなり、 あるふみにしもあられば、見せまゐらせむとてもてまうできつ 商人高木それがし、ゆくりなくとふらひ來ていへらく、此ほど頗 假屋をかまへて、大和國法隆寺の本尊、六七十日のあひだ開帳あ いにし天保十三年の秋、わがすむさとの囘向院に、ところせき

にくしもてこずいかにしつるかいとおぼつかなしといへば、そ わは、わがたしみおもふ心のなほざりならめた、かの筆記せし僧 ひ、波の泡のごとくたいよひたれども、さすがに跡なく消もはて かて叔父のもとにかへしおくりい、かうやうになちこちうつろ び、まからくと物がたりければ、此人いたく心ぐるしかりて、や いとむくつけきしわざにこそありけれ、真のちまた桩園に出あ は何々ぞととひたりしに、今桩園にて見しふみさへぞまじれる、 荻野それがしにふみどもこれかれかし、に、日頃ふれどもさら こにてもしばし物がたらふ間に、あるじふといひいでけるやう、 など、かたらひてかへるさまに、叔父宗先が歌仙庵に立より、こ ば、いかでいとまあらばうつしてむかし、ちかきほどにかし給へ けれど、ふた、び行へのしられたるも、さはいへどうれしけれ とりて見れば、あにおもはむやこの筆記なりけり、淺ましく美し に、これ見給へいとめづらかなるもの獲つとて、もていでたるか らいたりしに、例のすきの道の事ども、何くれとかたらふついで おもひたりしか、かくてそのあくるとしの春、鎌倉祇園がりとか 家にかへりて、其のちもたりしくおもひ出、あかずくやしくこそ たかたれば、いたく口をしけれどせむすべなければ、すごくと またいよのほどのそむ人侍りて、賢しろなし侍りぬと申しき、 かりかへれりしすなはち、とみにもてこといひやりたりしに、い きに石町にはせゆき、ちぎりしふみはいかにととふに、きのふま ひてむな、かならずはからひ給ひれとてかへしつ、あくればまだ いとこっろぐるしき事にこそ侍れと、かしらかきつ~事のよし

月四日舒、同十一年十月二十日薨、(七十二)と公卿補任に見えた 同十二月廿二日叙正二位、同九年九月廿五日任大納言、(七十)十 位、寶曆三年三月六日任中納言、〈暫時〉同月十二日辭、〈六十四〉 十四年十一月十 目任參議、(先是叙正三位)同十四日祭右中將, 身のなからむ後にも、かう心づくしのなげならざりし事なば、た づるにまかせて、おろ~~かいつけおくにこそあれ、さるほわが 目録をそへおかむとするついでに、むかしのことどもおもひい 事なり、われはなしとて事かくにあられば、そこに秘藏したらむ 事ども、宗先にかたらひたりしに、げにふかしぎともいひつべき り、かくいふは安政六年七月、生みたまとてこれかれいはひ事す (年四十)同廿年五月十七日辭兩官、(四十六)同六月六日叙從二 るは、權大納言藤寶廉贈なるべし、此卿の官途をおもふに、享保 は閑院流にて正親町三條家よりいでたり、この宰相中將と見ゆ よみ考いるに、花園宰相中將の猶子とはしるして見えたり、化園 その父祖の名字もしりがたきなむ日をしかりける、但この記を 者良訓ひじりは、いみじくいさをしき人にこそありけれ、されど りたらむには、かたみのはしとも見るべくやとてなり、抑この記 ぞくらの心あさきも、さはいへどおもひしるべし、点かおもひし またいふべきょしなかりき。此ほどいさしかいとまをつひやし、 めてはおもひついけられたりかし、ほどへて後にはじめよりの もうれしみおもひて、もしなきたまのみちびくにやあらむと、せ る日、かつしかのかたあおきな、時にとし六十一 こそよろしかめれとて、すみやかに得させられしは、うれしとも

÷

74

南 都 巡 禮 Ŀ

東 大 手 左大 京和 一國 條添二上 條郡 八 九平 坊城

月十 別當 行 僧 權 年 者 也 金 柱 至 福 也 別 F 文治 、當寶 勝 銅 繪 資 卽 13 天 日 也 僧 隆 位 皇 積院 元 知 東 元 傳 都 鱼 四 御 勑 識 大 车 慈 车 律 云 车 願 使 訓 南 寺 依 惠 五 覺 八 師 机 天 左 怎權 無 供 月 喜 理 御 月 大 平 公養 導 堂高 僧 佛 勝 阿 師 庆 將 日第 大 都 延 開 寶 惡 筆跡 僧 師 漏 肥 几 行一燒 大 7 興 都 師 年 佛 乘院 文 度供 法 南 四 福 位後 重 位 二年也 2 佛 寺 失 天 師 A 源 大將 藏 别 高 養 KK 信 ナレ 九孝鄉也即 當 萬僧 并 十六丈柱 H 權 建 權 軍 四 羅 被 乘房 僧 久 僧 天 供 門 位 八六年 養 \pm Æ IF. 上 覺 道 於 有"行 合 部 一幷講 人 憲 Ż 師 興 + 児願 卯 福 老 同 有 佛 堂 謙 寺 寺 師 件

殿 起 南 文 板 段 枚 廣三尺六 長 (高)八 幷基壇 寸尺許餘

爐(臺)銅 八角盤門印 基丈 高六 同一丈三尺許井界の尺南廣二十丈宮 高 大 屋 等 事 廣 等 燈 尺庭 南經 北京東 十西 五五 基四

壇丈

講堂

也 殊 東 坊 養一 建 師 當 仁三 華 等炎 支延 大 恩 机 訓 ---天樂舞者: 在 會 车 平 Ŀ 於二 之 武 Ŧi. 寺 開 時 建 月 佛 當堂,行 服 月 江 燒 カレ 殿 律 當 一之講堂 Ŀ 供 失 日 北 堂 皇御 養 其 師 王: 去 供 也 後 分 寅 左 レ之自言正 養 導 延喜 幸 承 辰 講 大 MJ 之時 部 本 平 講 堂 夫 餘 尊者 十七年 Ŧi. 大 供 師 坂 始 乘 年 養井 權 Ŀ 月 文六千 也 院 供 律 經 、養叉治 在 前 + 師 行 大僧 仁 等 日 П 事 月 一嚴 律 <u>-</u> 五. 傳 觀 承 兜 師 JE 等 箇 音 信 四 H 會 舞 淨 圓 年 日 韶 云 法 名 炎 面 權 從 事 會 E 願 12 僧 律 供

號 二二倉

者 在 二尊勝 院 之東

藏

字 號 倉

金

含

毎日五

馬腦為同樣之云中

少之云· 中在二佛

金銅 基

華

计厚

口 大火

室高三尺

披件 藏 者 在二大 佛 殿 去 HJ 依 有 勅 能

鐘 樓 字

三日大風顚倒之後造之口傳云鐘所,懸之梁者捌木云々四月八日天皇行幸寺家始掛鐘鐘樓者永祚元年八月十同四年正月八日又作,,下形,以同年閏三月七日鑄成同鐘者天平勝寶二年五月始作同三年十二月鑄之不,成

銀堂

レ之仍 年二月朔日開,當堂寶藏,异,出小厨子,置,本佛前之壇 天慶之間建,,立此堂,安,,彼佛 後有...一俗人.號..山上君,捨..斯住所,出..國分寺門,了 由被、定如、元被、修造、之或記云銀堂與山之谷延長以 物,者隨,申請,可,充給,又勸,人々,各可,加,銀 治安三年十月十七日御修行 記云此佛為,, 盜人, 破取 五間四 上,其厨子之內十一面觀音像云々堂衆十五六人自二 月堂, 歟又南無觀寺歟此堂修, 二月行法事, 口傳云每 承平之比坂東諸國有二兵亂事-山上君是也將門之字 文六舍那佛口傳云依\安|, 銀佛|名|,銀堂| 前大相國 月朔日,籠,堂中,二七日 [召],師威儀師鴻助一云此堂可」修理一至:,材木及料 四 面堂西向大佛殿東去五六町許在:山上: 之本尊 .日夜,堂衆等皆執,金剛鈴,又以,炬火,逆挾 間白地不」出住」坊所一動行 .號..銀堂.云々件堂號二 机

行於"法華堂"行"之云々不審事寺"云々此行于"今不"退轉"者也散位大江親通集云件寺"云々此行于"今不"退轉"者也散位大江親通集云件

羂索院

所 Æ 不、打口傳云件并自、本無、水疊石之後天王命、良辨僧 亂于時公家御祈禱 可思儀靈像也右手持, 金剛杵,左手作, 攀下天慶將門 安二執金剛神立像,此像金鷲行者良辨僧正之本尊也不 同 南向三間 以,,法花堂二月堂雨堂,為,,一院內,號,,羂索院 在」之件并者三昧堂之北皆六尺許之古泉也東西相連 像足下鬼形等神妙也件堂在:大佛殿東山後戶北面 一分、新給則感,僧正行一給若狹國小入明神振 |播出|也云々此堂號||法華堂| 軟 .四面號·三味堂·本尊金色不空羂索四天王像 本尊也口傳在〉之同院阿伽井 也 所

中門、党

下松,名木也 "松",名木也 "松",名木也 "松",名木也 "松",名木也 "松",名木也 "松",名木也 "水面在",是沙門天王像,鞍馬寺毗沙門影向之所也云々 "水面在",是沙門天王像,鞍馬寺毗沙門影向之所也云々

淨土堂 號,東大寺別所,

大寺

尼 以 聖武天皇御持也今二粒者東寺西龍寺十三粒出 禪尼 者重 東向 ン納…當堂 含利者菩提僧正自,,天竺,持來奉,,聖武天皇,舍利 云今一粒 舍利十六 經如法經 後重源上人大佛御躰奉、納一舍利八十粒寶篋印 建立殘九躰自二彼國一渡 源 粒云々後分散二粒仍以二一粒,奉、納,大佛眉間,云 上人自, 阿波國, 渡、之本尊十躰內 間 東大寺之東塔之實 粒 四 者也以後之分散十六粒云々治承以後此堂 一四天師土舍利各六粒東寺三粒招題三粒 一每日午尅奉、出、之命、拜,見甲乙人,也 面 堂 號 念佛 堂 一安五 人物也 レ之舍利十三粒內 彼塔婆燒失以 智 如 來等 躰者六條 也 在,佛 一後奉 陀羅 粒者 也 治承 件

三面僧房

石 室 妻 云件石者金峯 聖寶僧正之門弟相承子、今不、退者也又聖寶僧 在 有件石者本元興寺之石也長七尺弘一尺餘云 |聖寶僧正命||此室住 ·講堂之東西北方·東室一圓聖寶僧 北行者第二房也從,,建立之時 向 之次荷持 ili 所 御 在所也僧正自 |時鬼神送||移他所 三醍醐 一依二鬼神 正坊也自;其南 每日參詣今 一丁仍彼室 住一號 一々或說 正持來 垄 浣

> 云々天竺祇園精舍之內戒壇塔下埋,釋迦佛鬚爪與,也角在,禮盤三,號,三菩薩座,件壇下埋,聖武天皇御骨, 移一个所一云々 戒壇 天皇及右大臣百官等受、戒始者在二大佛殿前 形菩薩云 烈置也其井一名豆田郡二名撫 此塔埋,,聖武天皇御骨, 若准,,彼例, 々抑三菩薩座 五尺許置:擅上中心,是受戒會之本尊也又擅上之未申 南 、安,佛像,又僧徒不、登雖、不、安,佛像,皆是菩薩料所 向 Æ. 間 々天平勝寶七年唐鑒 四 偭 在一大 佛 殿 西 南一安二六重金銅 三三名馬郡薗郡皆比丘 塔高 者不 丈

同院不審堂

者始、自;;其日,限;;百日,籠;;此所,修行也件堂者在;;戒擅院北,號;講堂;云々口傳云受戒之後戒

真言院

此井,則在,,有足形,當院口傳順,阿加井在,,堂西,善無畏三藏訓、之云々天人守,,對南向堂安,,兩界萬陁羅八祖影等,弘法大師於,,此所,對

東南院

在,樂師堂北,又聖寶所持之如意在,堂院,號,五師子南向堂安,樂師像,件院家者聖寶僧正坊也聖寶御影堂

戒

擅

會講 如意 「師所」持此如意也法會以後送! 東南院 一者與福寺維摩會禁裏金光明金樂師寺最勝會 鈷者表,密宗, 為,顯宗本,故號,五師子如意,也件 藥師堂修 此

正者專三論宗勤,此行一云々尊師三論宗故也 樓 一字號,青鐘 寶藏 一字綱:本尊璽坂木 但在,南坊

白山權現社 寺但在一南坊 灌 春 頂堂 H 朗 神 社 宇但在、南

西南院

石七 唐白 間 瓦 〔屋置] 碾磑] 件亭在 | 講堂東金堂北 | 其亭內置 -是云:碾磑 以二馬瑙」造>之其色白也

大湯屋

東北方 向差鍋 口足 十五石納云 一々件屋 在 大佛殿

南大門

剛力士 二層五 問瓦堂東西長 六丈一尺南北廣 一高各二丈餘同內方在 師子像 一丈四尺安山金 以石 作い之者

也

門

軟左右廻廊在_一大皷 像也內在一鐘臺一號一行事鼓一也花嚴會始行」之時打之 安二二天 像此內 東方毗沙門不可思儀也同 同時用、之歟細々不、用者也 兩大寺中門

國分門

此門者天平十三年三月十四 行額文在」之 年造,諸國々分寺,其一大和國 日朝二 諸國一被 之國分寺是也但 造者也又

王護國之寺 後重而 仍不〉開御門云也又此額者弘法大師 寶二年二月 廿二日聖武 法皇及大官 百官參; 東大寺] 云三間四面門也 大寺,者也又天慶將門自,此門,出間其以後閉戶不,開 拜,,大佛殿,定,,十字二行之額,云 !被、書、之歟國分寺之故於||此門 其額左右之緣在二八天像一不 人々有 '...王城東,故云...東 筆跡云々聖武以 可思儀 並行在之云 也天 平勝

中御 門

西方自〉南第二門也通,戒壇院 門 也

輾磑 菛

西向 自 南第三 門也號二 輾磑御門堂1 此門之東有: 唐

南

云 自 |亭 々號ニー 故 云:報禮門云 條大路 也 々此門與二法花東御門一同達

也

御門

在 一南大門西方西塔 門云 々依、無,,塔建立,自然不、開

初 木事

佛 件 奉>植…菩提樹.云 也云々又云,,花嚴初木,也 養件經一云 木退出爱立東樂門內忽然失不以 」過二丈餘一又知一名字一頗似」槍歟或又阿槍或又樫木云 其魚,忽化作,八十花嚴經,即化人所爲也仍其日同供, 云是不、似,,,音通,不、然而及公人以,,此木,稱,,樫木,者 開眼其日 木大佛殿 々于ン今納三寶藏 有:老翁,荷〉鯖登:佛 [巽有::東樂門內:天平勝寶 | 輙難,,拜見,者也其木高不 治承以後重源 知,行方,衆人無、見, 殿|置|佛前|初木如 四 年四月九 上人鯖木跡 日大

八幡社

殿 位 同 東去五町餘天平勝寶 + 月天皇太 上天 元年七 皇 太 后 月二日甲午孝謙 相 率行 幸 東大

> 寺 -傳 大寺一百官拜氏人等感會作所々樂 件日始影向云 諸二五千僧二 禮二 大佛 是日 八幡大菩薩 同 拜:東 々口

大佛殿東南,天平勝寶四年三月三日竪捈天平 年 三月三日置,, 露帳,云々卽安,,佛舍利十粒金字最勝 # 三丈八尺古傳如、此或三十六丈云』七重,五間 部,云々其後及,度々,燒失當時無之 寶字八 在二

西塔 基

九 在 日雷火云 大佛殿西南 炎上之間當時無、之承平四年十月廿

花嚴會本尊事

幡也納」寶藏一子、今在、之 菩薩立像二鋪高各五丈四尺廣各二丈八尺四 不空羂索卅臂像一鋪者觀音像件兩鋪之萬陀羅者皆 寸 鋪者

大佛前破裂地

光明皇后御入室之時正面戶內俄破裂其跡至入今不入平 後有…窪處一自、爾以後女人永不、入、堂者也

大佛殿上雷神名事

東方有二光明雷王一名二 阿伽多 - 南方有: 光明 雷 王

明雷王,名,蘇多摩王,四方中心皆二字 二行也 口傳云 百 **咋**榮 西方有,光明雷王,名,主德元王 -北方有:光

弘法大師筆跡云々

南向 .件堂在,大佛殿艮方去町餘,炎上以後

大佛金簿事

以二百廿兩一奉二于神 天平十八年勑使介 求黄金我將、出,,此土, 者爱從,,陸與國 浙二詩之二 日大神託宣曰勿造使所 一獻,黃金,其內

>造…如意輪,可>所>金云々奏…夢相之趣天皇、々々悦如 難、分近江國志賀郡勢多之南有二一小山之椿崎一其所 山,號,金峯山, 者定而可,有,金也藏王夢中示, 僧正 又云勑行事良辨僧正合、祈, 請金峯山藏王, 云以, 此 掘一奉,天皇, 其金色誠神妙也天皇悅奉、塗, 大佛殿及 >夢於::彼所 有"大巖石'是則大聖垂跡多利衆生度也於"其所 曰此山金者慈尊出世之時可,流布,也我只守護許也輙 東大寺末寺也 1造11如意像1前1金處自11陸與國 本國金出現始是也又彼如意輪者今石山 |出||沙金

供養導 師

平城

南大寺 官大寺名,爲,,大安寺,天下太平萬民安樂之儀也俗曰, 大和國添上郡左京六條三坊,天平十七年十一月改,大 造大安寺, 聖武天皇即位六年九年改, 造大官大寺於 立於平城京,元正天皇即位二年靈龜以,大唐西明寺,圖, 改,名大官大寺,元明天皇即位四年和鄉大官大寺移, 天武天皇即位十一年移,,百濟大寺,建,,大和國高市郡 金堂五間四面天智天皇即位三年七月勑造,,百濟大寺

云木佛在」右 木佛之在,左方,件像者傳教大師本尊也自,行教和尚 奉,供養,日此像靈山釋迦仁不,違等身金銅樂師 手相,傳之,大唐智者大師之本尊也云 本尊丈六釋迦如來解文惠替主勳之造云々天人影向而 |忠和尙木像影高三尺在||本佛右||件像不可思儀也 傳在>之等身木像千手 觀音此像者弘法大師御佛云 木像吉祥天女此 像在:木佛右 々又云 "阿彌陀 - 殊勝也 如來

蔀 七大寺 巡 禮 部 大安 寺

南都

之四

講党

像不可思儀也但炎上以後無,,此堂,者也本尊安,,金堂,五間四面本尊丈六阿彌陀足下三尊四天像高四尺許件

東塔一基

可思儀也堂中繪金岡筆跡也炎上以後無"建立,七重本尊者勝鬘夫人出家躰也一比丘立, 天人後,以,

西塔一基

八幡社

宫,是後移,男山,御座云々 也石清水,男山遷宮者後,也云々齊衡二年大菩薩自,宇 也石清水,男山遷宮者後,也云々齊衡二年大菩薩自,宇 南二方門戶,行敎和尚奉、勸,請大菩薩於本寺大安寺, 南二方門戶,行敎和尚奉、勸,請大菩薩於本寺大安寺, 面之之之。

三面僧坊

法大師坊許也東室十間西室十間北室十間 体室者講堂東西北以昔二間為二一坊二云々今現在事弘

文殊堂

天者弘法大師以、香造、之不可思儀造也云々件堂者在、堂北去二町許一也本尊文殊四天等在、

大湯屋

藥師之十二神云々每5月在5湯不1退轉1者也件湯屋者金堂在1戌亥方1 签者弘法大師鑄5 之签文者

寶藏

件實藏納寺家實物在二八幡大菩薩弓矢釋迦如來石

| 但依、和、之不、出、之云々|| 藏之八舌鎰等,也于、今人奉、拜,見之,於"袈裟鎰,者|| 波羅門僧正持來佛舍利大唐天台大師袈裟同天台山寶

南大門

西七西大寺在、南故云,,南大寺,也云々
此門,如、此云々云,,南大寺,,事者王城之東七東大寺在
大寺, 北大門有,,額文號,,南大寺,各築垣之中心在, 西大門在、額文號,,百濟寺, 東大門有,額文號,,大官

建立事

| 件寺·改"熊凝之名"云"百濟,其後為"神火燒失皇極天 | 造始者攝州在熊凝村云々舒明天皇建"百濟河邊,遷"立 弘 | 件寺者上宮太子之御願也太子入滅後推古天王相承而 西

室

+

間

)		
益	善	道	篇	榮
信	語義	慈	網.	好
僧	大	律	大`	禪
IE.	德	命	德	師
坊	坊	坊	坊	坊
		1		
75				行
法				長
大				和
師				尙
坊				坊
傳				勒
教				操
大				僧
師				Œ
坊				坊
義第				行
真一				基
和台座				菩
冶生		п	रा	薩
坊		口 傳	清水	坊
慈		傳云八幡石清水根本是		行
覺		幡石		数
大		清		和
師		· 根		尙
坊		本是		坊
AM 1 33		也		38
算大 道 和唐 海		跳文 阿弘		菩 是 聖武 選
尚天 ^復		阿弘		性 武婆 僧 天羅
子光師		井大云師		正 皇門
异和尚弟子 信		也		特也正
2)3				50 院

東

室

+

間

五百六十一

寺

云口 名云,,大官大寺,其後依,,夢想,懸,,佛前鏡,而奉 之大唐西明寺者祇園精舍造、之日本大安寺者寫一西明 遷,於良京,聖武天皇相承而造,之高僧導慈律師為,求 請,, 五百僧堂中, 設,, 此會,云々元明天 皇和銅三年又 之日紫雲滿空妙音聞 皇又改,造之,天 焼失畢云々 」取出了今所:|拜見||釋迦者非:||昔佛||云々於:||昔佛||者 藏鐘樓等凡廿餘院拂〉地燒失但木佛幷大師造之佛奉 寺,造云々後 唐西明寺, 圖,建之, 叉天平元年以,,道慈,爲,,律師 法,大寶元年入唐養老二年歸朝其時奏,,天皇,而以,大 一傳云中天竺含衞國祇園精含者兜率天摩尼寶殿造 一條院寬仁年中西 塔幷講堂食 堂寶藏經 智 天皇 天云々天武天皇又移,造高市地 御 時 建二丈六 釋 迦 像 開 ·..供養 眼 供 養

塔中院

西大寺 古京一條四坊 平城

皇御願也像等不可思儀也傳云天皇春二月之比夢見給金堂號,,兜率天宮,安,彌勒淨土相,也仰件寺者孝謙天

兜率 彼朝介、往,, 生兜率,也如,夢告, 也件堂件堂颠倒之間 勑:大臣一日當寺事偏馮、汝安駕之後必可□年云 本尊安,四王院一也今之金堂建號,四王堂一也 一天衆四 人來下各 日 一來七 月 日 心當 一來迎 一汝 天 皇驚 な家

四王院

年九 號二四 十一面觀音像也又佛舍利在 御字也非二孝謙御字,若天平勝寶歟又四王堂本尊丈六 以二天平神護元年一佛堂造」之云々天平寶字大炊天皇 女件像者平城天皇御宇寶字稱德孝謙皇帝天平實字八 ν講::最勝王經 塗箱在>之付>封井之封也口傳云最勝王經也云 每年五月一日,至,;晦 月十一日誓願造,,七尺金銅四天王像軍,建,此寺, Œ 一堂,本尊金銅四天王像高七尺三寸等身吉祥 - 是興正井所、造、之也又八寸四方之黑 日一卅箇日之間為,天下太平,奉 之號。四王堂之舍利 天

光明眞言堂

眞言堂

觀僧正此本尊也件寫本只拜許也彼五大尊之躰哀北向寄進本尊;云々南向也奉、秘;此本尊;不、拜、之也仍文師筆也云々本尊舍利也入;厨子,又在;厨子一,天照大雨界萬陀羅八祖影等安、之東西在;八天像,是弘法大雨界萬陀羅八祖影等安、之東西在;八天像,是弘法大雨界萬陀羅八祖影等安、之東西在;八天像,是弘法大

土光明真言常 五重塔 一基

七在三殊勝二云

k

件塔者在"光明真言堂前, 興福寺法師建"立之, 云々

西室

口傳,也 中室者光明與言堂西與正菩薩坊也云々則安,菩薩影, 中室者光明與言堂西與正菩薩坊也云々則安,菩薩影,

中門

在"四王堂前,安"二天像,同"東大寺,也

件社者在一寺東二一月初午參一此社一而致一祈禱一也

與二届 完大和國添上郡 平城

般若經 >可>入,,堂中,云々與福寺一和僧都別當之時 弘嗣 身光中十二神將左右日光月光也本願誓云破戒人者不 或記云寶龜元年光仁天皇御宇建,立之,本尊者輪立氏 件寺者藤原 云 云々即夢中多聞天示云不」謂,破戒僧,可、入,堂中 大臣 和師本尊者救世觀音云々此寺在,招提寺之西 |而前||請申四天等||末世此事難\有乎被\示 御妻云 百 川 大臣 k 中尊樂師如來在靈頭光七佛樂師 建立 也金銅藥師 如來三尊安之之 奉、讀"大

與二届 寺 左京三條七坊 平城

導師元與寺行信咒願同寺善祐淡海公御願也為藤氏繁昌和銅三年三月五日建立供養

五百六十三

福

院

興福寺

金堂水承元年 歲康平三年庚子五 五月四日諸堂燒失建立

也云 也彼 件堂者 建立 臣 像者大驗冠 女人...厨子一在..本尊左方 本尊自二山階 之時 面觀音二 々案今者釋迦丈六 淤 造之則 海公 奉 御 レス二件 和 願 躰各立像 安 也 銅 出現故 皇極 三年建立 ılı 本 城 大大也 座 尊 國 天 也 一像脇 也右 皇 Ш 也仍云二 一供養 階 间 四 士 傳 位 也 者藥王菩薩樂 親通之記云釋迦三尊 天 本尊丈六釋迦 四年 Ŧ 然而和 興 八 福寺於 為 尺許 レ誅 也 Ш 上菩薩 吉 像 階 庭 祥 也 天 此

可思儀 當來 也 堂中堂殊之柱 道 々堂未申柱書法 也 師 慈氏菩薩 貞 等在、繪叉堂前 慶 _E. 人巡 相 也 萬陀羅可、拜、之义辰已 但 一本尊不 禮記 銅 云 燈 シ見也 堂 爐 殿 堂西 可 基 間 在 唱= ラ之高 上柱繪 子 南 無 不

自 又於,,當堂,自,,正 - 寶龜三年 始 之云 一月八 ħ 日 至 + 29 日 修 一吉祥 天 女行

叉二月十四 師修」之也 六日修1法華 々同十 日修 五日修二常樂會 一是依 二報恩會 -尾張國 一舍利 自 熱 田 三貞觀 天 會 明 自 神 年,始,之同 派元二 所望 - 壽廣 年 一始

月

爲

月十 $\dot{\mathcal{H}}$ 月 日 1 以記長 一始。之智足院 者 御 吉 H 關白 修 唯 願 云 會 tz _ 自 = 永久六 年三

叉三月 日 修 萬燈會 137 僧 都 安秀當 寺 别 當 時 也 始

修 叉四 云…俗 一安居 月八 海士佛事 也廿六日 H 修 三佛 也 生 修 會 千 自 部 二同 會 + 天 四 台 日 二宗寶 至..七 相 法 月 目 + 始之 匹 日

當堂供養

使

維摩會修中

抱

叉十月十五日行

度

者

講

法

推

最

勝

王

經

立

勅

年三月 養〇 百 僧供 祐永 最 五. 年二月廿 僧供 建治 九 日 初 供養導 養〇 承 月 和 计 承 元 銅三年三 Ħ. 年十 年 四 康 日 供 日 再 H 供養導 ·三年 養導 供 十二月 長 月 月 十六日 元 別 Ħ. 師 # Ŧi. 一十八 師 九 師 月 四 H 三井寺 井 月 供 當寺別當覺憲咒願 四 H 諸堂 養導 寺 :雷火- 諸堂炎上之時燒 日諸堂炎 信 # 日 五 児願 朗 諸堂炎 尊咒 崩 炎 Biji 日 炎 雪 元 E 井寺良 兇願 之時 與 上之時 上 上 願 会行 康 之時 東大 和 東 收藝 焼失治 意三 大寺 寺深 失云 信 燒 五 一井 兜 失 年 建 七 有 覺 願 K **人五** 僧 月廿 慶三 五 同 曆二 同

跡相論,炎上應永六年三月十一日 供養導師當寺別當源惠三百僧供養○嘉曆二年 三月十二日依 " 大乘院門安二年十二月五日供養導師當寺別當慈信咒願延曆寺

南圓堂

良

昭児願延曆寺尊道

之壇 ン埋と 也 大師 東寺一長者 之石等可言云 者善珠僧正玄賓僧都行賀嘉操常騰僧都信叡此堂丑 上銘 件 **壇者本願與**。 失-度々建治 全阿者利童子之 時之影 云 K 本尊等弘法大師作也口傳云最上佛面者地 之石者隨二破損次 之聊不」可:相亂 下在一橋 同筆云々又佛後壇上在六影各座像持香呂件六影 師筆也云 御袈裟又鹿皮也又八方之障子八宗之祖師 也本尊不空羂索及四天像者長岡大臣內 者弘仁 四年開院 -以二日記 々改切替 三年壇崩仍一寺評定云申; 入長者, 壇上 弘法大師 木,此木之下在:如意實珠 々件影者 天台 1.為1長者1不」可以然云 左大臣冬嗣公御願也鎮擅 一如:大師記一被,埋,置之,云々又 第 ,于時長者照念院鼐平被,仰云當 發仙 者有一內談一 々々可,取替,云々一寺皆以 大師 智者惠 果阿者利之障子八宗之祖師影同 童子事也玄弉三藏等 佛像經 .口傳件堂及:燒 々仍馳三下 卷等多被 廠菩薩 麻 者弘法 呂 御 也 法 11: 願 引、

可、隨,長者之儀,也

同堂法事

講堂ニテ修>之云々 也云々自,承和十三年,攝政良房之御願也於,中間,者 也云々自,承和十三年,攝政良房之御願也於,中間,者 日,四月十四日,安居始>之自,七月廿四日,至,九月四

年,始,之長岡大臣御願也

自!九

月晦日,至,十月六日,

法華會修之 自二弘仁八

又當堂建立始現翁一人詠事

イマンサカユル北ノフチナ

3

王院寫立之云々各金銅也云々 殿,一丈許也此燈籠者宇治殿平等院建,, 立之, 時自在殿,一丈許也此燈籠者宇治殿平等院建,, 立之, 時自在是率川明神 御詠春日明神御使也云々又庭上在, 燈爐

西金堂

施二衲袈裟 生極樂一當,被忌日,所,造之也其日屈 件堂者 釋迦脇士藥王藥上也件釋迦不、入,眉間 今在,北寶藏一云々是光明皇后御願也本尊丈六座 天平六年甲戌正月十一日 帖 設,大會」如,此行道件袈裟 奉= 爲橘 :四百僧-人 大夫人 然而自毫度 必少々于 八別各 往

也老比丘以,,衲袈裟,被、頭是則大迦葉尊者也其躰神妙老比丘以,,衲袈裟,被、頭是則大迦葉尊者也其躰神妙照曜似、有,,白亳,不可思儀也又在十六弟子其中 金色照曜似、有,,白亳,不可思儀也又在十六弟子其中 金色

等身金 號 等 云仍其 云 件 相 觀 語 音 肠 師 色准 iffi 口 講 傳云 匠 以,,每年九 肟 又痛腰小兒等殊致:,祈請:者必蒙:, | 前,此像 | 之後止住云々自 告此等小兒寺不…止 舰 音像三目十八臂靈像 月十八日 | 為成 住 日設供具 間 也 v 也在:本佛左古 無 其以後寺中兒 延供養是 = 威應二云

後 堂南脇戶一奉、入、之其以後不、開 云 安 今於 在二 也 帝 出現 在、鬼呼、之由 北之邊有」聲呼」壽廣一云 行尋求之處等身十 件像 17 毎年 釋像 一也爱壽廣悅以掘出 件像者天長二年二月五日 者 寺中有 外 网字 外比像等 不審云 四天 面觀音像一 和 護 國 身結 王力士等像此八 亂之事,仍長承年中返,本度,云 額 面觀音像自 界徘 田 行基 部寺之 洗 々驚い音 徊之間 土泥 書 像 々靈驗 壽廣負 來而自, 西金 ジ頭 彼池 薩所造云 一視 一四方 無人子」時 "此戶」云々越田池 也 負...件像 部衆等者 此 以上 西之田 像渡二 觀音寶帳 勝二十中 々服寺之像 不可思儀 奉レ 中有 西金堂 一基 な但 必聲

> 驗在 本佛釋 自 等觀音云也又親通之記云服寺在座光餘而 為 福 二世悉地 然出 寺 安,,金堂一奉、負處重而如,,磐石,仍西金堂安置也 シ之云 南 迦 來爾 大門 一所請之輩一人而不」空抑堂者勤行等雖」付こ tz 件十一面安持之一後勤行十一面之也則悔過 云 而 西金堂仁 新云何堂此 可以 可 奉一安置一也和 ン安思惟 尚 之 在其座光靈 不 : 信用: 間 大童子

依、仰去永久二年春移"件像此堂, 王寺別當之時恐" 盜人, 寺家僉議言, 上於長者, 殿下王寺別當之時恐, 盜人, 寺家僉議言, 上於長者, 殿下海龍王寺佛也云々角寺之事也與福寺之智貸僧都海龍銀釋迦立像一躰高六尺三寸安,,厨子,高九尺許件佛者

金皷一口經八寸許在、臺以、之用、灣件金皷者在,正四天王之內毗沙門天殊靈驗在、之安此天下寶殊云四天王之內毗沙門天殊靈驗在、之安此天下寶殊云 妙也稱: 金佛 之間及 度盜 執二鐘木表下打二 之壇下 金 事虛言也親通記云木像 云 其 日 々近者享德 三年五 |又婆羅門立像高三尺許也件像立||於金皷 燗之躰 出所 無一左右腕 不可 金皷一之勢上 思儀 一仍以一佛 月廿 也云 也不以似! 構造之物! 人取、之依、有、靈不 粉 也婆羅 R 日夜盗 不審也 師 門足 介作 人取〉之同六 今度相尋處 -F 繼之云 踏! 朽木 E 面

唐金 =庭上燈爐殿一高 也 丟 K 抑 此 像 者 丈計 摘 陣 婆 窥 門 云 12 或 妙憧 云 K

當堂法會事

稱 定院丈六堂,而修正等行,之了建立以後又如 花會,自,四 腑 二月之時堂前寶帳等布為,長者,懸之給者也 補任官位昇進之時令: 三 正 日一修」之自:真觀 |西金堂着座||也治承炎上之時當堂本尊等奉\遷 七箇日,自二十二 门月十四 日 三年,始,之云々六月十八 一安居始、之云《又爲始當寺別當 一月晦 着座」別當行二 日,修、之修二二月 御誦經 二自 正 日 者也 元也 修 1 禪 蓮 修 是 月

北圓堂永承四年己丑三月十八日

云々 追善,建立供養云々本尊丈六彌勒像脇 右大妙相 一者養老五 非四 年八月或四元正天皇勑,長房 天王尊也長六尺許 也淡海 1: 公忌日令と 左 為二淡 法苑林 海 . 造 非 公

炎上 之後右 奉 埋,當 佛 堂 頭 者 云 新 Jz. 佛 奉レ 納 御 腹 云 *R* 叉光 明 皇后

法會事

羽或 院後 鳥 座型 御 願 歟 建 一口僧 保 四年 侶 自 轉二 + 讀 亨 御 五 筆 日 - 修 伽論 始 Ż +: 御 門 院

東圓堂常生北在,,槍皮堂,號,,觀禪院大御堂,唯識講結東圓堂常堂北在,,槍皮堂,號,,觀禪院大御堂, 唯識講結

謂 件堂者侍賢門院御願也本尊丈六不空羂索六臂座像 在。東御門之北脇 奈良都之八重櫻是 南 他云 向 堂 也 R 一件堂之門 切 櫻華 西脇 散 後 始 在 以開云 = 櫻樹 所 也

バレテフ事ヲアマタニナサシトヤ

春

=

オ

ク

V

テ

ب

ŀ

ŋ

サ

7

ラ

4

7

此 云 廷喜 歌 1 古今和 御所 重櫻而 謌 集故 人見 奉 盐 訓 月 櫻花 詠云 k en 此櫻云

イニシヘノ奈良ノ都ノ八重サクラ

ケフ九重ニニホヒヌルカナ

講堂

濟國禪 抑 和 也 寺 月 件堂者從 維摩 銅 一行、之不」可、移 日 本尊阿爾 造造立 奥旨 三年於 會 尼 法 者齊明 供養延曆 慶害三年 明 位 陀三尊淨明文殊四大天王等也又親通之記 ..此堂.修..維摩會.仍云..維摩堂 一藤原 轉 讀維摩經 天皇即位 廿年 卿 1.他所1之由 丙午講 仲 丸 桓 二年丙 武天 押勝 同四年戊午福亮法師 師智寶法師 宣下以來又號 皇 為 "先妣」天平十八年正 御字維摩 為::大織冠除病,百 會 無 一也云 =維摩堂 於 垢 稱 甫 興福 k 演

南

都

始七箇 一日法會自 二十月十日, 至二十六日二云々

法會事

皇后忌 戶御忌 七月又長講會修 四月十四日安居始、之同十七日修,,房前忌日,號,,三俣 日 日 自:天平寶字三年六月八日,始,之云々 一依,料所丹波三俣戶庄,也六月七日修,光明 レ之巨細南門云々堂者也

八月三 以後修」之云々 一日修;;淡海公忌日;養老四年八月三日大臣薨給

十月自,十日,維摩會始之

取、之是第一希代事也云々 無二水盡二云 長者殿下御願圓滿, 也親通記云講堂之西在, 地窪所 岩經一并奉」摺 又中古以來每月朔,日屈,「百口僧侶 十二月自1八日 々中古長者殿下造,寺堂,給時壁 塗塗水石 二百躰五大力,是為二天下泰平寺社安穩 一修"方廣會一自一元明天皇御字一始」之 - 奉、轉 : 讀仁王般

梵天帝釋十二神將立像也昔古本尊者炎上之時燒失仍 件堂者神龜二年丙午七月依二元明天皇御不例一元正天 正天皇依...御不例...聖武天皇造給云々又等身文殊淨明 |勅"所司,造給云々本尊丈六樂師三尊也又或記云元

> 也丈六金銅藥師三尊云々安,東金堂,也云々彼山田寺 者在1多武峰西北方1也 長者殿下仰 又或記云當堂本尊樂師者蘇我大臣建立之山田寺本尊 ||佛師定朝|造||之云々其後又燒失及 度 12

將堂秘佛也 又在,,本佛右厨子,云,,宫毗羅大將,又或記云正了智大

拜見, 立像也脇士也但治承四年 十二月廿八日炎上之 仍日本最勝佛像是也 就中二井 像不可思議也能々可! 欽明天皇御宇十三年壬申十月自,,百濟國聖明王,所,奉 人,,厨子,件像者號,,佛法最初釋迦,口傳云本朝卅代王 又安,後戶金銅釋迦像脇士觀音虛空藏 以之小藥師 叉在"本佛左厨子"云" \渡也如來入滅後當... 於一千四百八十年.. 此像始來給 小藥師 同秘佛也本佛大故云。 - 也高三尺計

可、專二子細一心 後戶庭上在: 馬腦燈 上不以燒希代之本尊 殿 - 高八尺計大和國豐良寺物云 12

又十二神將之板二枚在レ之弘法大師筆也云々度々炎 時燒亡仍新造、之云々供養導師大乘院僧正信圓云々

Œ 面庭上在二金銅燈爐殿 如一南圓堂一也

當堂法會事

會修>之。

全四月自"十四日'安居始>之时、六月八日蓮花>之云々四月自"十四日'安居始>之时、六月八日蓮花>之修二月自"正月晦日'七億日行>之自"工曆年中'始萬壽年中ョリ始>之修>正自"十二月晦日'七億日行

五重塔一基

件塔者號,,東金堂之塔,光明皇后御願天平二年四月十十日建立供養云々正面西向也安,,阿彌彌陀彌勒藥師一日建立供養云々正面西向也安,,阿彌彌陀彌勒藥師一日建立供養云々正面西向也安,,阿彌彌陀彌勒藥師一日建立供養云々正面西向也安,,阿彌彌陀彌勒藥師

諍云々叉神木入都之時此尊者必奉,,入都,云々 座像也口傳 云此 本尊者,東大寺本 尊也及度々兩寺相 座像では、本尊者,東大寺本 尊也及度々兩寺相

又堂東在"觀音十一面,也并不空羂索立像維摩會之延唱尊勝陀羅尼七箇日云々

五大堂南圓堂次

東圓堂西, 中堂者朱雀院御願也安, 五大尊, 弘法大師造云々在,

觀禪院大御堂

會心俱舍宗修延年也又每月唯識講修、之嚴重法會也會心俱舍宗修延年也又每月唯識講修、之嚴重法會、出工所,但是大唐之溫州大師忌日也云々此法者弟子三千人相分而後以前以後論、之佛事兩日仁修治之彼末流子、今相,分左右,為,,兩日法會,云々十二月十一日修,,溫州會,是大唐之溫州大師忌日也云々此法十一日修,,溫州會,是大唐之溫州大師忌日也云々此法十一日修,,溫州會,是大唐之溫州大師忌日也云々此法十一日修,,溫州會,是大唐之溫州大師忌日也云々此法十一日修,紹州會,是大唐之溫州大師忌日也云々此法會心俱舍宗修延年也又每月唯識講修、之嚴重法會也會心俱舍宗修延年也又每月唯識講修、之嚴重法會也

、之為,,二階堂宇,故號,,二階堂,云々件堂者號,,喜多院之二階堂,本尊阿彌陀三尊修二階堂,本尊阿彌陀三尊修

正行

勸學院

見之,中午在,佛舍利,仍安、之尊,由來,三寶院之本尊立之時寶形之金勸,十方,其金之中午在,圓金一,披,和者醍醐寺三寶院之本尊也云々口傳云中古南圓堂建件院內堂塔多、之殊大聖文殊之勝也又在,舍利,此舍

二此堂一修>之

福 寺

南

云

北 也件舍利二月十五日開、之云々此院號,中院,也講堂 寺僧結番 尺之釋迦 多寶像云 塔婆事云康正元年月日引,移大乘院御塔二云々本尊三 一町許也 一每日勤行無一絕事一為一天下太平寺社安穩 々件塔者去天福元年建立云々令:

乘院

院在二勸學院之西 安,毗沙門天,口傳相承之本尊也云々當時無、之歟此 也其間補二三綱一了永觀元年三月廿三日入滅了又 定照任,與福寺別當,事去天福元年十月十日治十四年 御殿一不空羂索云々是彼院主惠信僧正奉」鑄、之云々 長講堂,本尊大日如來云々,又在此院長春日御本地 件院者東寺一長者氣與福寺 別當定 照僧都建立也號,

三重塔

也此塔事也 康治二年十二月廿八日與福寺三重塔供養皇后宮御願 件塔者在,南圓堂西南方,口傳云弘法大師云々或記云

大乘院

件院者與福寺權別當法印隆禪為,先考,建,立之,本尊

丈六十一 面觀音并多寶塔 基云々今無,此院

與一匹院號」最勝院御堂

修三二十講,也 建立本尊地藏也於"此院" 自" 五月五日 " 至" 十九日 " 件院者兩代御門御願也堂二字塔 基坊舍者松後上人

大湯屋

>之云々又大衆蜂起集會之砌也 件湯屋者在,,東金堂東去二町,在,大釜,修二月之時燒

件屋者在,食堂北一町許,去安,釜二口,也

三面僧坊

件室者在,講堂之東西北

東室

件室者在,食堂之東

四面迴廊

件廻廊者金堂北圓堂東金堂此三堂七各在之云々

安...二天王八夜叉等像

在"五重塔東方,云"惣宮大明神

>之時狐取>之每日如此不>取>之時者必於,,寺社之間 而不吉事出來也 在,,社後大石,躰神也云々每日備,,神供,其神供又置、傍 在"南圓堂之南,葛木之一言主弘法大師奉"勸請一云々

辨才天社

躰之大黑天神,埋"此社下,云々號,窪辨才天,也 件社者在二一言主之西,弘法大師同勸,請之,奉,造,百 妙見社

件社者在:南圓堂之西:護法井也云々

龍藏社

寺,影向云々神躰者禪尼也云々 件社者在,,喜多院二階堂之北, 空晴僧都之時自,,長谷

口社

件社者在二大湯屋南東一或辨才天云々或龍神

唐院

北也 上之時於:此堂 件院者當時律院一寺大勸進所也昔在:大堂側,講堂炎 而維摩會等行レ之云々在: 北圓堂西

新坊

當院 件院者 同律院也 大勸進所 近頃 西金堂 炎上之 一而修正修一等行>之云々在,西金堂西方 時於

傳法院

件坊者修圓僧都坊也昔者於,此院,修,深密會,彼僧都 忌日六月十三日也云々西堂炎上之時以; 此院堂, 為, 維摩會講師坊二云々

粉使坊號客坊

之西方 源,下向慈惠大師事也與福 寺義照與,良源, 番論義第 承平七年維摩會講師者延曆寺基坊六十六為,成儀僧 於,當坊,而修番論義奉、隨,此役,則加,學侶之衆,也 只供目代初任 件坊者維摩會使住處也又為,,學侶集會所,細々無之之 番也仍自:承平,于、今不:退轉,者也此坊在:五大堂 之時致:集會,許也又維摩會第六日仁 良

觀自在院

三綱等補之一

件院者在二觀學院之西 正倉院觀自在院內 安 諸經論之形木等:

寶藏觀自在院內

件寶藏者在:正倉院之北 |號..|三藏| 有..|三口| 故云..|三

南

*

南 都

藏 一歟諸堂寶物樂器等納」之云

天平寶字五年辛丑二月日惠美大臣奉 東院西檜皮堂地藏數寬仁年 . 為: 光明皇后

建,立之,去年六月七日皇后崩壽六十 東院東堂

同 天平寶字八年甲辰九月十一 十八日誅,,惠美大臣 日建立安。置十萬基小塔

院領」之 件寶藏者 在"大湯屋之西 |納||形木||也云々大乘院 乘

壁樓經藏

在"講堂西東兩方

施藥院

老養五年建二立寺內一 悲田院

養老五年建二立寺內

南大門

安,,金剛力士,安,內師 子

合戰之時平城天皇之后自投 在二門前仁池二云二猿澤池 一口傳云平城天皇與淳和 一被池 溺死給皇后者從三 天皇

> 號", 釆女社', 在", 池西北之岸, 天皇后於見給而 之母也彼親 位伊勢朝臣繼子正四位下勳四等老人之女也高岳 王 出家法名云, 真如, 超昇寺本願也 親王

7 + Æ = カチクタレ カ ミヲ猿澤

池 ラ E ク ッ ŀ i n ン カ ナ . シ

-

新能 東西御門各號 又於:此門前 111 年始心經會始行、之又二月在"猿樂、號" □慶賀門1○東西不開御門二字○東西穴

口二所〇大湯 屋門 字〇北御門

〇僧正門但 口二所〇窪口 二此門二云々 非 門也 所 口傳云 菩提院贈僧正藏俊為 字○南大門左右穴

出

或叉 云々 七石多之皆以,佛菩薩之像,也云々在,與福寺巽方去 墓,以,,僧正之頭,埋,,此墓,故號,,頭塔, 又此墓之四方 五町餘,天平十年十二月為,太宰少貳廣繼之靈,入滅 玄肪 僧正之墳庙也云々又彼僧正在"十三重

以上寺大略內如之 菩提院事

本堂 阿 爾陀長和二年三月廿 四 H 觀 音出 現以後號 觀

副上人修始」之自"正曆三年"始」之也本者八講也云々到上人修始」之自"正曆三年"始」之也本者八講也云々音堂,又自"四月十八日"至"五月二日"修"三十講"朝

提院之東側有、井玄肪僧正閼伽井也云々號,, 明星井,人所,,出給也,其水如,清凉水,云々十方分汲云々又菩件院有,,空也上人坊,也西側有、井云,阿彌陀井,空也上

龍華樹院大乘院領之補三綱等

於"此堂,修"中萬之三十講,希代無之者權僧正賴信之建立云々又在"賴信之墓,號"圓塔,云々權僧正賴信之建立云々又在"賴信之墓,號"圓塔,云々

尊者彌 修 依"上人祈請 院雖、爲॥東大寺內 者於一此院一而 件院本尊釋 始云々或又依〉勸 勒念佛 南 自 九月 同 迦解脫 院之內放光院法務權僧正建立 一三日三夜也 一大明神造給云々又於 春日明神造給云 1.鎌倉最明寺1 修 自:與福寺 相計云 上人住所也東大寺知足院 一行道在」之此念佛者上 々三尺白檀 レ之云々 八角 三此院 一々此故 二而每年 像也彼 之地藏井 П 人修 九月 知足 傳

同禪定院 元興寺部可入九也

件院者飛鳥權少僧都成源建」之又永久年中賴實法印

堂,號,,天竺堂,又在,塔本尊阿彌 寺者依,鳥羽院之勑,建立仍號,永久寺 者同賴實法印也永久寺與二當院 於,,此院一被、修、之仍非,,寺内一云々大和國永久寺本願 與福以下 建二立堂舎二云々本堂彌勒如來號 所々 炎上之時 此院不: 同 焼失! 陀也去治 丈六堂 時七 建 間當寺法會等 -叉 立 承四年東大 云 在 々永久

春日社

小社合五十一社云々空山,給令法相大乘應護守藤氏故云 々本社五所中社神護景雲二年戊申十一月九日自,東國鹿島,移,座三

院御 如二四 師〇 講 年近衞 〇八月五日香山八講如二三月一也〇九 、之云々○自,,十四日修,,安居,以,,長者宣,被、定,,安居 二月初申日修,春日祭,嘉祥三年九月日始 申修::春日祭: 0 春日讀! 四月九日春日八講修>之五箇日自:天曆元年一始 願也康和 一十五日大般若會修、之大施主新權神主時繼云々 .月.也○十七日若宮祭修,之自,長承三年 使始 經當年 レ之〇三 月 二年 如 春也〇毎日不退一 維摩會講師 七月六日始 五 日於二末社一當山宮修二八 行 之料 之云々〇十一月初 一切經 月四 所越前 轉讀者白川 日 春 之仁壽二 河 始之云 日八講 口 庄

南

李

後

南

レ之坊,修、之間、別當 就 元年 也 願 毎 奉》前:天 中 也 H 始 **参**籠室 不 ルン之料 新 浪 唯 置 雕 秋 在 識 識 下太 所 兩 五箇 會 講 越前 度 者 者 李 之新三十 近 所各寺 關 國 也又八 衞 白 坪 殿 忠 江 御 僧之參籠 實 鄉 月十 願 御 者 云 願 拞 12 间 後 HI, 之熟行 此 淵 日 深 嘉 修 外 --草 承 護 神 講 院 法 無 事 者 御 年. 法會 退轉 龜 願 + 和 Ш 机 月 多之 院 謌 正 + 御 應 在 H

同 社 東 御 塔 號 一院御 塔

炎上云 三寶院定 日講 一日,修:般若 法 k Ħ. 海 保延六年十 花 重 云 大般 大塔也 會 k 岩 也 鳥 唯 此 33 Ħ 誠 塔 计 論 院 九日 去應永十八年 御願 一云々自 は養云 云 K 屈 12 閨 導師 月 + 깄 $\dot{\Box}$ 覺譽鎮 月 日 一僧侶 + _ 至 Ħ. 毎 H

同 西 御 塔 號一般 F 御 塔

養 但 同 $\mp i$ 立應永 師 重 醫 大 塔 -j. 信 八年閏 大僧 也 關 白 IF 干 忠 云 實御 月 k 屈 + 五 六口 願永久四 月 炎 僧侶 上云 年 一句 k V 月 日 六 熟 日 行 建 立 供

興 福 别 當坊熟行

月 Ŧī. 樂 日 召 修 之以 藏 會 吉日 是玄弉法 常樂會役者定十六 師 佛 事 也 同 4 日常樂 玉 修 之 會

中臣

異本口

一个二轉寫

在一大乘院

本願傳

下

依

Ē

本

寫之一如

左方系

巴上十三行細字十六字(小杉本作已上與福寺建立次第云々)中臣寺 | 鎌足中臣又 | 云藤原寺 鎌足改姓又 | 云觀世 音寺

事無 自 定日 被下一長者宣 勝 朝 延 定之日 寶元年五月廿五日,始>之天皇在 修 者也 交五年 唇 五年 之〇 別當坊依 一者也 一當會生修 + 月二 ○修: 月 大供分配者孝謙天 レ時不と定に在 + 日 二番論義一准二維 \equiv 三十講,號二 H 始之初者 慈 恩 會 所也 是慈 稱 寺家三十講 "御起請文」此 皇御 摩 恩 庚 會番論義,由 申 願也自: 師 講 佛 也 事 法 叉 也

平

福 寺建立之次第

庬 發 大 願造 和 國 也 高 丈六釋 同六年 ता 郡 迦像 崩 誅 入鹿 香 川 脇 原宮皇極 份 兩 躰 於三 天 天王 皇 卽 寺 位 四 造、之為"入 年 已鎌 足

十月 於山 近 大 中 和 坂 Ĩ 和 臣 銅 亦 國 十三 國 階 名: 厩坂寺 一為:藤原 一年庚 一飛鳥 鄉山城國字治郡開莫院世人大津宮天智天皇即位八 日 戌 淨 任 三月五 御原宮天皇壬申 - 十六年辛酉十月十六日鎌足薨 "內大臣 天 智崩天武 日 正。 建立 位。 未 八年己巳十月 苹 一傳山階寺是也 卽 年移 〇恐衍文授,大粮 位 建 年 號 大 也 和 興 國 福 高 H क्त 冠 鎌 亦云 足 郡 改 厩 則

者于5个相殘云々一乘院與中院之間七在5之礎也云々塔中,而得,大乘法報林章七卷,云々又口傳云件寺礎或記云聖武天皇 御宇道 慈神 叡 論 義時於, 觀世音寺

一元 風八寺 左京五條四條七坊之內

叉等,件夜叉在,靈驗,云々 大天·等也又 半 出彫 刻十 二神將高 三尺 許 入, 厨子, 大天·等也又 半 出彫 刻十 二神將高 三尺 許 入, 厨子, 士四躰千手觀音二躰各丈六也世親無著兩并各丈六四 金堂額文彌勒殿 五間四面在,重閱,本尊丈六彌勒如來脇

件本元興寺者橋寺之西北方但今礎許也百濟國,渡,馬瑙之彌勒像,則安,本元興寺金堂,云々當寺元明天皇建立 云々敏 達天皇御宇十三年九月自,

入田地,悉以絕之云々 入田地,悉以絕之云々 入田地,悉以絕之云々 入田地,悉以絕之云々 入田地,悉以絕之云々 及田地,悉以絕之云々 及田地,悉以絕之云々 及明天皇自,高市郡藤原宮,遷,都于添上郡,之次位以 大皇天平十七年造, 奈良元,墨。十年宴, 聖武 秦、移,,新元與寺,云々彼瑪瑙像者安,本寺,間多武峯 前事元正天皇改,,本元與寺, 於,,奈良京,遷給時彼像等 前事元正天皇自,高市郡藤原宮,遷,都于添上郡,之次位以

丈六彌勒者東天竺生天子國之長元年本尊也彼國五穀

藍,奉,安置 佛者十方仁在給是者當來補處之彌勒也云々第四兜率 \佛由奏王則在" 行幸 | 拜給而此佛者何佛問童子答云 又國王及大臣人民等奉、崇,此佛 間,放、光給王見、之給而淚流歡喜給事無、限則造, 伽 天內院七在一度拜,此尊,者必生,被天,云々午時自,眉 閉所,閉,門戶,不、入、人造、之第九日在開、門奉、造 給則仰,,童子,造、佛我本末隨,,童子云,造、之童子至, 寶一給。申其後僧得一多之寶一歸一本國一了可」造」 介√讀,, 誦最勝王經,而說,, 其大意, 國王聞、之悅事無限 為,,子食,在暗夜在船乘出,海中,魚釣之時俄風吹來不 僧仁 蕁,,問勅使,云汝者自,,何國,來僧答云我者北天竺 、見、佛造下,,宣旨,可、求,,佛法,云々其時海邊而一人之 豐事無、限而 可,生..內院,云々則童子失了其後僧徒 童子人在」之如」元問亡我者云,佛師一也奏,此旨一王悦 於,,三寶, 七 祈給時又如,,先僧,海邊七有,,小船, 其中仁 叉王宣汝可、奉、造、佛僧答云我非,佛師,只可下祈,□ 慮仁來,此浦,云々奏,此旨 之法師也 昔佛法修行之 者也今者隨, 女人, 數子儲 - 也童子云及"末代, 惡世一稱一禮之人必 不」聞,,法名,長元王始而聞,佛法名,但不 一時國 王宣汝可以說以法僧則 無、限長元王遂內 製百 住弘|佛 法

院生云 ▶請,件像,也其時於,海中,惡風吹來而爲船 此 船,了則如、元納,眉間,也歸,本國,奉,國王,如 減,九苦,云卽書寫供養其時龍王自,海中,返,入玉於 覺而相宰喜海七 向云玉可、返事喜也離、苦事可、報但 然者其玉返給云龍王夢中仁相宰仁云龍衆者在一九苦 \益於||海中,送||年月|思||向海之面| 淚流云為\ 離||二 取,出佛眉間之玉,入,海片,其時風閑也勅 置一个元興寺金堂本尊是也僧徒數千人集氣,學法相 皇傳:聞此佛利益靈驗 此波鳥皆去寺了仍不〉住〉人者也然而日本國 玉之光無、之取、龍王、故也及、數百年, 其寺佛法漸 建立伽藍奉..安置.之其後僧徒數千集住也佛 請經之中金剛般若懺悔 而得,此玉,後無,其苦,汝其苦可尚減玉必可,返也夢 熱苦,此玉於取給又本國王以,玉失谷,被,切,我等頭 入,,玉於海中,雖,存,命為,國王,被,,召顯,然者返而無 中之寶悉以為,,龍王,七入,,海中,然而於吹,,惡風,之間 民,同滅失了然間白本國王聞,此像靈驗,遣,勍使,奉 堂之前之海七不、知其近有,被堂之前,七懸也僧徒恐 K 其 後惡王出來其寺之佛。 減罪勝給彼經於令,書寫 "此朝 | 給建" 立伽藍 | 奉 法漸減僧徒皆失!! 人 使相宰之云 破于、時船 法盛 三元明天 來堂 一供養 也 减 忽

> 十方七 事可以歡云々 竺震旦本朝三國渡給佛也至"此時 燒亡末世我等無緣 十月十四日為,,士民,金堂炎上之時丈六佛像燒亡 東大寺,其間事觸而兩寺不和也及, 俄合戰, 間僧徒皆 徒多云可、行云僧徒之方被、追,, 出寺, 了仍多僧移住,, 後更不,勤云々此事一寺之及,相論,不,可,行云僧之門 僧.云何故仁 >勤,忌日、云則每、年修、之不,退轉 論 宗-經= 散失了其後無,寺住僧,也云々件像去寶德三年 多年 本朝元與寺七可」動,天竺忌日,哉自今以 序 及 末代 彼東天竺之長元王之可 ,者也一人之有,荒 了

講堂

入"厨子,二基在"本尊左右,顚倒以後不」立者也本尊者丈六藥師脇士者 二躰高八尺 許等身 十二神將

之

在

講

堂

北

佛像幷厨子繪等不

可思儀也但

頭倒以後

塔也各納,,無垢淨光陁羅尼經真言,之內其一本五枚障安,,八萬四千基之小塔,故號,,小塔院,轆轤曳高七寸許光明皇后御願五間四面安,,吉祥天女,也又號,,小塔院,吉祥堂

正等身影在,,本尊右方,以,,彼僧正之輿,為,,厨子,云々天女繪像以上障子也金色佛像一躰在,本尊左,護命僧子圖佛像神妙也正了知大將繪像萬陁羅毗沙門幷吉祥

鐘樓一字

寺事也彼鐘靈鬼住,,禪定院山,仍號,,鬼薗山,相國寺,件鐘渡,,彼寺,云々其後應永十年寺炎上之時相國寺,件鐘渡,,彼寺,云々其後應永十年寺炎上之時在,鐘一口,此鐘在,靈云々永德之頃大將軍義滿建,,立

觀音堂

餘人號,,中門衆,四天等像同安、之者也一面,建,,立丈六觀音,在,, 靈驗, 云々堂衆其行人六十之日空拜,,堂跡處灰之中,在頂上佛面儼然不、損以,,彼寺僧一千日之間每、日參,, 詣長谷寺, 之間長谷寺炎上 特堂號,,中門觀音堂,靈像也十一面也仍垂,,實帳,口傳

五重塔一基

土相, 本尊如"與福寺五重之塔者寫"當塔"云々安"四方淨納"此塔, 與福寺五重之塔者寫"當塔"云々安"四方淨皇御字十四年 蘇我大臣之感"得舍利, 加"種々實物, 生相,

極樂坊

十月十四日於,,禪定院,而燒失云々陁羅也則號,,智光萬陁羅,也長廣二尺許也去寶德三年安,,極樂萬陁羅,故號,,極樂坊, 也智光法師所, 書之萬

立云々 堂者智光法師造、之其後破損間西行法師勸, 十方, 建堂一字號, 萬陁羅堂, 在,四方午極樂萬陁羅, 口傳云此

永年中建"立當堂"云々太子堂一字件太子者昔像也云々安"萬陀羅堂"然而應之內北室之東端于>今相殘在>之則智光法師住也室一字智光法師之坊也口傳云件室者元與寺三面僧坊室一字智光法師之坊也口傳云件室者元與寺三面僧坊

石塔爐殿 一基

在,金堂前,高一丈許顚倒

南大門

彼女問云以,,前之遺唐使之音信,在、之歟否更以無、之日本國二王出現之始也云々前之池 在現給云々又在日本國二王出現之始也云々前之池 在現給云々又在中本國二音信,也則歸朝之時女語云汝此子能々可、養我歸唐女也遺唐使歸朝之時女語云汝此子能々可、養我歸唐女也遺唐使歸朝之時女語云汝此子能々可、養我歸唐女也遺唐使歸朝之時女語云汝此子能々可、養我歸曹女也遺唐使之音信,在、之歟否更以無、之

南

非

南

都

了其時 中仁 、之七我子也取上養」之七天下第一之筆跡也彼魚之海 魚養」也 굸 其時彼女腹立而札仁書」文而件子仁 養故名,魚養,也又出家後萬木山仁 魚乘而 日本仁 來子」時文 見付 ン之而彼 結付入:海 住故云 高木 以札文見 中

諸門領事

禪定院 號,飛鳥坊, 又云東門額明香寺西門法與寺北門建通寺云々東門額飛鳥寺西門法與寺北門建通寺云々東門額飛鳥寺西門法與寺北門建通寺

備前國山田庄號元與寺大庄也

招提寺 大和國添下郡 平城

也天平寶字三年八月三日鑒真和尚建立云々聖武天皇古女造」之云々 脇士丈六釋迦者樂師也 云釋迦事僻事天人自、天下而造」之云々又云化人造也名云... 竹田佐五間四面木尊盧舍那佛脇士釋迦千手各丈六件千手者以,新田部親王舊宅,給,,鑒真和尚,建,,立招提寺,金堂以,新田部親王舊宅,給,,鑒真和尚,建,,立招提寺,金堂以,新田部親王舊宅,給,,

為、井也彼鑒眞和尚大唐楊州就與寺大德也

講堂

也令無、之云々寬仁二年七月定心阿闍梨巡禮記如、此收高聲叫云痛哉々々盜人捨云々又彼高田寺者破壞此像高聲叫云痛哉々々盜人捨云々又彼高田寺者破壞此像高聲叫云痛哉々々盜人捨云々又彼高田寺者破壞

羂索堂

、之寬仁二年之記如、此也寺,相論之時彼商伽羅主往,於東大寺,云々件堂今無寺,相論之時彼商伽羅主往,於東大寺,云々件堂今無件堂安,不空羂索井商伽羅主像, 昔東 大 寺 與, 招提

寶藏一字

>之三千粒舍利令七百餘粒在>之云々 件舍利每、日午 之餘獻、之云 刀,長三尺許廣 日 **尅奉√出□東釋迦堂□此堂貞慶上人建立云** 壺」安"銅塔」件塔又安" 銅龜上, 也依」有"勅封,不」 在"金堂東" 鑒真和尚持來之三千粒佛 .修,,舍利會, 七日七夜其堂則號,,舍利堂,也又有.,大 K 一寸五分惠美大臣實物云 含利 々和尚歸依 々每年九 納 自瑠 月

孤山松蒼海池

引,紫臺之曉雲,云々彼孤山松滄海池于、時在也者也給云々同式云孤山松 間徐禮 白毫之秋月滄 海波上遙無邊無量億刼誰能報謝口傳云似下句者春日大明神繼無邊無量億刼誰能報謝口傳云似下句者春日大明神繼經過無量億分

伸肚者在,,金堂辰巳,春日大明神也神躰者杉木也

鎮守社

云々當寺舎利配分奉」納,當塔,云々在,社西方,又龍池在,之向,此池,而新,雨必令,成就

阿彌陀堂

静僧正兩人頭也弟子也安僧正建立云々如法者鑒 真和尚 弟子也 如法僧都 義安僧正建立云々如法者鑒 真和尚 弟子也 如法僧都弟子豐

戒壇院

云々在"飛壇,安"寶塔,在"金堂西,鑒真門徒於"此所,受戒

南大門一字

傳云在"額文」云"唐律招提寺」也今云"唐招提寺」也

日,々云天平寳字七年五月六日入滅云々七書,和尙一生之相,其繪不可思儀,也每月 六日修,忌在,金堂戌亥角,安,鑒眞和尙御影,入,厨子,堂中障子

醐味泉

尚忌日汲,,此水,施,,一切衆生,云々 的東征之時以隨身之醍醐味入,, 此泉, 誓願云飲,之輩 件泉立筒而御影堂之在,成亥,三間屋其內在,此泉,和

藥師 寺 古京六條二坊 平城

重塔在、之納、舍利、云々口傳相承舍利也 重塔在、之納、舍利、云々口傳相承舍利也 重塔在、之納、舍利、云々口傳相承舍利也 重塔在、之納、舍利、云々口傳相承舍利也

南都七大寺巡禮記 藥師寺

寺,為:源家氏寺,云々 彼金銅三尊許子、今在、之御堂其後如、形建立以,此 去文安元年六月二日大風顛倒本尊等大略破失云々只

南大門

安二金剛力士二云々同文安大風颠倒云々

東塔西塔各一基

件塔各安,釋迦八相躰,塔高各十一丈五尺

羅一帳廣二丈一尺八寸高三丈 每年三月 最勝會之時 奉、懸、之云々 七間四面安三三尺釋迦像一云々文安淨瑠璃世間之萬陁

件萬陁羅者文武天皇即位二年供養講師道眼讀師智

彼最勝會者 淳和天皇 御宇天長 六年十一月 七日始被 修之以以去年維摩會講師一為,講師一云々 傳教院

安二六尺阿爾陁

唐院

於,海中,令,誓願,造,之云々 云,,金堂東,安,,七寸四天像,此像者戒明和尚入唐之時

會等修、之云々古傳云安,十方基塔,云々私仁建立云々又隆光等所住地今於,此堂,而撲揚溜洲 安二丈六釋迎像 一件堂者在、唐院傍一當寺別當輔精已譯

北僧坊

惠金內供坊也 四端行基并坊號 ||文殊院||東端明詮僧都坊其次第二坊

件坊安...等身相光天像.

道馬社

天照大神或辨才天云々在二口傳

八幡宮

← 八幡者自, 字佐, 影向自, 此所, 又大安寺セ飛給云々

本"大鐘一口,自"百濟國,所、獻也云々

々抑最勝會之東則酒者一夜造、之云々 最勝會之時為、刺使坊、慈恩會等於、此所、修、之也云

當時建立事

天智天皇御宇御子持統天皇姬宮在御在之時彼姬御背天曾天皇御宇御子持統天皇即位也此天皇高市郡然,限其後者彌奉,恭敬,供養給然間天智天皇失給後樂師佛鑄,給之,間其驗新而宮病即愈給天皇喜貴給事為天武天皇即位也其次持統天皇即位也此天皇高市郡弟天武天皇御宇他其次持統天皇即位也此天皇高市郡建立寺今樂師寺是也寺僧等不ゝ入,堂內,奉,佛灯明,也

法隆寺號莊鳩寺

本尊等身金色釋迦三尊又在;;左右吉祥天女毗沙門;各金堂三間四面東有;;鐘樓;西有;經藏;

差別, 三尺藥 師三尊件像 者天王寺 金堂 四天與" 此像, 無" 又在" 金銅三尺阿 彌陀三尊, 又等身四天 王像又金剛

書:|佛井像|

四間二面在,重閣,此門不、似,諸寺,云々南大門(朱書)コハ中門ノコトカ

講堂

六間四面安,,丈六藥師像,本佛也又安,,丈六藥師像,此

南都七大寺巡禮郎 法隆寺

南

傳云 像 者西 一者必蒙, 威應,也 為、除,橋大 國 乏本 夫人御惱 所、造願也盲聾之輩致 也 彼堂破損 後所、奉、移 此 堂 -也 祈 口

覆 世觀音像此像 又安龍自在 ...於實珠上,也又四天像六尺許也 王佛 在,本尊之左方,左手持, 寶珠, 有,右手 坐像高 一尺餘 其形女童子也 一叉等身救

於 :此堂,勝鬘會修之又號,三經堂,也 五重 塔 一基

レ見 安二釋迦 成道 轉法輪入炎像 皆不可 思儀也 能 な可

上宮 主院

觀音即知太子御影也又有,,等身比丘像,云,,道詮影,云 損之間行信 々太子在世之時之定所是也有。子細太子傳 年二月廿二日於,,此堂, 生靈會修,之一寺見物也 | 度更非||佛像| 只等身俗形也着||冠帶| 但左手持||寶 一伏…右手覆 ||夢殿||叉云||東院| 大僧都加二修理一云々古老傳云奉 || 寶珠上| 思惟見形者在俗也見印者救世 垂 三寶 帳 難 拜 見 此 院昔 拜二 件 破

北 有二七間亭一其東端二間號一寶藏 寶藏 - 其內種々實物等太

一字

云 子 K 俗 形 御 影 鋪 唐 人筆跡 也 示 可 思 儀 也 能 K 可」見

牙尺一 御足 筆也() 也 顆水瓶云々精珠 衲袈 子傳一 脇 等納袋同虎珀 三筋守屋大臣與 手皮,其上書,外 印 〇枚琴二帳 一尺九寸其色聊黃白也 ○壁代一帖此壁代有: 太子右 佛 足 法花 跡一是則 御鉢二口〇鉢粉一枚〇銀箸三前〇銀匙三枚 裟 御鉢御念珠者 枚長八寸餘 恩字法華經疏四卷香表紙沈軸件書者太子御自 〇虎珀御念珠二連 〇象牙脇 金泥梵網經二卷同御筆然而其外題之下押二御 帖此 袈裟者 健駄 經 長三尺許〇耳笛一長一尺八寸許 為,, 未來衆生, 令,,結緣 部 一顆次五顆虎珀 .題.尤可:.拜見.○生御衾一領長八丈間 御合戰之時物云々 〇水精珠虎 ○瓢餌袋一口 南 又如露三顆 卷是妹 岳大師 子奉 之時御物也 羅國之所進也 方珠三顆〇水精方珠二 御 ○御弓一張 長五 經 息一脚三足獸足 一之故小踏付給 也 云 12 在 〇麾 尾二 子細 珀 0 唐物 銀

舍利堂

件堂者 南 無佛舍利,太子之二歲春出現云 在二夢殿北 - 安…佛舍利 粒 々毎日午尅奉、出、之 白 色大 小 豆

中宫寺大和國平群郡

件寺者在"法隆寺之東,太子建立之處也

河原寺號弘福寺東寺末寺也

金堂安,,丈六十一面觀音,

三重塔

抑此寺者弘法大師舊跡也後移"高野寺」云々百濟國持在"八大明王像,又東七在"樂師佛幷十二神將,

來彌勒佛像在:東塔內:云々

法興寺號本元興寺

他口傳也其鳥子>今成>神在,,龍盖寺之南,他寺云,,本元興寺, 金堂三間四面二階安,, 丈六金銅釋件寺云,,本元興寺, 金堂三間四面二階安,, 丈六金銅釋

講堂

北僧坊安",丈六白檀十一面像,安",又救世觀音深河大將像

安,,彌勒石像一尺許,日本國最初佛像也

山田寺大和國十市郡

講堂

五間四面安二十一

面觀音像,又在,,丈六金銅樂師三尊,

今與福寺東金堂本佛是也

南

橘樹寺號菩提寺

件寺者菩提寺企堂三間四面二階安,,教世觀音像

三年事也 | 五間四面安"丈六釋迦像 | 太子勝鬘經講所推古天皇十

五重塔

佛頭山

地彼蓮花子、今在、之云々件山者太子佛勝鬘經之時佛頭出現也又三尺蓮花降陸

彌陁堂

安,善光寺如來,之御光造居,阿彌陀三尊,者也

太子堂

十四御年云々各入,,水精壺,被,講,,勝鬘經,時之御冠一助昔百丈云々今殘分二丈餘太子細工之時之御小刀一助昔百丈云々今殘分二丈餘太子細工之時之御小刀觀音二臂如意輪也四十六箇伽藍建立之時上棟之善綱裝,等身太子十六歲像,件堂在在,太子寶物,御作救世安,等身太子十六歲像,件堂在在,太子寶物,御作救世

筆大般若理趣分一卷太子御太刀一太子生衣之瓔珞入:小箱,在縫佛是通佛太子御本尊也又太子御

往生院 號派展月

件院者太子誕生所也仍號,馬屋戶,也

橘寺

堂推古皇后清凉殿佛光明皇后自調、尊九間四面大講堂本尊釋迦牟尼佛脇立樂王樂樹兩大井

二階金堂

往門樂師者淳和聖帝御願尊容弘法大師供養靈像本尊彌勒地藏十一面或上宮 御作尊或百濟所、獻之像

壇上者安..置靈驗無雙之尊容... 三重塔婆

填下者納; 玉冠珠妙之

寶物- 灌頂堂

三間四面

長日不斷護摩堂 (朱書)隱岐院勅願也

四面太子

七間

廻廊 庫院 靈堂 浴堂等 超水堂 廿一問長僧坊 六十九間

(朱書)文字有失以異本令校合用朱筆也以上享徳元年八月十一日以,古記,書寫了

異本與書

記文,也乎其考證見,,下卷,此文明年號以逮,享祿元忠女,也乎其考證見,,下卷,此文明年號以逮,享祿元武政,此於,去實總三年,此以後無,年號,焉應永者百元與寺下云,,去實總三年,此以後無,年號,時春日野東西所,為、本間寫考, 國史家牒,令,加筆,括,兩卷,號兩冊,為、本間寫考, 國史家牒,令,加筆,括,兩卷,號一代後小松院年號又文安及實德者百三代後花園院年元與寺下云,,去實總三年,此以後無,年號,時春日野東西所等下云,,去實總三年,此以後無,年號,時春日野東西所,為、本間寫養之,也文明年號以逮,享祿元代後小松院年號又文安及實德者百三代後花園院年元與寺下云,,去實總三年,此以後無,年號,行為,

年,歷、年凡四十餘歲故云,古記,歟

應鐘

三枝散人何某花押

便要覽者也 極為散失頃日幸求得類本新起筆再書寫之而今添自錄 故為散失頃日幸求得類本新起筆再書寫之而今添自錄 此上卷者去享保第七壬寅之歲孟夏二條法印憲乘房謄

享保第十四己酉之歲中 四日

今出河如鷄

友花押

尚以,,全本,可、令.,核合,者矣 相,,就寫本間鳥焉之籍誤或重字落語等,,乎粗加,,雅意, 有,,於寫本間鳥焉之籍誤或重字落語等,,乎粗加,,雅意, 世,大寺巡禮記者南 都一部之舊史 焉往年雖、令,,披 此七大寺巡禮記者南 都一部之舊史 焉往年雖、令,,披

享保己酉仲夏蒲節日

無名園道靜印

遠江守備 命索古書於名勝之地假借以上之加納 南鄰處士無名園古道者所著賈井上平五郎之藏寬政四

台賢合成島仙藏 峰雄寫之其原本書,,于反古紙背,蓋未

舊藏 文 平 出 ~ 之書文字頗 シ 城 ッ ア 其筆記 リ之ヲ以テ按 趾跡考ト云 w 諸寺 75 1 カ 緣 ノ時 不、成、語令…依、舊以寫 起 15 Æ } 題 ス 7 = v = æ ス バ巡禮 大乘院葬尊七大寺巡禮 能 w 2 Æ 1 カ 恐ク ナ 記 ^ ハ 尋尊僧 公公上 ハ尋 N カ 如 尊 ·與書 僧 7 正 JF. 覺 作 1 ユ 記 7 手 同 w ナ 日 + w

テ享禄 江高 諸寺緣 寫 ノ名負 榅 ジ = 邨 サセテ收載 N 別項ニ當麻寺龍蓋寺ョリ筆ヲ起シ大和 シ 野 云實樂松 起ト 七 山 # 元年八月十 ·寺院 ッ 1 w 如 7 ナ キ ヲ ij 園 ス右 舉 テ 皆 家 w 其要目 本文 兩 ~3 ゲ 乘舊 或河 # シ 日以:古記 書寫了ノ版文 院大 見捨 = = = 就 ラ略 內國 舊 ノ七大寺巡禮 テ参照 藏 2 記 Æ 1 スル古寫 寺院 1 七 ŋ ス ŀ 及 ~ = 亦 v シ ピ 記 本 ヲ以テ縁起 ılı 國 ヲ 15 主 城 內 V 力 = 攝 7 外 11 1 ` 津近 イ ŋ 題 A 15 次 チ サ

續

ス

群

書類從第十

終

妻 御黑 木橋 11 直惠真 良言 道 校

明 明 治 治 四 几 ----年 华 月 月 +11-----Ħ. 日 日 發 印 行 刷

非

賣

口口

東京 क्ति 京 橋 盟 育 傳 馬 山 1 目 十二 番

地

國 書 市 刊 行 會 代 表

者

發編

行輯

者兼

島

謙

古

刷

東

京

त्ता

京

橋

Ini ini

新

茶

MI

五.

1

目三

番

地

目

所

內 外印 刷 株式會社分工場

・男

印

刷

者

本

間

東

京

īπ

京

橋

lit.

新

祭

Mſ

Ŧî.

1,

目

 \equiv

番

地

